令和７年度

普天間飛行場代替施設建設事業に係る

環境監視調査報告書

令和８年９月

沖 縄 防 衛 局

－　目　　次　－

第 1 章 環境監視調査の項目及び調査の手法 ･･････････････････････････････ **1-1**
1.1 調査項目及び調査時期 ･･ 1-1
1.2 調査手法 ･･ 1-4
1.2.1 大気質 ･･ 1-4
1.2.2 騒音 ･･ 1-9
1.2.3 振動 ･･ 1-17
1.2.4 低周波音 ･･ 1-23
1.2.5 底生動物等（移動後の状況監視） ･･････････････････････････････ 1-28
1.2.6 サンゴ類（全域の状況監視） ･･････････････････････････････････ 1-36
1.2.7 海藻草類（全域の状況監視） ･･････････････････････････････････ 1-38

第 2 章 環境監視調査の結果 ･･ **2-1**
2.1 大気質 ･･ 2-1
2.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質 ･･････････････････････････････ 2-1
2.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質 ･･････････････････････ 2-15
2.2 騒音 ･･ 2-28
2.2.1 道路交通騒音 ･･ 2-28
2.2.2 交通量 ･･ 2-42
2.2.3 建設作業騒音 ･･ 2-45
2.3 振動 ･･ 2-53
2.3.1 道路交通振動 ･･ 2-53
2.3.2 建設作業振動 ･･ 2-67
2.4 低周波音 ･･ 2-72
2.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音 ･･････････････････････････ 2-72
2.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音 ･･････････････････････････ 2-81
2.5 底生動物等（移動後の状況監視） ･･････････････････････････････････ 2-94
2.5.1 追跡調査 ･･ 2-94
2.5.2 生物相調査 ･･ 2-104
2.6 サンゴ類（全域の状況監視） ･･････････････････････････････････････ 2-132
2.6.1 サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等 ･･････････ 2-132
2.7 海藻草類（全域の状況監視） ･･････････････････････････････････････ 2-137
2.7.1 海藻草類の生育被度、生育状況 ･･････････････････････････････････ 2-137
2.7.2 クビレミドロ生育状況等 ･･････････････････････････････････････ 2-143

第 3 章 環境監視調査結果のまとめ ・・・

第 1 章　環境監視調査の項目及び調査の手法

1.1 調査項目及び調査時期

令和 7 年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査時期を表-1.1.1 に、調査工程を表-1.1.2 に示します。

表-1.1.1　令和 7 年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査時期

調査項目		調査時期
大気質	建設機械の稼働に伴う大気汚染物質	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、各季とも連続 1 週間の測定
	資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、各季とも連続 1 週間の測定
騒音	道路交通騒音	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
	建設作業騒音	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
振動	道路交通振動	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
	建設作業振動	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
低周波音	建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
	資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
底生動物等（移動後の状況監視）	移動個体の生息・生育状況（追跡調査）、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況、浮遊生物の分布状況（生物相調査）	・追跡調査は、移動後 1 年目は移動直後、約 1 ヶ月後、3 ヶ月後及び 6 ヶ月後の頻度、2 年目以降は年 4 回（四季）の頻度 ・ウミボッス注) の追跡調査については、ウミボッスの繁茂期を含む 2 月から 5 月まで毎月 1 回調査を実施 ・生物相調査は、年 4 回（四季）の頻度
サンゴ類（全域の状況監視）	サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	・夏季～秋季及び冬季～春季の年 2 回
海藻草類（全域の状況監視）	海藻草類（クビレミドロを含む）の生育被度、生育状況等	・繁茂期と衰退期にあたる夏季及び冬季の年 2 回 ・クビレミドロは繁茂期である春季に 2 回

注）ウミボッスは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、ここでは「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

表-1.1.2　令和７年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査工程

調査項目		令和7年									令和8年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大気質	建設機械の稼働に伴う大気汚染物質												
	資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質												
騒音	道路交通騒音												
	建設作業騒音												
振動	道路交通振動												
	建設作業振動												
低周波音	建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音												
	資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音												
底生動物等（移動後の状況監視）	移動個体の生息・生育状況（追跡調査）、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況、浮遊生物の分布状況（生物相調査）												
サンゴ類（全域の状況監視）	サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等												
海藻草類（全域の状況監視）	海藻草類（クビレミドロを含む）の生育被度、生育状況等												

（参考　工事工程）

工事の区分		令和7年									令和8年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
代替施設本体の護岸工事	中仕切護岸N-1												
	中仕切護岸N-2												
	中仕切護岸N-6												
	中仕切護岸N-8												
	中仕切護岸N-9												
	二重鋼管矢板式護岸（A護岸）												
	ケーソン式護岸C-1	地盤改良（SCP工法）											
	ケーソン式護岸C-2	地盤改良（SCP工法）											
	ケーソン式護岸C-3	地盤改良（SCP工法）											
	護岸（係船機能付）	地盤改良（SCP工法）											
代替施設本体の浚渫工事													
代替施設本体の埋立工事	埋立区域②												
	埋立区域②-1												
	埋立区域③-1												
	埋立区域③-3												
	埋立区域③-5	地盤改良（SD工法）											
海上ヤードの工事													
埋立土砂発生区域における工事													
工事用仮設道路工事	仮設道路①												
	仮設道路②-2												
	仮設道路②-3												
美謝川水路整備													

1.2 調査手法

1.2.1 大気質

工事の実施に伴う影響を把握するために、建設機械の稼働に伴う大気汚染物質及び資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査を実施しました。

(1) 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

1) 調査項目及び調査地点

建設機械の稼働に伴う大気汚染物質について、調査項目及び調査地点は表-1.2.1.1に示すとおりです。

表-1.2.1.1　調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・二酸化窒素(NO_2) ・二酸化硫黄(SO_2) ・浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落（AT-8）の計4地点

2) 調査実施日

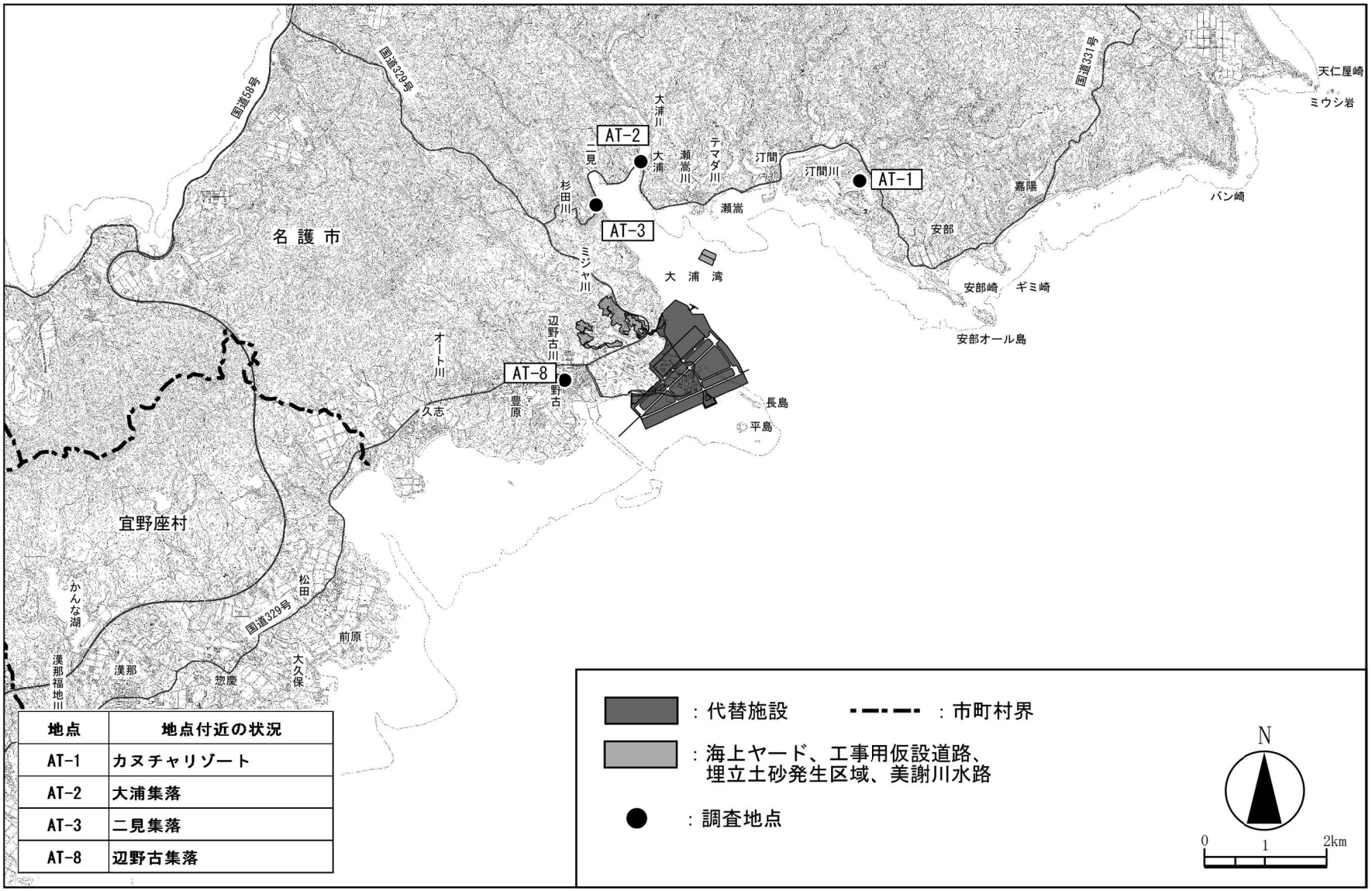
調査実施日は表-1.2.1.2に示すとおりです。

表-1.2.1.2　調査実施日

調査項目	調査実施日
・二酸化窒素(NO_2) ・二酸化硫黄(SO_2) ・浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	令和7年度春季：令和7年4月25～5月1日 令和7年度夏季：令和7年7月3～9日 令和7年度秋季：令和7年11月19～25日 令和7年度冬季：令和8年2月13～19日 ※調査は各季7日間の連続測定

3) 調査地点

調査地点は図-1.2.1.1に示すとおりです。



地点	地点付近の状況
AT-1	カヌチャリゾート
AT-2	大浦集落
AT-3	二見集落
AT-8	辺野古集落

図-1.2.1.1　建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の調査地点

4) 調査方法

各調査地点において測定機器を設置し、表-1.2.1.3 に示す方法により、7 日間の連続測定を実施しました。

表-1.2.1.3　二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の調査方法

調査項目	調査方法等
・二酸化窒素(NO_2)	JIS B 7953 に基づくオゾンを用いる化学発光法
・二酸化硫黄(SO_2)	JIS B 7952 に基づく紫外線蛍光法
・浮遊粒子状物質(SPM)	JIS B 7954 に基づくベータ線吸収法

大気環境測定装置

風向風速計

大気環境測定装置
(サンプリングホース)

温湿度センサー

(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

1) 調査項目及び調査地点

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質について、調査項目及び調査地点は表-1.2.1.4に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.1.4　調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・二酸化窒素(NO_2) ・二酸化硫黄(SO_2) ・浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計3地点

2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.1.5に示すとおりです。

表-1.2.1.5　調査実施日

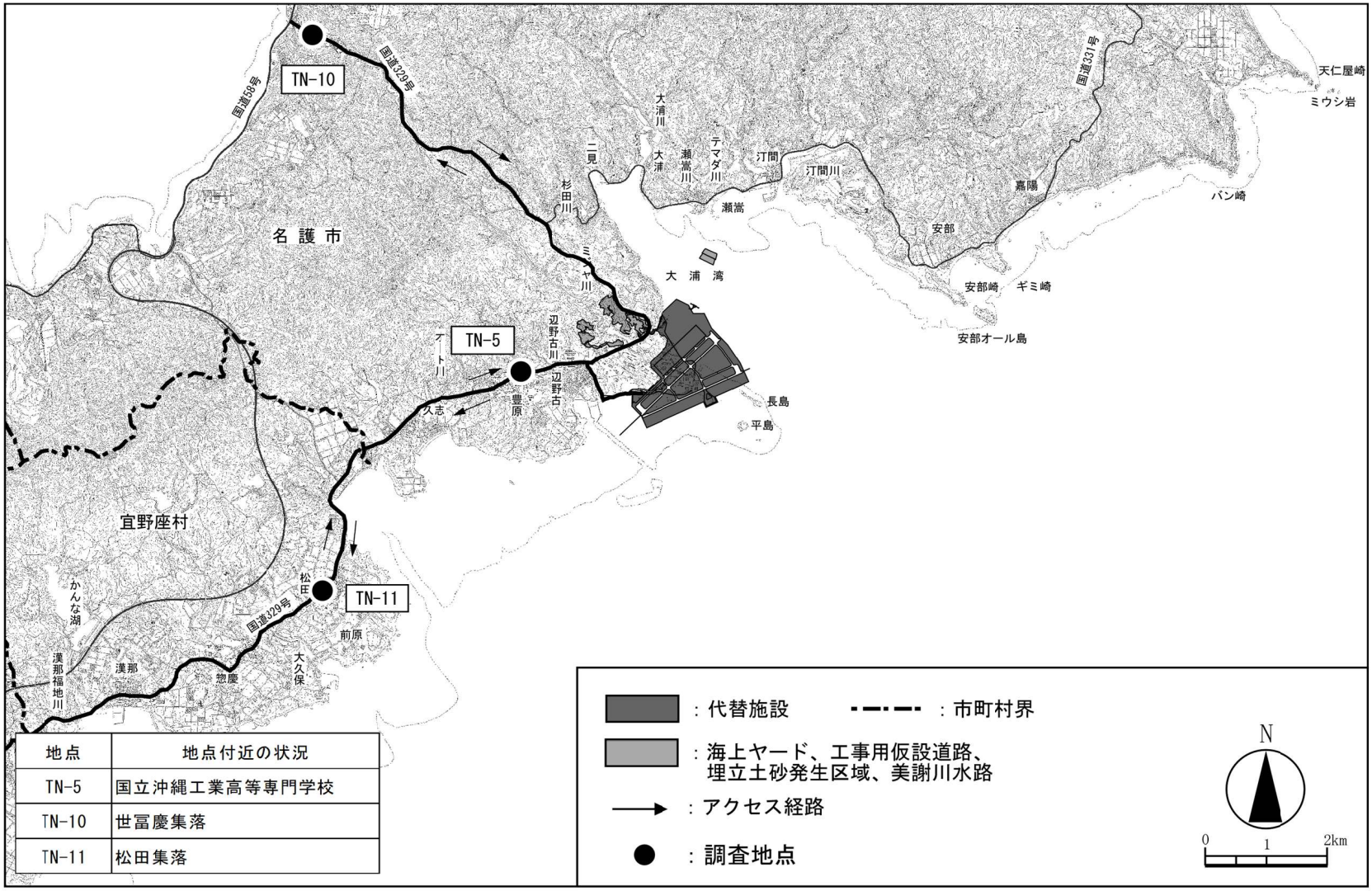
調査項目	調査実施日
・二酸化窒素(NO_2) ・二酸化硫黄(SO_2) ・浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	令和7年度春季：令和7年4月17～23日 令和7年度夏季：令和7年7月11～17日 令和7年度秋季：令和7年11月8～14日 令和7年度冬季：令和8年2月5～11日 ※調査は各季7日間の連続測定

3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.1.2に示すとおりです。

4) 調査方法

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査方法については、先述の「建設機械の稼働に伴う大気汚染物質」と同様の方法としました。



地点	地点付近の状況
TN-5	国立沖縄工業高等専門学校
TN-10	世冨慶集落
TN-11	松田集落

図-1.2.1.2　資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査地点

1.2.2 騒音

工事の実施に伴う影響を把握するために、資機材運搬車両等の運行に伴う道路交通騒音、建設機械の稼働に伴う建設作業騒音の調査を実施しました。

(1) 道路交通騒音

1) 調査項目及び調査地点

道路交通騒音の調査項目及び調査地点は表-1.2.2.1に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.2.1　調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・道路交通騒音 ・交通量	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計3地点

2) 調査実施日

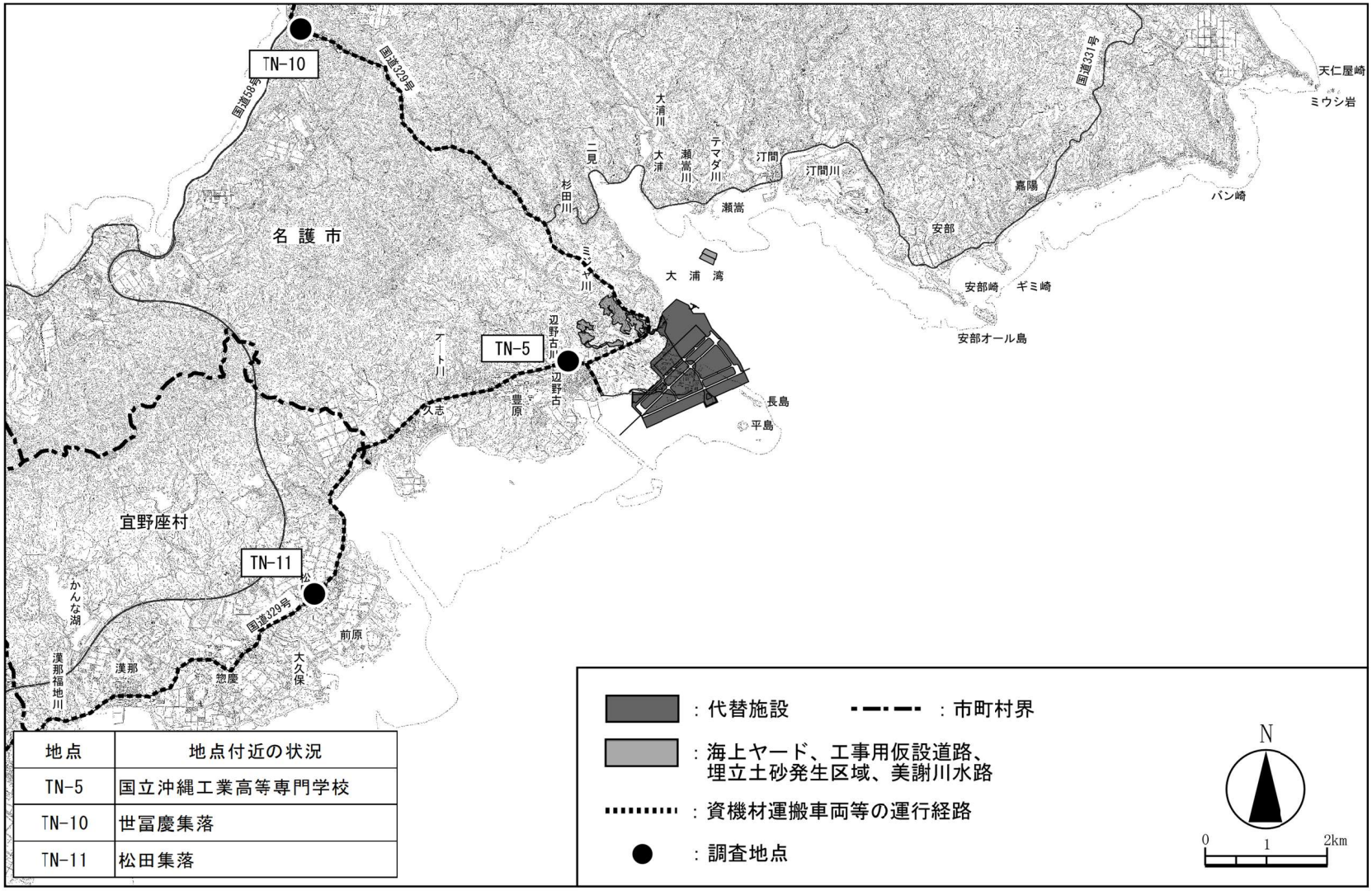
調査実施日は表-1.2.2.2に示すとおりです。

表-1.2.2.2　調査実施日

調査項目	調査実施日
・道路交通騒音 ・交通量	令和7年度春季：令和7年4月22日 令和7年度夏季：令和7年7月15日 令和7年度秋季：令和7年11月11日 令和7年度冬季：令和8年2月5日 ※調査は各調査日の24時間測定

3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.2.1に示すとおりです。



地点	地点付近の状況
TN-5	国立沖縄工業高等専門学校
TN-10	世冨慶集落
TN-11	松田集落

図-1.2.2.1　道路交通騒音の調査地点

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の沿道における道路交通騒音の調査地点の詳細は図-1.2.2.2 に、道路断面図は図-1.2.2.3 に示すとおりであり、3 地点とも国道 329 号の沿線上にあります。

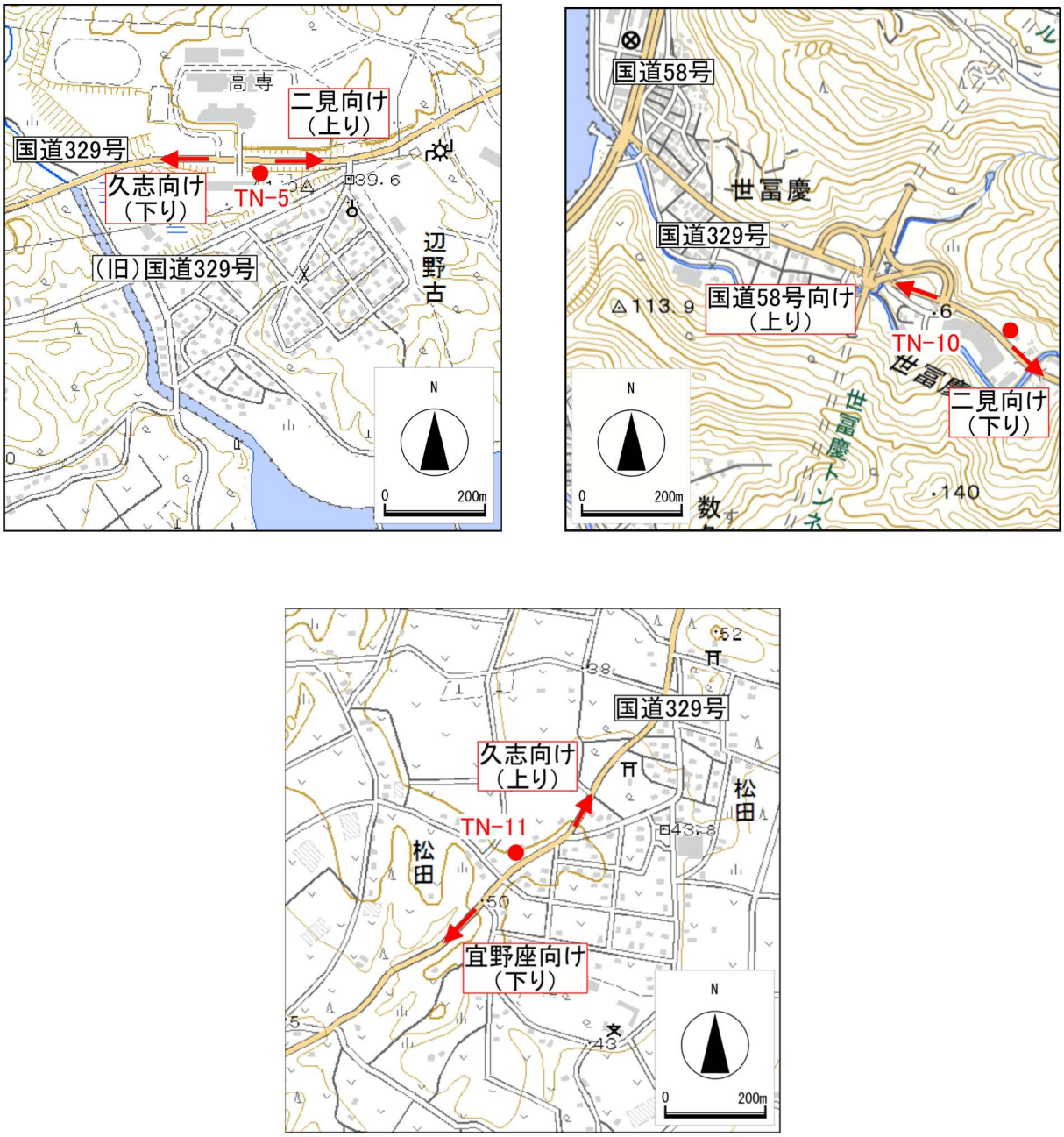


図-1.2.2.2　調査地点の詳細図

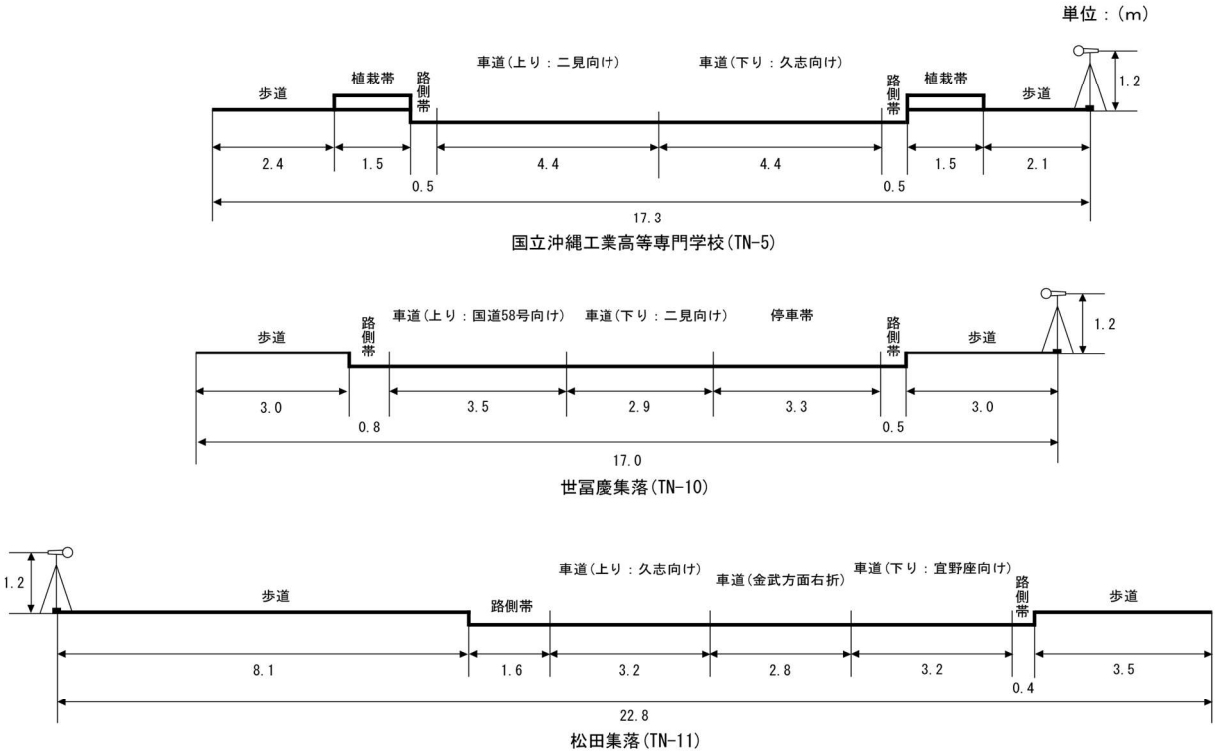


図-1.2.2.3　調査地点の道路断面図

4) 調査方法

道路交通騒音、交通量の調査は、調査地点の道路端において、測定機器を設置し 24 時間の測定を実施しました。各調査項目の方法は表-1.2.2.3 に示すとおりです。騒音計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.2.3　道路交通騒音、交通量の調査方法

調査項目	調査方法等
・道路交通騒音	「JIS Z 8731：2019“環境騒音の表示・測定方法”」に基づき、調査地点の道路端 1.2m の高さに騒音計を設置して測定を行いました。
・交通量	同地点で大型車、小型車、二輪車の車種別、上下方向別にカウンターを用いて交通量を記録しました。

騒音計

測定状況

(2) 建設作業騒音

1) 調査項目及び調査地点

建設作業騒音の調査項目及び調査地点は表-1.2.2.4に示すとおりです。

表-1.2.2.4　調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設作業騒音	国立沖縄工業高等専門学校(EN-10)、辺野古集落(EN-13)の2地点

2) 調査実施日

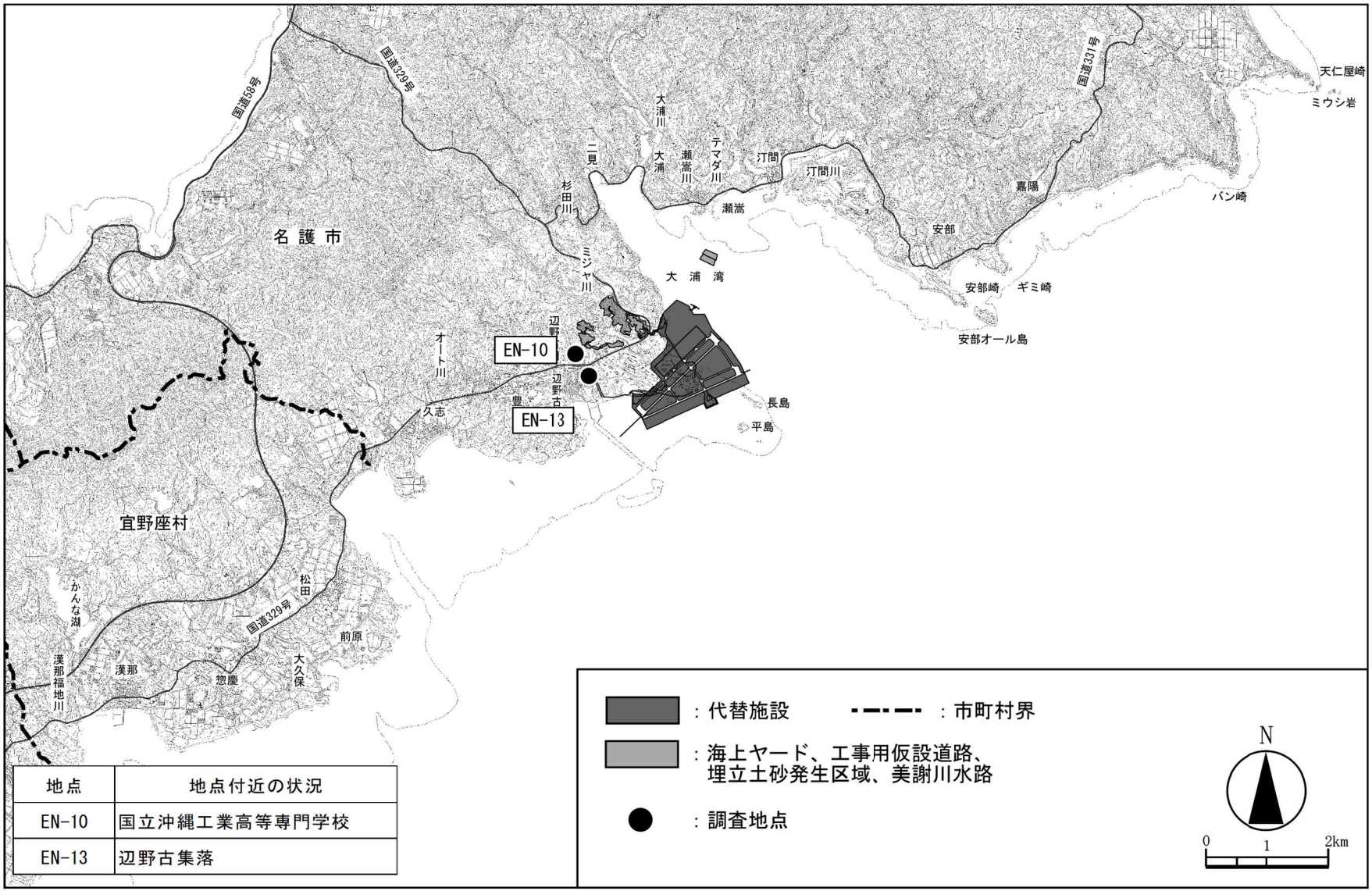
調査実施日は表-1.2.2.5に示すとおりです。

表-1.2.2.5　調査実施日

調査項目	調査実施日
・建設作業騒音	令和7年度春季：令和7年4月28日 令和7年度夏季：令和7年7月8日 令和7年度秋季：令和7年11月19日 令和7年度冬季：令和8年2月13日 ※調査は各調査日の16時間測定

3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.2.4に示すとおりです。



地点	地点付近の状況
EN-10	国立沖縄工業高等専門学校
EN-13	辺野古集落

図-1.2.2.4　建設作業騒音の調査地点

4）調査方法

工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点において測定機器を設置し、工事中の時間帯に測定を行いました。建設作業騒音の調査方法は表-1.2.2.6 に示すとおりです。騒音計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.2.6　建設作業騒音の調査方法

調査項目	調査方法等
・建設作業騒音	「JIS Z 8731：2019“環境騒音の表示・測定方法”」に基づき、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点で、1.2m の高さに騒音計を設置して測定を行いました。

騒音計

測定状況

1.2.3 振動

工事の実施に伴う影響を把握するために、資機材運搬車両等の運行に伴う道路交通振動及び建設機械の稼働に伴う建設作業振動の調査を実施しました。

(1) 道路交通振動

1) 調査項目及び調査地点

道路交通振動の調査項目及び調査地点は表-1.2.3.1に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.3.1　調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・道路交通振動	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)、世冨慶集落(TV-10)、松田集落(TV-11)の計3地点

2) 調査実施日

調査実施日は先述の「道路交通騒音」と同様の実施日としました。

3) 調査地点

調査地点は図-1.2.3.1に示すとおりです。

なお、先述の「道路交通騒音」と同様の地点としました。

4) 調査方法

調査地点の道路端において測定機器を設置し、24 時間の測定を実施しました。

道路交通振動の方法は表-1.2.3.2に示すとおりです。振動レベル計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

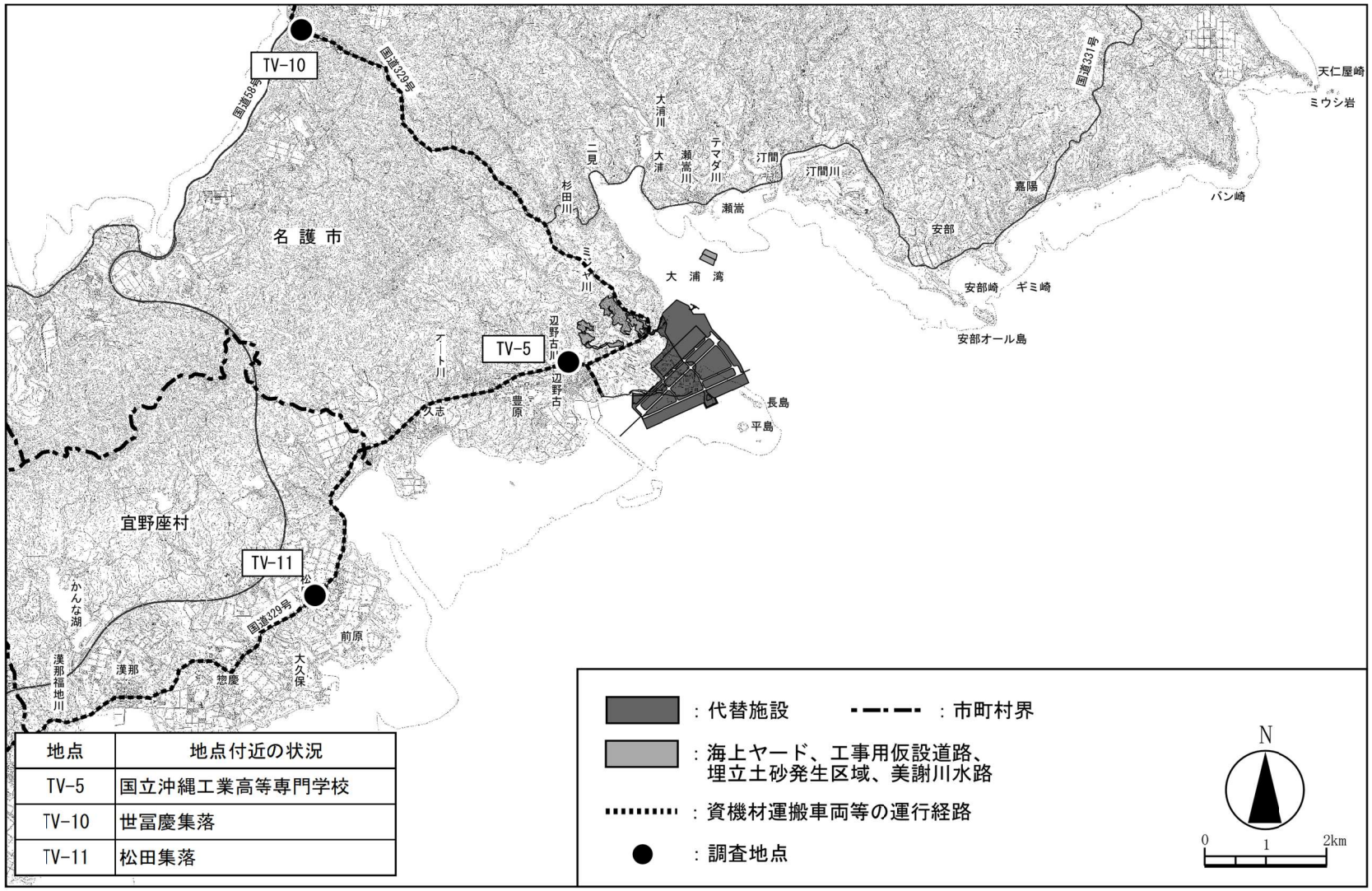
表-1.2.3.2　道路交通振動の調査方法

調査項目	調査方法等
・道路交通振動	「JIS Z 8735：1981“振動レベル測定方法”」に基づき、調査地点の道路端の平坦な地面に振動レベル計を設置して測定を行いました。

INPUT
VIBRATION LEVEL METER VM-55
LEVEL RANGE
DISPLAY
OUTPUT CAL
LIGHT
POWER
RION

振動レベル計

測定状況



地点	地点付近の状況
TV-5	国立沖縄工業高等専門学校
TV-10	世冨慶集落
TV-11	松田集落

図-1.2.3.1　道路交通振動の調査地点

(2) 建設作業振動

1) 調査項目及び調査地点

建設作業振動の調査項目及び調査地点は表-1.2.3.3に示すとおりです。

表-1.2.3.3　調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設作業振動	国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)の2地点

2) 調査実施日

調査実施日は先述の「建設作業騒音」と同様の実施日としました。

3) 調査地点

調査地点は図-1.2.3.2に示すとおりです。

なお、先述の「建設作業騒音」と同様の地点としました。

4) 調査方法

建設作業振動の調査は、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点において、測定機器を設置し工事中の時間帯に測定を行いました。建設作業振動の測定方法は表-1.2.3.4に示すとおりです。振動レベル計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

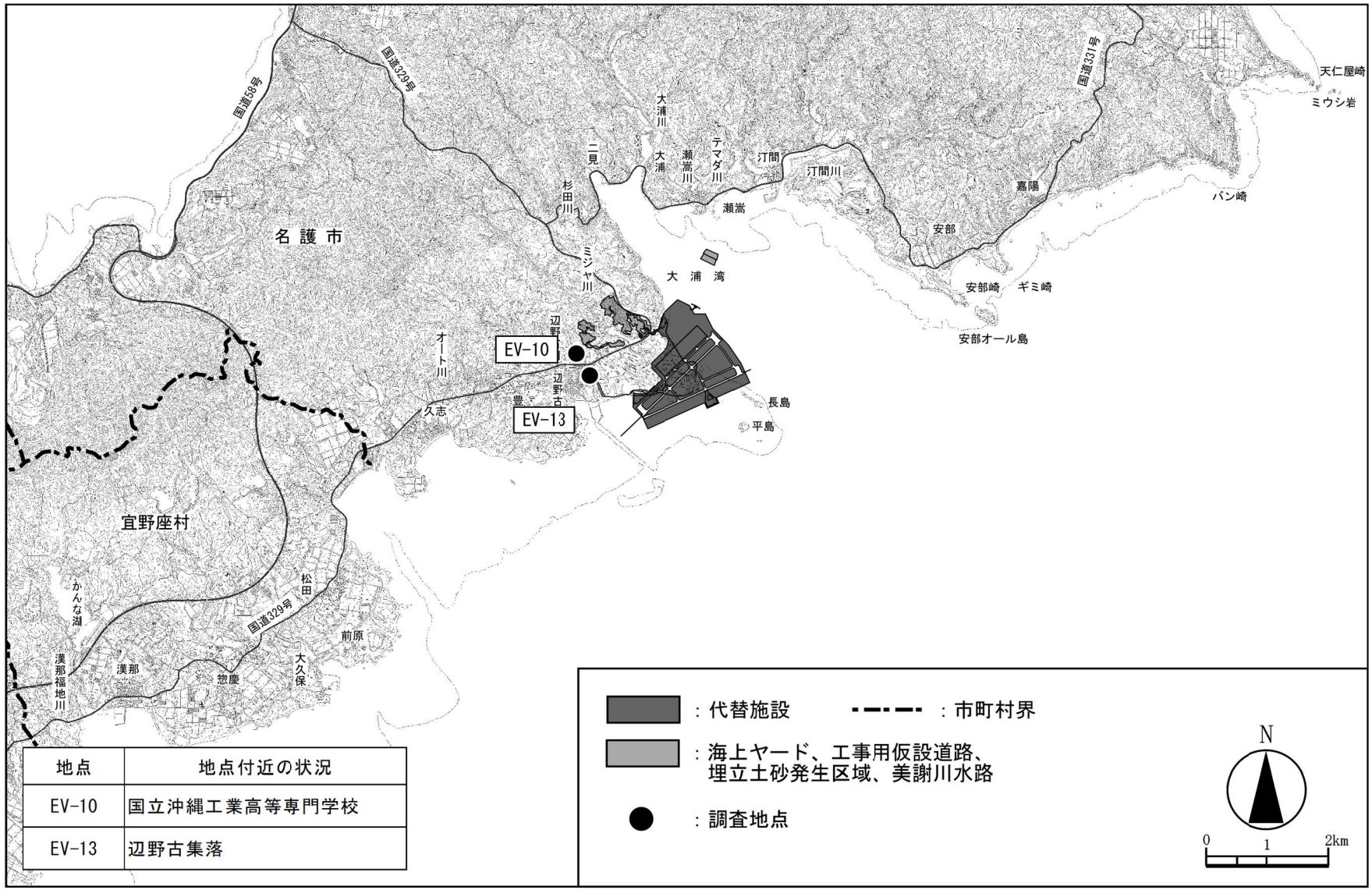
表-1.2.3.4　建設作業振動の調査方法

調査項目	調査方法等
・建設作業振動	「JIS Z 8735：1981“振動レベル測定方法”」に基づき、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点に振動レベル計を設置して測定を行いました。

INPUT
VIBRATION LEVEL METER VM-55
START / STOP
PAUSE / CONT
LEVEL RANGE
DISPLAY
OUTPUT CAL
LIGHT
POWER
RION

振動レベル計

測定状況



地点	地点付近の状況
EV-10	国立沖縄工業高等専門学校
EV-13	辺野古集落

図-1.2.3.2　建設作業振動の調査地点

1.2.4 低周波音

工事の実施に伴う影響を把握するために、建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音及び資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査を実施しました。

(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

1) 調査項目及び調査地点

建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査項目及び調査地点は表-1.2.4.1に示すとおりです。

表-1.2.4.1　調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音 ・風向・風速	国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、辺野古集落(LF-13)の2地点

2) 調査実施日

調査実施日は先述の「建設作業騒音」と同様の実施日としました。

3) 調査地点

調査地点は図-1.2.4.1に示すとおりです。

なお、先述の「建設作業騒音」と同様の地点としました。

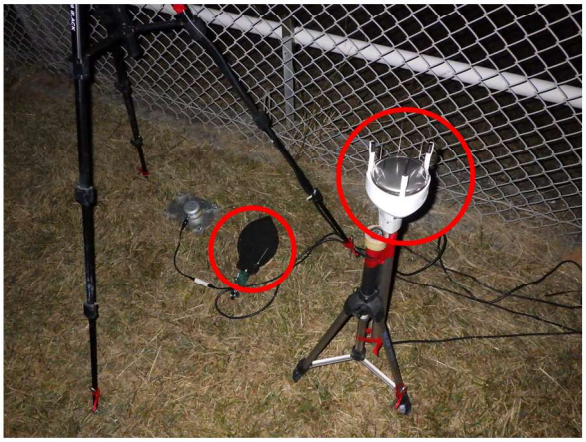
4) 調査方法

工事区域の敷地境界線に、測定機器を設置し、工事時間中の測定を実施しました。低周波音及び風向・風速の調査方法は表-1.2.4.2に示すとおりです。低周波音計、超音波型風向風速計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.4.2　低周波音及び風向・風速の調査方法

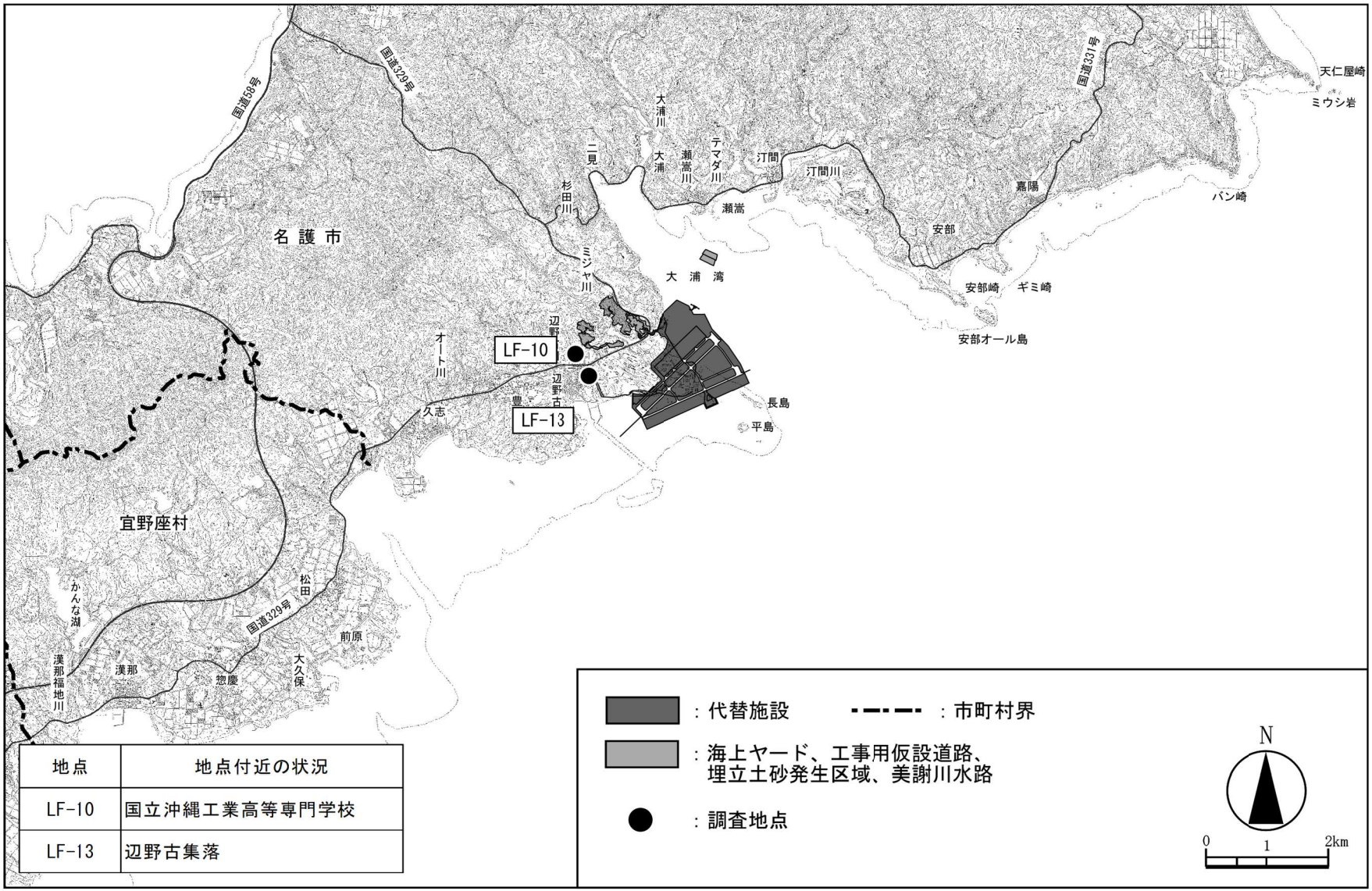
調査項目	調査方法等
・低周波音	低周波音測定マニュアル（環境省）に基づき、実時間周波数分析器を用いて1/3オクターブバンド中心周波数1～80Hzの1/3オクターブ音圧レベルを測定しました。
・風向・風速	超音波型風向風速計を用いて観測しました。

低周波音計



測定状況

超音波型風向風速計



地点	地点付近の状況
LF-10	国立沖縄工業高等専門学校
LF-13	辺野古集落

図-1.2.4.1　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査地点

(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

1) 調査項目及び調査地点

資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査項目及び調査地点は表-1.2.4.3に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.4.3　調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音 ・風向・風速	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計 3 地点

2) 調査実施日

調査実施日は先述の「道路交通騒音」と同様の実施日としました。

3) 調査地点

調査地点は先述の「道路交通騒音」と同様の地点としました。

4）調査方法

資機材運搬車両の運行に伴う低周波音については、調査地点の道路端に、測定機器を地面に設置し、24 時間の測定を実施しました。

なお、低周波音及び風向・風速の調査方法は先述の「建設機械の稼働に伴う低周波音」と同様としました。

低周波音計、超音波型風向風速計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

低周波音計

測定状況

超音波型風向風速計

1.2.5 底生動物等（移動後の状況監視）

(1) 調査項目

調査項目は移動個体の生息・生育状況（追跡調査）、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況及び浮遊生物の分布状況（生物相調査）としました。

(2) 調査実施日等

調査実施日等は表-1.2.5.1に示すとおりです。調査時期及び調査地点数は、環境保全措置として実施した底生動物等の移動実績を勘案して設定しました。

表-1.2.5.1(1)　調査項目及び調査地点

調査項目	調査実施日及び調査地点数	備考
追跡調査	【令和元～2 年度移植分（移植後 6 年目）】 令和 7 年繁茂期③（令和 7 年 4 月 28 日） 令和 7 年繁茂期④（令和 7 年 5 月 13 日） 【令和 2～3 年度移植分（移植後 5 年目）】 令和 7 年繁茂期③（令和 7 年 4 月 28 日） 令和 7 年繁茂期④（令和 7 年 5 月 13 日） 令和 8 年繁茂期①（令和 8 年 2 月 13 日） 令和 8 年繁茂期②（令和 8 年 3 月 24 日） 【令和 3～4 年度移植分（移植後 4 年目）】 令和 7 年繁茂期③（令和 7 年 4 月 28 日） 令和 7 年繁茂期④（令和 7 年 5 月 13 日） 令和 8 年繁茂期①（令和 8 年 2 月 13 日） 令和 8 年繁茂期②（令和 8 年 3 月 24 日） 【令和 4～5 年度移植分（移植後 3 年目）】 令和 7 年繁茂期③（令和 7 年 4 月 28 日） 令和 7 年繁茂期④（令和 7 年 5 月 13 日） 令和 8 年繁茂期①（令和 8 年 2 月 13 日） 令和 8 年繁茂期②（令和 8 年 3 月 24 日） 【令和 5～6 年度移植分（移植後 2 年目）】 令和 7 年繁茂期③（令和 7 年 4 月 28 日） 令和 7 年繁茂期④（令和 7 年 5 月 13 日） 令和 8 年繁茂期①（令和 8 年 2 月 13 日） 令和 8 年繁茂期②（令和 8 年 3 月 24 日） 【令和 6～7 年度移植分（移植後 1 年目）】 移植直後（令和 7 年 4 月 1、30 日） 移植 1 ヶ月後（令和 7 年 5 月 14 日） 移植 3 ヶ月後（令和 7 年 7 月 30 日） 移植 6 ヶ月後（令和 7 年 10 月 27 日） 令和 8 年繁茂期①（令和 8 年 2 月 13 日） 令和 8 年繁茂期②（令和 8 年 3 月 24 日）	ウミボッスを対象

注）ウミボッスは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、ここでは「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

表-1.2.5.1(2)　調査項目及び調査地点

調査項目			調査実施日及び調査地点数	備考
生物相調査				
	定性的調査	インベントリー調査（海岸部）	春季（令和7年4月14～18日）：19地点 夏季（令和7年8月18～22日）：19地点 秋季（令和7年11月3～7日）：19地点 冬季（令和8年2月2～6日）：19地点	
		インベントリー調査（海上部）	春季（令和7年5月19～22日）：12地点 夏季（令和7年8月25～28日）：12地点 秋季（令和7年11月21～24日）：12地点 冬季（令和8年2月16～18、20日）：12地点	
	定量的調査	底生動物調査	春季（令和7年5月15、16日）：4地点 夏季（令和7年9月4、5日）：4地点 秋季（令和7年10月22、23日）：4地点 冬季（令和8年1月28、29日）：4地点	
		潮間帯生物調査	春季（令和7年4月14日）：1地点 夏季（令和7年8月21日）：1地点 秋季（令和7年10月21日）：1地点 冬季（令和8年2月19日）：1地点	
		干潟生物分布調査	実施なし	対象種の移動を実施していないため
		浮遊生物調査（動物プランクトン、植物プランクトン）	春季（令和7年5月15、16日）：4地点 夏季（令和7年9月4、5日）：4地点 秋季（令和7年10月22、23日）：4地点 冬季（令和8年1月28、29日）：4地点	

注）干潟生物分布調査は、干潟域の底生動物を移動していないため実施していません。

(3) 調査方法及び調査地点・範囲

1) 追跡調査

(a) ウミボッス

追跡調査の調査地点は図-1.2.5.1に示すとおりです。

ウミボッスの移植先及びその周辺において、ウミボッスの生育状況を確認しました。併せて、その他の海藻類の出現種の概略についても把握しました。

なお、ウミボッスは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書」第7章及び「普天間飛行場代替施設建設事業に係る事後調査報告書」第4章・第8章に記載のとおり、改変区域内に生息する底生動物に関する環境保全措置の一環としてウミボッスの移動も行っているため、「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-1.2.5.1　底生動物等の移動先の状況監視　追跡調査　調査地点（ウミボッス）

2) 生物相調査

(a) インベントリー調査（定性的調査）

インベントリー調査の調査地点は図-1.2.5.2に示すとおりです。

移動・放流場所と近傍の「普天間飛行場代替施設建設に係る環境影響評価書」に示された調査地点（以下、「既往調査地点」とします。）が同様の環境である場合には、大型底生動物（貝類、甲殻類、棘皮類等）及び海藻草類を対象として生物種の目録作成を行いました。

各地点に存在する種々の環境に着目し、対象とする項目に応じて複数の調査員により目視観察及び生物採取を一定時間行った後、各調査員の目視観察記録及び採取生物を持ち寄り、確認種の記録、写真撮影等を行った後、各地点において放流しました。なお、採取生物のうち詳細検討が必要な個体は、沖縄県漁業調整規則を遵守する範囲で最小限の試料を持ち帰り、室内にて種の同定を行いました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-1.2.5.2　底生動物等の移動先の状況監視　生物相調査　調査地点
（インベントリー調査）

(b) 底生動物調査（定量的調査）

底生動物調査の調査地点は図-1.2.5.3に示すとおりです。

移動・放流場所が潮下帯等の海底の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、マクロベントスを対象として行いました。船上よりスミス・マッキンタイヤー型採泥器（採泥面積0.05m^2）を用いて表層堆積物を2回採取し、ふるい（目合い1mm）に残った試料を固定した後、同定、個体数の計数及び湿重量の測定を行いました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-1.2.5.3　底生動物等の移動先の状況監視　生物相調査　調査地点
（底生動物調査）

(c) 潮間帯生物調査（定量的調査）

潮間帯生物調査の調査地点は図-1.2.5.4 に示すとおりです。

移動・放流場所が潮間帯の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、表在性の大型底生動物及び海藻草類を対象として行いました。

潮上帯から潮下帯にかけてベルトトランセクト法による目視観察（測線に沿って 30cm×30cm の方形枠を連続して移動させながら、枠内に生息する動物及び植物を記録）により、地形・底質の状況、出現種、大型底生動物の個体数の概数、植物の被度（枠内の面積比）を記録しました。

目視観察後、各測線の代表地点 2 箇所（上層：潮上帯と平均水面の間、下層：平均水面と潮下帯の間）に 30cm×30cm の方形枠を設置し、岩盤の場合は付着生物の刈り取り、砂礫・転石地の場合は表層堆積物の採取（深さ約 5cm）を行い、目合い 1mm のふるいに残った試料を固定した後、同定、個体数の計数及び湿重量の測定を行いました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-1.2.5.4　底生動物等の移動先の状況監視　生物相調査　調査地点
（潮間帯生物調査）

(d) 浮遊生物調査（定量的調査）

浮遊生物調査の調査地点は図-1.2.5.5 に示すとおりです。

移動・放流場所が潮下帯等の海底の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、海水中の浮遊生物(植物プランクトン、動物プランクトン)を対象として行いました。

植物プランクトンについては、満潮時前後にバンドーン採水器を用いて海面下 0.5m 層で 5L 程度採水し、試料を固定した後、沈澱濃縮もしくは分離濃縮し、同定及び細胞数の計数を行いました。

動物プランクトンについては、満潮時前後に北原定量ネット（NXX13、網目幅 0.1mm）で鉛直曳き（リーフ内：底上～表層、リーフ外：底上～海面下 10m 及び海面下 10m ～表層の 2 層、水深が 10m 未満の場合は底上～表層までの 1 層）を行い、試料を固定した後、同定及び個体数の計数を行いました。なお、移動先の水深が 10m 未満であり、近傍の既往調査地点の水深が 10m 以上の場合には、移動先の生息環境として対象とする層は 10m 以浅の部分であることから、2 層での採取ではなく「海面下 10m ～表層」の 1 層を採取しました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-1.2.5.5　底生動物等の移動先の状況監視　生物相調査　調査地点
（浮遊生物調査）

1.2.6 サンゴ類（全域の状況監視）

(1) 調査項目

調査項目はサンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等としました。

(2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.6.1 に示すとおりです。調査は年 2 回（夏季及び冬季）実施しました。

表-1.2.6.1　調査実施日

調査項目	調査実施日
サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	夏季：令和 7 年 9 月 1～7 日 冬季：令和 8 年 1 月 23～29 日

(3) 調査地点・範囲

事後調査として実施するライン調査及びスポット調査を補完するため、図-1.2.6.1 に示す範囲で調査を実施しました。

(4) 調査方法

マンタ法により調査船に曳航された潜水調査員が海底を目視観察し、サンゴ類の生息被度、食害生物の出現状況、白化の状況、土砂の堆積状況等を記録しました。

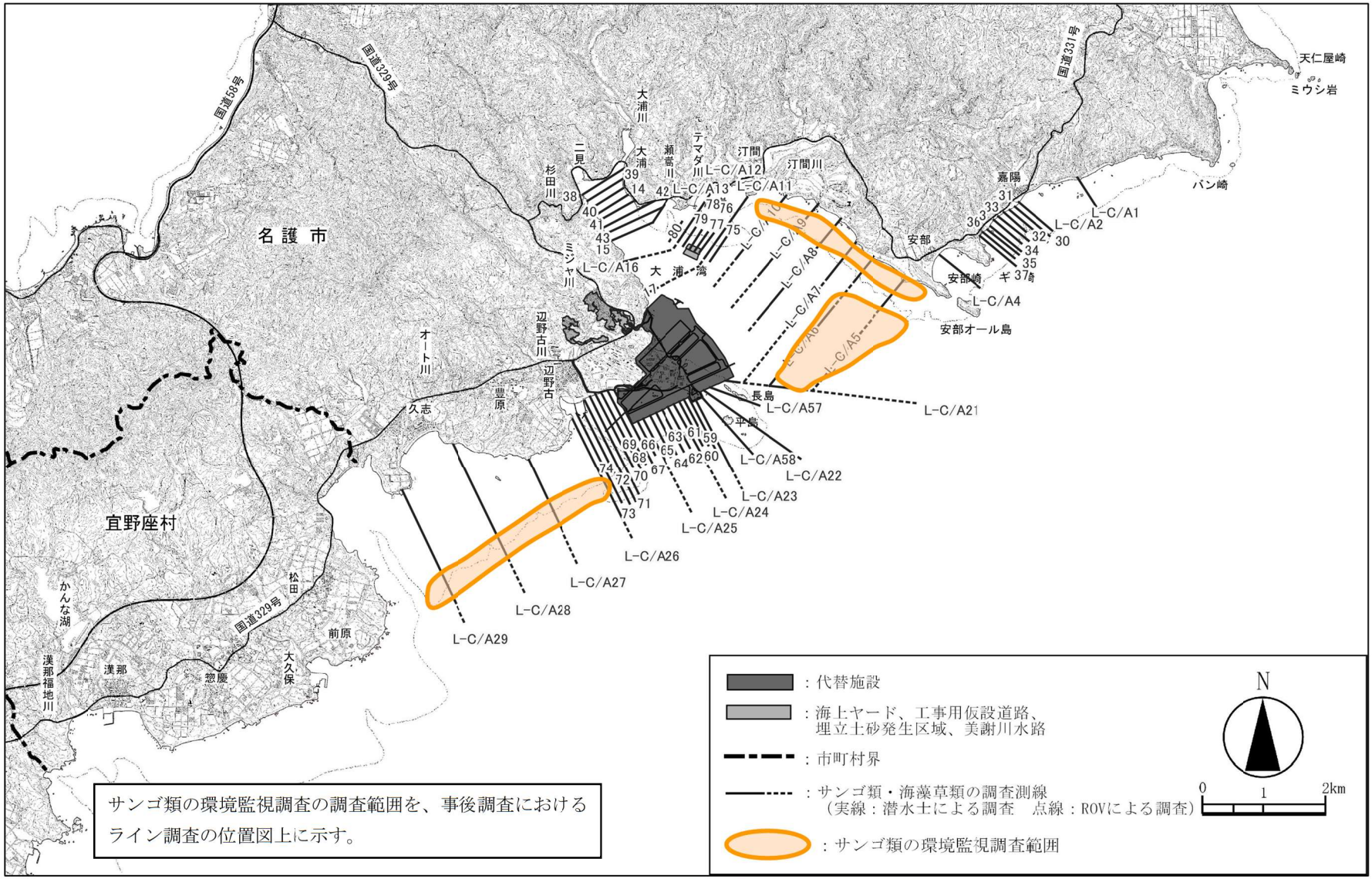


図-1.2.6.1　サンゴ類の環境監視調査範囲

1.2.7 海藻草類（全域の状況監視）

(1) 調査項目

調査項目は海藻草類の生育被度、生育状況等及びクビレミドロの生育状況等としました。

(2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.7.1 に示すとおりです。海藻草類は図-1.2.7.1 に示す範囲において、繁茂期及び衰退期の年 2 回実施しました。クビレミドロは繁茂期である春季とし、干潟上の生育状況の把握に適した大潮期に 2 回実施しました。

表-1.2.7.1　調査実施日

調査項目	調査実施日
海藻草類の生育被度、 生育状況等	夏季：令和 7 年 9 月 1～7 日 冬季：令和 8 年 1 月 23～29 日
クビレミドロ生育状況等	春季：令和 7 年 4 月 14、15、25 日

(3) 調査地点・範囲

事後調査として実施するライン調査及びスポット調査を補完するため、図-1.2.7.1 に示す範囲で調査を実施しました。

(4) 調査方法

1) 海藻草類の生育被度、生育状況等

マンタ法により調査船に曳航された潜水調査員が海底を目視観察し、海藻草類の生育被度、生育状況等を記録しました。

2) クビレミドロ生育状況等

既往調査においてクビレミドロが生育しているとされている範囲を踏査により目視観察し、クビレミドロの生育範囲、生育被度を記録しました。

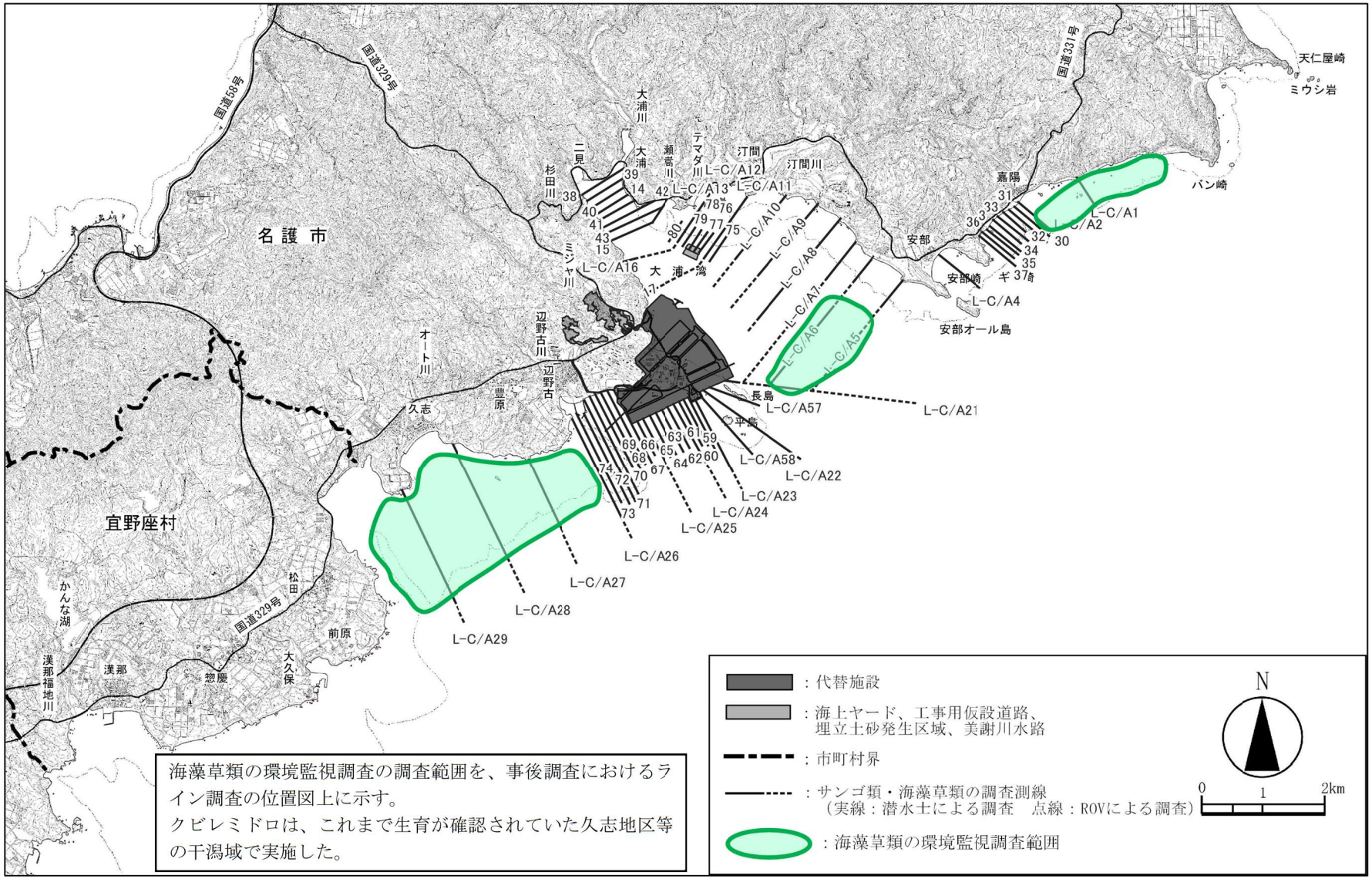


図-1.2.7.1　海藻草類の環境監視調査範囲

第 2 章　環境監視調査の結果

2.1 大気質

2.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

(1) 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度の状況

カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和 7 年度春季から冬季までの二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度は、表-2.1.1.1～表-2.1.1.4 に示すとおりです。

二酸化窒素の日平均値は 0.000～0.007ppm、二酸化硫黄の日平均値は 0.000～0.001ppm、1 時間値は 0.000～0.003ppm、浮遊粒子状物質の日平均値は 0.007～0.022mg/m^3、1 時間値は 0.010～0.063mg/m^3 の範囲で推移していました。

また、二酸化窒素及び二酸化硫黄の濃度は、環境監視基準と比較して低濃度であり、地点別ともに大きな変動はみられませんでした。

浮遊粒子状物質の濃度は、環境監視基準（1 日平均値は 0.10mg/m^3 以下、1 時間値は 0.20mg/m^3 以下）の約 1/3 の濃度でした。

表-2.1.1.1　建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和７年度春季）

物質	地点名	区分	令和7年度春季							平均	環境監視基準	達成率（%）
			4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日			
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.003	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.003	0.003	0.002	0.004	0.001	0.002	0.004	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	AT-1	日平均値	0.012	0.017	0.017	0.015	0.014	0.018	0.013	0.015	1日平均値が0.10mg/m^3以下、かつ1時間値が0.20mg/m^3以下	100
		1時間値	0.035	0.040	0.039	0.038	0.034	0.039	0.029	0.036		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.009	0.019	0.019	0.014	0.015	0.018	0.013	0.015		100
		1時間値	0.014	0.028	0.026	0.024	0.017	0.039	0.029	0.025		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.010	0.019	0.018	0.015	0.014	0.014	0.014	0.015		100
		1時間値	0.015	0.040	0.039	0.034	0.019	0.024	0.027	0.028		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.012	0.013	0.020	0.016	0.012	0.016	0.014	0.015		100
		1時間値	0.027	0.024	0.039	0.039	0.035	0.040	0.039	0.035		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		

注）1.地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
　　2.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.1.2　建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和７年度夏季）

物質	地点名	区分	令和7年度夏季							平均	環境監視基準	達成率（%）
			7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日			
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.001	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.005	0.007	0.006	0.005	0.006	0.007	0.005	0.006		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	AT-1	日平均値	0.013	0.013	0.009	0.007	0.007	0.011	0.008	0.010	1日平均値が0.10mg/m^3以下、かつ1時間値が0.20mg/m^3以下	100
		1時間値	0.018	0.025	0.018	0.015	0.026	0.019	0.017	0.020		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.013	0.014	0.011	0.009	0.008	0.011	0.008	0.011		100
		1時間値	0.018	0.021	0.018	0.019	0.021	0.019	0.017	0.019		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.013	0.012	0.016	0.012	0.011	0.014	0.009	0.012		100
		1時間値	0.035	0.029	0.032	0.030	0.028	0.039	0.022	0.031		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.013	0.013	0.012	0.014	0.016	0.015	0.011	0.013		100
		1時間値	0.036	0.038	0.037	0.045	0.039	0.045	0.028	0.038		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		

注）1.地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
　　2.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.1.3　建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和７年度秋季）

物質	地点名	区分	令和7年度秋季							平均	環境監視基準	達成率（%）
			11月19日	11月20日	11月21日	11月22日	11月23日	11月24日	11月25日			
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.001	0.003	0.004	0.004	0.002	0.002	0.002	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.000	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.001	0.001	0.002	0.001	0.000	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	AT-1	日平均値	0.016	0.017	0.014	0.013	0.019	0.012	0.020	0.016	1日平均値が0.10mg/m^3以下、かつ1時間値が0.20mg/m^3以下	100
		1時間値	0.037	0.039	0.063	0.036	0.044	0.037	0.036	0.042		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.009	0.009	0.011	0.015	0.016	0.012	0.020	0.013		100
		1時間値	0.013	0.014	0.015	0.022	0.021	0.037	0.036	0.023		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.011	0.010	0.011	0.016	0.016	0.013	0.020	0.014		100
		1時間値	0.020	0.016	0.016	0.027	0.027	0.033	0.037	0.025		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.010	0.012	0.013	0.016	0.014	0.011	0.022	0.014		100
		1時間値	0.027	0.039	0.038	0.039	0.031	0.024	0.041	0.034		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		

注）1.地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
　　2.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.1.4　建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和７年度冬季）

物質	地点名	区分	令和7年度冬季							平均	環境監視基準	達成率（%）
			2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日			
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.004	0.002	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であること	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	AT-1	日平均値	0.010	0.012	0.014	0.011	0.013	0.011	0.017	0.012	1日平均値が0.10mg/m^3以下、かつ1時間値が0.20mg/m^3以下	100
		1時間値	0.028	0.016	0.018	0.022	0.030	0.027	0.022	0.023		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-2	日平均値	0.009	0.010	0.011	0.009	0.012	0.011	0.017	0.011		100
		1時間値	0.012	0.014	0.014	0.018	0.026	0.027	0.022	0.019		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-3	日平均値	0.008	0.009	0.011	0.009	0.012	0.009	0.013	0.010		100
		1時間値	0.010	0.014	0.016	0.017	0.027	0.012	0.018	0.016		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	AT-8	日平均値	0.014	0.008	0.014	0.011	0.015	0.016	0.011	0.013		100
		1時間値	0.040	0.026	0.039	0.031	0.048	0.038	0.034	0.037		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		

注）1.地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
　　2.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

(2) 気象の状況

1) 風向・風速

大気質の調査地点において、風向・風速の観測を行っており、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和 7 年度春季から冬季までの風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.1.1.5 及び図-2.1.1.1～図-2.1.1.4 に示すとおりです。

令和 7 年度春季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)で東南東寄り、大浦集落(AT-2)で北北東寄り、二見集落(AT-3)で北寄り、辺野古集落(AT-8)で北北西寄りの風が卓越し、二見集落(AT-3)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。風速については、カヌチャリゾート(AT-1)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和 7 年度夏季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)で東寄り、大浦集落(AT-2)で北北東寄り、二見集落(AT-3)で東南東寄り、辺野古集落(AT-8)で南南東寄りの風が卓越していました。風速については、カヌチャリゾート(AT-1)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和 7 年度秋季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)、辺野古集落(AT-8)で北北西寄り、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)で北寄りの風が卓越し、二見集落(AT-3)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。風速については、大浦集落(AT-2)が他の地点と比較して速くなっていました。

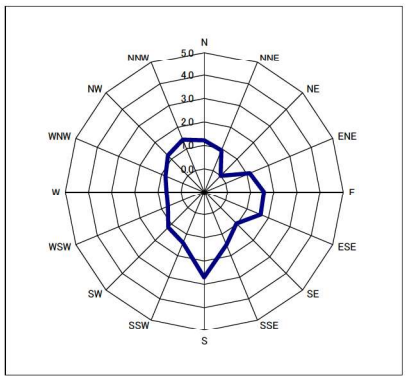
令和 7 年度冬季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)で北西寄り、大浦集落(AT-2)で北寄り、二見集落(AT-3)で東寄り、辺野古集落(AT-8)で北北西寄りの風が卓越し、二見集落(AT-3)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。風速については、大浦集落(AT-2)が他の地点と比較して速くなっていました。

表-2.1.1.5　風向・風速の調査結果一覧

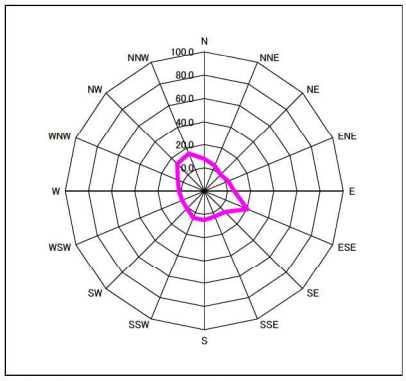
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	AT-1	AT-2	AT-3	AT-8
R7年度春季	最多風向	ESE	NNE	N	NNW
	平均風速	1.3	1.2	0.9	1.1
R7年度夏季	最多風向	E	NNE	ESE	SSE
	平均風速	1.6	1.3	1.1	1.3
R7年度秋季	最多風向	NNW	N	N	NNW
	平均風速	1.3	1.5	0.9	1.1
R7年度冬季	最多風向	NW	N	E	NNW
	平均風速	1.4	1.5	0.8	1.2

注）地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。



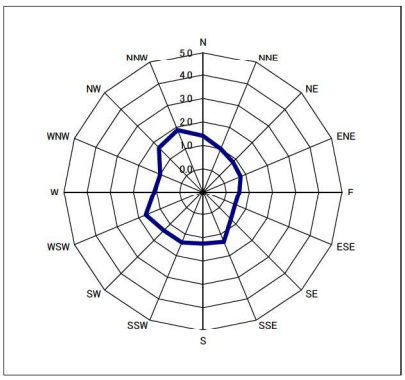
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.2
NNE	0.9
NE	0.0
ENE	1.1
E	1.6
ESE	1.6
SE	1.0
SSE	1.5
S	2.7
SSW	1.4
SW	1.2
WSW	0.7
W	0.6
WNW	0.8
NW	1.2
NNW	1.4



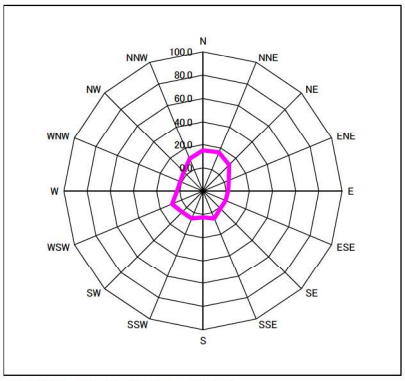
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	7.7
NNE	3.6
NE	0.0
ENE	2.4
E	6.0
ESE	20.2
SE	5.4
SSE	3.6
S	4.8
SSW	4.8
SW	1.2
WSW	0.6
W	1.8
WNW	4.8
NW	13.1
NNW	14.9
calm	5.4

観測期間：令和7年4月25日～5月1日

カヌチャリゾート（AT-1）



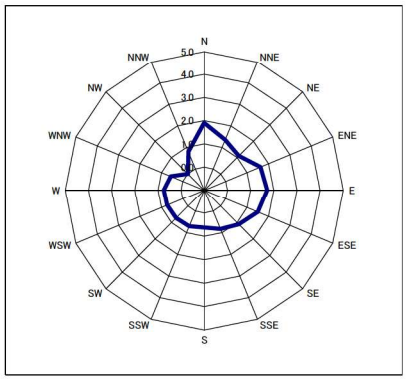
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.4
NNE	1.0
NE	0.8
ENE	0.8
E	0.6
ESE	0.5
SE	0.7
SSE	1.4
S	1.3
SSW	1.4
SW	1.4
WSW	1.7
W	1.1
WNW	1.0
NW	1.7
NNW	1.9



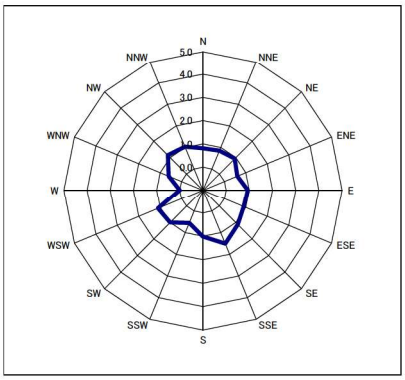
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	14.9
NNE	16.1
NE	11.9
ENE	4.2
E	1.8
ESE	1.2
SE	1.2
SSE	5.4
S	2.4
SSW	5.4
SW	5.4
WSW	8.9
W	2.4
WNW	1.2
NW	3.6
NNW	10.1
calm	4.2

観測期間：令和7年4月25日～5月1日

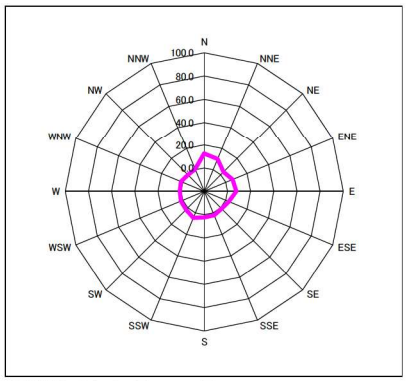
大浦集落（AT-2）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.9
NNE	1.4
NE	1.1
ENE	1.6
E	1.7
ESE	1.5
SE	1.1
SSE	0.8
S	0.6
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.8
WNW	0.6
NW	0.0
NNW	0.8



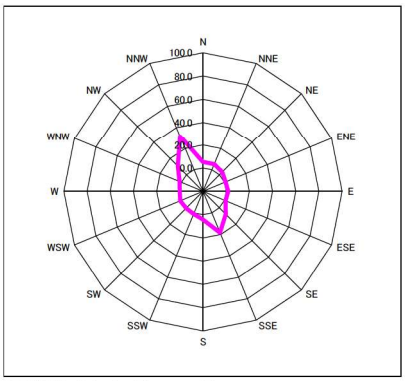
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	0.8
NNE	0.0
NE	0.9
ENE	0.6
E	0.9
ESE	0.9
SE	1.1
SSE	1.5
S	1.0
SSW	0.6
SW	1.0
WSW	1.1
W	0.0
WNW	0.6
NW	1.1
NNW	1.0



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	12.5
NNE	10.1
NE	3.6
ENE	6.5
E	7.7
ESE	3.0
SE	1.2
SSE	2.4
S	2.4
SSW	4.8
SW	2.4
WSW	1.8
W	1.2
WNW	1.8
NW	0.0
NNW	0.6
calm	38.1

観測期間：令和7年4月25日～5月1日

二見集落（AT-3）

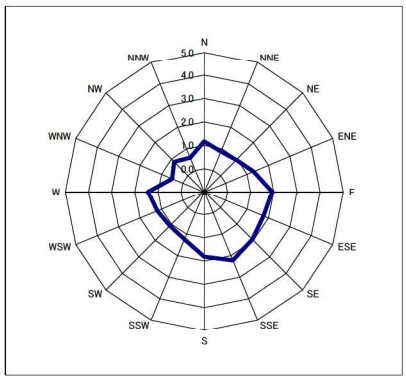


風向（16方位）	出現頻度（%）
N	5.4
NNE	5.4
NE	3.6
ENE	1.2
E	1.8
ESE	1.2
SE	7.7
SSE	18.5
S	4.2
SSW	1.2
SW	0.6
WSW	1.2
W	0.0
WNW	1.8
NW	10.7
NNW	31.5
calm	4.2

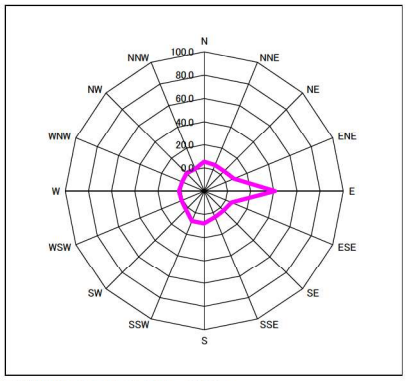
観測期間：令和7年4月25日～5月1日

辺野古集落（AT-8）

図-2.1.1.1　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度春季）



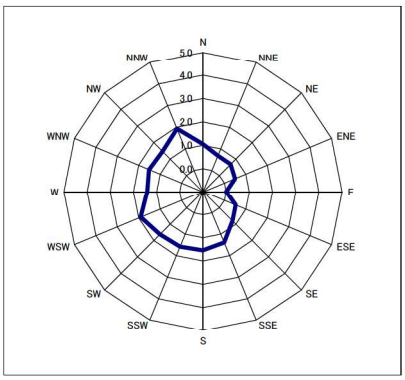
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.2
NNE	0.9
NE	1.0
ENE	1.3
E	1.9
ESE	1.8
SE	1.9
SSE	2.2
S	1.8
SSW	1.2
SW	1.1
WSW	1.2
W	1.4
WNW	0.5
NW	0.8
NNW	0.6



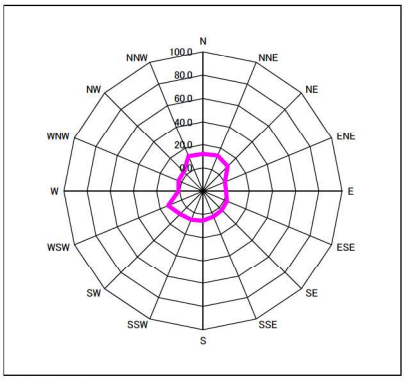
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	5.4
NNE	4.2
NE	4.2
ENE	7.7
E	41.1
ESE	5.4
SE	3.6
SSE	4.2
S	7.7
SSW	7.7
SW	2.4
WSW	1.2
W	1.8
WNW	0.6
NW	1.8
NNW	0.6
calm	0.6

観測期間：令和7年7月3日～7月9日

カヌチャリゾート（AT-1）



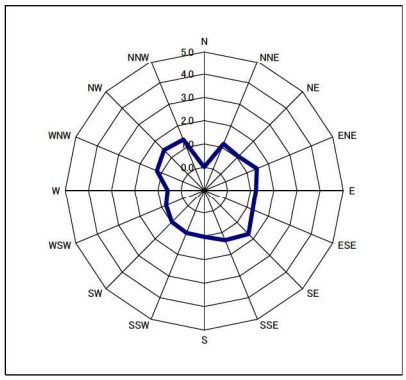
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.1
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	0.5
E	0.0
ESE	0.5
SE	0.8
SSE	1.4
S	1.5
SSW	1.6
SW	1.6
WSW	1.9
W	1.4
WNW	1.5
NW	1.5
NNW	1.9



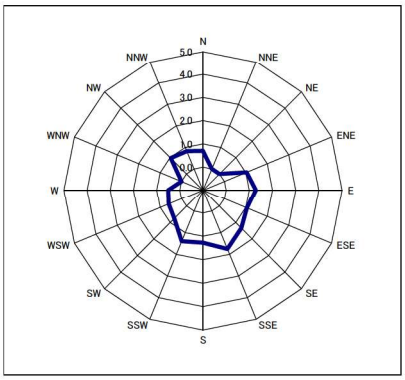
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	11.9
NNE	13.1
NE	10.1
ENE	0.6
E	0.0
ESE	2.4
SE	3.0
SSE	3.6
S	5.4
SSW	6.5
SW	7.7
WSW	12.5
W	1.2
WNW	3.0
NW	3.6
NNW	12.5
calm	3.0

観測期間：令和7年7月3日～7月9日

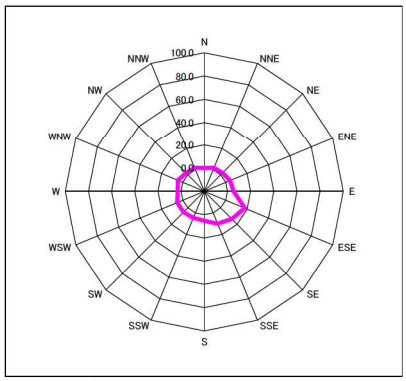
大浦集落（AT-2）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	0.0
NNE	1.2
NE	1.1
ENE	1.5
E	1.2
ESE	1.3
SE	1.7
SSE	1.4
S	1.0
SSW	1.0
SW	1.0
WSW	0.8
W	0.6
WNW	1.2
NW	1.5
NNW	1.4



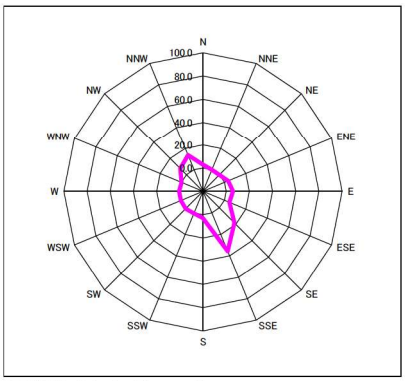
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	0.7
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	1.0
E	1.3
ESE	1.1
SE	1.3
SSE	1.8
S	1.3
SSW	1.4
SW	0.8
WSW	0.6
W	0.5
WNW	0.0
NW	1.0
NNW	0.8



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	0.0
NNE	1.8
NE	2.4
ENE	4.2
E	5.4
ESE	17.9
SE	13.7
SSE	10.1
S	5.4
SSW	4.8
SW	5.4
WSW	5.4
W	3.0
WNW	4.8
NW	2.4
NNW	1.8
calm	11.9

観測期間：令和7年7月3日～7月9日

二見集落（AT-3）

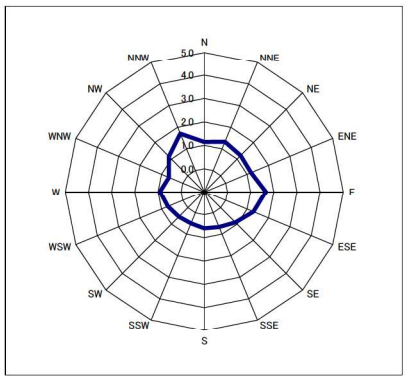


風向（16方位）	出現頻度（%）
N	3.0
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	3.6
E	6.0
ESE	4.8
SE	18.5
SSE	35.7
S	3.0
SSW	0.6
SW	1.2
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.0
NW	7.7
NNW	13.7
calm	1.2

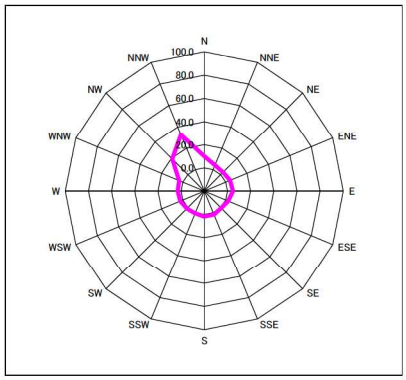
観測期間：令和7年7月3日～7月9日

辺野古集落（AT-8）

図-2.1.1.2　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度夏季）



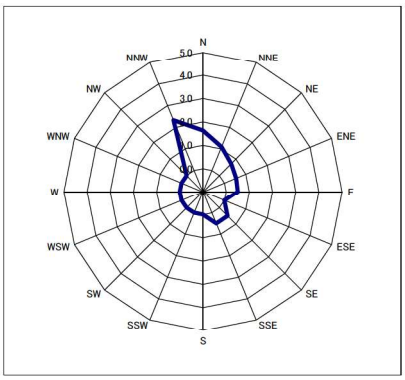
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.1
NNE	1.3
NE	1.2
ENE	1.2
E	1.7
ESE	1.3
SE	0.9
SSE	0.7
S	0.6
SSW	0.5
SW	0.6
WSW	0.7
W	0.9
WNW	0.7
NW	1.2
NNW	1.7



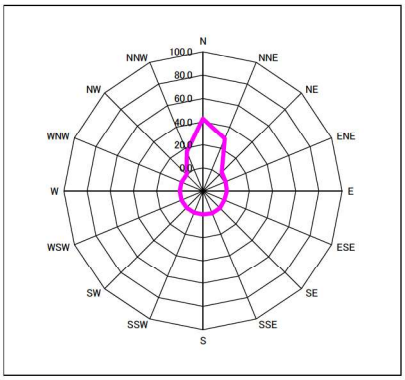
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	10.1
NNE	4.2
NE	3.0
ENE	4.2
E	4.8
ESE	2.4
SE	0.6
SSE	1.8
S	1.8
SSW	0.6
SW	1.2
WSW	2.4
W	3.0
WNW	3.6
NW	19.0
NNW	32.7
calm	4.8

観測期間：令和7年11月19日～11月25日

カヌチャリゾート（AT-1）



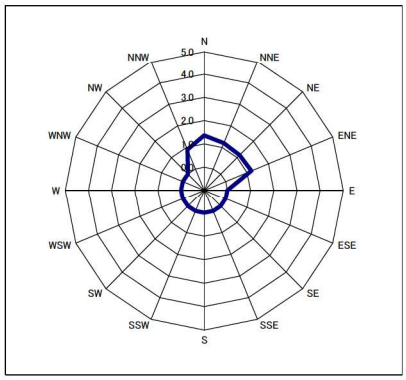
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.6
NNE	1.1
NE	0.7
ENE	0.6
E	0.5
ESE	0.0
SE	0.5
SSE	0.5
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	2.3



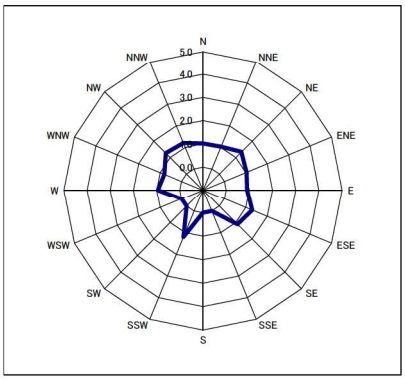
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	42.9
NNE	29.2
NE	3.0
ENE	1.2
E	0.6
ESE	0.0
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	16.7
calm	5.4

観測期間：令和7年11月19日～11月25日

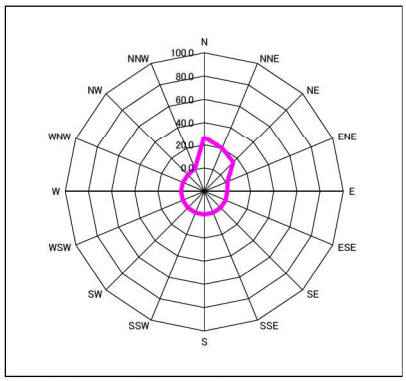
大浦集落（AT-2）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.4
NNE	1.2
NE	1.2
ENE	1.2
E	0.0
ESE	0.0
SE	0.0
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.9



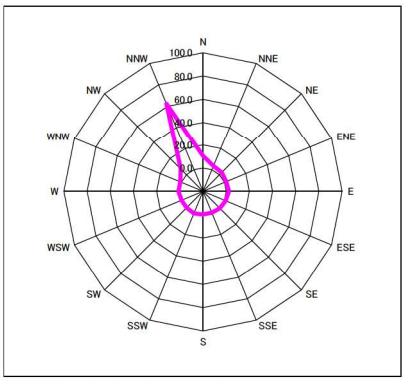
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.0
NNE	1.0
NE	1.3
ENE	1.0
E	0.9
ESE	1.3
SE	1.1
SSE	0.0
S	0.0
SSW	1.2
SW	0.0
WSW	0.0
W	1.0
WNW	0.8
NW	1.3
NNW	1.2



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	26.8
NNE	20.2
NE	15.5
ENE	1.8
E	0.0
ESE	0.0
SE	0.0
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	1.2
calm	34.5

観測期間：令和7年11月19日～11月25日

二見集落（AT-3）

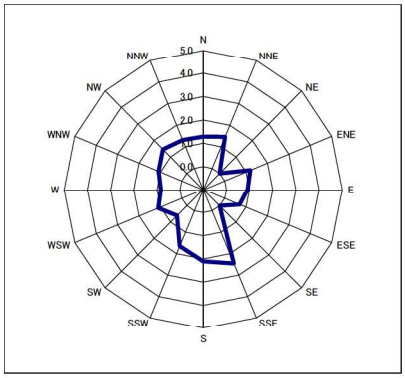


風向（16方位）	出現頻度（%）
N	10.7
NNE	3.6
NE	3.0
ENE	1.8
E	2.4
ESE	1.2
SE	0.6
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.6
SW	0.0
WSW	0.0
W	1.2
WNW	1.2
NW	7.1
NNW	62.5
calm	4.2

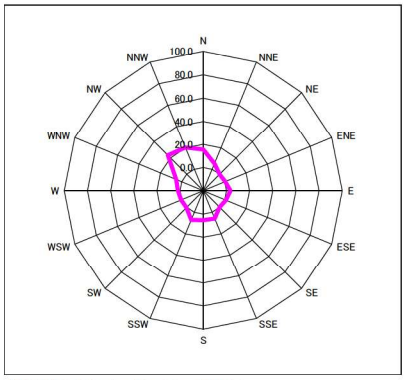
観測期間：令和7年11月19日～11月25日

辺野古集落（AT-8）

図-2.1.1.3　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度秋季）



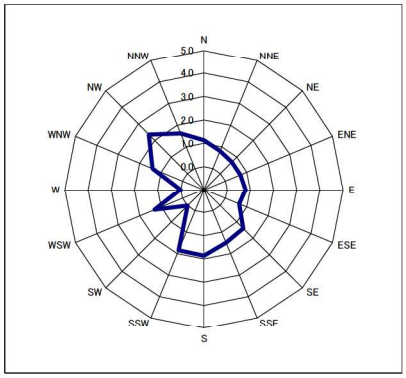
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.3
NNE	1.5
NE	0.0
ENE	1.2
E	0.9
ESE	0.7
SE	0.0
SSE	2.5
S	2.1
SSW	1.7
SW	0.6
WSW	1.1
W	0.8
WNW	1.1
NW	1.5
NNW	1.3



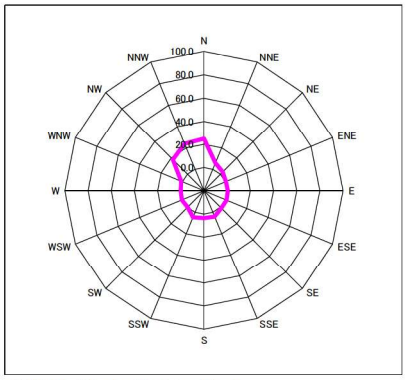
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	15.5
NNE	5.4
NE	0.0
ENE	0.6
E	3.6
ESE	1.2
SE	0.0
SSE	6.0
S	5.4
SSW	7.1
SW	0.6
WSW	0.6
W	1.8
WNW	5.4
NW	23.2
NNW	20.2
calm	3.6

観測期間：令和8年2月13日～2月19日

カヌチャリゾート（AT-1）



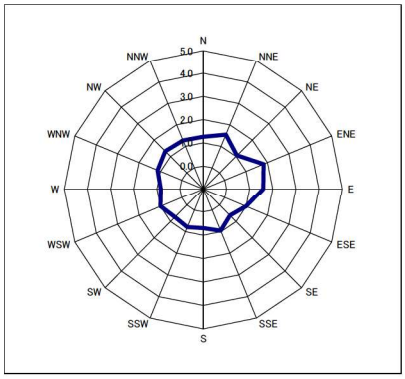
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.1
NNE	0.8
NE	0.7
ENE	0.7
E	0.8
ESE	0.7
SE	1.4
SSE	1.5
S	1.9
SSW	1.9
SW	0.0
WSW	1.3
W	0.0
WNW	1.4
NW	2.4
NNW	1.6



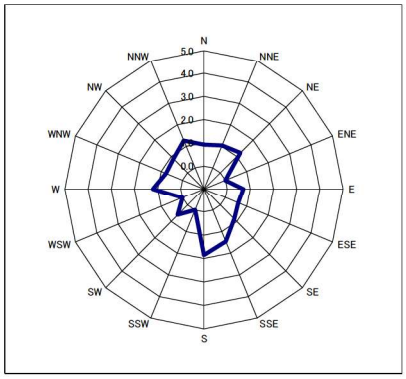
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	25.0
NNE	6.0
NE	3.0
ENE	0.6
E	0.6
ESE	1.2
SE	1.2
SSE	4.2
S	3.6
SSW	4.8
SW	0.0
WSW	0.6
W	0.0
WNW	1.2
NW	17.9
NNW	23.8
calm	6.5

観測期間：令和8年2月13日～2月19日

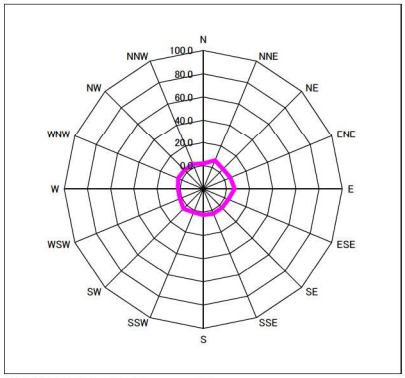
大浦集落（AT-2）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.3
NNE	1.5
NE	1.1
ENE	1.8
E	1.6
ESE	1.0
SE	0.6
SSE	1.0
S	0.7
SSW	0.8
SW	0.7
WSW	1.0
W	0.8
WNW	1.1
NW	1.3
NNW	1.3



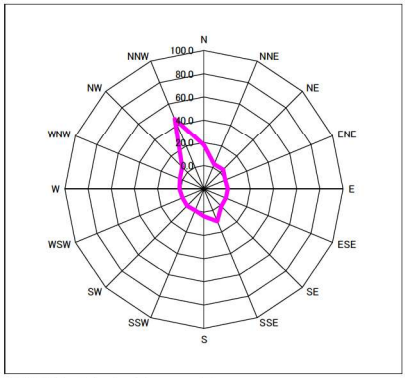
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	0.9
NNE	1.0
NE	1.2
ENE	0.0
E	0.7
ESE	0.6
SE	0.9
SSE	1.5
S	1.9
SSW	0.0
SW	0.6
WSW	0.0
W	1.2
WNW	0.8
NW	0.9
NNW	1.3



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	1.8
NNE	6.5
NE	4.2
ENE	5.4
E	7.1
ESE	3.6
SE	3.0
SSE	3.0
S	2.4
SSW	1.8
SW	4.2
WSW	1.8
W	1.8
WNW	3.6
NW	3.0
NNW	3.0
calm	44.0

観測期間：令和8年2月13日～2月19日

二見集落（AT-3）



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	17.9
NNE	3.0
NE	3.6
ENE	0.0
E	0.6
ESE	0.6
SE	1.2
SSE	10.1
S	3.6
SSW	0.0
SW	0.6
WSW	0.0
W	1.2
WNW	2.4
NW	6.5
NNW	45.8
calm	3.0

観測期間：令和8年2月13日～2月19日

辺野古集落（AT-8）

図-2.1.1.4　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度冬季）

2) 気温・湿度

大気質の調査地点において、気温・湿度の観測を行っており、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和 7 年度春季から冬季までの気温調査結果一覧は表-2.1.1.6 に、湿度調査結果一覧は表-2.1.1.7 に示すとおりです。

令和 7 年度春季の平均気温は 18.2～22.4℃、夏季は 27.0～30.7℃、秋季は 18.6～22.0℃、冬季は 13.3～20.3℃の範囲となっており、夏季と冬季との平均気温差は約 12℃でした。

令和 7 年度春季の平均湿度は 65～93%、夏季は 66～91%、秋季は 60～80%、冬季は 55～90%の範囲となっており、春季に湿度が高くなる傾向がみられました。

表-2.1.1.6　気温の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和7年度春季							期間
			4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	
気温（℃）	AT-1	日平均値	18.2	18.7	22.0	21.7	20.4	20.7	22.4	20.6
		日最高値	21.6	21.9	24.5	24.8	25.3	24.3	25.8	25.8
		日最低値	15.7	16.6	19.5	19.3	16.5	16.2	20.0	15.7
	AT-2	日平均値	18.8	19.0	21.0	22.0	20.0	19.7	21.6	20.3
		日最高値	21.9	22.2	24.0	24.8	23.8	25.6	25.4	25.6
		日最低値	17.0	17.3	16.9	19.3	15.2	14.5	17.7	14.5
	AT-3	日平均値	18.6	18.7	20.9	21.9	19.7	19.2	21.6	20.1
		日最高値	21.3	21.6	23.7	24.9	23.8	24.0	25.6	25.6
		日最低値	16.7	17.0	16.6	19.5	14.8	13.8	17.5	13.8
	AT-8	日平均値	19.2	19.2	21.9	22.0	20.0	19.2	21.6	20.4
		日最高値	23.2	23.6	25.5	25.6	24.9	24.0	25.6	25.6
		日最低値	17.0	17.0	16.8	18.5	14.5	13.8	17.5	13.8

項目	地点名	区分	令和7年度夏季							期間
			7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	
気温（℃）	AT-1	日平均値	28.7	27.9	29.1	29.1	29.4	27.4	27.6	28.5
		日最高値	31.7	30.6	32.2	32.0	33.0	30.3	30.2	33.0
		日最低値	26.5	26.7	26.4	26.8	27.1	25.0	26.3	25.0
	AT-2	日平均値	27.8	27.4	28.9	29.0	28.9	27.6	27.8	28.2
		日最高値	31.4	31.0	33.8	33.6	32.5	31.5	29.8	33.8
		日最低値	24.9	24.5	25.0	26.4	25.7	25.2	25.9	24.5
	AT-3	日平均値	28.0	27.1	28.5	28.4	28.3	27.0	27.5	27.8
		日最高値	31.2	30.8	32.1	31.7	31.9	30.3	30.4	32.1
		日最低値	24.8	24.3	25.0	25.8	25.2	24.7	25.3	24.3
	AT-8	日平均値	30.4	29.0	30.7	29.8	30.1	27.0	27.5	29.2
		日最高値	33.5	32.8	34.8	34.0	34.6	30.3	30.4	34.8
		日最低値	26.2	25.1	25.9	26.4	25.8	24.7	25.3	24.7

項目	地点名	区分	令和7年度秋季							期間
			11月19日	11月20日	11月21日	11月22日	11月23日	11月24日	11月25日	
気温（℃）	AT-1	日平均値	18.6	19.6	20.4	20.8	21.1	22.0	20.9	20.5
		日最高値	19.6	23.0	23.0	24.9	25.6	26.9	24.7	26.9
		日最低値	17.9	17.6	19.1	17.2	18.1	19.4	18.6	17.2
	AT-2	日平均値	19.4	19.7	20.3	20.1	19.7	20.2	19.7	19.9
		日最高値	20.6	22.5	23.2	23.6	24.2	24.7	23.3	24.7
		日最低値	18.4	17.6	18.0	16.2	15.8	17.2	16.3	15.8
	AT-3	日平均値	19.2	19.7	19.6	19.8	19.3	19.8	19.5	19.6
		日最高値	20.4	24.0	23.1	25.4	26.4	26.1	24.3	26.4
		日最低値	18.3	17.1	17.2	15.3	14.9	16.3	15.5	14.9
	AT-8	日平均値	19.4	19.6	20.2	19.6	19.6	19.8	19.5	19.7
		日最高値	20.8	24.0	24.2	26.0	26.5	26.1	24.3	26.5
		日最低値	18.5	16.6	17.3	14.7	15.4	16.3	15.5	14.7

項目	地点名	区分	令和7年度冬季							期間
			2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	
気温（℃）	AT-1	日平均値	16.3	19.2	20.3	19.7	16.3	15.7	15.6	17.6
		日最高値	21.0	22.9	23.0	21.9	17.4	19.8	21.1	23.0
		日最低値	12.3	14.6	18.2	17.8	15.5	12.4	12.4	12.3
	AT-2	日平均値	13.8	16.6	18.5	19.3	16.8	15.7	13.9	16.4
		日最高値	20.3	22.4	22.5	22.1	18.3	18.2	19.7	22.5
		日最低値	9.4	10.9	14.9	17.0	15.8	11.6	9.9	9.4
	AT-3	日平均値	13.3	16.2	18.2	18.9	16.8	15.6	13.7	16.1
		日最高値	20.2	22.7	22.2	21.9	18.5	18.4	19.6	22.7
		日最低値	8.2	10.5	14.3	16.7	15.8	11.2	10.0	8.2
	AT-8	日平均値	16.3	19.2	20.3	19.7	16.3	15.6	13.7	17.3
		日最高値	21.0	22.9	23.0	21.9	17.4	18.4	19.6	23.0
		日最低値	12.3	14.6	18.2	17.8	15.5	11.2	10.0	10.0

注）1.地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
　　2.期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

表-2.1.1.7　湿度の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和7年度春季							期間
			4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	
湿度(%)	AT-1	日平均値	86	87	78	93	67	65	84	80
		日最高値	99	97	94	99	83	77	99	99
		日最低値	74	66	62	82	47	53	71	47
	AT-2	日平均値	85	88	86	91	71	74	88	83
		日最高値	97	97	97	97	94	89	97	97
		日最低値	69	65	68	80	43	55	74	43
	AT-3	日平均値	89	93	88	92	75	79	90	86
		日最高値	99	99	99	98	95	97	98	99
		日最低値	78	74	75	82	44	58	77	44
	AT-8	日平均値	83	87	81	92	72	71	84	81
		日最高値	98	98	98	98	99	95	97	99
		日最低値	64	62	61	85	36	51	68	36

項目	地点名	区分	令和7年度夏季							期間
			7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	
湿度(%)	AT-1	日平均値	71	81	79	80	83	87	80	80
		日最高値	83	93	95	92	94	98	88	98
		日最低値	56	71	69	66	67	73	72	56
	AT-2	日平均値	75	84	81	80	84	84	79	81
		日最高値	93	93	96	93	94	96	88	96
		日最低値	55	69	57	59	68	71	73	55
	AT-3	日平均値	76	87	84	84	89	91	84	85
		日最高値	90	93	95	94	98	99	98	99
		日最低値	58	73	68	67	73	78	75	58
	AT-8	日平均値	66	78	73	78	81	84	79	77
		日最高値	87	92	93	93	96	97	92	97
		日最低値	53	63	56	59	60	70	66	53

項目	地点名	区分	令和7年度秋季							期間
			11月19日	11月20日	11月21日	11月22日	11月23日	11月24日	11月25日	
湿度(%)	AT-1	日平均値	77	64	72	66	69	68	64	69
		日最高値	85	76	78	75	79	82	80	85
		日最低値	71	51	63	50	51	49	53	49
	AT-2	日平均値	68	61	72	67	74	78	68	70
		日最高値	81	79	84	83	86	92	92	92
		日最低値	58	46	58	51	55	56	52	46
	AT-3	日平均値	66	60	75	69	77	80	68	71
		日最高値	80	85	87	87	93	96	95	96
		日最低値	57	43	57	47	50	54	50	43
	AT-8	日平均値	66	62	72	71	75	77	69	70
		日最高値	76	86	86	87	91	97	95	97
		日最低値	59	43	54	46	50	47	50	43

項目	地点名	区分	令和7年度冬季							期間
			2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	
湿度(%)	AT-1	日平均値	56	67	83	85	89	66	55	72
		日最高値	67	81	87	93	98	87	68	98
		日最低値	40	54	75	66	77	53	38	38
	AT-2	日平均値	72	77	89	87	85	66	68	78
		日最高値	89	96	98	98	94	87	90	98
		日最低値	42	54	76	63	73	49	39	39
	AT-3	日平均値	76	79	88	90	85	66	70	79
		日最高値	95	97	98	98	96	85	89	98
		日最低値	46	56	78	68	75	51	40	40
	AT-8	日平均値	56	67	83	85	89	66	55	72
		日最高値	67	81	87	93	98	87	68	98
		日最低値	40	54	75	66	77	53	38	38

注）1.地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
　　2.期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

2.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

(1) 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度の状況

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和7年度春季から冬季までの二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度は、表-2.1.2.1～表-2.1.2.4に示すとおりです。

二酸化窒素の日平均値は 0.000～0.008ppm、二酸化硫黄の日平均値は 0.000～0.001ppm、1 時間値は 0.000～0.002ppm、浮遊粒子状物質の日平均値は 0.008～0.031mg/m^3、1時間値は0.014～0.059mg/m^{3}の範囲で推移していました。

また、二酸化窒素及び二酸化硫黄の濃度は、環境監視基準と比較して低濃度であり、季節別と地点別ともに大きな変動はみられませんでした。

浮遊粒子状物質の濃度は、環境監視基準（1日平均値は0.10mg/m^{3}以下、1時間値は0.20mg/m^{3}以下）の約1/3の濃度でした。

表-2.1.2.1　資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧
(令和7年度春季)

物質	地点名	区分	令和7年度春季							平均	環境監視基準	達成率(%)
			4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日			
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.003	0.005	0.004	0.006	0.006	0.005	0.008	0.005	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.004	0.004	0.002	0.002	0.003	0.003	0.004	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.002	0.003	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	TN-5	日平均値	0.025	0.015	0.011	0.017	0.011	0.013	0.018	0.016	1日平均値が0.10mg/m^{3}以下、かつ1時間値が0.20mg/m^{3}以下	100
		1時間値	0.041	0.040	0.038	0.036	0.036	0.035	0.035	0.037		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.024	0.012	0.011	0.013	0.008	0.013	0.020	0.014		100
		1時間値	0.030	0.024	0.039	0.030	0.018	0.025	0.044	0.030		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.024	0.017	0.011	0.017	0.014	0.015	0.017	0.017		100
		1時間値	0.040	0.035	0.034	0.040	0.040	0.043	0.037	0.038		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		

注）1.地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
2.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.2.2　資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧
(令和７年度夏季)

物質	地点名	区分	令和7年度夏季							平均	環境監視基準	達成率(%)
			7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日			
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.000	0.001	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.006	0.005	0.004	0.006	0.007	0.007	0.006	0.006		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.003	0.002	0.002	0.001	0.003	0.002	0.001	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	TN-5	日平均値	0.011	0.011	0.015	0.020	0.019	0.015	0.014	0.015	1日平均値が0.10mg/m^3以下、かつ1時間値が0.20mg/m^3以下	100
		1時間値	0.024	0.018	0.030	0.028	0.026	0.023	0.034	0.026		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.023	0.022	0.030	0.026	0.026	0.030	0.027	0.026		100
		1時間値	0.045	0.045	0.049	0.049	0.049	0.049	0.049	0.048		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.024	0.021	0.022	0.022	0.021	0.022	0.020	0.022		100
		1時間値	0.049	0.039	0.039	0.042	0.050	0.049	0.041	0.044		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		

注）1.地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
　　2.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.2.3　資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧
(令和７年度秋季)

物質	地点名	区分	令和7年度秋季							平均	環境監視基準	達成率(%)
			11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日			
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.003	0.003	0.003	0.007	0.007	0.001	0.004	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.001	0.000	0.007	0.005	0.003	0.003	0.004	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.000	0.001	0.002	0.002	0.000	0.003	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.000	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.002	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	TN-5	日平均値	0.014	0.015	0.022	0.019	0.018	0.016	0.013	0.017	1日平均値が0.10mg/m^3以下、かつ1時間値が0.20mg/m^3以下	100
		1時間値	0.035	0.035	0.047	0.040	0.048	0.034	0.038	0.040		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.013	0.022	0.024	0.025	0.020	0.026	0.018	0.021		100
		1時間値	0.041	0.056	0.050	0.049	0.059	0.055	0.047	0.051		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.014	0.015	0.020	0.031	0.026	0.016	0.011	0.019		100
		1時間値	0.020	0.039	0.037	0.049	0.050	0.043	0.022	0.037		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		

注）1.地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
　　2.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.2.4　資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧
(令和７年度冬季)

物質	地点名	区分	令和7年度冬季							平均	環境監視基準	達成率(%)
			2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日			
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.005	0.004	0.003	0.001	0.006	0.004	0.003	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.003	0.004	0.002	0.001	0.003	0.002	0.003	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	TN-5	日平均値	0.012	0.012	0.015	0.014	0.011	0.013	0.019	0.014	1日平均値が0.10mg/m^3以下、かつ1時間値が0.20mg/m^3以下	100
		1時間値	0.030	0.054	0.035	0.034	0.036	0.032	0.057	0.040		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-10	日平均値	0.014	0.012	0.015	0.012	0.011	0.012	0.018	0.013		100
		1時間値	0.040	0.042	0.031	0.025	0.023	0.025	0.039	0.032		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		
	TN-11	日平均値	0.011	0.010	0.012	0.011	0.009	0.008	0.015	0.011		100
		1時間値	0.014	0.015	0.031	0.023	0.017	0.015	0.029	0.021		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	－		

注）1.地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
　　2.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

(2) 気象の状況

1) 風向・風速

大気質の調査において、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和7年度春季から冬季までの風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.1.2.5及び図-2.1.2.1～図-2.1.2.4に示すとおりです。

令和7年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で東南東寄り、世冨慶集落(TN-10)で南寄り、松田集落(TN-11)で東寄りの風が卓越していました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和7年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で西北西寄り、世冨慶集落(TN-10)で北寄り、松田集落(TN-11)で西南西寄りの風が卓越していました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和7年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で北北東寄り、世冨慶集落(TN-10)で南南西寄り、松田集落(TN-11)で東寄りの風が卓越し、世冨慶集落(TN-10)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)が他の地点と比較して速くなっていました。

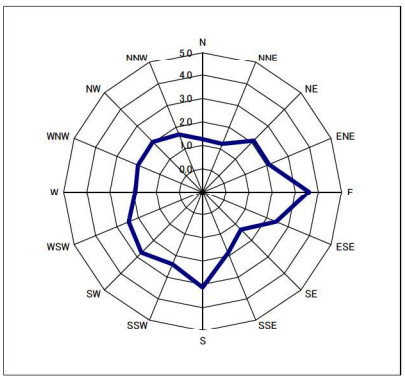
令和7年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で北北東寄り、世冨慶集落(TN-10)で西寄り、松田集落(TN-11)で北西寄りの風が卓越していました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)が他の地点と比較して速くなっていました。

表-2.1.2.5　風向・風速の調査結果一覧

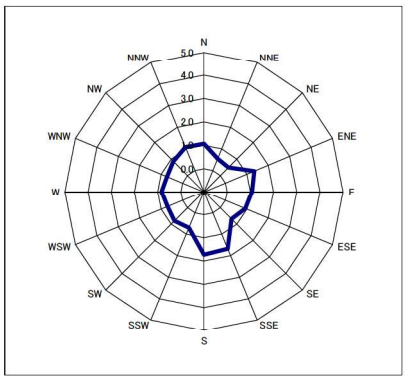
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	TN-5	TN-10	TN-11
R7年度春季	最多風向	ESE	S	E
	平均風速	2.4	1.3	2.2
R7年度夏季	最多風向	WNW	N	WSW
	平均風速	2.3	1.0	1.9
R7年度秋季	最多風向	NNE	SSW	E
	平均風速	3.3	1.0	2.9
R7年度冬季	最多風向	NNE	W	NW
	平均風速	2.7	1.0	1.8

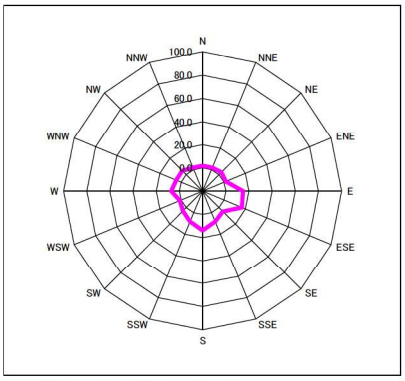
注）地点名の TN-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10 は世冨慶集落、TN-11 は松田集落の国道 329 号沿道を示します。



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.3
NNE	1.2
NE	2.1
ENE	2.1
E	3.6
ESE	2.4
SE	1.3
SSE	1.9
S	3.1
SSW	2.4
SW	2.7
WSW	2.5
W	1.9
WNW	2.0
NW	2.0
NNW	1.7



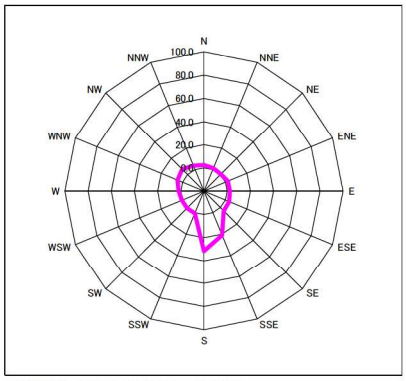
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.1
NNE	0.6
NE	0.5
ENE	1.4
E	1.1
ESE	0.9
SE	0.7
SSE	1.7
S	1.7
SSW	0.7
SW	0.8
WSW	0.7
W	0.8
WNW	0.7
NW	0.9
NNW	1.1



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	1.8
NNE	1.8
NE	3.0
ENE	1.8
E	14.9
ESE	16.7
SE	4.8
SSE	8.3
S	13.7
SSW	8.3
SW	4.2
WSW	1.2
W	7.1
WNW	4.8
NW	4.8
NNW	1.8
calm	1.2

観測期間：令和7年4月17日～4月23日

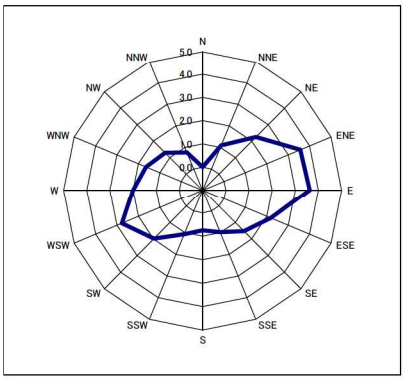
国立沖縄工業高等専門学校（TN-5）



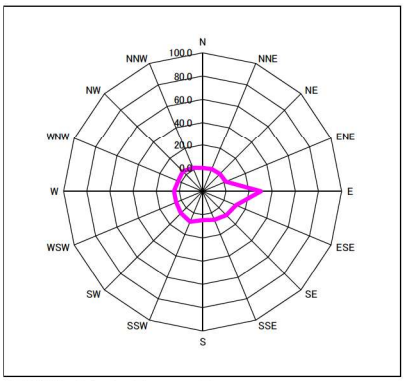
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	2.4
NNE	1.2
NE	0.6
ENE	2.4
E	2.4
ESE	3.6
SE	4.2
SSE	20.8
S	31.5
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	1.8
WNW	4.8
NW	6.5
NNW	3.6
calm	12.5

観測期間：令和7年4月17日～4月23日

世冨慶集落（TN-10）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	0.0
NNE	1.1
NE	2.3
ENE	3.6
E	3.6
ESE	2.2
SE	1.5
SSE	1.0
S	0.8
SSW	1.1
SW	2.0
WSW	2.8
W	2.0
WNW	1.6
NW	1.3
NNW	0.8

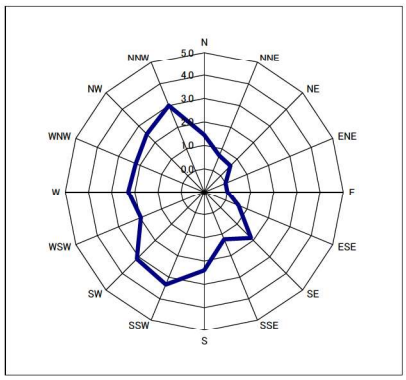


風向（16方位）	出現頻度（%）
N	0.0
NNE	0.6
NE	1.2
ENE	1.8
E	30.4
ESE	11.3
SE	8.9
SSE	6.5
S	4.8
SSW	8.3
SW	6.5
WSW	4.8
W	4.8
WNW	3.0
NW	4.2
NNW	1.8
calm	1.2

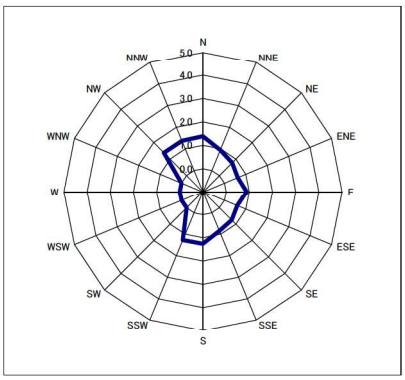
観測期間：令和7年4月17日～4月23日

松田集落（TN-11）

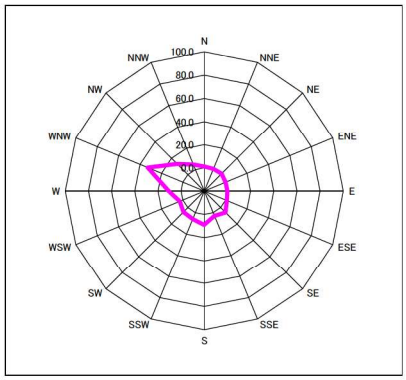
図-2.1.2.1　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度春季）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.5
NNE	0.7
NE	0.6
ENE	0.0
E	0.0
ESE	0.6
SE	1.9
SSE	1.2
S	2.4
SSW	3.3
SW	3.1
WSW	2.0
W	2.3
WNW	2.2
NW	2.5
NNW	3.0



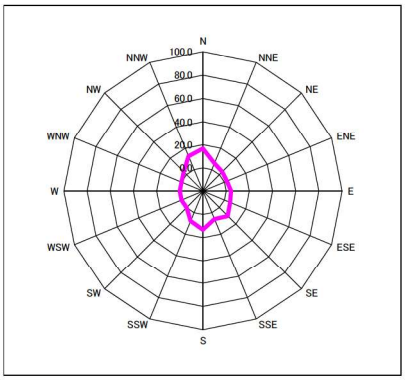
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.4
NNE	1.0
NE	0.8
ENE	0.6
E	0.9
ESE	0.6
SE	0.8
SSE	0.9
S	1.3
SSW	1.3
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	1.4
NNW	1.4



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	1.2
NNE	0.6
NE	1.2
ENE	0.0
E	0.0
ESE	1.2
SE	6.0
SSE	3.0
S	8.9
SSW	6.0
SW	5.4
WSW	3.0
W	10.7
WNW	32.7
NW	13.1
NNW	4.8
calm	2.4

観測期間：令和7年7月11日～7月17日

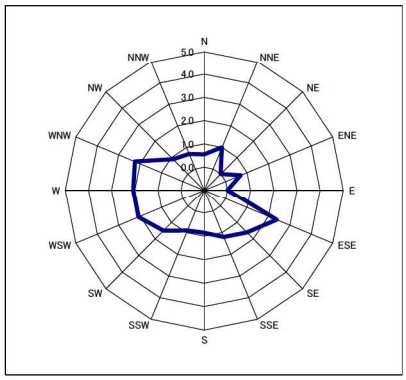
国立沖縄工業高等専門学校（TN-5）



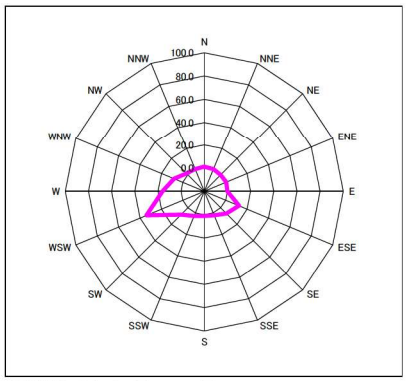
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	16.7
NNE	6.0
NE	3.6
ENE	2.4
E	4.2
ESE	5.4
SE	10.1
SSE	6.0
S	13.1
SSW	7.7
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	3.6
NNW	12.5
calm	8.9

観測期間：令和7年7月11日～7月17日

世冨慶集落（TN-10）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	0.6
NNE	1.0
NE	0.0
ENE	0.7
E	0.0
ESE	2.4
SE	1.6
SSE	1.2
S	0.9
SSW	0.9
SW	1.5
WSW	2.1
W	2.1
WNW	2.2
NW	0.9
NNW	0.7

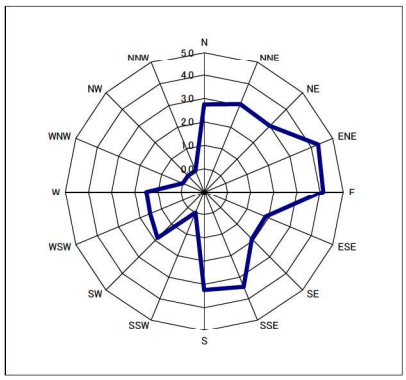


風向（16方位）	出現頻度（%）
N	1.2
NNE	0.6
NE	0.0
ENE	0.6
E	0.0
ESE	12.5
SE	7.1
SSE	2.4
S	1.2
SSW	3.0
SW	8.3
WSW	33.9
W	16.1
WNW	8.3
NW	1.8
NNW	0.6
calm	2.4

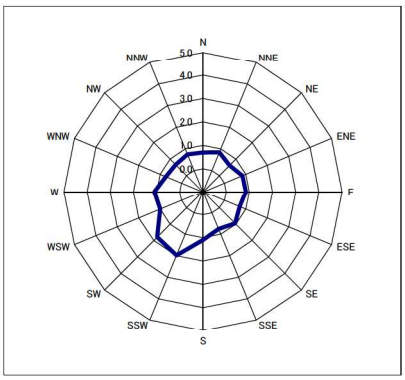
観測期間：令和7年7月11日～7月17日

松田集落（TN-11）

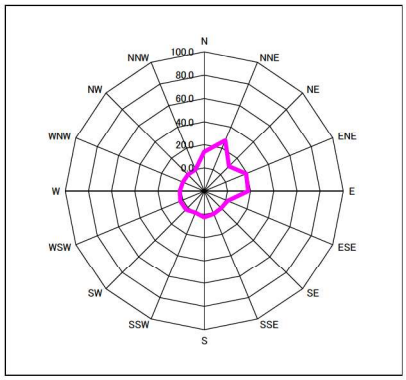
図-2.1.2.2　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度夏季）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	2.7
NNE	3.1
NE	3.0
ENE	4.3
E	4.1
ESE	1.9
SE	1.9
SSE	3.5
S	3.3
SSW	0.0
SW	1.9
WSW	1.5
W	1.5
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.0



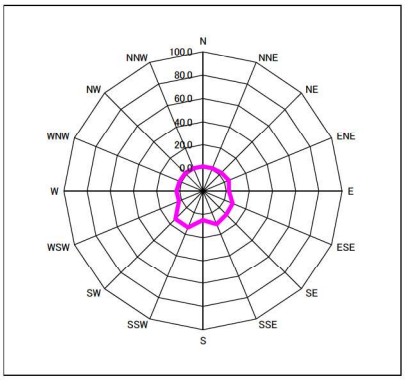
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	0.7
NNE	0.9
NE	0.6
ENE	0.8
E	0.9
ESE	0.7
SE	1.0
SSE	0.8
S	1.1
SSW	2.0
SW	1.8
WSW	1.0
W	1.1
WNW	0.7
NW	0.7
NNW	0.8



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	13.7
NNE	27.4
NE	10.1
ENE	19.0
E	17.9
ESE	1.8
SE	0.6
SSE	1.2
S	2.4
SSW	0.0
SW	2.4
WSW	2.4
W	1.2
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.0
calm	0.0

観測期間：令和7年11月8日～11月14日

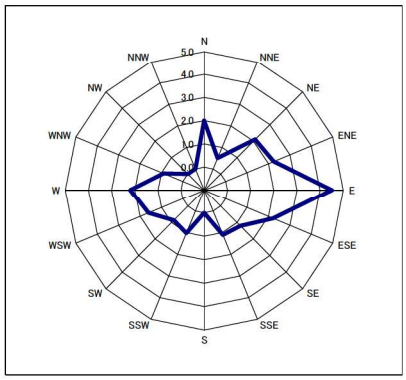
国立沖縄工業高等専門学校（TN-5）



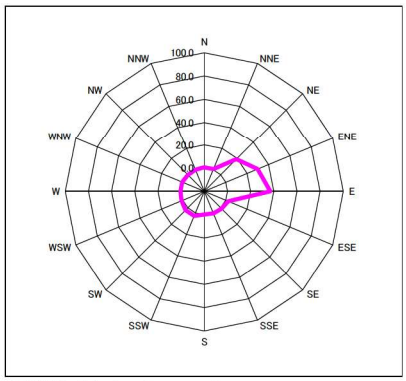
風向（16方位）	出現頻度（%）
N	1.2
NNE	1.2
NE	2.4
ENE	4.2
E	2.4
ESE	7.7
SE	8.3
SSE	10.7
S	4.8
SSW	13.7
SW	13.7
WSW	2.4
W	3.0
WNW	1.8
NW	1.8
NNW	1.2
calm	19.6

観測期間：令和7年11月8日～11月14日

世冨慶集落（TN-10）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	2.0
NNE	0.5
NE	2.1
ENE	2.2
E	4.5
ESE	2.2
SE	1.2
SSE	1.1
S	0.0
SSW	1.0
SW	0.9
WSW	1.6
W	2.2
WNW	0.9
NW	0.0
NNW	0.0

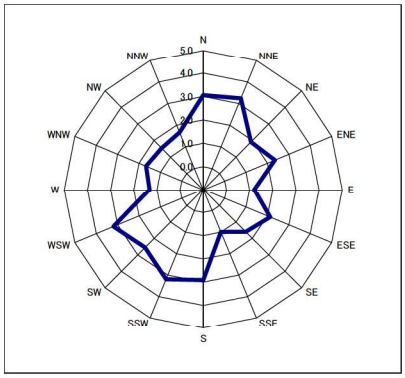


風向（16方位）	出現頻度（%）
N	0.6
NNE	0.6
NE	19.0
ENE	29.8
E	36.9
ESE	2.4
SE	1.2
SSE	0.6
S	0.0
SSW	3.0
SW	3.0
WSW	1.2
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.0
NNW	0.0
calm	0.6

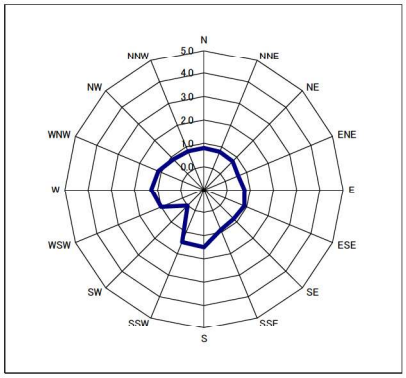
観測期間：令和7年11月8日～11月14日

松田集落（TN-11）

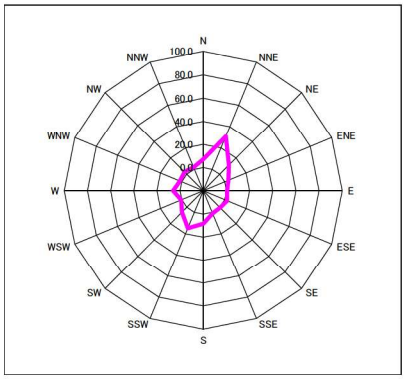
図-2.1.2.3　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度秋季）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	3.1
NNE	3.2
NE	1.9
ENE	2.4
E	1.2
ESE	2.1
SE	1.6
SSE	1.0
S	2.9
SSW	3.2
SW	2.6
WSW	3.2
W	1.3
WNW	1.7
NW	1.5
NNW	1.7



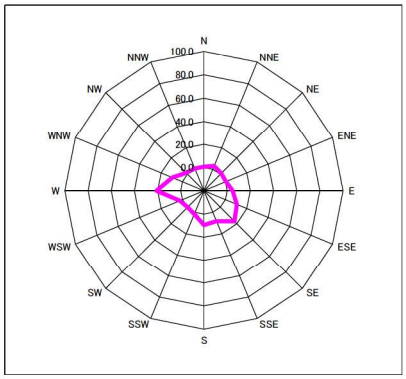
風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	0.8
NNE	0.8
NE	0.8
ENE	0.6
E	0.8
ESE	0.9
SE	0.8
SSE	0.9
S	1.5
SSW	1.5
SW	0.0
WSW	1.0
W	1.3
WNW	1.1
NW	0.9
NNW	0.8



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	7.1
NNE	31.0
NE	11.3
ENE	3.6
E	0.6
ESE	2.4
SE	0.6
SSE	1.2
S	8.3
SSW	14.9
SW	6.0
WSW	0.6
W	6.0
WNW	1.8
NW	3.0
NNW	1.8
calm	0.0

観測期間：令和8年2月5日～2月11日

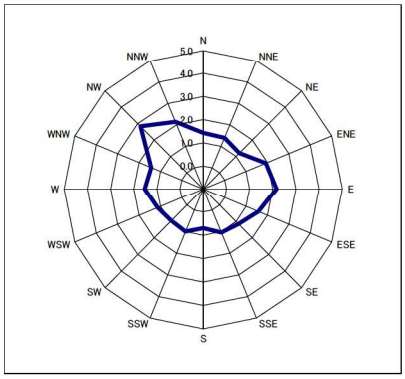
国立沖縄工業高等専門学校（TN-5）



風向（16方位）	出現頻度（%）
N	0.6
NNE	3.0
NE	1.2
ENE	0.6
E	4.8
ESE	10.7
SE	17.3
SSE	8.3
S	9.5
SSW	1.8
SW	0.0
WSW	2.4
W	20.8
WNW	9.5
NW	1.8
NNW	0.6
calm	7.1

観測期間：令和8年2月5日～2月11日

世冨慶集落（TN-10）



風向（16方位）	平均風速（m/s）
N	1.4
NNE	1.4
NE	1.2
ENE	1.9
E	2.2
ESE	1.6
SE	1.2
SSE	1.0
S	0.7
SSW	1.0
SW	1.0
WSW	1.1
W	1.5
WNW	1.4
NW	2.8
NNW	2.1

風向（16方位）	出現頻度（%）
N	1.8
NNE	1.8
NE	2.4
ENE	9.5
E	6.5
ESE	3.0
SE	7.7
SSE	3.0
S	1.8
SSW	4.2
SW	6.0
WSW	7.7
W	6.0
WNW	4.2
NW	19.6
NNW	13.1
calm	1.8

観測期間：令和8年2月5日～2月11日

松田集落（TN-11）

図-2.1.2.4　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度冬季）

2) 気温・湿度

大気質の調査地点において、気温・湿度の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和7年度春季から冬季までの気温調査結果一覧は表-2.1.2.6 に、湿度調査結果一覧は表-2.1.2.7 に示すとおりです。

令和7年度春季の平均気温は18.9～23.6℃、夏季は27.3～29.7℃、秋季は22.5～25.5℃、冬季は10.4～19.7℃の範囲となっており、夏季と冬季との平均気温差は約13℃でした。

令和7年度春季の平均湿度は74～98%、夏季は80～92%、秋季は64～99%、冬季は63～90%の範囲となっており、春季に湿度が高くなる傾向がみられました。

表-2.1.2.6　気温の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和7年度春季							期間
			4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	
気温（℃）	TN-5	日平均値	22.1	18.9	21.9	22.9	22.8	22.9	22.4	22.0
		日最高値	24.9	20.8	24.3	24.4	25.3	25.7	24.3	25.7
		日最低値	20.0	16.5	19.4	21.7	21.1	20.7	19.5	16.5
	TN-10	日平均値	21.4	19.1	21.8	23.0	23.0	23.6	22.0	22.0
		日最高値	25.3	22.7	25.0	25.4	26.8	26.9	23.6	26.9
		日最低値	17.0	16.2	18.2	21.6	20.7	20.9	19.0	16.2
	TN-11	日平均値	22.2	19.1	22.0	23.1	22.6	23.5	22.6	22.2
		日最高値	25.1	20.8	24.2	25.0	24.5	26.5	24.6	26.5
		日最低値	20.1	17.0	19.9	21.7	21.4	21.2	19.4	17.0

項目	地点名	区分	令和7年度夏季							期間
			7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	
気温（℃）	TN-5	日平均値	28.0	29.3	29.7	27.8	29.1	29.6	29.2	29.0
		日最高値	30.2	32.8	33.0	31.1	33.6	32.5	33.8	33.8
		日最低値	26.3	26.5	26.3	25.6	25.7	26.3	26.7	25.6
	TN-10	日平均値	27.3	28.5	28.9	27.9	28.4	28.5	28.1	28.2
		日最高値	30.1	31.7	31.8	30.0	32.4	32.4	31.6	32.4
		日最低値	25.5	26.1	26.0	25.2	26.2	25.1	26.2	25.1
	TN-11	日平均値	28.2	29.4	29.5	27.8	28.7	29.3	29.1	28.9
		日最高値	29.7	31.9	31.7	29.8	31.3	31.8	31.9	31.9
		日最低値	26.8	27.4	26.9	25.9	26.6	27.0	27.6	25.9

項目	地点名	区分	令和7年度秋季							期間
			11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	
気温（℃）	TN-5	日平均値	25.5	25.2	23.7	23.4	24.8	25.1	22.9	24.4
		日最高値	27.5	28.9	24.7	24.7	26.3	28.5	25.3	28.9
		日最低値	23.8	22.6	22.7	21.7	23.4	20.3	20.3	20.3
	TN-10	日平均値	23.7	24.6	23.3	22.6	24.6	25.5	22.7	23.8
		日最高値	29.9	29.3	25.1	24.3	26.4	30.6	26.9	30.6
		日最低値	19.4	21.3	21.5	21.1	23.0	20.2	20.4	19.4
	TN-11	日平均値	25.3	25.3	23.6	23.6	24.7	24.7	22.5	24.3
		日最高値	27.0	27.4	24.7	25.0	26.0	27.3	24.4	27.4
		日最低値	23.9	23.4	22.6	22.0	23.4	19.9	20.1	19.9

項目	地点名	区分	令和7年度冬季							期間
			2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	
気温（℃）	TN-5	日平均値	18.4	19.7	15.7	10.4	11.2	16.7	16.7	15.5
		日最高値	22.0	22.7	18.6	13.1	13.4	20.9	19.2	22.7
		日最低値	15.5	18.2	13.2	7.7	7.8	12.3	13.8	7.7
	TN-10	日平均値	17.6	18.2	15.7	11.0	10.8	15.9	16.0	15.0
		日最高値	24.9	22.2	18.4	13.3	14.3	22.4	19.3	24.9
		日最低値	12.4	15.4	13.4	8.3	7.4	10.7	12.3	7.4
	TN-11	日平均値	18.4	19.7	15.7	10.4	11.2	16.7	16.7	15.5
		日最高値	22.0	22.7	18.6	13.1	13.4	20.9	19.2	22.7
		日最低値	15.5	18.2	13.2	7.7	7.8	12.3	13.8	7.7

注）1.地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
　　2.期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

表-2.1.2.7　湿度の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和7年度春季							期間
			4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	
湿度（%）	TN-5	日平均値	74	93	85	96	89	92	96	89
		日最高値	82	99	94	99	99	99	99	99
		日最低値	66	87	73	91	77	77	83	66
	TN-10	日平均値	76	92	84	96	88	88	98	89
		日最高値	90	99	99	99	99	98	99	99
		日最低値	62	77	65	88	68	68	95	62
	TN-11	日平均値	75	94	87	96	92	90	97	90
		日最高値	82	99	94	99	99	99	99	99
		日最低値	61	89	78	88	82	76	91	61

項目	地点名	区分	令和7年度夏季							期間
			7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	
湿度（%）	TN-5	日平均値	88	83	81	86	80	80	86	83
		日最高値	96	98	97	99	93	93	98	99
		日最低値	72	66	61	69	64	67	66	61
	TN-10	日平均値	92	90	88	87	86	86	91	89
		日最高値	99	99	99	99	96	99	99	99
		日最低値	77	76	75	72	72	64	76	64
	TN-11	日平均値	89	84	83	88	85	85	88	86
		日最高値	96	94	94	99	93	94	96	99
		日最低値	77	69	69	74	73	72	77	69

項目	地点名	区分	令和7年度秋季							期間
			11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	
湿度（%）	TN-5	日平均値	64	80	76	87	97	95	80	83
		日最高値	74	94	92	99	99	99	94	99
		日最低値	56	65	66	64	93	79	71	56
	TN-10	日平均値	80	89	87	96	99	94	88	90
		日最高値	97	99	97	99	99	99	99	99
		日最低値	52	71	77	87	98	71	74	52
	TN-11	日平均値	66	78	76	86	98	97	81	83
		日最高値	73	86	93	99	99	99	96	99
		日最低値	58	71	69	64	95	89	70	58

項目	地点名	区分	令和7年度冬季							期間
			2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	
湿度（%）	TN-5	日平均値	68	81	77	64	67	64	73	71
		日最高値	83	98	99	83	88	75	93	99
		日最低値	54	68	59	54	53	48	66	48
	TN-10	日平均値	74	90	77	63	77	73	79	76
		日最高値	92	98	99	83	94	88	95	99
		日最低値	42	63	59	53	52	44	64	42
	TN-11	日平均値	68	81	77	64	67	64	73	71
		日最高値	83	98	99	83	88	75	93	99
		日最低値	54	68	59	54	53	48	66	48

注）1.地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
　　2.期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

2.2 騒音

2.2.1 道路交通騒音

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和7年度春季から冬季までの道路交通騒音の調査結果一覧は表-2.2.1.1及び図-2.2.1.1 に、測定時間帯毎の調査結果は表-2.2.1.2～表-2.2.1.5 に示すとおりです。

昼間の時間帯における騒音レベルは 64～68dB の範囲で推移し、各調査地点の騒音レベルは同程度であり、いずれも環境監視基準(70dB 以下)を満足する結果となりました。

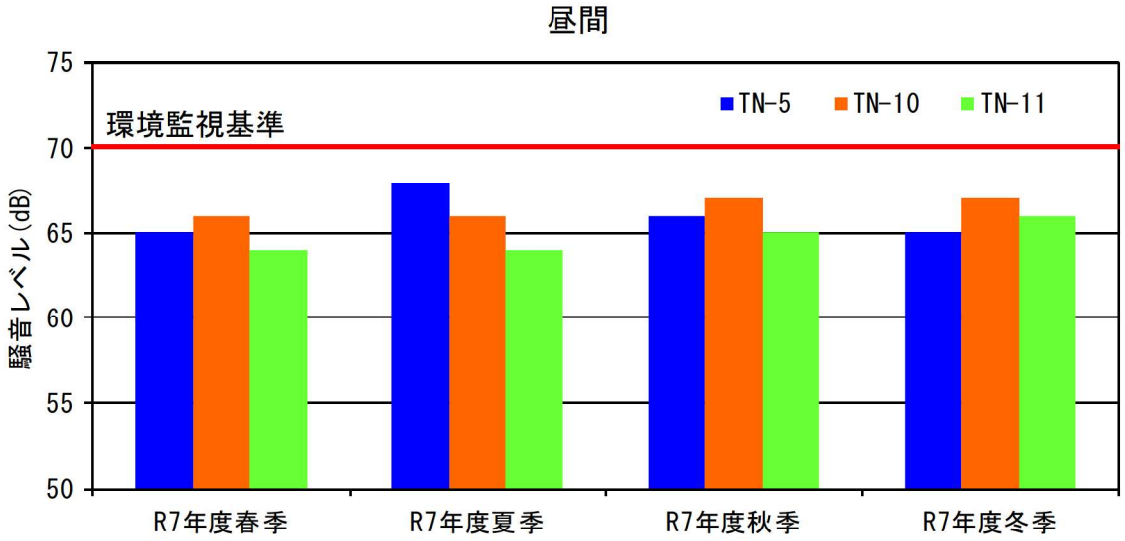
夜間の時間帯における騒音レベルは 57～61dB の範囲で推移し、各調査地点の騒音レベルは同程度であり、いずれも環境監視基準(65dB 以下)を満足する結果となりました。

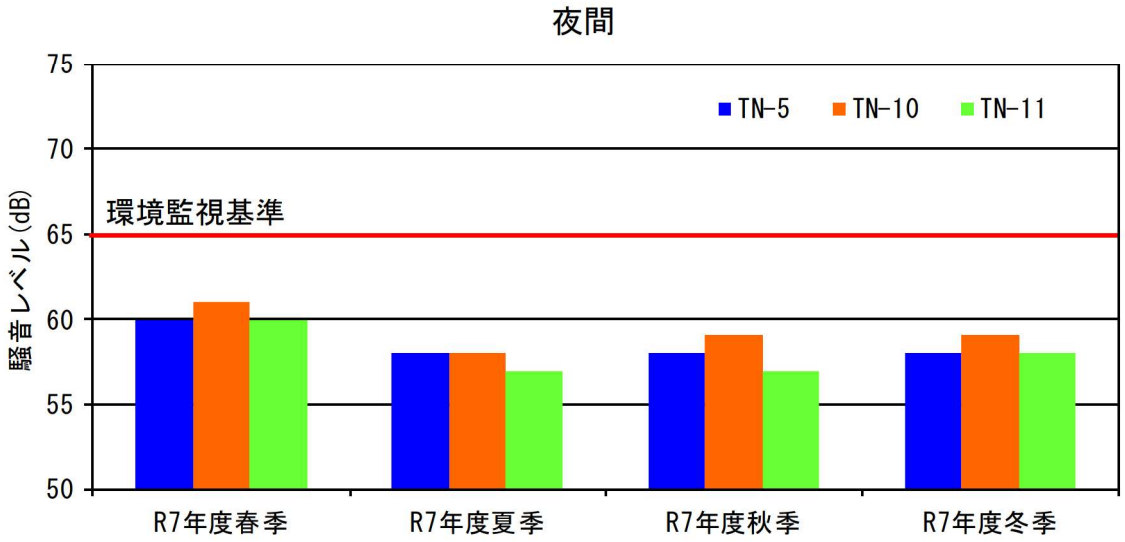
表-2.2.1.1　道路交通騒音の調査結果一覧

単位：dB

時間区分	季節	TN-5	TN-10	TN-11	環境監視基準
昼間	R7年度春季	65	66	64	70dB以下
	R7年度夏季	68	66	64	
	R7年度秋季	66	67	65	
	R7年度冬季	65	67	66	
夜間	R7年度春季	60	61	60	65dB以下
	R7年度夏季	58	58	57	
	R7年度秋季	58	59	57	
	R7年度冬季	58	59	58	

注）1.時間区分の昼間は6時～22時、夜間は22時～6時です。
2.地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
3.環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。





注）環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。

図-2.2.1.1　道路交通騒音の調査結果

表-2.2.1.2(1)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月22日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	71	69	60	46	43	64.4	80	36	L_{Aeq} = 65
	7:00	72	71	63	51	48	66.9	90	39	
	8:00	72	70	64	52	49	66.7	88	34	
	9:00	71	69	58	45	42	65.2	86	36	
	10:00	72	70	58	45	42	65.5	84	38	
	11:00	71	69	58	46	44	64.6	85	37	
	12:00	70	68	56	44	42	64.2	82	37	
	13:00	72	70	59	46	43	66.7	94	35	
	14:00	71	69	58	45	43	65.2	85	38	
	15:00	71	69	58	46	43	65.0	84	38	
	16:00	72	70	62	50	48	65.9	82	39	
	17:00	71	70	61	48	46	65.9	92	37	
	18:00	70	68	59	48	44	64.4	84	35	
	19:00	69	67	54	42	40	62.7	84	36	
	20:00	69	66	50	39	38	63.4	87	34	
	21:00	68	65	48	38	37	63.9	95	34	
平均/最大/最小		**71**	**69**	**58**	**46**	**43**	**65**	**95**	**34**	
夜間	22:00	65	60	41	36	35	59.5	83	32	L_{Aeq} = 60
	23:00	64	58	39	34	33	60.3	89	32	
	0:00	59	52	38	35	35	60.3	90	33	
	1:00	56	47	36	34	34	53.7	77	33	
	2:00	52	45	36	34	34	51.7	76	32	
	3:00	65	58	38	34	34	59.0	82	31	
	4:00	67	61	41	36	36	60.6	86	34	
	5:00	70	67	51	37	36	64.0	92	34	
平均/最大/最小		**62**	**56**	**40**	**35**	**34**	**60**	**92**	**31**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。

3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.2(2)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月22日

単位：dB

調査地点		世冨慶集落（TN-10）								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	73	72	62	51	49	67.2	80	45	L_{Aeq} = 66
	7:00	73	72	64	49	47	67.4	83	44	
	8:00	73	72	67	54	53	68.2	81	48	
	9:00	76	74	63	54	53	69.0	85	51	
	10:00	72	71	62	53	52	66.4	81	47	
	11:00	72	70	59	53	53	65.5	82	51	
	12:00	74	72	59	51	50	67.5	87	47	
	13:00	72	70	60	50	47	65.7	83	44	
	14:00	72	69	58	47	46	65.3	90	44	
	15:00	75	73	62	51	48	68.4	84	45	
	16:00	72	70	62	48	46	65.5	81	43	
	17:00	71	69	62	49	47	65.4	86	43	
	18:00	70	69	60	49	46	64.5	89	43	
	19:00	69	68	58	46	45	63.3	78	43	
	20:00	69	67	52	46	45	65.2	94	43	
	21:00	68	66	51	46	46	61.9	83	45	
平均/最大/最小		**72**	**70**	**60**	**50**	**48**	**66**	**94**	**43**	
夜間	22:00	68	65	48	46	46	60.1	78	45	L_{Aeq} = 61
	23:00	65	61	47	46	46	65.2	98	45	
	0:00	62	57	47	46	46	56.1	78	45	
	1:00	61	57	47	46	46	55.6	75	45	
	2:00	62	59	47	45	45	56.0	82	44	
	3:00	62	59	46	45	45	57.3	88	44	
	4:00	65	61	46	45	45	59.9	80	44	
	5:00	70	68	49	46	45	64.9	94	45	
平均/最大/最小		**64**	**61**	**47**	**46**	**46**	**61**	**98**	**44**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.2(3)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月22日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	70	69	63	49	45	65.0	79	32	L_{Aeq} = 64
	7:00	70	69	64	53	50	65.5	84	39	
	8:00	70	68	64	55	51	65.5	81	42	
	9:00	69	68	61	48	45	63.6	80	37	
	10:00	70	68	60	48	46	64.2	82	38	
	11:00	69	67	60	48	45	63.3	80	37	
	12:00	68	66	59	46	43	63.1	81	35	
	13:00	69	67	59	48	45	64.6	87	39	
	14:00	68	67	60	48	45	62.9	84	38	
	15:00	69	67	60	48	45	63.5	80	38	
	16:00	69	67	61	51	48	63.8	82	41	
	17:00	68	67	62	52	49	63.5	80	38	
	18:00	67	66	61	50	47	62.7	82	37	
	19:00	67	65	59	48	46	61.4	78	36	
	20:00	66	64	54	43	40	61.5	86	35	
	21:00	66	64	52	43	42	64.0	89	35	
平均/最大/最小		**68**	**67**	**60**	**49**	**46**	**64**	**89**	**32**	
夜間	22:00	64	62	45	35	34	57.9	79	32	L_{Aeq} = 60
	23:00	63	60	42	33	33	63.9	94	29	
	0:00	62	57	36	34	33	62.9	93	31	
	1:00	59	51	34	32	31	52.0	74	30	
	2:00	56	48	33	31	31	50.0	73	29	
	3:00	63	57	34	31	31	56.2	79	29	
	4:00	65	60	38	32	31	57.0	79	29	
	5:00	67	65	50	33	32	60.8	81	30	
平均/最大/最小		**62**	**57**	**39**	**33**	**32**	**60**	**94**	**29**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(1)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月15日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	72	71	68	58	54	68.8	83	49	L_{Aeq} = 68
	7:00	74	74	71	69	68	71.7	85	65	
	8:00	75	74	72	69	68	72.3	81	65	
	9:00	75	74	72	69	67	72.1	82	64	
	10:00	74	72	69	61	57	69.9	82	51	
	11:00	71	70	64	56	54	66.5	84	49	
	12:00	70	69	60	55	54	64.5	85	51	
	13:00	71	69	61	54	53	65.1	81	48	
	14:00	70	69	62	57	56	65.2	84	51	
	15:00	72	70	60	55	54	65.9	89	51	
	16:00	72	70	63	55	54	66.8	86	52	
	17:00	71	69	61	54	54	65.1	83	50	
	18:00	70	68	59	51	50	63.9	79	47	
	19:00	69	67	56	48	46	63.1	84	42	
	20:00	69	66	51	43	42	65.0	89	40	
	21:00	67	64	50	46	45	61.1	84	42	
平均/最大/最小		**71**	**70**	**62**	**56**	**55**	**68**	**89**	**40**	
夜間	22:00	66	62	46	43	42	59.7	84	40	L_{Aeq} = 58
	23:00	65	59	43	41	40	59.0	84	38	
	0:00	58	51	42	40	39	54.5	77	38	
	1:00	49	45	40	39	38	51.0	76	37	
	2:00	49	44	39	38	37	50.5	74	36	
	3:00	54	47	39	37	37	52.3	74	35	
	4:00	67	61	42	38	38	59.9	86	36	
	5:00	69	66	56	44	42	61.8	83	37	
平均/最大/最小		**60**	**54**	**43**	**40**	**39**	**58**	**86**	**35**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(2)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月15日

単位：dB

調査地点		世冨慶集落（TN-10）								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	72	70	61	49	47	66.0	86	43	L_{Aeq} = 66
	7:00	72	71	63	50	48	66.5	80	43	
	8:00	72	71	65	58	56	67.4	83	50	
	9:00	76	74	64	60	59	69.4	85	56	
	10:00	72	70	63	57	55	66.1	81	52	
	11:00	72	69	58	53	52	66.2	94	50	
	12:00	75	73	57	49	49	67.6	80	46	
	13:00	71	68	57	48	47	64.4	81	45	
	14:00	72	69	56	46	46	65.3	85	44	
	15:00	76	74	64	50	48	69.4	85	44	
	16:00	72	70	63	50	48	66.5	83	44	
	17:00	71	69	62	49	46	65.0	82	43	
	18:00	71	69	62	47	46	65.1	80	44	
	19:00	69	68	56	46	45	63.6	90	43	
	20:00	69	67	52	45	44	62.3	77	42	
	21:00	69	66	51	48	47	61.5	80	45	
平均/最大/最小		**72**	**70**	**59**	**50**	**49**	**66**	**94**	**42**	
夜間	22:00	68	64	50	48	48	60.6	84	46	L_{Aeq} = 58
	23:00	66	61	50	49	49	58.4	76	47	
	0:00	60	57	51	50	50	56.7	79	48	
	1:00	59	57	51	51	50	55.1	74	49	
	2:00	59	57	51	50	50	54.7	73	48	
	3:00	56	53	50	49	48	53.7	75	47	
	4:00	61	56	50	48	48	57.0	79	46	
	5:00	69	67	51	47	47	61.7	78	45	
平均/最大/最小		**62**	**59**	**51**	**49**	**49**	**58**	**84**	**45**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。

3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(3)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月15日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	70	69	64	59	57	65.9	82	44	L_{Aeq} = 64
	7:00	71	70	66	63	63	67.4	81	58	
	8:00	70	69	66	63	61	66.7	81	56	
	9:00	70	68	65	62	61	65.9	78	58	
	10:00	70	68	64	57	55	65.0	79	46	
	11:00	68	66	60	50	48	62.8	79	42	
	12:00	67	65	58	47	46	61.4	79	41	
	13:00	67	66	59	50	47	62.0	80	40	
	14:00	68	66	60	50	48	62.4	82	44	
	15:00	70	68	60	50	48	64.2	80	42	
	16:00	69	67	61	52	50	64.3	88	42	
	17:00	68	66	62	51	49	63.2	82	43	
	18:00	67	66	61	51	48	62.2	79	41	
	19:00	66	64	57	45	42	60.3	76	36	
	20:00	65	63	54	44	43	59.3	80	37	
	21:00	64	63	50	42	41	59.1	82	38	
平均/最大/最小		**68**	**66**	**60**	**52**	**50**	**64**	**88**	**36**	
夜間	22:00	64	62	47	39	38	58.3	81	36	L_{Aeq} = 57
	23:00	63	60	44	37	37	56.8	81	35	
	0:00	60	56	42	38	37	52.5	71	35	
	1:00	55	49	38	36	36	51.2	74	35	
	2:00	55	48	37	35	35	48.4	69	32	
	3:00	59	52	36	34	34	52.6	73	33	
	4:00	65	62	42	35	34	59.1	82	33	
	5:00	67	65	52	39	37	60.5	79	35	
平均/最大/最小		**61**	**56**	**42**	**37**	**36**	**57**	**82**	**32**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(1)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月11日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	69	67	57	42	40	62.6	82	36	L_{Aeq} = 66
	7:00	70	69	60	50	47	64.5	82	40	
	8:00	72	70	63	50	47	66.1	78	42	
	9:00	73	71	60	55	54	66.5	82	52	
	10:00	74	72	62	56	55	67.3	85	52	
	11:00	73	71	60	54	53	66.6	82	48	
	12:00	72	69	57	45	44	65.2	89	39	
	13:00	72	70	58	49	48	66.0	89	41	
	14:00	73	71	60	46	44	66.6	85	40	
	15:00	73	72	62	50	48	66.9	81	43	
	16:00	75	73	64	57	56	68.7	83	53	
	17:00	75	74	67	62	61	69.5	79	58	
	18:00	74	72	64	60	59	67.6	81	56	
	19:00	73	70	62	58	57	66.4	81	54	
	20:00	71	68	58	53	51	63.9	80	47	
	21:00	70	67	53	47	46	62.4	82	43	
平均/最大/最小		**72**	**70**	**60**	**52**	**51**	**66**	**89**	**36**	
夜間	22:00	67	62	52	47	46	60.3	79	44	L_{Aeq} = 58
	23:00	65	60	51	46	46	59.2	79	43	
	0:00	65	57	41	37	37	58.7	81	35	
	1:00	58	51	38	36	36	55.7	81	35	
	2:00	54	47	39	37	37	54.9	86	35	
	3:00	52	45	38	36	36	52.5	77	34	
	4:00	58	51	36	35	35	54.3	79	34	
	5:00	66	61	41	37	36	58.7	79	35	
平均/最大/最小		**61**	**54**	**42**	**39**	**38**	**58**	**86**	**34**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。

3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(2)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月11日

単位：dB

調査地点		世冨慶集落（TN-10）								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	72	71	58	46	44	66.0	84	40	L_{Aeq} = 67
	7:00	72	71	64	49	47	67.0	82	43	
	8:00	73	72	65	55	53	67.8	82	50	
	9:00	77	74	62	56	56	69.6	85	54	
	10:00	75	73	62	57	56	68.1	81	55	
	11:00	73	71	59	55	55	66.8	86	53	
	12:00	74	71	59	54	54	67.5	85	52	
	13:00	73	71	59	55	54	66.4	86	53	
	14:00	73	71	59	53	52	66.6	80	51	
	15:00	75	73	61	55	54	68.3	87	51	
	16:00	74	71	62	56	55	66.9	81	53	
	17:00	74	72	64	59	58	67.6	79	56	
	18:00	74	73	65	61	60	68.8	82	58	
	19:00	71	68	60	58	57	64.6	79	56	
	20:00	69	64	58	55	55	62.7	80	54	
	21:00	70	66	55	52	52	61.9	78	51	
平均/最大/最小		**73**	**71**	**61**	**55**	**54**	**67**	**87**	**40**	
夜間	22:00	67	62	54	52	52	61.0	80	51	L_{Aeq} = 59
	23:00	65	61	55	52	51	60.5	81	50	
	0:00	63	57	45	44	43	56.4	75	42	
	1:00	59	51	42	41	41	57.5	88	40	
	2:00	55	46	42	41	40	54.0	77	38	
	3:00	54	45	42	40	40	53.1	77	38	
	4:00	63	54	42	41	41	57.0	80	40	
	5:00	69	66	46	43	42	61.5	80	40	
平均/最大/最小		**62**	**55**	**46**	**44**	**44**	**59**	**88**	**38**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(3)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月11日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	69	67	59	46	43	63.2	79	34	L_{Aeq} = 65
	7:00	68	67	62	51	49	63.7	75	44	
	8:00	70	68	61	51	49	64.1	77	44	
	9:00	71	70	60	50	48	65.1	79	46	
	10:00	71	69	59	51	50	64.2	79	45	
	11:00	71	69	59	48	47	64.3	78	38	
	12:00	69	68	61	46	44	63.7	77	38	
	13:00	70	68	60	49	47	63.8	77	42	
	14:00	70	69	60	48	45	64.7	78	39	
	15:00	71	69	61	51	48	64.8	76	42	
	16:00	71	69	62	52	49	65.1	77	45	
	17:00	72	71	64	56	53	66.4	77	47	
	18:00	72	71	63	55	53	66.0	77	50	
	19:00	72	70	61	56	55	65.6	80	52	
	20:00	70	68	60	56	56	63.9	79	51	
	21:00	67	65	57	53	52	60.8	75	46	
平均/最大/最小		**70**	**69**	**61**	**51**	**49**	**65**	**80**	**34**	
夜間	22:00	66	64	55	51	49	59.8	77	45	L_{Aeq} = 57
	23:00	64	61	53	49	47	58.0	76	43	
	0:00	63	59	42	40	39	56.1	79	37	
	1:00	60	54	41	37	36	53.5	74	34	
	2:00	55	51	45	42	41	53.1	85	37	
	3:00	55	50	43	39	38	51.5	75	33	
	4:00	61	53	38	34	33	53.6	73	32	
	5:00	66	64	45	34	34	59.3	77	32	
平均/最大/最小		**61**	**57**	**45**	**41**	**40**	**57**	**85**	**32**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(1)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月5日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	71	69	61	48	45	65.5	90	31	L_{Aeq} = 65
	7:00	72	71	63	52	50	66.4	83	43	
	8:00	72	70	63	51	49	66.3	80	39	
	9:00	71	70	59	45	43	64.9	79	38	
	10:00	72	70	59	45	42	65.4	83	37	
	11:00	71	70	58	45	43	65.8	88	37	
	12:00	71	70	59	46	42	65.4	85	38	
	13:00	71	70	59	45	43	65.3	83	37	
	14:00	71	70	58	44	41	65.0	82	37	
	15:00	72	70	61	46	43	66.0	82	36	
	16:00	72	71	64	50	47	66.9	87	38	
	17:00	71	70	63	48	44	66.1	87	37	
	18:00	70	69	61	48	44	64.9	84	38	
	19:00	69	67	53	40	38	62.4	80	33	
	20:00	69	66	51	39	37	62.9	91	31	
	21:00	68	64	47	34	33	59.9	77	30	
平均/最大/最小		**71**	**69**	**59**	**46**	**43**	**65**	**91**	**30**	
夜間	22:00	68	64	46	33	32	60.6	83	29	L_{Aeq} = 58
	23:00	63	57	36	31	30	56.9	79	28	
	0:00	63	57	34	30	30	57.6	79	29	
	1:00	58	51	31	30	29	55.4	80	28	
	2:00	55	48	31	29	29	53.9	79	28	
	3:00	52	46	30	28	28	51.6	74	27	
	4:00	65	58	35	30	29	60.4	90	28	
	5:00	69	66	47	31	30	61.5	85	29	
平均/最大/最小		**62**	**56**	**36**	**30**	**30**	**58**	**90**	**27**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。

3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(2)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月5日

単位：dB

調査地点		世冨慶集落（TN-10）								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	74	73	64	51	49	68.5	82	43	L_{Aeq} = 67
	7:00	74	72	65	50	49	68.4	91	45	
	8:00	74	73	67	53	52	69.0	92	49	
	9:00	75	74	64	55	54	69.2	84	51	
	10:00	73	71	62	54	53	67.0	89	50	
	11:00	72	70	60	53	52	65.6	84	48	
	12:00	72	69	58	49	48	65.5	85	46	
	13:00	71	69	58	51	50	65.9	90	48	
	14:00	72	70	61	52	50	67.0	92	47	
	15:00	75	73	63	52	50	68.9	90	46	
	16:00	73	71	63	53	50	67.1	86	46	
	17:00	72	70	62	51	48	66.6	95	44	
	18:00	71	70	61	48	46	67.9	96	43	
	19:00	71	68	55	46	45	64.3	85	42	
	20:00	70	68	51	44	43	64.4	87	42	
	21:00	69	67	48	43	42	61.9	80	40	
平均/最大/最小		**72**	**70**	**60**	**50**	**49**	**67**	**96**	**40**	
夜間	22:00	67	63	46	43	43	59.0	78	41	L_{Aeq} = 59
	23:00	66	61	44	43	42	59.3	86	40	
	0:00	64	58	43	41	40	58.0	79	39	
	1:00	61	52	42	40	40	56.4	79	38	
	2:00	58	50	42	41	41	55.3	79	40	
	3:00	59	51	42	41	40	54.9	80	39	
	4:00	62	54	43	42	41	56.9	80	40	
	5:00	71	68	49	43	43	63.2	87	42	
平均/最大/最小		**63**	**57**	**44**	**42**	**41**	**59**	**87**	**38**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。

3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(3)　道路交通騒音の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月5日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	73	72	66	51	48	68.2	85	41	L_{Aeq} = 66
	7:00	74	72	68	56	53	68.9	83	45	
	8:00	73	72	66	57	54	68.3	80	45	
	9:00	73	71	65	54	51	67.6	82	42	
	10:00	72	70	63	53	50	67.0	88	43	
	11:00	72	70	63	52	49	66.5	86	43	
	12:00	71	69	63	53	51	65.8	87	42	
	13:00	71	69	62	51	49	65.8	81	43	
	14:00	71	69	62	48	45	65.2	82	37	
	15:00	71	69	63	51	48	66.1	86	41	
	16:00	71	70	64	54	51	66.9	86	42	
	17:00	71	70	64	55	52	66.7	88	44	
	18:00	68	67	62	51	49	62.9	76	44	
	19:00	67	66	58	46	43	64.0	89	37	
	20:00	68	66	55	43	41	62.4	88	34	
	21:00	67	65	51	43	43	60.3	77	41	
平均/最大/最小		**71**	**69**	**62**	**51**	**48**	**66**	**89**	**34**	
夜間	22:00	65	63	49	36	35	58.7	75	32	L_{Aeq} = 58
	23:00	63	59	38	32	31	54.7	72	29	
	0:00	64	57	35	32	32	56.8	77	30	
	1:00	61	54	34	32	32	54.7	75	30	
	2:00	62	57	36	32	31	54.9	74	30	
	3:00	57	51	34	32	32	52.3	75	30	
	4:00	69	66	45	34	33	61.4	80	31	
	5:00	69	66	47	37	36	61.6	78	34	
平均/最大/最小		**64**	**59**	**40**	**33**	**33**	**58**	**80**	**29**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から６時までの８時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。

3. L_{Aeq} は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

2.2.2 交通量

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和 7 年度春季から冬季までの交通量の調査結果一覧は、表-2.2.2.1、表-2.2.2.2 に示すとおりです。

昼間の時間帯における交通量は 7,534～13,660 台、夜間の時間帯における交通量は 412～902 台の範囲で推移し、松田集落(TN-11)の交通量が最も多く、次いで世冨慶集落(TN-10)、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)の順となりました。

日合計交通量を調査地点別にみると、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は 7,946～9,155 台／日、世冨慶集落(TN-10)は 8,348～8,932 台／日、松田集落(TN-11)は 13,615～14,559 台／日となりました。

日合計交通量を車種別にみると、小型車は 6,853～13,437 台／日、大型車は 514～1,516 台／日、二輪車は 74～180 台／日の範囲で推移し、小型車の割合が最も多く、約 90%を占めています。

表-2.2.2.1　交通量の調査結果一覧

単位：台

地点名	時間区分	季節	上り車線			下り車線			合計
			小型車	大型車	二輪車	小型車	大型車	二輪車	
TN-5	昼間	R7年度春季	3,672	223	53	3,691	279	55	7,973
		R7年度夏季	3,607	271	39	3,606	266	39	7,828
		R7年度秋季	3,425	236	36	3,518	272	47	7,534
		R7年度冬季	3,978	238	61	4,048	244	76	8,645
	夜間	R7年度春季	309	18	2	199	6	2	536
		R7年度夏季	278	12	3	215	6	1	515
		R7年度秋季	241	12	2	154	3	0	412
		R7年度冬季	207	2	2	267	30	2	510
TN-10	昼間	R7年度春季	3,511	686	50	3,267	696	35	8,245
		R7年度夏季	3,434	743	35	2,896	749	29	7,886
		R7年度秋季	3,475	623	36	3,086	653	34	7,907
		R7年度冬季	3,575	552	48	3,621	605	45	8,446
	夜間	R7年度春季	179	10	2	277	14	9	491
		R7年度夏季	191	12	5	332	12	5	557
		R7年度秋季	175	16	3	233	11	3	441
		R7年度冬季	199	20	4	238	17	8	486
TN-11	昼間	R7年度春季	6,055	430	68	6,355	462	57	13,427
		R7年度夏季	6,041	492	51	6,099	456	62	13,201
		R7年度秋季	5,920	449	45	5,928	446	55	12,843
		R7年度冬季	6,114	477	81	6,482	419	87	13,660
	夜間	R7年度春季	450	32	2	339	12	3	838
		R7年度夏季	461	24	3	393	16	5	902
		R7年度秋季	406	20	3	331	8	4	772
		R7年度冬季	499	19	10	342	27	2	899

注）1. 調査期日は、R7 年度春季が令和 7 年 4 月 22 日、R7 年度夏季が令和 7 年 7 月 15 日、R7 年度秋季が令和 7 年 11 月 11 日、R7 年度冬季が令和 8 年 2 月 5 日です。
2. 時間区分の昼間は 6 時～22 時、夜間は 22 時～6 時です。
3. 地点名の TN-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10 は世冨慶集落、TN-11 は松田集落の国道 329 号沿道を示します。

表-2.2.2.2　交通量の調査結果一覧

単位：台

地点名	季節	上り車線				下り車線				合計
		小型車	大型車	二輪車	合計	小型車	大型車	二輪車	合計	
TN-5	R7年度春季	3,981	241	55	4,277	3,890	285	57	4,232	8,509
	R7年度夏季	3,885	283	42	4,210	3,821	272	40	4,133	8,343
	R7年度秋季	3,666	248	38	3,952	3,672	275	47	3,994	7,946
	R7年度冬季	4,185	240	63	4,488	4,315	274	78	4,667	9,155
TN-10	R7年度春季	3,690	696	52	4,438	3,544	710	44	4,298	8,736
	R7年度夏季	3,625	755	40	4,420	3,228	761	34	4,023	8,443
	R7年度秋季	3,650	639	39	4,328	3,319	664	37	4,020	8,348
	R7年度冬季	3,774	572	52	4,398	3,859	622	53	4,534	8,932
TN-11	R7年度春季	6,505	462	70	7,037	6,694	474	60	7,228	14,265
	R7年度夏季	6,502	516	54	7,072	6,492	472	67	7,031	14,103
	R7年度秋季	6,326	469	48	6,843	6,259	454	59	6,772	13,615
	R7年度冬季	6,613	496	91	7,200	6,824	446	89	7,359	14,559

単位：台

地点名	季節	上下線			
		小型車	大型車	二輪車	合計
TN-5	R7年度春季	7,871	526	112	8,509
	R7年度夏季	7,706	555	82	8,343
	R7年度秋季	7,338	523	85	7,946
	R7年度冬季	8,500	514	141	9,155
TN-10	R7年度春季	7,234	1,406	96	8,736
	R7年度夏季	6,853	1,516	74	8,443
	R7年度秋季	6,969	1,303	76	8,348
	R7年度冬季	7,633	1,194	105	8,932
TN-11	R7年度春季	13,199	936	130	14,265
	R7年度夏季	12,994	988	121	14,103
	R7年度秋季	12,585	923	107	13,615
	R7年度冬季	13,437	942	180	14,559

注）1. 調査期日は、R7 年度春季が令和 7 年 4 月 22 日、R7 年度夏季が令和 7 年 7 月 15 日、R7 年度秋季が令和 7 年 11 月 11 日、R7 年度冬季が令和 8 年 2 月 5 日です。
2. 地点名の TN-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10 は世冨慶集落、TN-11 は松田集落の国道 329 号沿道を示します。

2.2.3 建設作業騒音

国立沖縄工業高等専門学校(EN-10)、辺野古集落(EN-13)における令和7年度春季から冬季までの建設作業騒音の調査結果は表-2.2.3.1～表-2.2.3.4 に示すとおりです。

昼間の時間帯における騒音レベルの 90%レンジ上端値（L_5）は 39～74dB の範囲で推移しています。

なお、参考までに等価騒音レベル（L_{Aeq}）は 42～62dB となっています。

当該地域は「騒音規制法に基づく規制地域」に該当していませんが、環境監視基準（85dB 以下）を満足する結果となりました。

表-2.2.3.1(1)　建設作業騒音の調査結果（令和7年度春季）

調査期日：令和7年4月28日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EN-10）								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	46	45	40	37	36	41.7	56	34	L_{Aeq} = 43
	7:00	47	46	42	39	38	43.2	54	36	
	8:00	49	48	43	38	37	44.6	63	35	
	9:00	46	44	39	36	36	41.0	55	34	
	10:00	48	47	41	37	37	43.1	55	34	
	11:00	50	48	44	40	39	45.3	56	36	
	12:00	49	47	42	38	37	44.2	56	34	
	13:00	47	46	42	38	37	43.0	57	35	
	14:00	49	47	43	39	38	44.5	62	35	
	15:00	47	45	41	37	36	42.6	55	34	
	16:00	48	47	43	38	37	44.4	55	35	
	17:00	47	46	41	36	35	42.5	55	33	
	18:00	46	45	37	34	34	41.2	62	32	
	19:00	44	43	36	33	33	39.3	57	31	
	20:00	42	40	35	33	33	37.3	58	31	
	21:00	41	38	34	32	32	35.8	49	30	
平均/最大/最小		**47**	**45**	**40**	**37**	**36**	**43**	**63**	**30**	

注）1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、各測定時間帯における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.1(2)　建設作業騒音の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月28日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EN-13)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	52	51	45	44	43	47.2	61	41	L_{Aeq} = 49
	7:00	49	48	46	45	44	46.8	57	42	
	8:00	53	52	46	44	44	48.3	61	42	
	9:00	53	53	49	44	44	50.0	64	41	
	10:00	50	49	45	43	43	46.4	60	41	
	11:00	53	52	47	44	44	49.1	64	41	
	12:00	53	51	47	44	43	48.7	65	41	
	13:00	56	55	52	49	46	53.0	66	43	
	14:00	56	55	52	50	48	52.9	67	46	
	15:00	54	53	49	47	47	50.5	63	44	
	16:00	52	51	48	46	45	48.8	60	43	
	17:00	51	50	47	45	45	48.3	69	43	
	18:00	51	50	47	45	45	47.8	62	43	
	19:00	49	48	45	44	43	46.2	57	42	
	20:00	48	47	44	43	42	44.8	56	41	
	21:00	47	46	44	43	43	44.9	59	41	
平均/最大/最小		52	51	47	45	44	49	69	41	

注）1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の６時～22 時までの 16 時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、各測定時間帯における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.2(1)　建設作業騒音の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月8日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EN-10）								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	57	56	54	41	40	53.8	58	38	L_{Aeq} = 62
	7:00	59	57	42	39	39	50.9	62	37	
	8:00	69	69	67	66	65	67.3	70	64	
	9:00	74	74	71	69	68	71.6	76	67	
	10:00	71	70	63	57	56	65.0	73	53	
	11:00	58	57	56	54	53	56.2	66	51	
	12:00	58	57	55	53	51	55.3	60	47	
	13:00	56	56	55	50	45	54.4	60	41	
	14:00	57	57	55	52	51	54.9	60	49	
	15:00	56	56	55	52	51	54.5	66	48	
	16:00	57	56	53	48	47	52.9	58	44	
	17:00	56	56	54	49	48	53.7	58	44	
	18:00	57	56	55	53	52	54.9	58	47	
	19:00	56	56	54	46	46	53.1	58	42	
	20:00	54	53	48	44	44	49.6	58	41	
	21:00	55	54	50	46	45	50.9	58	42	
平均/最大/最小		59	59	55	51	50	62	76	37	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時～22 時までの 16 時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、各測定時間帯における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.2(2)　建設作業騒音の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月8日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EN-13)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	57	57	53	46	45	53.5	60	43	L_{Aeq} = 62
	7:00	56	56	49	47	45	51.4	58	43	
	8:00	69	69	68	66	66	67.6	70	64	
	9:00	69	69	68	67	66	67.9	70	65	
	10:00	69	69	67	63	62	66.6	70	56	
	11:00	62	61	59	56	55	59.1	65	53	
	12:00	61	61	58	53	52	58.0	66	50	
	13:00	63	62	60	57	56	60.4	66	51	
	14:00	63	63	61	59	58	61.4	65	56	
	15:00	63	62	61	58	56	60.6	66	51	
	16:00	63	62	61	58	57	60.7	66	53	
	17:00	63	62	61	55	54	60.2	64	46	
	18:00	60	60	59	57	56	58.9	62	52	
	19:00	61	61	58	44	43	57.4	65	42	
	20:00	49	49	45	43	42	46.0	57	41	
	21:00	50	50	45	43	43	46.5	54	42	
平均/最大/最小		61	61	58	54	54	62	70	41	

注）1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の６時～22 時までの 16 時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、各測定時間帯における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.3(1)　建設作業騒音の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月19日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EN-10）								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	40	38	35	33	32	36.1	52	31	L_{Aeq} = 42
	7:00	48	47	41	36	36	43.0	55	34	
	8:00	50	49	45	41	40	46.0	58	37	
	9:00	48	47	44	42	42	45.3	62	39	
	10:00	48	46	42	39	39	43.9	63	37	
	11:00	47	45	40	36	35	42.0	56	33	
	12:00	46	45	39	35	35	41.4	58	33	
	13:00	48	47	41	37	36	43.7	62	34	
	14:00	46	45	40	37	37	41.9	58	35	
	15:00	47	46	42	39	38	42.8	56	36	
	16:00	46	45	40	38	37	42.0	57	35	
	17:00	46	44	38	35	34	41.2	57	33	
	18:00	44	42	36	34	34	39.1	58	32	
	19:00	43	42	37	35	34	38.8	53	32	
	20:00	42	41	36	34	33	38.0	54	32	
	21:00	42	40	36	33	33	37.5	49	32	
平均/最大/最小		46	44	40	36	36	42	63	31	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時～22時までの16時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、各測定時間帯における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.3(2)　建設作業騒音の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月19日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EN-13)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	49	48	46	43	42	46.2	58	40	L_{Aeq} = 50
	7:00	51	50	48	46	46	48.5	58	44	
	8:00	54	53	50	47	47	50.7	61	45	
	9:00	58	55	51	48	48	52.5	63	45	
	10:00	57	56	55	49	48	55.3	67	44	
	11:00	56	55	53	45	44	52.7	62	40	
	12:00	51	49	46	44	43	47.2	61	41	
	13:00	54	53	49	46	45	50.3	62	43	
	14:00	55	54	51	47	47	51.3	63	45	
	15:00	56	55	51	48	47	52.3	58	46	
	16:00	55	54	52	49	48	52.4	58	45	
	17:00	51	50	47	44	44	47.6	57	42	
	18:00	48	47	45	43	42	45.4	60	40	
	19:00	48	47	44	42	42	44.7	58	39	
	20:00	48	47	44	42	41	44.7	57	39	
	21:00	47	46	44	41	41	44.2	55	39	
平均/最大/最小		52	51	48	45	45	50	67	39	

注）1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の６時～22 時までの 16 時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、各測定時間帯における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.4(1)　建設作業騒音の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月13日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EN-10）								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	44	42	38	36	36	39.3	51	34	L_{Aeq} = 43
	7:00	45	44	40	38	38	41.6	57	35	
	8:00	50	49	47	45	44	47.1	64	41	
	9:00	49	48	46	44	44	46.6	65	42	
	10:00	50	48	44	40	40	45.3	59	38	
	11:00	47	46	42	38	37	43.0	59	35	
	12:00	50	48	44	40	39	45.5	61	37	
	13:00	47	46	42	40	40	43.8	61	38	
	14:00	47	45	42	40	39	43.1	59	36	
	15:00	47	46	43	41	40	43.8	56	37	
	16:00	47	46	38	36	35	41.9	56	33	
	17:00	44	42	36	34	34	39.1	55	32	
	18:00	43	41	37	35	34	39.2	59	32	
	19:00	41	39	36	35	34	37.1	48	33	
	20:00	39	38	36	35	35	37.3	56	33	
	21:00	39	38	36	35	34	37.0	53	33	
平均/最大/最小		46	44	40	38	38	43	65	32	

注）1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の６時～22時までの16時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.4(2)　建設作業騒音の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月13日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EN-13)								
時間区分	測　定時間帯	時間率騒音レベル					L_{Aeq}	L_{max}	L_{min}	時間区分の平均値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}				
昼間	6:00	52	51	49	47	45	49.3	57	42	L_{Aeq} = 51
	7:00	53	53	50	48	48	50.5	56	46	
	8:00	58	57	55	50	50	55.4	71	48	
	9:00	58	57	52	49	48	53.7	65	45	
	10:00	54	54	50	47	47	51.1	64	45	
	11:00	53	53	49	43	42	49.8	57	39	
	12:00	53	52	51	43	42	50.3	58	39	
	13:00	53	53	50	46	45	50.6	56	43	
	14:00	54	53	49	45	44	50.1	62	41	
	15:00	55	54	51	46	43	51.5	66	40	
	16:00	62	61	52	45	44	55.9	66	42	
	17:00	52	51	46	41	41	47.5	56	39	
	18:00	48	47	44	41	41	44.8	55	38	
	19:00	49	48	45	41	40	45.4	56	38	
	20:00	49	47	43	40	40	44.6	55	38	
	21:00	48	47	43	40	40	44.0	55	37	
平均/最大/最小		53	52	49	45	44	51	71	37	

注）1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の６時～22 時までの 16 時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
2. 最大/最小は、各測定時間帯における L_{max} の最大値、L_{min} の最小値です。
3. L_{Aeq} は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

2.3 振動

2.3.1 道路交通振動

国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)、世冨慶集落(TV-10)、松田集落(TV-11)における令和7年度春季から冬季までの道路交通振動の調査結果一覧は表-2.3.1.1及び図-2.3.1.1に、調査結果は表-2.3.1.2～表-2.3.1.5に示すとおりです。

昼間の時間帯における振動レベル(L_{10})は、30 未満～43dB の範囲で推移し、世冨慶集落(TV-10)が最も高く、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)が最も低い結果となりました。また、夜間の時間帯における振動レベル(L_{10})は、30 未満～37dB の範囲で推移し、松田集落(TV-11)が最も高く、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)が最も低い結果となりました。

環境監視基準と比較すると、全ての地点、時間区分において、環境監視基準(昼間：60、65dB 以下、夜間：55、60dB 以下)を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

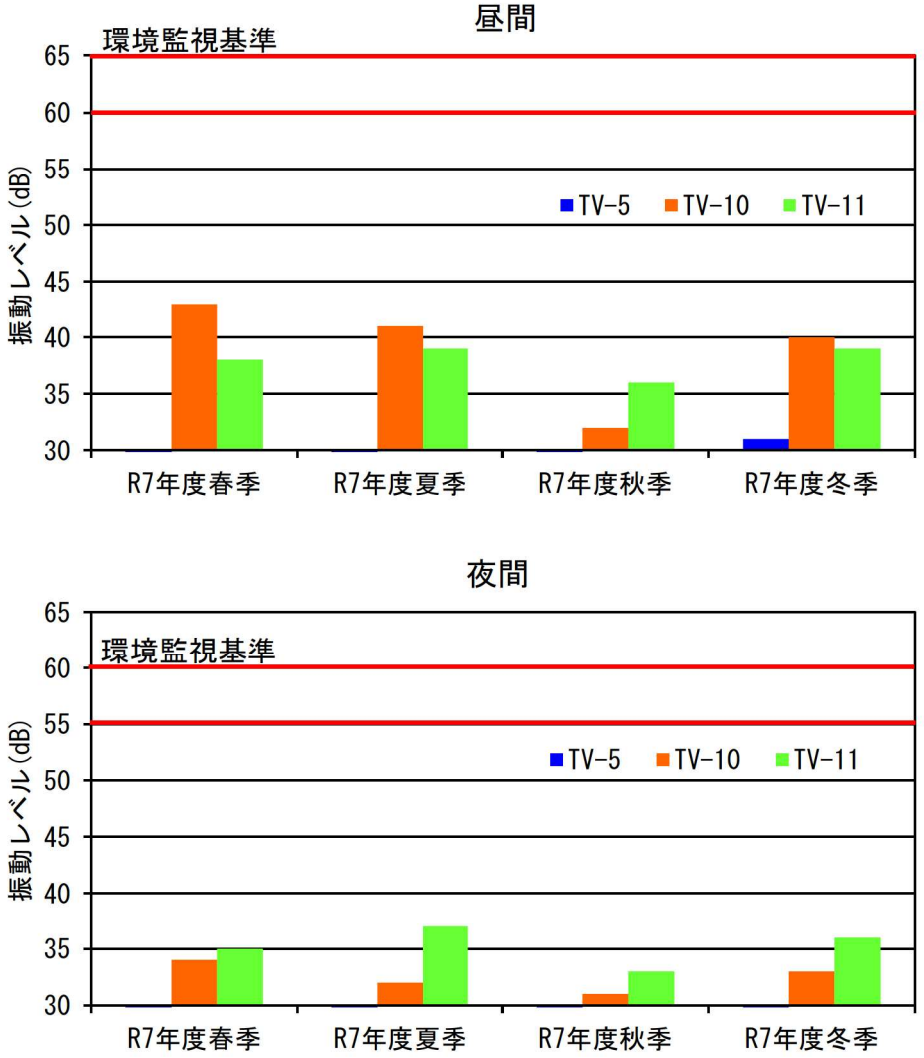
なお、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)については、環境保全の配慮が必要な教育施設に隣接していることから、振動規制法に基づき「道路交通振動の要請限度」(第1種区域)から 5dB 減じた値を採用しました。

表-2.3.1.1　道路交通振動の調査結果一覧

単位：dB

時間区分	季節	TV-5	TV-10	TV-11
昼間	R7年度春季	30未満	43	38
	R7年度夏季	30未満	41	39
	R7年度秋季	30未満	32	36
	R7年度冬季	31	40	39
夜間	R7年度春季	30未満	34	35
	R7年度夏季	30未満	32	37
	R7年度秋季	30未満	31	33
	R7年度冬季	30未満	33	36
環境監視基準	昼間	60dB以下	65dB以下	65dB以下
	夜間	55dB以下	60dB以下	60dB以下

注) 1. 時間区分の昼間は8時～19時、夜間は19時～8時です。
2. 地点名の TV-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TV-10 は世冨慶集落、TV-11 は松田集落の国道329 号沿道を示します。
3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第1種区域相当値としています。



注）1. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第1種区域相当値としています。
2. 30dB未満の結果はグラフに表示していません。

図-2.3.1.1　道路交通振動の調査結果

表-2.3.1.2(1)　道路交通振動の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月22日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	L_{10} < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	10:00	30	<30	<30	<30	<30	43	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	13:00	30	<30	<30	<30	<30	42	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	16:00	30	<30	<30	<30	<30	45	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	49	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	L_{10} < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	7:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.2(2)　道路交通振動の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月22日

単位：dB

調査地点		世冨慶集落(TV-10)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	50	36	33	<30	<30	<30	L_{10} = 43
	9:00	52	43	40	<30	<30	<30	
	10:00	51	41	39	<30	<30	<30	
	11:00	52	36	32	<30	<30	<30	
	12:00	52	43	38	<30	<30	<30	
	13:00	51	41	38	<30	<30	<30	
	14:00	56	37	31	<30	<30	<30	
	15:00	54	43	39	<30	<30	<30	
	16:00	50	40	36	<30	<30	<30	
	17:00	50	33	30	<30	<30	<30	
	18:00	50	31	<30	<30	<30	<30	
平均/最大		51	38	35	<30	<30	<30	
夜間	19:00	49	<30	<30	<30	<30	<30	L_{10} = 34
	20:00	50	<30	<30	<30	<30	<30	
	21:00	47	<30	<30	<30	<30	<30	
	22:00	46	<30	<30	<30	<30	<30	
	23:00	44	<30	<30	<30	<30	<30	
	0:00	42	<30	<30	<30	<30	<30	
	1:00	42	<30	<30	<30	<30	<30	
	2:00	35	<30	<30	<30	<30	<30	
	3:00	40	<30	<30	<30	<30	<30	
	4:00	51	<30	<30	<30	<30	<30	
	5:00	47	<30	<30	<30	<30	<30	
	6:00	53	34	32	<30	<30	<30	
	7:00	49	33	32	<30	<30	<30	
平均/最大		46	<30	<30	<30	<30	<30	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.2(3)　道路交通振動の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月22日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	41	38	<30	<30	<30	51	L_{10} = 38
	9:00	41	37	<30	<30	<30	54	
	10:00	42	38	<30	<30	<30	52	
	11:00	41	36	<30	<30	<30	50	
	12:00	38	34	<30	<30	<30	52	
	13:00	41	37	<30	<30	<30	51	
	14:00	41	37	<30	<30	<30	52	
	15:00	39	36	<30	<30	<30	50	
	16:00	41	38	<30	<30	<30	51	
	17:00	38	34	<30	<30	<30	51	
	18:00	35	33	<30	<30	<30	50	
平均/最大		40	36	<30	<30	<30	54	
夜間	19:00	33	32	<30	<30	<30	46	L_{10} = 35
	20:00	32	30	<30	<30	<30	49	
	21:00	30	<30	<30	<30	<30	49	
	22:00	30	<30	<30	<30	<30	51	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	5:00	33	<30	<30	<30	<30	51	
	6:00	40	35	<30	<30	<30	53	
	7:00	39	35	<30	<30	<30	49	
平均/最大		30	<30	<30	<30	<30	53	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.3(1)　道路交通振動の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月15日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	L_{10} ＜ 30
	9:00	30	<30	<30	<30	<30	50	
	10:00	31	<30	<30	<30	<30	44	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	13:00	30	<30	<30	<30	<30	45	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	16:00	30	<30	<30	<30	<30	43	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	L_{10} ＜ 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	7:00	30	<30	<30	<30	<30	54	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	54	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.3(2)　道路交通振動の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月15日

単位：dB

調査地点		世冨慶集落(TV-10)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	36	33	<30	<30	<30	53	L_{10} = 41
	9:00	45	41	<30	<30	<30	57	
	10:00	40	38	<30	<30	<30	51	
	11:00	38	33	<30	<30	<30	53	
	12:00	42	36	<30	<30	<30	53	
	13:00	40	37	<30	<30	<30	62	
	14:00	38	32	<30	<30	<30	54	
	15:00	44	40	<30	<30	<30	52	
	16:00	39	36	<30	<30	<30	53	
	17:00	31	<30	<30	<30	<30	50	
	18:00	31	<30	<30	<30	<30	52	
平均/最大		38	35	<30	<30	<30	62	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	L_{10} = 32
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	52	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	5:00	30	<30	<30	<30	<30	50	
	6:00	33	31	<30	<30	<30	51	
	7:00	35	32	<30	<30	<30	51	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	52	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.3(3)　道路交通振動の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月15日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	41	37	<30	<30	<30	52	L_{10} = 39
	9:00	41	38	<30	<30	<30	50	
	10:00	42	39	<30	<30	<30	51	
	11:00	39	35	<30	<30	<30	50	
	12:00	37	33	<30	<30	<30	52	
	13:00	40	36	<30	<30	<30	56	
	14:00	40	37	<30	<30	<30	51	
	15:00	38	34	<30	<30	<30	51	
	16:00	42	39	<30	<30	<30	54	
	17:00	37	34	<30	<30	<30	49	
	18:00	34	33	<30	<30	<30	50	
平均/最大		39	36	<30	<30	<30	56	
夜間	19:00	32	31	<30	<30	<30	46	L_{10} = 37
	20:00	32	30	<30	<30	<30	47	
	21:00	30	<30	<30	<30	<30	43	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	53	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	5:00	33	<30	<30	<30	<30	48	
	6:00	41	36	<30	<30	<30	53	
	7:00	40	37	<30	<30	<30	52	
平均/最大		30	<30	<30	<30	<30	53	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.4(1)　道路交通振動の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月11日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	L_{10} < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	17:00	32	<30	<30	<30	<30	58	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	58	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	L_{10} < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	7:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	49	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.4(2)　道路交通振動の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月11日

単位：dB

調査地点		世冨慶集落(TV-10)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	37	32	<30	<30	<30	50	L_{10} = 32
	9:00	39	32	<30	<30	<30	51	
	10:00	34	30	<30	<30	<30	47	
	11:00	31	<30	<30	<30	<30	47	
	12:00	35	30	<30	<30	<30	50	
	13:00	33	<30	<30	<30	<30	48	
	14:00	35	30	<30	<30	<30	49	
	15:00	31	<30	<30	<30	<30	48	
	16:00	30	<30	<30	<30	<30	48	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
平均/最大		32	<30	<30	<30	<30	51	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	L_{10} = 31
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	6:00	32	<30	<30	<30	<30	52	
	7:00	33	31	<30	<30	<30	52	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	52	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.4(3)　道路交通振動の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月11日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	39	35	<30	<30	<30	50	L_{10} = 36
	9:00	38	33	<30	<30	<30	50	
	10:00	39	35	<30	<30	<30	51	
	11:00	38	33	<30	<30	<30	51	
	12:00	35	31	<30	<30	<30	49	
	13:00	39	35	<30	<30	<30	49	
	14:00	39	36	<30	<30	<30	51	
	15:00	37	33	<30	<30	<30	50	
	16:00	40	35	<30	<30	<30	49	
	17:00	35	32	<30	<30	<30	54	
	18:00	32	30	<30	<30	<30	47	
平均/最大		37	33	<30	<30	<30	54	
夜間	19:00	30	<30	<30	<30	<30	45	L_{10} = 33
	20:00	30	<30	<30	<30	<30	48	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	5:00	31	<30	<30	<30	<30	50	
	6:00	37	32	<30	<30	<30	50	
	7:00	36	33	<30	<30	<30	49	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.5(1)　道路交通振動の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月5日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	31	<30	<30	<30	<30	47	L_{10} = 31
	9:00	31	<30	<30	<30	<30	46	
	10:00	32	<30	<30	<30	<30	46	
	11:00	31	<30	<30	<30	<30	47	
	12:00	31	<30	<30	<30	<30	45	
	13:00	32	<30	<30	<30	<30	46	
	14:00	32	<30	<30	<30	<30	47	
	15:00	32	30	<30	<30	<30	46	
	16:00	33	31	<30	<30	<30	46	
	17:00	32	30	<30	<30	<30	46	
	18:00	30	<30	<30	<30	<30	54	
平均/最大		32	<30	<30	<30	<30	54	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	L_{10} < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	7:00	31	<30	<30	<30	<30	48	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.5(2)　道路交通振動の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月5日

単位：dB

調査地点		世冨慶集落(TV-10)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	36	33	<30	<30	<30	52	L_{10} = 40
	9:00	43	40	<30	<30	<30	51	
	10:00	41	38	<30	<30	<30	52	
	11:00	36	32	<30	<30	<30	53	
	12:00	37	32	<30	<30	<30	53	
	13:00	35	31	<30	<30	<30	49	
	14:00	37	31	<30	<30	<30	53	
	15:00	44	39	<30	<30	<30	52	
	16:00	40	36	<30	<30	<30	51	
	17:00	32	30	<30	<30	<30	52	
	18:00	31	<30	<30	<30	<30	49	
平均/最大		37	34	<30	<30	<30	53	
夜間	19:00	30	<30	<30	<30	<30	49	L_{10} = 33
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	6:00	36	33	<30	<30	<30	54	
	7:00	34	32	<30	<30	<30	50	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	54	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

表-2.3.1.5(3)　道路交通振動の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月5日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	41	37	<30	<30	<30	50	L_{10} = 39
	9:00	41	37	<30	<30	<30	53	
	10:00	42	39	<30	<30	<30	53	
	11:00	41	37	<30	<30	<30	53	
	12:00	39	35	<30	<30	<30	50	
	13:00	41	37	<30	<30	<30	55	
	14:00	39	36	<30	<30	<30	52	
	15:00	40	36	<30	<30	<30	51	
	16:00	42	38	<30	<30	<30	50	
	17:00	36	34	<30	<30	<30	51	
	18:00	33	32	<30	<30	<30	50	
平均/最大		40	36	<30	<30	<30	55	
夜間	19:00	32	30	<30	<30	<30	47	L_{10} = 36
	20:00	31	<30	<30	<30	<30	51	
	21:00	30	<30	<30	<30	<30	46	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	5:00	32	<30	<30	<30	<30	51	
	6:00	39	35	<30	<30	<30	50	
	7:00	40	36	<30	<30	<30	55	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	55	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の 19 時から８時までの 13 時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
3.最大は、昼間及び夜間の時間区分における L_{max} の最大値です。

2.3.2 建設作業振動

国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)における令和7年度春季から冬季までの建設作業振動の調査結果は表-2.3.2.1～表-2.3.2.4 に示すとおりです。

国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)の 80%レンジ上端値(L_{10})は30dB未満～31dBの範囲で推移し、辺野古集落(EV-13)の夏季及び冬季以外は全て30dB未満でした。

環境監視基準(75dB以下)と比較すると、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-2.3.2.1(1)　建設作業振動の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月28日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EV-10）						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L_{10} < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	48	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯における L_{max} の最大値です。

表-2.3.2.1(2)　建設作業振動の調査結果（令和７年度春季）

調査期日：令和7年4月28日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EV-13)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	L_{10} < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	11:00	30	<30	<30	<30	<30	44	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯における L_{max} の最大値です。

表-2.3.2.2(1)　建設作業振動の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月8日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EV-10）						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	L_{10} < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	53	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	55	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	55	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯における L_{max} の最大値です。

表-2.3.2.2(2)　建設作業振動の調査結果（令和７年度夏季）

調査期日：令和7年7月8日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EV-13)						
時間区分	測　定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	L_{10} = 31
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	10:00	30	<30	<30	<30	<30	36	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	13:00	32	30	<30	<30	<30	45	
	14:00	30	<30	<30	<30	<30	38	
	15:00	32	31	<30	<30	<30	51	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	51	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯における L_{max} の最大値です。

表-2.3.2.3(1)　建設作業振動の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月19日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EV-10）						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	L_{10} < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	36	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯における L_{max} の最大値です。

表-2.3.2.3(2)　建設作業振動の調査結果（令和７年度秋季）

調査期日：令和7年11月19日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EV-13)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L_{10} < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯における L_{max} の最大値です。

表-2.3.2.4(1)　建設作業振動の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月13日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EV-10）						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L_{10} < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	41	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯における L_{max} の最大値です。

表-2.3.2.4(2)　建設作業振動の調査結果（令和７年度冬季）

調査期日：令和8年2月13日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EV-13)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L_{max}	時間区分の最大値
		L_5	L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{95}		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	L_{10} = 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	15:00	32	30	<30	<30	<30	33	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注）1.30dB 未満は「<30」と表示しています。
2.平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の８時から 19 時までの 11 時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯における L_{max} の最大値です。

2.4 低周波音

2.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

(1) 低周波音の状況

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、辺野古集落(LF-13)における令和7年度春季から冬季までの建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果は表-2.4.1.1及び図-2.4.1.1～図-2.4.1.4に示すとおりです。

1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは 29.0～69.0dB の範囲で推移しており、辺野古集落(LF-13)の低周波数域の音圧レベルが高くなる傾向がみられました。

環境監視基準と比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

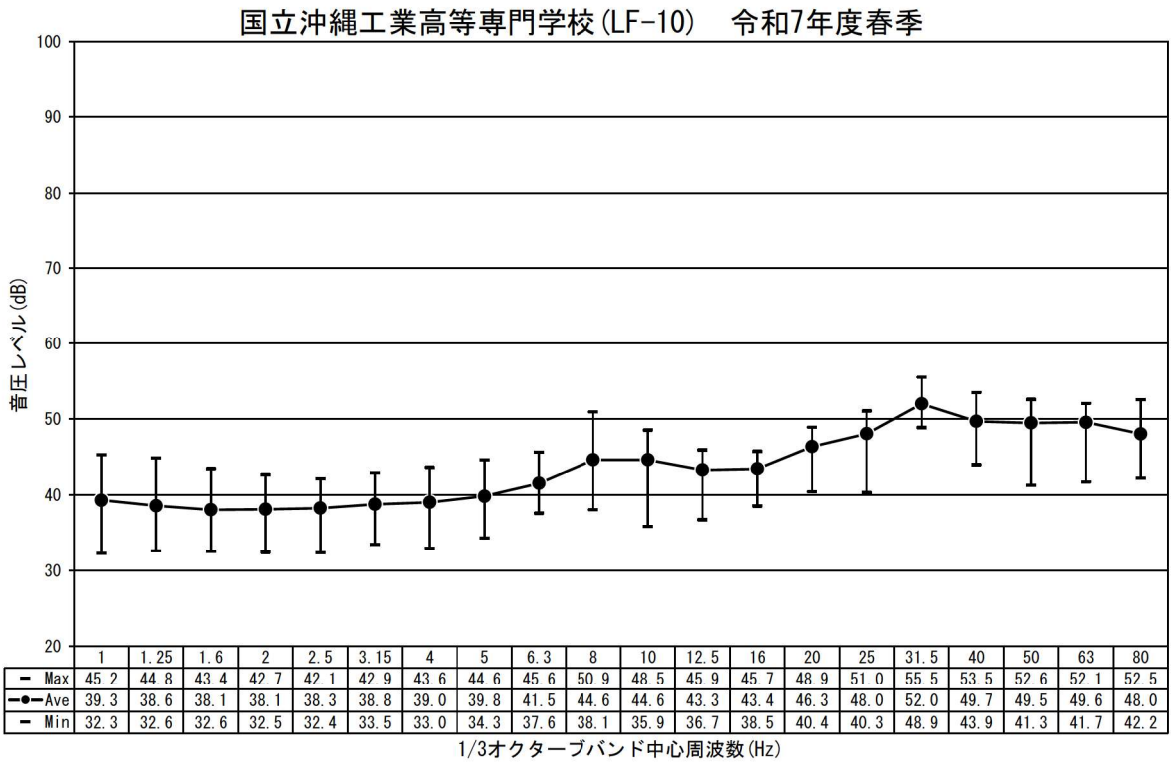
表-2.4.1.1　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果一覧

調査期日　R7年度春季：令和7年4月28日　R7年度夏季：令和7年7月8日
R7年度秋季：令和7年11月19日　R7年度冬季：令和8年2月13日

単位：dB

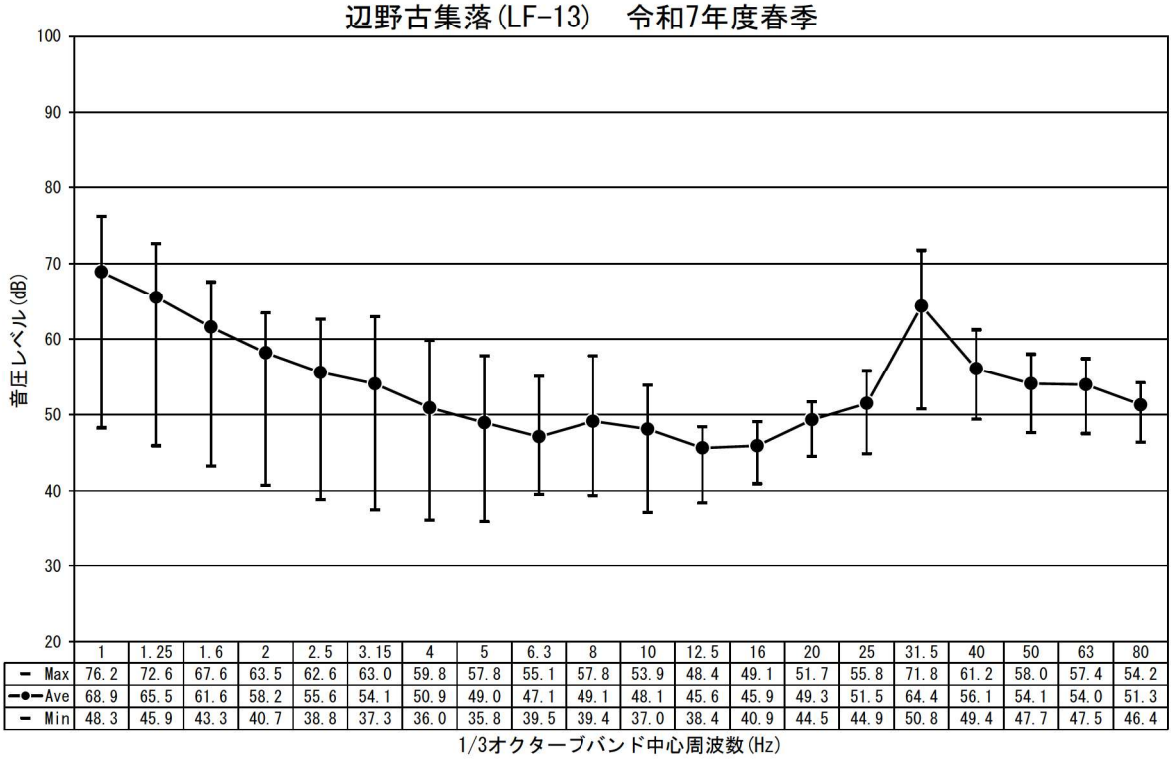
地点名	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル																			
		1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz
LF-10	R7年度春季	39.3	38.6	38.1	38.1	38.3	38.8	39.0	39.8	41.5	44.6	44.6	43.3	43.4	46.3	48.0	52.0	49.7	49.5	49.6	48.0
	R7年度夏季	50.0	49.2	47.2	45.5	44.5	43.8	43.4	43.4	44.6	46.3	46.9	45.8	46.3	48.9	51.6	52.2	52.8	51.9	51.7	52.6
	R7年度秋季	38.7	37.9	37.4	37.3	37.2	37.6	38.1	38.1	39.2	40.0	41.9	43.4	44.9	50.8	48.8	49.6	50.4	49.6	49.6	48.9
	R7年度冬季	44.7	45.0	45.9	44.7	45.1	47.2	45.9	47.4	48.1	48.1	48.9	45.7	46.3	49.3	54.8	52.7	52.9	51.4	57.0	54.1
LF-13	R7年度春季	68.9	65.5	61.6	58.2	55.6	54.1	50.9	49.0	47.1	49.1	48.1	45.6	45.9	49.3	51.5	64.4	56.1	54.1	54.0	51.3
	R7年度夏季	69.0	67.9	66.2	64.8	62.9	60.6	57.3	53.6	50.9	49.3	48.9	47.2	47.1	49.2	52.9	60.6	58.4	55.8	58.5	63.5
	R7年度秋季	31.5	30.2	29.0	29.5	30.6	32.2	32.0	33.1	34.9	36.2	38.3	43.0	45.0	50.3	51.8	59.5	55.5	55.1	55.7	53.6
	R7年度冬季	50.1	49.5	48.4	46.3	44.5	42.3	42.2	45.5	47.3	48.6	48.7	46.8	47.1	51.7	55.8	60.5	56.8	57.2	63.0	56.3
環境監視基準	心理的	－	－	－	－	－	－	－	115	111	108	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84
	物的	－	－	－	－	－	－	－	70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99	－	－

注）1.周波数別の音圧レベルは、1時間毎の測定値のエネルギー平均値です。
2.地点名のLF-10は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13は辺野古集落を示します。
3.環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、生理的、物的影響に係る閾値としています。



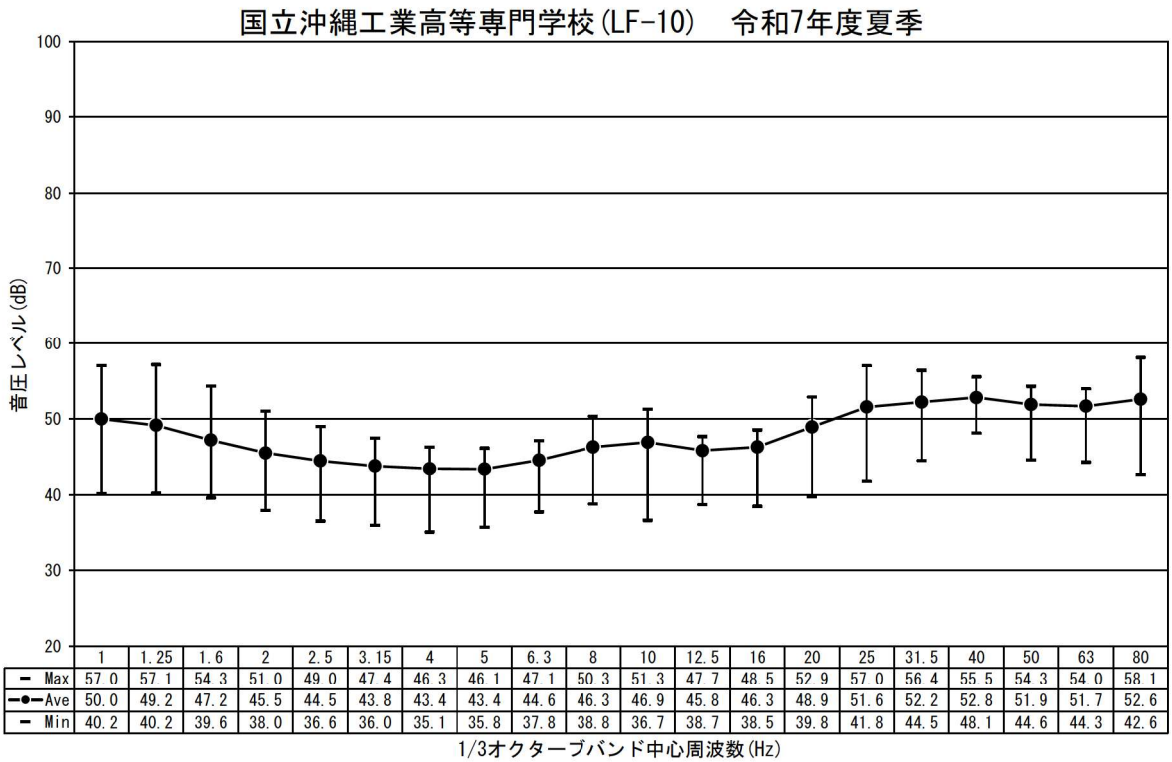
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	45.2	44.8	43.4	42.7	42.1	42.9	43.6	44.6	45.6	50.9	48.5	45.9	45.7	48.9	51.0	55.5	53.5	52.6	52.1	52.5
Ave	39.3	38.6	38.1	38.1	38.3	38.8	39.0	39.8	41.5	44.6	44.6	43.3	43.4	46.3	48.0	52.0	49.7	49.5	49.6	48.0
Min	32.3	32.6	32.6	32.5	32.4	33.5	33.0	34.3	37.6	38.1	35.9	36.7	38.5	40.4	40.3	48.9	43.9	41.3	41.7	42.2

図-2.4.1.1(1)　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度春季)



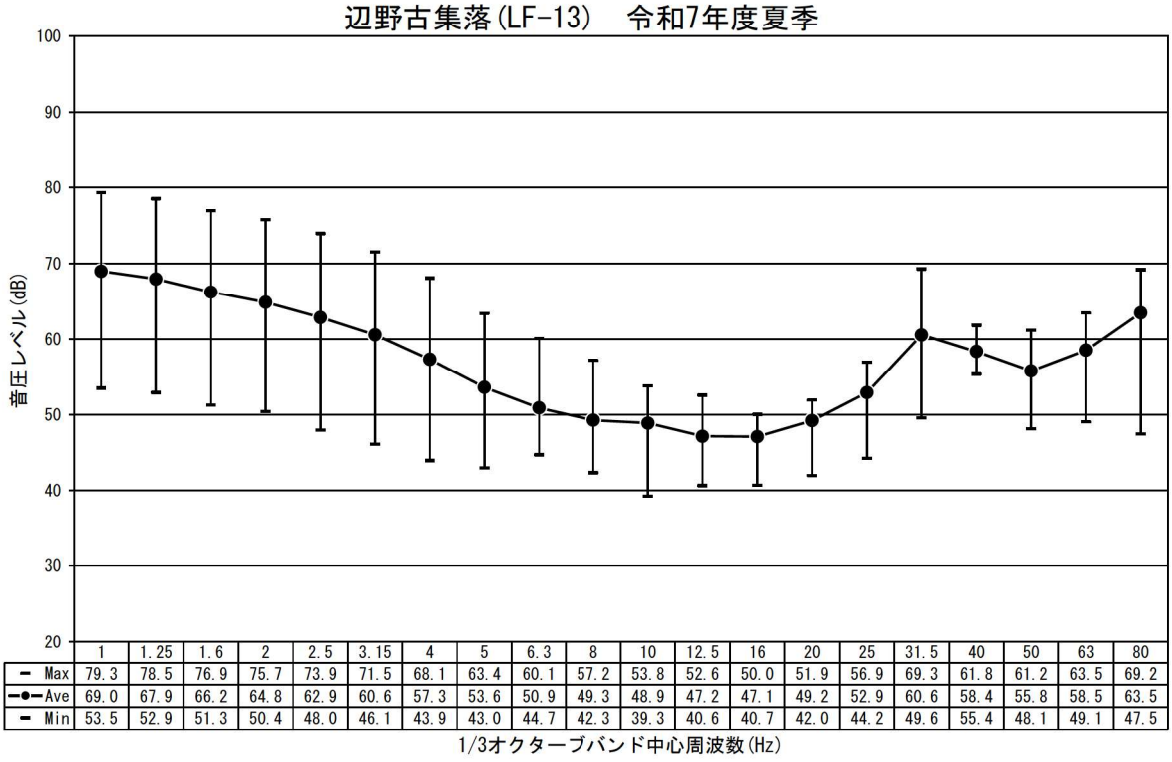
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	76.2	72.6	67.6	63.5	62.6	63.0	59.8	57.8	55.1	57.8	53.9	48.4	49.1	51.7	55.8	71.8	61.2	58.0	57.4	54.2
Ave	68.9	65.5	61.6	58.2	55.6	54.1	50.9	49.0	47.1	49.1	48.1	45.6	45.9	49.3	51.5	64.4	56.1	54.1	54.0	51.3
Min	48.3	45.9	43.3	40.7	38.8	37.3	36.0	35.8	39.5	39.4	37.0	38.4	40.9	44.5	44.9	50.8	49.4	47.7	47.5	46.4

図-2.4.1.1(2)　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度春季)



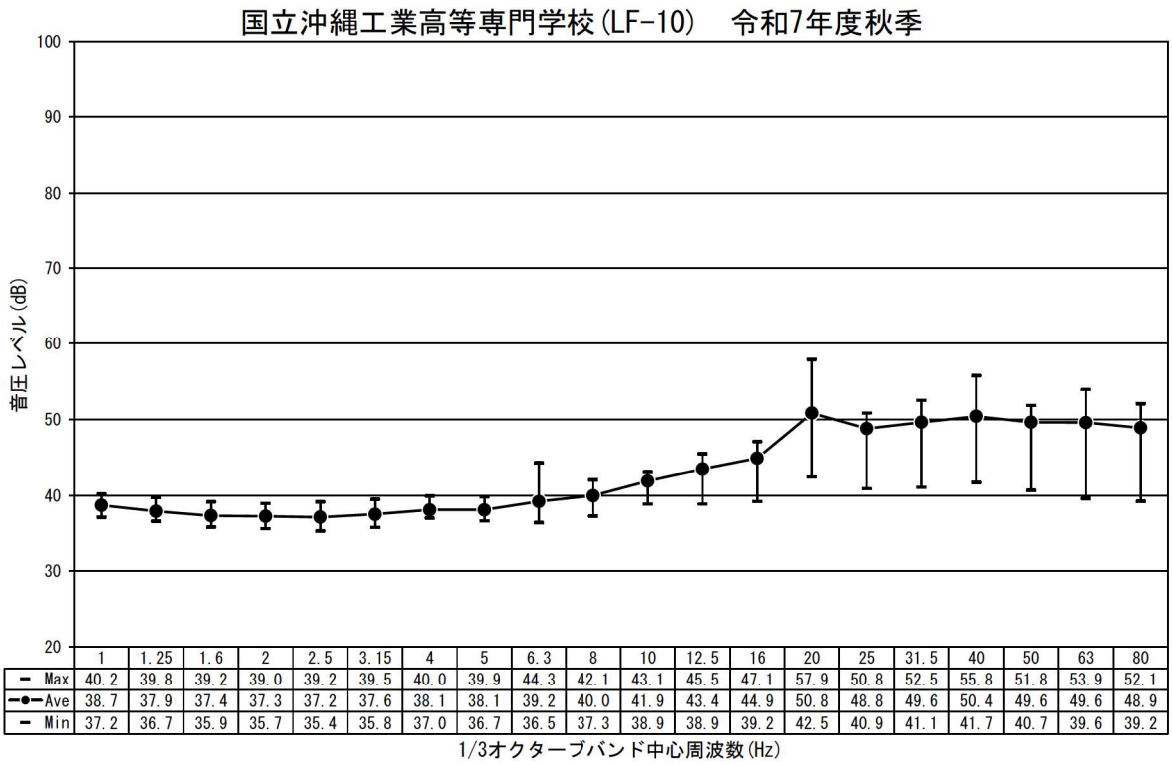
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	57.0	57.1	54.3	51.0	49.0	47.4	46.3	46.1	47.1	50.3	51.3	47.7	48.5	52.9	57.0	56.4	55.5	54.3	54.0	58.1
Ave	50.0	49.2	47.2	45.5	44.5	43.8	43.4	43.4	44.6	46.3	46.9	45.8	46.3	48.9	51.6	52.2	52.8	51.9	51.7	52.6
Min	40.2	40.2	39.6	38.0	36.6	36.0	35.1	35.8	37.8	38.8	36.7	38.7	38.5	39.8	41.8	44.5	48.1	44.6	44.3	42.6

図-2.4.1.2(1)　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度夏季)



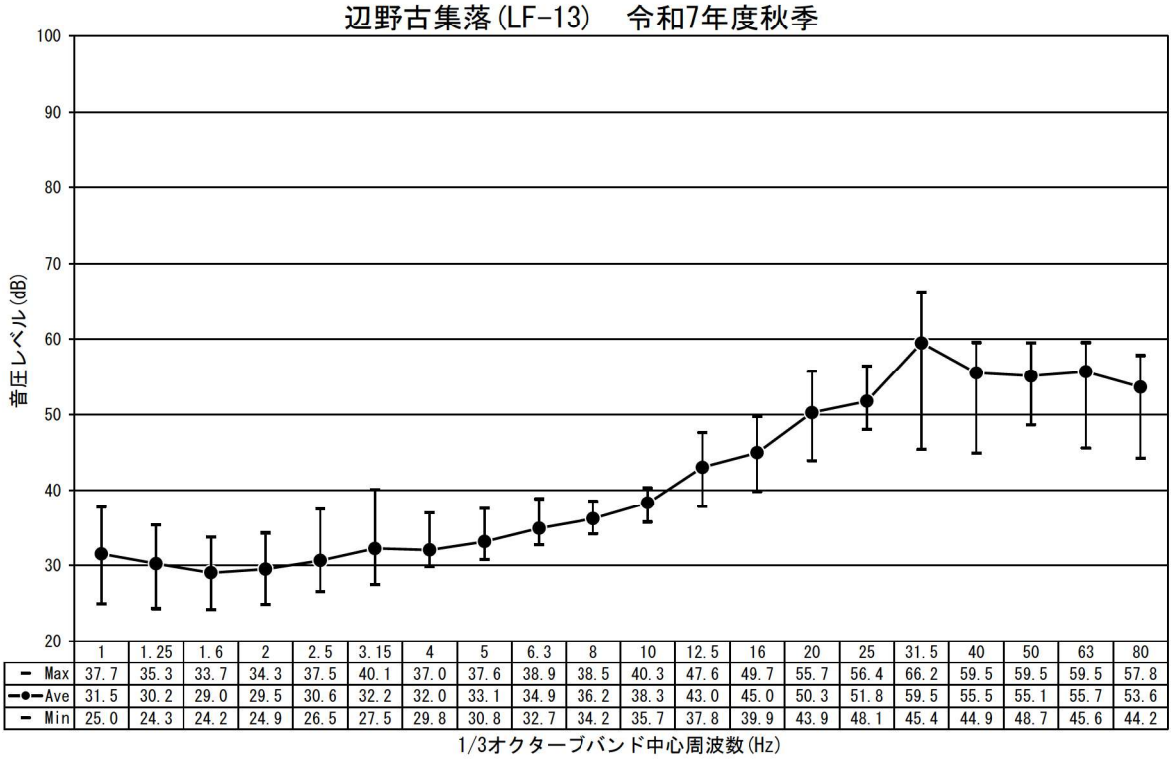
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	79.3	78.5	76.9	75.7	73.9	71.5	68.1	63.4	60.1	57.2	53.8	52.6	50.0	51.9	56.9	69.3	61.8	61.2	63.5	69.2
Ave	69.0	67.9	66.2	64.8	62.9	60.6	57.3	53.6	50.9	49.3	48.9	47.2	47.1	49.2	52.9	60.6	58.4	55.8	58.5	63.5
Min	53.5	52.9	51.3	50.4	48.0	46.1	43.9	43.0	44.7	42.3	39.3	40.6	40.7	42.0	44.2	49.6	55.4	48.1	49.1	47.5

図-2.4.1.2(2)　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度夏季)



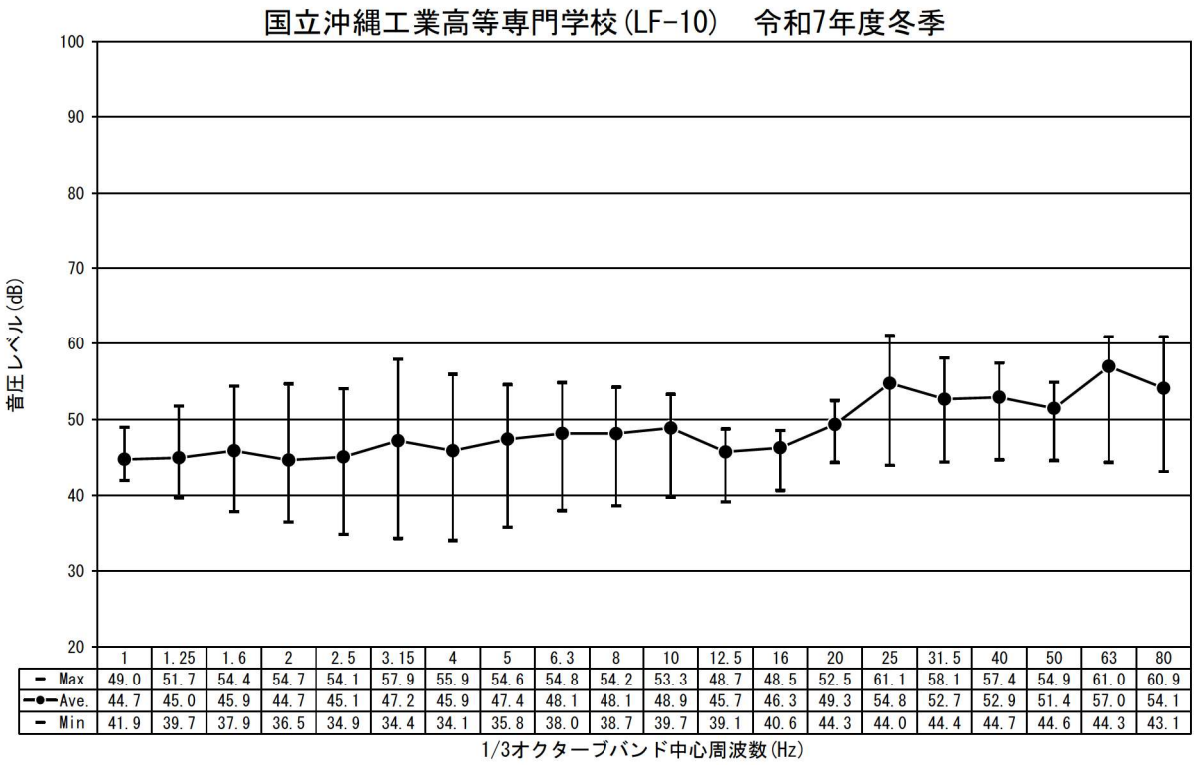
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	40.2	39.8	39.2	39.0	39.2	39.5	40.0	39.9	44.3	42.1	43.1	45.5	47.1	57.9	50.8	52.5	55.8	51.8	53.9	52.1
Ave	38.7	37.9	37.4	37.3	37.2	37.6	38.1	38.1	39.2	40.0	41.9	43.4	44.9	50.8	48.8	49.6	50.4	49.6	49.6	48.9
Min	37.2	36.7	35.9	35.7	35.4	35.8	37.0	36.7	36.5	37.3	38.9	38.9	39.2	42.5	40.9	41.1	41.7	40.7	39.6	39.2

図-2.4.1.3(1)　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度秋季)



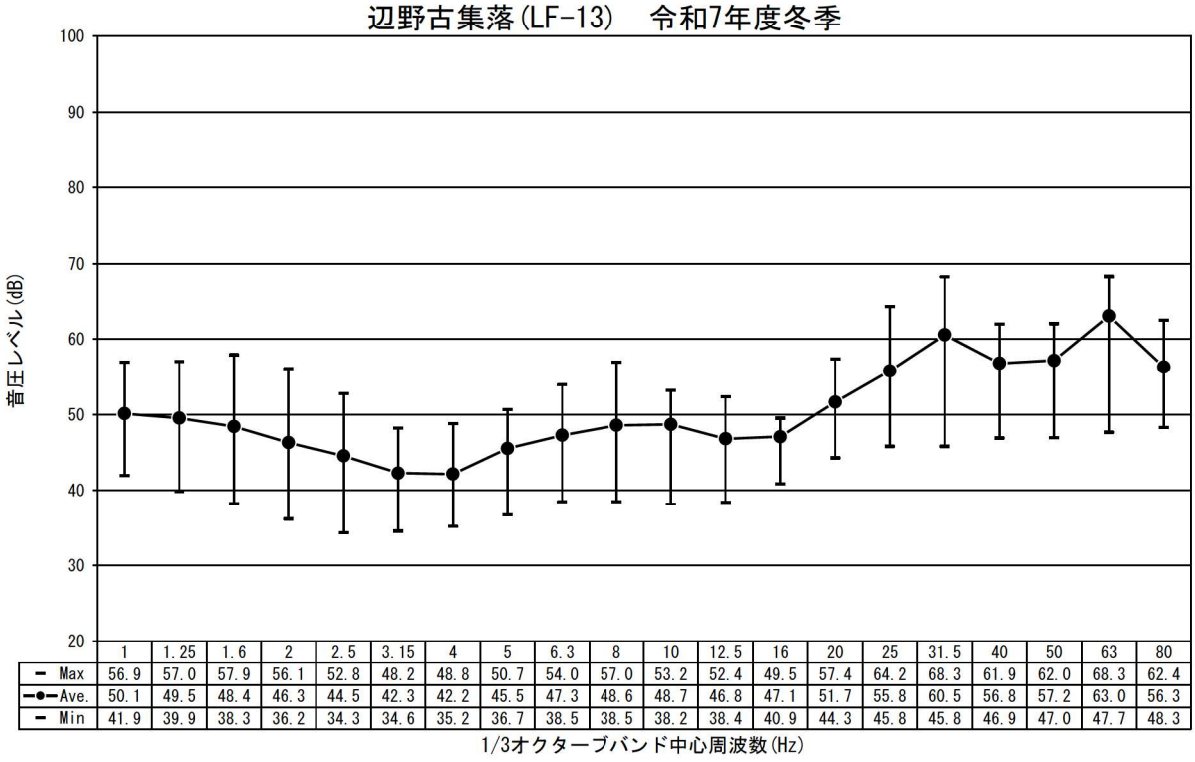
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	37.7	35.3	33.7	34.3	37.5	40.1	37.0	37.6	38.9	38.5	40.3	47.6	49.7	55.7	56.4	66.2	59.5	59.5	59.5	57.8
Ave	31.5	30.2	29.0	29.5	30.6	32.2	32.0	33.1	34.9	36.2	38.3	43.0	45.0	50.3	51.8	59.5	55.5	55.1	55.7	53.6
Min	25.0	24.3	24.2	24.9	26.5	27.5	29.8	30.8	32.7	34.2	35.7	37.8	39.9	43.9	48.1	45.4	44.9	48.7	45.6	44.2

図-2.4.1.3(2)　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度秋季)



	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	49.0	51.7	54.4	54.7	54.1	57.9	55.9	54.6	54.8	54.2	53.3	48.7	48.5	52.5	61.1	58.1	57.4	54.9	61.0	60.9
Ave.	44.7	45.0	45.9	44.7	45.1	47.2	45.9	47.4	48.1	48.1	48.9	45.7	46.3	49.3	54.8	52.7	52.9	51.4	57.0	54.1
Min	41.9	39.7	37.9	36.5	34.9	34.4	34.1	35.8	38.0	38.7	39.7	39.1	40.6	44.3	44.0	44.4	44.7	44.6	44.3	43.1

図-2.4.1.4(1)　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度冬季)



	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	56.9	57.0	57.9	56.1	52.8	48.2	48.8	50.7	54.0	57.0	53.2	52.4	49.5	57.4	64.2	68.3	61.9	62.0	68.3	62.4
Ave.	50.1	49.5	48.4	46.3	44.5	42.3	42.2	45.5	47.3	48.6	48.7	46.8	47.1	51.7	55.8	60.5	56.8	57.2	63.0	56.3
Min	41.9	39.9	38.3	36.2	34.3	34.6	35.2	36.7	38.5	38.5	38.2	38.4	40.9	44.3	45.8	45.8	46.9	47.0	47.7	48.3

図-2.4.1.4(2)　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度冬季)

(2) 風向・風速の状況

低周波音調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、辺野古集落(LF-13)における令和7年度春季から冬季までの風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.4.1.2 及び図-2.4.1.5～図-2.4.1.8 に示すとおりです。

令和7年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で南寄り、辺野古集落(LF-13)で南西寄りの風が卓越していました。平均風速は 0.4～1.9m/s となっており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

令和7年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で南南東寄り、辺野古集落(LF-13)で東寄りの風が卓越していました。平均風速は 0.6～1.3m/s となっており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

令和7年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、辺野古集落(LF-13)でいずれも北北東寄りの風が卓越していました。平均風速はいずれも 0.5m/s となっており、いずれの地点においても、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっており、同程度の風速となっていた。

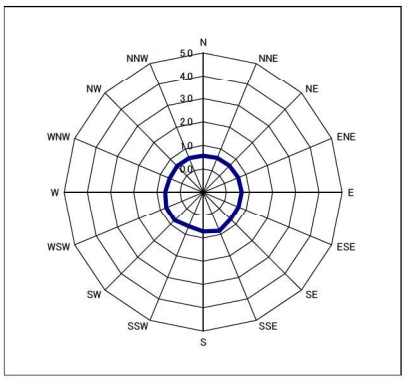
令和7年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で南南西寄り、辺野古集落(LF-13)で南南東寄りの風が卓越していました。平均風速は0.3～0.5m/s となっており、いずれの地点においても、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

表-2.4.1.2　風向・風速の調査結果一覧

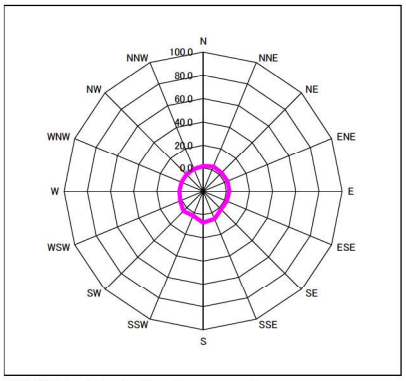
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	LF-10	LF-13
R7年度春季	最多風向	S	SW
	平均風速	0.4	1.9
R7年度夏季	最多風向	SSE	E
	平均風速	0.6	1.3
R7年度秋季	最多風向	NNE	NNE
	平均風速	0.5	0.5
R7年度冬季	最多風向	SSW	SSE
	平均風速	0.3	0.5

注）地点名のLF-10は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13は辺野古集落を示します。



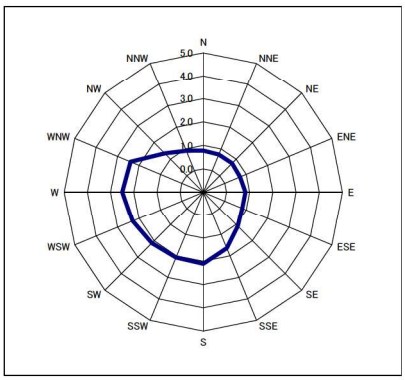
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.7
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.8
S	0.7
SSW	0.6
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6



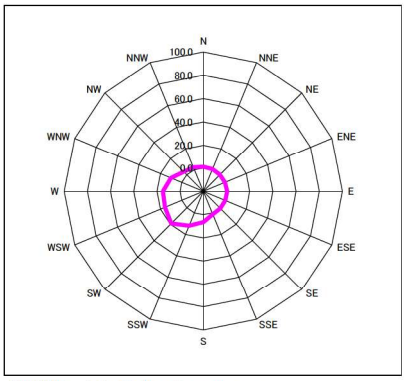
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	1.7
NNE	3.0
NE	2.5
ENE	2.7
E	2.8
ESE	2.2
SE	2.0
SSE	5.6
S	7.0
SSW	2.7
SW	4.1
WSW	1.5
W	0.5
WNW	0.2
NW	0.4
NNW	0.6
calm	60.4

観測期間：令和7年4月28日 6:00-22:00

国立沖縄工業高等専門学校（LF-10）



風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.8
NNE	0.7
NE	0.8
ENE	0.7
E	0.8
ESE	0.8
SE	1.1
SSE	1.6
S	2.1
SSW	2.1
SW	2.1
WSW	2.3
W	2.5
WNW	2.4
NW	1.3
NNW	0.9

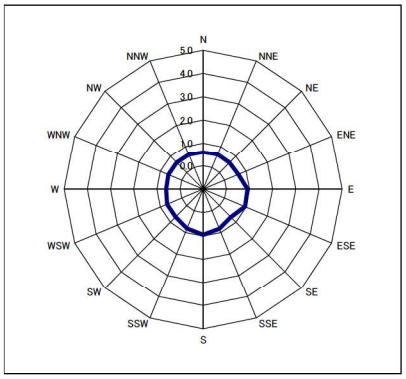


風向(16方位)	出現頻度(%)
N	1.1
NNE	0.8
NE	0.3
ENE	0.3
E	0.7
ESE	0.6
SE	0.8
SSE	1.5
S	6.6
SSW	12.1
SW	19.1
WSW	15.8
W	14.8
WNW	10.2
NW	3.9
NNW	2.4
calm	9.1

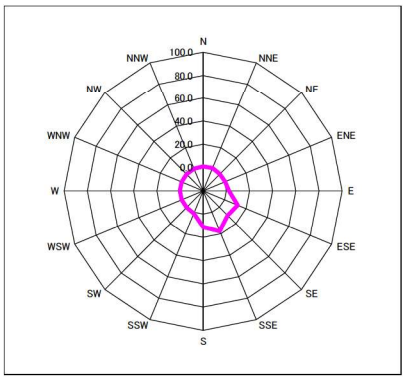
観測期間：令和7年4月28日 6:00-22:00

辺野古集落（LF-13）

図-2.4.1.5　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度春季）



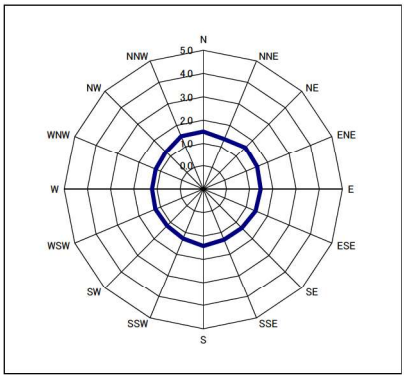
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.9
ESE	1.0
SE	0.7
SSE	0.8
S	0.9
SSW	0.8
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6



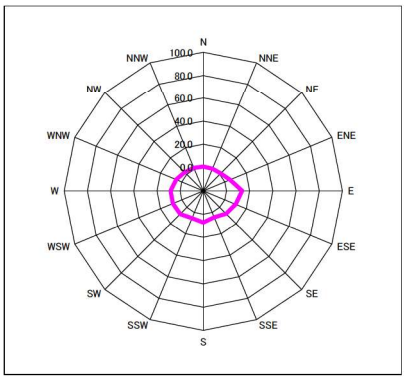
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.9
NNE	1.1
NE	0.4
ENE	0.6
E	2.3
ESE	12.3
SE	10.1
SSE	17.5
S	11.1
SSW	1.2
SW	0.2
WSW	0.1
W	0.1
WNW	0.1
NW	0.2
NNW	0.6
calm	41.2

観測期間：令和7年7月8日 6:00-22:00

国立沖縄工業高等専門学校（LF-10）



風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	1.5
NNE	1.4
NE	1.6
ENE	1.5
E	1.5
ESE	1.4
SE	1.3
SSE	1.3
S	1.4
SSW	1.3
SW	1.2
WSW	1.2
W	1.2
WNW	1.2
NW	1.3
NNW	1.5

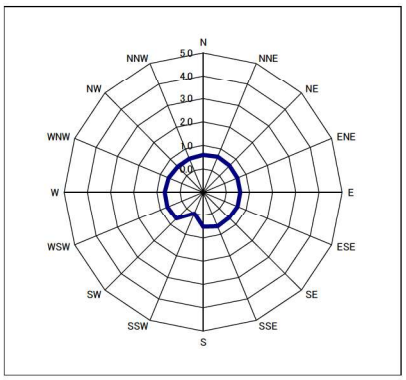


風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.9
NNE	0.7
NE	1.3
ENE	4.8
E	13.5
ESE	10.2
SE	7.8
SSE	4.6
S	7.2
SSW	5.5
SW	8.2
WSW	8.4
W	8.2
WNW	5.3
NW	2.7
NNW	1.5
calm	9.1

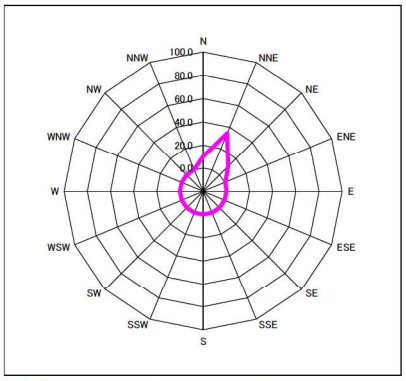
観測期間：令和7年7月8日 6:00-22:00

辺野古集落（LF-13）

図-2.4.1.6　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度夏季）



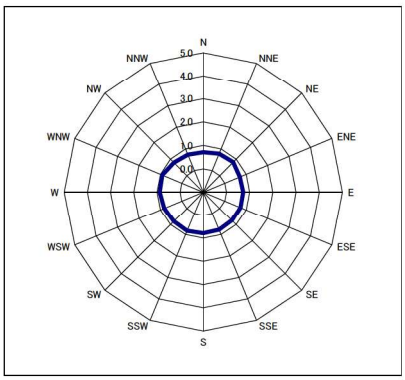
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.5
SSW	0.0
SW	0.6
WSW	0.7
W	0.7
WNW	0.6
NW	0.5
NNW	0.6



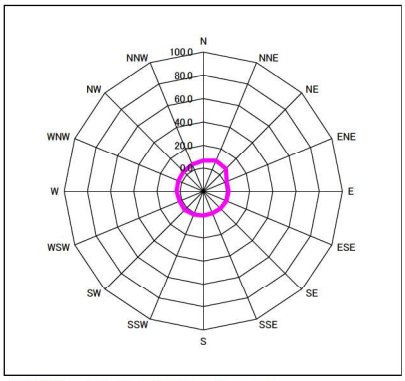
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	10.3
NNE	34.4
NE	10.6
ENE	0.8
E	0.2
ESE	0.1
SE	0.0
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.1
W	0.1
WNW	0.0
NW	0.1
NNW	0.4
calm	42.9

観測期間：令和7年11月19日 6:00-22:00

国立沖縄工業高等専門学校（LF-10）



風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.7
NNE	0.8
NE	0.8
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.8
S	0.8
SSW	0.8
SW	0.8
WSW	0.8
W	0.9
WNW	0.9
NW	0.8
NNW	0.7

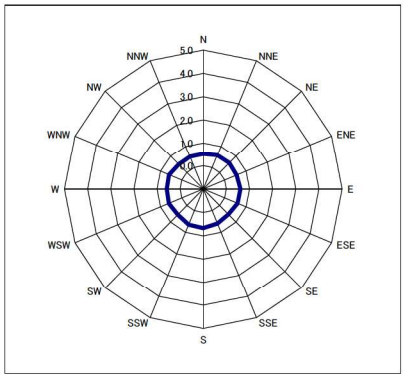


風向(16方位)	出現頻度(%)
N	6.6
NNE	8.6
NE	7.7
ENE	1.9
E	1.9
ESE	1.7
SE	1.0
SSE	0.6
S	0.9
SSW	1.6
SW	2.7
WSW	2.2
W	3.1
WNW	3.4
NW	4.0
NNW	5.1
calm	47.3

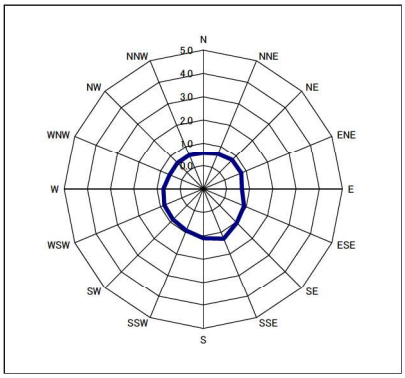
観測期間：令和7年11月19日 6:00-22:00

辺野古集落（LF-13）

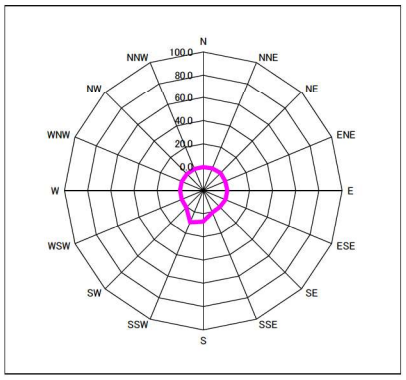
図-2.4.1.7　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度秋季）



風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.5
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.5
SSE	0.6
S	0.7
SSW	0.7
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.5
NNW	0.5



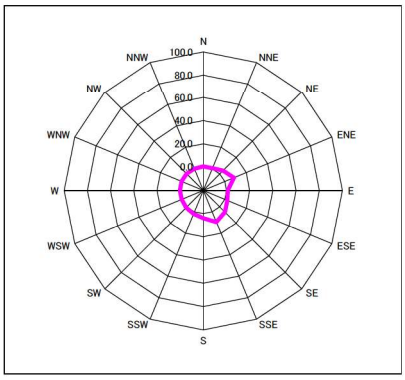
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.5
NNE	0.6
NE	0.8
ENE	0.8
E	0.7
ESE	0.9
SE	1.0
SSE	1.3
S	1.1
SSW	0.9
SW	0.8
WSW	0.8
W	0.7
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6



風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.1
NNE	0.6
NE	1.2
ENE	0.5
E	0.8
ESE	0.8
SE	0.2
SSE	0.6
S	6.8
SSW	9.7
SW	0.7
WSW	0.2
W	0.1
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.0
calm	77.5

観測期間：令和8年2月13日 6:00-22:00

国立沖縄工業高等専門学校（LF-10）



風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.6
NNE	0.6
NE	4.0
ENE	8.6
E	1.1
ESE	2.6
SE	6.5
SSE	9.5
S	4.0
SSW	1.9
SW	1.0
WSW	0.2
W	0.1
WNW	0.1
NW	0.3
NNW	0.3
calm	58.4

観測期間：令和8年2月13日 6:00-22:00

辺野古集落（LF-13）

図-2.4.1.8　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度冬季）

2.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

(1) 低周波音の状況

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和7年度春季から冬季までの資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果一覧は表-2.4.2.1 に、調査結果は図-2.4.2.1～図-2.4.2.4 に示すとおりです。

1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは 42.4～73.6dB の範囲で推移し、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の低周波数域の音圧レベルが高くなる傾向がみられました。

環境監視基準と比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

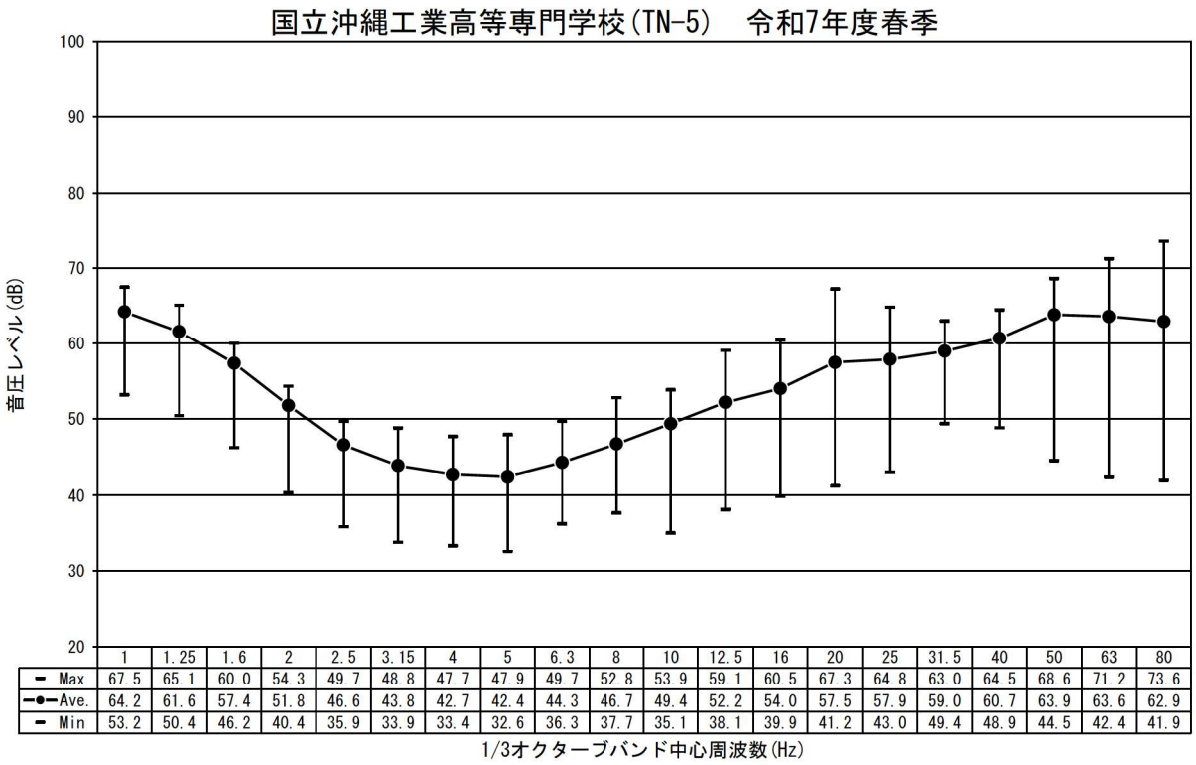
表-2.4.2.1　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果一覧

調査期日　R7年度春季： 令和7年4月22日　R7年度夏季： 令和7年7月15日
R7年度秋季： 令和7年11月11日　R7年度冬季： 令和8年2月5日

単位：dB

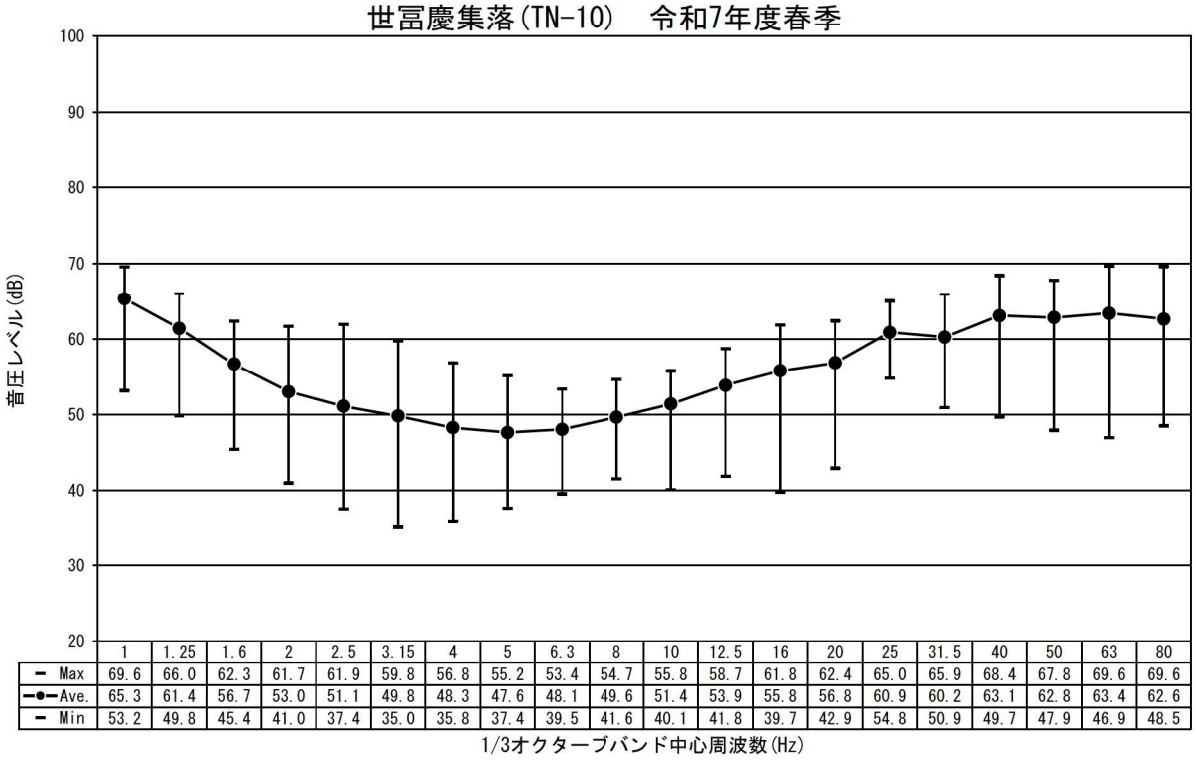
地点名	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル																			
		1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz
TN-5	R7年度春季	64.2	61.6	57.4	51.8	46.6	43.8	42.7	42.4	44.3	46.7	49.4	52.2	54.0	57.5	57.9	59.0	60.7	63.9	63.6	62.9
	R7年度夏季	66.4	63.5	59.1	53.4	47.5	43.8	43.1	43.6	44.1	46.1	49.0	51.8	54.5	62.5	58.8	59.3	62.7	63.0	61.6	61.1
	R7年度秋季	66.0	62.4	57.9	53.6	50.4	48.7	48.1	47.5	47.2	47.2	49.4	50.7	51.7	52.9	55.6	57.1	59.4	58.7	57.4	56.9
	R7年度冬季	67.9	69.7	65.9	60.5	54.5	48.8	45.8	44.4	44.3	45.1	47.5	50.4	53.8	54.7	56.6	57.1	58.8	60.5	62.1	61.2
TN-10	R7年度春季	65.3	61.4	56.7	53.0	51.1	49.8	48.3	47.6	48.1	49.6	51.4	53.9	55.8	56.8	60.9	60.2	63.1	62.8	63.4	62.6
	R7年度夏季	66.1	62.2	57.5	53.0	49.8	47.9	47.6	47.4	48.4	49.4	50.9	53.7	55.0	56.8	61.2	60.8	62.5	63.6	64.2	62.3
	R7年度秋季	66.2	64.1	62.0	59.5	58.4	58.8	56.5	55.6	54.3	53.7	52.4	53.5	54.2	55.6	60.4	58.7	60.1	61.2	61.7	62.9
	R7年度冬季	68.6	67.3	63.3	58.2	53.4	50.1	48.4	47.4	47.4	49.4	51.5	51.7	54.1	55.7	57.2	62.8	60.5	63.4	62.8	66.1
TN-11	R7年度春季	56.8	54.4	52.5	51.3	49.7	48.5	46.6	45.7	44.9	45.6	46.9	50.9	53.0	58.8	57.9	59.0	62.2	66.1	69.4	66.7
	R7年度夏季	59.3	55.6	52.5	50.6	48.9	47.2	45.3	44.2	44.2	43.2	45.6	49.7	52.1	55.1	56.6	59.6	63.0	63.9	67.8	64.7
	R7年度秋季	73.6	72.9	70.7	71.3	68.0	65.5	63.2	58.4	55.8	52.1	50.4	50.5	51.4	53.0	55.6	56.8	59.2	61.0	60.1	59.5
	R7年度冬季	68.6	63.2	60.2	58.0	56.3	54.3	52.5	50.1	48.2	46.8	46.8	47.0	51.9	53.5	58.4	60.8	59.5	62.5	63.8	65.0
環境監視基準	心理的	－	－	－	－	－	－	－	115	111	108	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84
	物的	－	－	－	－	－	－	－	70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99	－	－

注）1. 周波数別の音圧レベルは、1時間毎の測定値のエネルギー平均値です。
2. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、生理的、物的影響に係る閾値としています。



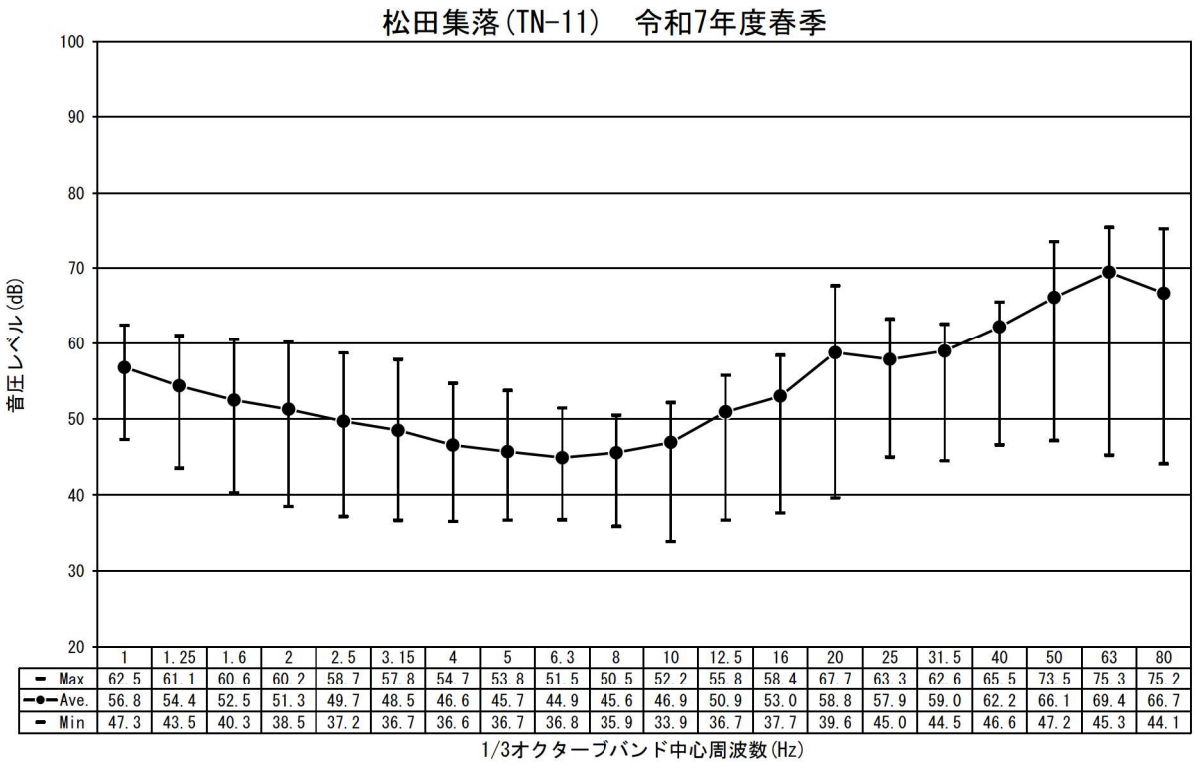
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	67.5	65.1	60.0	54.3	49.7	48.8	47.7	47.9	49.7	52.8	53.9	59.1	60.5	67.3	64.8	63.0	64.5	68.6	71.2	73.6
Ave.	64.2	61.6	57.4	51.8	46.6	43.8	42.7	42.4	44.3	46.7	49.4	52.2	54.0	57.5	57.9	59.0	60.7	63.9	63.6	62.9
Min	53.2	50.4	46.2	40.4	35.9	33.9	33.4	32.6	36.3	37.7	35.1	38.1	39.9	41.2	43.0	49.4	48.9	44.5	42.4	41.9

図-2.4.2.1(1)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度春季)



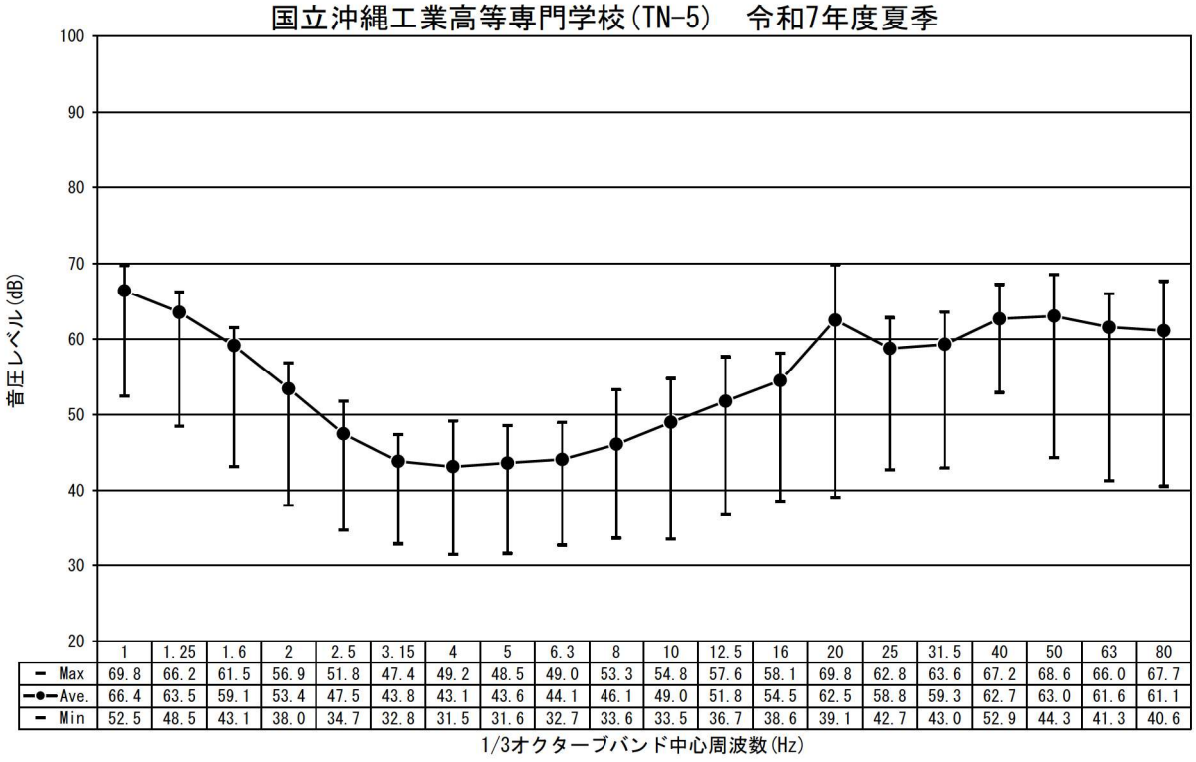
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	69.6	66.0	62.3	61.7	61.9	59.8	56.8	55.2	53.4	54.7	55.8	58.7	61.8	62.4	65.0	65.9	68.4	67.8	69.6	69.6
Ave.	65.3	61.4	56.7	53.0	51.1	49.8	48.3	47.6	48.1	49.6	51.4	53.9	55.8	56.8	60.9	60.2	63.1	62.8	63.4	62.6
Min	53.2	49.8	45.4	41.0	37.4	35.0	35.8	37.4	39.5	41.6	40.1	41.8	39.7	42.9	54.8	50.9	49.7	47.9	46.9	48.5

図-2.4.2.1(2)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度春季)



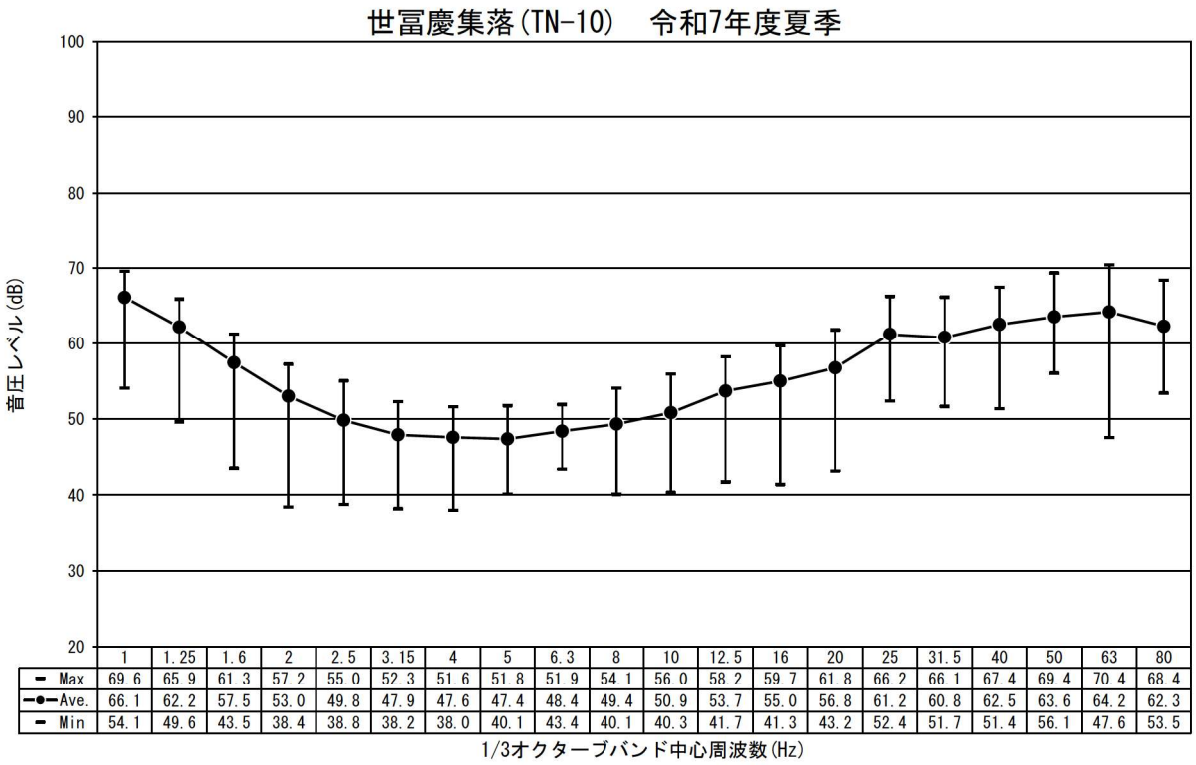
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	62.5	61.1	60.6	60.2	58.7	57.8	54.7	53.8	51.5	50.5	52.2	55.8	58.4	67.7	63.3	62.6	65.5	73.5	75.3	75.2
Ave.	56.8	54.4	52.5	51.3	49.7	48.5	46.6	45.7	44.9	45.6	46.9	50.9	53.0	58.8	57.9	59.0	62.2	66.1	69.4	66.7
Min	47.3	43.5	40.3	38.5	37.2	36.7	36.6	36.7	36.8	35.9	33.9	36.7	37.7	39.6	45.0	44.5	46.6	47.2	45.3	44.1

図-2.4.2.1(3)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和7年度春季)



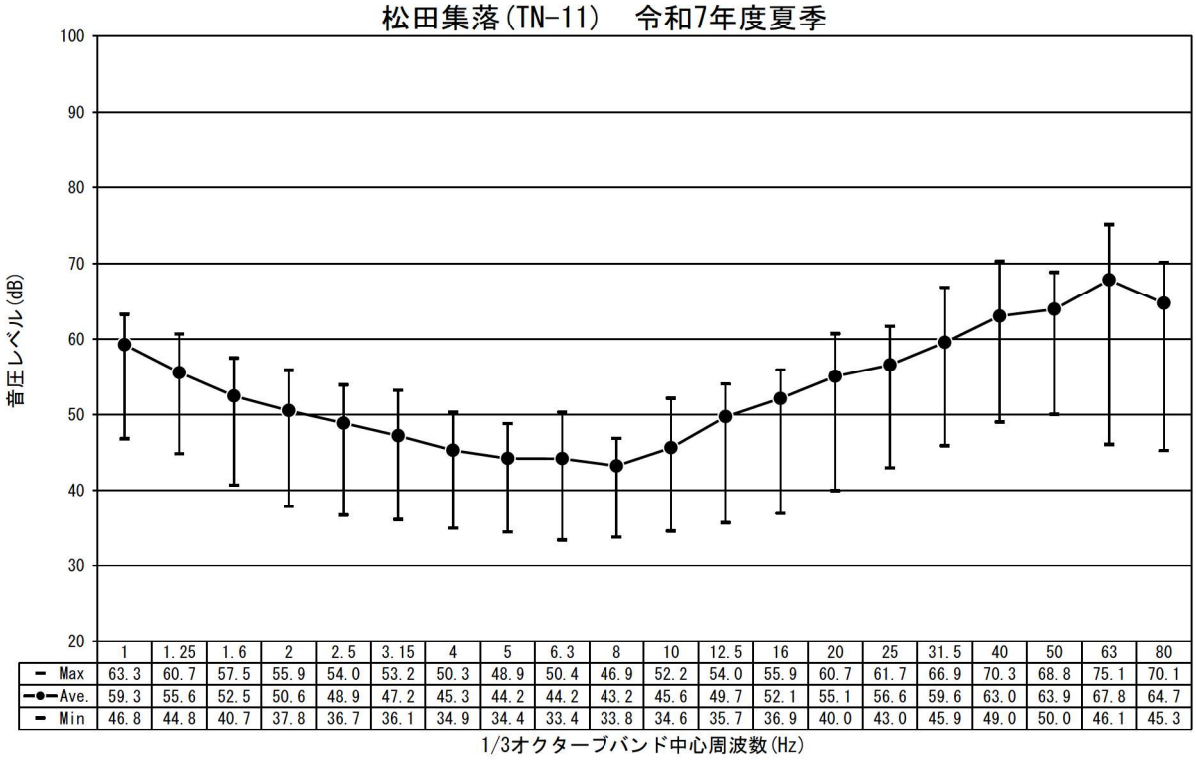
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	69.8	66.2	61.5	56.9	51.8	47.4	49.2	48.5	49.0	53.3	54.8	57.6	58.1	69.8	62.8	63.6	67.2	68.6	66.0	67.7
Ave.	66.4	63.5	59.1	53.4	47.5	43.8	43.1	43.6	44.1	46.1	49.0	51.8	54.5	62.5	58.8	59.3	62.7	63.0	61.6	61.1
Min	52.5	48.5	43.1	38.0	34.7	32.8	31.5	31.6	32.7	33.6	33.5	36.7	38.6	39.1	42.7	43.0	52.9	44.3	41.3	40.6

図-2.4.2.2(1)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和7年度夏季)



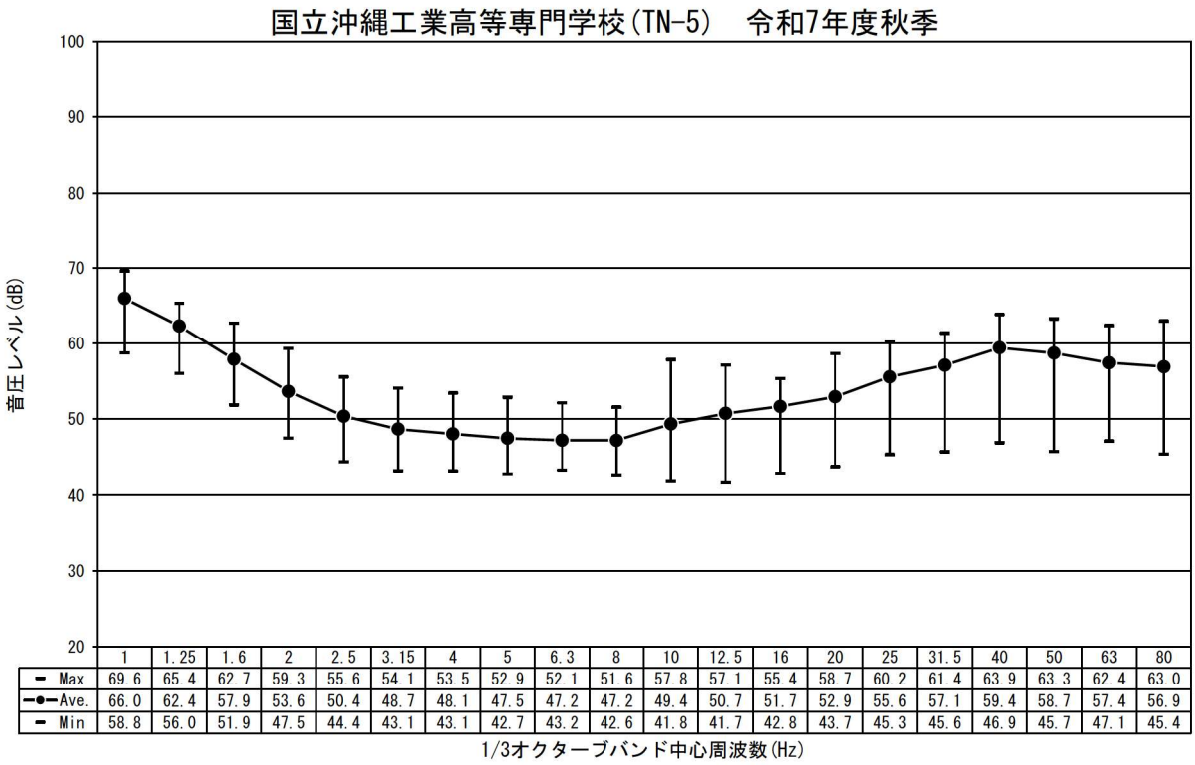
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	69.6	65.9	61.3	57.2	55.0	52.3	51.6	51.8	51.9	54.1	56.0	58.2	59.7	61.8	66.2	66.1	67.4	69.4	70.4	68.4
Ave.	66.1	62.2	57.5	53.0	49.8	47.9	47.6	47.4	48.4	49.4	50.9	53.7	55.0	56.8	61.2	60.8	62.5	63.6	64.2	62.3
Min	54.1	49.6	43.5	38.4	38.8	38.2	38.0	40.1	43.4	40.1	40.3	41.7	41.3	43.2	52.4	51.7	51.4	56.1	47.6	53.5

図-2.4.2.2(2)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度夏季)



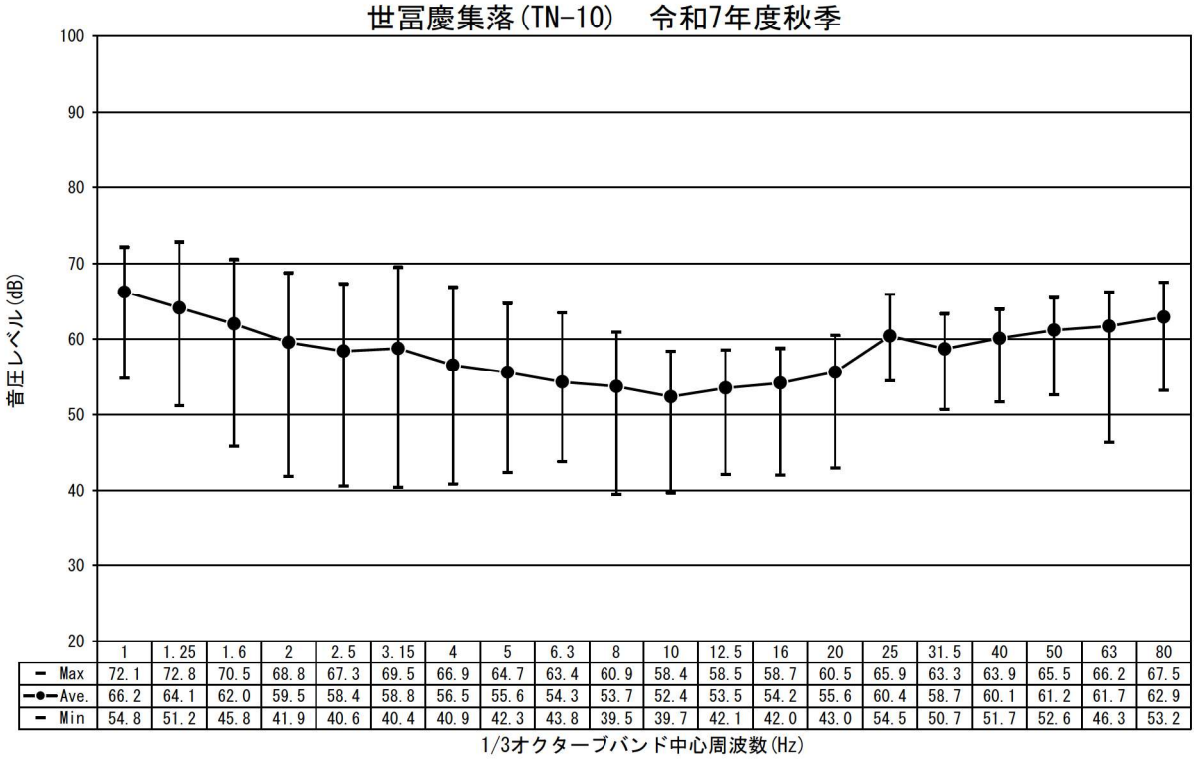
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	63.3	60.7	57.5	55.9	54.0	53.2	50.3	48.9	50.4	46.9	52.2	54.0	55.9	60.7	61.7	66.9	70.3	68.8	75.1	70.1
Ave.	59.3	55.6	52.5	50.6	48.9	47.2	45.3	44.2	44.2	43.2	45.6	49.7	52.1	55.1	56.6	59.6	63.0	63.9	67.8	64.7
Min	46.8	44.8	40.7	37.8	36.7	36.1	34.9	34.4	33.4	33.8	34.6	35.7	36.9	40.0	43.0	45.9	49.0	50.0	46.1	45.3

図-2.4.2.2(3)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度夏季)



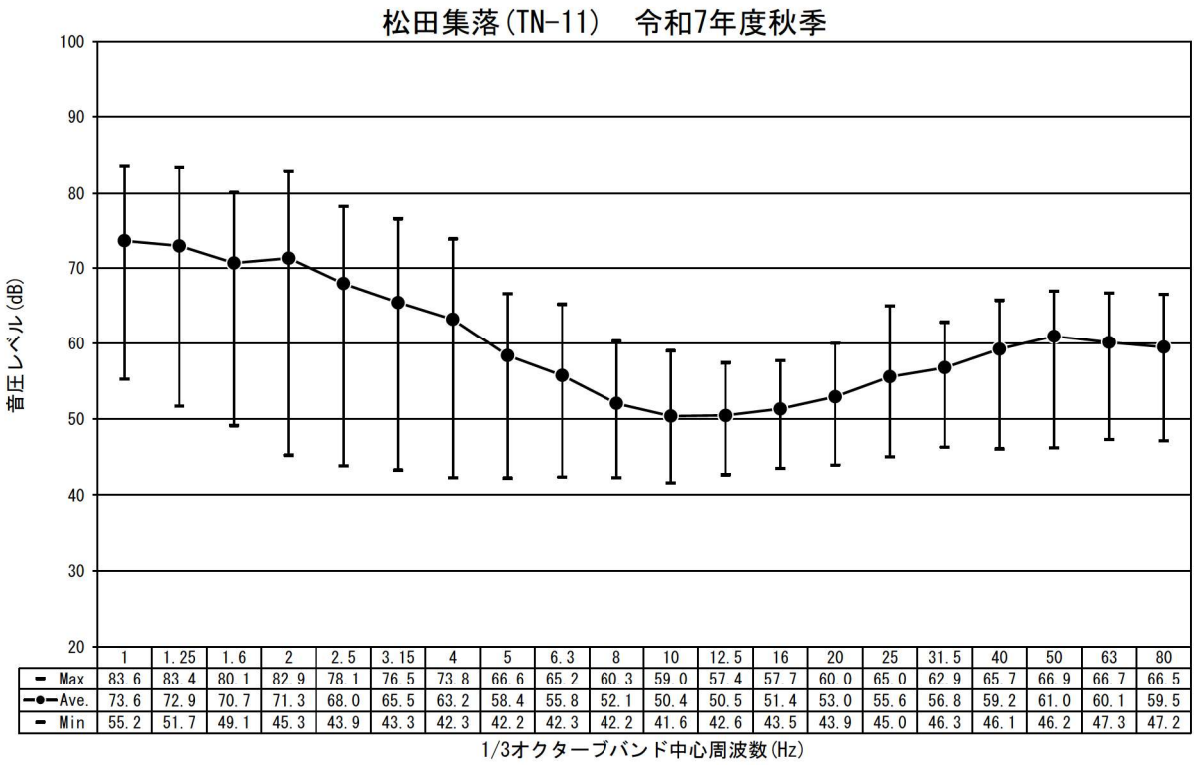
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	69.6	65.4	62.7	59.3	55.6	54.1	53.5	52.9	52.1	51.6	57.8	57.1	55.4	58.7	60.2	61.4	63.9	63.3	62.4	63.0
Ave.	66.0	62.4	57.9	53.6	50.4	48.7	48.1	47.5	47.2	47.2	49.4	50.7	51.7	52.9	55.6	57.1	59.4	58.7	57.4	56.9
Min	58.8	56.0	51.9	47.5	44.4	43.1	43.1	42.7	43.2	42.6	41.8	41.7	42.8	43.7	45.3	45.6	46.9	45.7	47.1	45.4

図-2.4.2.3(1)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度秋季)



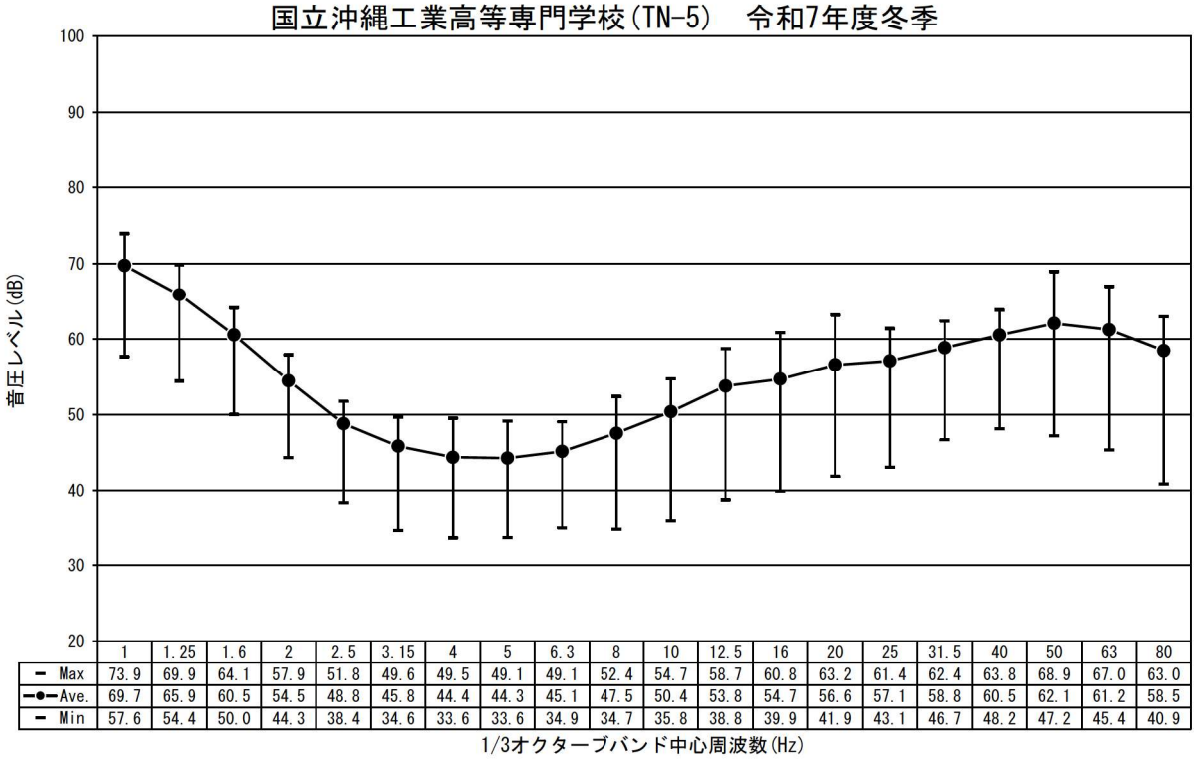
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	72.1	72.8	70.5	68.8	67.3	69.5	66.9	64.7	63.4	60.9	58.4	58.5	58.7	60.5	65.9	63.3	63.9	65.5	66.2	67.5
Ave.	66.2	64.1	62.0	59.5	58.4	58.8	56.5	55.6	54.3	53.7	52.4	53.5	54.2	55.6	60.4	58.7	60.1	61.2	61.7	62.9
Min	54.8	51.2	45.8	41.9	40.6	40.4	40.9	42.3	43.8	39.5	39.7	42.1	42.0	43.0	54.5	50.7	51.7	52.6	46.3	53.2

図-2.4.2.3(2)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度秋季)



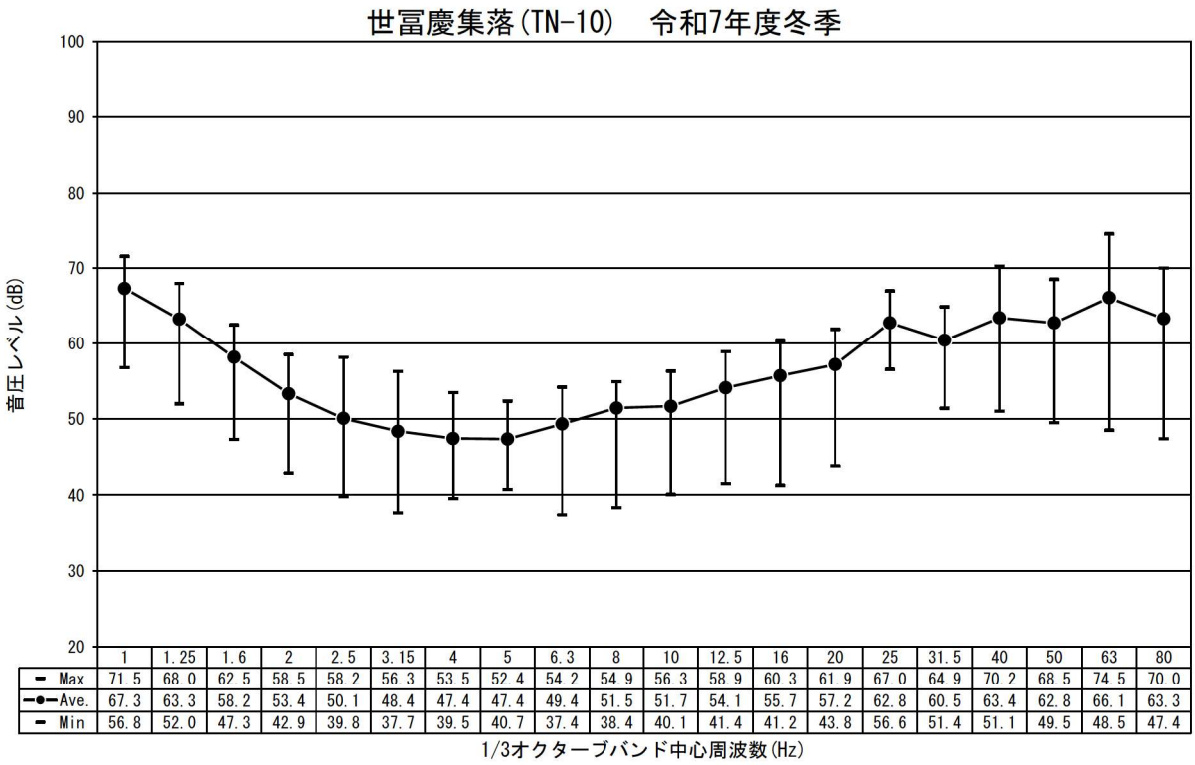
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	83.6	83.4	80.1	82.9	78.1	76.5	73.8	66.6	65.2	60.3	59.0	57.4	57.7	60.0	65.0	62.9	65.7	66.9	66.7	66.5
Ave.	73.6	72.9	70.7	71.3	68.0	65.5	63.2	58.4	55.8	52.1	50.4	50.5	51.4	53.0	55.6	56.8	59.2	61.0	60.1	59.5
Min	55.2	51.7	49.1	45.3	43.9	43.3	42.3	42.2	42.3	42.2	41.6	42.6	43.5	43.9	45.0	46.3	46.1	46.2	47.3	47.2

図-2.4.2.3(3)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度秋季)



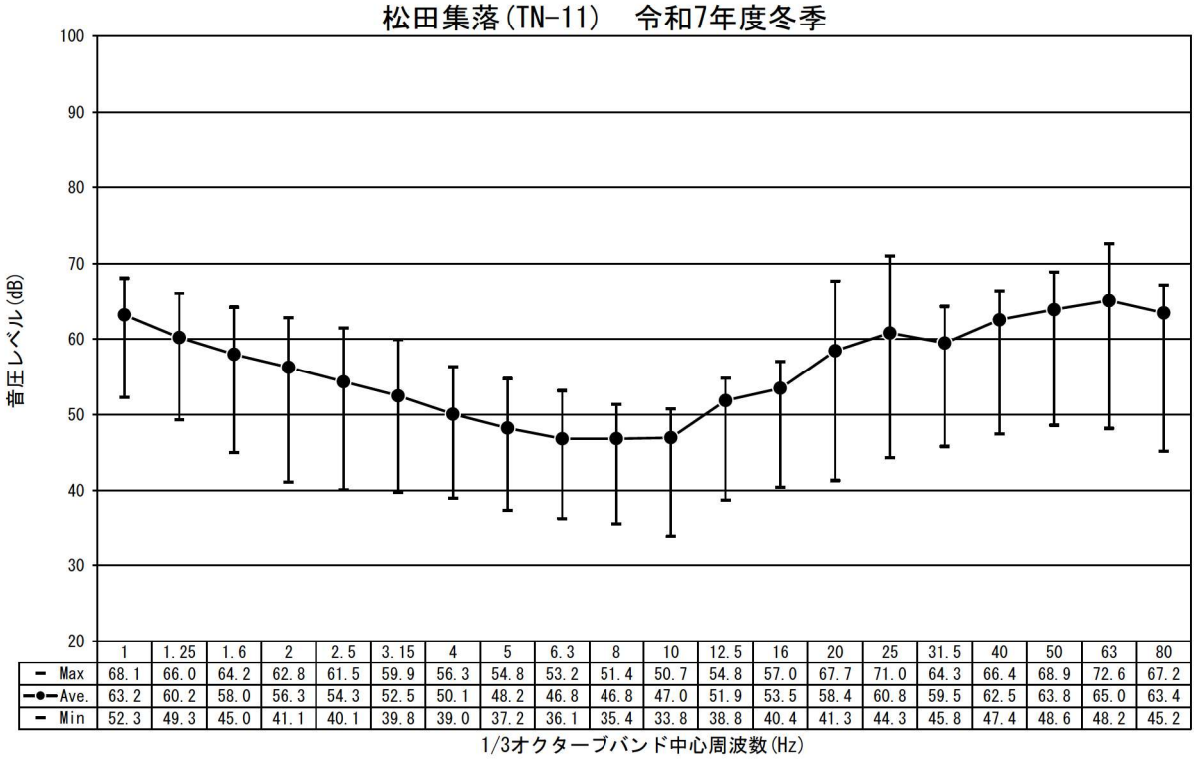
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	73.9	69.9	64.1	57.9	51.8	49.6	49.5	49.1	49.1	52.4	54.7	58.7	60.8	63.2	61.4	62.4	63.8	68.9	67.0	63.0
Ave.	69.7	65.9	60.5	54.5	48.8	45.8	44.4	44.3	45.1	47.5	50.4	53.8	54.7	56.6	57.1	58.8	60.5	62.1	61.2	58.5
Min	57.6	54.4	50.0	44.3	38.4	34.6	33.6	33.6	34.9	34.7	35.8	38.8	39.9	41.9	43.1	46.7	48.2	47.2	45.4	40.9

図-2.4.2.4(1)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度冬季)



	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	71.5	68.0	62.5	58.5	58.2	56.3	53.5	52.4	54.2	54.9	56.3	58.9	60.3	61.9	67.0	64.9	70.2	68.5	74.5	70.0
Ave.	67.3	63.3	58.2	53.4	50.1	48.4	47.4	47.4	49.4	51.5	51.7	54.1	55.7	57.2	62.8	60.5	63.4	62.8	66.1	63.3
Min	56.8	52.0	47.3	42.9	39.8	37.7	39.5	40.7	37.4	38.4	40.1	41.4	41.2	43.8	56.6	51.4	51.1	49.5	48.5	47.4

図-2.4.2.4(2)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度冬季)



	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
Max	68.1	66.0	64.2	62.8	61.5	59.9	56.3	54.8	53.2	51.4	50.7	54.8	57.0	67.7	71.0	64.3	66.4	68.9	72.6	67.2
Ave.	63.2	60.2	58.0	56.3	54.3	52.5	50.1	48.2	46.8	46.8	47.0	51.9	53.5	58.4	60.8	59.5	62.5	63.8	65.0	63.4
Min	52.3	49.3	45.0	41.1	40.1	39.8	39.0	37.2	36.1	35.4	33.8	38.8	40.4	41.3	44.3	45.8	47.4	48.6	48.2	45.2

図-2.4.2.4(3)　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果
(令和 7 年度冬季)

(2) 風向・風速の状況

低周波音調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和7年度春季から冬季までの風向別平均風速は表-2.4.2.2に、風向別出現頻度は図-2.4.2.5～図-2.4.2.8に示すとおりです。

令和7年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で東寄り、世冨慶集落(TN-10)で南寄り、松田集落(TN-11)で南西寄りの風が卓越していました。風速については、松田集落(TN-11)が他の地点より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)において、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。

令和7年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で西寄り、世冨慶集落(TN-10)で北北西寄り、松田集落(TN-11)で南西寄りの風が卓越していました。風速については、松田集落(TN-11)が他の地点より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)において、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。

令和7年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で東北東寄り、世冨慶集落(TN-10)で南東寄り、松田集落(TN-11)で東寄りの風が卓越していました。風速については、松田集落(TN-11)が他の地点より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世冨慶集落(TN-10)において、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。

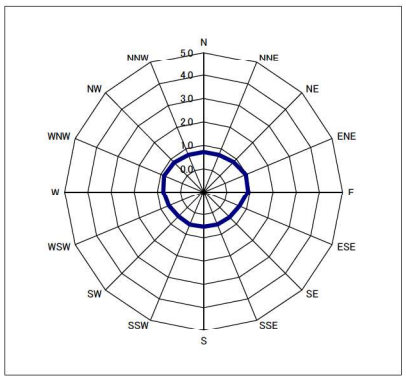
令和7年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は南東寄り、世冨慶集落(TN-10)で南寄り、松田集落(TN-11)で西南西寄りの風が卓越していました。風速については、松田集落(TN-11)が他の地点より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)において、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。

表-2.4.2.2　風向・風速の調査結果一覧

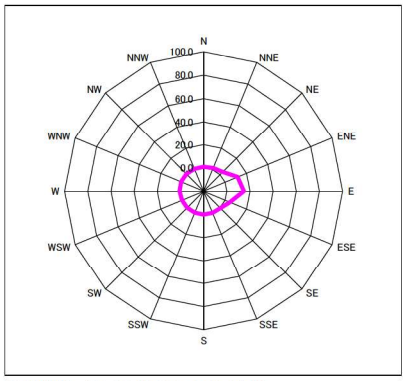
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	TN-5	TN-10	TN-11
R7年度春季	最多風向	E	S	SW
	平均風速	0.5	0.7	0.9
R7年度夏季	最多風向	W	NNW	SW
	平均風速	0.4	0.7	0.8
R7年度秋季	最多風向	ENE	SE	E
	平均風速	0.4	0.9	1.5
R7年度冬季	最多風向	SE	S	WSW
	平均風速	0.5	0.9	1.0

注）地点名の TN-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10 は世冨慶集落、TN-11 は松田集落の国道 329 号沿道を示します。



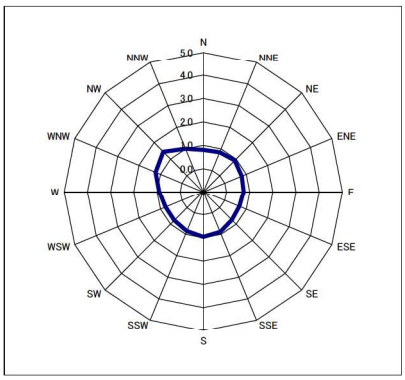
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.7
NNE	0.7
NE	0.8
ENE	1.0
E	0.9
ESE	0.7
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.5
SSW	0.6
SW	0.5
WSW	0.6
W	0.7
WNW	0.8
NW	0.8
NNW	0.7



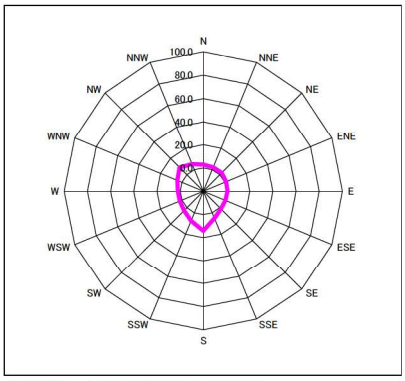
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	1.0
NNE	1.5
NE	3.4
ENE	11.8
E	14.7
ESE	4.6
SE	0.5
SSE	0.1
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.1
WSW	0.2
W	0.8
WNW	1.0
NW	1.0
NNW	0.8
calm	58.5

観測期間：令和7年4月22日 0:00-24:00

国立沖縄工業高等専門学校（TN-5）



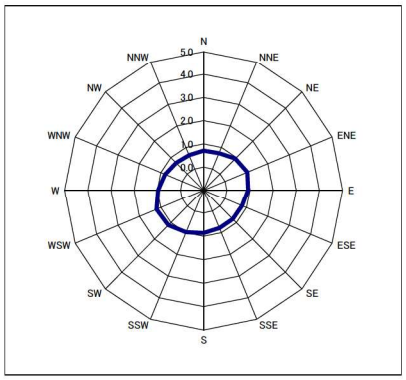
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.8
NNE	0.8
NE	0.9
ENE	0.8
E	0.7
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.9
S	1.0
SSW	0.9
SW	0.8
WSW	0.8
W	0.9
WNW	1.2
NW	1.4
NNW	1.0



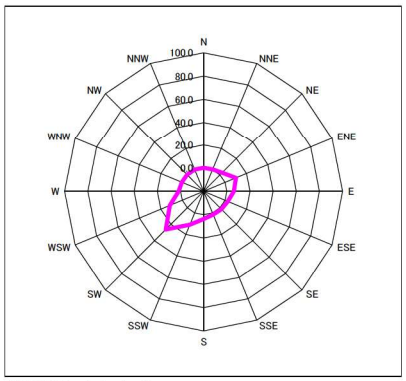
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	2.9
NNE	2.3
NE	2.4
ENE	1.3
E	0.9
ESE	0.8
SE	1.4
SSE	5.0
S	14.0
SSW	7.6
SW	3.5
WSW	2.0
W	2.1
WNW	4.2
NW	8.9
NNW	5.3
calm	35.4

観測期間：令和7年4月22日 0:00-24:00

世冨慶集落（TN-10）



風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.7
NNE	0.7
NE	0.9
ENE	1.0
E	0.9
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.8
S	0.9
SSW	1.0
SW	1.2
WSW	1.2
W	1.0
WNW	0.8
NW	0.7
NNW	0.6

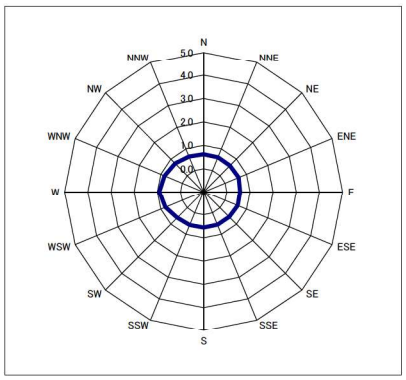


風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.2
NNE	0.3
NE	2.5
ENE	10.2
E	6.1
ESE	2.6
SE	1.6
SSE	1.5
S	3.7
SSW	10.9
SW	26.2
WSW	11.6
W	1.5
WNW	0.3
NW	0.1
NNW	0.2
calm	20.5

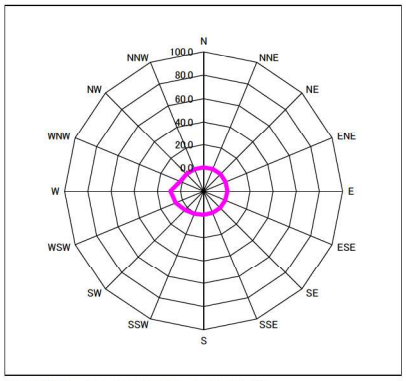
観測期間：令和7年4月22日 0:00-24:00

松田集落（TN-11）

図-2.4.2.5　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度春季）



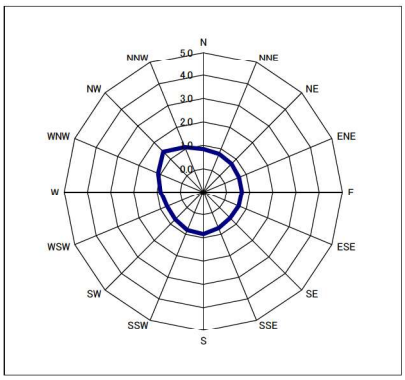
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.8
W	0.9
WNW	0.8
NW	0.7
NNW	0.7



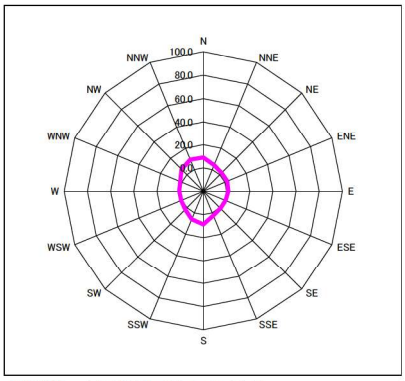
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.4
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.7
ESE	0.3
SE	0.2
SSE	0.1
S	0.3
SSW	0.9
SW	2.8
WSW	6.1
W	8.6
WNW	1.8
NW	0.7
NNW	0.5
calm	74.9

観測期間：令和7年7月15日 0:00-24:00

国立沖縄工業高等専門学校（TN-5）



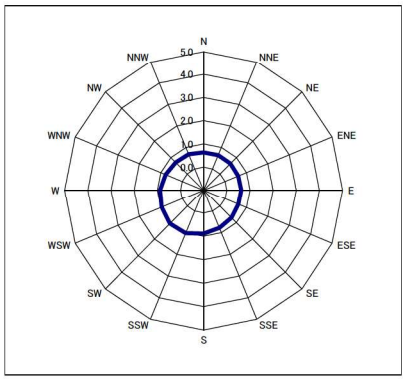
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.8
NNE	0.8
NE	0.7
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.7
SE	0.6
SSE	0.7
S	0.8
SSW	0.8
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.8
WNW	1.1
NW	1.4
NNW	1.1



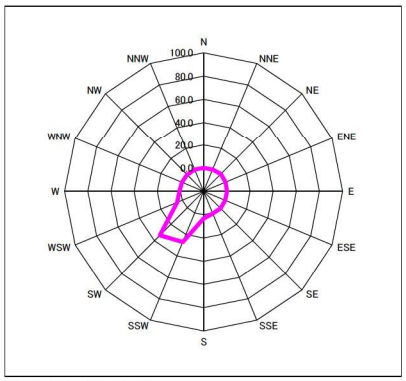
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	9.0
NNE	4.3
NE	2.1
ENE	2.4
E	1.7
ESE	0.9
SE	0.9
SSE	2.4
S	8.5
SSW	6.0
SW	2.1
WSW	0.7
W	0.7
WNW	1.6
NW	6.7
NNW	9.4
calm	40.6

観測期間：令和7年7月15日 0:00-24:00

世冨慶集落（TN-10）



風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.7
SSE	0.8
S	0.9
SSW	1.0
SW	1.1
WSW	1.0
W	0.9
WNW	0.8
NW	0.7
NNW	0.7

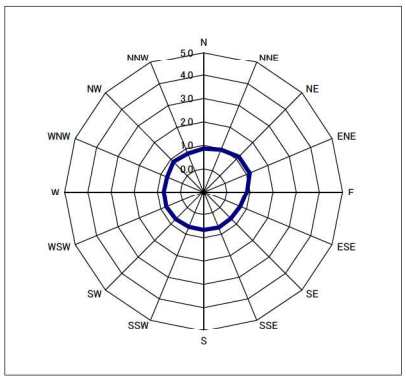


風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.1
NNE	0.3
NE	1.0
ENE	0.6
E	0.2
ESE	0.2
SE	0.5
SSE	0.5
S	3.3
SSW	27.1
SW	33.3
WSW	4.7
W	0.9
WNW	0.3
NW	0.1
NNW	0.1
calm	26.8

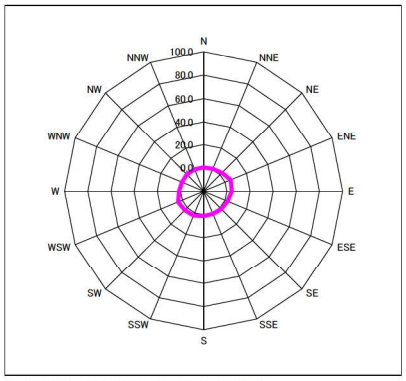
観測期間：令和7年7月15日 0:00-24:00

松田集落（TN-11）

図-2.4.2.6　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度夏季）



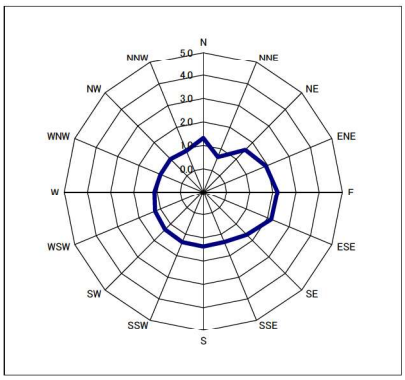
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.9
NNE	1.0
NE	1.1
ENE	1.2
E	0.9
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.7
S	0.7
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.7
WNW	0.7
NW	0.8
NNW	0.8



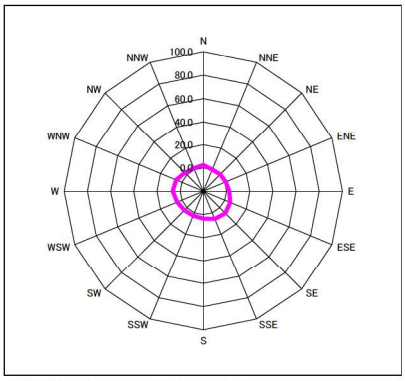
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.4
NNE	0.9
NE	2.4
ENE	5.3
E	4.3
ESE	2.4
SE	1.5
SSE	1.0
S	1.3
SSW	2.6
SW	3.0
WSW	3.9
W	1.2
WNW	0.3
NW	0.3
NNW	0.3
calm	68.8

観測期間：令和7年11月11日 0:00-24:00

国立沖縄工業高等専門学校（TN-5）



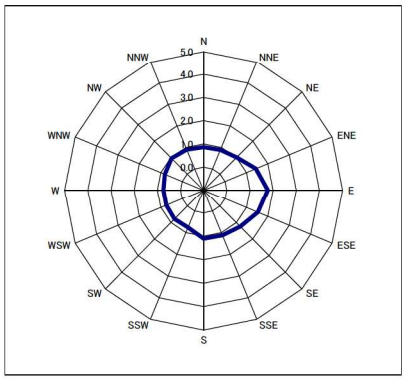
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	1.3
NNE	0.6
NE	1.6
ENE	1.9
E	2.2
ESE	2.2
SE	1.6
SSE	1.4
S	1.4
SSW	1.4
SW	1.3
WSW	1.3
W	1.1
WNW	1.0
NW	1.0
NNW	0.9



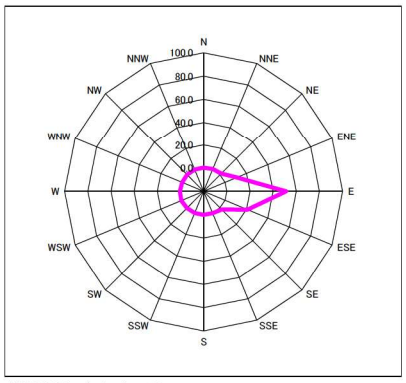
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	2.6
NNE	0.2
NE	0.4
ENE	1.0
E	2.4
ESE	5.1
SE	6.9
SSE	5.8
S	3.6
SSW	2.8
SW	3.1
WSW	4.4
W	6.3
WNW	5.3
NW	2.5
NNW	1.4
calm	46.0

観測期間：令和7年11月11日 0:00-24:00

世冨慶集落（TN-10）



風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.9
NNE	0.9
NE	1.0
ENE	1.4
E	1.8
ESE	1.5
SE	1.2
SSE	1.1
S	1.1
SSW	0.8
SW	0.8
WSW	0.7
W	0.7
WNW	0.8
NW	1.0
NNW	0.9

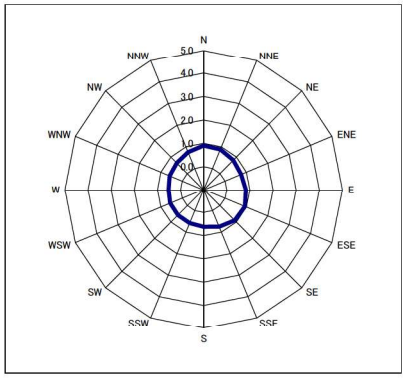


風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.4
NNE	0.6
NE	1.6
ENE	11.1
E	51.1
ESE	21.0
SE	2.0
SSE	0.2
S	0.1
SSW	0.1
SW	0.3
WSW	0.8
W	0.4
WNW	0.1
NW	0.2
NNW	0.3
calm	9.8

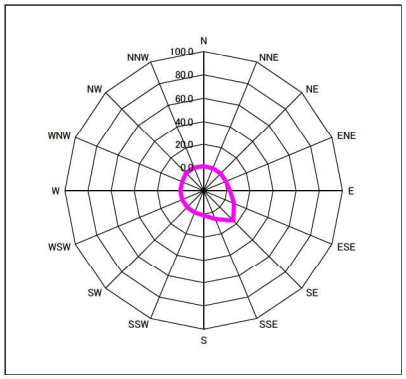
観測期間：令和7年11月11日 0:00-24:00

松田集落（TN-11）

図-2.4.2.7　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度秋季）



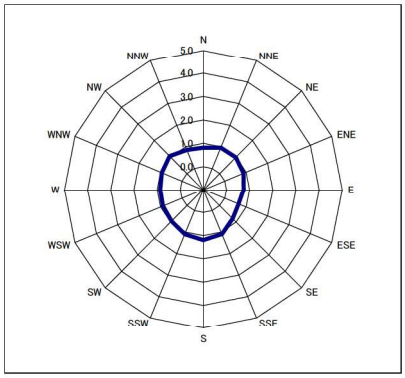
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.9
NNE	0.9
NE	0.8
ENE	0.7
E	0.8
ESE	0.9
SE	0.9
SSE	0.8
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.5
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.8



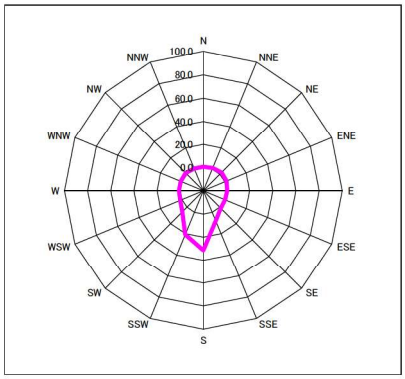
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	1.1
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	1.1
E	2.8
ESE	8.5
SE	16.2
SSE	6.4
S	1.2
SSW	0.2
SW	0.1
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.1
NW	1.6
NNW	1.6
calm	57.6

観測期間：令和8年2月5日 0:00-24:00

国立沖縄工業高等専門学校（TN-5）



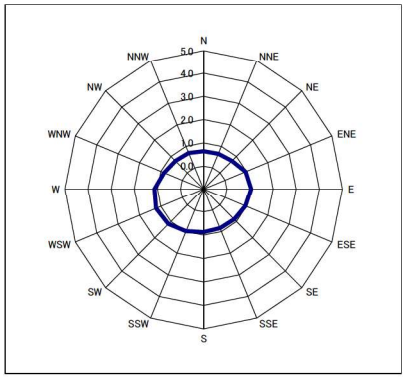
風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.8
NNE	1.0
NE	1.0
ENE	0.9
E	0.7
ESE	0.6
SE	0.8
SSE	1.1
S	1.2
SSW	1.1
SW	0.9
WSW	0.9
W	0.9
WNW	0.9
NW	1.1
NNW	0.9



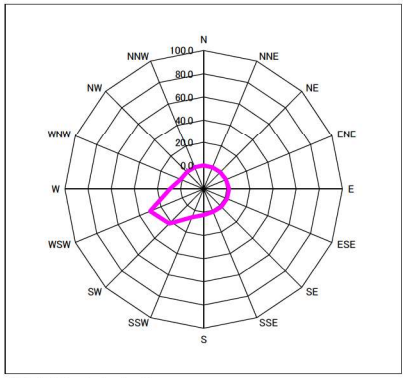
風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.7
NNE	1.0
NE	2.2
ENE	1.7
E	0.7
ESE	0.4
SE	1.2
SSE	7.9
S	31.3
SSW	20.8
SW	5.7
WSW	1.6
W	1.1
WNW	1.2
NW	1.5
NNW	0.7
calm	20.5

観測期間：令和8年2月5日 0:00-24:00

世冨慶集落（TN-10）



風向(16方位)	平均風速(m/s)
N	0.6
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	1.0
E	1.1
ESE	1.0
SE	0.9
SSE	0.8
S	0.9
SSW	1.0
SW	1.2
WSW	1.2
W	1.1
WNW	0.9
NW	0.7
NNW	0.7



風向(16方位)	出現頻度(%)
N	0.1
NNE	0.1
NE	0.2
ENE	0.9
E	2.0
ESE	1.9
SE	1.6
SSE	1.2
S	2.5
SSW	6.4
SW	22.1
WSW	30.1
W	9.0
WNW	1.4
NW	0.4
NNW	0.2
calm	20.1

観測期間：令和8年2月5日 0:00-24:00

松田集落（TN-11）

図-2.4.2.8　風向別平均風速、風向別出現頻度（令和７年度冬季）

2.5 底生動物等（移動後の状況監視）

2.5.1 追跡調査

(1) ウミボッス

ウミボッス移植後の追跡調査について、大浦湾西部で令和元～7 年度にかけて移植したウミボッスのモニタリングを継続しており、令和 7 年度は移植後 1 年目の追跡調査（移植直後～移植 6 ヶ月後：令和 6～7 年度移植分）、移植後 1 年目（令和 6～7 年度移植分）、2 年目（令和 5～6 年度移植分）、3 年目（令和 4～5 年度移植分）、4 年目（令和 3～4 年度移植分）、5 年目（令和 2～3 年度移植分）及び 6 年目（令和元～2 年度移植分）※の繁茂期の追跡調査を実施しました。

なお、令和 8 年 3 月 15、29 日に計 6 個体の移植を実施していますが、令和 7 年度中は追跡調査を実施していません。

※ウミボッス移植後の追跡調査期間は移植後 5 年間としていますが、ウミボッスの繁茂期を考慮し、5 年目の 2 月（令和 7 年繁茂期①）及び 3 月（令和 7 年繁茂期②）に引き続き、6 年目の 4 月（令和 7 年繁茂期③）及び 5 月（令和 7 年繁茂期④）に調査を実施しました。

表-2.5.1.1　ウミボッス移植及びモニタリングの実施状況

移植先（移植時期）		平成30年												平成31年				令和元年								令和2年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前原～久志地先（平成29年度移植分）				移植	移植直後	1ヶ月後	3ヶ月後				6ヶ月後					春季				夏季			台風後	秋季			冬季		春季				夏季			秋季	
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）																											移植	移植直後	1ヶ月後		3ヶ月後			6ヶ月後		
	（令和2～3年度移植分）																																				
	（令和3～4年度移植分）																																				
	（令和4～5年度移植分）																																				
	（令和5～6年度移植分）																																				
	（令和6～7年度移植分）																																				

移植先（移植時期）		令和3年												令和4年												令和5年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前原～久志地先（平成29年度移植分）			繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④									繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④									繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④	モニタリング終了						
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）		繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④									繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④									繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④							
	（令和2～3年度移植分）			移植	移植直後	1ヶ月後		3ヶ月後				6ヶ月後																									
	（令和3～4年度移植分）															移植	移植直後	1ヶ月後		3ヶ月後				6ヶ月後													
	（令和4～5年度移植分）																											移植	移植直後	1ヶ月後		3ヶ月後			6ヶ月後		
	（令和5～6年度移植分）																																				
	（令和6～7年度移植分）																																				

移植先（移植時期）		令和6年												令和7年												令和8年		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前原～久志地先（平成29年度移植分）		モニタリング終了																										
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）		繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④									繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④	モニタリング終了									
	（令和2～3年度移植分）																										繁茂期①	繁茂期②
	（令和3～4年度移植分）																											
	（令和4～5年度移植分）																											
	（令和5～6年度移植分）			移植	移植直後	1ヶ月後		3ヶ月後			6ヶ月後																	
	（令和6～7年度移植分）															移植	移植直後	1ヶ月後		3ヶ月後			6ヶ月後					
	（令和7～8年度移植分）																											移植

注）1. ウミボッス移植後２年目以降の追跡調査については、ウミボッスの生活史を考慮し、令和２年度より調査時期をウミボッスの繁茂期を含む２月から５月まで毎月１回に変更しています。

2. ウミボッス移植後の追跡調査期間は移植後５年間としていますが、ウミボッスの繁茂期を考慮し、５年目の２月（令和７年繁茂期①）及び３月（令和７年繁茂期②）に引き続き、６年目の４月（令和７年繁茂期③）及び５月（令和７年繁茂期④）に調査を実施しました。

大浦湾西部に令和6～7年度（令和7年3～4月）に移植したウミボッスについて、移植の作業状況を図-2.5.1.1に、移植個体の移植後1年目（移植直後～6ヶ月後）の追跡調査結果を図-2.5.1.2に、移植基部及び周辺の海藻類の種類別生育被度を表-2.5.1.2に示します。また、令和元～7年度に移植したウミボッス※1について、移植の作業状況を図-2.5.1.1に、移植個体の繁茂期の追跡調査結果を図-2.5.1.3に、移植先周辺の海藻類の種類別生育被度を表-2.5.1.3に示します。なお、表-2.5.1.3中の令和8年繁茂期①及び②には、令和6～7年度に移植したウミボッスのモニタリングも含まれます。

令和7年3月2、9、16、18～21、24～28、30日、4月4、7、8、10、13、14、20、27、29日に移植したウミボッス83個体については、移植直後の追跡調査を令和7年4月1、30日に、移植1ヶ月後の追跡調査を5月14日に、移植3ヶ月後の追跡調査を7月30日に、移植6ヶ月後の追跡調査を10月27日に実施しました。

移植基部、移植先の岩片及び周辺部において、移植直後及び移植1ヶ月後の追跡調査でウミボッスが確認されました。移植3ヶ月後及び6ヶ月後にウミボッスが確認されなかった理由として、本種の生活史による季節的な消長が考えられました。

令和元～7 年度に移植したウミボッスについて、移植先周辺における繁茂期の追跡調査を、令和7年4月28日（令和7年繁茂期③）、5月13日（令和7年繁茂期④）、令和8年2月13日（令和8年繁茂期①）及び3月24日（令和8年繁茂期②）に実施しました。

繁茂期の追跡調査では、移植先の周辺において、全ての調査時期にウミボッスが確認されました。

大浦湾西部における令和元～7 年度移植分のうち、令和元～2 年度移植分については、移植後5年間が経過し、その間ウミボッスの生育が継続して確認されており、移植後から大きな変化は生じていないと考えられることから、令和7年5月をもってモニタリングを終了しましたが、引き続き、令和2～7年度移植分※2のモニタリングを実施します。

※1. 「令和元～7年度に移植したウミボッス」には、令和元～2年度、令和2～3年度、令和3～4年度、令和4～5年度、令和5～6年度及び令和6～7年度の移植分を含みます。
2. 「令和2～7年度移植分」には、令和2～3年度、令和3～4年度、令和4～5年度、令和5～6年度及び令和6～7年度の移植分を含みます。

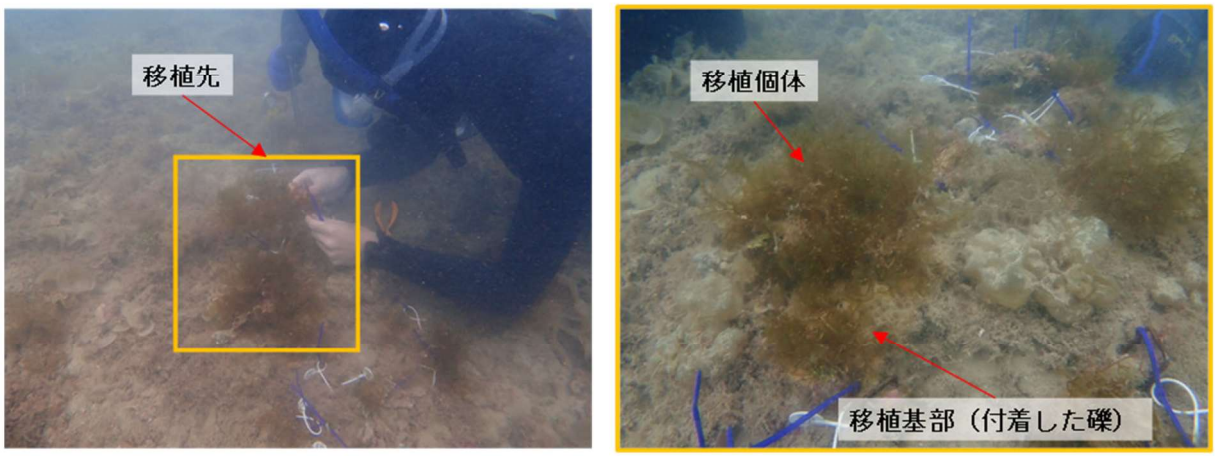


図-2.5.1.1(1)　令和元～2 年度ウミボッス移植の作業状況（令和 2 年 4 月 4 日）

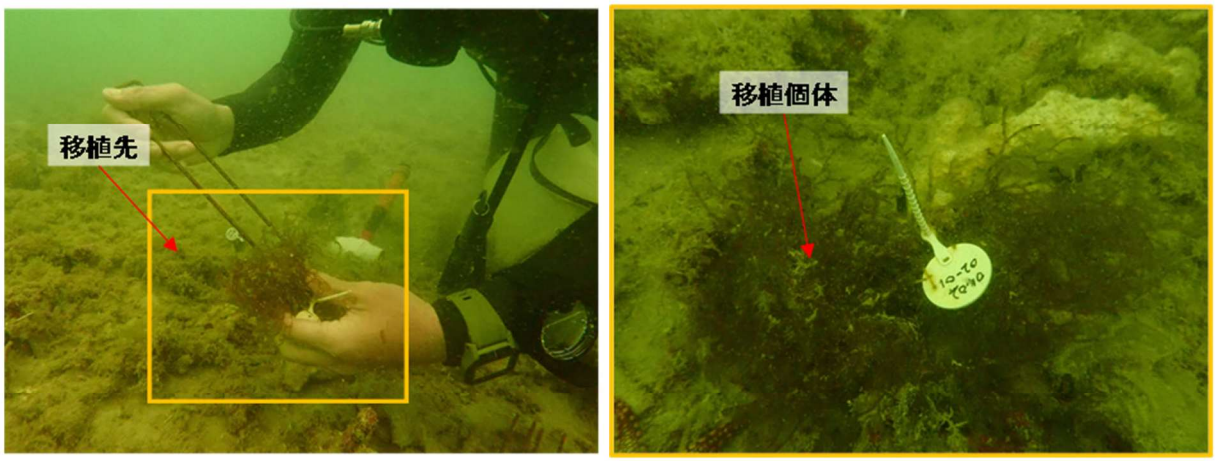
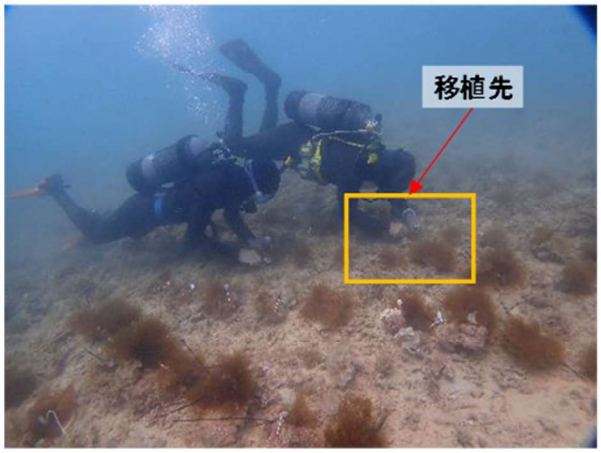


図-2.5.1.1(2)　令和 2～3 年度ウミボッス移植の作業状況（令和 3 年 4 月 2 日）

図-2.5.1.1(3)　令和 3～4 年度ウミボッス移植の作業状況（令和 4 年 4 月 11 日）



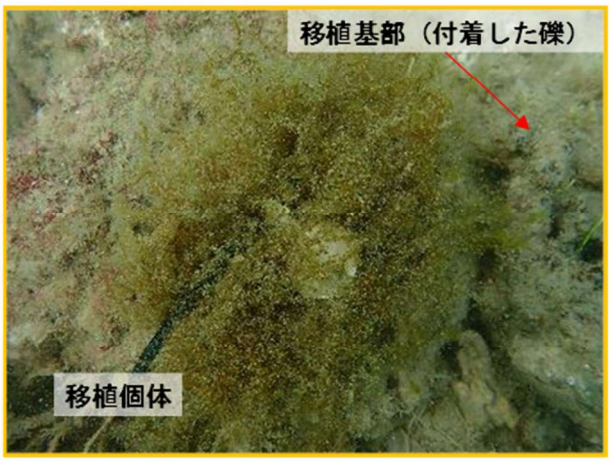
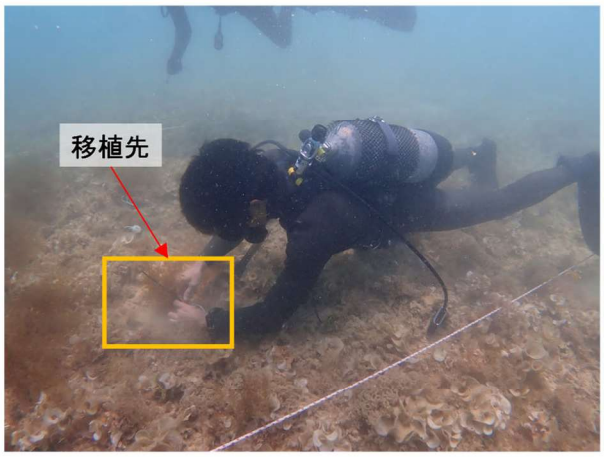


図-2.5.1.1(4)　令和 4～5 年度ウミボッス移植の作業状況（令和 5 年 4 月 24 日）



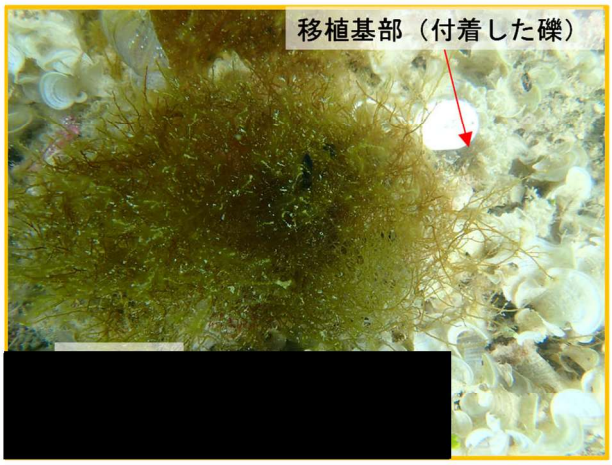
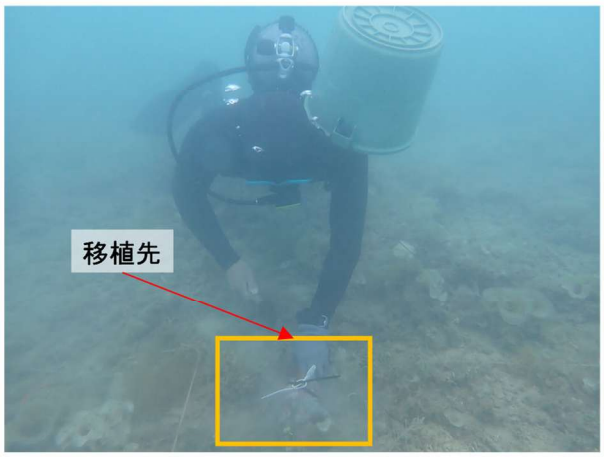


図-2.5.1.1(5)　令和 5～6 年度ウミボッス移植の作業状況（令和 6 年 4 月 21 日）



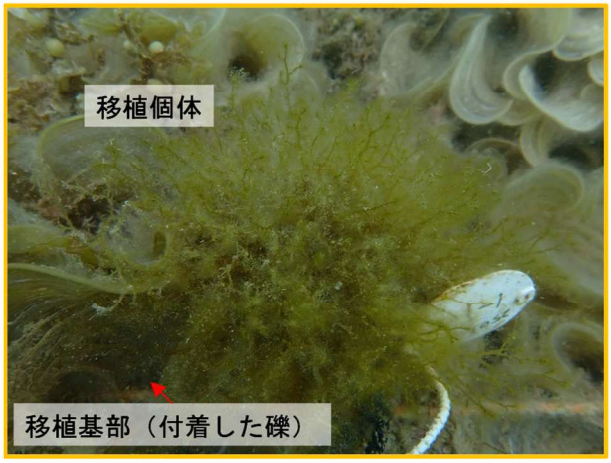


図-2.5.1.1(6)　令和 6～7 年度ウミボッス移植の作業状況（令和 7 年 4 月 13 日）

直後 R7.4.30		移植基部でウミボッスが確認された。
1ヶ月後 R7.5.14		移植基部でウミボッスが確認された。
3ヶ月後 R7.7.30		ウミボッスは確認されなかった。
6ヶ月後 R7.10.27		ウミボッスは確認されなかった。

注）1年目の追跡調査結果は、移植基部でのウミボッスの確認状況を示します。

図-2.5.1.2　ウミボッス移植個体の追跡調査結果
（令和6～7年度移植分、移植1年目）

表-2.5.1.2(1)　ウミボッス移植基部及び周辺の海藻類の種類別生育被度
（令和 6～7 年度移植分、移植 1 年目）

観察範囲	綱	目	科	和名	令和6～7年度移植分（移植1年目）			
					直後	1ヶ月後	3ヶ月後	6ヶ月後
					R7.4.1,30	R7.5.14	R7.7.30	R7.10.27
移植基部	藍藻綱	-	-	藍藻綱	r			
	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ガラガラ属	r	+		
			コナハダ科	コナハダ属	r	r		r
		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	+		r
			ハパリデウム科	サビ亜科（無節サンゴモ類）	+	+	+	+
		テングサ目	テングサ科	テングサ科	r	+		r
		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	r	r		
				イバラノリ科	r	+		r
			イワノカワ科	イワノカワ科	+	+	+	+
		オゴノリ目	オゴノリ科	オゴノリ属	r	+	r	
		マサゴシバリ目	フシツナギ科	テングサモドキ属	r	r	r	
		イギス目	イギス科	モサヨツノサデ	5%	5%	+	
			フジマツモ科	トゲノリ	r	r		
				キクヒオドシ	+	+	+	r
				ソゾ属	+	+	+	r
				イトグサ属	r	r		
	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	ウラボシヤハズ			r	
				アミジグサ属	r	r	r	+
				ハイオオギ属	r	r	r	+
				コガネウミウチワ	r	+	r	
				ウミウチワ属	10%	10%	r	+
				ジガミグサ	r		r	
		ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク	r			
			モズク科	モズク	r			
		カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ	+			
				カゴメノリ	5%	5%		
		ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッス	10%	10%		
		ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	+	+	r	r
				タマキレバモク	+	+	r	r
				ホンダワラ属	+	+	r	r
	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	r	+	r	+
		ミドリゲ目	バロニア科	キッコウグサ	r	r		
		イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ	r	r		
				タカノハズタ	r	r		
			ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	+	+	+	r
				フササボテングサ				r
				ハゴロモ	r	r		
		カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ	r	r		r
移植先の岩	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ガラガラ属	r	r		
			コナハダ科	コナハダ属	r			
		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	r		
				モサズキ属	r	r	r	r
			ハパリデウム科	サビ亜科（無節サンゴモ類）	+	+	+	r
		テングサ目	テングサ科	シマテングサ	r			r
		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	r	r	r	r
			イワノカワ科	イワノカワ科	r	+	+	r
		マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ				+
				テングサモドキ属	r	+	r	r
		イギス目	イギス科	モサヨツノサデ	+	+	+	r
			フジマツモ科	キクヒオドシ	r	+	+	r
				ソゾ属	r	+	r	r
				イトグサ属				r
	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	アミジグサ属	r	r	r	r
				ハイオオギ属	r	+	r	r
				コガネウミウチワ	r	r	r	
				ウミウチワ属	+	+	r	+
				ジガミグサ	r	+	r	
		ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッス	20%	10%		
		ヒバマタ目	ホンダワラ科	タマキレバモク	r	r		
				ホンダワラ属	r	r		
	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ			r	r
		ミドリゲ目	バロニア科	キッコウグサ	r	r	r	
		イワズタ目	ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	r	r		
		カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ	r	r		r

注）「＋」は生育被度 5%未満、「r」は生育被度 1%未満であることを示します。

表-2.5.1.2(2)　ウミボッス移植基部及び周辺の海藻類の種類別生育被度
（令和 6～7 年度移植分、移植 1 年目）

観察範囲	綱	目	科	和名	令和6～7年度移植分（移植1年目）			
					直後	1ヶ月後	3ヶ月後	6ヶ月後
					R7.4.1,30	R7.5.14	R7.7.30	R7.10.27
周辺部	藍藻綱	-	-	藍藻綱	r	+		
	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ビロウドガラガラ	r	r		
				ガラガラ	r	+		
				ガラガラ属	+	+		
			コナハダ科	コナハダ属	r	+		
		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	+	r	r
				モサズキ属	+	+	r	r
			ハパリデウム科	サビ亜科（無節サンゴモ類）	+	+	+	r
		テングサ目	テングサ科	ハイテングサ	r	r	r	r
				テングサ科	r	+	r	r
		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	5%	+		r
			イワノカワ科	イワノカワ科	+	+	+	+
		オゴノリ目	オゴノリ科	クビレオゴノリ	r	r		
		マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ	r	r	r	+
				テングサモドキ属	r	r	r	r
		イギス目	イギス科	モサヨツノサデ	+	r	+	
			フジマツモ科	トゲノリ	r	r		
				キクヒオドシ	r	+	+	r
				クロソゾ	r	r		
				ソゾ属	r	+	r	r
				イトグサ属				r
	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	ウラボシヤハズ		r	r	r
				アミジグサ			r	+
				アミジグサ属	r	r		+
				ハイオオギ属	r	r	r	r
				コガネウミウチワ	r	+	r	
				ウミウチワ属	15%	15%	r	+
				ジガミグサ	r	r	r	
		ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク	r			
			モズク科	モズク	r			
		カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ	+			
				カゴメノリ	20%	15%		
				モサクダフクロ		r		
		ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッス	15%	15%		
		ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	+	r	+	+
				タマキレバモク	+	+	+	+
				キシュウモク	r	+	+	r
				ホンダワラ属	+	+	+	r
				ラッパモク	r	r		
	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	r	+	r	+
				ホソバロニア	r	+		
			シオグサ科	カビシオグサ	+	+		
		ミドリゲ目	バロニア科	キッコウグサ	r	+		
		イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ	r	+		
				タカノハズタ	r	r		
				コケイワズタ	r			
			ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	+	+	+	+
				ミツデサボテングサ	r	r		
				フササボテングサ	r	r		r
		カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ	r	+		+

注）「＋」は生育被度 5%未満、「r」は生育被度 1%未満であることを示します。

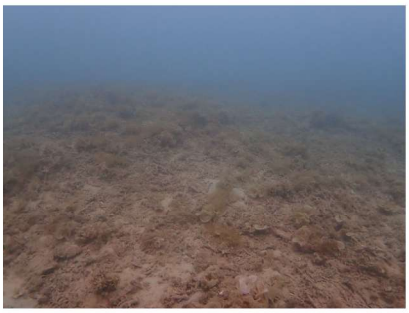
令和 7 年 繁茂期③ R7.4.28		移植先周辺でウミボッスが確認された。
令和 7 年 繁茂期④ R7.5.13		移植先周辺でウミボッスが確認された。
令和 8 年 繁茂期① R8.2.13		移植先周辺でウミボッスが確認された。
令和 8 年 繁茂期② R8.3.24		移植先周辺でウミボッスが確認された。

図-2.5.1.3　ウミボッス移植個体の追跡調査結果
（令和元～7 年度移植分※、繁茂期の追跡調査）

※「令和元～7 年度移植分」には、令和元～2 年度、令和 2～3 年度、令和 3～4 年度、令和 4～5 年度、令和 5～6 年度及び令和 6～7 年度の移植分を含みます。

表-2.5.1.3　ウミボッス移植先周辺の海藻類の種類別生育被度
（令和元～7 年度移植分※、繁茂期の追跡調査）

No.	綱	目	科	和名	令和7年繁茂期③	令和7年繁茂期④	令和8年繁茂期①	令和8年繁茂期②
					R7.4.28	R7.5.13	R8.2.13	R8.3.24
1	藍藻綱	-	-	藍藻綱	r			r
2	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ビロウドガラガラ			r	
3				ガラガラ属	+	+	r	r
4			コナハダ科	コナハダ属	r	r	r	r
5		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	r	r	r
6				モサズキ属	+	+	+	+
7			ハパリデウム科	サビ亜科（無節サンゴモ類）	+	+	+	+
8		テングサ目	テングサ科	ハイテングサ	r	r	r	r
9				テングサ属	r	r		r
10		カギケノリ目	カギケノリ科	カギケノリ	r		r	r
11		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	r	+	r	r
12			イワノカワ科	イワノカワ科	+	+	+	r
13		マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ	r	r	r	r
14				テングサモドキ属	r	r	r	r
15		イギス目	イギス科	モサヨツノサデ	r	+	+	5%
16			ダジア科	ダジア属				r
17			フジマツモ科	トゲノリ	r		r	r
18				キクヒオドシ	+		r	r
19				マクリ	r			
20				クロソゾ	r	r	r	r
21				ミツデソゾ	r	r		
22				ソゾ属	+	+	r	+
23				ジャバラノリ				
24				イトグサ属		r	r	r
25	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	スジヤハズ	r			
26				ウラボシヤハズ			r	+
27				アミジグサ属		r	r	r
28				ハイオオギ属	r	r		
29				コガネウミウチワ	r	r	r	r
30				ウスユキウチワ	r	r	r	r
31				ウミウチワ属	10%	10%	+	10%
32				ジガミグサ	+	+		+
33		ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク	r			
34		カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ		r		10%
35				カゴメノリ	5%	5%	r	10%
36				モサクダフクロ	r		r	
37		ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッス	r	5%	r	+
38		ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	+	+	+	+
39				タマキレバモク	r	+	+	+
40				キシュウモク	r	+	r	r
41				ホンダワラ属	r	r	r	r
42				ラッパモク		r		
43	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	r	r	r	r
44				ホソバロニア	r	r	r	
45			シオグサ科	カビシオグサ		+	+	+
46		ミドリゲ目	アオモグサ科	アオモグサ	+			r
47			バロニア科	キッコウグサ			r	r
48		イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ	+	r	r	+
49				コツブセンナリズタ			r	r
50				センナリズタ		r		
51				サイハイズタ			r	
52				タカノハズタ		r		
53				コケイワズタ				r
54			ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	r	+	+	+
55				ミツデサボテングサ	r	r		
56				フササボテングサ	r	r		
57				ハゴロモ	r			
58		カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ	r	r	r	r
出現種類数					43	40	39	42

注）1.「＋」は生育被度 5%未満、「r」は生育被度 1%未満であることを示します。
2. ウミボッス移植後の追跡調査期間は移植後 5 年間としていますが、ウミボッスの繁茂期を考慮し、5 年目の 2 月（令和 7 年繁茂期①）及び 3 月（令和 7 年繁茂期②）に引き続き、6 年目の 4 月（令和 7 年繁茂期③）及び 5 月（令和 7 年繁茂期④）に調査を実施しました。

※「令和元～7 年度移植分」には、令和元～2 年度、令和 2～3 年度、令和 3～4 年度、令和 4～5 年度、令和 5～6 年度及び令和 6～7 年度の移植分を含みます。

2.5.2 生物相調査

(1) インベントリー調査（定性的調査）

1) 調査結果の概要

令和 7 年度に実施した調査結果の概要として、記録された分類群数を表-2.5.2.1 に、季別の記録された種数を表-2.5.2.2 に示します。

各分類群における出現種類数は、海藻類※1 が 146 種類、海草類※2 が 11 種類、底生動物が 691 種類であり、全分類群合計では 848 種類でした。また、季別の種数は 478～569 種類でした。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-2.5.2.1　インベントリー調査の調査地点

※1 海藻類：藍藻綱、紅藻綱、褐藻綱、黄緑藻綱、緑藻綱に属する海藻草類。
※2 海草類：単子葉植物綱に属する海藻草類。

表-2.5.2.1　インベントリー調査　記録された分類群数

項目		分類群数				
植物	海藻類	4 門	5 綱	24 目	41 科	146 種類
	海草類	1 門	1 綱	1 目	2 科	11 種類
動物	底生動物	11 門	19 綱	48 目	196 科	691 種類
分類群合計		16 門	25 綱	73 目	239 科	848 種類

表-2.5.2.2　インベントリー調査　記録された種数

項目＼調査時期		令和 7 年度			
		春季	夏季	秋季	冬季
調査地点数		31 地点	31 地点	31 地点	31 地点
植物	海藻類	118 種類	98 種類	93 種類	119 種類
	海草類	9 種類	10 種類	10 種類	9 種類
動物	底生動物	382 種類	461 種類	375 種類	401 種類
分類群合計		509 種類	569 種類	478 種類	529 種類

2）出現種

総出現種リストを表-2.5.2.3に示します。

表-2.5.2.3(1)　インベントリー調査　総出現種リスト（植物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季		
1	藍色植物門	藍藻綱	ネンジュモ目	ヒゲモ科	オオヒゲソウ	○	○	○	○		
2					イワソメアイモ	○	○	○	○		
3					オオツブリブラリア	○	○	○	○		
4			ユレモ目	ユレモ科	*Lyngbya polychroa*		○	○	○		
5				スチゴネマ科	アイミドリ	○	○	○	○		
6	紅色植物門	紅藻綱	ウミゾウメン目	カサマツ科	カモガシラノリ	○			○	●	
7					ハイコナハダ	○			○	●	
8				ガラガラ科	ソデガラミ	○	○	○	○		
9					ガラガラ	○			○		
10			サンゴモ目	サンゴモ科	ハイカニノテ	○					
11					ホソエダカニノテ	○			○		
12					ヒメモサズキ	○	○	○	○		
13					ケヒメモサズキ	○	○	○	○		
14					モルッカイシモ		○				
15				ハパリデウム科	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○	○	○	○		
16			テングサ目	テングサ科	シマテングサ	○	○	○	○		
17					ヒメテングサ	○	○	○	○		
18					ハイテングサ	○	○	○	○		
19			ベニマダラ目	ベニマダラ科	ベニマダラ	○	○	○	○		
20			カギケノリ目	カギケノリ科	カギケノリ	○			○		
21			スギノリ目	イソモッカ科	イソダンツウ	○	○	○	○		
22				フノリ科	ハナフノリ	○			○		
23				スギノリ科	カイノリ	○	○	○	○		
24				イバラノリ科	コケイバラ			○			
25					ヒメイバラノリ			○			
26				オキツノリ科	オキツノリ	○					
27				アツバノリ科	アツバノリ				○	●	
28					ミアナグサ			○			
29			オゴノリ目	オゴノリ科	ユミガタオゴノリ	○			○		
30					クビレオゴノリ	○					
31					カタオゴノリ	○	○		○	●	
32					ナンカイオゴノリ	○				●	
33					フシクレノリ	○	○	○	○		
34			マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ	○	○	○	○		
35					モツレテングサモドキ	○	○	○	○		
36				マサゴシバリ科	ニセイバラノリ	○	○	○	○		
37			イギス目	イギス科	トゲイギス	○	○	○	○		
38					ヨツノサデ	○			○		
39					モサヨツノサデ	○		○	○		
40					ウブゲグサ	○	○	○	○		
41					ランゲリア	○	○	○	○		
42				コノハノリ科	ホソアヤギヌ	○	○	○	○	●	
43					ササバアヤギヌ	○	○	○	○	●	
44					ヒメズタ	○	○		○		
45				フジマツモ科	トゲノリ	○	○	○	○		
46					ツクシホウズキ		○			●	
47					キクヒオドシ	○	○	○	○		
48					エダネコケモドキ			○			
49					ヒメコケモドキ	○	○	○	○		
50					コケモドキ	○	○	○	○		
51					マクリ	○	○	○	○		
52					クモノスヒメゴケ	○	○		○		
53					ソゾノハナ		○				
54					アカソゾ	○	○		○		
55					ナンカイソゾ	○	○	○	○		
56					ジャバラノリ	○	○	○	○		
57					ヨレミグサ	○	○				
58					ナガミグサ	○	○	○	○		
59					ハマナコケモドキ				○		
60					フタマタコケモドキ	○	○	○	○		
61					イトクズグサ	○	○	○	○		
62	不等毛植物門	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	スジヤハズ	○					
63					ウラボシヤハズ	○	○	○	○		
64					オオマタアミジ	○	○	○	○		
65					トゲアミジ	○			○		
66					ハイアミジグサ	○	○	○	○		
67					イトアミジ	○	○	○	○		
68					コガネウミウチワ	○	○		○		
69					ジガミグサ	○	○	○	○		
70			ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク	○			○		
71				モズク科	モズク	○				●	
72			カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ	○			○		
73					カゴメノリ	○			○		
74					ホソカゴメノリ	○			○		
75					セイヨウハバノリ				○		
76					モサクダフクロ	○			○		
77					カヤモノリ				○	●	
78			ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッス	○				●	●
79			ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	○	○	○	○	●	
80					アツバモク	○	○		○		

表-2.5.2.3(2)　インベントリー調査　総出現種リスト（植物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季		
81	不等毛植物門	褐藻綱	ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヒイラギモク	○	○	○	○		
82					ヒメハモク	○	○	○	○		
83					カラクサモク	○	○	○		●	
84					コバモク	○		○		●	
85					タマキレバモク	○	○	○	○		
86					キシュウモク	○	○	○	○	●	
87					ブュフシャモク				○	●	
88					カサモク	○	○	○	○		
89					ラッパモク	○	○		○		
90		黄緑藻綱	フシナシミドロ目	フシナシミドロ科	ウミフシナシミドロ	○			○	●	
91	緑色植物門	緑藻綱	アオサ目	ヒトエグサ科	ヒトエグサ	○		○	○		
92			シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	○	○	○	○		
93					タノモグサ	○	○	○	○		
94				シオグサ科	ホソジュズモ				○		
95					ボウジュズモ				○		
96					カビシオグサ				○		
97					ハイシオグサ		○	○	○		
98					ヒメフカミドリシオグサ				○	●	
99					オオネダシグサ	○	○	○	○	●	
100			ミドリゲ目	アオモグサ科	アオモグサ	○	○	○	○		
101					ハネアオモグサ	○	○	○			
102				マガタマモ科	マガタマモ		○			●	
103					タンポヤリ	○				●	
104					ミドリゲ	○	○	○	○		
105				バロニア科	キッコウグサ	○	○	○	○		
106					ムクキッコウグサ	○	○	○	○		
107					タマバロニア				○		
108					バロニア	○	○	○	○		
109					オオバロニア	○	○	○	○		
110			イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ	○	○	○	○		
111					ビャクシンズタ	○	○	○	○		
112					クビレズタ	○	○	○	○	●	
113					センナリズタ	○	○	○	○		
114					ヒラエズタ	○					
115					エツキズタ		○	○			
116					コハギズタ	○			○		
117					サイハイズタ			○			
118					ヨレズタ	○	○	○	○		
119					タカノハズタ	○	○	○	○		
120					イチイズタ		○	○	○	●	
121					コケイワズタ	○					
122					リュウキュウズタ		○	○	○	●	
123					ヒメイワズタ	○	○	○	○		
124				ハゴロモ科	クサビガタハウチワ	○	○	○	○		
125					コテングノハウチワ	○	○	○	○	●	
126					マルバハウチワ				○		
127					モツレチョウチン	○	○	○	○	●	
128					マユハキモ	○	○	○			
129					ウチワサボテングサ	○	○	○	○		
130					ミツデサボテングサ	○	○	○	○		
131					サボテングサ				○		
132					フササボテングサ	○	○	○	○	●	
133					ヒメイチョウ	○	○	○	○		
134					ハゴロモ	○	○	○	○		
135			ミル目	ミル科	ナンバンハイミル	○	○				
136					モツレミル	○	○		○		
137					ヤセガタモツレミル		○	○	○		
138			ハネモ目	ハネモ科	カタハノハネモ		○	○	○		
139			カサノリ目	ダジクラズス科	ナガミズタマ	○		○		●	
140					ミズタマ	○	○	○	○		
141					ウスガサネ	○	○	○	○	●	
142					フデノホ	○	○	○	○		
143				カサノリ科	ホソエガサ	○			○	●	
144					リュウキュウガサ	○	○	○	○		
145					カサノリ	○	○	○	○	●	
146					イソスギナ	○	○	○	○		
147	種子植物門	単子葉植物綱	オモダカ目	トチカガミ科	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	●	
148					ウミヒルモ	○	○	○	○	●	
149					オオウミヒルモ	○	○	○	○	●	
150					ホソウミヒルモ	○	○	○	○	●	
151					ヒメウミヒルモ	○	○	○	○	●	
152				ベニアマモ科	ニラウミジグサ	○	○	○	○	●	
153					ホソバウミジグサ	○	○	○	○	●	
154					ベツバウミジグサ			○	○	●	
155					ベニアマモ	○	○	○		●	
156					リュウキュウアマモ	○	○	○	○	●	
157					ボウバアマモ		○			●	
出現種類数						127	108	103	128	42	1

表-2.5.2.3(3)　インベントリー調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季		
1	有孔虫門	有孔虫綱	有孔虫目	アカスナゴ科	モミジスナゴ	○		○	○		
2	刺胞動物門	ヒドロ虫綱	ハナクラゲ目	エダウミヒドラ科	ミナミエダウミヒドラ	○					
3				ハネガヤ科	シロガヤ	○		○			
4					クロガヤ	○					
5		花虫綱	スナギンチャク目	スナギンチャク科	イワスナギンチャク	○	○	○	○		
6			イソギンチャク目	タテジマイソギンチャク科	チギレイソギンチャク				○		
7				クビカザリイソギンチャク科	ヤドカリイソギンチャク	○					
8				ナゲナソイソギンチャク科	カニイソギンチャク				○		
9				ウメボシイソギンチャク科	ウスカワイソギンチャク				○		
10				ハタゴイソギンチャク科	ハタゴイソギンチャク				○		
11	有櫛動物門	有触手綱	クシヒラムシ目	クラゲムシ科	クラゲムシ属の1種	○					
12	扁形動物門	渦虫綱	ヒラムシ目	ニセスチロヒラムシ科	カリオヒラムシ	○					
13	軟体動物門	多板綱	サメハダヒザラガイ目	サメハダヒザラガイ科	シリブトヒザラガイ				○		
14			クサズリガイ目	ウスヒザラガイ科	オオセスジヒザラガイ		○				
15				クサズリガイ科	コザネヒザラガイ			○	○		
16					リュウキュウヒザラガイ	○	○	○			
17					オニヒザラガイ	○	○	○	○		
18		腹足綱	カサガイ目	ヨメガカサ科	ヨメガカサ	○	○	○	○		
19					オオベッコウガサ	○	○	○	○		
20					ベッコウガサ	○	○		○		
21				ユキノカサガイ科	リュウキュウウノアシ	○	○	○	○		
22					リュウキュウアオガイ	○	○	○	○		
23					リュウキュウシボリガイ	○	○	○	○		
24					タイワンシボリガイ				○		
25			古腹足目	ニシキウズ科	ニシキウズ	○	○		○		
26					アナアキウズ				○		
27					クルマチグサ	○		○			
28					オキナワイシダタミ	○	○	○	○		
29					ハナダタミ	○	○	○	○		
30					ヒメアワビ	○		○	○		
31					アカベソキサゴモドキ	○					
32					ハナゴショグルマ	○	○				
33				サザエ科	カンギク	○	○	○	○		
34				サンショウガイモドキ科	ヘソアキアシヤエビス		○				
35					サンショウガイモドキ		○				
36				スカシガイ科	リュウキュウオトメガサ	○			○		
37					ヤジリスカシガイ	○				●	●
38			アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ	○	○	○	○		
39					キバアマガイ	○	○	○	○		
40					フトスジアマガイ	○	○	○	○		
41					マルアマオブネ	○	○	○	○		
42					オオアマガイ	○		○	○		●
43					オオマルアマオブネ		○				
44					アマオブネガイ	○	○	○	○		
45					リュウキュウアマガイ	○	○	○			
46					ニシキアマオブネ	○	○	○	○		
47					ヌリツヤアマガイ	○			○		
48					ウコンアマガイ		○				
49					カノコガイ	○	○	○	○		
50					レモンカノコ	○				●	●
51					ハナガスミカノコ	○	○	○	○		
52					クサイロカノコ	○				●	●
53					キンランカノコ	○				●	●
54					ウミヒメカノコ	○			○	●	●
55				フネアマガイ科	フネアマガイ	○	○		○		
56				ユキスズメガイ科	ミヤコドリ		○			●	●
57				チチカケガイ科	ハチジョウチチカケガイ	○	○	○	○		
58			新生腹足目	オニノツノガイ科	オニノツノガイ				○		
59					コオニノツノガイ				○		
60					ハシナガツノブエ	○	○	○	○		
61					ユゲツノブエ	○		○	○	●	●
62					クリムシカニモリ	○	○	○	○		
63					ゴマフカニモリ	○	○	○	○		
64					クリフカニモリ				○		
65					カヤノミカニモリ	○	○	○	○	●	●
66					ウミニナカニモリ				○		
67					クワノミカニモリ	○	○	○	○		
68					ヨコワカニモリ	○	○	○	○		
69					カザリカニモリ		○		○		
70					オオシマチグサカニモリ類似種	○					
71				ウミニナ科	リュウキュウウミニナ	○	○	○	○		
72				ゴマフニナ科	ゴマフニナ	○	○	○	○		
73					ヨコスジタマキビモドキ	○	○	○	○		
74				トゲカワニナ科	ネジヒダカワニナ		○			●	●
75				キバウミニナ科	フトヘナタリ	○	○	○	○	●	●
76				タマキビ科	コビトウラウズガイ	○	○	○	○		
77					ホソスジウズラタマキビ	○	○	○	○		
78					テリタマキビ				○		
79					コウダカタマキビ	○	○	○	○		
80					ウズラタマキビ	○	○	○	○		
81					イロタマキビ	○		○	○	●	●
82					ヒメウズラタマキビ	○	○	○	○		
83					タイワンタマキビ	○	○	○	○		
84					イボタマキビ	○	○	○	○		
85				カワザンショウガイ科	オイランカワザンショウ			○	○	●	●
86				シロネズミガイ科	マルシロネズミ	○				●	●
87				スズメガイ科	チリメンフウリンチドリ	○					
88				ハナゴウナ科	カシパンヤドリニナ	○				●	●
89				トンボガイ科	トンボガイ		○		○		
90				ソデボラ科	オハグロガイ				○	●	●
91					ムカシタモト	○					
92					ネジマガキ		○			●	●
93					マガキガイ	○	○	○	○		
94					クモガイ	○	○	○			
95					スイジガイ				○		
96				タカラガイ科	ヤクシマダカラ	○	○				
97					ホシキヌタ	○					
98					タルダカラ				○		
99					ヤナギシボリダカラ		○				
100					ナツメモドキ	○	○	○	○		

表-2.5.2.3(4)　インベントリー調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季		
101	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タカラガイ科	クロダカラ			○			
102					ツマムラサキメダカラ		○				
103					コモンダカラ		○	○	○		
104					ハナビラダカラ	○	○	○	○		
105					キイロダカラ		○				
106					ハナマルユキ		○				
107				タマガイ科	トミガイ	○			○		
108					シロヘソアキトミガイ				○		
109					ヘソアキトミガイ		○	○			
110					ホウシュノタマ	○	○	○	○		
111					ムラクモダマ	○					
112					クチグロタマガイ		○	○	○		
113					クチムラサキタマガイ			○			
114					カノコダマ		○				
115					アラゴマフダマ	○	○	○	○	●	●
116					フロガイ	○	○				
117					モクメダマ	○		○			
118				トウカムリ科	トウカムリ	○					
119				フジツガイ科	シノマキ				○		
120					サツマボラ		○	○	○		
121					シロシノマキ	○	○	○	○		
122				クリイロケシカニモリ科	クリイロケシカニモリ				○		
123				ミツクチキリオレ科	トウマキキリオレ				○		
124				フトコロガイ科	フトコロガイ	○	○	○	○		
125					ムシエビ		○		○		
126					ニヨリキリコノミニナ			○	○		
127					タケノコモドキ	○					
128				ムシロガイ科	イボヨフバイ		○	○	○		
129					マルカニノデムシロ			○			
130					アワムシロ	○	○	○	○		
131					ヒメオリイレムシロ	○	○	○	○	●	●
132					アツムシロ	○	○	○	○		
133					シイノミヨフバイ	○	○		○		
134					ミスジヨフバイ		○		○		
135					ヨフバイモドキ	○					
136				エゾバイ科	トクサバイ		○	○	○		
137					ノシガイ	○	○	○	○		
138					スジグロホラダマシ				○		
139					ホラダマシ			○	○		
140					シマベッコウバイ	○	○	○	○		
141				イトマキボラ科	イトマキボラ			○			
142					ベニマキガイ			○			
143					リュウキュウツノマタ			○			
144				アッキガイ科	ガンゼキボラ		○	○	○		
145					マギレキナフレイシダマシ		○				
146					ウネレイシダマシ		○	○	○		
147					シロレイシダマシ	○					
148					ニセシロレイシダマシ	○			○		
149					ゴマフヌカボラ		○		○		
150					レイシダマシ	○	○	○	○		
151					カタハリレイシダマシ		○				
152					ウネシロレイシダマシ	○	○	○	○		
153					トゲレイシダマシ			○			
154					キイロイガレイシ				○		
155					ツノテツレイシ	○	○	○	○		
156					テツレイシ	○	○	○	○		
157					ハナワレイシ		○				
158					テツボラ			○			
159					ホソスジテツボラ		○	○			
160					コゲレイシダマシ	○	○	○	○		
161					チリメンカスリレイシ	○	○	○	○		
162					クチムラサキサンゴヤドリ				○		
163					ヒラセトヨツガイ			○			
164					ヒトハサンゴヤドリ	○	○				
165				フデガイ科	チョウセンフデ	○	○		○		
166					ナガシマヤタテ	○	○	○	○		
167					ミダレシマヤタテ	○	○		○		
168					ツノイロチョウチンフデ	○			○		
169					クチベニアラフデ	○	○				
170					イモフデガイ		○		○		
171				ミノムシガイ科	ハイイロミノムシ			○	○	●	●
172					コンツクシ				○		
173					カバスジツクシ	○			○		
174					チビツクシ			○	○	●	●
175					イトカケツクシ		○	○			
176					カンムリツクシ		○				
177					ハマヅト	○	○	○	○		
178					チヂミハマヅト	○		○	○		
179					トゲハマヅト	○		○	○		
180					マメオトメフデ		○	○			
181				ホタルガイ科	ムシボタル	○			○		
182					オオシマボタル類似種	○	○		○		
183				マクラガイ科	サラサマクラ				○		
184					サツマビナ	○	○	○	○		
185					マクラガイ				○	●	●
186				イモガイ科	イボカバイモ		○				
187					ミカドミナシ		○				
188					ヒラマキイモ	○	○	○	○		
189					ベニイタダキイモ		○				
190					ハイイロミナシ				○		
191					ヤナギシボリイモ		○				
192					コモンイモ	○	○	○	○		
193					ゴマフイモ	○	○	○	○		
194					ヤキイモ		○				
195					サヤガタイモ	○		○	○		
196					ジュズカケサヤガタイモ		○				
197					マダライモ	○	○	○	○		
198					ガクフイモ	○	○	○	○		
199					シロセイロンイモ		○				
200					クロザメモドキ		○	○	○		

表-2.5.2.3(5)　インベントリー調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季		
201	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	イモガイ科	クロミナシ		○				
202					アジロイモ			○	○		
203					アンボンクロザメ	○			○		
204					クロフモドキ	○		○			
205					ロウソクガイ	○	○		○		
206					ナガシマイモ	○	○	○	○		
207					イボシマイモ			○			
208					ニセイボシマイモ	○		○	○		
209					キヌカツギイモ		○		○		
210				マンジガイ科	トガリコトツブ		○		○		
211					コトツブ	○	○		○	●	●
212				フデシャジク科	ニクイロコウシツブ	○					
213				クダマキガイ科	トラフクダマキ	○	○				
214				タケノコガイ科	ホソシチクモドキ		○				
215					シチクガイ	○	○	○	○	●	●
216					ミガキタケ		○		○		
217					ゴバンタケ			○	○		
218					ココアトクサ		○		○		
219					ムシロタケ	○	○				
220					ベニタケ		○				
221					ウシノツノガイ	○					
222					リュウキュウタケ		○		○		
223					シロフタケ	○	○				
224					ホソニクタケ		○				
225					マキザサ	○		○			
226			低位異鰓目	クルマガイ科	コグルマ	○					
227				オオシイノミガイ科	カヤノミガイ		○			●	●
228					コシイノミガイ	○	○	○	○		
229			裸側目	ツヅレウミウシ科	クモガタウミウシ			○			
230				イロウミウシ科	フジナミウミウシ		○		○		
231					シモフリイロウミウシ				○		
232				イボウミウシ科	ソライロイボウミウシ		○				
233					コイボウミウシ	○					
234				ヨツスジミノウミウシ科	ムカデミノウミウシ				○		
235				オオミノウミウシ科	リュウキュウカスミミノウミウシ				○		
236			真後鰓目	クダタマガイ科	ツララガイ類似種	○			○		
237					ヤセコメツブガイ				○		
238				ブドウガイ科	タマゴガイ	○					
239					カイコガイ	○	○		○		
240					ホソタマゴガイ			○		●	●
241			汎有肺目	カラマツガイ科	コウダカカラマツガイ	○	○	○	○		
242					ヒラカラマツガイ	○		○	○		
243				チドリミドリガイ科	チドリミドリガイ			○			
244				トウガタガイ科	オオクチキレ		○				
245					カズマキクチキレ	○					
246					マキミゾクチキレ		○				
247					ネコノミミクチキレ		○	○			
248					アンパルクチキレ	○	○	○	○	●	●
249				イソチドリ科	ニライカナイゴウナ	○		○	○	●	●
250				オカミミガイ科	クロヒラシイノミガイ	○	○	○	○	●	●
251					ヒメヒラシイノミガイ	○				●	●
252					ヘソアキコミミガイ				○	●	●
253					ウラシマミミガイ				○	●	●
254					ナガオカミミガイ			○	○		●
255					ツヤハマシイノミガイ	○	○	○			
256					スジハマシイノミガイ	○	○				
257					ホソハマシイノミガイ	○	○	○			●
258					ハマシイノミガイ		○	○			
259					コクトウハマシイノミガイ		○	○	○		
260		掘足綱	ツノガイ目	ゾウゲツノガイ科	ヤカドツノガイ		○	○			
261					リュウキュウツノガイ	○	○		○		
262				サケツノガイ科	サケツノガイ				○		
263		二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	フネガイ		○	○	○		
264					エガイ	○	○	○	○		
265					オオカリガネエガイ	○		○	○		
266					オオミノエガイ				○		
267					ベニエガイ		○	○	○		
268					ハブタエエガイ				○		
269					リュウキュウサルボウ	○					●
270				タマキガイ科	コタマキガイ	○	○		○		
271					ソメワケグリ	○	○	○	○		●
272			イガイ目	イガイ科	ヒバリガイモドキ	○	○	○	○		
273					リュウキュウヒバリガイ	○	○	○	○		
274					ホソスジヒバリガイ				○	●	●
275					サザナミマクラ				○	●	●
276			ウグイスガイ目	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	○	○	○			
277					クロチョウガイ		○		○		
278				シュモクガイ科	ニワトリガキ	○	○	○	○		
279				マクガイ科	ヘリトリアオリ	○	○	○	○		
280					マクガイ	○	○	○	○		
281					シロアオリ	○	○	○	○		
282					カイシアオリ	○	○	○	○		
283					シュモクアオリ	○		○			
284				イタボガキ科	オハグロガキ	○	○	○	○		
285					トサカガキ			○	○		
286				ベッコウガキ科	シャコガキ	○	○		○		
287				ハボウキガイ科	イワカワハゴロモ	○	○				
288			ミノガイ目	ミノガイ科	オオユキミノ	○	○	○	○		●
289			イタヤガイ目	イタヤガイ科	シロスジナデシコ		○		○		
290					ウミギクモドキ	○	○	○	○		
291				ウミギク科	メンガイ			○	○		
292					ヤスリメンガイ		○				
293				ネズミノテ科	カスリイシガキモドキ	○		○			
294			トマヤガイ目	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ		○	○	○		
295			異靭帯目	ミツカドカタビラガイ科	コカタビラガイ				○		
296			マルスダレガイ目	ツキガイ科	ヒメツキガイ	○	○	○	○		
297					ウメノハナガイ				○		
298					チヂミウメノハナ	○	○	○		●	●
299					カブラツキガイ		○			●	●
300				フタバシラガイ科	*Diplodonta* sp.B	○		○	○	●	●

表-2.5.2.3(6)　インベントリー調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度 春季	夏季	秋季	冬季	重要な種	移動対象種
301	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	キクザルガイ科	ウナバラキクザル				○		
302					ケイトウガイ				○		
303				ウロコガイ科	オオツヤウロコガイ		○			●	●
304					オモナガシタタリ	○	○	○	○		
305				チリハギガイ科	セワケハチミツガイ	○	○	○	○	●	●
306					ミガキシタタリ	○					
307					ユンタクシジミ		○		○	●	●
308				ゾンゾクヤドリガイ科	スジホシムシヤドリガイ			○		●	●
309				フナガタガイ科	タガソデモドキ		○			●	●
310					フナガタガイ			○			
311				ザルガイ科	キヌザル		○				
312					イレズミザル		○	○	○	●	●
313					リュウキュウザル		○	○	○		
314					オオヒシガイ	○	○	○	○		
315					カワラガイ	○	○	○		●	●
316					オキノワヒシガイ	○	○		○	●	●
317					ハートガイ		○		○	●	●
318					キヌヒシガイ	○	○	○	○		
319					ボタンガイ	○	○	○	○		
320				シャコガイ科	ヒメシャコ	○		○			
321					ヒレシャコ			○	○		
322					シラナミ		○		○		
323				マルスダレガイ科	ヌノメガイ	○		○	○		
324					カノコアサリ	○	○	○	○		
325					ヒメカノコアサリ		○				
326					チリメンカノコアサリ	○	○	○	○		●
327					アラスジケマンガイ	○		○	○		
328					ホソスジイナミガイ	○	○	○	○		
329					イナミガイ			○	○		
330					ガンギハマグリ	○				●	●
331					イオウハマグリ		○		○	●	●
332					オミナエシハマグリ	○	○	○		●	●
333					サラサガイ	○	○		○		
334					ウラジロチャイロサラサ				○		
335					イナヅマスダレ		○	○	○		
336					ナルカミスダレ				○		
337					マルオミナエシ				○		
338					オイノカガミ	○	○	○	○	●	●
339					ヒメアサリ	○	○	○	○		
340					ヤエヤマスダレ	○			○		●
341					スダレハマグリ	○		○	○	●	●
342					フキアゲアサリ	○	○	○	○		●
343					ハネマツカゼ	○					
344					ハナヤカワスレ	○	○	○	○		
345				イワホリガイ科	セミアサリ			○			
346				フジノハナガイ科	ナミノコガイ			○	○	●	●
347					リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	●	●
348				ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ		○	○			●
349					コニッコウガイ		○	○	○		●
350					トンガリベニガイ	○	○	○	○	●	●
351					ヘラサギガイ		○			●	●
352					ハツヒザクラ				○	●	●
353					ヒラセザクラ	○	○			●	●
354					アミメザクラ				○		
355					ウネイチョウシラトリ	○	○			●	●
356					サメザラ	○	○		○		
357					リュウキュウシラトリ	○	○	○	○		
358					ナミノコザラ	○	○		○		
359					トゲウネガイ			○	○		●
360					ウラキヒメザラ	○				●	●
361					ミガキヒメザラ	○	○	○	○		●
362					ミクニシボリザクラ	○	○	○	○	●	●
363					ハスメザクラ	○	○	○		●	●
364					トガリユウシオガイ	○	○	○	○	●	●
365					ウズザクラ類似種	○	○				
366				アサジガイ科	サメザラモドキ	○	○	○			
367				シオサザナミ科	サカライマスオ	○					
368					ハスメヨシガイ			○		●	●
369					マスオガイ	○	○	○	○	●	●
370					リュウキュウマスオ	○	○	○	○		
371					アシベマスオ	○	○	○	○	●	●
372				マテガイ科	ホソバラフマテガイ	○	○		○	●	●
373				バカガイ科	タママキ	○	○	○	○		
374					リュウキュウバカガイ	○	○	○	○		
375					トウカイタママキ	○				●	●
376					オトメタママキ		○	○	○	●	●
377				チドリマスオ科	イソハマグリ	○	○	○	○	●	●
378					ナミノコマスオ		○				●
379					クチバガイ	○	○	○	○	●	●
380					ハマチドリ				○		
381	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	クマドリゴカイ	○	○	○	○		
382					スナイソゴカイ	○	○	○	○		
383					イシイソゴカイ		○	○			
384					コケゴカイ		○	○			
385			ウミケムシ目	ウミケムシ科	ハナオレウミケムシ		○				
386			ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	インドケヤリ				○		
387				カンザシゴカイ科	イバラカンザシゴカイ	○	○	○	○		
388	ユムシ動物門	－	キタユムシ目	キタユムシ科	タテジマユムシ	○	○	○			
389	星口動物門	スジホシムシ綱	フクロホシムシ目	スジホシムシ科	スジホシムシモドキ属	○	○	○	○	●	●
390					スジホシムシ	○	○	○	○	●	●
391		サメハダホシムシ綱	サメハダホシムシ目	サメハダホシムシ科	ネッタイサメハダホシムシ	○	○	○	○		
392					サメハダホシムシ			○			
393	節足動物門	アゴアシ綱	有肛目	サンゴフジツボ科	ルリツボムシ		○				
394			有柄目	ミョウガガイ科	カメノテ	○	○	○	○		
395			無柄目	イワフジツボ科	ウチムラサキイワフジツボ	○	○	○			
396					ミナミイワフジツボ			○			
397				クロフジツボ科	*Tetraclita kuroshioensis*	○	○	○			
398					ミナミクロフジツボ	○	○		○		
399		軟甲綱	シャコ目	フトユビシャコ科	フトユビシャコモドキ	○					
400					フトユビシャコ	○	○	○	○		

表-2.5.2.3(7)　インベントリー調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度 春季	夏季	秋季	冬季	重要な種	移動対象種
401	節足動物門	軟甲綱	シャコ目	フトユビシャコ科	トンガリフトユビシャコ		○				
402					コトゲフトユビシャコ		○	○			
403				ウニシャコ科	ミツヤマトジオシャコ	○	○	○	○		
404				ホソユビシャコ科	ホソユビシャコ				○		
405				トラフシャコ科	トラフシャコ		○		○		
406				ヒメシャコ科	ヒメトラフシャコ			○			
407					ミツツノヒメシャコ		○				
408					シマトラノヒメシャコ	○					
409				シャコ科	クロミミメボソシャコ			○			
410			エビ目	クルマエビ科	クルマエビ		○				
411					フトミゾエビ	○	○	○	○		
412					テラオクルマ	○					
413					ヨシエビ			○			
414					サルエビモドキ	○					
415				サクラエビ科	*Sicyonella inermis*			○		●	●
416				オトヒメエビ科	オトヒメエビ	○	○	○			
417				テナガエビ科	マイヒメエビ		○				
418					スネナガエビ		○				
419					フトユビスジエビ（ユビナガスジエビ）		○				
420					イソスジエビ		○				
421					イソギンチャクエビ			○			
422					シオダマリカクレエビ		○	○	○		
423					アサセカクレエビ		○				
424					セイシェルヤドリエビ				○		
425					エンマカクレエビ		○				
426				テッポウエビ科	オトヒメテッポウエビ				○		
427					フタトゲテッポウエビ		○				
428					カスリテッポウエビ		○	○			
429					*Alpheus dispar*	○			○		
430					ゲツメンテッポウエビ	○	○				
431					エドワールテッポウエビ	○	○	○			
432					ツノナシテッポウエビ		○				
433					イソテッポウエビ	○	○	○	○		
434					*Alpheus* aff. *mohammadpouri*	○					
435					マダラテッポウエビ	○	○	○	○		
436					トウゾクテッポウエビ			○			
437					サワギテッポウエビ	○	○				
438					フナフチテッポウエビ		○				
439					カワテッポウエビ	○	○	○	○		
440					モンツキテッポウエビ	○	○	○	○		
441					トゲテッポウエビ			○	○		
442					セジロムラサキエビ		○				
443				モエビ科	フシウデサンゴモエビ		○				
444				ツノメエビ科	ツノメエビ	○	○	○			
445				エビジャコ科	コツノエビジャコ	○	○	○	○		
446					ミナミエビジャコ	○	○	○			
447				アナエビ科	ヘンゲアナエビ			○	○		
448				スナモグリ科	ハルマンスナモグリ		○	○			
449					ブビエスナモグリ	○	○	○	○	●	●
450				エラゲスナモグリ科	エラゲスナモグリ	○	○	○	○		
451				オオスナモグリ	トゲスナモグリ		○	○		●	●
452					ミツトゲヤワスナモグリ	○	○	○	○		
453					*Neocallichirus calmani*		○			●	●
454					*Neocallichirus jousseaumei*	○	○	○			
455				ハサミシャコエビ科	ハサミシャコエビ	○		○	○		
456				アナジャコ科	コブシアナジャコ	○	○	○		●	●
457					ヨコヤアナジャコ	○	○	○			
458				コシオリエビ科	ホクロコシオリエビ		○		○		
459				カニダマシ科	ミナミコブカニダマシ		○		○		
460					アジアアカハラ	○	○	○	○		
461					ミナミカニダマシ	○	○	○	○		
462					イソカニダマシ	○	○				
463					ケブカカニダマシ	○	○	○	○		
464					*Petrolisthes shanyingi*		○				
465					*Petrolisthes inermis*	○	○	○	○		
466				クダヒゲガニ科	*Albunea elioti*	○	○				
467					ヒメクダヒゲガニ	○	○	○			
468					クダヒゲガニ				○		
469				スナホリガニ科	スナホリガニ		○	○	○		
470				オカヤドカリ科	オカヤドカリ	○	○	○		●	
471					ムラサキオカヤドカリ	○	○	○	○	●	
472					ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	●	
473					コムラサキオカヤドカリ	○	○	○	○	●	
474				ヤドカリ科	ユビワサンゴヤドカリ		○				
475					セグロサンゴヤドカリ		○		○		
476					スベスベサンゴヤドカリ	○	○	○	○		
477					ツマジロサンゴヤドカリ	○	○	○	○		
478					アカツメサンゴヤドカリ			○			
479					キカザリサンゴヤドカリ		○				
480					シロサンゴヤドカリ			○		●	●
481					サンゴヨコバサミ		○				
482					ワカクサヨコバサミ	○	○		○	●	●
483					ツマキヨコバサミ	○	○	○	○		
484					イモガイヨコバサミ	○	○	○	○		
485					マダラヨコバサミ	○	○	○	○		
486					ツメナガヨコバサミ	○	○	○	○		
487					マーグイヨコバサミ	○				●	●
488					シマヨコバサミ		○				
489					タテジマヨコバサミ	○	○	○	○		
490					イソヨコバサミ	○	○	○	○		
491					カブトヤドカリ	○			○		
492					オイランヤドカリ	○	○	○	○		
493					コモンヤドカリ	○	○				
494					テナガヤドカリ	○					
495					マルテツノヤドカリ		○	○		●	●
496					アンパルツノヤドカリ	○	○		○		
497					*Diogenes pallescens*		○	○	○		
498				ホンヤドカリ科	ユミナリヤドカリ		○				
499					ユビワヒメホンヤドカリ	○	○	○	○		
500					*Pagurixus haigae*		○		○		

表-2.5.2.3(8)　インベントリー調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季		
501	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ホンヤドカリ科	*Pagurixus maorus*		○				
502					*Pagurixus patiae*				○		
503					ユビナガホンヤドカリ	○	○				
504				カイカムリ科	ミゾカイカムリ				○		
505				カラッパ科	ソデカラッパ	○	○	○	○		
506				キンセンガニ科	コモンガニ	○	○	○			
507					ゴウシュウコモンガニ			○			
508					キンセンガニ		○	○			
509				メガネオウギガニ科	メガネオウギガニ		○				
510				ヘイケガニ科	サメハダヘイケガニ	○					
511				イワオウギガニ科	ヒメイワオウギガニ	○	○	○	○		
512					イワオウギガニ		○	○	○		
513				イソオウギガニ科	シワセビロガニ		○				
514					カノコセビロガニ		○				
515					セビロオウギガニ	○	○	○	○		
516					キバオウギガニ	○	○	○			
517					イソオウギガニ	○	○	○	○		
518				ヤワラガニ科	ツノダシヤワラガニ		○				
519				コブシガニ科	シワカルイシコブシ			○			
520					ニシヒラトゲコブシ		○			●	●
521					スエヒロトゲコブシ			○			
522					アマミマメコブシガニ	○	○	○		●	●
523					クルミコブシ	○					
524					ヒラテコブシガニ		○				
525					ツノナガコブシ			○			
526					フタメコブシ		○				
527					イリオモテマメコブシガニ	○	○	○	○	●	●
528					ミナミコブシモドキ		○	○	○		
529				モガニ科	クダメツノガニ		○				
530					コノハガニ	○					
531					イッカクガニ		○	○	○		
532					イソクズガニ	○	○				
533				クモガニ科	ムツハマメツブガニ		○		○		
534				ケアシガニ科	コワタクズガニ		○				
535					ヒラワタクズガニ		○	○	○		
536				イトアシガニ科	テナガイトアシガニ	○					
537				ヒシガニ科	オキナヒシガニ	○					
538					サンカクヒシガニ	○					
539					カルイシガニ			○			
540				ケブカガニ科	ミナミカルマンガニ				○		
541					マルミトラノオガニ		○	○			
542					ウキボリタコガニ				○		
543					メイロケブカガニ			○			
544					ミナミトラノオガニ	○	○				
545					トラノオガニ		○				
546					トラノオガニダマシ	○	○		○		
547					*Pilumnus turgidulus*		○				
548					*Pilumnus turgidulus*類似種	○			○		
549					ケブカガニ		○	○	○		
550				ワタリガニ科	アミメノコギリガザミ	○	○		○		
551					サメハダヒメガザミ	○	○	○	○		
552					アミメヒメガザミ		○	○			
553					タイワンガザミ	○	○	○	○		
554					ケブカガザミ			○			
555					ジャノメガザミ		○	○			
556					ツノナシイボガザミ	○	○	○	○	●	●
557					ツノヒメガザミ		○	○	○		
558					テナガヒメガザミ				○		
559					オオメテナガヒメガザミ				○		
560					マルハテナガヒメガザミ	○		○			
561					シマイシガニ	○					
562					フタハベニツケモドキ	○	○	○	○		
563					チャブタルベニツケガニ		○	○			
564					ヒメフタハベニツケガニ	○	○	○	○		
565					フタハベニツケガニ			○	○		
566					ミナミベニツケガニ	○	○	○	○		
567					ミナミベニツケモドキ	○	○	○	○		
568					ミスジベニツケガニ			○			
569				ヒメイソオウギガニ科	ヒメイソオウギガニ		○				
570				ヒメサンゴガニ科	ヒメサンゴガニ		○				
571				サンゴガニ科	オオアカホシサンゴガニ	○					
572				オウギガニ科	ビロードアワツブガニ		○		○		
573					ケフサテナガオウギガニ	○	○				
574					クロテナガオウギガニ		○				
575					ヒヅメオウギガニ	○	○				
576					アワハダキモガニ		○				
577					ヒメヒヅメガニモドキ	○	○	○	○		
578					デマンヒヅメガニ		○				
579					ヒメヒヅメガニ	○	○	○	○		
580					ヒヅメガニ		○				
581					シワゴイシガニ	○			○		
582					オウギガニ	○	○	○	○		
583					コオウギガニ	○	○	○	○		
584					ダーナオウギガニ	○	○	○	○		
585					ムツハオウギガニ	○	○	○	○		
586					ヤエヤマトゲオウギガニ		○				
587					ヒメベニオウギガニ	○		○			
588					*Lumiella scabricula*		○		○		
589					ハバヒロシンオウギガニ		○				
590					ゴイシガニ			○			
591					ミサキゴイシガニ			○	○		
592					ココスゴイシガニ		○		○		
593					*Palapedia serenei*	○					
594					ヒメオウギガニ		○				
595					ツブトゲオウギガニ		○				
596					トゲオウギガニ	○	○	○			
597					エリアシアワツブガニ	○	○				
598					ラマルクヒメオウギガニ		○				
599				オカガニ科	ミナミオカガニ		○				
600					ヤエヤマヒメオカガニ	○	○	○	○		●

表-2.5.2.3(9)　インベントリー調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度 春季	夏季	秋季	冬季	重要な種	移動対象種
601	節足動物門	軟甲綱	エビ目	イワガニ科	オオカクレイワガニ	○	○	○	○		
602					ミナミイワガニ	○	○	○	○		
603					オオイワガニ		○				
604					ヒルギハシリイワガニ		○	○			
605					ハシリイワガニモドキ	○	○	○	○		
606					ヒメイワガニ	○	○	○	○		
607					イダテンイワガニ	○	○	○			
608					コイソガニ	○	○	○			
609					オキナガレガニ		○				
610				ショウジンガニ科	ツブイボショウジンガニ		○				
611				ベンケイガニ科	フジテガニ	○	○	○	○	●	●
612					キノボリベンケイガニ			○			
613					イワトビベンケイガニ	○	○	○	○	●	●
614					ヒメベンケイガニ		○	○	○		
615					ケブカベンケイガニ	○	○				
616					ベンケイガニ	○				●	●
617					フタバカクガニ	○	○	○	○		
618					カクベンケイガニ	○	○	○	○		
619					ユビアカベンケイガニ	○	○	○	○	●	●
620				モクズガニ科	ヒライソガニ	○	○	○	○		
621					オキナワヒライソガニ	○	○	○	○	●	●
622					リュウキュウアシハラガニ	○	○		○		
623					ヒメイワガニモドキ	○	○	○	○		
624					コウナガイワガニモドキ		○	○	○		●
625					ミナミアシハラガニ	○	○	○		●	●
626					アゴヒロカワガニ		○		○	●	●
627					ケフサヒライソモドキ	○	○	○	○		
628					ヒメヒライソモドキ	○	○	○	○	●	●
629					タイワンヒライソモドキ	○	○	○	○	●	●
630					マルミカワガニ		○		○		
631					ヨツハヒライソモドキ		○	○		●	●
632					ヒライソモドキ属D		○	○			
633					レンゲガニ	○	○		○	●	●
634					ミナミヒライソモドキ	○	○	○	○	●	●
635					ヒラモクズガニ	○	○	○			●
636				ムツハアリアケガニ科	カワスナガニ	○	○	○	○	●	●
637				コメツキガニ科	ミナミチゴガニ		○				
638					リュウキュウコメツキガニ	○	○	○	○		
639					ツノメチゴガニ	○	○	○	○		
640				オサガニ科	オモナガドロガニ	○			○		
641					ヒメカクオサガニ	○	○	○	○	●	●
642					チゴイワガニ	○	○		○		●
643					ヒメヤマトオサガニ		○			●	●
644					ミナミオサガニ			○			
645					フタハオサガニ	○	○	○	○		
646					ミナミメナガオサガニ	○	○	○	○		
647					イリオモテメナガオサガニ				○		
648					メナガオサガニ		○			●	●
649				ミナミコメツキガニ科	ミナミコメツキガニ	○	○	○	○		
650				スナガニ科	ツノメガニ	○	○	○	○		
651					ミナミスナガニ			○			
652					ナンヨウスナガニ	○	○	○	○		
653					オキナワハクセンシオマネキ	○	○	○			
654					ミナミヒメシオマネキ		○	○			
655					ルリマダラシオマネキ	○	○	○	○		●
656					ヒメシオマネキ	○	○	○	○		
657					ヤエヤマシオマネキ		○				
658				カクレガニ科	クロピンノ	○		○	○		
659	棘皮動物門	ヒトデ綱	アカヒトデ目	コブヒトデ科	コブヒトデ				○		
660				ホウキボシ科	ジュズベリヒトデ			○			
661			ルソンヒトデ目	ルソンヒトデ科	ルソンヒトデ	○	○		○		
662		クモヒトデ綱	クモヒトデ目	トゲクモヒトデ科	ウデナガクモヒトデ		○	○			
663				フサクモヒトデ科	ゴマフクモヒトデ	○					
664					オニクモヒトデ		○				
665					オハグロクモヒトデ	○					
666		ウニ綱	オウサマウニ目	オウサマウニ科	マツカサウニ			○			
667			ガンガゼ目	ガンガゼ科	アオスジガンガゼ			○	○		
668					トックリガンガゼモドキ			○	○		
669			カマロドント目	ナガウニ科	ホンナガウニ	○	○	○	○		
670					ツマジロナガウニ	○	○	○	○		
671					ミナミタワシウニ	○	○	○	○		
672			タコノマクラ目	タコノマクラ科	ヒメタコノマクラ		○				
673				カシパン科	ミナミヨツアナカシパン	○	○	○	○		
674					マメヨツアナカシパン	○	○	○	○		
675				スカシカシパン科	フタツアナスカシカシパン			○			
676			ブンブク目	ホンブンブク科	オニヒメブンブク	○					
677				ヒラタブンブク科	ヒラタブンブク	○	○		○		
678				ヘンゲブンブク科	ウリザネブンブク			○			
679		ナマコ綱	楯手目	クロナマコ科	トゲクリイロナマコ				○		
680					クリイロナマコ	○					
681					クロナマコ	○	○		○		
682					モグラクロナマコ		○		○		
683					イシナマコ				○		
684			無足目	イカリナマコ科	トゲオオイカリナマコ			○			
685				クルマナマコ科	ムラサキクルマナマコ	○	○	○	○		
686	脊索動物門	ホヤ綱	マメボヤ目	ウスボヤ科	チャツボボヤ	○	○	○	○		
687				ヘンゲボヤ科	ワモンツツボヤ			○			
688					ミドリカイメンボヤ			○			
689				ナツメボヤ科	ナツメボヤ				○		
690			マボヤ目	シロボヤ科	ミナミクロボヤ	○	○		○		
691				マボヤ科	ミナミカラスボヤ	○	○	○	○		
				出現種類数		382	461	375	401	104	119

(2) 底生動物調査（定量的調査）

1) 調査結果の概要

調査結果の概要を表-2.5.2.4に示します。

各調査時期における出現種類数は65～90種類、平均出現種類数は20～32種類、平均個体数は41～85個体/0.1m^2、平均湿重量は0.84～13.26g/0.1m^{2}でした。

主な出現種は、*Pista*属、*Eunice*属などでした。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-2.5.2.2　底生動物調査の調査地点

表-2.5.2.4　底生動物調査　結果概要

調査年度		令和7年度			
項目＼調査時期		春季 令和7年5月15、16日	夏季 令和7年9月4、5日	秋季 令和7年10月22、23日	冬季 令和8年1月28、29日
調査地点数		4	4	4	4
出現種類数		84	76	65	90
平均出現種類数		29 (21 ～ 39)	28 (22 ～ 37)	20 (10 ～ 27)	32 (24 ～ 51)
平均個体数 (個体/0.1㎡)		85 (54 ～ 134)	53 (27 ～ 79)	41 (12 ～ 87)	80 (49 ～ 160)
平均湿重量 (g/0.1㎡)		6.19 (0.08 ～ 21.13)	0.84 (0.11 ～ 1.32)	2.41 (0.16 ～ 6.98)	13.26 (0.74 ～ 28.39)
個体数組成比 (%)	軟体動物門	11.5	13.8	13.4	17.8
	環形動物門	53.6	52.4	67.1	40.8
	節足動物門	24.0	21.4	11.6	27.7
	その他	10.9	12.4	7.9	13.7
主な出現種の平均個体数 (個体/0.1㎡) (　) 内は組成比%		*Pista*属 14 (16.3) *Eunice*属 13 (14.8) Corophiinae 5 (5.6)	*Pista*属 4 (7.6) *Eunice*属 4 (7.1) ヒヅメガニ属 3 (5.2)	*Ceratonereis*属 7 (16.5) *Armandia*属 3 (7.9) *Pista*属 3 (7.9) シリス亜科 2 (5.5)	線形動物門 5 (5.6) *Eunice*属 4 (5.3)

注）1. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示します。
2. 個体数組成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とはならない場合があります。
3. 主な出現種には、平均個体数の組成比で5%以上の上位5種を示します。

2) 出現種

総出現種リストを表-2.5.2.5に示します。

出現したマクロベントスは、種まで同定されなかったものも含めて189種類が記録され、このうち軟体動物門(63種類)及び環形動物門(63種類)が最も多く、次いで節足動物門（48種類）が多くみられました。

表-2.5.2.5(1)　底生動物調査　総出現種リスト

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季		
1	海綿動物門	普通海綿綱	-	-	普通海綿綱			○			
2	刺胞動物門	花虫綱	ハナギンチャク目	ハナギンチャク科	ハナギンチャク科			○			
3			イソギンチャク目	-	イソギンチャク目	○	○	○	○		
4	扁形動物門	渦虫綱	ヒラムシ目	-	ヒラムシ目	○	○	○	○		
5	紐形動物門	-	-	-	紐形動物門	○	○	○	○		
6	線形動物門	-	-	-	線形動物門	○	○		○		
7	軟体動物門	多板綱	サメハダヒザラガイ目	サメハダヒザラガイ科	シリブトヒザラガイ	○	○		○		
8					サメハダヒザラガイ科	○					
9			クサズリガイ目	ウスヒザラガイ科	ウスヒザラガイ科		○		○		
10				カブトヒザラガイ科	ハナヤカカブトヒザラガイ	○					
11				クサズリガイ科	クサズリガイ科				○		
12				ケハダヒザラガイ科	ケハダヒザラガイ科	○	○				
13		腹足綱	カサガイ目	ユキノカサガイ科	ユキノカサガイ科	○	○				
14			古腹足目	ニシキウズ科	ヒメアワビ	○			○		
15					アシヤガマ				○		
16					ニシキウズ科			○			
17				スカシガイ科	スソキレガイ		○				
18					コウシスソキレ				○		
19					ヒラスカシガイ	○					
20			新生腹足目	スナモチツボ科	スナモチツボ	○					
21					サナギモツボ			○		●	●
22				チグサカニモリ科	ヒメチグサカニモリ	○					
23				タマガイ科	タマガイ科	○					
24				フトコロガイ科	ノミニナ属				○		
25				ムシロガイ科	アワムシロ		○				
26				イトマキボラ科	ベニマキガイ			○			
27				ミノムシガイ科	イトカケツクシ	○					
28					ハマヅト	○			○		
29				イモガイ科	クロザメモドキ				○		
30				タケノコガイ科	ムシロタケ			○			
31					タケノコガイ	○			○		
32			裸側目	ー	裸側目	○					
33			真後鰓目	スイフガイ科	スイフガイ科			○			
34				キセワタガイ科	キセワタガイ科				○		
35				カノコキセワタガイ科	カノコキセワタガイ科	○					
36				ウミコチョウ科	ウミコチョウ科				○		
37				ブドウガイ科	カイコガイ	○					
38					ナンキンタマガイ	○					
39					ブドウガイ科	○	○		○		
40			汎有肺目	ゴクラクミドリガイ科	ゴクラクミドリガイ科				○		
41				トウガタガイ科	トウガタガイ科				○		
42		掘足綱	ツノガイ目	ゾウゲツノガイ科	リュウキュウツノガイ				○		
43				サケツノガイ科	サケツノガイ	○		○	○		
44		二枚貝綱	フネガイ目	タマキガイ科	ソメワケグリ			○			●
45			イガイ目	イガイ科	ヒバリガイ属			○			
46					タマエガイ属		○		○		
47			ミノガイ目	ミノガイ科	ユキミノ属	○					
48			マルスダレガイ目	ツキガイ科	コボレウメノハナ		○				
49				ウロコガイ科	ウロコガイ科			○			
50				ザルガイ科	リュウキュウザル				○		
51					カワラガイ			○		●	●
52					オキナワヒシガイ				○	●	●
53					キヌヒシガイ		○				
54					マダラチゴトリガイ			○			
55					ボタンガイ	○					
56					ザルガイ科		○				
57				マルスダレガイ科	カノコアサリ			○			
58					チリメンカノコアサリ		○				●
59					*Tapes*属				○		
60					マルスダレガイ科	○	○	○			
61				ニッコウガイ科	ヒノデガイの一種		○		○	●	●
62					コニッコウガイ			○			●
63					ナミノコザラ			○	○		
64					ミガキヒメザラ	○					●
65					ミクニシボリザクラ	○		○	○	●	●
66					ニッコウガイ科			○			
67				アサジガイ科	アサジガイ科	○					
68				バカガイ科	リュウキュウバカガイ	○					
69				チドリマスオ科	ハマチドリ	○		○			
70	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	コガネウロコムシ科	*Aphrodita*属		○				
71				ノラリウロコムシ科	*Euthalenessa*属	○			○		
72					*Sthenelanella*属	○					
73					ノラリウロコムシ科		○	○	○		
74				サシバゴカイ科	*Phyllodoce*属	○			○		
75					サシバゴカイ科	○	○		○		
76				チロリ科	*Glycera*属	○			○		
77				ニカイチロリ科	*Glycinde*属			○			
78					*Goniada*属		○				
79				オトヒメゴカイ科	オトヒメゴカイ科	○		○	○		
80				カギゴカイ科	イッカクカギゴカイ	○					
81				シリス科	シリス亜科	○	○	○	○		
82					シリス科	○					
83				ゴカイ科	*Ceratonereis*属		○	○	○		
84					ヒメゴカイ				○		
85					*Platynereis*属		○				
86					ゴカイ科			○	○		
87				シロガネゴカイ科	*Micronephthys*属				○		
88					ミナミシロガネゴカイ	○	○	○	○		
89					*Nephtys*属		○				
90			ウミケムシ目	ウミケムシ科	ハナオレウミケムシ属	○					
91					*Linopherus*属	○	○		○		
92					*Pareurythoe*属			○			
93			イソメ目	ナナテイソメ科	*Diopatra*属		○				
94				イソメ科	*Eunice*属	○	○	○	○		
95					*Lysidice*属			○			
96					*Nematonereis*属	○	○		○		
97				ギボシイソメ科	*Lumbrinerides*属	○		○	○		
98				ノリコイソメ科	*Protodorvillea*属	○					
99					*Schistomeringos*属		○				
100			ホコサキゴカイ目	ホコサキゴカイ科	*Scoloplos*属			○			

表-2.5.2.5(2)　底生動物調査　総出現種リスト

No.	門	綱	目	科	和名	令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季		
101	環形動物門	ゴカイ綱	ホコサキゴカイ目	ヒメエラゴカイ科	コンボウヒメエラゴカイ		○	○			
102					ヒメエラゴカイ科	○			○		
103			スピオ目	スピオ科	ケンサキスピオ		○	○	○		
104					*Malacoceros*属	○			○		
105					ソデナガスピオ	○		○	○		
106					マクスピオ			○			
107					*Pseudopolydora*属			○	○		
108					*Rhynchospio*属	○					
109					*Scolelepis*属		○	○	○		
110					*Spio*属		○	○	○		
111					*Spiophanes*属		○				
112				ツバサゴカイ科	*Spiochaetopterus*属				○		
113					ツバサゴカイ科	○					
114				ミズヒキゴカイ科	*Aphelochaeta*属	○	○				
115					*Caulleriella*属		○	○	○		
116					*Cirriformia*属		○		○		
117					ミズヒキゴカイ科		○				
118			イトゴカイ目	イトゴカイ科	*Leiochrides*属		○	○			
119					*Mediomastus*属	○					
120					*Notomastus*属	○	○		○		
121					イトゴカイ科				○		
122				タケフシゴカイ科	タケフシゴカイ科	○	○	○	○		
123			オフェリアゴカイ目	オフェリアゴカイ科	*Armandia*属	○	○	○	○		
124					*Polyophthalmus*属		○				
125			チマキゴカイ目	チマキゴカイ科	*Myriochele*属	○	○	○	○		
126			フサゴカイ目	フサゴカイ科	*Lysilla*属	○	○				
127					*Pista*属	○	○	○	○		
128					フサゴカイ科			○	○		
129			ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	コクビワケヤリムシ属		○	○	○		
130					オオメケヤリムシ属		○				
131					ケヤリムシ科		○	○	○		
132		ミミズ綱	-	-	ミミズ綱	○					
133	星口動物門	スジホシムシ綱	フクロホシムシ目	マキガイホシムシ科	マキガイホシムシ科			○			
134		-	-	-	星口動物門	○	○				
135	節足動物門	カイムシ綱	ウミホタル目	-	ウミホタル目			○			
136		軟甲綱	シャコ目	フトユビシャコ科	フトユビシャコ科		○				
137				ウニシャコ科	ミツヤマトジオシャコ				○		
138			ヨコエビ目	スガメソコエビ科	ニッポンスガメ				○		
139				ヒゲナガヨコエビ科	ヒゲナガヨコエビ属				○		
140				ユンボソコエビ科	*Lembos*属				○		
141					ユンボソコエビ科				○		
142				ドロクダムシ科	Corophiinae	○	○		○		
143				イシクヨコエビ科	ソコエビ属	○					
144				カマキリヨコエビ科	ホソヨコエビ属	○					
145				マルハサミヨコエビ科	マルハサミヨコエビ属	○					
146				スンナリヨコエビ科	スンナリヨコエビ属	○					
147				メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ属	○					
148				クチバシソコエビ科	サンパクソコエビ属	○					
149				ヒサシソコエビ科	ヒサシソコエビ科	○		○			
150				フクスケヨコエビ科	フクスケヨコエビ属	○					
151				マルソコエビ科	マルソコエビ属	○	○	○	○		
152				-	ヨコエビ亜目				○		
153			ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科			○			
154				ウミナナフシ科	ウミナナフシ科	○	○				
155				スナホリムシ科	ナギサスナホリムシ属			○	○		
156				ウミクワガタ科	ウミクワガタ科	○					
157				コツブムシ科	オナガコツブムシ	○					
158					シリケンウミセミ属				○		
159			タナイス目	ホソツメタナイス科	ホソツメタナイス科	○	○		○		
160			クーマ目	ナギサクーマ科	ナギサクーマ科			○			
161			エビ目	オキエビ科	マルソコシラエビ		○				
162				テッポウエビ科	オトヒメテッポウエビ				○		
163					テッポウエビ属		○	○			
164				モエビ科	モエビ科	○	○				
165				ツノメエビ科	ツノメエビ			○			
166				ロウソクエビ科	*Processa*属		○		○		
167				コシオリエビ科	コシオリエビ属	○	○		○		
168				ヤドカリ科	ツノヤドカリ属		○				
169					ヤドカリ科		○				
170				ホンヤドカリ科	ホンヤドカリ科	○	○	○	○		
171				モガニ科	イッカクガニ	○			○		
172					ツノダシコノハガニ属				○		
173				ケブカガニ科	ケブカガニ科			○	○		
174				ワタリガニ科	*Xiphonectes*属				○		
175					フタハベニツケモドキ				○		
176					ヒメフタハベニツケガニ		○				
177				オウギガニ科	テナガオウギガニ属		○	○			
178					ヒメヒゾメガニ		○				
179					ヒゾメガニ属		○	○	○		
180					オウギガニ科	○			○		
181				オサガニ科	メナガオサガニ		○			●	●
182					オサガニ属		○		○		
183	苔虫動物門	裸喉綱	唇口目	トゲコケムシ科	トゲコケムシ科	○					
184	棘皮動物門	クモヒトデ綱	-	-	クモヒトデ綱	○	○	○	○		
185		ウニ綱	カマロドント目	サンショウウニ科	サンショウウニ科		○		○		
186			タコノマクラ目	マメウニ科	マメウニ科				○		
187	脊索動物門	ホヤ綱	マメボヤ目	ウスボヤ科	ウスボヤ科		○		○		
188			マボヤ目	フクロボヤ科	フクロボヤ科	○					
189		ナメクジウオ綱	ナメクジウオ目	ナメクジウオ科	オナガナメクジウオ		○				
出現種類数						84	76	65	90	6	10

(3) 潮間帯生物調査（定量的調査）

1) 調査結果の概要

目視観察における地形・底質の状況と主な出現種の出現状況を図-2.5.2.4 に、刈り取り、堆積物採取の調査結果の概要を表-2.5.2.6 に示します。

底生動物の移動先近傍である L-潮 4 は大浦湾西側に位置し、調査測線は陸側に急傾斜の岩盤があり、それ以降は巨礫からなる比較的平坦な地形でした。

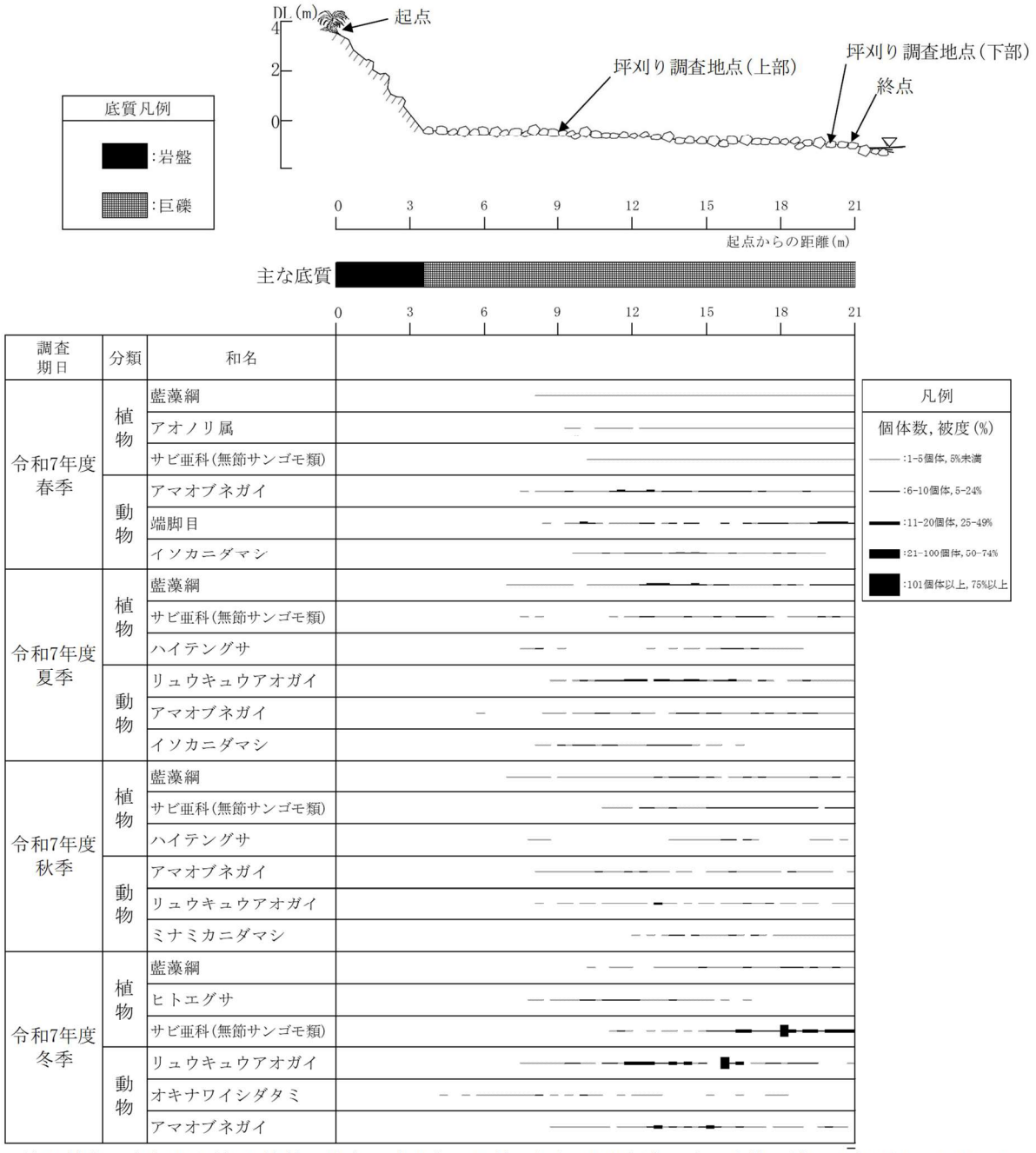
目視観察では、令和 7 年度春季から冬季にかけて、急斜面の岩盤の部分には生物はほとんどみられず、平坦な地形の部分には、植物では藍藻綱やサビ亜科（無節サンゴモ類）などが、動物ではアマオブネガイやリュウキュウアオガイなどがみられました。

刈り取り、堆積物採取調査では、出現種類数においては、植物は 4～19 種類、動物は 16～40 種類でした。平均出現種類数においては、植物は 3～10 種類、動物は 9～24 種類でした。平均湿重量においては、植物は 0.02～4.30g/0.09m^2、動物は 14.60～72.79g/0.09m^2 でした。平均個体数においては、動物は 29～159 個体/0.09 m^2 でした。

主な出現種としては、植物ではヒトエグサ、ハイテングサなどが、動物ではアマオブネガイ、リュウキュウアオガイなどがみられました。

※重要な種の保護の観点か
表示していません。

図-2.5.2.3　潮間帯生物調査の調査地点



注)1.植物の主な出現種は、複数の地点で確認された種のうち、出現頻度の高い上位3種を選定し図示しました。なお、重複種が出た場合は、出現被度の高い種を選定しました。

2.動物の主な出現種は、出現頻度の高い上位3種を選定し図示しました。なお、重複種が出た場合は、出現個体数の多い種を選定しました。

3.植物は被度で、動物は個体数で示しました。

図-2.5.2.4　潮間帯生物調査　目視観察　地形・底質の状況と主な出現種の出現状況

(L-潮4)

表-2.5.2.6　潮間帯生物調査　刈り取り、堆積物採取　結果概要

調査年度		令和7年度			
項目 ＼ 調査時期		春季 令和7年4月14日	夏季 令和7年8月21日	秋季 令和7年10月21日	冬季 令和8年2月19日
植物	出現種類数	18	12	4	19
	平均出現種類数	10 (6 ～ 14)	7 (2 ～ 11)	3 (2 ～ 3)	10 (2 ～ 18)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	4.30 (1.68 ～ 6.91)	0.14 (0.13 ～ 0.15)	0.02 (0.00 ～ 0.04)	0.98 (0.40 ～ 1.53)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) ( ) 内は 組成比%	ヒトエグサ 3.44 (80.0) ソゾ属 0.68 (15.8)	ユレモ目 0.07 (46.4) ハイテングサ 0.03 (21.4) ソゾ属 0.02 (14.3) ヒゲモ属 0.02 (10.7) イソダンツウ 0.01 (7.1)	ハイテングサ 0.03 (75.0) ユレモ目 0.01 (25.0)	ヒトエグサ 0.77 (78.5) セイヨウハバノリ 0.20 (20.5)
動物	出現種類数	33	40	19	16
	平均出現種類数	19 (12 ～ 25)	24 (13 ～ 35)	11 (9 ～ 13)	9 (6 ～ 11)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	159 (42 ～ 275)	124 (57 ～ 191)	29 (23 ～ 35)	53 (21 ～ 84)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	28.07 (23.75 ～ 32.38)	72.79 (48.29 ～ 97.28)	16.88 (14.70 ～ 19.05)	14.60 (8.25 ～ 20.95)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) ( ) 内は 組成比%	ミナミタテホシムシ 50 (31.5) *Nereis*属 39 (24.3) コウダカカラマツ属 11 (6.9) イソギンチャク目 10 (6.3) アマオブネガイ 8 (5.0)	リトウイワフジツボ 23 (18.1) アマオブネガイ 16 (12.5) リュウキュウアオガイ 12 (9.3) ミナミカニダマシ 11 (8.5) ミナミタテホシムシ 7 (5.2)	ミナミカニダマシ 6 (20.7) アマオブネガイ 4 (13.8) リュウキュウアオガイ 4 (12.1) オキナワイシダタミ 2 (6.9) ウスヒザラガイ科 2 (5.2) リトウイワフジツボ 2 (5.2) ヒメイワガニ 2 (5.2)	コウダカカラマツ属 22 (41.0) リュウキュウアオガイ 11 (20.0) オニノツノガイ科 4 (6.7) ヒメアサリ 3 (5.7)

注）1. 表中の平均は、測線に設けた2枠の平均値を示します。また、平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示します。

2. 主な出現種には、植物は平均湿重量、動物は平均個体数の組成比で5%以上の上位5種を示します。

2）出現種

目視観察及び刈り取り、堆積物採取における潮間帯生物の出現種リストを表-2.5.2.7に示します。

種まで同定されなかったものも含めて、植物は42種類が記録され、このうち紅色植物門（17種類）が最も多くみられました。動物は162種類が記録され、軟体動物門（88種類）が最も多く、次いで節足動物門（55種類）が多くみられました。

表-2.5.2.7(1)　潮間帯生物調査　総出現種リスト（植物）

No.	門	綱	目	科	和名	坪刈り、堆積物採取 令和7年度				目視観察 令和7年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
1	藍色植物門	藍藻綱	ネンジュモ目	ヒゲモ科	イワソメアイモ	○	○								
2					ヒゲモ属	○	○			○					
3					ヒゲモ科		○		○						
4			ユレモ目	ユレモ科	ユレモ科					○	○	○	○		
5				スチゴネマ科	アイミドリ	○				○					
6				-	ユレモ目	○	○	○	○						
7			-	-	藍藻綱	○				○	○	○	○		
8	紅色植物門	紅藻綱	ウミゾウメン目	ウミゾウメン科	ヌルハダ属								○		
9			サンゴモ目	ハパリデウム科	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○	○	○	○	○	○	○	○		
10			テングサ目	テングサ科	ヒメテングサ				○						
11					ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○		
12					テングサ科								○		
13			ベニマダラ目	ベニマダラ科	ベニマダラ		○		○	○			○		
14			スギノリ目	イソモッカ科	イソダンツウ	○	○			○		○	○		
15				スギノリ科	カイノリ	○									
16				イバラノリ科	イバラノリ属				○				○		
17				イワノカワ科	イワノカワ科				○	○		○	○		
18			イギス目	イギス科	トゲイギス	○			○						
19					ウブゲグサ	○									
20				コノハノリ科	ヒメズタ	○									
21				フジマツモ科	クモノスヒメゴケ	○									
22					ヒメゴケ属				○						
23					ソゾ属	○	○								
24					フジマツモ科	○	○		○	○	○	○	○		
25	不等毛植物門	褐藻綱	イソガワラ目	イソガワラ科	イソガワラ科				○		○	○	○		
26			クロガシラ目	クロガシラ科	クロガシラ属				○	○					
27			アミジグサ目	アミジグサ科	ハイオオギ					○	○		○		
28					ウミウチワ属				○		○	○	○		
29			カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ					○			○		
30					セイヨウハバノリ				○						
31					セイヨウハバノリ属					○			○		
32	緑色植物門	緑藻綱	アオサ目	ヒトエグサ科	ヒトエグサ	○			○	○			○		
33				アオサ科	アオノリ属	○	○	○		○		○	○		
34					アオサ属				○	○	○				
35			シオグサ目	シオグサ科	タマジュズモ					○					
36					ジュズモ属				○						
37					シオグサ属	○	○		○						
38					オオネダシグサ					○				●	
39			ミドリゲ目	バロニア科	キッコウグサ								○		
40					ムクキッコウグサ					○					
41			ハネモ目	ハネモ科	ハネモ属								○		
42			カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ								○		
出現種類数						18	12	4	19	20	9	10	21	1	0

表-2.5.2.7(2)　潮間帯生物調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	坪刈り、堆積物採取 令和1年度				目視観察 令和1年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
1	海綿動物門	普通海綿綱	–	–	普通海綿綱					○	○				
2	刺胞動物門	花虫綱	イソギンチャク目	ウメボシイソギンチャク科	ヨロイイソギンチャク属							○	○		
3				–	イソギンチャク目	○	○			○	○	○			
4	扁形動物門	渦虫綱	ヒラムシ目	–	ヒラムシ目				○				○		
5	紐形動物門	–	–	–	紐形動物門					○					
6	軟体動物門	多板綱	クサズリガイ目	ウスヒザラガイ科	ウスヒザラガイ科			○	○	○	○	○	○		
7				クサズリガイ科	リュウキュウヒザラガイ						○				
8				ケハダヒザラガイ科	ヒメケハダヒザラガイ		○							●	●
9		腹足綱	カサガイ目	ヨメガカサ科	ヨメガカサ					○	○	○	○		
10					オオベッコウガサ					○					
11				ユキノカサガイ科	リュウキュウウノアシ					○	○	○	○		
12					リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○		
13					ヒメコザラ							○			
14					タイワンシボリガイ					○	○	○	○		
15					ウノアシ属	○		○							
16					コガモガサ						○	○	○		
17					クサイロアオガイ					○	○	○			
18			古腹足目	ニシキウズ科	クルマチグサ					○	○	○			
19					オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○		
20					ハナダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○		
21					ヒメアワビ					○	○	○	○		
22				スカシガイ科	スソカケガイ		○				○				
23			アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	イシダタミアマオブネ						○	○	○		
24					ヒメイシダタミアマオブネ						○				
25					コシダカアマガイ					○	○	○	○		
26					キバアマガイ					○	○				
27					マルアマオブネ	○				○	○	○	○		
28					クチベニアマオブネ							○			
29					オオアマガイ						○	○			●
30					アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○		
31					マキミゾアマオブネ						○		○		
32					ニシキアマオブネ	○					○	○	○		
33					ヌリツヤアマガイ					○	○	○			
34					ウコンアマガイ						○	○	○		
35			新生腹足目	オニノツノガイ科	ヒメクワノミカニモリ							○	○		
36					カヤノミカニモリ					○	○		○	●	●
37					ウミニナカニモリ						○		○		
38					クワノミカニモリ							○	○		
39					オオシマカニモリ							○	○		
40					オオシマチグサカニモリ						○				
41					オニノツノガイ科				○						
42				ゴマフニナ科	ゴマフニナ	○		○		○	○	○	○		
43					ヨコスジタマキビモドキ					○			○		
44					ケハダヨコスジニナ					○		○			
45				タマキビ科	コビトウラウズガイ								○		
46					ホソスジウズラタマキビ						○	○	○		
47					コウダカタマキビ							○			
48					タイワンタマキビ							○			
49					イボタマキビ					○	○	○	○		
50				クビキレガイ科	クビキレガイ								○		
51					クビキレガイ科					○					
52				ムカデガイ科	ムカデガイ科	○				○					
53				タカラガイ科	ナツメモドキ								○		
54				フトコロガイ科	ノミニナ						○		○		
55				エゾバイ科	ノシガイ					○	○	○	○		
56					ホラダマシ								○		
57					*Cantharus*属					○					
58					シマベッコウバイ	○	○		○	○	○	○	○		
59				アッキガイ科	ウネレイシダマシ					○					
60					レイシダマシ	○	○			○	○	○	○		
61					ウネシロレイシダマシ			○		○	○	○	○		
62				フデガイ科	ナガシマヤタテ						○		○		
63					ミダレシマヤタテ					○			○		
64					イモフデガイ						○				
65				イモガイ科	マダライモ		○			○			○		
66			裸側目	オオミノウミウシ科	イロミノウミウシ					○					
67			真後鰓目	ブドウガイ科	ブドウガイ科					○			○		
68				ミドリガイ科	タテジマミドリガイ								○		
69					ミドリガイ科	○	○								
70				アメフラシ科	ミドリアメフラシ					○					
71					ビワガタナメクジ					○					
72			汎有肺目	カラマツガイ科	コウダカカラマツガイ					○	○	○	○		
73					ヒラカラマツガイ								○		
74					コウダカカラマツ属	○	○	○	○	○	○	○	○		
75		二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	フネガイ								○		
76					フネガイ属		○								
77					エガイ		○			○		○	○		
78					カリガネエガイ	○				○	○	○	○		
79					ベニエガイ						○	○	○		
80			イガイ目	イガイ科	ヒバリガイモドキ	○	○								
81					タマエガイ属			○							
82					イシマテ			○							
83			ウグイスガイ目	ウグイスガイ科	ウグイスガイ科		○								
84				マクガイ科	ヘリトリアオリ					○	○	○	○		
85					シロアオリ	○	○					○	○		
86					カイシアオリ		○			○	○	○	○		
87				イタボガキ科	イタボガキ科					○	○	○	○		
88			マルスダレガイ目	フナガタガイ科	タガソデモドキ						○			●	●
89				マルスダレガイ科	ホソスジイナミガイ								○		
90					アサリ	○									
91					ヒメアサリ		○	○	○	○	○	○	○		
92					マツカゼガイ属	○	○								
93				イワホリガイ科	セミアサリ	○									
94	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	シリス科	シリス亜科	○	○								
95				ゴカイ科	*Nereis*属	○									
96					クマドリゴカイ		○								
97					スナイソゴカイ	○									
98					ゴカイ科		○		○						
99			ウミケムシ目	ウミケムシ科	ウミケムシ科						○				
100			イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科		○								

表-2.5.2.7(3)　潮間帯生物調査　総出現種リスト（動物）

No.	門	綱	目	科	和名	坪刈り、堆積物採取 令和/年度				目視観察 令和/年度				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
101	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱					○	○	○	○		
102	星口動物門	サメハダホシムシ綱	サメハダホシムシ目	サメハダホシムシ科	サメハダホシムシ科	○	○								
103				タテホシムシ科	ミナミタテホシムシ	○	○								
104		-	-	-	星口動物門		○						○		
105	節足動物門	アゴアシ綱	無柄目	イワフジツボ科	リトウイワフジツボ		○	○	○						
106					イワフジツボ科					○	○	○	○		
107				クロフジツボ科	ミナミクロフジツボ						○	○			
108				フジツボ科	シロスジフジツボ		○						○		
109		軟甲綱	ヨコエビ目	ヒゲナガヨコエビ科	ヒゲナガヨコエビ属	○									
110				ユンボソコエビ科	ドロソコエビ属	○									
111				モクズヨコエビ科	モクズヨコエビ科	○	○	○							
112				カマキリヨコエビ科	ホソヨコエビ属				○						
113				メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ科	○			○						
114				-	ヨコエビ目					○					
115			ワラジムシ目	コツブムシ科	ツツオウミセミ			○							
116					シリケンウミセミ属		○								
117					コツブムシ科					○					
118				フナムシ科	リュウキュウフナムシ						○				
119					フナムシ科					○		○	○		
120			タナイス目	ホソツメタナイス科	ホソツメタナイス科				○						
121			エビ目	テッポウエビ科	テッポウエビ科					○					
122				カニダマシ科	ミナミカニダマシ	○	○	○	○	○	○	○	○		
123					イソカニダマシ					○	○	○	○		
124					ケブカカニダマシ						○		○		
125					*Petrolisthes inermis*	○	○	○							
126				オカヤドカリ科	ムラサキオカヤドカリ					○				●	
127					ナキオカヤドカリ					○				●	
128					オカヤドカリ科								○		
129				ヤドカリ科	ツマジロサンゴヤドカリ						○				
130					ツマキヨコバサミ		○			○	○	○	○		
131					マダラヨコバサミ					○	○	○	○		
132					イソヨコバサミ							○	○		
133					ツノヤドカリ属					○					
134				ホンヤドカリ科	ヒメホンヤドカリ属						○				
135				イワオウギガニ科	イワオウギガニ						○				
136				イソオウギガニ科	セビロオウギガニ		○	○		○	○	○	○		
137					イソオウギガニ					○	○	○	○		
138				ケブカガニ科	トラノオガニダマシ						○	○			
139					ケブカガニ					○					
140					ケブカガニ科		○								
141				ワタリガニ科	フタハベニツケモドキ						○				
142					ヒメフタハベニツケガニ						○				
143					フタハベニツケガニ					○					
144					ワタリガニ科					○					
145				オウギガニ科	ヒヅメオウギガニ					○					
146					ヒメヒヅメガニ							○			
147					オウギガニ		○			○	○	○	○		
148					コオウギガニ							○			
149					ムツハオウギガニ	○	○						○		
150					オウギガニ科					○					
151				イワガニ科	ミナミイワガニ						○	○			
152					ヒメイワガニ		○	○		○	○	○	○		
153				ベンケイガニ科	カクベンケイガニ							○			
154				モクズガニ科	ヒライソガニ		○								
155					オキナワヒライソガニ					○	○		○	●	●
156					ヒメイワガニモドキ							○			
157					ケフサヒライソモドキ							○			
158					ミナミヒライソモドキ						○			●	●
159				オサガニ科	ヒメカクオサガニ	○								●	●
160	棘皮動物門	クモヒトデ綱	クモヒトデ目	フサクモヒトデ科	ウデフリクモヒトデ					○	○				
161		ナマコ綱	楯手目	クロナマコ科	テツイロナマコ						○				
162			無足目	クルマナマコ科	ムラサキクルマナマコ					○	○	○	○		
出現種類数						33	40	19	16	71	74	67	73	8	7

(4) 浮遊生物調査（定量的調査）

1) 調査結果の概要

調査結果の概要を表-2.5.2.8に示します。

各調査時期における出現種類数は、植物プランクトンは60～87種類、動物プランクトンは33～39種類、平均出現種類数は、植物プランクトンは37～50種類、動物プランクトンは 15～21 種類、植物プランクトンの平均細胞数は 7,045～122,233細胞/L、動物プランクトンの平均個体数は1,165～11,392個体/m^3でした。

主な出現種は、植物プランクトンでは *Heterocapsa* spp. 、 Gymnodiniales などが、動物プランクトンでは *Oithona* spp. (copepodite)、*Oithona dissimilis* などがみられました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-2.5.2.5　浮遊生物調査の調査地点

表-2.5.2.8　浮遊生物調査　結果概要

調査年度		令和7年度			
項目＼調査時期		春季 令和7年5月15、16日	夏季 令和7年9月4、5日	秋季 令和7年10月22、23日	冬季 令和8年1月28、29日
調査地点数		4	4	4	4
植物プランクトン	出現種類数	87	77	60	73
	平均出現種類数	50 (38 ～ 57)	45 (37 ～ 52)	37 (33 ～ 41)	41 (37 ～ 45)
	平均細胞数（細胞/L）	122,233 (3,720 ～ 461,060)	10,448 (4,270 ～ 15,110)	10,905 (5,200 ～ 16,610)	7,045 (4,920 ～ 7,980)
	主な出現種の平均細胞数 （細胞/L） （　）内は組成比%	*Thalassiosira* spp. 79,150 (64.8) Cryptophyceae 12,570 (10.3) *Heterocapsa* spp. 6,350 (5.2)	Gymnodiniales 2,825 (27.0) Peridiniales 2,248 (21.5) *Heterocapsa* spp. 1,215 (11.6)	Peridiniales 2,890 (26.5) Gymnodiniales 1,763 (16.2) *Heterocapsa* spp. 1,255 (11.5) unidentified flagellates 608 (5.6)	Gymnodiniales 1,073 (15.2) Prasinophyceae 953 (13.5) *Heterocapsa* spp. 885 (12.6) Cryptophyceae 868 (12.3) unidentified flagellates 745 (10.6)
動物プランクトン	出現種類数	34	33	39	39
	平均出現種類数	15 (6 ～ 21)	20 (16 ～ 24)	21 (15 ～ 28)	20 (15 ～ 28)
	平均個体数（個体/m³）	1,919 (229 ～ 5,940)	11,392 (4,221 ～ 21,777)	5,309 (644 ～ 11,997)	1,165 (879 ～ 1,436)
	主な出現種の平均個体数 （個体/m³） （　）内は組成比%	*Oithona dissimilis* 780 (40.6) *Oithona* spp. (copepodite) 501 (26.1) Gastropoda (larva) 150 (7.8) *Acartia* spp. (copepodite) 140 (7.3) Bivalvia (umbo larva) 108 (5.6)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,957 (34.7) *Oithona aruensis* 2,911 (25.6) Copepoda (nauplius) 1,211 (10.6) *Oithona dissimilis* 840 (7.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,391 (26.2) *Oithona aruensis* 962 (18.1) *Oithona simplex* 707 (13.3) *Acartia* spp. (copepodite) 309 (5.8) *Paracalanus crassirostris* 295 (5.6)	Copepoda (nauplius) 398 (34.1) *Oithona* spp. (copepodite) 172 (14.7) Gastropoda (larva) 83 (7.1)

注）1. 平均出現種類数及び平均細胞数には、調査地点平均（最小値～最大値）を示します。
　　2. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示します。

2）出現種

総出現種リストを表-2.5.2.9 に示します。

出現した植物プランクトンは、種まで同定されなかったものも含め、130 種類でした。このうち不等毛植物門（73 種類）が最も多く、次いで渦鞭毛植物門（39 種類）が多くみられました。

出現した動物プランクトンは、種まで同定されなかったものも含め、65 種類でした。節足動物門が 50 種類と総出現種の大半を占め、節足動物門の中では甲殻（橈脚）綱が 44 種類と大半を占めていました。

表-2.5.2.9(1)　浮遊生物調査　総出現種リスト（植物プランクトン）

No.	門	綱	目	科	学名	令和7年度			
						春季	夏季	秋季	冬季
1	藍色植物門	藍藻綱	ユレモ目	シュードアナベナ科	Pseudanabaenaceae		○		
2				ユレモ科	Oscillatoriaceae	○	○	○	○
3				ナガレクダモ科	*Phormidium* spp.			○	
4					*Spirulina* spp.	○	○	○	
5					*Trichodesmium erythraeum*	○			
6					*Trichodesmium* spp.	○	○	○	○
7			ネンジュモ目	ネンジュモ科	*Richelia intracellularis*	○			
8					Nostocaceae		○		
9				ヒゲモ科	Rivulariaceae		○	○	
10	クリプト植物門	クリプト藻綱	-	-	Cryptophyceae	○	○	○	○
11	渦鞭毛植物門	渦鞭毛藻綱	プロロケントルム目	プロロケントルム科	*Prorocentrum balticum*		○	○	○
12					*Prorocentrum dentatum*				○
13					*Prorocentrum gracile*	○			
14					*Prorocentrum mexicanum*	○	○	○	○
15					*Prorocentrum micans*		○	○	
16					*Prorocentrum minimum*	○	○	○	○
17					*Prorocentrum triestinum*	○	○	○	○
18					*Prorocentrum* spp.	○	○	○	
19			ギムノディニウム目	ギムノディニウム科	*Akashiwo sanguinea*	○	○	○	
20					*Amphidinium* spp.	○	○	○	○
21					*Gymnodinium* spp.	○	○	○	○
22					*Gyrodinium* spp.	○	○	○	○
23					*Karenia papilionacea*				○
24					*Karenia* sp.		○		
25					*Katodinium* spp.	○			○
26					*Torodinium* sp.	○	○		
27				ワルノヴィア科	*Nematodinium* sp.		○		
28					*Warnowia* spp.	○		○	○
29				-	Gymnodiniales	○	○	○	○
30			ノクティルカ目	ノクティルカ科	*Pronoctiluca spinifera*			○	
31			ゴニオラックス目	ケラチウム科	*Ceratium azoricum*	○			
32					*Ceratium candelabrum*	○			
33					*Ceratium furca*	○	○	○	
34					*Ceratium fusus*		○		
35					*Ceratium massiliense*	○			
36					*Ceratium teres*	○			○
37					*Ceratium tripos*	○			
38					*Ceratium* spp.	○		○	
39				ゴニオラックス科	*Alexandrium* spp.	○	○		
40					*Gonyaulax* spp.	○	○		
41				オストレオプシス科	*Ostreopsis* spp.	○		○	○
42				オキシトキサム科	*Oxytoxum* spp.	○	○	○	○
43			ペリディニウム目	カルキオディネラ科	*Scrippsiella* spp.	○	○		○
44				ペリディニウム科	*Heterocapsa triquetra*				○
45					*Heterocapsa* spp.	○	○	○	○
46					*Peridinium quinquecorne*	○	○		○
47				プロトペリディニウム科	*Protoperidinium bipes*	○	○	○	
48					*Protoperidinium* spp.	○	○	○	○
49				-	Peridiniales	○	○	○	○
50	不等毛植物門	黄金色藻綱	ペディネラ目	ペディネラ科	*Apedinella spinifera*				○
51		珪藻綱	円心目	タラシオシーラ科	*Skeletonema costatum* sensu lato	○	○	○	○
52					*Thalassiosira* spp.	○	○	○	○
53					Thalassiosiraceae	○	○	○	○
54				メロシーラ科	*Corethron criophilum*	○			
55					*Leptocylindrus danicus*	○	○		○
56					*Leptocylindrus mediterraneus*		○		
57					*Melosira nummuloides*		○		
58				コスキノディスクス科	*Coscinodiscus* spp.	○		○	
59					*Palmeria* sp.				○
60				ヘミディスクス科	*Actinocyclus* sp.			○	
61				リゾソレニア科	*Dactyliosolen* sp.	○			
62					*Rhizosolenia calcar avis*				○
63					*Rhizosolenia clevei* v. *clevei*	○			
64					*Rhizosolenia fragilissima*	○			
65					*Rhizosolenia imbricata*			○	○
66					*Rhizosolenia phuketensis*	○			○
67					*Rhizosolenia setigera*	○			
68				ビドゥルフィア科	*Cerataulina pelagica*		○		
69					*Eucampia cornuta*	○			○
70				キートケロス科	*Bacteriastrum comosum*				○

表-2.5.2.9(2)　浮遊生物調査　総出現種リスト（植物プランクトン）

No.	門	綱	目	科	学名	令和7年度			
						春季	夏季	秋季	冬季
71	不等毛植物門	珪藻綱	円心目	キートケロス科	*Bacteriastrum minus*				○
72					*Bacteriastrum* spp.	○			○
73					*Chaetoceros compressum*	○			
74					*Chaetoceros curvisetum*	○			
75					*Chaetoceros danicum*				○
76					*Chaetoceros lorenzianum*	○			○
77					*Chaetoceros peruvianum*	○			
78					*Chaetoceros subtile*			○	
79					*Chaetoceros* spp. (single type)	○			○
80					*Chaetoceros* spp. (large chain type)	○	○		○
81					*Chaetoceros* spp. (small chain type)	○	○	○	
82				リトデスミウム科	*Ditylum sol*				○
83					*Lithodesmium variabile*	○	○		
84					*Lithodesmium* sp.				○
85			羽状目	ディアトーマ科	*Bleakeleya notata*	○			○
86					*Climacosphenia moniligera*		○		○
87					*Cyclophora tenuis*	○	○	○	○
88					*Fragilaria* spp.		○	○	○
89					*Licmophora* spp.	○	○	○	○
90					*Lioloma* spp.	○			
91					*Microtabella interrupta*	○	○	○	○
92					*Striatella unipunctata*			○	
93					*Tabularia* sp.		○		
94					*Thalassionema nitzschioides*	○	○		
95					*Thalassionema* spp.	○		○	○
96					*Toxarium undulatum*		○		
97					*Ulnaria* sp.		○		
98					Diatomaceae	○	○	○	○
99				ユーノティア科	*Eunotia* spp.	○			
100				アクナンテス科	*Achnanthidium* sp.	○			
101					*Cocconeis* spp.	○	○	○	○
102				ナビキュラ科	*Amphora* spp.	○	○	○	○
103					*Diploneis* spp.		○	○	○
104					*Encyonema* sp.			○	
105					*Entomoneis* spp.	○	○		
106					*Haslea* spp.	○			○
107					*Mastogloia* sp.	○	○		
108					*Navicula* sp. (cf. *cancellata*)	○			○
109					*Navicula* spp.	○	○	○	○
110					*Pleurosigma* spp.	○	○	○	○
111					Naviculaceae	○	○	○	○
112				ニッチア科	*Bacillaria paxillifer*				○
113					*Cylindrotheca closterium*	○	○	○	○
114					*Nitzschia rectilonga*		○		○
115					*Nitzschia reversa*	○	○	○	○
116					*Nitzschia sigma*	○	○		○
117					*Nitzschia* spp.	○	○	○	○
118					*Pseudo-nitzschia pungens*		○		
119					*Pseudo-nitzschia* spp.	○	○	○	○
120					Nitzschiaceae		○	○	○
121				スリレラ科	*Surirella* sp.	○	○		○
122				－	Pennales	○	○	○	○
123	ハプト植物門	ハプト藻綱	円石藻目	カルキオソレニア科	*Anoplosolenia brasiliensis*		○		○
124				ラブドスファエラ科	*Discosphaera tubifer*		○		
125			－	－	Haptophyceae		○	○	
126	ユーグレナ植物門	ユーグレナ藻綱	－	－	Euglenophyceae	○	○	○	○
127	緑色植物門	プラシノ藻綱	－	－	Prasinophyceae	○	○	○	○
128		緑藻綱	クロロコックム目	オオキスティス科	*Oocystis* sp.	○			
129				セネデスムス科	*Scenedesmus* sp.		○	○	
130	不明鞭毛藻類門	－	－	－	unidentified flagellates	○	○	○	○
出現種類数						87	77	60	73

表-2.5.2.9(3)　浮遊生物調査　総出現種リスト（動物プランクトン）

No.	門	綱	目	科	学名	令和7年度 春季	夏季	秋季	冬季
1	肉質鞭毛虫門	棘針綱	放射棘虫目	-	Acantharea			○	
2	刺胞動物門	ヒドロムシ綱	ヒドロムシ目	-	Hydroida		○	○	
3			クダクラゲ目	-	Siphonophora		○	○	
4	ひも形動物門	-	-	-	Nemertinea (pilidium)		○		
5	軟体動物門	マキガイ綱	-	-	Gastropoda (larva)	○	○	○	○
6		ニマイガイ綱	-	-	Bivalvia (D-shaped larva)			○	
7					Bivalvia (umbo larva)	○	○	○	○
8	環形動物門	ゴカイ綱	遊在目	オヨギゴカイ科	Tomopteridae				○
9			-	-	Polychaeta (larva)	○	○	○	○
10	節足動物門	甲殻（橈脚）綱	カラヌス目	アカルチア科	*Acartia bispinosa*	○	○	○	○
11					*Acartia erythraea*	○	○	○	
12					*Acartia fossae*			○	○
13					*Acartia* spp. (copepodite)	○	○	○	○
14				カラヌス科	*Undinula vulgaris*	○			
15					Calanidae (copepodite)	○			○
16				カロカラヌス科	*Calocalanus styliremis*				○
17					*Calocalanus* spp. (copepodite)		○		○
18				クラウソカラヌス科	*Clausocalanus farrani*	○			
19					*Clausocalanus furcatus*	○			○
20					*Clausocalanus* spp. (copepodite)	○			○
21				パラカラヌス科	*Acrocalanus* spp. (copepodite)			○	○
22					*Bestiolina similis*		○	○	○
23					*Delius nudus*				○
24					*Paracalanus crassirostris*	○	○	○	○
25					*Paracalanus denudatus*	○			
26					*Paracalanus parvus*				○
27					*Paracalanus* spp. (copepodite)		○	○	○
28					Paracalanidae (copepodite)	○	○	○	○
29				ポンテラ科	*Calanopia* spp. (copepodite)		○		
30					*Labidocera* spp. (copepodite)	○			
31					*Pontella* spp. (copepodite)			○	
32					Pontellidae (copepodite)		○	○	
33				トルタヌス科	*Tortanus gracilis*			○	
34					*Tortanus* spp. (copepodite)			○	
35				-	Calanoida (copepodite)		○	○	○
36			キクロプス目	オイトナ科	*Oithona aruensis*		○	○	
37					*Oithona atlantica*			○	
38					*Oithona attenuata*	○	○	○	○
39					*Oithona dissimilis*	○	○	○	○
40					*Oithona nana*	○	○		○
41					*Oithona oculata*	○		○	
42					*Oithona simplex*	○	○	○	○
43					*Oithona* spp. (copepodite)	○	○	○	○
44				-	Cyclopoida (copepodite)				○
45			ハルパクチクス目	エクチノソマ科	*Microsetella norvegica*			○	○
46				-	Harpacticoida		○	○	○
47			ポエキロストム目	コリケウス科	*Corycaeus concinnus*	○			○
48					*Corycaeus* spp. (copepodite)		○		
49				オンケア科	*Oncaea media*	○		○	
50					*Oncaea scottodicarloi*				○
51					*Oncaea venusta*				○
52					*Oncaea* spp. (copepodite)	○			○
53			-	-	Copepoda (nauplius)	○	○	○	○
54		甲殻（蔓脚）綱	フジツボ目	-	Cirripedia (nauplius)	○	○	○	○
55					Facetotecta (nauplius)	○		○	○
56		甲殻（軟甲）綱	オキアミ目	-	Isopoda	○			○
57			ワラジムシ目	-	Euphausiacea (calyptopis)			○	
58			エビ目	-	Macrura (zoea)	○	○	○	
59					Brachyura (zoea)	○	○	○	○
60	毛がく動物門	ヤムシ綱	ヤムシ目	ヤムシ科	*Sagitta enflata*	○	○		
61					*Sagitta neglecta*	○			
62					*Sagitta* spp.		○	○	○
63	原索動物門	ホヤ綱	-	-	Ascidiacea (tadpole larva)	○			
64		オタマボヤ綱	オタマボヤ目	オタマボヤ科	*Oikopleura dioica*		○		
65					*Oikopleura* spp.	○	○	○	○
出現種類数						34	33	39	39

2.6 サンゴ類（全域の状況監視）

2.6.1 サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等

令和 7 年度夏季及び冬季に実施したサンゴ類の全域の状況監視の結果を図-2.6.1.1～図-2.6.1.4 に示します。

サンゴ類は、嘉陽海域では主にリーフエッジ付近において、夏季、冬季ともに 5～50%の比較的高い生息被度でみられました。大浦湾東部では、主に大浦湾口付近からカヌチャ前面にかけてのリーフエッジ付近において、夏季、冬季ともに 5～25%の比較的高い生息被度でみられました。中干瀬では主に外洋側の礁斜面において、夏季、冬季ともに 5～50%の比較的高い生息被度でみられました。豊原から潟原地先にかけての海域では、主にリーフエッジ付近において、夏季、冬季ともに 5～50%の比較的高い生息被度でみられました。

サンゴ類の白化は、夏季、冬季ともに、嘉陽海域、大浦湾東部、中干瀬及び豊原から潟原地先にかけての海域において、主に生息被度 5%以上のサンゴ類が確認された地点で確認されました。

サンゴ類の食害は、夏季、冬季ともに嘉陽海域、大浦湾東部、中干瀬及び豊原から潟原地先にかけての海域において、主に生息被度 5%以上のサンゴ類が確認された地点で確認されました。

土砂の堆積（浮泥）はみられませんでした。

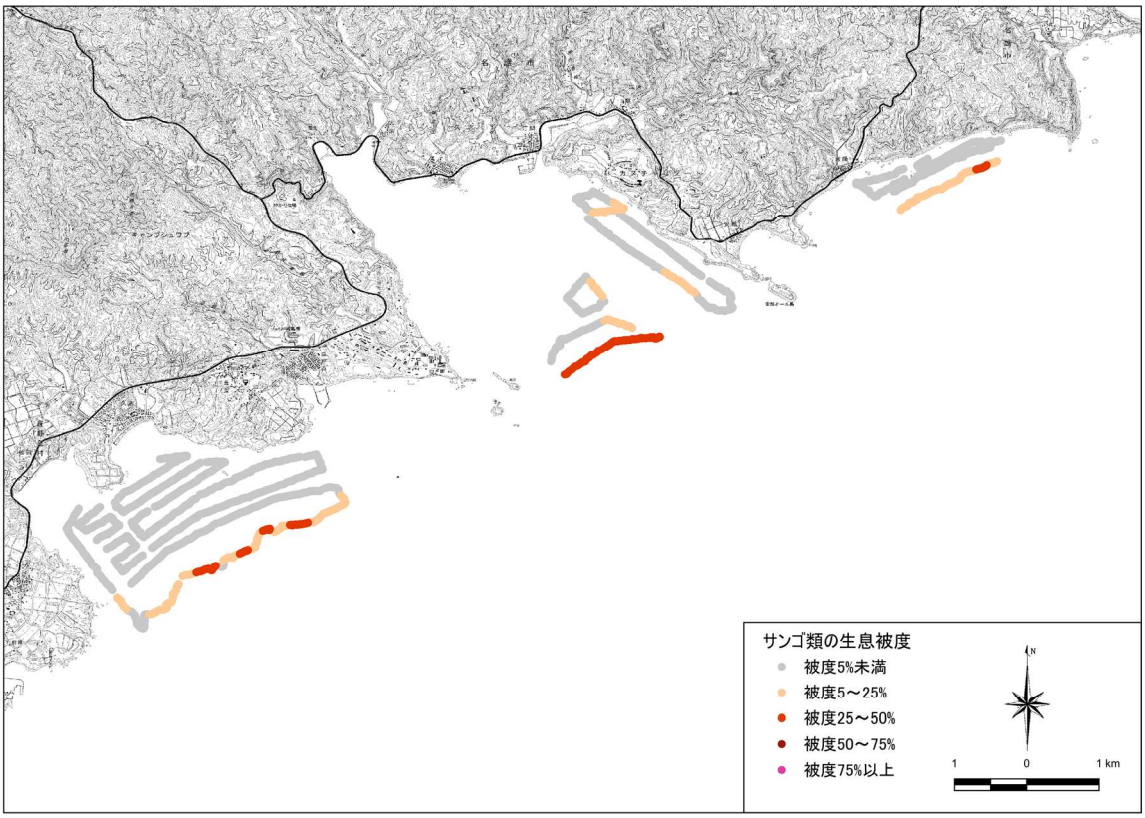


図-2.6.1.1(1)　全域の状況監視におけるサンゴ類の生息被度の状況
(令和７年度夏季)

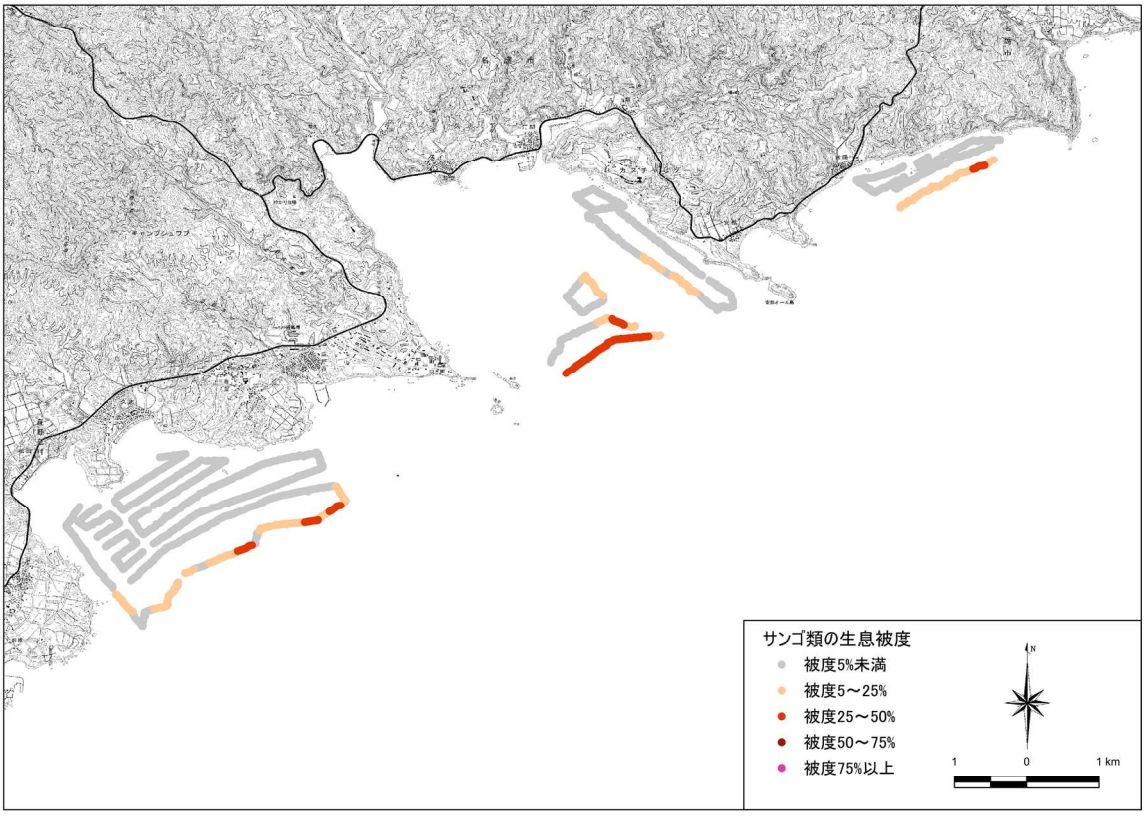


図-2.6.1.1(2)　全域の状況監視におけるサンゴ類の生息被度の状況
(令和７年度冬季)

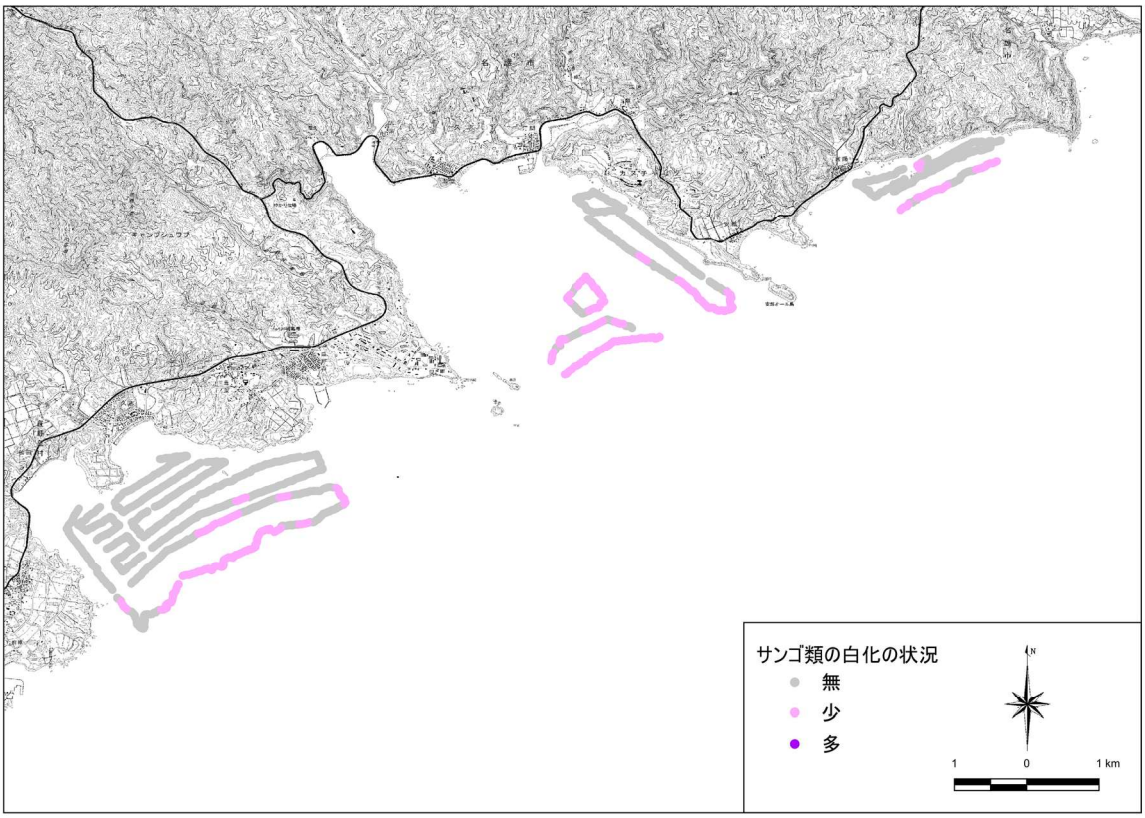


図-2.6.1.2(1)　全域の状況監視におけるサンゴ類の白化の状況
(令和7年度夏季)

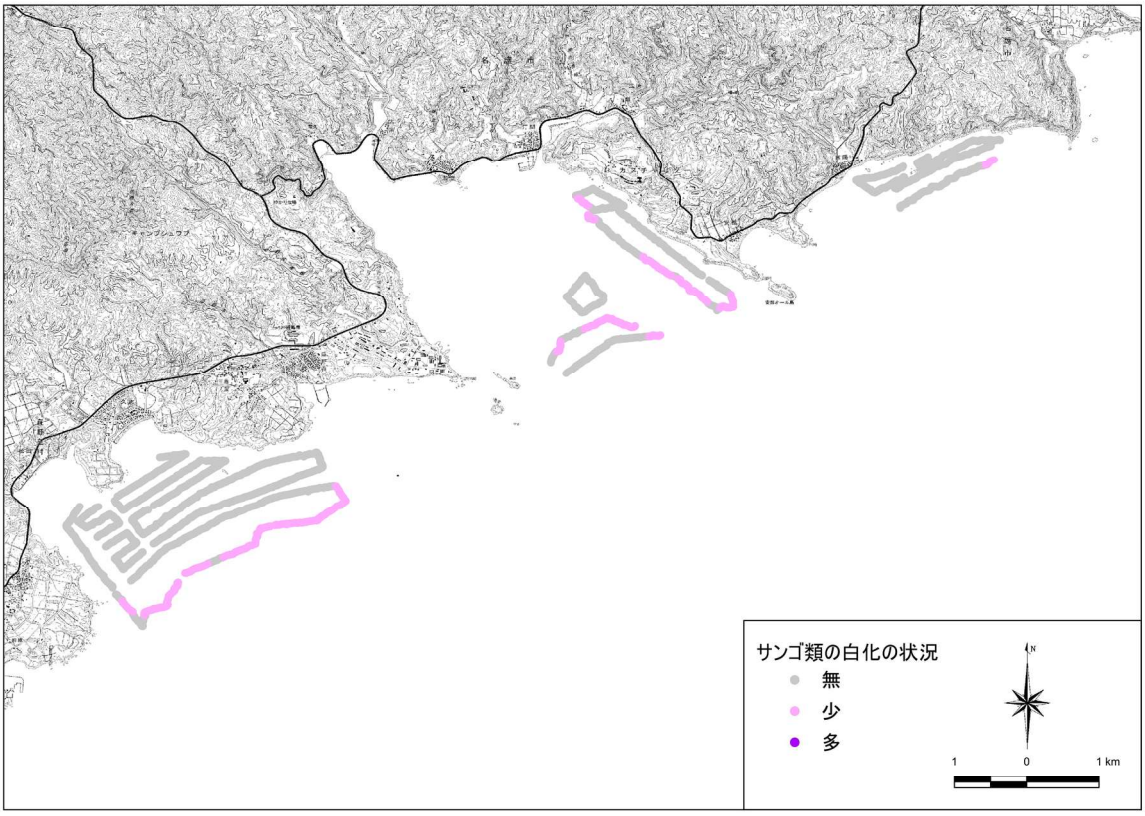


図-2.6.1.2(2)　全域の状況監視におけるサンゴ類の白化の状況
(令和7年度冬季)

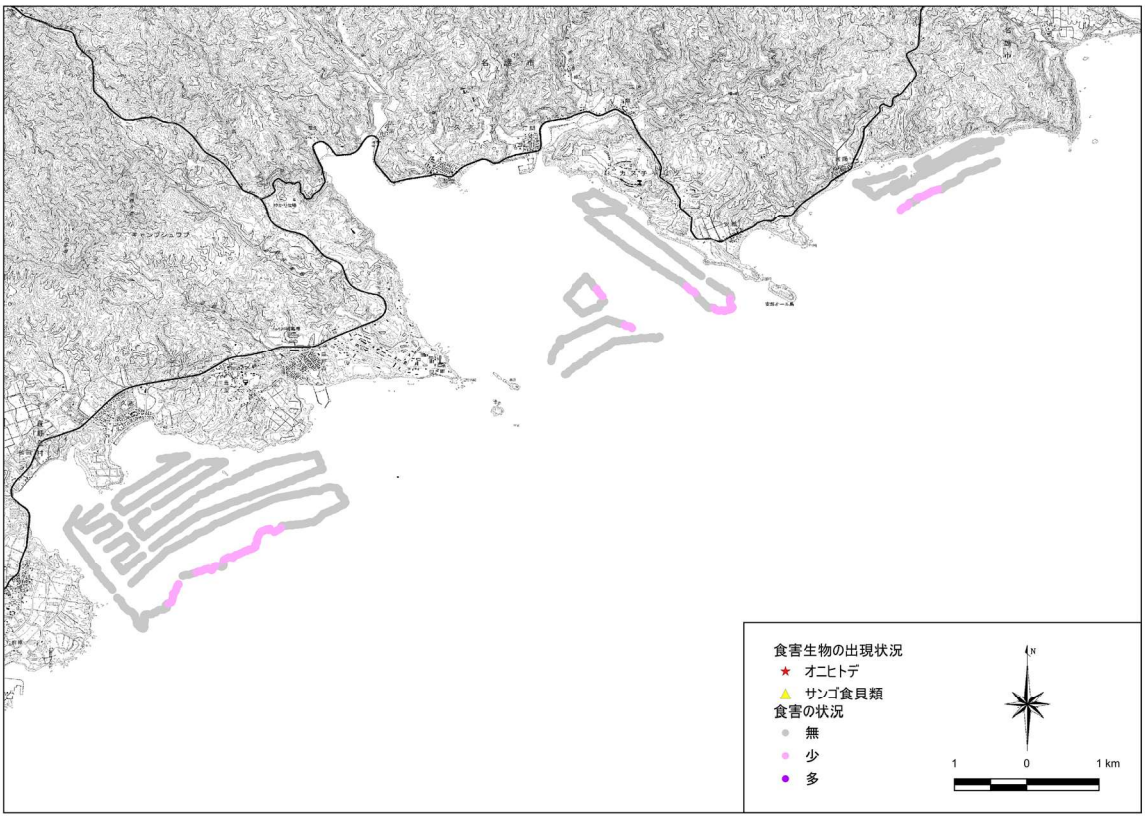


図-2.6.1.3(1)　全域の状況監視における食害生物の出現状況
(令和7年度夏季)

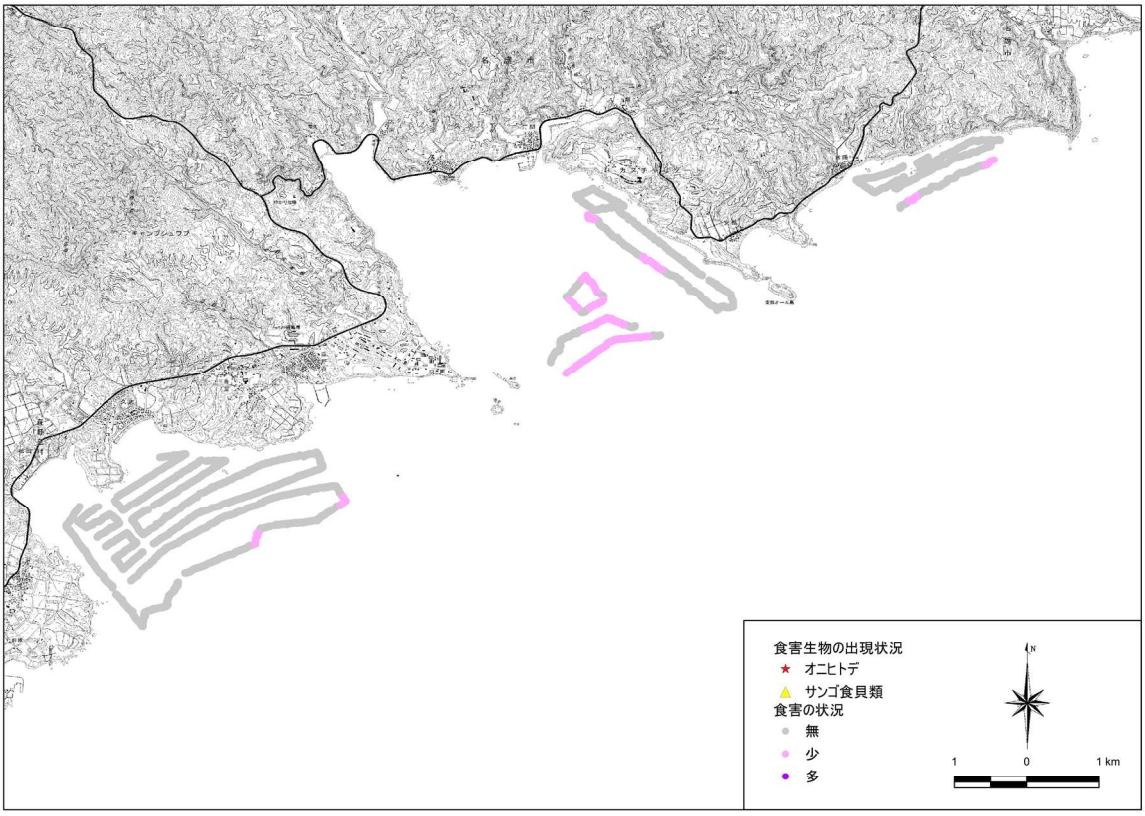


図-2.6.1.3(2)　全域の状況監視における食害生物の出現状況
(令和7年度冬季)

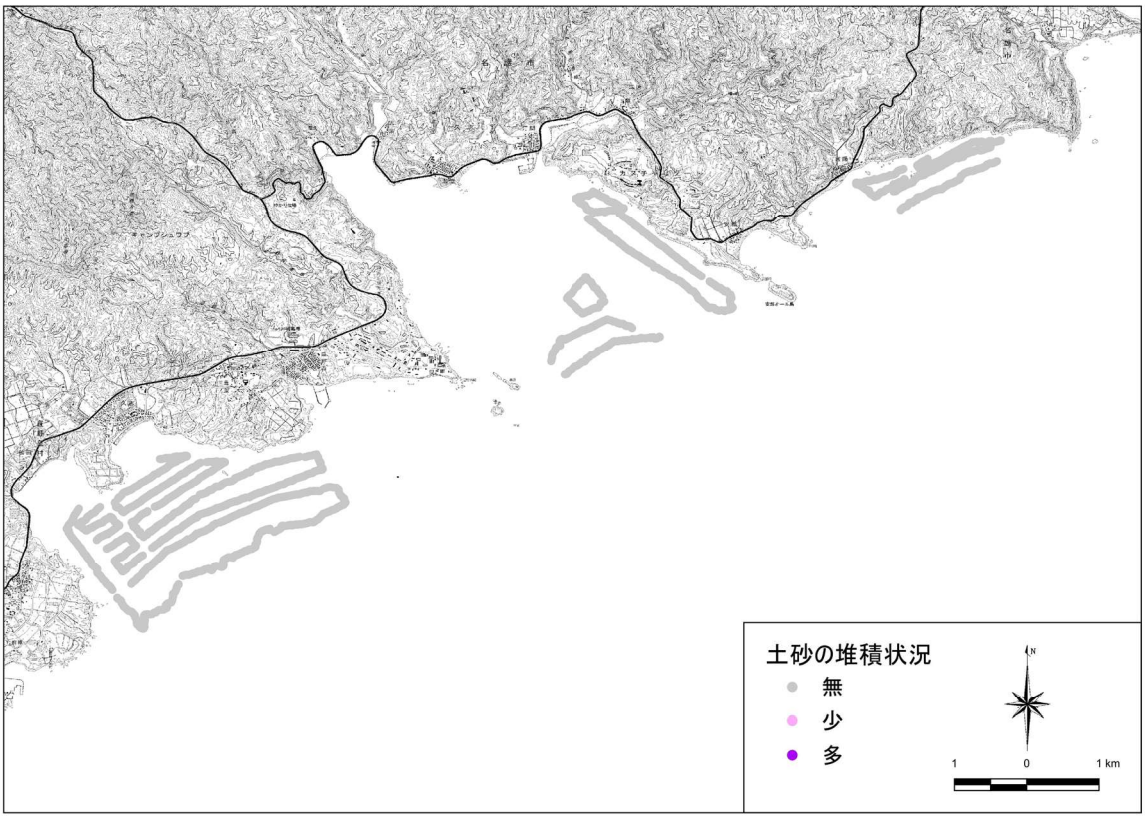


図-2.6.1.4(1)　全域の状況監視における土砂の堆積状況
(令和7年度夏季)

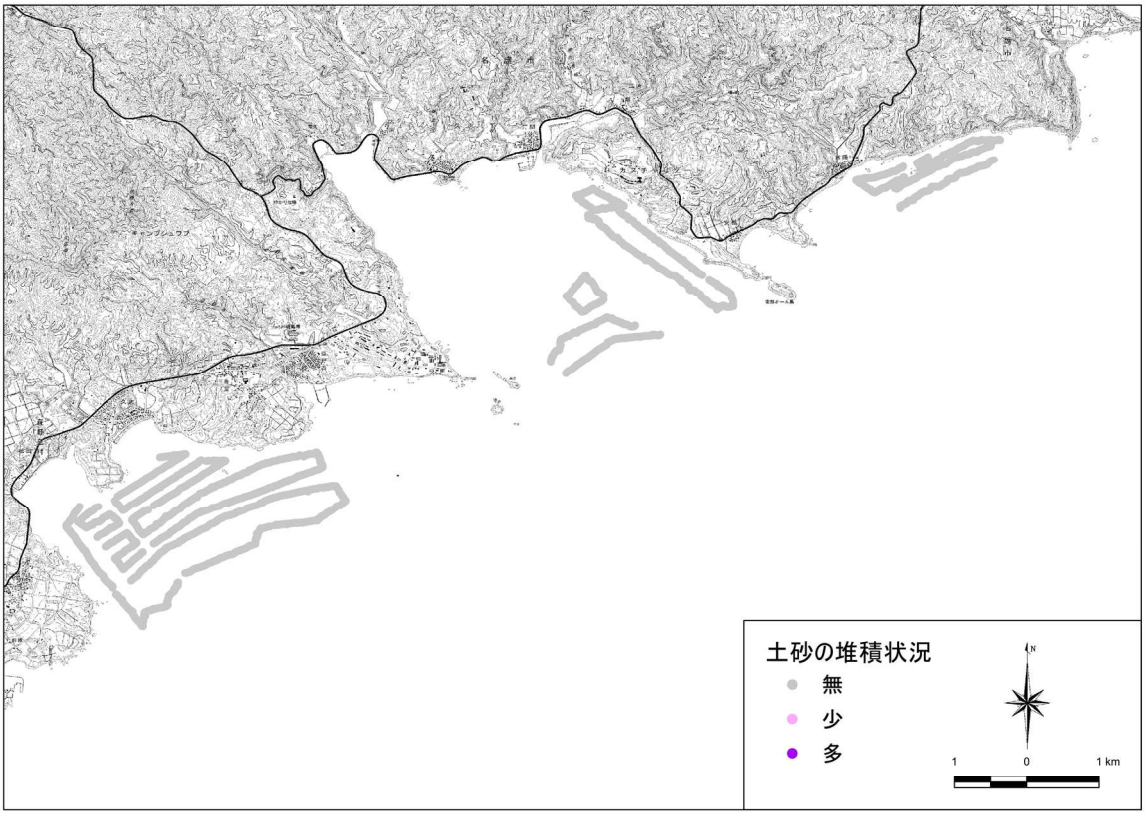


図-2.6.1.4(2)　全域の状況監視における土砂の堆積状況
(令和7年度冬季)

2.7 海藻草類（全域の状況監視）

2.7.1 海藻草類の生育被度、生育状況

令和 7 年度夏季及び冬季に実施した海藻草類の全域の状況監視の結果を図-2.7.1.1～図-2.7.1.4 に示します。

海草藻場は、調査海域西側の久志地先のリーフ内で、夏季、冬季ともに、生育被度 5～50%の範囲が確認されました。調査海域東側の嘉陽地先、大浦湾東側及び大浦湾口部の中干瀬では、海草藻場は確認されたものの、生育被度 5%以上の範囲はみられませんでした。

ホンダワラ藻場は、嘉陽地先、大浦湾東側、大浦湾口部の中干瀬及び久志地先で、夏季には生育被度 5～75%以上の範囲が、冬季には生育被度 5～50%の範囲が広く確認されました。

海草上の浮泥の堆積は、冬季に久志地先の岸側において、少量確認されました。

海草上の付着藻類は、夏季には久志地先の岸側において、少量～多量確認され、冬季には久志地先の岸側において、少量確認されました。

海草藻場の葉枯は、夏季、冬季ともに確認されませんでした。

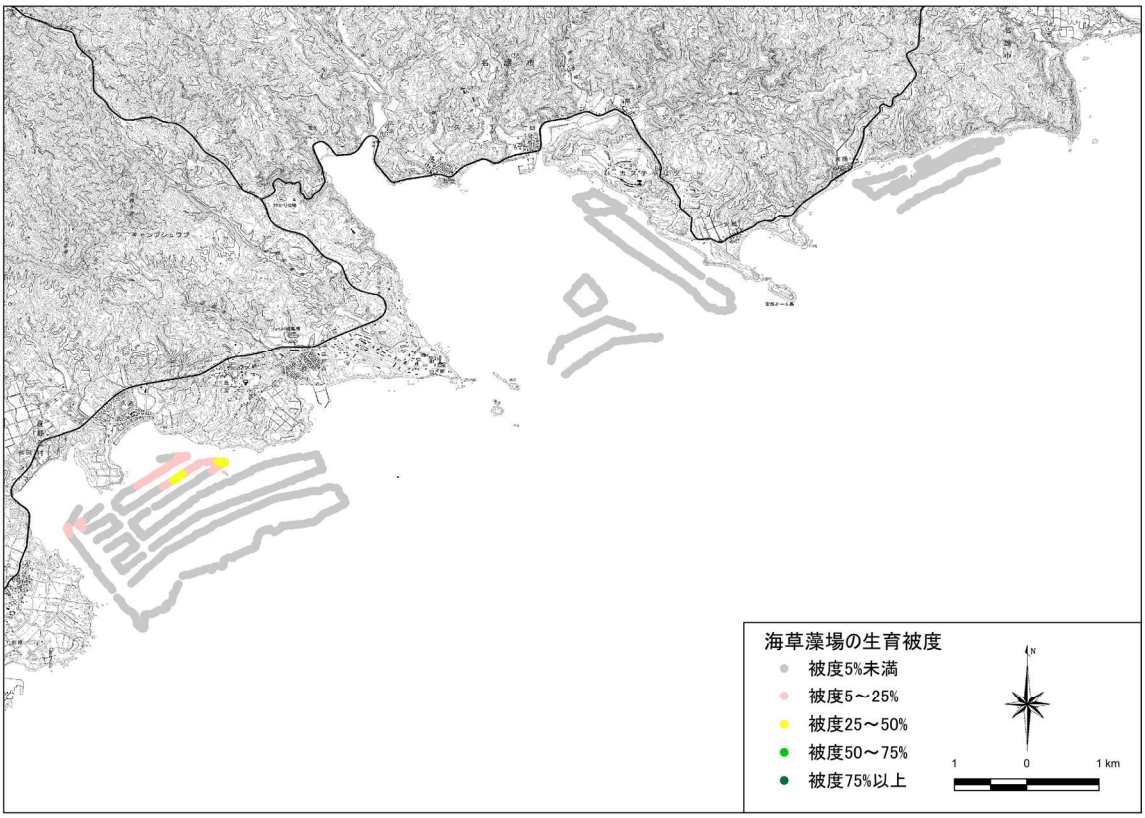


図-2.7.1.1(1)　全域の状況監視における海藻草類の生育被度の状況
（海草藻場、令和７年度夏季）

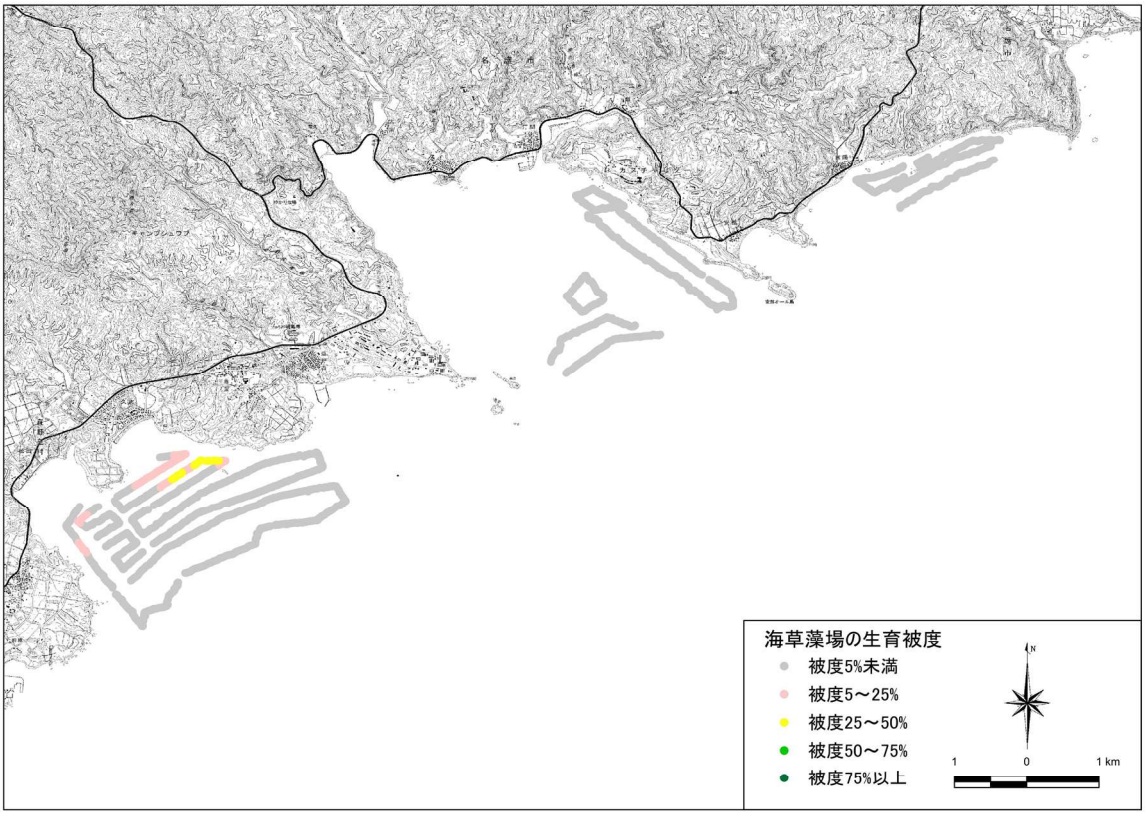


図-2.7.1.1(2)　全域の状況監視における海藻草類の生育被度の状況
（海草藻場、令和７年度冬季）

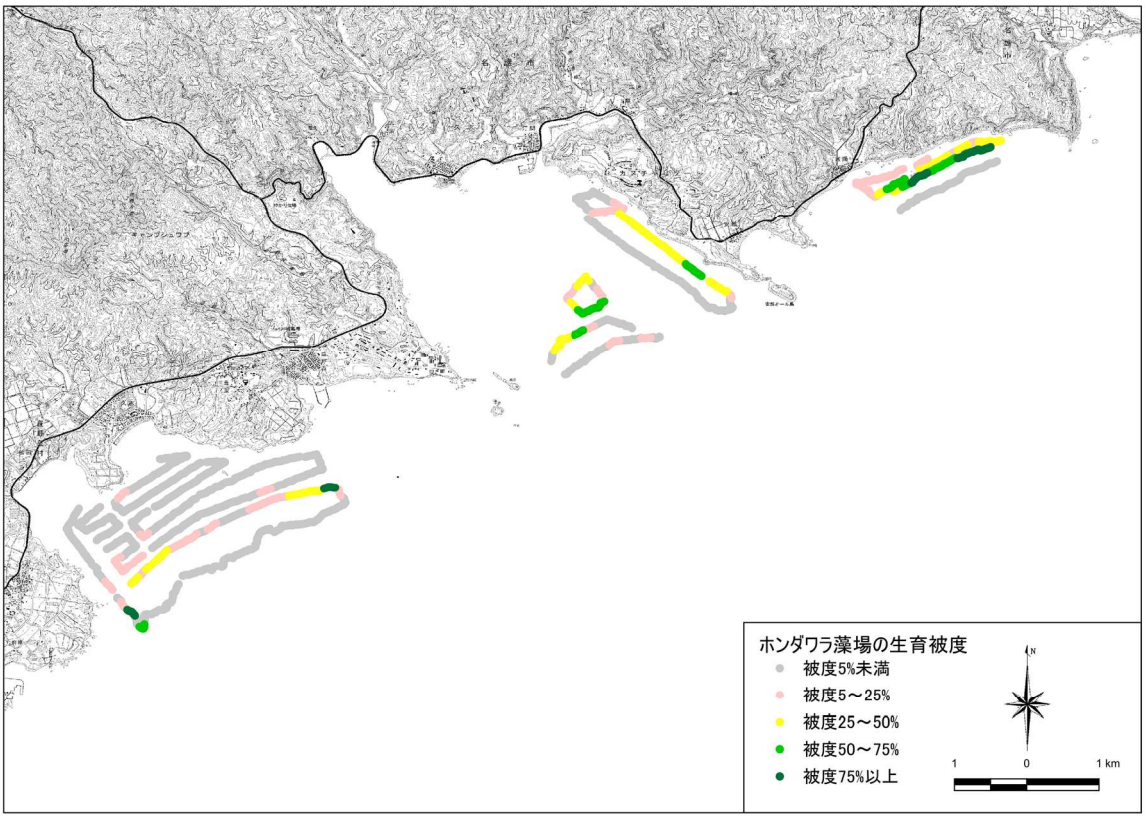


図-2.7.1.1(3)　全域の状況監視における海藻草類の生育被度の状況
（ホンダワラ藻場、令和７年度夏季）

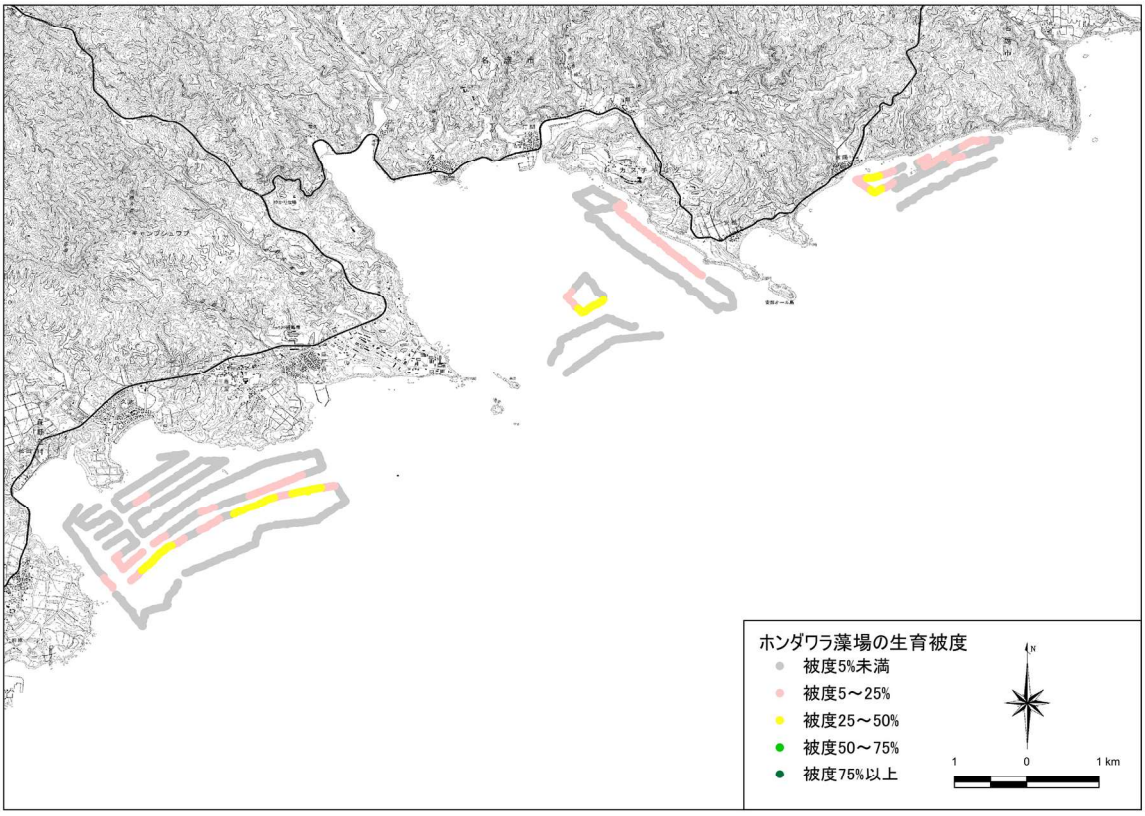


図-2.7.1.1(4)　全域の状況監視における海藻草類の生育被度の状況
（ホンダワラ藻場、令和７年度冬季）

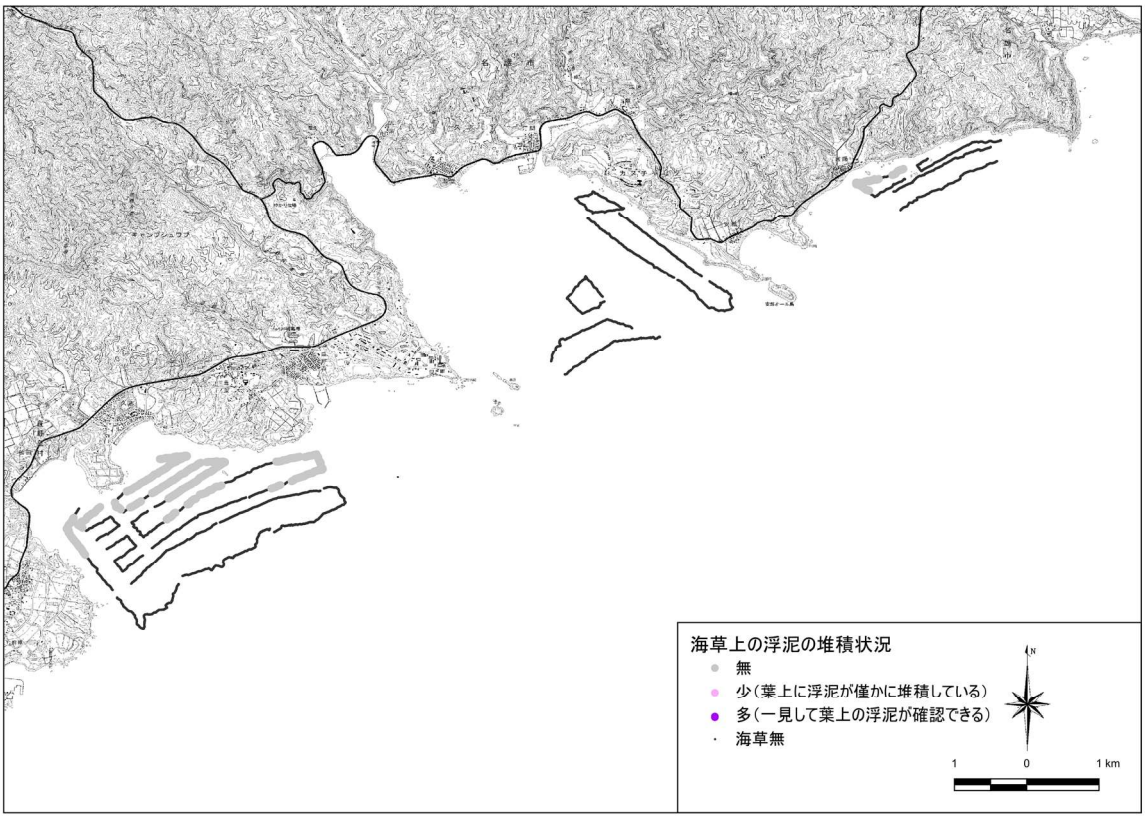


図-2.7.1.2(1)　全域の状況監視における海草上の浮泥の堆積状況
（令和７年度夏季）

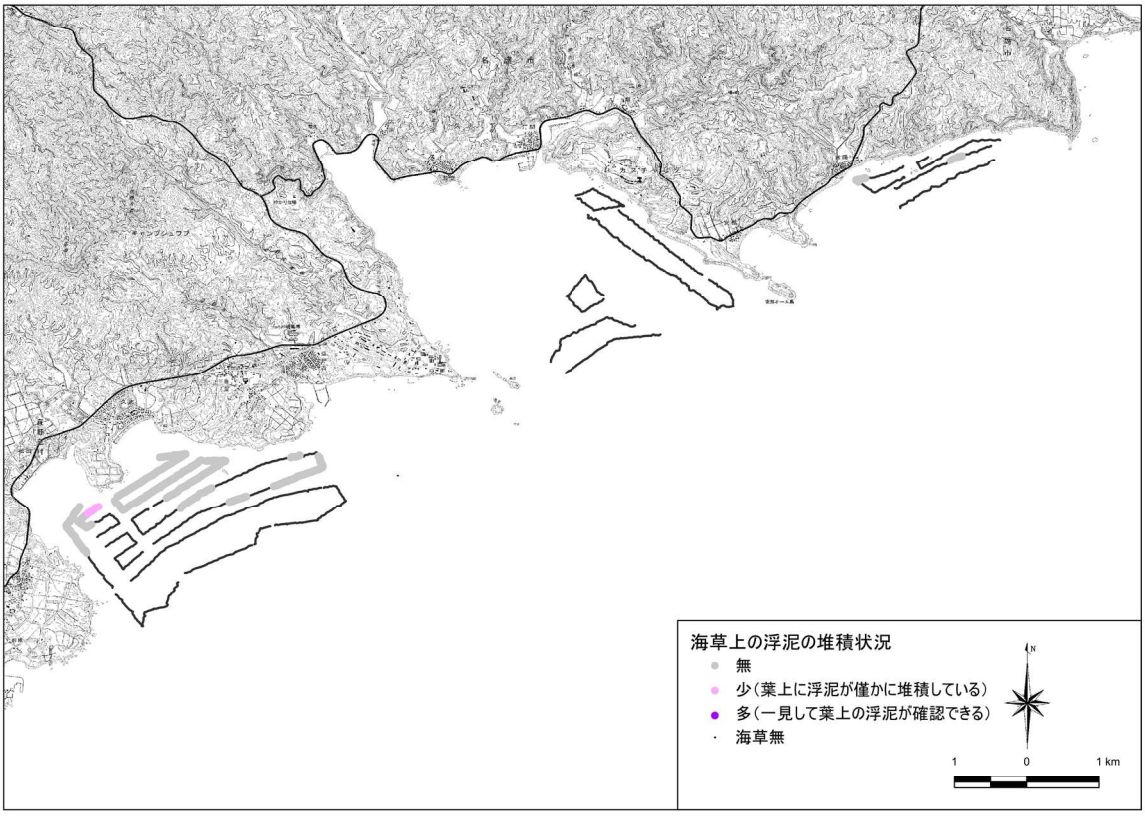


図-2.7.1.2(2)　全域の状況監視における海草上の浮泥の堆積状況
（令和７年度冬季）

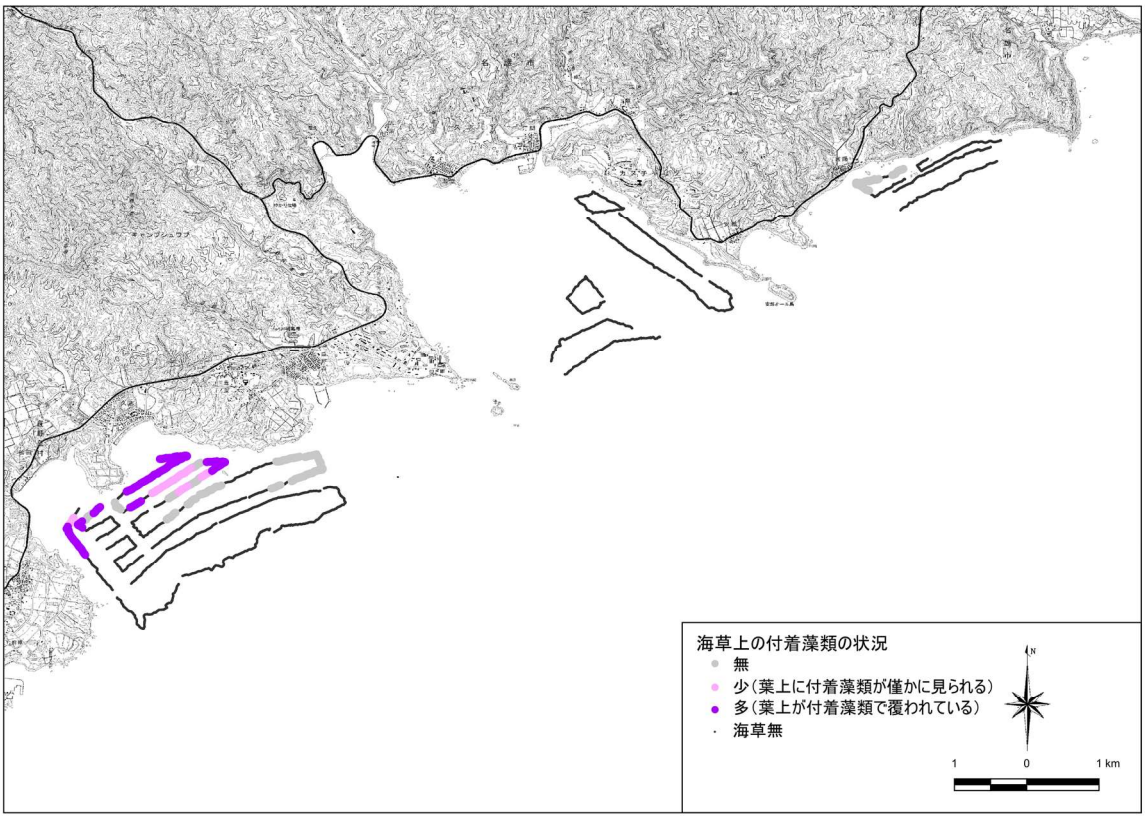


図-2.7.1.3(1)　全域の状況監視における海草上の付着藻類の状況
（令和７年度夏季）

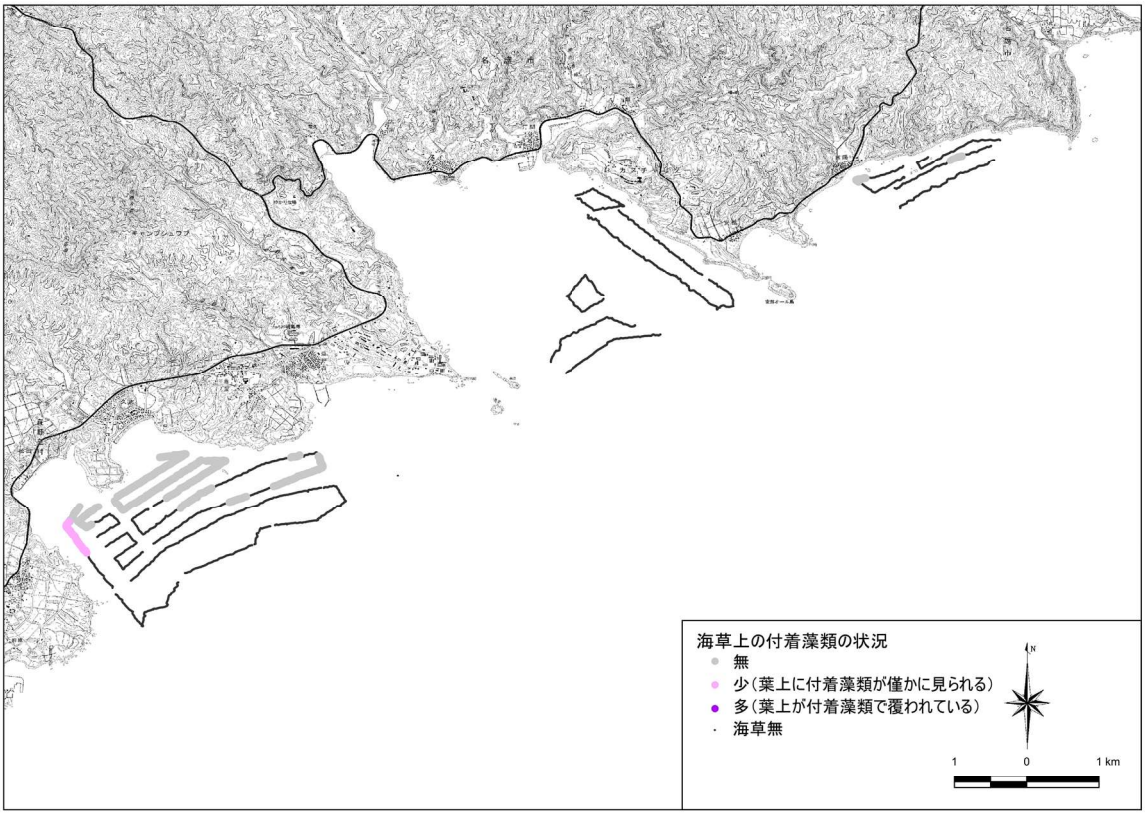


図-2.7.1.3(2)　全域の状況監視における海草上の付着藻類の状況
（令和７年度冬季）

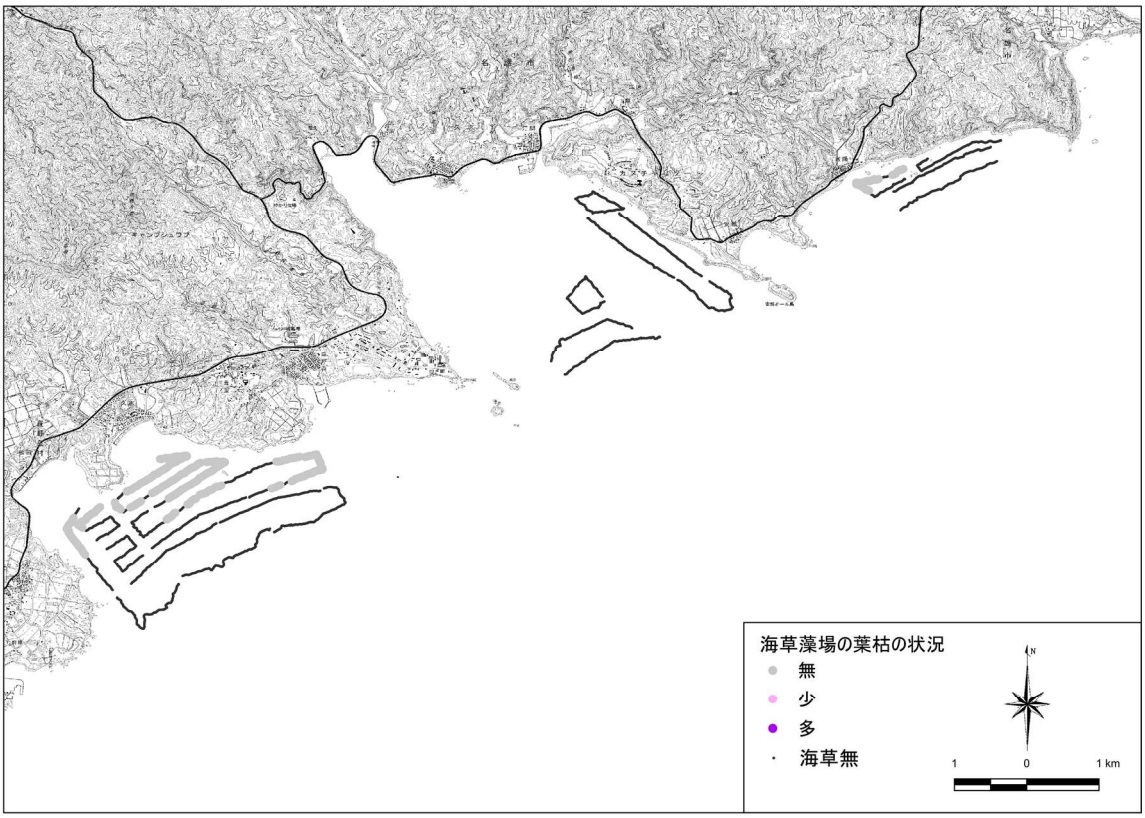


図-2.7.1.4(1)　全域の状況監視における海草藻場の葉枯の状況
(令和7年度夏季)

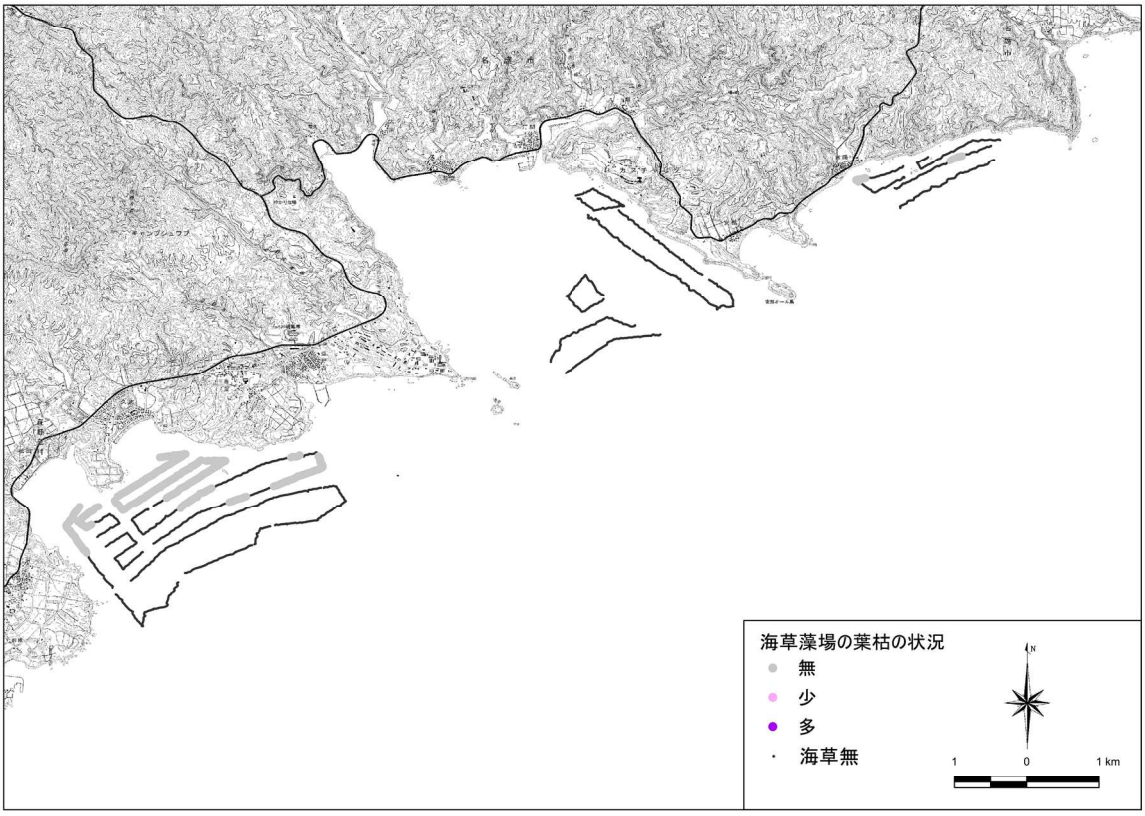
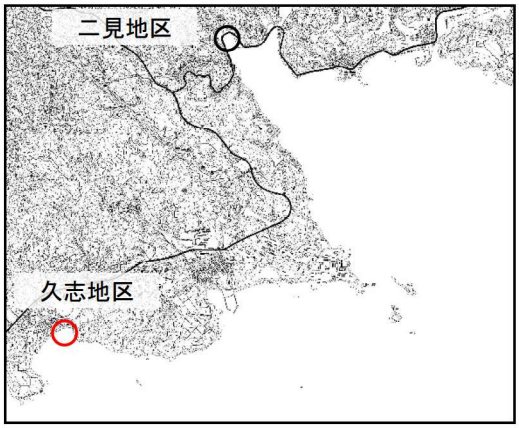


図-2.7.1.4(2)　全域の状況監視における海草藻場の葉枯の状況
(令和7年度冬季)

2.7.2 クビレミドロ生育状況等

既往調査でクビレミドロの生育がみられている久志地区において、令和 7 年 4 月 14、15、25 日にクビレミドロの生育状況を調査した結果を図-2.7.2.1 に示します。

クビレミドロ群落は、平成 24 年度から令和 5 年度まで確認されず、令和 6 年度に干潟の南西側の 1 箇所で、直径約 1cm の小規模な群落が確認されましたが、本年度は確認されませんでした。



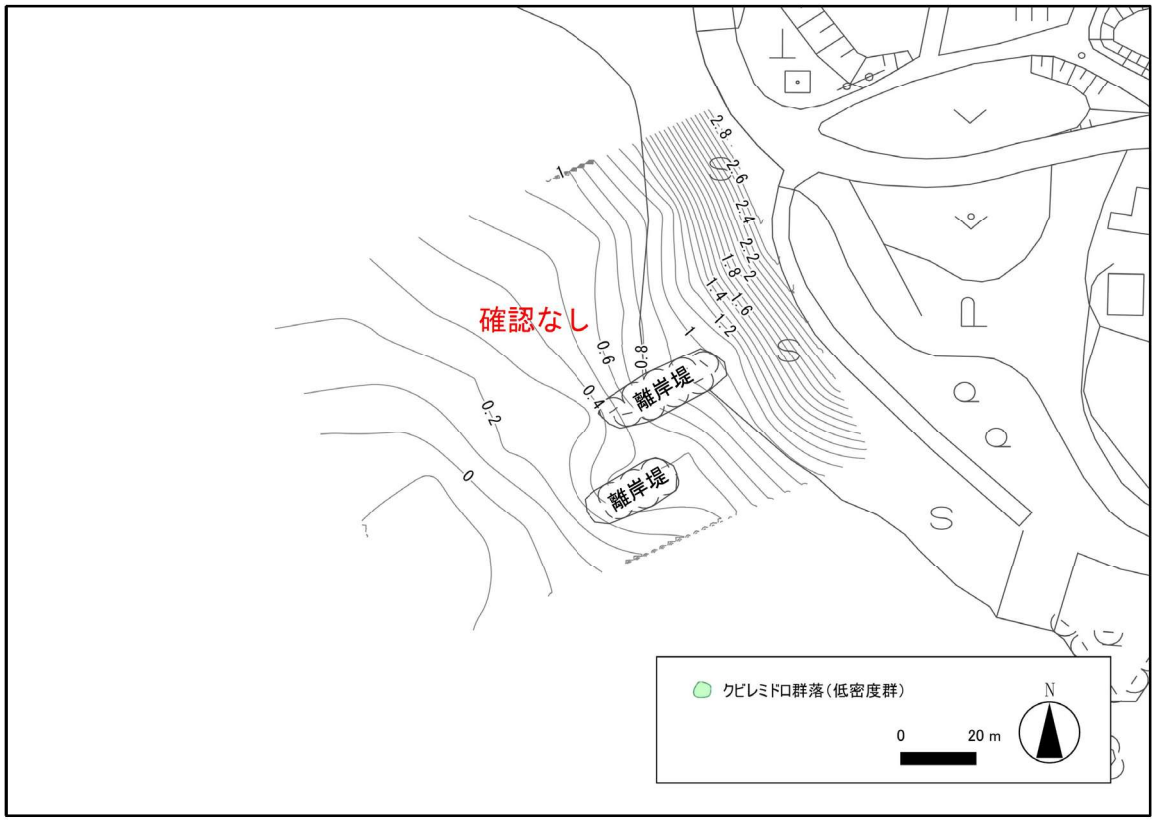


図-2.7.2.1　クビレミドロの分布状況（久志地区）

第 3 章　環境監視調査結果のまとめ

令和 7 年度に実施した大気質、騒音、振動、低周波音、底生動物等についての環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討を行った結果を以下に示します。

なお、サンゴ類及び海藻草類についての調査結果は、事後調査の結果を解析する際の参考とするものであり、環境監視基準との比較は行わないため、ここでは記載していません。

3.1 大気質

3.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.1.1.1 に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、二酸化窒素(NO_2)の日平均値、二酸化硫黄(SO_2)の日平均値及び 1 時間値、浮遊粒子状物質(SPM)の日平均値及び 1 時間値は、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.1.1.1　建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の評価結果

項目	地点名	区分	環境監視調査の結果				環境監視基準
			工事中				
			令和7年度春季	令和7年度夏季	令和7年度秋季	令和7年度冬季	
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.002	0.001	0.002	0.004	1日平均値が 0.04～0.06ppm のゾーン内 又はそれ以下
	AT-2		0.001	0.001	0.002	0.002	
	AT-3		0.003	0.007	0.004	0.002	
	AT-8		0.004	0.001	0.001	0.002	
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.001	1日平均値が 0.04ppm以下、 かつ 1時間値が 0.1ppm以下
		1時間値	0.001	0.000	0.002	0.002	
	AT-2	日平均値	0.001	0.000	0.001	0.001	
		1時間値	0.002	0.000	0.003	0.001	
	AT-3	日平均値	0.001	0.000	0.001	0.000	
		1時間値	0.001	0.001	0.002	0.001	
	AT-8	日平均値	0.001	0.000	0.001	0.001	
		1時間値	0.002	0.000	0.002	0.002	
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	AT-1	日平均値	0.018	0.013	0.020	0.017	1日平均値が 0.10mg/m^3以下、 かつ 1時間値が 0.20mg/m^3以下
		1時間値	0.040	0.026	0.063	0.030	
	AT-2	日平均値	0.019	0.014	0.020	0.017	
		1時間値	0.039	0.021	0.037	0.027	
	AT-3	日平均値	0.019	0.016	0.020	0.013	
		1時間値	0.040	0.039	0.037	0.027	
	AT-8	日平均値	0.020	0.016	0.022	0.016	
		1時間値	0.040	0.045	0.041	0.048	

注）1. 地点名の AT-1 はカヌチャリゾート、AT-2 は大浦集落、AT-3 は二見集落、AT-8 は辺野古集落を示します。
2. 表中の日平均値、1 時間値は各季の調査期間中における最大値を示します。
3. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

3.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.1.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、二酸化窒素(NO_2)の日平均値、二酸化硫黄(SO_2)の日平均値及び1時間値、浮遊粒子状物質(SPM)の日平均値及び1時間値は、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.1.2.1　資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の評価結果

項目	地点名	区分	環境監視調査の結果				環境監視基準
			工事中				
			令和7年度春季	令和7年度夏季	令和7年度秋季	令和7年度冬季	
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.008	0.002	0.007	0.002	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下
	TN-10		0.004	0.007	0.007	0.006	
	TN-11		0.003	0.003	0.003	0.004	
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.000	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下
		1時間値	0.001	0.001	0.002	0.001	
	TN-10	日平均値	0.001	0.000	0.000	0.001	
		1時間値	0.001	0.000	0.002	0.002	
	TN-11	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.001	
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	TN-5	日平均値	0.025	0.020	0.022	0.019	1日平均値が0.10mg/m^3以下、かつ1時間値が0.20mg/m^3以下
		1時間値	0.041	0.034	0.048	0.057	
	TN-10	日平均値	0.024	0.030	0.026	0.018	
		1時間値	0.044	0.049	0.059	0.042	
	TN-11	日平均値	0.024	0.024	0.031	0.015	
		1時間値	0.043	0.050	0.050	0.031	

注）1.地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
2.表中の日平均値、1時間値は各季の調査期間中における最大値を示します。
3.環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

3.2 騒音

3.2.1 道路交通騒音

道路交通騒音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.2.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（70dB以下）を下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.2.1.1　道路交通騒音の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L_{Aeq})				環境監視基準
		工事中				
		令和7年度春季	令和7年度夏季	令和7年度秋季	令和7年度冬季	
TN-5	昼間	65	68	66	65	70dB以下
TN-10		66	66	67	67	
TN-11		64	64	65	66	

注）1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世冨慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。
3. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）における等価騒音レベルを示します。

3.2.2 建設作業騒音

建設作業騒音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.2.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（85dB以下）を下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.2.2.1　建設作業騒音の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L_5)				環境監視基準
		工事中				
		令和7年度春季	令和7年度夏季	令和7年度秋季	令和7年度冬季	
EN-10	昼間	50	74	50	50	85dB以下
EN-13		56	69	58	62	

注）1. 地点名のEN-10は国立沖縄工業高等専門学校、EN-13は辺野古集落を示します。
2. 環境監視基準は騒音規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」としています。
3. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）において、それぞれの時間での測定値のうち、騒音レベルの90%レンジ上端値の最大値を示します。

3.3 振動

3.3.1 道路交通振動

道路交通振動の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.3.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（60dB 又は 65dB 以下）を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.3.1.1　道路交通振動の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L_{10})				環境監視基準
		工事中				
		令和7年度春季	令和7年度夏季	令和7年度秋季	令和7年度冬季	
TV-5	昼間	<30	<30	<30	31	60dB以下
TV-10		43	41	32	40	65dB以下
TV-11		38	39	36	39	

注）1. 地点名の TV-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TV-10 は世冨慶集落、TV-11 は松田集落の沿道を示します。
2. 30dB 未満は「<30」と表示しています。
3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第 1 種区相当値としています。
4. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の 8 時から 19 時までの 11 時間）における振動レベルの 80%レンジ上端値の最大値を示します。

3.3.2 建設作業振動

建設作業振動の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.3.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において環境監視基準（75dB 以下）を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.3.2.1　建設作業振動の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L_{10})				環境監視基準
		工事中				
		令和7年度春季	令和7年度夏季	令和7年度秋季	令和7年度冬季	
EV-10	昼間	<30	<30	<30	<30	75dB以下
EV-13		<30	31	<30	30	

注）1. 地点名の EV-10 は国立沖縄工業高等専門学校、EV-13 は辺野古集落を示します。
2. 30dB 未満は「<30」と表示しています。
3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」です。
4. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の 8 時から 19 時の 11 時間）において、それぞれの時間での測定値のうち、振動レベルの 80%レンジ上端値の最大値を示します。

3.4 低周波音

3.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.4.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.4.1.1　建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の評価結果

単位：dB

地点名	区分		季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル									
				1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz
LF-10	環境監視調査の結果	工事中	R7年度春季	39.3	38.6	38.1	38.1	38.3	38.8	39.0	39.8	41.5	44.6
			R7年度夏季	50.0	49.2	47.2	45.5	44.5	43.8	43.4	43.4	44.6	46.3
			R7年度秋季	38.7	37.9	37.4	37.3	37.2	37.6	38.1	38.1	39.2	40.0
			R7年度冬季	44.7	45.0	45.9	44.7	45.1	47.2	45.9	47.4	48.1	48.1
LF-13			R7年度春季	68.9	65.5	61.6	58.2	55.6	54.1	50.9	49.0	47.1	49.1
			R7年度夏季	69.0	67.9	66.2	64.8	62.9	60.6	57.3	53.6	50.9	49.3
			R7年度秋季	31.5	30.2	29.0	29.5	30.6	32.2	32.0	33.1	34.9	36.2
			R7年度冬季	50.1	49.5	48.4	46.3	44.5	42.3	42.2	45.5	47.3	48.6
環境監視基準			心理的	－	－	－	－	－	－	－	115	111	108
			物的	－	－	－	－	－	－	－	70	71	72

地点名	区分		季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル									
				10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz
LF-10	環境監視調査の結果	工事中	R7年度春季	44.6	43.3	43.4	46.3	48.0	52.0	49.7	49.5	49.6	48.0
			R7年度夏季	46.9	45.8	46.3	48.9	51.6	52.2	52.8	51.9	51.7	52.6
			R7年度秋季	41.9	43.4	44.9	50.8	48.8	49.6	50.4	49.6	49.6	48.9
			R7年度冬季	48.9	45.7	46.3	49.3	54.8	52.7	52.9	51.4	57.0	54.1
LF-13			R7年度春季	48.1	45.6	45.9	49.3	51.5	64.4	56.1	54.1	54.0	51.3
			R7年度夏季	48.9	47.2	47.1	49.2	52.9	60.6	58.4	55.8	58.5	63.5
			R7年度秋季	38.3	43.0	45.0	50.3	51.8	59.5	55.5	55.1	55.7	53.6
			R7年度冬季	48.7	46.8	47.1	51.7	55.8	60.5	56.8	57.2	63.0	56.3
環境監視基準			心理的	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84
			物的	73	75	77	80	83	87	93	99	－	－

注）1.周波数別の音圧レベルは、1時間ごとの測定値のエネルギー平均値です。
2.LF-10は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13は辺野古集落を示します。
3.環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、物的影響に係る閾値としています。

3.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.4.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.4.2.1　資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の評価結果

単位：dB

地点名	区分		季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル									
				1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz
TN-5	環境監視調査の結果	工事中	R7年度春季	64.2	61.6	57.4	51.8	46.6	43.8	42.7	42.4	44.3	46.7
			R7年度夏季	66.4	63.5	59.1	53.4	47.5	43.8	43.1	43.6	44.1	46.1
			R7年度秋季	66.0	62.4	57.9	53.6	50.4	48.7	48.1	47.5	47.2	47.2
			R7年度冬季	69.7	65.9	60.5	54.5	48.8	45.8	44.4	44.3	45.1	47.5
TN-10			R7年度春季	65.3	61.4	56.7	53.0	51.1	49.8	48.3	47.6	48.1	49.6
			R7年度夏季	66.1	62.2	57.5	53.0	49.8	47.9	47.6	47.4	48.4	49.4
			R7年度秋季	66.2	64.1	62.0	59.5	58.4	58.8	56.5	55.6	54.3	53.7
			R7年度冬季	67.3	63.3	58.2	53.4	50.1	48.4	47.4	47.4	49.4	51.5
TN-11			R7年度春季	56.8	54.4	52.5	51.3	49.7	48.5	46.6	45.7	44.9	45.6
			R7年度夏季	59.3	55.6	52.5	50.6	48.9	47.2	45.3	44.2	44.2	43.2
			R7年度秋季	73.6	72.9	70.7	71.3	68.0	65.5	63.2	58.4	55.8	52.1
			R7年度冬季	63.2	60.2	58.0	56.3	54.3	52.5	50.1	48.2	46.8	46.8
環境監視基準			心理的	－	－	－	－	－	－	－	115	111	108
			物的	－	－	－	－	－	－	－	70	71	72

地点名	区分		季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル									
				10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz
TN-5	環境監視調査の結果	工事中	R7年度春季	49.4	52.2	54.0	57.5	57.9	59.0	60.7	63.9	63.6	62.9
			R7年度夏季	49.0	51.8	54.5	62.5	58.8	59.3	62.7	63.0	61.6	61.1
			R7年度秋季	49.4	50.7	51.7	52.9	55.6	57.1	59.4	58.7	57.4	56.9
			R7年度冬季	50.4	53.8	54.7	56.6	57.1	58.8	60.5	62.1	61.2	58.5
TN-10			R7年度春季	51.4	53.9	55.8	56.8	60.9	60.2	63.1	62.8	63.4	62.6
			R7年度夏季	50.9	53.7	55.0	56.8	61.2	60.8	62.5	63.6	64.2	62.3
			R7年度秋季	52.4	53.5	54.2	55.6	60.4	58.7	60.1	61.2	61.7	62.9
			R7年度冬季	51.7	54.1	55.7	57.2	62.8	60.5	63.4	62.8	66.1	63.3
TN-11			R7年度春季	46.9	50.9	53.0	58.8	57.9	59.0	62.2	66.1	69.4	66.7
			R7年度夏季	45.6	49.7	52.1	55.1	56.6	59.6	63.0	63.9	67.8	64.7
			R7年度秋季	50.4	50.5	51.4	53.0	55.6	56.8	59.2	61.0	60.1	59.5
			R7年度冬季	47.0	51.9	53.5	58.4	60.8	59.5	62.5	63.8	65.0	63.4
環境監視基準			心理的	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84
			物的	73	75	77	80	83	87	93	99	－	－

注）1. 周波数別の音圧レベルは、1時間ごとの測定値のエネルギー平均値です。
2. 地点名の TN-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10 は世冨慶集落、TN-11 は松田集落の国道 329 号沿道を示します。
3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、物的影響に係る閾値としています。

3.5 底生動物等（移動後の状況監視）

底生動物等（移動後の状況監視）の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果を以下に示します。なお環境監視基準としては、マーキングした固着性の底生動物及びウミボッスについて、個体数や生育状況に顕著な減少が確認された場合、及び底生動物相、海藻草類相、浮遊生物相において、種類数や個体数等を過年度調査結果の変動範囲と比較し、顕著な減少が確認された場合に大きな変化が生じていると判断することとしています。また、令和7年度までに実施した追跡調査の移動先と調査地点は図-1.2.5.1に、重要な種の移動先と生物相調査の調査地点は巻末資料に示します。

3.5.1 追跡調査

移植したウミボッスの追跡調査の結果の概要を、表-3.5.1.1に示します。

平成29年度の移植では、平成30年3月28日に前原～久志地先にて1個体を移植しました。このとき、移植先の岩及びその周辺で、ウミボッスの生育は確認されませんでした。その後、移植1年後である平成31年3月30日に実施した追跡調査では周辺部にウミボッスが確認されたことから、移植個体が発生に寄与したと推察されました。

前原～久志地先の移植先については、移植後5年間が経過し、その間ウミボッスの生育が継続して確認されており、移植後から大きな変化は生じていないと考えられます。以上のことから、移植による影響はなく、環境保全措置は適切に実施されたと考えられたことから、令和5年5月をもってモニタリングを終了しましています。

令和元年度から令和7年度にかけて、大浦湾西部にて計1,433個体（令和元～2年度：95個体、令和2～3年度：37個体、令和3～4年度：345個体、令和4～5年度：270個体、令和5～6年度：603個体、令和6～7年度：83個体）を移植したところ、いずれも、移植直後、移植1ヶ月後及び繁茂期の追跡調査においてウミボッスが確認されました。

令和7年度の繁茂期の追跡調査では、令和7年4月28日（令和7年繁茂期③）、5月13日（令和7年繁茂期④）、令和8年2月13日（令和8年繁茂期①）及び3月24日（令和8年繁茂期②）に追跡調査を実施したところ、全ての調査時期で移植先周辺においてウミボッスが確認されました。

大浦湾西部における令和元～7年度移植分[※1]のうち、令和元～2年度移植分については、移植後5年間が経過し、その間ウミボッスの生育が継続して確認されており、移植後から大きな変化は生じていないと考えられることから、令和7年5月をもってモニタリングを終了しましたが、引き続き、令和2～7年度移植分[※2]のモニタリングを実施します。

以上のことから、いずれの移植先においてもウミボッスの生育が継続して確認されています。大浦湾西部においては、今後も追跡調査を継続して、生育状況の推移を確認していきます。

※1. 「令和元～7 年度移植分」には、令和元～2 年度、令和 2～3 年度、令和 3～4 年度、令和 4～5 年度、令和 5～6 年度及び令和 6～7 年度の移植分を含みます。
2. 「令和 2～7 年度移植分」には、令和 2～3 年度、令和 3～4 年度、令和 4～5 年度、令和 5～6 年度及び令和 6～7 年度の移植分を含みます。

表-3.5.1.1　移植したウミボッスの追跡調査結果の概要

移植先（移植時期）		平成30年												平成31年				令和元年								令和2年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前原～久志地先（平成29年度移植分）					○											○																					
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）																												○	○							
	（令和2～3年度移植分）																																				
	（令和3～4年度移植分）																																				
	（令和4～5年度移植分）																																				
	（令和5～6年度移植分）																																				
	（令和6～7年度移植分）																																				

移植先（移植時期）		令和3年												令和4年												令和5年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前原～久志地先（平成29年度移植分）				○	○	○									○	○	○	○									○	○	○	○	モニタリング終了						
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）		○	○	○	○									○	○	○	○									○	○	○	○							
	（令和2～3年度移植分）				○	○																															
	（令和3～4年度移植分）																○	○																			
	（令和4～5年度移植分）																												○	○							
	（令和5～6年度移植分）																																				
	（令和6～7年度移植分）																																				

移植先（移植時期）		令和6年												令和7年												令和8年		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前原～久志地先（平成29年度移植分）		モニタリング終了																										
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）																		モニタリング終了									
	（令和2～3年度移植分）		○	○	○	○																						
	（令和3～4年度移植分）														○	○	○	○										
	（令和4～5年度移植分）																										○	○
	（令和5～6年度移植分）																											
	（令和6～7年度移植分）																○	○										
	（令和7～8年度移植分）																											

注）1. 表中の凡例は以下のとおり。なお、調査の区分は、第２章表-2.5.1.1に準じます。

　　■：移植実施、■：追跡調査実施、○：ウミボッスを確認

2. 令和８年３月に計６個体の移植を実施していますが、令和７年度中には追跡調査を実施していません。

3. ウミボッス移植後２年目以降の追跡調査については、ウミボッスの生活史を考慮し、令和２年度より調査時期をウミボッスの繁茂期を含む２月から５月まで毎月１回に変更しています。

4. ウミボッス移植後の追跡調査期間は移植後５年間としていますが、ウミボッスの繁茂期を考慮し、５年目の２月（令和７年繁茂期①）及び３月（令和７年繁茂期②）に引き続き、６年目の４月（令和７年繁茂期③）及び５月（令和７年繁茂期④）に調査を実施しました。

3.5.2 生物相調査

(1) インベントリー調査（定性的調査）

インベントリー調査で対象としている海藻類、海草類及び底生動物について、全地点を調査季別に整理した経年の出現種数を表-3.5.2.1 に示します。また、各地点の生息生育環境の変化について検討するために、各種レッドデータブック等において生息生育環境の情報が多く整理されており、生物相の中でも出現傾向による環境変化を推定することが可能と考えられる「重要な種」に着目し、整理を行いました。調査回ごとの重要な種の出現種数を図-3.5.2.2 に、地点別の各年度の出現種数、重要な種の種数及び重要な種の出現状況を表-3.5.2.3 に示します。なお、これらの表及び図では、平成 19 年度夏季から平成 26 年度春季の出現種数は、令和 7 年度に調査を実施した 31 地点において出現した種類を集計対象としました。また、平成 29 年度春季から平成 30 年度春季における調査地点は少ないため、これらの時期の出現種数は参考として掲載しています。

工事中の令和 7 年度春季から冬季における海藻類、海草類及び底生動物の出現種数は、いずれの調査時期においても工事前における変動範囲内かそれ以上であり、大きな変化はみられませんでした。また、各地点の環境の変化をみるために地点別の各年度で出現する重要な種を比較した結果、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられませんでした。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-3.5.2.1　インベントリー調査の調査地点

1) 各地点における経年結果

平成 19 年度から平成 26 年度及び平成 29 年度から令和 7 年度に実施されたインベントリー調査の各地点における底生動物及び海藻草類の総計種数、並びにそれらの重要な種数の経年結果概要を表-3.5.2.2 に示します。

令和 7 年度に実施されたインベントリー調査で確認された種数は、工事前の変動範囲内かそれ以上であり、顕著な減少はみられず、また、重要な種も工事前から継続して確認される種が多いことから、生息生育環境に大きな変化は確認されませんでした。

2) 海域区分ごとの調査結果

各調査地点を海域で区分し[redacted]を嘉陽海域海岸部、[redacted]を大浦湾海域海岸部、[redacted]を久志・潟原海域海岸部、[redacted]を大浦湾海域海上部、[redacted]を久志・豊原海域海上部としました（図-3.5.2.1 参照）。そのうえで、各海域内の地点を相互に対照地点とみなし、海域ごとに重要な種の出現状況を整理し、工事前と工事中の比較を行いました。

底生動物及び海草類について、平成 19 年度から平成 26 年度及び平成 29 年度から令和 7 年度において、嘉陽海域海岸部では、3 地点で 112 種の重要な種が確認され、このうち 3 地点全てにおいて確認された重要な種は 18 種、2 地点以上で確認された重要な種は 56 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 56 種でした。大浦湾海域海岸部では、10 地点で 233 種の重要な種が確認され、このうち 10 地点全てにおいて確認された重要な種は 0 種、2 地点以上で確認された重要な種は 148 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 85 種でした。久志・潟原海域海岸部では、6 地点で 144 種の重要な種が確認され、このうち 6 地点全てにおいて確認された重要な種は 3 種、2 地点以上で確認された重要な種は 77 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 67 種でした。大浦湾海域海上部では、6 地点で 75 種の重要な種が確認され、このうち 6 地点全てにおいて確認された重要な種は 0 種、2 地点以上で確認された重要な種は 39 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 36 種でした。久志・豊原海域海上部では、6 地点で 118 種の重要な種が確認され、このうち 6 地点全てにおいて確認された重要な種は 28 種、2 地点以上で確認された種は 80 種、1 地点でのみ確認された種は 38 種でした。

海域内の調査地点間で共通して確認されている重要な種は工事前から工事中にかけて継続的に確認されており、各海域の生息生育環境に大きな変化は確認されませんでした。

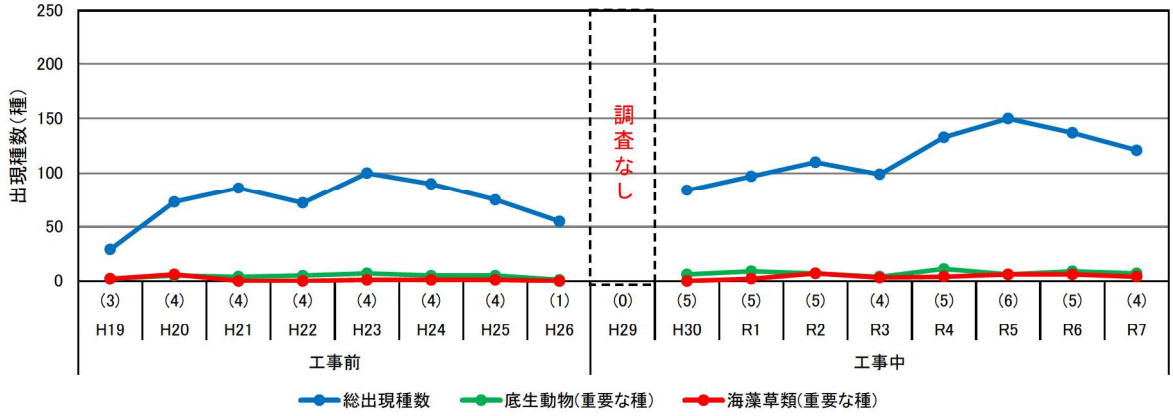
表-3.5.2.1　海藻類、海草及び底生動物の出現種数（インベントリー調査）

工事		工事前																												
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
調査地点数		25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
海藻類	出現種数（種）	89	104	107	142	116	99	122	126	99	107	123	57	96	103	114	140	106	110	124	131	98	117	120	124	84	118	115	147
	出現種数範囲	57～147																											
海草類	出現種数（種）	9	9	10	13	12	12	11	14	13	10	13	5	9	10	11	12	11	11	11	12	10	9	11	11	10	12	11	11
	出現種数範囲	5～14																											
底生動物	出現種数（種）	303	298	293	353	344	324	298	442	443	353	394	232	307	353	413	432	332	294	352	494	349	320	319	462	304	366	301	449
	出現種数範囲	248～544																											

工事		工事中																												
調査年度		H29				H30						R1					R2					R3				R4				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
調査地点数		1	2	15	19	21	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
海藻類	出現種数（種）	14	22	58	90	105	82	86	89	84	100	97	88	74	87	112	112	82	81	87	134	127	97	105	86	122	106	88	102	124
	出現種数範囲	14～105				74～134																								
海草類	出現種数（種）	0	1	7	9	9	9	9	8	8	9	10	10	9	8	10	9	8	10	9	11	10	8	9	8	9	9	9	9	9
	出現種数範囲	0～9				7～11																								
底生動物	出現種数（種）	34	93	235	392	360	311	328	379	364	363	364	361	354	314	200	347	353	396	325	330	403	344	308	333	375	408	395	396	350
	出現種数範囲	34～392				200～461																								

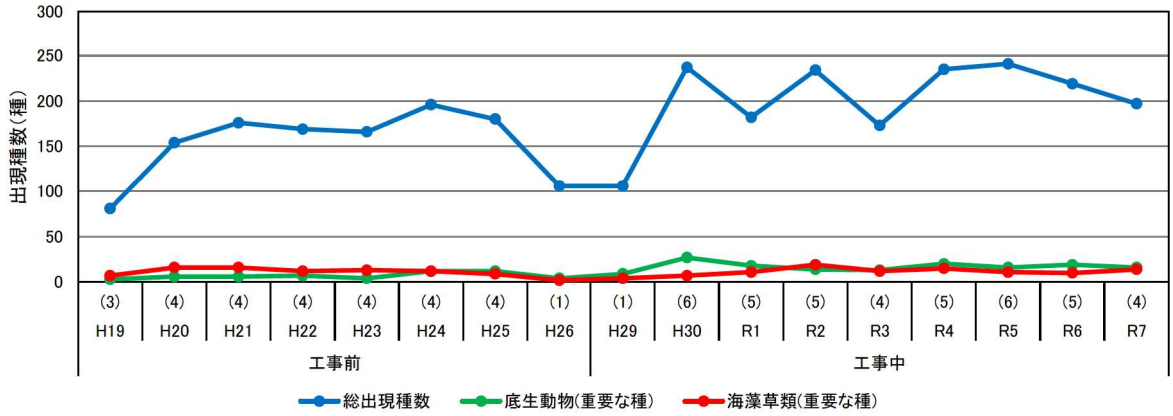
工事		工事中														
調査年度		R5						R6					R7			
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
調査地点数		25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	31	31	31	31
海藻類	出現種数（種）	118	112	80	85	87	111	114	88	88	93	107	118	98	93	119
	出現種数範囲	74～134														
海草類	出現種数（種）	9	9	8	8	8	9	8	9	8	9	7	9	10	10	9
	出現種数範囲	7～11														
底生動物	出現種数（種）	384	385	385	365	309	302	405	398	353	328	352	382	461	375	402
	出現種数範囲	200～461														

注）1. 本環境監視調査結果（令和 7 年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 平成 29 年度春季から平成 30 年度春季については調査地点数の関係から参考として掲載しており、工事中の出現種数範囲には含まれません。



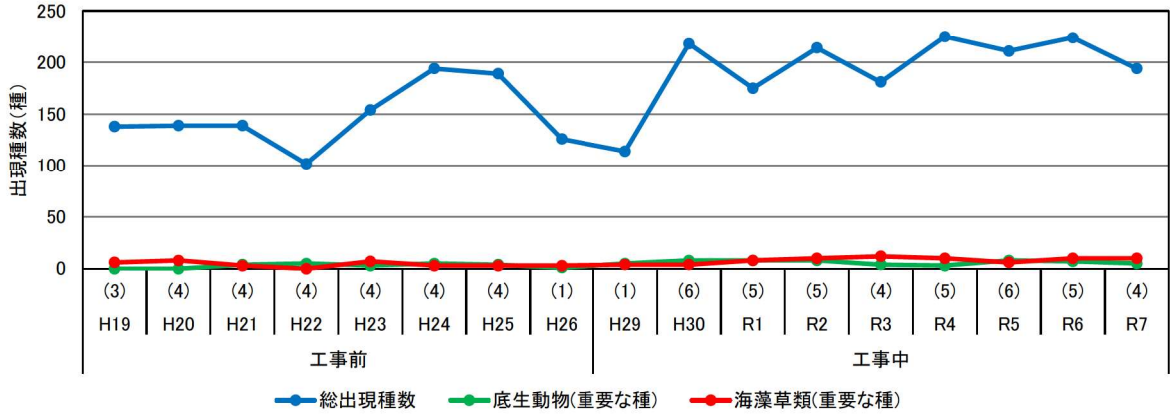
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(1)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



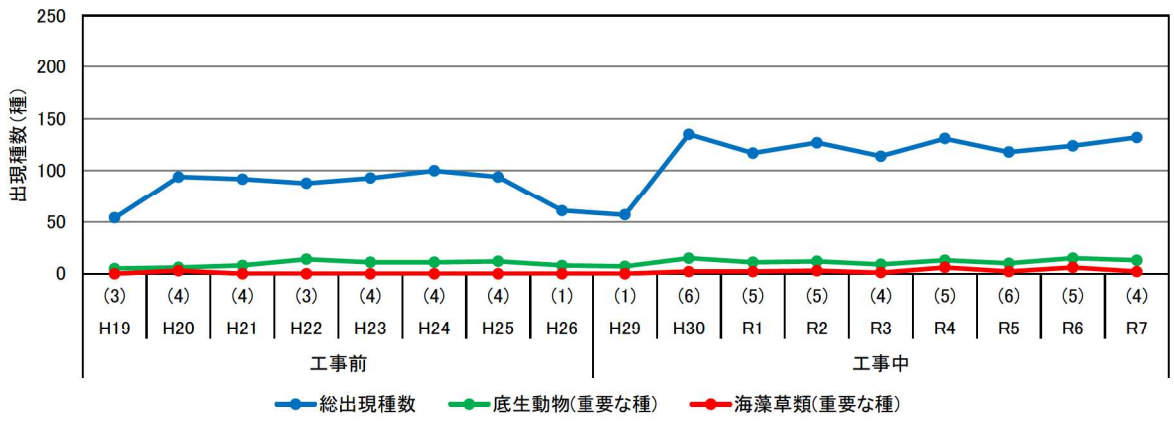
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(2)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



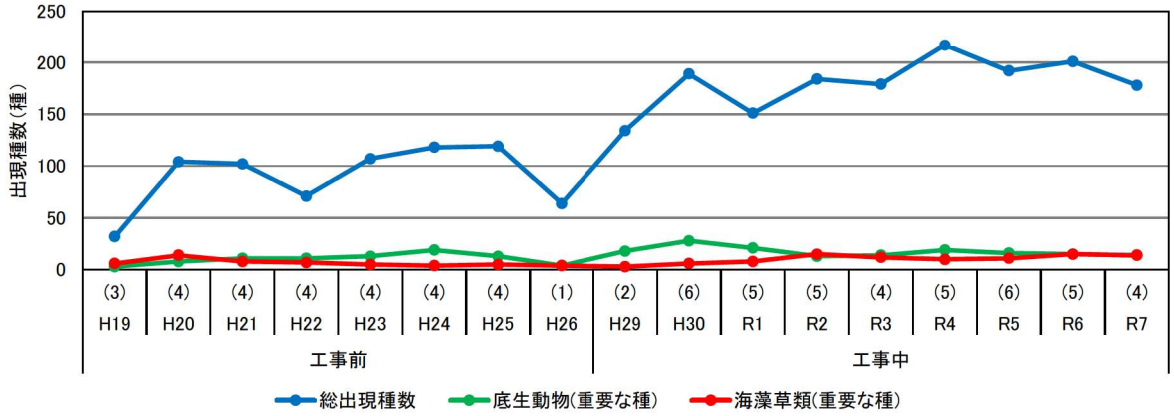
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(3)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



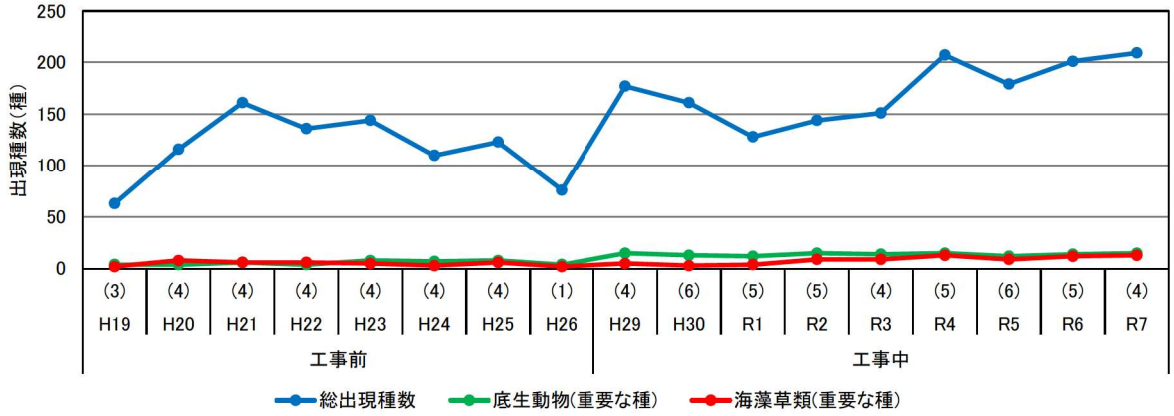
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(4)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



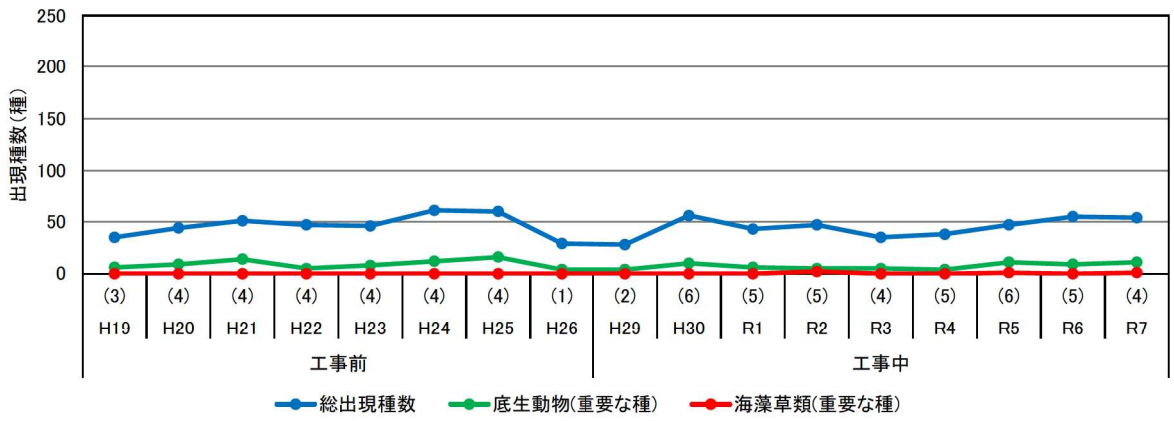
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(5)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



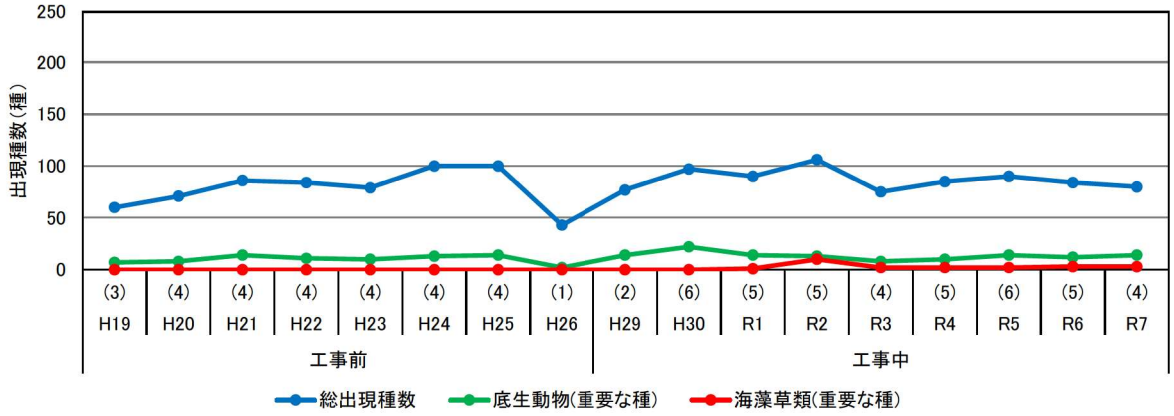
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(6)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



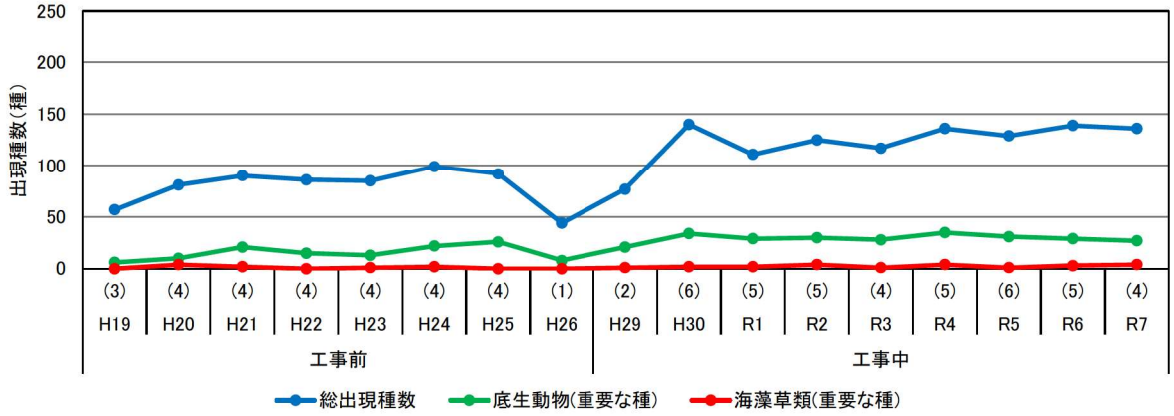
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(7)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



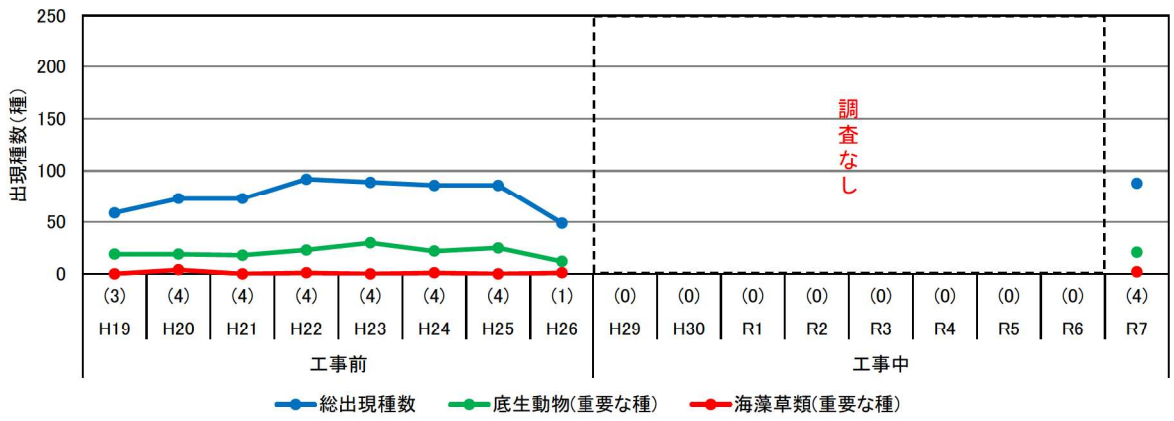
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(8)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



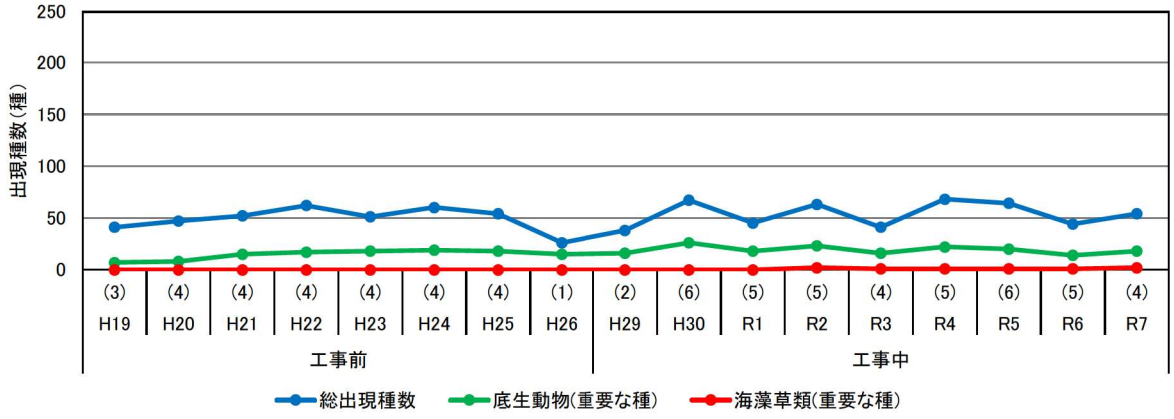
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(9)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



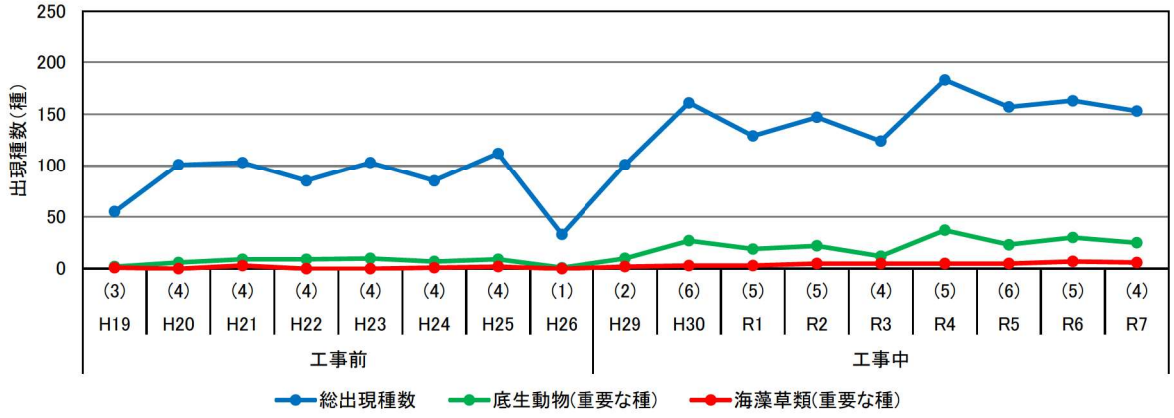
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(10)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



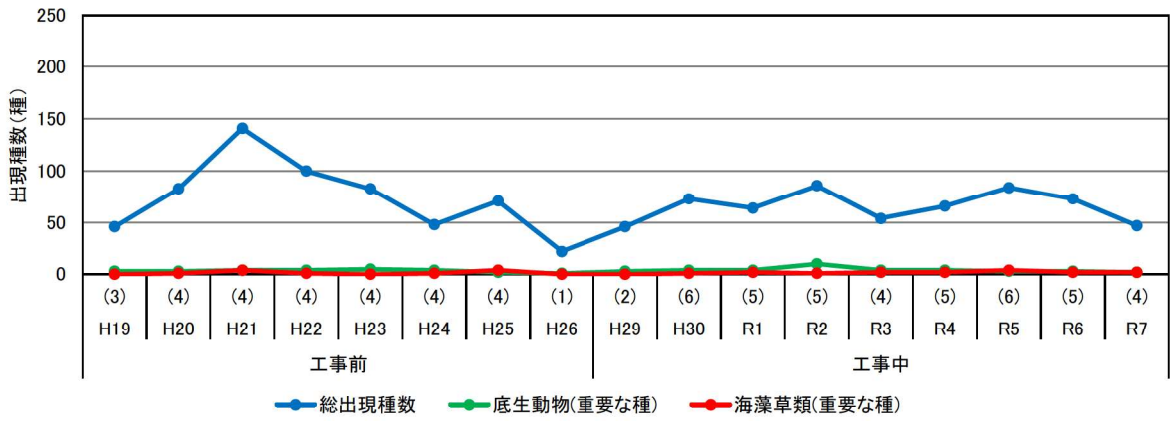
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(11)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



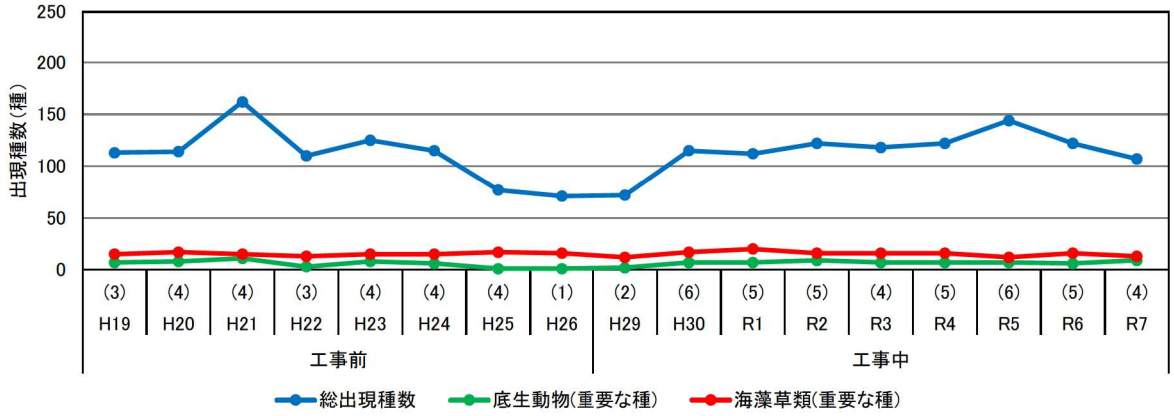
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(12)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



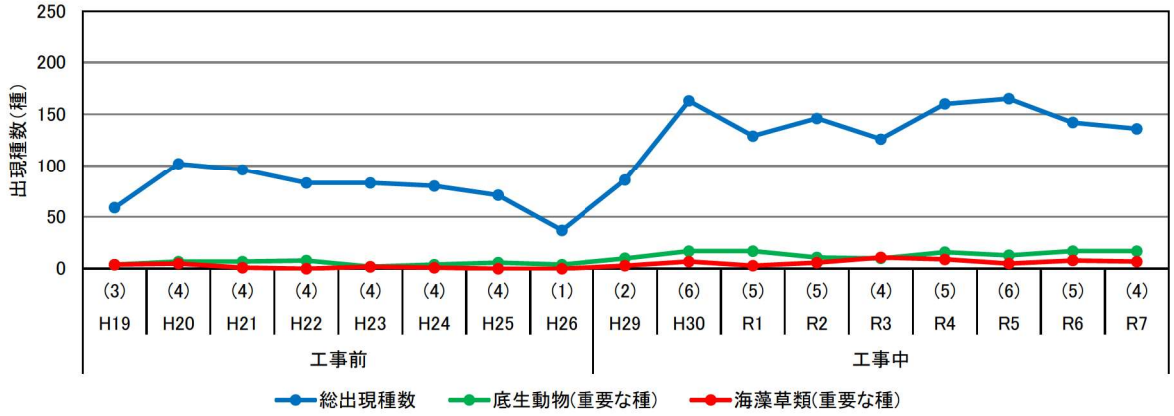
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(13)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



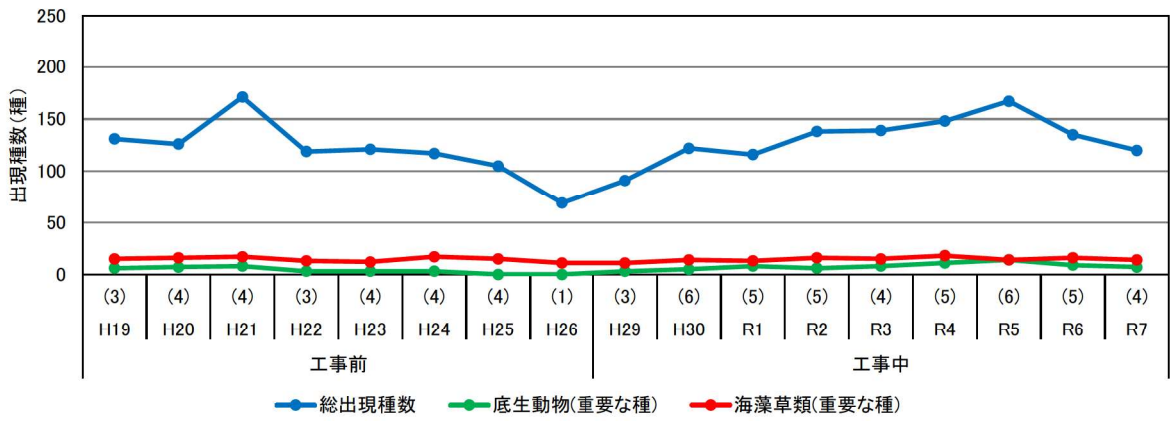
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(14)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



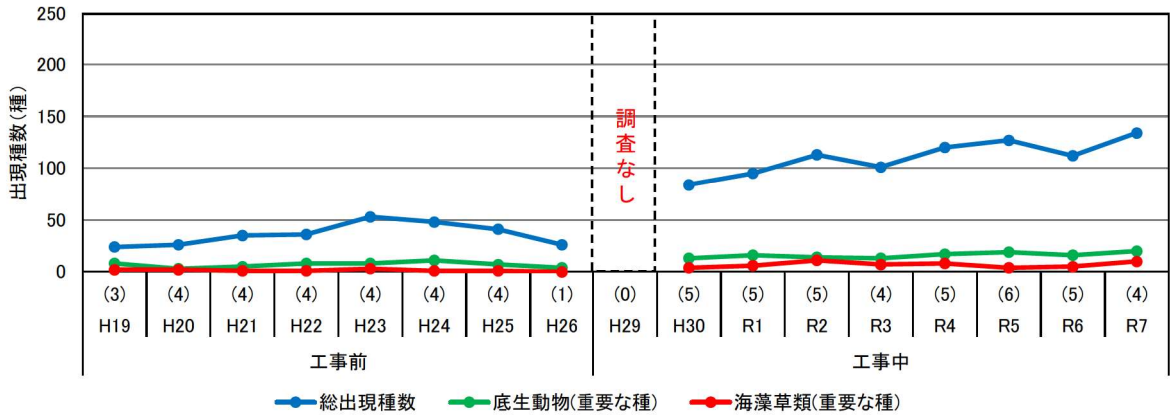
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(15)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



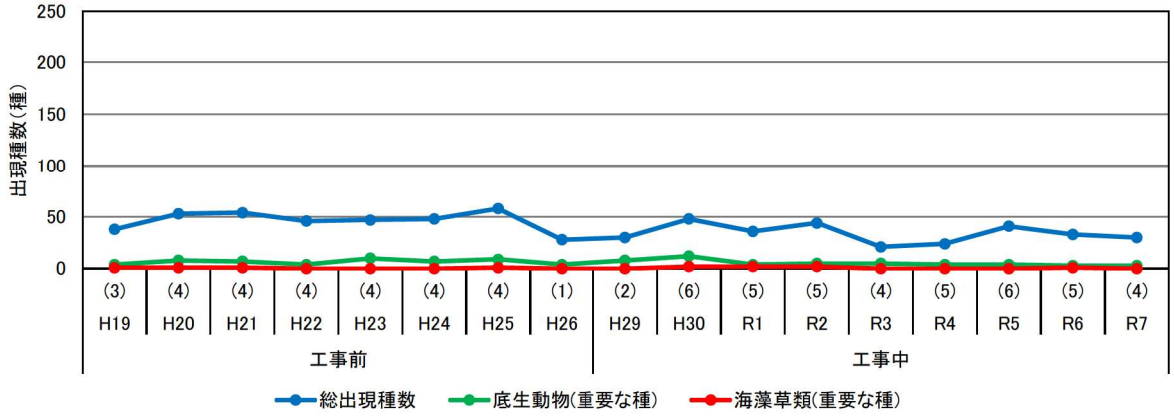
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(16)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



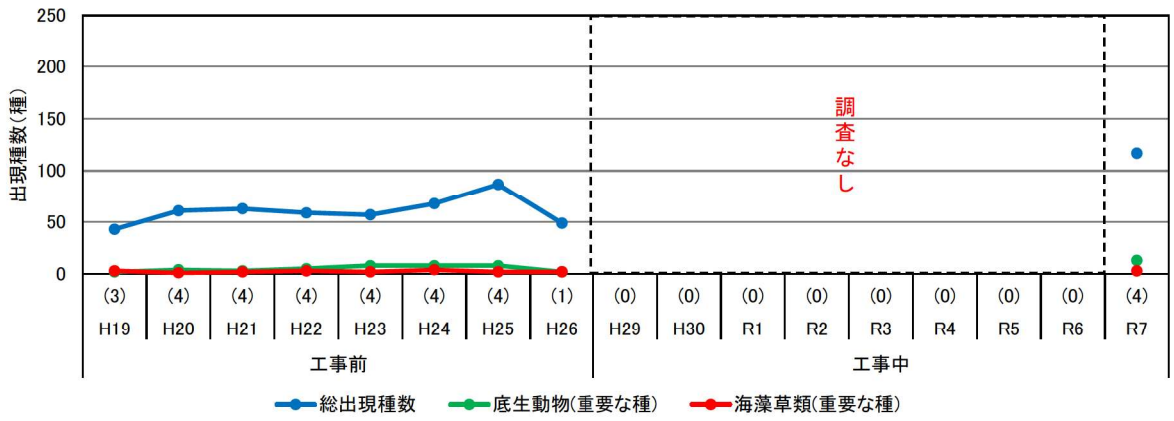
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(17)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



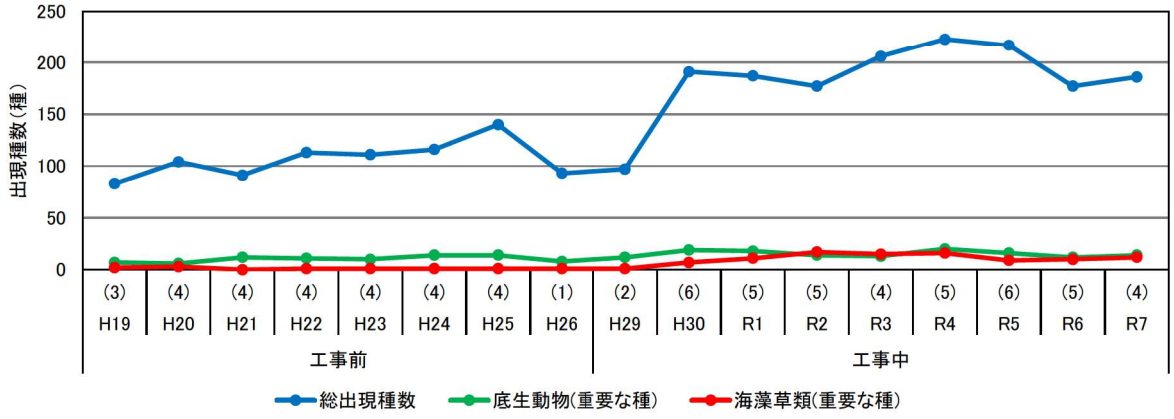
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(18)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



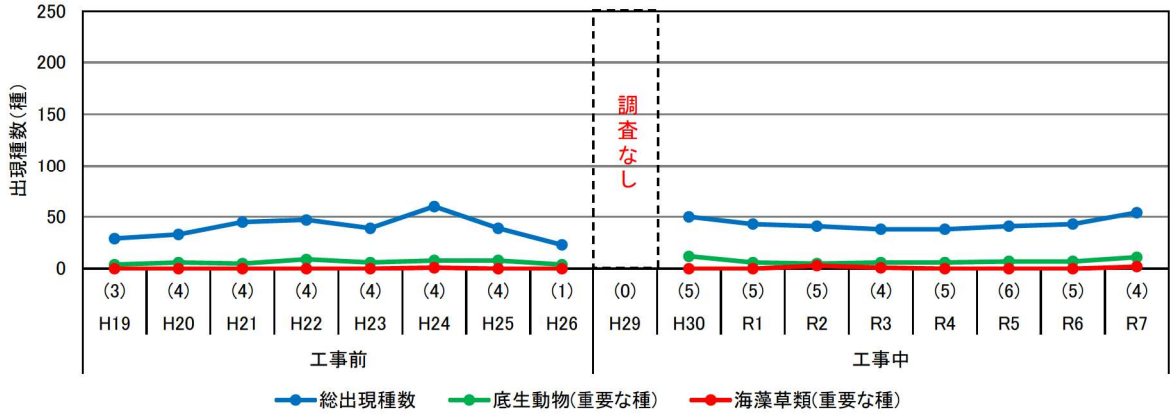
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(19)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



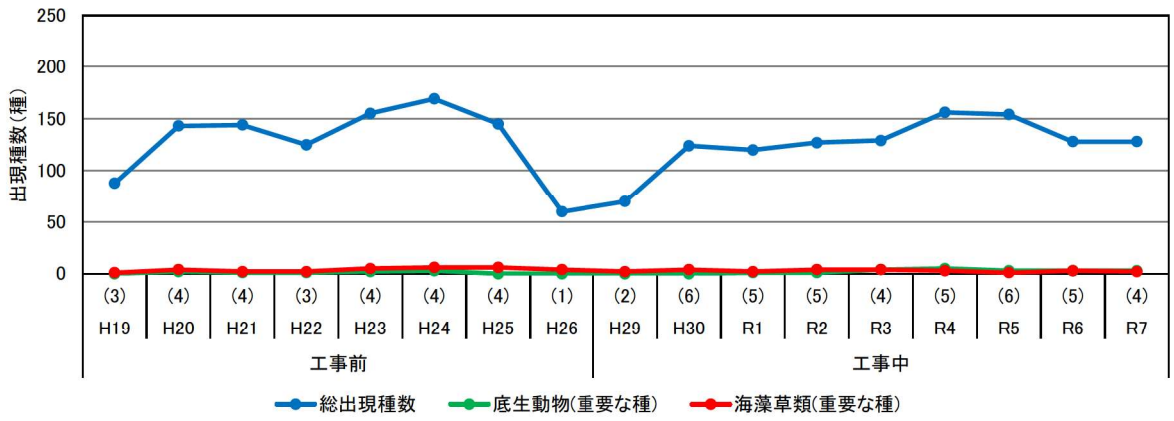
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(20)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



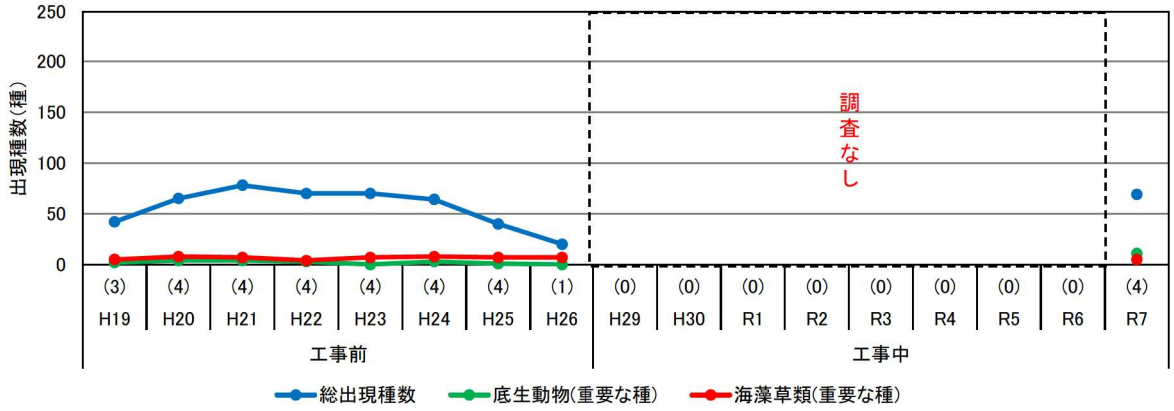
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(21)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



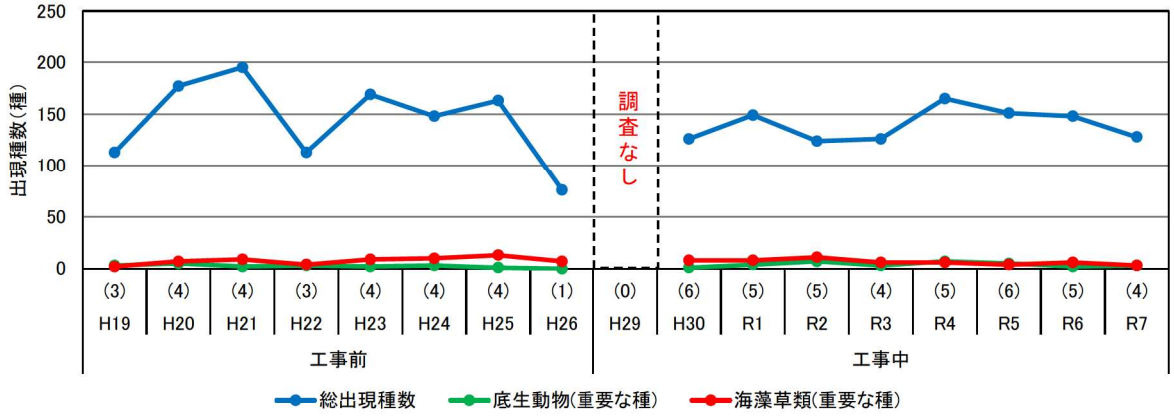
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(22)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



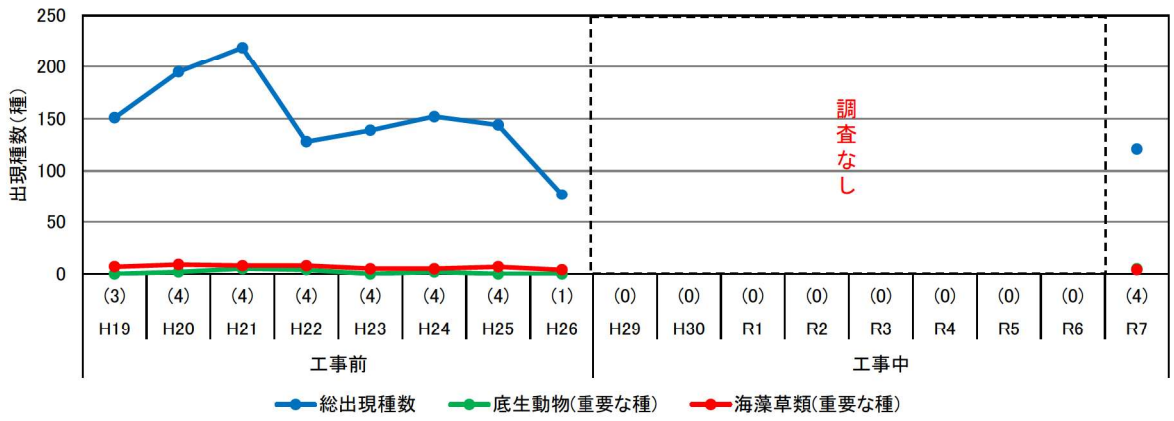
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(23)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



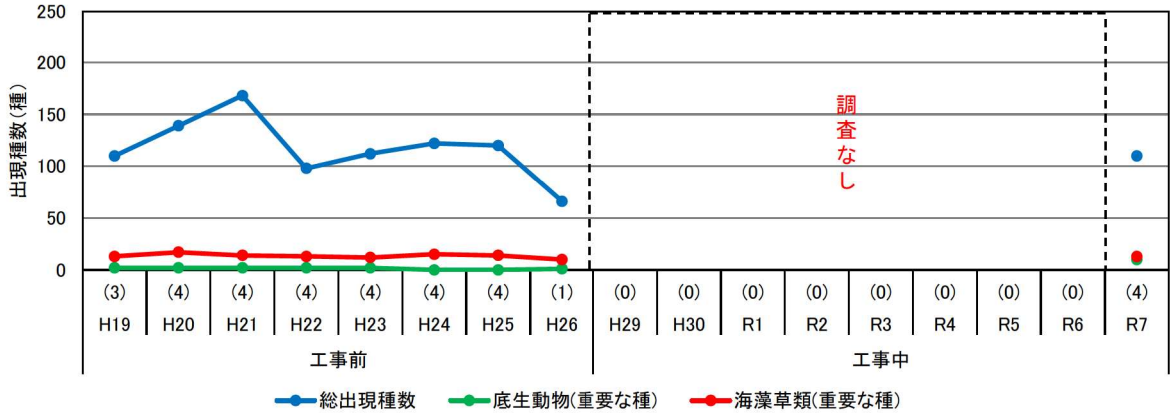
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(24)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



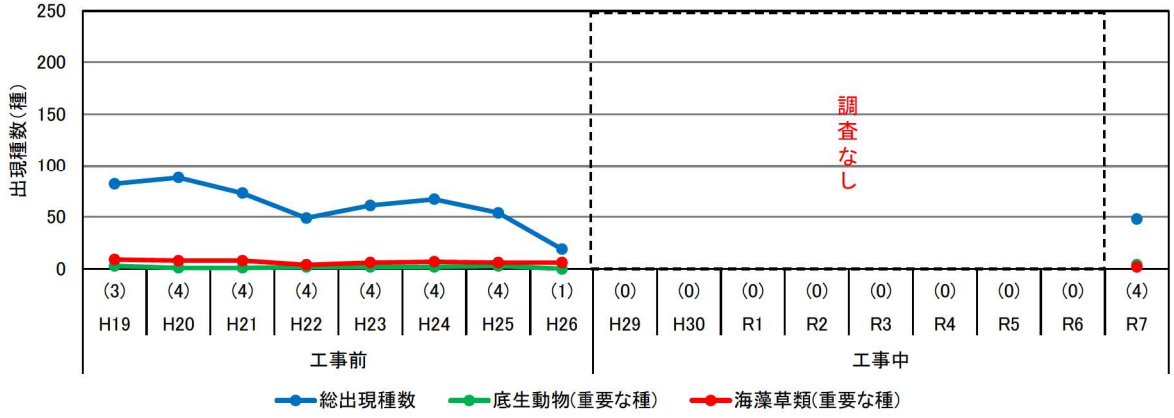
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(25)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



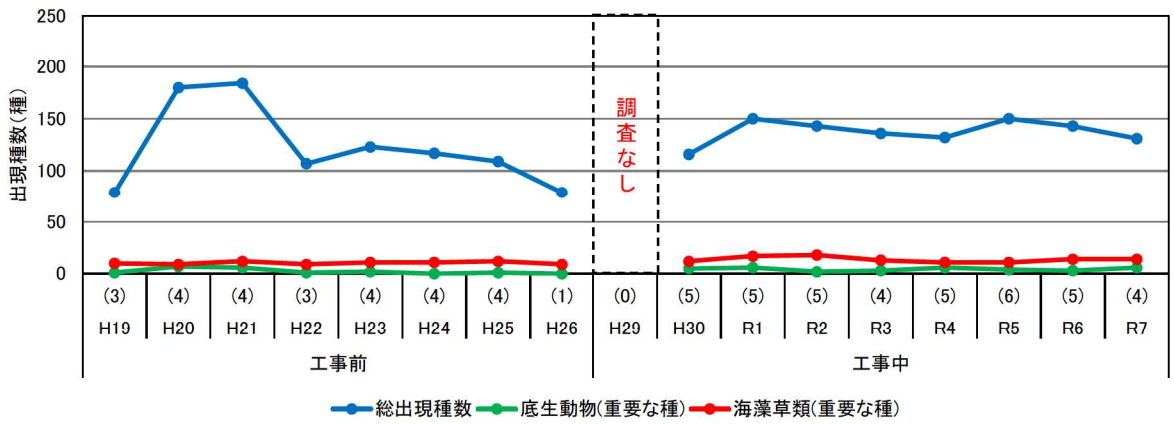
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(26)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



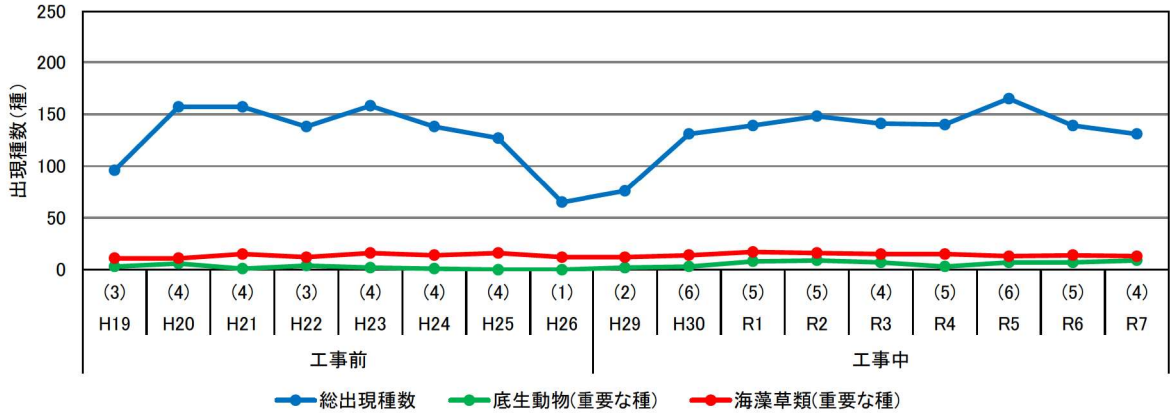
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(27)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



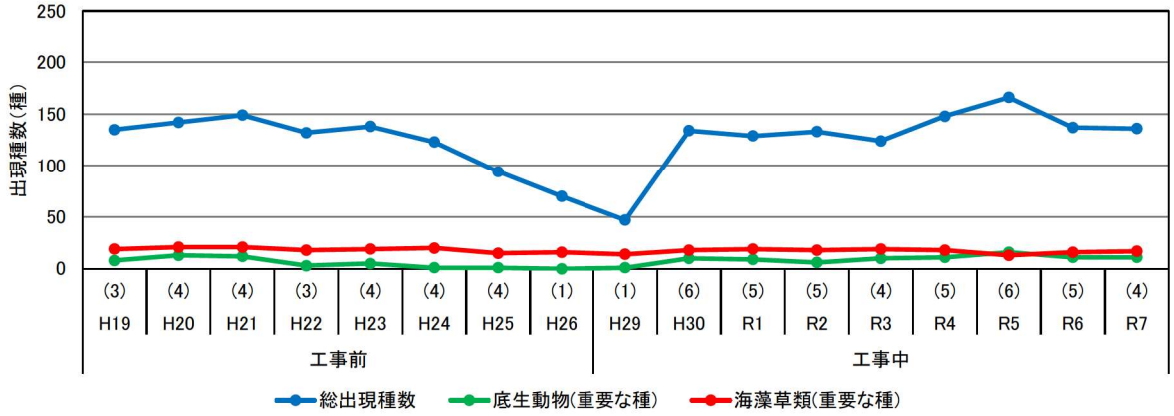
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(28)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



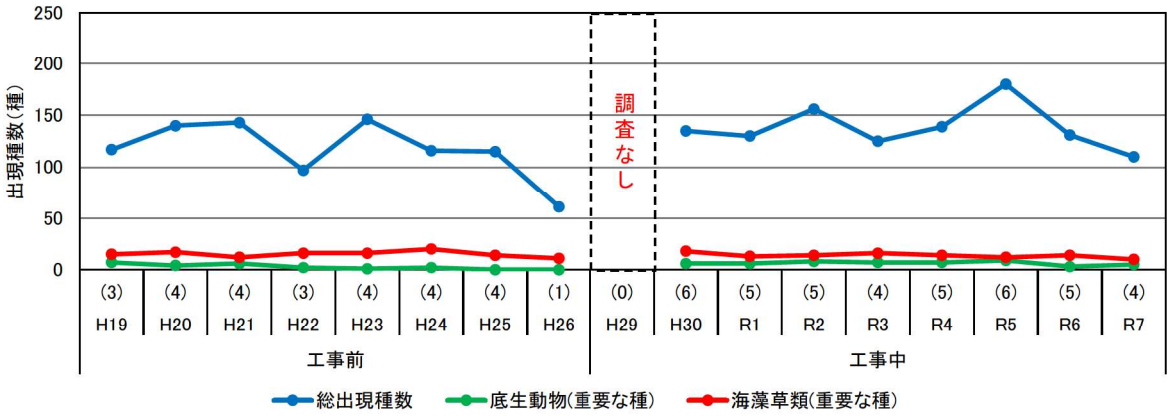
注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(29)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(30)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）



注）()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(31)　総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数（[redacted]）

表-3.5.2.2　インベントリー調査結果概要表

			[redacted]																					
			工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中
底生動物	総計種数（種）	最大値	90	107	161	210	169	180	89	119	108	165	124	149	58	54	96	91	93	132	87	79	59	63
		最小値	22	73	68	90	80	104	53	54	25	122	50	101	29	26	42	66	44	69	47	79	25	35
	重要な種数（種）	最大値	7	11	12	27	5	8	14	15	19	28	8	15	16	11	14	22	26	35	30	21	19	26
		最小値	1	4	3	9	0	3	5	7	3	13	4	12	4	4	2	8	6	21	12	21	7	14
海藻草類	総計種数（種）	最大値	22	43	47	67	43	73	16	30	45	62	40	62	5	6	6	33	13	16	9	2	4	7
		最小値	5	7	13	16	20	10	1	3	7	12	11	19	0	2	1	4	0	7	0	2	0	0
	重要な種数（種）	最大値	6	7	16	19	8	12	3	6	14	15	8	13	0	2	0	10	4	4	4	0	0	2
		最小値	0	0	2	4	0	4	0	0	4	3	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

			[redacted]																					
			工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中
底生動物	総計種数（種）	最大値	101	154	103	73	104	86	81	140	112	99	43	109	52	42	73	97	130	171	56	50	108	107
		最小値	33	91	22	33	28	22	33	72	29	41	18	70	27	19	31	97	77	86	23	33	26	33
	重要な種数（種）	最大値	10	37	5	10	11	9	8	17	8	14	11	20	10	12	8	13	14	20	9	12	3	5
		最小値	1	10	1	2	1	2	2	10	0	3	3	13	4	3	2	13	6	12	4	5	0	0
海藻草類	総計種数（種）	最大値	19	29	38	34	58	62	27	38	63	73	10	34	6	6	16	20	12	71	4	5	61	60
		最小値	0	10	0	4	43	50	4	14	40	50	0	14	1	1	8	20	5	11	0	0	25	37
	重要な種数（種）	最大値	3	7	4	4	17	20	5	11	17	18	3	11	1	2	4	3	3	17	1	3	6	4
		最小値	0	2	0	0	13	12	0	3	11	11	0	4	0	0	1	3	0	1	0	0	1	1

			[redacted]																	
			工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中
底生動物	総計種数（種）	最大値	60	59	137	98	153	67	103	56	59	31	129	80	110	97	85	99	100	103
		最小値	4	59	25	54	29	67	16	56	8	31	34	51	27	29	23	8	24	56
	重要な種数（種）	最大値	4	11	5	7	5	5	2	10	3	4	7	6	6	9	13	16	7	9
		最小値	0	11	0	1	0	5	0	10	0	4	0	2	0	2	0	1	0	3
海藻草類	総計種数（種）	最大値	31	10	69	72	66	54	71	54	32	17	59	80	63	74	68	71	65	79
		最小値	13	10	32	48	45	54	50	54	9	17	38	60	38	47	47	39	37	50
	重要な種数（種）	最大値	8	5	13	11	9	4	17	13	9	2	12	18	16	17	21	19	20	18
		最小値	4	5	2	3	4	4	10	13	4	2	9	11	11	12	15	13	11	10

注）調査回数が少なかった平成 26 年度は工事前の変動範囲から除いています。

表-3.5.2.3(1)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]															
		工事前								工事中							
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	22	51	78	67	90	79	68	50	調査なし	77	87	79	73	102	107	95	87
	重要な種数	2	5	4	5	7	5	5	1		6	9	7	4	11	6	9	7
	オオアマガイ		○	○	○			○							○			
	クサイロカノコ												○					
	カヤノミカニモリ		○												○			
	シチクガイ							○									○	○
	セワケハチミツガイ				○													
	スジホシムシヤドリガイ										○							
	リュウキュウナミノコ					○											○	○
	マスオガイ					○												
	イソハマグリ					○									○			○
	スジホシムシモドキ			○								○		○		○		
	スジホシムシモドキ属										○	○	○		○	○	○	○
	スジホシムシ					○						○			○	○	○	
	Sicyonella inermis							○										
	ブビエスナモグリ				○						○		○				○	○
	ムラサキオカヤドカリ	○									○							
	ナキオカヤドカリ	○	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	シロサンゴヤドカリ														○			
	マーグイヨコバサミ						○											
	キカイホシヤドカリ											○						
	オキナワヒライソガニ			○		○												
	トゲアシヒライソガニモドキ														○			
	ミナミヒライソモドキ		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	ヨツハヒライソモドキ					○	○					○	○		○		○	
	レンゲガニ											○						
	ムツハアリアケガニ		○															
	ヒメカクオサガニ						○					○	○	○	○	○	○	
海藻草類	出現種数	7	22	8	5	10	11	7	5		7	10	31	26	31	43	42	34
	重要な種数	2	6	0	0	1	1	1	0		0	2	7	3	4	6	6	4
	ニセウシケノリ															○		
	カモガシラノリ											○	○	○	○	○	○	
	ハイコナハダ												○				○	○
	ササバアヤギヌ												○				○	
	オオネダシグサ																○	
	イチイズタ												○		○			
	モツレチョウチン														○		○	○
	ヒロハサボテングサ		○											○				
	フササボテングサ											○	○	○	○	○		
	ウスガサネ	○															○	○
	カサノリ	○	○			○	○	○								○		
	リュウキュウスガモ		○															
	ウミヒルモ		○										○					
	ニラウミジグサ																	○
	ホソバウミジグサ		○													○		
	ベニアマモ		○										○			○		

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(2)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5	4
	出現種数	68	109	129	137	122	161	145	87	90	210	155	167	122	175	175	161	134
	重要な種数	3	6	6	7	4	12	12	4	9	27	18	14	13	20	16	19	16
	ヒメケハダヒザラガイ				○													
	タイワンキサゴ														○			
	ヤジリスカシガイ						○				○							
	オオアマガイ	○	○							○								
	クサイロカノコ			○			○	○			○							
	キンランカノコ			○														
	カヤノミカニモリ						○							○	○	○	○	
	オハグロガイ										○							
	フトスジムカシタモト																○	
	イガムシロ														○			
	ヨウラクレイシダマシ														○			
	シチクガイ																○	
	カヤノミガイ											○			○			○
	チビハマシイノミガイ											○						
	ホソスジヒバリガイ										○							
	チヂミウメノハナ									○								
	カブラツキガイ							○	○	○	○	○		○				
	ユンタクシジミ			○							○		○				○	
	スジホシムシヤドリガイ										○						○	
	イレズミザル												○				○	
	カワラガイ						○											
	オキナワヒシガイ				○			○		○	○			○				○
	リュウキュウアオイ														○			
	オミナエシハマグリ						○						○					
	オイノカガミ										○							
	リュウキュウアサリ																○	
	リュウキュウナミノコ														○	○	○	○
	ヒメニッコウガイ										○	○						
	コニッコウガイ															○		
底生動物	ナミノコザラ			○														
	ホシヤマナミノコザラ														○			
	ミガキヒメザラ						○				○							
	ミクニシボリザクラ										○							○
	ハスメザクラ										○				○			○
	ハスメヨシガイ																	○
	コキガイ											○						
	イソハマグリ		○												○	○	○	○
	スジホシムシモドキ							○								○		
	スジホシムシモドキ属										○	○	○				○	○
	スジホシムシ			○	○			○			○	○	○		○	○	○	○
	Sicyonella inermis				○			○				○			○	○		
	ブビエスナモグリ					○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
	モバホソスナモグリ						○											
	Neocallichirus calmani													○				○
	ノコバスナモグリ												○					
	オトヒメスナモグリ										○						○	
	コブシアナジャコ															○		
	オカヤドカリ										○	○						
	ムラサキオカヤドカリ	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オオウラムツアシガニ					○	○	○	○									
	ツノナシイボガザミ															○		
	ヤエヤマヒメオカガニ							○		○	○	○	○	○	○	○		
	ムラサキオカガニ													○				
	アカカクレイワガニ		○															
	イワトビベンケイガニ									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アシナガアカイソガニ											○						
	ヨツハヒライソモドキ										○	○					○	○
	レンゲガニ										○							
	ミナミヒライソモドキ									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒメカクオサガニ		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ルリマダラシオマネキ										○		○	○	○			

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(3)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5	4
海藻草類	出現種数	13	45	47	32	44	35	35	19	16	27	27	67	51	60	66	58	63
	重要な種数	7	16	16	12	13	12	9	2	4	7	11	19	12	15	11	10	14
	カモガシラノリ						○								○			
	ハイコナハダ													○	○	○		○
	ササバアヤギヌ													○	○	○		
	ツクシホウズキ														○			
	カヤモノリ			○		○							○					
	ヤバネモク		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		○	○
	カラクサモク																	○
	チュラシマモク										○							
	ウミフシナシミドロ												○			○	○	○
	ホソバロニア		○			○												
	ヒメフカミドリシオグサ																	○
	オオネダシグサ												○	○	○	○	○	○
	マガタマモ	○	○	○	○							○	○	○				
	コテングノハウチワ				○		○	○										
	テングノハウチワ		○															
	モツレチョウチン																○	○
	ヒロハサボテングサ			○									○					
	フササボテングサ			○	○	○	○	○					○			○	○	○
	ナガミズタマ		○	○		○												
	ウスガサネ		○		○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
	カサノリ		○	○	○	○	○			○			○		○			○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オオウミヒルモ		○	○									○	○	○			
	ヒメウミヒルモ											○	○			○		
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○			
	ホソバウミジグサ		○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○				
	ベニアマモ	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウアマモ	○	○	○	○		○	○					○					
	ボウバアマモ		○	○								○	○		○			

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(4)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	105	96	105	80	130	167	169	99	104	180	139	147	119	152	143	161	126
	重要な種数	0	0	4	5	3	5	4	1	5	8	8	8	4	3	8	7	5
	カヤノミカニモリ															○	○	
	ヨウラクレイシダマシ											○						
	ホソハマシイノミガイ										○	○						
	セワケハチミツガイ										○				○	○		○
	ユンタクシジミ																○	
	スジホシムシヤドリガイ												○				○	○
	イレズミザル												○					
	ネコジタザラ											○	○					
	ミクニシボリザクラ							○										
	ハスメザクラ									○								
	スジホシムシモドキ															○		
	アマミスジホシムシモドキ				○													
	スジホシムシモドキ属									○	○	○	○			○	○	○
	スジホシムシ												○			○	○	○
	モバホソスナモグリ						○			○								
	オカヤドカリ				○						○							
	ムラサキオカヤドカリ			○	○	○		○										
	ナキオカヤドカリ			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
	シロサンゴヤドカリ											○		○		○		
	ヤエヤマヒメオカガニ						○			○	○		○	○				
	アカカクレイワガニ			○														
	イワトビベンケイガニ									○								
	アシナガアカイソガニ			○	○	○	○	○			○	○						
	ヒメカクオサガニ						○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
海藻草類	出現種数	33	43	34	22	24	27	20	27	10	38	36	67	62	73	68	63	68
	重要な種数	6	8	3	0	7	3	3	3	4	4	8	10	12	10	6	10	10
	カモガシラノリ					○								○				
	ハイコナハダ												○	○	○	○		○
	ケコナハダ													○	○			
	ヌルハダ		○															
	ササバアヤギヌ													○	○	○		○
	ツクシホウズキ																○	
	ヤバネモク	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○		○	○
	カラクサモク													○	○		○	○
	コバモク	○				○												
	キシュウモク										○	○	○					
	チュラシマモク	○										○	○			○		○
	ホソバロニア								○									
	オオネダシグサ												○	○	○	○	○	○
	マガタマモ	○	○	○								○	○		○		○	○
	ヒメミドリゲ																○	
	イチイズタ																○	
	モツレチョウチン												○	○	○		○	○
	フササボテングサ															○		
	ナガミズタマ		○	○		○					○	○	○	○	○	○	○	○
	ウスガサネ	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	カサノリ		○			○						○		○				
	リュウキュウスガモ	○	○			○	○	○		○		○	○	○				
	マツバウミジグサ									○								
	ベニアマモ		○			○		○										
	リュウキュウアマモ						○											

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(5)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	53	78	82	81	87	89	87	58	54	119	103	97	95	103	94	98	113
	重要な種数	5	6	8	14	11	11	12	8	7	15	11	12	9	13	10	15	13
	オオアマガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○					
	レモンカノコ																○	
	ヌノメミヤコドリ										○							
	ミヤコドリ														○			
	コゲツノブエ																○	
	カヤノミカニモリ		○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○
	イロタマキビ														○			
	アンパルクチキレ																	○
	カブラツキガイ										○						○	
	セワケハチミツガイ	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○		○	○
	ユンタクシジミ																○	
	スジホシムシヤドリガイ				○	○								○				
	ハザクラ				○		○											
	マスオガイ														○	○	○	○
	クチバガイ							○										
	スジホシムシモドキ		○	○				○										
	スジホシムシモドキ属										○	○	○	○		○	○	○
	スジホシムシ					○						○				○	○	
	ブビエスナモグリ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Neocallichirus calmani										○		○					
	オオヒロバカニダマシ										○							
	オカヤドカリ											○	○					
	ムラサキオカヤドカリ	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	マルテツノヤドカリ						○								○			
	オオウラムツアシガニ							○										
	アマミマメコブシガニ						○		○									○
	イリオモテマメコブシガニ														○			○
	ヤエヤマヒメオカガニ										○							
	イワトビベンケイガニ				○						○						○	
	アシナガアカイソガニ				○	○	○	○	○	○		○	○					
	オキナワヒライソガニ				○													
	ミナミアシハラガニ				○													
	コウビロヒライソモドキ									○								
	ヨツハヒライソモドキ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	レンゲガニ																○	
	ヒメアカイソモドキ									○								
	ミナミヒライソモドキ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒメカクオサガニ			○	○			○			○	○	○		○	○		○
海藻草類	出現種数	1	16	10	7	6	11	7	3	3	16	14	30	19	28	24	26	19
	重要な種数	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	1	6	2	6	2
	カモガシラノリ														○			
	ハイコナハダ														○			
	ヌルハダ		○															
	ササバアヤギヌ		○												○	○	○	○
	ヤバネモク												○					
	キシュウモク		○								○							
	ウミフシナシミドロ											○	○		○			
	オオネダシグサ														○		○	
	ヒメミドリゲ																○	
	モツレチョウチン																○	
	フササボテングサ																○	
	ウスガサネ										○	○	○	○	○	○	○	○

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(6)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
	出現種数	25	59	74	47	87	105	108	53	122	165	130	131	127	159	138	139	123
	重要な種数	3	8	11	11	13	19	13	4	18	28	21	13	14	19	16	15	14
底生動物	ヒメケハダヒザラガイ					○												
	カヤノミカニモリ		○	○			○			○	○		○		○		○	
	オハグロガイ										○							
	ヨウラクレイシダマシ														○			
	ヤタテガイ									○								
	ミノムシガイ											○						
	コトツブ						○									○	○	
	シチクガイ										○							
	アンパルクチキレ																	○
	リュウキュウサルボウ			○	○			○										
	サンゴガキ							○										
	ウミギク										○							
	オオツヤウロコガイ							○										○
	オサガニヤドリガイ											○						
	ユンタクシジミ										○	○						○
	スジホシムシヤドリガイ									○					○			
	イレズミザル														○			
	カワラガイ													○				
	オキナワヒシガイ													○	○	○	○	
	チリメンカノコアサリ										○							
	ガンギハマグリ																	○
	オミナエシハマグリ									○					○			
	ナミノコガイ	○	○	○		○	○											○
	リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○
	キュウシュウナミノコ						○				○							
	ヒワズウネイチョウ			○														
	ナミノコザラ											○						
	ホシヤマナミノコザラ		○	○	○	○	○			○	○		○		○			
	ウラキヒメザラ				○						○			○				
	ミガキヒメザラ						○	○		○		○	○	○	○	○		
	ミクニシボリザクラ									○								
	ハスメザクラ										○				○		○	
	オガタザクラ		○	○		○	○									○		
	ホソバラフマテガイ										○							○
	ナガタママキ						○	○	○	○		○						
	トウカイタママキ				○	○	○		○		○							
	オトメタママキ				○		○	○			○	○						
	イソハマグリ				○	○	○	○				○	○			○	○	○
	スジホシムシモドキ									○								
	スジホシムシモドキ属													○	○	○	○	
	スジホシムシ		○			○		○		○	○	○		○	○	○		○
	メナガオサガニハサミエボシ											○						
	Sicyonella inermis							○			○							
	ブビエスナモグリ			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	モバホソスナモグリ										○							
	Neocallichirus calmani						○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	オカヤドカリ										○							
	ムラサキオカヤドカリ						○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マーグイヨコバサミ									○		○						○
	マルテツノヤドカリ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	テナガツノヤドカリ		○	○														
	キカイホンヤドカリ									○								
	オオウラムツアシガニ				○	○	○	○	○						○			
	アマミマメコブシガニ											○					○	
	ツノナシイボガザミ										○							
	イワトビベンケイガニ										○							
	オキナワヒライソガニ															○		
	ヨツハヒライソモドキ					○												
	ミナミヒライソモドキ			○							○	○	○	○		○	○	
	ヒメカクオサガニ				○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
	メナガオサガニ										○	○	○					
	ルリマダラシオマネキ											○						

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(7)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
	出現種数	7	45	28	24	20	13	11	11	12	24	21	53	52	58	54	62	55
	重要な種数	6	14	8	7	5	4	5	4	3	6	8	15	12	10	11	15	14
	カモガシラノリ												○	○	○	○	○	○
	ハイコナハダ									○			○	○	○	○	○	○
	ナンカイオゴノリ															○		
	ササバアヤギヌ														○	○		○
	ツクシホウズキ																○	
	ヤバネモク		○										○	○			○	○
	キシュウモク											○		○		○	○	
	ウミフシナシミドロ											○	○	○	○		○	○
	オオネダシグサ														○		○	
	キザミズタ		○															
	コテングノハウチワ										○		○					
	モツレチョウチン																○	○
海藻草類	ヒロハサボテングサ		○									○						
	フササボテングサ				○								○	○	○	○	○	○
	ウスガサネ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソエガサ															○		
	カサノリ			○	○	○		○	○		○	○	○	○		○		○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○	○
	オオウミヒルモ		○										○					
	ホソウミヒルモ			○														
	コアマモ		○															
	ニラウミジグサ	○	○	○	○							○		○	○			
	ホソバウミジグサ		○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○	
	ベニアマモ	○	○															
	リュウキュウアマモ	○	○	○									○				○	○
	ボウバアマモ		○										○					○

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(8)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	4	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	50	76	124	102	117	92	91	65	149	141	109	101	108	146	120	147	147
	重要な種数	4	4	6	4	8	7	8	4	15	13	12	15	14	15	12	14	15
	ヒメケハダヒザラガイ			○				○						○				
	オオアマガイ	○				○		○		○	○							
	カヤノミカニモリ								○		○				○		○	○
	ヤタテガイ			○														
	シチクガイ																	○
	ホソタマゴガイ																	○
	ホソハマシイノミガイ											○						
	クログチ		○			○												
	サンゴガキ									○								
	セワケハチミツガイ					○				○							○	○
	オキナワヒシガイ																○	
	ナミノコガイ	○	○	○	○		○			○	○							○
	リュウキュウナミノコ		○	○	○		○	○		○		○	○	○		○	○	○
	キュウシュウナミノコ										○		○	○	○			
	ナミノコザラ											○			○	○		
	ホシヤマナミノコザラ										○		○	○	○	○		
	リュウキュウクサビザラ														○			
	ウラキヒメザラ													○				
	ミガキヒメザラ											○	○	○	○			
	アシベマスオ												○					
	ナガタママキ										○	○	○	○	○			
	トウカイタママキ														○			
	オトメタママキ														○			
	イソハマグリ												○					○
	スジホシムシモドキ									○								
	スジホシムシモドキ属													○			○	
	スジホシムシ										○					○		
	Sicyonella inermis											○	○	○			○	○
	ブビエスナモグリ								○	○	○		○	○	○	○	○	
	Neocallichirus calmani									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ムラサキオカヤドカリ	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	シロサンゴヤドカリ																	○
	マルテツノヤドカリ									○							○	○
	ヤエヤマヒメオカガニ									○	○	○	○					
	マルガオベンケイガニ					○												
	イワトビベンケイガニ						○	○		○		○	○	○	○	○	○	
	アシナガアカイソガニ				○	○	○									○		
	オキナワヒライソガニ					○											○	
	ヨツハヒライソモドキ						○	○								○		
	レンゲガニ							○										
	ミナミヒライソモドキ									○							○	○
	ヒメカクオサガニ			○		○				○	○	○	○		○	○		○
海藻草類	出現種数	13	40	37	34	27	18	32	11	28	20	19	43	43	61	59	54	62
	重要な種数	2	8	6	6	5	3	6	2	5	3	4	9	9	13	9	12	13
	カモガシラノリ		○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	ハイコナハダ			○						○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アケボノモズク				○													
	ヌルハダ		○	○														
	カタオゴノリ															○		○
	ナンカイオゴノリ																○	
	ササバアヤギヌ														○	○	○	○
	ツクシホウズキ		○				○							○	○	○	○	○
	カヤモノリ					○												
	ヤバネモク	○	○	○				○		○				○	○	○	○	○
	コバモク					○												
	キシュウモク		○							○								○
	チュラシマモク		○														○	
	ウミフシナシミドロ												○		○		○	○
	ホソバロニア				○													
	オオネダシグサ												○		○	○		○
	マガタマモ																○	
	ヒメミドリゲ													○				
	クビレズタ														○			
	キザミズタ							○										
	イチイズタ							○										
	モツレチョウチン												○	○	○	○	○	○
	ヒロハサボテングサ			○								○	○					
	フササボテングサ				○								○	○	○			○
	ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カサノリ		○		○	○		○	○			○	○	○	○		○	
	ウミヒルモ																	○
	ホソバウミジグサ														○			

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(9)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	34	41	46	44	43	58	55	29	26	54	41	41	33	36	42	50	51
	重要な種数	6	9	14	5	8	12	16	4	4	10	6	5	5	4	11	9	11
	オオアマガイ							○										
	ツバサカノコ（ヒロクチカノコ沖縄型）			○														
	ミヤコドリ		○	○														
	コゲツノブエ			○														
	カヤノミカニモリ																	○
	ヘナタリ		○	○														
	マドモチウミニナ	○		○			○											
	オイランカワザンショウ									○								
	アンパルクチキレ							○			○					○		○
	クロヒラシイノミガイ			○														
	ホソハマシイノミガイ			○														
	クログチ		○	○				○										
	チヂミウメノハナ																	○
	タガソデモドキ									○								
	スダレハマグリ																	○
	ハナグモリ																○	
	ナミノコガイ		○	○			○	○			○							
	リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キュウシュウナミノコ														○			
	ヘラサギガイ											○						
	ミクニシボリザクラ															○		
	ハスメザクラ															○		
	トガリユウシオガイ	○																
	リュウキュウザクラ	○						○			○							
	ハザクラ		○			○	○	○										
	マスオガイ						○											
	アシベマスオ	○	○		○	○	○	○	○		○		○	○		○	○	○
	イソハマグリ				○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	クチバガイ						○											
	クシケマスオ							○										
	ブビエスナモグリ															○		
	コブシアナジャコ				○													
	オカヤドカリ										○							
	ムラサキオカヤドカリ			○			○				○							
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	コムラサキオカヤドカリ																	○
	ワカクサヨコバサミ							○									○	
	マルテツノヤドカリ							○	○									
	アマミマメコブシガニ																	○
	イリオモテマメコブシガニ					○		○										
	ツノナシイボガザミ															○	○	
	オキナワヒライソガニ		○	○		○	○	○			○		○			○	○	○
	コウナガイワガニモドキ						○					○						
	ミナミアシハラガニ					○												
	ヒメヒライソモドキ											○					○	
	トリウミアカイソモドキ							○						○				
	ヒラモクズガニ			○														
	チゴイワガニ															○		
	ルリマダラシオマネキ						○											
海藻草類	出現種数	1	3	5	3	3	3	5	0	2	2	2	6	2	2	5	5	3
	重要な種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1
	ササバアヤギヌ												○			○		
	ウミフシナシミドロ																	○
	オオネダシグサ												○					

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(10)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]															
		工事前								工事中							
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
	出現種数	56	67	80	78	74	96	96	42	72	91	86	73	66	78	81	73	71
	重要な種数	7	8	14	11	10	13	14	2	14	22	14	13	8	10	14	12	14
底生動物	オオアマガイ			○		○	○	○										
	ニセヒロクチカノコ			○	○													
	ミヤコドリ										○							
	コゲツノブエ						○											
	カヤノミカニモリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○				○			
	オハグロガイ							○										
	ハブタエヤキモリ										○							
	リュウキュウムシロ					○												
	アンパルクチキレ															○		○
	ドロアワモチ									○								
	ゴマセンベイアワモチ			○														
	ヘソアキコミミガイ													○		○	○	○
	クログチ		○		○													
	Diplodonta sp.B										○							○
	セワケハチミツガイ										○	○						
	スジホシムシヤドリガイ												○					
	ホシムシアケボノガイ														○			
	イオウハマグリ			○														
	ヤエヤマスダレ		○		○	○	○	○		○		○						
	スダレハマグリ			○							○					○		○
	ハナグモリ															○		
	ナミノコガイ	○						○										
	リュウキュウナミノコ	○				○	○	○		○			○	○	○	○	○	○
	キュウシュウナミノコ														○			
	リュウキュウサラガイ										○							
	ヒメニッコウガイ														○			
	ヌノメイチョウシラトリ			○														
	ホシヤマナミノコザラ														○			
	トガリユウシオガイ																	○
	ハザクラ						○	○			○							
	マスオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	アシベマスオ			○		○	○	○									○	○
	ユキガイ										○							
	イソハマグリ															○		
	クチバガイ											○				○		○
	スジホシムシモドキ			○	○			○										
	アマミスジホシムシモドキ		○					○	○									
	スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スジホシムシ		○	○							○		○					
	ブビエスナモグリ			○						○	○	○	○					
	コブシアナジャコ				○													
	オオトロバカニダマシ									○								
	ムラサキオカヤドカリ							○										
	ナキオカヤドカリ						○				○	○	○	○	○	○	○	○
	ワカクサヨコバサミ					○	○					○	○					
	オキナワヤワラガニ						○	○			○			○				
	マンガルマメコブシガニ																○	
	アマミマメコブシガニ		○		○						○					○	○	
	イリオモテマメコブシガニ					○							○					○
	ツノナシイボガザミ										○	○				○	○	○
	フジテガニ										○						○	
	オキナワヒライソガニ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コウナガイワガニモドキ	○								○	○	○		○		○		
	ヒメヒライソモドキ	○																
	レンゲガニ												○					
	トリウミアカイソモドキ									○	○	○			○			
	ミナミヒライソモドキ				○					○	○		○	○		○	○	○
	ヒラモクズガニ						○											
	ハサミカクレガニ											○						
	ヒメカクオサガニ									○							○	
	メナガオサガニ			○	○													
	ルリマダラシオマネキ									○		○	○					

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(11)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
海藻草類	出現種数	4	4	6	6	5	4	4	1	5	6	4	33	9	7	9	11	9
	重要な種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	2	2	2	3	3
	カモガシラノリ												○					
	ハイコナハダ												○					
	フクロフノリ												○					
	ササバアヤギヌ											○	○	○	○	○	○	○
	ヤバネモク												○					
	ウミフシナシミドロ												○				○	○
	オオネダシグサ												○	○	○	○		○
	フササボテングサ												○					
	ウスガサネ												○					
	カサノリ												○					
	ヒメウミヒルモ																○	

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(12)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]															
		工事前								工事中							
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	55	68	84	81	80	93	86	44	69	132	104	112	107	120	114	125	120
	重要な種数	6	10	21	15	13	22	26	8	21	34	29	30	28	35	31	29	27
	オオアマガイ	○		○				○			○							
	ニセヒロクチカノコ				○													
	ミヤコドリ											○						
	コゲツノブエ			○							○					○	○	○
	カヤノミカニモリ		○	○	○	○	○	○		○	○			○	○			○
	ミツカドカニモリ			○				○										
	フトスジツノブエ		○	○	○			○		○								
	フトヘナタリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	○	○
	ヘナタリ			○														
	カワアイ			○											○			
	イロタマキビ						○											○
	ガタチンナン													○			○	
	カニノテムシロ			○														
	リュウキュウムシロ												○					
	アンパルクチキレ										○				○			
	ドロアワモチ									○								
	ゴマセンベイアワモチ			○														
	クロヒラシイノミガイ				○													
	ヘソアキコミミガイ			○			○				○							
	シュジュコミミガイ							○										
	ホソハマシイノミガイ				○	○	○				○	○						
	クログチ			○	○	○	○			○								
	ヒロクチソトオリガイ												○				○	
	チヂミウメノハナ										○	○	○		○	○	○	○
	Diplodonta sp.B														○	○	○	○
	ナタマメケボリガイ													○			○	
	ユンタクシジミ										○	○						
	スジホシムシヤドリガイ											○						
	ホシムシアケボノガイ							○										
	タガソデモドキ			○			○											
	オキナワヒシガイ																○	
	イオウハマグリ			○							○						○	○
	ヤエヤマスダレ		○	○								○		○				
	スダレハマグリ		○				○				○				○	○	○	○
	ハナグモリ													○	○	○	○	○
	リュウキュウナミノコ				○										○	○		
	ヒメニッコウガイ														○			
	ヘラサギガイ												○	○	○	○	○	○
	ヒラセザクラ														○			
	ヌノメイチョウシラトリ										○							
	ナミノコザラ											○				○		
	ホシヤマナミノコザラ										○	○	○			○		
	リュウキュウクサビザラ										○		○					
	ウラキヒメザラ								○			○						
	ミガキヒメザラ							○						○	○	○		
	ミクニシボリザクラ											○		○				
	ハスメザクラ										○	○	○	○		○	○	
	トガリユウシオガイ			○			○	○	○		○	○		○	○	○	○	○
	リュウキュウザクラ						○					○	○				○	
	ミナトマスオ											○						
	アシベマスオ							○					○	○		○	○	○
	リュウキュウアリソガイ													○				
	ナガタママキ											○						
	クチバガイ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	クシケマスオ							○										
	スジホシムシモドキ												○					
	アマミスジホシムシモドキ							○		○								
	スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スジホシムシ							○			○	○	○			○		
	メナガオサガニハサミエボシ																○	
	テッポウエビ							○										
	マングローブテッポウエビ									○								
	ブビエスナモグリ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トゲスナモグリ																	○
	コブシアナジャコ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オカヤドカリ										○	○	○	○	○			○
	ムラサキオカヤドカリ		○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コムラサキオカヤドカリ									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ワカクサヨコバサミ														○			
	ヘルテツノヤドカリ														○			○

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(13)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	オキナワヤワラガニ					○									○			
	アマミマメコブシガニ						○	○		○	○		○	○	○		○	○
	イリオモテマメコブシガニ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ツノナシイボガザミ						○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヤエヤマヒメオカガニ				○					○		○						
	フジテガニ												○					
	イワトビベンケイガニ							○		○	○					○		
	オキナワヒライソガニ		○	○		○	○			○	○	○	○		○	○	○	○
	コウナガイワガニモドキ			○	○	○	○	○			○		○		○	○		
	ミナミアシハラガニ				○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
	レンゲガニ													○				
	トリウミアカイソモドキ						○	○							○	○		
	ミナミヒライソモドキ	○									○				○	○		○
	ヒラモクズガニ	○																
	ハサミカクレガニ												○	○			○	
	ヒメカクオサガニ					○			○									
	チゴイワガニ		○								○		○	○	○			
	ヒメヤマトオサガニ			○														
	ナカグスクオサガニ						○											
	ハクセンシオマネキ									○								
	ルリマダラシオマネキ							○		○			○	○	○	○		
海藻草類	出現種数	2	13	6	5	5	6	6	0	8	8	7	13	10	16	15	14	16
	重要な種数	0	4	2	0	1	2	0	0	1	2	2	4	1	4	1	3	4
	カモガシラノリ		○															
	オゴノリ		○	○														
	ホソアヤギヌ														○			○
	ササバアヤギヌ					○	○			○	○	○	○		○	○	○	○
	ウミフシナシミドロ		○								○	○	○		○		○	○
	クビレミドロ		○	○			○											
	オオネダシグサ												○	○	○			○
	ウミヒルモ												○					
	ヒメウミヒルモ																○	

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(14)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1									4
	出現種数	59	64	69	86	87	81	83	47									79
	重要な種数	19	19	18	23	30	22	25	12									21
底生動物	ヒラマキアマオブネ	○			○		○	○	○									
	ヒメカノコ	○	○															
	ミヤコドリ																	○
	コゲツノブエ	○	○	○	○	○	○	○										
	カヤノミカニモリ	○	○	○	○	○	○	○										
	フトヘナタリ		○	○	○	○	○	○	○									○
	ヘナタリ	○	○	○	○	○	○	○										
	カワアイ	○	○	○	○	○	○											
	マドモチウミニナ	○	○	○	○	○		○										
	イロタマキビ	○	○	○	○	○	○	○	○									○
	オイランカワザンショウ								○									○
	カニノテムシロ		○	○	○	○		○										
	ドロアワモチ					○												
	ゴマセンベイアワモチ	○		○														
	クロヒラシイノミガイ			○		○	○	○	○									○
	ヒメヒラシイノミガイ																	○
	ヘソアキコミミガイ				○													
	ウラシマミミガイ																	○
	クログチ					○												
	ヒロクチソトオリガイ				○													
	ソトオリガイ				○													
	ナタマメケボリガイ				○	○												
	ホシムシアケボノガイ					○												
	タガソデモドキ					○												
	タイワンヒルギシジミ	○	○				○	○										
	イオウハマグリ				○													
	スダレハマグリ		○	○			○											
	ヌノメイチョウシラトリ	○	○	○	○	○	○	○	○					調査なし				
	トガリユウシオガイ		○	○	○	○		○										
	リュウキュウザクラ		○															
	クチバガイ				○			○										○
	スジホシムシ					○												
	テッポウエビ	○	○	○	○			○										
	マングローブテッポウエビ					○												
	キノボリエビ					○												
	オカヤドカリ	○																○
	ムラサキオカヤドカリ			○		○	○	○										
	ナキオカヤドカリ		○	○	○	○	○	○										○
	コムラサキオカヤドカリ	○	○				○	○										○
	マンガルマメコブシガニ					○												
	アマミマメコブシガニ						○											
	イリオモテマメコブシガニ					○		○										○
	ツノナシイボガザミ					○			○									○
	リュウキュウアカテガニ								○									
	フジテガニ				○	○	○											
	ユビアカベンケイガニ				○		○	○	○									○
	オキナワヒライソガニ	○				○												○
	ミナミアシハラガニ	○	○	○	○		○	○	○									○
	アゴヒロカワガニ						○	○										○
	ヒメヒライソモドキ					○	○	○										○
	タイワンヒライソモドキ						○	○	○									○
	カワスナガニ							○										○
	ハサミカクレガニ					○												
	ヨウナシカワスナガニ					○												
	チゴガニ	○																
	ヒメヤマトオサガニ	○	○	○	○	○	○	○	○									○
	リュウキュウシオマネキ	○																
海藻藻類	出現種数	0	9	4	6	2	5	3	2									9
	重要な種数	0	4	0	1	0	1	0	1									2
	ホソアヤギヌ		○											調査なし				○
	ササバアヤギヌ		○															○
	ウミフシナシミドロ		○															
	クビレミドロ		○		○		○		○									

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(15)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	41	43	49	59	49	57	52	25	35	60	45	58	38	63	59	40	48
	重要な種数	7	8	15	17	18	19	18	15	16	26	18	23	16	22	20	14	18
	オオアマガイ		○					○										
	ウスベニツバサカノコ	○	○	○	○						○					○	○	
	ツバサカノコ														○	○		
	コゲツノブエ										○				○			
	カヤノミカニモリ			○												○		
	ヌノメカワニナ												○		○			
	ソトヘナタリ			○		○							○					
	イロタマキビ									○								
	オイランカワザンショウ				○	○	○				○							○
	ドロアワモチ										○							
	マダラヒラシイノミガイ									○								
	クロヒラシイノミガイ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヘソアキコミミガイ				○													
	ヒゲマキシイノミミミガイ							○										
	ナガオカミミガイ					○	○		○		○		○					
	ホソハマシイノミガイ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		
	チビハマシイノミガイ				○	○	○		○		○				○	○		
	ヌノメハマシイノミガイ				○	○					○	○			○	○		
	クログチ		○															
	チヂミウメノハナ														○			○
	ハナグモリ																	○
	リュウキュウナミノコ	○																
	トガリユウシオガイ		○	○														
	ハザクラ							○										
	クチバガイ	○	○	○	○	○		○			○	○	○				○	○
	スジホシムシモドキ				○													
	スジホシムシモドキ属														○	○		
	オオテナガエビ								○		○	○	○					
	マングローブテッポウエビ						○											
	ブビエスナモグリ												○					
	コブシアナジャコ										○		○					
	オカヤドカリ					○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	ムラサキオカヤドカリ		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コムラサキオカヤドカリ											○	○	○	○	○	○	○
	オキナワヤワラガニ				○		○	○										
	マンガルマメコブシガニ			○														
	イリオモテマメコブシガニ						○						○					
	アカテノコギリガザミ				○													
	ヤエヤマヒメオカガニ								○	○		○		○	○	○		
	リュウキュウアカテガニ										○							
	ノジテガニ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウモレベンケイガニ			○														
	イワトビベンケイガニ						○			○	○	○	○	○			○	○
	ベンケイガニ																	○
	ユビアカベンケイガニ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワヒライソガニ																	○
	トゲアシヒライソガニモドキ					○		○	○		○		○	○	○			
	コウナガイワガニモドキ					○	○	○			○		○	○	○	○		
	ミナミアシハラガニ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アゴヒロカワガニ				○		○					○						○
	ヒメヒライソモドキ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コウビロヒライソモドキ			○														
	タイワンヒライソモドキ	○				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	レンゲガニ	○																
	ヒラモクズガニ		○	○	○	○	○	○	○									
	カワスナガニ										○	○		○	○	○	○	○
	ヨウトシカワスナガニ						○											
	チゴイワガニ			○				○		○	○		○					
	ハクセンシオマネキ									○								
	ルリマダラシオマネキ												○					
海藻草類	出現種数	0	4	3	3	2	3	2	1	3	7	0	5	3	5	5	4	6
	重要な種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	2
	ホソアヤギヌ												○		○	○	○	○
	ササバアヤギヌ												○	○				○

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(16)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
	出現種数	52	93	84	78	95	74	101	33	91	144	117	123	102	154	129	136	128
	重要な種数	2	6	9	9	10	7	9	1	10	27	19	22	12	37	23	30	25
底生動物	オオアマガイ		○	○	○	○	○	○										
	カヤノミカニモリ	○		○	○				○	○		○	○				○	○
	オハグロガイ																	○
	ヒメオリイレムシロ																	○
	ミノムシガイ											○						
	ハイイロミノムシ					○												○
	チビツクシ															○		
	コトツブ												○				○	○
	アンパルクチキレ																○	
	クロヒラシイノミガイ										○					○		
	ヒメヒラシイノミガイ														○			
	ナガオカミミガイ										○				○			
	ホソハマシイノミガイ				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		
	チビハマシイノミガイ										○							
	キヌメハマシイノミガイ（トリヨハマシイノミガイ）														○			
	ヌノメハマシイノミガイ														○			
	リュウキュウサルボウ					○												
	クログチ				○													
	チヂミウメノハナ														○	○		
	カブラツキガイ										○			○	○		○	
	Diplodonta sp.B														○			○
	ナタマメケボリガイ																○	
	スジホシムシヤドリガイ						○				○							
	タガソデモドキ			○														
	カワラガイ																○	
	オキナワヒシガイ										○				○		○	
	リュウキュウアオイ														○			
	イオウハマグリ																○	○
	オイノカガミ																○	○
	フジイロハマグリ																○	
	ハナグモリ																○	
	トンガリベニガイ																○	○
	リュウキュウナミノコ		○	○							○							
	キュウシュウナミノコ										○							
	ダイミョウガイ														○			
	ヘラサギガイ														○		○	
	ハツヒザクラ																	○
	ヒラセザクラ														○		○	
	ウネイチョウシラトリ													○		○		
	ホシヤマナミノコザラ										○	○	○		○	○		
	リュウキュウクサビザラ											○			○			
	ウラキヒメザラ															○	○	
	ミガキヒメザラ										○	○	○		○	○		
	ミクニシボリザクラ										○						○	○
	ハスメザクラ										○				○	○	○	
	マスオガイ					○											○	
	ダンダラマテガイ																○	
	バラフマテガイ														○			
	ホソバラフマテガイ							○			○	○	○		○	○	○	○
	ナガタママキ														○			
	オトメタママキ							○		○	○							
	イソハマグリ		○												○			
	クチバガイ			○	○			○										○
	スジホシムシモドキ						○	○		○								
	スジホシムシモドキ属									○	○	○	○		○	○	○	○
	スジホシムシ												○	○	○	○	○	○
	メナガオサガニハサミエボシ										○							
	Sicyonella inermis										○	○				○		
	Sicyonella maldivensis											○			○			
	ブビエスナモグリ							○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トゲスナモグリ										○							
	コブシアナジャコ														○			
	オカヤドカリ			○							○	○	○	○	○			
	ムラサキオカヤドカリ		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コムラサキオカヤドカリ												○			○		
	マルテツノヤドカリ							○		○		○				○	○	○
	キカイホンヤドカリ					○												
	オオウラムツアシガニ							○										
	アマミマメコブシガニ														○	○		○
	イリオモテマメコブシガニ											○	○		○			○
	ツノナシイボガザミ										○	○	○	○	○	○	○	○
	ヤエヤマヒメオカガニ														○			

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(17)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	ムラサキオカガニ												○					
	イワトビベンケイガニ										○	○		○	○			○
	ベンケイガニ																○	
	ユビアカベンケイガニ												○					
	アシナガアカイソガニ						○											
	オキナワヒライソガニ			○		○				○	○			○	○	○	○	
	ミナミアシハラガニ				○								○					
	ヒメヒライソモドキ												○					
	タイワンヒライソモドキ												○					
	ヨツハヒライソモドキ					○												
	レンゲガニ		○													○		
	ミナミヒライソモドキ										○	○	○		○	○	○	○
	ムツハアリアケガニ				○													
	ヒメカクオサガニ												○	○				○
	ルリマダラシオマネキ														○			
海藻草類	出現種数	3	8	19	7	8	11	11	0	10	17	12	24	22	29	28	27	25
	重要な種数	1	0	3	0	0	1	2	0	2	3	3	5	5	5	5	7	6
	フクロフノリ												○					
	ホソアヤギヌ															○	○	○
	ササバアヤギヌ												○	○	○	○	○	○
	ウミフシナシミドロ										○		○	○	○		○	○
	オオネダシグサ													○	○	○	○	○
	ヒロハサボテングサ											○						
	ウスガサネ						○									○	○	
	リュウキュウスガモ			○														
	ウミヒルモ			○				○		○	○	○	○	○	○		○	○
	トゲウミヒルモ									○								
	ヒメウミヒルモ										○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○		○				○										

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(18)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	37	67	103	82	72	41	47	22	42	55	48	73	42	46	50	47	33
	重要な種数	3	3	4	4	5	4	2	1	3	4	4	10	4	4	3	3	2
	ヒメケハダヒザラガイ			○									○		○	○	○	
	オオアマガイ	○	○		○		○	○			○			○				
	ヒメヒラシイノミガイ				○	○	○				○	○	○	○	○			
	スジホシムシモドキ属												○					
	スジホシムシ				○								○					
	オカヤドカリ			○							○	○	○	○	○	○	○	○
	ムラサキオカヤドカリ	○	○	○		○				○		○	○					
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イリオモテマメコブシガニ												○					
	ツノナシイボガザミ												○					
	ヤエヤマヒメオカガニ									○			○					
	リュウキュウアカテガニ						○											
	イワトビベンケイガニ					○												
	ヨツハヒライソモドキ					○												
海藻草類	出現種数	9	16	38	18	11	7	24	0	4	18	16	13	12	20	34	26	14
	重要な種数	0	1	4	1	0	1	4	0	0	1	2	1	2	2	4	2	2
	カモガシラノリ		○				○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	ハイコナハダ													○	○	○	○	○
	ビリヒバ							○										
	ツクシホウズキ											○				○		
	ヤバネモク			○														
	ホソバロニア							○										
	オオネダシグサ															○		
	キザミズタ			○				○										
	ウスガサネ			○	○													
	ウミヒルモ			○														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(19)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	65	59	104	65	72	64	32	28	22	55	50	63	59	61	86	61	56
	重要な種数	7	8	11	3	8	6	1	1	2	7	7	9	7	7	7	6	9
	サラサダマ			○														
	ヤジリスカシガイ																	○
	クサイロカノコ			○			○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	キンランカノコ						○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒメカノコ											○	○					
	オハグロガイ			○	○	○												
	アラゴマフダマ	○																○
	リュウキュウサルボウ		○	○					○									
	ソメワケグリ	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		
	ホソスジヒバリガイ														○	○	○	
	スエヒロガイ			○		○												
	オオユキミノ		○	○	○	○	○				○	○						
	チヂミウメノハナ	○																
	オサガニヤドリガイ		○			○												
	カワラガイ		○	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワヒシガイ	○	○	○		○							○	○	○	○	○	○
	トモシラオガイ												○					
	オミナエシハマグリ										○			○				○
	オイノカガミ	○					○				○		○	○	○	○	○	○
	ヤエヤマスダレ												○					
	ニッコウガイ											○						
	コニッコウガイ			○														
	ミクニシボリザクラ	○	○															
	スジホシムシモドキ			○														
	メナガオサガニ	○	○	○		○												○
海藻草類	出現種数	48	55	58	45	53	51	45	43	50	60	62	59	59	61	58	61	51
	重要な種数	15	17	15	13	15	15	17	16	12	17	20	16	16	16	12	16	13
	ヌルハダ		○															
	モズク	○	○	○				○	○		○	○	○	○	○		○	
	ウミボッス							○	○		○							
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キシュウモク			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミフシナシミドロ											○	○					
	クビレズタ		○						○			○						
	キザミズタ		○															
	イチイズタ			○								○					○	○
	コテングノハウチワ	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○
	ソリハサボテングサ	○																
	ヒロハサボテングサ		○		○	○												
	フササボテングサ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ナガミズタマ											○						
	ウスガサネ	○	○				○	○	○			○	○	○	○	○	○	
	ホソエガサ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オオウミヒルモ		○		○	○	○	○	○		○	○		○	○		○	
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○	○	○		○	○	○	○	○	○							
	ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	リュウキュウアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(20)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	51	75	81	71	69	67	62	33	72	140	112	108	93	124	127	108	107
	重要な種数	4	7	7	8	2	4	6	4	10	17	17	11	10	16	13	17	17
	オオアマガイ	○	○		○													
	レモンカノコ																	○
	コゲツノブエ																	○
	カヤノミカニモリ	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	ヒメオリイレムシロ											○						
	コトツブ																	○
	リュウキュウサルボウ												○					
	ソメワケグリ										○	○						
	クログチ		○				○											
	カブラツキガイ										○						○	○
	セワケガイ											○						
	ナタマメケボリガイ											○						
	セワケハチミツガイ														○		○	
	ユンタクシジミ										○	○						
	タガソデモドキ			○														
	イレズミザル														○			
	オイノカガミ		○															
	スダレハマグリ														○			
	ナミノコガイ			○							○							
	リュウキュウナミノコ	○		○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒメニッコウガイ										○							
	ウラキヒメザラ																	○
	ミガキヒメザラ														○			
	ハスメザクラ										○							
	トガリユウシオガイ																○	
	イソハマグリ			○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	スジホシムシモドキ									○								
	スジホシムシモドキ属										○	○	○		○	○	○	○
	スジホシムシ									○	○	○				○	○	○
	ブビエスナモグリ									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オカヤドカリ		○		○													
	ムラサキオカヤドカリ		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ワカクサヨコバサミ																○	
	マーグイヨコバサミ															○		
	アマミマメコブシガニ																○	○
	イワトビベンケイガニ				○												○	
	オキナワヒライソガニ												○					
	コウナガイワガニモドキ				○													
	ヨツハヒライソモドキ											○		○	○	○	○	
	レンゲガニ									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ミナミヒライソモドキ							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒメカクオサガニ								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	メナガオサガニ		○															
	ルリマダラシオマネキ														○			
海藻草類	出現種数	8	27	15	12	14	13	9	4	14	23	17	38	33	36	38	34	29
	重要な種数	4	5	1	0	2	1	0	0	3	7	3	6	11	9	5	8	7
	カモガシラノリ		○	○		○				○	○	○		○	○	○	○	○
	ハイコナハダ												○	○	○	○	○	○
	カタオゴノリ													○				
	ホソアヤギヌ												○					
	カヤモノリ									○								
	ヤバネモク										○		○	○				○
	キシュウモク											○						
	ウミフシナシミドロ													○	○		○	○
	ヒメフカミドリシオグサ														○			
	オオネダシグサ													○	○	○	○	○
	ヒメミドリゲ														○			
	モツレチョウチン																○	
	ヒロハサボテングサ		○								○							
	フササボテングサ										○			○	○		○	
	ウスガサネ		○										○	○	○	○	○	○
	ホソエガサ		○										○					
	カサノリ	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ニラウミジグサ	○												○				
	ホソバウミジグサ										○			○				
	マツバウミジグサ	○																
	リュウキュウアマモ										○							
	ボウバアマモ	○																

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(21)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	84	72	112	68	65	54	55	29	41	59	66	73	66	83	99	73	65
	重要種数	6	7	8	3	3	3	0	0	3	5	8	6	8	11	14	9	7
	オオアシヤガイ		○															
	クサイロカノコ											○	○			○		○
	キンランカノコ										○	○	○	○				
	マルシロネズミ			○								○						
	オハグロガイ														○			
	アラゴマフダマ															○		
	ホラガイ													○				
	オキナワハナムシロ															○		
	ミノムシガイ													○				
	クダボラ													○	○	○	○	
	リュウキュウサルボウ	○	○	○							○					○		
	ソメワケグリ											○	○	○	○	○		
	ホソスジヒバリガイ														○	○	○	
	スエヒロガイ						○											
	オオユキミノ	○	○	○			○			○	○	○			○	○		
	ウラキツキガイ			○														
	カブラツキガイ		○															
	バライロマメアゲマキ				○													
	コハクマメアゲマキ											○						
	オサガニヤドリガイ	○			○	○												
	イレズミザル									○							○	
	カワラガイ	○		○			○			○		○	○	○	○	○	○	○
	オキナワヒシガイ		○								○	○	○	○	○	○	○	○
	ガンギハマグリ																○	
	オミナエシハマグリ	○		○							○				○	○	○	○
	オイノカガミ		○			○							○		○	○	○	○
	ヒメリュウキュウアサリ														○			
	ヒメニッコウガイ		○												○			
	ヒラセザクラ															○		○
	ミガキヒメザラ															○		
	ミクニシボリザクラ													○				○
	トウカイタママキ																○	
	ナキオカヤドカリ			○														
	メナガオサガニ	○		○	○	○												
海藻草類	出現種数	47	54	59	51	56	63	50	40	50	63	50	65	73	65	68	62	55
	重要種数	15	16	17	13	12	17	15	11	11	14	13	16	15	18	14	16	14
	ナンカイオゴノリ														○			
	モズク		○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キシュウモク	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	チュラシマモク						○	○										
	ウミフシナシミドロ									○	○		○		○	○	○	○
	ホソバロニア	○	○						○									
	クダネダシグサ						○											
	クビレズタ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	キザミズタ		○		○		○		○									
	コテングノハウチワ			○			○	○							○			
	テングノハウチワ	○																
	ソリハサボテングサ	○																
	ヒロハサボテングサ		○	○	○			○										
	フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソエガサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ			○								○		○	○		○	○
	オオウミヒルモ			○								○	○	○	○	○	○	○
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○		○	○	○	○		○									
	ベニアマモ		○										○					
	リュウキュウアマモ	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(22)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	20	18	30	29	43	42	38	26	調査なし	70	76	79	76	93	101	91	109
	重要な種数	8	3	5	8	8	11	7	4		13	16	14	13	17	19	16	20
	コゲツノブエ															○		
	カヤノミカニモリ					○								○	○	○		○
	ガタチンナン												○					
	ヒメオリイレムシロ	○									○							○
	ミノムシガイ															○		
	ハイイロミノムシ														○			
	コトツブ																○	○
	ソメワケグリ											○						
	カブラツキガイ																○	○
	Diplodonta sp.B										○		○					○
	ナタマメケボリガイ												○					
	ユンタクシジミ															○	○	
	タガソデモドキ					○												
	カワラガイ															○		○
	オキナワヒシガイ							○			○	○					○	○
	タイワンシラオガイ	○																
	ユウカゲハマグリ												○					
	オミナエシハマグリ																	○
	オイノカガミ								○						○		○	
	ナミノコガイ	○																
	リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	ヌノメイチョウシラトリ				○	○												
	ホシヤマナミノコザラ														○			
	ウラキヒメザラ											○						○
	ミガキヒメザラ														○			
	ハスメザクラ										○							
	マスオガイ																○	
	イソハマグリ	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	クチバガイ						○					○						
	スジホシムシモドキ属										○		○	○	○	○	○	○
	スジホシムシ												○	○	○	○	○	○
	Sicyonella inermis						○							○	○			
	ブビエスナモグリ		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	トゲスナモグリ						○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
	コブシアナジャコ											○		○		○	○	
	ムラサキオカヤドカリ	○		○	○		○				○	○		○				
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ワカクサヨコバサミ						○				○							
	オオウラムツアシガニ					○												
	アマミマメコブシガニ										○	○			○	○		
	イリオモテマメコブシガニ																	○
	オキナワヒライソガニ						○	○				○	○			○		○
	コウナガイワガニモドキ						○	○										
	レンゲガニ	○										○	○	○	○	○		○
	ミナミヒライソモドキ				○							○			○	○	○	○
	ハサミカクレガニ											○						
	ヒメカクオサガニ												○	○	○	○	○	
	ヒメヤマトオサガニ				○													
	ルリマダラシオマネキ															○		
海藻草類	出現種数	4	8	5	7	10	6	3	0		14	19	34	25	27	26	21	25
	重要な種数	2	2	1	1	3	1	1	0		4	6	11	7	8	4	5	10
	ハイコナハダ														○			
	ナンカイオゴノリ													○		○		○
	ヤバネモク													○	○		○	
	キシュウモク											○	○					
	ウミフシナシミドロ										○	○	○	○	○		○	○
	リュウキュウズタ													○				
	コテングノハウチワ														○			○
	ヒロハサボテングサ											○	○					
	フササボテングサ										○	○	○	○	○	○	○	○
	ウスガサネ					○					○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソエガサ												○					
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ																	○
	ウミヒルモ														○			
	ニラウミジグサ	○											○					
	ホソバウミジグサ												○					○
	マツバウミジグサ		○			○												
	ベニアマモ												○					○
	リュウキュウアマモ												○					○

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(23)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	34	48	51	43	43	46	52	27	27	42	32	39	19	21	35	30	30
	重要な種数	4	8	7	4	10	7	9	4	8	12	4	5	5	4	4	3	3
	オオアマガイ							○										
	ミヤコドリ									○								
	カヤノミカニモリ			○		○		○			○							
	オキナワヒシガイ								○		○							
	ナミノコガイ									○								
	リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ミナトマスオ						○											
	ハザクラ		○	○		○	○											
	アシベマスオ		○	○		○		○										
	イソハマグリ	○	○			○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
	クチバガイ							○		○	○							
	スジホシムシ										○							
	オカヤドカリ										○							
	ムラサキオカヤドカリ	○		○		○			○		○			○				
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ワカクサヨコバサミ													○				
	フジテガニ							○										
	オキナワヒライソガニ		○				○				○			○				
	コウナガイワガニモドキ		○		○	○	○	○		○	○				○	○		
	アゴヒロカワガニ					○												
	ヒメヒライソモドキ				○	○				○	○	○						
	ミナミヒライソモドキ			○									○					
	ヒメカクオサガニ		○										○					
海藻草類	出現種数	4	5	3	3	4	2	6	1	3	6	4	5	2	3	6	3	1
	重要な種数	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2	2	2	0	0	0	1	0
	ササバアヤギヌ																○	
	ヤバネモク										○							
	ホソバロニア			○														
	ウスガサネ		○															
	ホソエガサ											○	○					
	カサノリ	○						○			○	○	○					

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(24)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1									4
底生動物	出現種数	31	48	51	47	49	52	73	41									97
	重要な種数	2	4	3	5	8	8	8	2									13
	コゲツノブエ																	○
	カヤノミカニモリ	○		○		○	○	○	○									○
	Diplodonta sp.B					○												
	ユンタクシジミ				○	○												
	オキナワヒシガイ		○					○										
	オイノカガミ			○			○	○										○
	スダレハマグリ		○															
	リュウキュウナミノコ					○												
	トガリユウシオガイ																	○
	スジホシムシモドキ属												調査なし					○
	スジホシムシ		○		○	○	○	○										○
	メナガオサガニハサミエボシ						○											
	ブビエスナモグリ				○	○	○	○										○
	コブシアナジャコ																	○
	ワカクサヨコバサミ						○											
	マルテツノヤドカリ							○										
	アマミマメコブシガニ																	○
	イリオモテマメコブシガニ																	○
	ツノナシイボガザミ																	○
	オキナワヒライソガニ		○			○	○	○										○
	ミナミヒライソモドキ			○														○
	ヒメカクオサガニ				○	○	○	○	○									
	メナガオサガニ	○			○													
海藻草類	出現種数	12	13	12	12	8	16	14	8									20
	重要な種数	3	1	2	3	2	4	2	2									3
	ウミフシナシミドロ																	○
	ホソバロニア						○											
	ヒロハサボテングサ	○											調査なし					
	フササボテングサ						○											
	ウスガサネ	○		○	○	○	○	○	○									○
	ホソエガサ				○													
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○									○

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(25)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
	出現種数	77	93	86	102	101	104	130	88	86	167	164	131	159	171	146	141	139
	重要な種数	7	6	12	11	10	14	14	8	12	19	18	14	13	20	16	12	14
	ヒメケハダヒザラガイ											○						
	ヤジリスカシガイ																	○
	ニセヒロクチカノコ			○														
	クサイロカノコ																	○
	キンランカノコ																	○
	ミヤコドリ		○			○				○	○							
	コゲツノブエ													○		○	○	○
	カヤノミカニモリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	ミツカドカニモリ														○			
	ヒメオリイレムシロ											○						
	リュウキュウムシロ			○		○	○				○	○	○		○			
	イガムシロ								○		○			○				
	ヨウラクレイシダマシ														○			
	ホソハマシイノミガイ						○			○					○			
	リュウキュウサルボウ	○																
	チヂミウメノハナ												○					
	カブラツキガイ	○						○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	Diplodonta sp.B													○	○	○		
	ユンタクシジミ				○				○		○				○	○		
	スジホシムシヤドリガイ						○								○			
	ホシムシアケボノガイ							○										
	タガソデモドキ																	○
	イレズミザル													○				
	カワラガイ						○											○
	オキナワヒシガイ					○					○							
	チリメンカノコアサリ														○			
	オイノカガミ																	○
	リュウキュウアサリ											○						
底生動物	リュウキュウナミノコ													○		○		
	ヒメニッコウガイ										○	○						
	ネコジタザラ														○			
	ミガキヒメザラ														○			
	ハスメザクラ										○	○					○	○
	マスオガイ		○	○	○		○	○					○		○	○	○	○
	ユキガイ										○							
	イソハマグリ			○												○	○	
	クチバガイ					○				○			○					
	スジホシムシモドキ	○	○	○	○	○		○	○	○								
	アマミスジホシムシモドキ			○			○	○										
	スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スジホシムシ	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
	ブビエスナモグリ											○					○	
	オトヒメスナモグリ											○			○			
	ムラサキオカヤドカリ				○	○	○	○					○					
	ナキオカヤドカリ	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	マーグイヨコバサミ							○		○	○							
	リュウキュウカクエンコウガニ						○	○										
	アマミマメコブシガニ														○			
	ヤエヤマヒメオカガニ												○					
	アシナガアカイソガニ						○											
	オキナワヒライソガニ			○	○	○		○		○	○	○						
	ロッカクイソガニ					○												
	コウナガイワガニモドキ											○				○		
	ヒメヒライソモドキ			○														
	レンゲガニ										○					○		
	ミナミヒライソモドキ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒメカクオサガニ				○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒメヤマトオサガニ				○													
	タイワンヒメオリガニ																○	
	ルリマダラシオマネキ			○	○		○	○			○	○	○	○	○	○		

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(26)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
海藻草類	出現種数	6	11	5	11	10	12	10	5	11	24	23	46	47	52	71	36	47
	重要な種数	2	3	0	1	1	1	1	1	1	7	11	17	15	16	9	10	12
	ニセウシケノリ														○			
	カモガシラノリ		○									○	○	○	○		○	○
	ハイコナハダ											○	○	○	○	○	○	○
	ケコナハダ													○	○	○		
	カタオゴノリ												○					
	ツクシホウズキ												○					
	モズク										○				○	○		
	カヤモノリ											○	○		○			○
	ヤバネモク	○											○	○	○			
	キシュウモク													○				
	ウミフシナシミドロ											○	○	○	○	○	○	○
	オオネダシグサ													○				
	モツレチョウチン												○	○	○	○	○	○
	ヒロハサボテングサ										○	○						
	フササボテングサ												○	○	○	○		○
	ウスガサネ		○								○	○	○	○	○		○	○
	ホソエガサ												○					○
	カサノリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ										○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ												○	○	○		○	○
	ニラウミジグサ											○	○	○	○		○	
	ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ										○	○	○					

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(27)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	29	32	42	46	36	56	39	23	調査なし	48	43	36	33	37	40	42	50
	重要な種数	4	6	5	9	6	8	8	4		12	6	5	6	6	7	7	11
	オオアマガイ		○															
	カヤノミカニモリ			○														
	ネジヒダカワニナ																	○
	イロタマキビ														○			
	アンパルクチキレ				○			○	○		○						○	○
	クロヒラシイノミガイ										○							
	ホソハマシイノミガイ					○		○			○				○	○		
	チヂミウメノハナ			○														
	Diplodonta sp.B		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワヒシガイ															○		
	リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウクサビザラ										○							
	リュウキュウザクラ				○	○												
	ハザクラ		○															
	アシベマスオ				○	○		○									○	○
	トウカイタママキ															○		
	イソハマグリ										○	○						
	クチバガイ																	○
	ヒガタスナホリムシ						○											
	テッポウエビ						○											
	ブビエスナモグリ										○	○	○					○
	ムラサキオカヤドカリ	○							○		○			○				○
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ワカクサヨコバサミ							○									○	○
	アマミマメコブシガニ				○													
	フジテガニ	○					○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	ユビアカベンケイガニ						○											
	オキナワヒライソガニ										○							
	コウナガイワガニモドキ				○		○							○				
	ミナミアシハラガニ																	○
	ヒメヤマトオサガニ				○													
	メナガオサガニ		○															
海藻草類	出現種数	0	1	3	1	3	4	0	0		2	0	5	5	1	1	1	4
	重要な種数	0	0	0	0	0	1	0	0		0	0	3	1	0	0	0	2
	ホソアヤギヌ												○					○
	ササバアヤギヌ												○					
	ウミフシナシミドロ																	○
	カサノリ						○						○	○				

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(28)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	63	100	105	83	106	108	87	26	33	64	72	77	82	99	107	79	79
	重要な種数	0	2	1	1	2	3	0	0	0	0	1	1	4	5	3	3	3
	サラサダマ												○					
	アラゴマフダマ																○	○
	イワカワトキワガイ													○				
	ホラガイ						○											
	コガンゼキ					○										○		
	リュウキュウサルボウ			○														
	ソメワケグリ														○			
	オオユキミノ											○		○	○			
	イレズミザル		○														○	○
	オキナワヒシガイ					○	○											
	ハートガイ																○	
	インドアオイ						○											
	チリメンカノコアサリ		○											○	○	○		
	フキアゲアサリ				○									○	○	○		
	ヒメニッコウガイ														○			
	スジホシムシ																	○
海藻草類	出現種数	25	43	39	42	49	61	58	34	37	60	48	50	47	57	47	49	49
	重要な種数	1	4	2	2	5	6	6	4	2	4	2	4	4	3	1	3	2
	コナハダモドキ										○	○		○				
	ホソバノガラガラモドキ								○									
	ヌルハダ		○	○	○	○												
	キリンサイ												○					
	ウミボッス							○										
	ヤバネモク													○	○	○		○
	カラクサモク												○					
	ホソバロニア										○	○						
	クダネダシグサ						○											
	クビレズタ						○				○		○	○	○		○	
	キザミズタ					○	○	○										
	イチイズタ					○		○	○	○	○							
	ニセハウチワ																○	
	ナガミズタマ	○	○			○	○	○	○				○	○	○			○
	カサノリ		○	○		○	○	○										
	ウミヒルモ									○							○	
	オオウミヒルモ		○		○		○	○	○									

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(29)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1									4
底生動物	出現種数	29	50	60	56	48	33	24	4									59
	重要な種数	2	4	4	3	0	3	1	0									11
	カシパンヤドリニナ	○	○	○			○	○										○
	アラゴマフダマ																	○
	チビツクシ																	○
	ニライカナイゴウナ			○														○
	サザナミマクラ																	○
	スエヒロガイ	○			○													
	カワラガイ		○										調査なし					
	ハートガイ		○		○													○
	オイノカガミ		○															○
	トンガリベニガイ																	○
	ダイミョウガイ						○											
	ウネイチョウシラトリ																	○
	ダンダラマテガイ			○														
	オトメタママキ				○													○
	ニシヒラトゲコブシ																	○
	ツノナシイボガザミ						○											
	メナガオサガニ			○														
海藻草類	出現種数	13	15	18	14	22	31	16	16									10
	重要な種数	5	8	7	4	7	8	7	7									5
	ホソバノガラガラモドキ								○									
	ヌルハダ					○												
	ベニハウチワ			○														
	モズク								○									
	ヤバネモク																	○
	クビレズタ		○															
	リュウキュウズタ	○	○	○	○	○	○	○	○									
	コテングノハウチワ					○	○	○	○				調査なし					○
	ヒロハサボテングサ		○															
	ナガミズタマ						○											
	ウスガサネ																	○
	ホソエガサ						○											
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○									○
	オオウミヒルモ		○															
	ホソウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○									○
	トゲウミヒルモ	○	○	○		○	○	○	○									
	ニラウミジグサ			○				○										
	マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○										

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(30)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]															
		工事前								工事中							
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	81	119	137	72	105	84	94	25	調査なし	54	78	61	70	98	85	89	80
	重要な種数	3	5	2	3	2	3	1	0		1	4	7	3	7	5	2	3
	ウミヒメカノコ												○					
	アラゴマフダマ												○		○			○
	ホラガイ					○												
	クダボラ										○							
	シチクガイ												○					
	リュウキュウサルボウ											○				○		
	ソメワケグリ	○	○											○				
	オオユキミノ												○			○	○	
	ウミギク					○												
	イレズミザル		○	○														○
	カワラガイ		○															
	オキナワヒシガイ												○		○			
	リュウキュウアオイ														○			
	チリメンカノコアサリ	○	○	○	○		○					○	○	○	○	○		
	オウギカノコアサリ		○															
	フキアゲアサリ	○			○		○	○				○		○	○	○		
	ヒメニッコウガイ														○			
	コニッコウガイ												○					
	アシベマスオ											○						
	トウカイタママキ						○								○	○	○	○
	オトメタママキ				○													
海藻草類	出現種数	32	58	58	41	64	64	69	51		72	71	63	56	67	66	59	48
	重要な種数	2	7	9	4	9	10	13	7		8	8	11	6	6	4	6	3
	コナハダモドキ										○	○						
	ホソバノガラガラモドキ								○									
	ヌルハダ	○	○	○	○	○	○	○										
	エツキヒビロウド							○										
	フイリグサ						○											
	カラゴロモ			○			○	○					○	○				
	ヒメヤハズ																○	
	モズク							○	○		○		○					
	カヤモノリ										○			○				
	ウミボッス								○									
	ヤバネモク		○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	カラクサモク												○		○			
	キシュウモク						○					○	○		○		○	○
	チュラシマモク							○					○					
	ホソバロニア		○															
	クビレズタ		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	キザミズタ		○	○	○	○	○	○										
	イチイズタ		○			○	○	○	○		○	○	○	○	○			
	コテングノハウチワ						○	○										
	フササボテングサ											○						
	ハネモモドキ					○		○										
	ナガミズタマ			○		○		○	○		○		○			○		
	ウスガサネ											○			○		○	
	カサノリ	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
	リュウキュウスガモ			○														
	オオウミヒルモ			○	○	○							○					

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(31)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1									4
底生動物	出現種数	96	134	153	73	94	98	91	29									67
	重要な種数	0	2	5	4	0	2	0	0									5
	タイワンキサゴ		○	○			○											
	クサイロカノコ				○													
	アラゴマフダマ																	○
	シチクガイ				○													
	ホソタマゴガイ				○													
	ニライカナイゴウナ			○									調査なし					○
	サザナミマクラ			○														
	オキナソヒシガイ		○															
	トモシラオガイ			○														
	オイノカガミ																	○
	ミクニシボリザクラ																	○
	トウカイタママキ						○											
	オトメタママキ			○	○													○
海藻草類	出現種数	55	61	66	55	45	54	53	48									54
	重要な種数	7	9	8	8	5	5	7	4									4
	ジュズフサノリ						○											
	ホソバノガラガラモドキ								○									
	ヌルハダ			○														
	フイリグサ				○													
	モズク							○										
	ヤバネモク		○	○	○	○												○
	キシュウモク																	○
	ホソバロニア		○															
	クビレズタ	○	○	○	○				○				調査なし					○
	キザミズタ	○	○	○	○	○	○	○										
	イチイズタ	○	○	○	○	○	○	○	○									
	ヒロハサボテングサ		○															
	ハネモモドキ							○										
	ウスガサネ				○			○										
	ホソエガサ						○											
	カサノリ	○	○	○	○	○		○	○									
	リュウキュウスガモ	○																
	ウミヒルモ	○																
	オオウミヒルモ		○	○	○	○												
	マツバウミジグサ	○	○	○			○	○										○

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(32)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1									4
底生動物	出現種数	56	68	103	46	61	62	51	16									56
	重要な種数	2	2	2	2	2	0	0	1									10
	クサイロカノコ				○													
	キンランカノコ				○													
	マルシロネズミ					○												
	カシパンヤドリニナ		○			○												
	アラゴマフダマ																	○
	ハイイロミノムシ	○																
	チビツクシ												調査なし					○
	シチクガイ																	○
	ニライカナイゴウナ																	○
	オキナワヒシガイ			○														○
	オイノカガミ																	○
	トンガリベニガイ		○															○
	ヒラセザクラ	○																
	ミクニシボリザクラ																	○
	ホソバラフマテガイ																	○
	オトメタママキ								○									○
	サンゴカニダマシ			○														
海藻草類	出現種数	54	71	65	52	51	60	69	50									54
	重要な種数	13	17	14	13	12	15	14	10									13
	ホソバノガラガラモドキ								○									
	ヌルハダ	○			○		○	○										
	アツバノリ																	○
	カタオゴノリ		○															
	モズク								○									
	ウミボッス								○									
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○										○
	コバモク																	○
	キシュウモク																	○
	チュラシマモク			○														
	ウミフシナシミドロ																	○
	ホソバロニア		○															
	クビレズタ	○	○	○		○	○	○	○									○
	キザミズタ	○	○	○	○		○	○					調査なし					
	イチイズタ		○	○	○	○	○	○	○									○
	リュウキュウズタ			○														
	コテングノハウチワ	○	○			○	○	○	○									
	ヒロハサボテングサ		○	○	○	○												
	フササボテングサ	○	○	○	○		○											○
	ウスガサネ							○	○									
	ホソエガサ		○		○		○	○										
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○									○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○										
	ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○										○
	オオウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○									○
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○									
	ホソバウミジグサ																	○
	マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○										○
	ボウバアマモ	○	○			○	○											

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(33)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1									4
底生動物	出現種数	50	59	49	40	45	35	33	8									31
	重要な種数	3	1	1	2	2	2	3	0									4
	カシパンヤドリニナ		○															
	カスミコダマ	○																
	マクラガイ																	○
	ニライカナイゴウナ																	○
	イシワリマクラ	○																
	スエヒロガイ					○	○	○					調査なし					
	ハートガイ	○			○													
	カミブスマ							○										
	ウネイチョウシラトリ																	○
	ヒワズウネイチョウ						○											
	ウラキヒメザラ			○														
	ミクニシボリザクラ																	○
	サガミツノメエビ				○													
	ツノナシイボガザミ							○										
	メナガオサガニ					○												
海藻草類	出現種数	32	29	24	9	16	32	21	11									17
	重要な種数	9	8	8	4	6	7	6	6									2
	ベニゴウシ		○															
	モズク								○									
	クビレズタ	○																
	キザミズタ		○	○			○											
	イチイズタ	○																
	リュウキュウズタ	○	○	○	○	○	○	○	○				調査なし					○
	コテングノハウチワ		○	○		○	○	○	○									
	カサノリ	○	○			○	○		○									
	オオウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○										
	ホソウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○									○
	トゲウミヒルモ			○				○	○									
	ニラウミジグサ	○		○														
	マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○										
	ベニアマモ	○																

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(34)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]															
		工事前								工事中							
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	34	125	129	56	65	58	53	41	調査なし	51	70	68	68	62	80	74	71
	重要な種数	1	7	6	1	2	0	1	0		5	6	2	3	6	4	3	6
	オオアシヤガイ					○												
	クサイロカノコ										○	○	○					
	キンランカノコ										○	○		○				
	ウミヒメカノコ										○							○
	ユキスズメ			○														
	ヒメカニモリ															○		
	オハグロガイ														○			
	ロウイロトミガイ							○										
	アラゴマフダマ		○	○														○
	チビツクシ														○			
	ホソタマゴガイ															○		
	ソメワケグリ	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○		
	オオユキミノ		○															
	アケボノガイ			○														
	イレズミザル																○	
	カワラガイ														○			
	オキナワヒシガイ		○	○								○		○	○	○	○	○
	チリメンカノコアサリ			○														
	オイノカガミ																○	○
	ヒメリュウキュウアサリ											○						
	フキアゲアサリ		○															
	ヒノデガイの一種		○															
	ヒノデガイ														○			
	ヒメニッコウガイ		○															
	ミクニシボリザクラ																	○
	ハスメザクラ																	○
	アシベマスオ											○						
	スジホシムシモドキ属										○							
海藻草類	出現種数	45	55	55	51	58	59	56	38		65	80	75	68	70	70	69	60
	重要な種数	10	9	12	9	11	11	12	9		12	17	18	13	11	11	14	14
	ヌルハダ	○	○	○														
	フイリグサ												○					
	ナンカイオゴノリ											○	○		○			
	カラゴロモ					○			○									
	モズク			○				○	○			○	○	○	○	○	○	○
	ウミボッス							○	○				○	○			○	○
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ナガミモク										○							
	カラクサモク											○			○			
	キシュウモク	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	チュラシマモク	○			○		○		○		○	○	○					
	ウミフシナシミドロ															○	○	
	ホソバロニア		○															
	タンポヤリ																	○
	クビレズタ			○													○	
	イチイズタ												○	○			○	○
	コテングノハウチワ	○		○			○	○			○	○	○	○	○		○	○
	ヒロハサボテングサ	○		○		○												
	フササボテングサ		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ニセハウチワ		○									○				○		
	ナガミズタマ													○				
	ウスガサネ												○					
	ホソエガサ											○	○				○	○
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ			○	○	○	○	○				○		○		○	○	○
	オオウミヒルモ		○			○							○					
	ニラウミジグサ	○			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○
	ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○		○	○	○	○	○	○									
	ペニアマモ										○	○						
	リュウキュウアマモ						○											
	ボウバアマモ							○			○	○	○					

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(35)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	54	108	110	88	95	79	66	27	29	60	66	77	67	68	97	80	70
	重要な種数	3	6	1	4	2	1	0	0	2	3	8	9	7	3	7	7	9
	クサイロカノコ										○		○	○			○	
	キンランカノコ						○							○				
	ウミヒメカノコ																○	○
	マルシロネズミ				○											○	○	○
	ネジマガキ															○		○
	ハナヅトガイ											○						
	アラゴマフダマ												○					○
	ハイイロミノムシ												○					
	チビツクシ														○			
	カヤノミガイ																○	
	リュウキュウサルボウ		○															
	ソメワケグリ	○	○	○		○				○	○	○	○	○	○	○		
	ホソスジヒバリガイ											○						○
	オオユキミノ		○		○	○				○	○	○	○	○	○	○		
	コハクマメアゲマキ												○					
	オサガニヤドリガイ	○																
	イレズミザル											○					○	
	カワラガイ											○				○		○
	オキナワヒシガイ		○									○	○	○		○	○	○
	ハートガイ																○	
	リュウキュウアオイ				○													
	インドアオイ		○															
	チリメンカノコアサリ												○					
	オミナエシハマグリ				○							○				○		○
	オイノカガミ												○	○				○
	ヒメニッコウガイ		○															
	ミクニシボリザクラ													○				
	メナガオサガニ	○																
海藻草類	出現種数	42	49	47	50	63	59	61	38	47	71	73	71	74	72	68	59	61
	重要な種数	11	11	15	12	16	14	16	12	12	14	17	16	15	15	13	14	13
	ヌルハダ						○											
	ナンカイオゴノリ											○						
	カラゴロモ							○										
	モズク		○	○		○		○			○	○	○	○	○	○		
	ウミボッス							○	○		○			○	○	○	○	○
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カラクサモク				○							○	○					
	キシュウモク	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	チュラシマモク			○		○				○		○						
	ウミフシナシミドロ																○	○
	ホソバロニア		○															
	クビレズタ															○		
	イチイズタ								○	○								
	コテングノハウチワ	○		○		○	○	○	○				○		○	○	○	
	テングノハウチワ		○															
	ヒロハサボテングサ			○		○												
	フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ナガミズタマ											○		○			○	
	ウスガサネ												○					
	ホソエガサ				○	○		○		○		○	○	○	○		○	
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オオウミヒルモ	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○	○	○			○	○	○	○	○							
	ベニアマモ		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○			○
	リュウキュウアマモ			○	○	○	○	○										○
	ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(36)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]															
		工事前								工事中							
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	79	81	85	70	70	63	47	23	8	63	60	63	54	78	99	80	76
	重要な種数	8	13	12	3	5	1	1	0	1	10	9	6	10	11	16	11	11
	サラサダマ											○				○		
	ヤジリスカシガイ		○															○
	クサイロカノコ		○								○		○	○	○	○	○	○
	キンランカノコ										○	○	○	○	○	○	○	
	ウミヒメカノコ										○						○	○
	オハグロガイ														○			
	ロウイロトミガイ				○													
	アラゴマフダマ											○						○
	イワカワトキワガイ										○							
	ハイイロミノムシ															○		○
	カヤノミガイ																○	
	ホソタマゴガイ															○		
	オオシイノミクチキレ													○				
	リュウキュウサルボウ		○	○														
	ソメワケグリ	○		○				○		○	○	○	○	○	○	○		
	ホソスジヒバリガイ														○	○	○	
	サザナミマクラ			○														
	スエヒロガイ			○		○												
	オオユキミノ	○	○	○	○	○					○	○			○	○		
	カブラツキガイ		○															
	ミナミウロコガイ		○															
	バライロマメアゲマキ		○															
	オサガニヤドリガイ	○		○		○												
	アケボノガイ															○		
	イレズミザル																○	
	カワラガイ			○							○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワヒシガイ	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウアオイ										○							
	チリメンカノコアサリ													○				
	トモシラオガイ			○												○		
	オミナエシハマグリ													○	○		○	○
	オイノカガミ	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウアサリ													○		○		
	ヒメニッコウガイ															○		
	コニッコウガイ	○	○	○														
	ヒラセザクラ	○										○			○	○	○	○
	ミクニシボリザクラ																	○
	シロナノハナガイ		○															
	スジホシムシモドキ		○															
	メナガオサガニ	○	○	○		○												
海藻草類	出現種数	56	61	64	62	68	60	47	47	39	71	69	70	70	70	67	56	60
	重要な種数	19	21	21	18	19	20	15	16	14	18	19	18	19	18	13	16	17
	ヌルハダ		○															
	ナンカイオゴノリ														○			
	モズク		○	○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
	カヤモノリ													○				
	ウミボッス									○				○	○	○		
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カフクサモク	○																○
	キシュウモク	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○
	チュラシマモク						○											
	ウミフシナシミドロ									○		○	○					○
	ホソバロニア	○	○	○					○									
	クダネダシグサ						○											
	クビレズタ	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○				○
	キザミズタ		○	○	○	○	○		○									
	イチイズタ			○		○						○						
	リュウキュウズタ																○	
	コテングノハウチワ			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○	○
	テングノハウチワ	○	○															
	ソリハサボテングサ	○																
	ヒロハサボテングサ		○	○	○													
	フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソエガサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	オオウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソバウミジグサ		○								○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
	ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	リュウキュウアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.3(37)　インベントリー調査　地点別年度ごとの整理（[redacted]）

		[redacted]																
		工事前								工事中								
	調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	6	5	5	4	5	6	5	4
底生動物	出現種数	67	75	100	49	83	57	56	24	調査なし	56	61	78	59	74	103	65	60
	重要な種数	7	4	6	2	1	2	0	0		6	6	8	7	7	9	3	5
	サラサダマ										○	○	○					
	クサイロカノコ										○		○					
	キンランカノコ											○						
	ウミヒメカノコ										○	○	○	○		○		
	ネジマガキ		○															
	アラゴマフダマ											○	○			○		
	ハイイロミノムシ	○																
	リュウキュウサルボウ			○														
	ソメワケグリ	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○		
	ウチワガイ												○					
	ホソスジヒバリガイ														○			
	オオユキミノ	○	○	○									○	○	○	○		
	ウミギク		○															
	チヂミウメノハナ																	○
	イレズミザル													○		○	○	○
	カワラガイ													○	○	○		
	オキナワヒシガイ			○			○						○	○	○	○	○	○
	タイワンシラオガイ			○														
	オミナエシハマグリ				○													
	オイノカガミ															○		
	ヒノデガイの一種	○															○	
	ヒノデガイ										○							
	ヒメニッコウガイ														○			
	コニッコウガイ	○										○						
	ナミノコザラ													○				
	ミガキヒメザラ															○		
	ミクニシボリザクラ	○									○							○
	ハスメヨシガイ																	○
	スジホシムシモドキ属														○			
	メナガオサガニ	○		○														
海藻草類	出現種数	50	65	43	48	63	59	59	37		79	69	78	66	65	77	66	50
	重要な種数	15	17	12	16	16	20	14	11		18	13	14	16	14	12	14	10
	コナハダモドキ										○							
	ヌルハダ			○														
	フイリグサ														○			
	カタオゴノリ		○															
	ナンカイオゴノリ											○						
	カラゴロモ						○	○						○				
	モズク			○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミボッス						○	○	○		○	○	○	○	○	○		○
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ナガミモク										○							
	コバモク																	○
	キシュウモク	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	チュラシマモク						○				○							
	ホソバロニア		○						○									
	クダネダシグサ						○											
	クビレズタ				○	○			○					○	○	○	○	
	キザミズタ		○		○	○	○		○									
	コテングノハウチワ	○	○		○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	テングノハウチワ	○	○															
	ヒロハサボテングサ	○	○	○		○												
	フササボテングサ	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	ハネモモドキ							○										
	ナガミズタマ												○	○			○	○
	ウスガサネ	○					○				○			○			○	
	ケブカフデモ										○							
	ホソエガサ		○		○												○	
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	オオウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
	ホソバウミジグサ		○			○					○	○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○			○	○	○	○			○							
	ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○				○					
	リュウキュウアマモ				○		○											
	ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○											

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

(2) 底生動物調査（定量的調査）

底生動物調査で対象としている底生動物（マクロベントス）について、各地点を調査季別に整理した経年の結果概要を表-3.5.2.4 に、全地点を調査季別に整理した経年の出現種類数、個体数及び湿重量を表-3.5.2.5 及び図-3.5.2.4 に、各地点の調査季別の結果概要に示された主な出現種（組成比で 5%以上の上位 5 種）の出現状況を年度ごとに比較した結果を表-3.5.2.6 に示します。

いずれの地点においても、出現種類数、個体数及び湿重量は工事中も工事前の変動範囲内あるいはそれ以上の値でした。また、主な出現種の出現状況を比較した結果、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられませんでした。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-3.5.2.3　底生動物調査の調査地点

表-3.5.2.4(1)　結果概要（底生動物調査：E8：工事前）

調査地点	E8		
調査年度	平成19年度		
項目＼調査時期	夏季	秋季	冬季
出現種類数	5	9	7
個体数(個体/0.1㎡)	133	24	12
湿重量(g/0.1㎡)	0.60	0.07	0.01
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Amphisorus hemprichii* 68 (51.1) *Amphistegina madagascariensis* 40 (30.1) *Nummulites ammonoides* 19 (14.3)	マルソコエビ属 9 (37.5) *Nummulites ammonoides* 7 (29.2) ナギサスナホリムシ属 2 (8.3)	マルソコエビ属 5 (41.7) サンパクソコエビ属 2 (16.7) *Amphistegina madagascariensis* 1 (8.3) *Typosyllis*属 1 (8.3) ナミノコザラ 1 (8.3) ヒトモトイソメ 1 (8.3) ホヤ綱 1 (8.3)

調査地点	E8			
調査年度	平成20年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	16	14	14	14
個体数(個体/0.1㎡)	35	32	28	19
湿重量(g/0.1㎡)	1.27	0.91	0.54	0.12
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ウミホタル科 11 (31.4) マルスダレガイ科 4 (11.4) *Typosyllis*属 3 (8.6) *Armandia*属 2 (5.7) サカライマスオ 2 (5.7) マルソコエビ属 2 (5.7) 紐形動物門 2 (5.7)	*Nummulites ammonoides* 10 (31.3) ウミホタル科 4 (12.5) *Armandia*属 3 (9.4) *Typosyllis*属 3 (9.4) マルソコエビ属 3 (9.4)	ウミホタル科 7 (25.0) クビナガスガメ 3 (10.7) *Amphisorus hemprichii* 2 (7.1) *Amphistegina madagascariensis* 2 (7.1) *Armandia*属 2 (7.1) ウミケムシ科 2 (7.1) コメザクラ 2 (7.1) マルソコエビ属 2 (7.1)	*Eunice*属 5 (26.3) *Nummulites ammonoides* 2 (10.5) *Armandia*属 1 (5.3) *Protodorvillea*属 1 (5.3) *Typosyllis*属 1 (5.3) アワムシロ 1 (5.3) ウミケムシ科 1 (5.3) ウミホタル科 1 (5.3) オトヒメゴカイ科 1 (5.3) オボコスガメ属 1 (5.3) スナカキソコエビ属 1 (5.3) ヒトモトイソメ 1 (5.3) ヒラムシ目 1 (5.3) マルスダレガイ科 1 (5.3)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(2)　結果概要（底生動物調査：E8：工事前）

調査地点	E8			
調査年度	平成21年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	14	7	2	7
個体数(個体/0.1㎡)	19	11	3	12
湿重量(g/0.1㎡)	0.12	0.01	0.07	0.05
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Eunice*属 5 (26.3) *Nummulites ammonoides* 2 (10.5) ヒラムシ目 1 (5.3) アワムシロ 1 (5.3) マルスダレガイ科 1 (5.3) オトヒメゴカイ科 1 (5.3) *Typosyllis*属 1 (5.3) ウミケムシ科 1 (5.3) ヒトモトイソメ 1 (5.3) *Protodorvillea*属 1 (5.3)	スナカキソコエビ属 3 (27.3) *Amphisorus hemprichii* 2 (18.2) *Nummulites ammonoides* 2 (18.2) オフェリアゴカイ科 1 (9.1) カタナメクジウオ 1 (9.1) ナミノコザラ 1 (9.1) マルソコエビ属 1 (9.1)	*Thalenessa*属 2 (66.7) 紐形動物門 1 (33.3)	*Amphisorus hemprichii* 4 (33.3) 紐形動物門 3 (25.0) *Leptochelia*属 1 (8.3) *Sorites orbiculus* 1 (8.3) ウミホタル科 1 (8.3) コシオリエビ属 1 (8.3) ハイハイドロクダムシ属 1 (8.3)

調査地点	E8			
調査年度	平成22年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	4	23	10	13
個体数(個体/0.1㎡)	4	41	20	22
湿重量(g/0.1㎡)	0.02	0.31	1.82	0.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ウミホタル科 1 (25.0) スナカキソコエビ属 1 (25.0) マルソコエビ属 1 (25.0) ムシモドキギンチャク科 1 (25.0)	スナクモヒトデ科 5 (12.2) ウスヒザラガイ科 4 (9.8) カマカヨコエビ属 4 (9.8) コツブムシ科 3 (7.3) ムシモドキギンチャク科 3 (7.3)	*Amphisorus hemprichii* 8 (40.0) *Typosyllis*属 2 (10.0) ケハダヒザラガイ属 2 (10.0) マルソコエビ属 2 (10.0) ウメノハナガイ属 1 (5.0) チリメンカノコアサリ 1 (5.0) トクサモドキ 1 (5.0) ヒラムシ目 1 (5.0) ミツカドカタビラガイ科 1 (5.0) 紐形動物門 1 (5.0)	ウミホタル科 6 (27.3) *Armandia*属 3 (13.6) *Typosyllis*属 2 (9.1) シリス亜科 2 (9.1)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(3)　結果概要（底生動物調査：E8：工事前）

調査地点	E8			
調査年度	平成23年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	24	9	12	15
個体数(個体/0.1㎡)	66	10	14	22
湿重量(g/0.1㎡)	0.47	0.58	0.06	0.10
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ウミホタル科 12 (18.2) ナミノコザラ 8 (12.1) *Armandia*属 7 (10.6) スナクモヒトデ科 7 (10.6) マルソコエビ属 5 (7.6)	ウスヒザラガイ科 2 (20.0) *Eunice*属 1 (10.0) ウミケムシ科 1 (10.0) ケハダヒザラガイ属 1 (10.0) サメハダヒメガザミ 1 (10.0) シリス亜科 1 (10.0) シリブトヒザラガイ 1 (10.0) スナカキソコエビ属 1 (10.0) ヒトモトイソメ 1 (10.0)	サンパクソコエビ属 2 (14.3) スナカキソコエビ属 2 (14.3) *Armandia*属 1 (7.1) *Diplocirrus*属 1 (7.1) *Glycera*属 1 (7.1) *Micronephthys*属 1 (7.1) *Typosyllis*属 1 (7.1) イロアセアシヤガマ 1 (7.1) ウスヒザラガイ科 1 (7.1) スナクモヒトデ科 1 (7.1) ヒトモトイソメ 1 (7.1) 紐形動物門 1 (7.1)	紐形動物門 4 (18.2) *Armandia*属 2 (9.1) *Eunice*属 2 (9.1) *Micronephthys*属 2 (9.1) *Schistomeringos*属 2 (9.1)

調査地点	E8			
調査年度	平成24年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	14	10	5	12
個体数(個体/0.1㎡)	42	15	11	18
湿重量(g/0.1㎡)	0.11	0.46	0.45	0.01
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	マルソコエビ属 11 (26.2) *Armandia*属 9 (21.4) ハイハイドロクダムシ属 5 (11.9) ウミホタル科 3 (7.1) ナギサスナホリムシ属 3 (7.1) マルスダレガイ科 3 (7.1)	*Armandia*属 3 (20.0) *Typosyllis*属 2 (13.3) チリメンカノコアサリ 2 (13.3) フキアゲアサリ 2 (13.3) ウスヒザラガイ科 1 (6.7) ウミホタル科 1 (6.7) タテホシムシ属 1 (6.7) マキガイホシムシ属 1 (6.7) ミクニシボリザクラ 1 (6.7) 紐形動物門 1 (6.7)	マルソコエビ属 5 (45.5) *Thalenessa*属 2 (18.2) アサセクーマ属 2 (18.2) *Armandia*属 1 (9.1) スナカキソコエビ属 1 (9.1)	ハイハイドロクダムシ属 5 (27.8) サイヅチクーマ属 2 (11.1) サンパクソコエビ属 2 (11.1) *Armandia*属 1 (5.6) *Caulleriella*属 1 (5.6) *Typosyllis*属 1 (5.6) スナカキソコエビ属 1 (5.6) ナギサスナホリムシ属 1 (5.6) マルソコエビ属 1 (5.6) ミズヒキゴカイ科 1 (5.6) メリタヨコエビ科 1 (5.6) 紐形動物門 1 (5.6)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(4)　結果概要（底生動物調査：E8：工事前）

調査地点	E8			
調査年度	平成25年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	18	10	8	16
個体数(個体/0.1㎡)	52	17	18	35
湿重量(g/0.1㎡)	2.65	1.41	0.89	3.42
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	フキアゲアサリ 16 (30.8) スナカキソコエビ属 8 (15.4) ウミホタル科 5 (9.6) *Armandia*属 3 (5.8) *Typosyllis*属 3 (5.8) サイヅチクーマ属 3 (5.8) ヒトモトイソメ 3 (5.8)	ウミホタル科 4 (23.5) *Armandia*属 2 (11.8) オボコスガメ属 2 (11.8) スジホシムシ 2 (11.8) 紐形動物門 2 (11.8)	フキアゲアサリ 7 (38.9) *Heterostegina depressa* 4 (22.2) マルソコエビ属 2 (11.1) *Chaetozone*属 1 (5.6) *Typosyllis*属 1 (5.6) ウミホタル科 1 (5.6) オフェリアゴカイ科 1 (5.6) ハマチドリガイ 1 (5.6)	フキアゲアサリ 16 (45.7) チリメンカノコアサリ 4 (11.4) 紐形動物門 2 (5.7)

調査地点	E8
調査年度	平成26年度
項目＼調査時期	春季
出現種類数	19
個体数(個体/0.1㎡)	63
湿重量(g/0.1㎡)	2.31
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	フキアゲアサリ 29 (46.0) アデヤカヒメカノコアサリ 9 (14.3) ウミホタル目 4 (6.3)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(5)　結果概要（底生動物調査：E8：工事中）

調査地点	E8	
調査年度	平成29年度	
項目＼調査時期	秋季	冬季
出現種類数	9	32
個体数(個体/0.1㎡)	31	52
湿重量(g/0.1㎡)	0.04	0.44
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　) 内は組成比%	シリス亜科 12 (38.7) 紐形動物門 5 (16.1) *Amphistegina madagascariensis* 4 (12.9) *Ophelina*属 4 (12.9) ナンノクーマ科 2 (6.5)	*Eunice*属 9 (17.3) *Linopherus*属 3 (5.8) シリス亜科 3 (5.8)

調査地点	E8					
調査年度	平成30年度					
項目＼調査時期	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
出現種類数	41	9	6	12	12	17
個体数(個体/0.1㎡)	90	14	9	27	43	41
湿重量(g/0.1㎡)	32.18	0.05	17.02	0.18	0.36	0.06
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　) 内は組成比%	マルスダレガイ科 7 (7.8) スンナリヨコエビ属 6 (6.7) アデヤカヒメカノコアサリ 6 (6.7) Corophiinae 5 (5.6)	シリス亜科 4 (28.6) ヒサシソコエビ科 3 (21.4) *Linopherus*属 1 (7.1) *Euthalenessa*属 1 (7.1) *Schistomeringos*属 1 (7.1) ミナミタテホシムシ 1 (7.1) *Lumbrinerides*属 1 (7.1) *Ophelia*属 1 (7.1) コツブムシ科 1 (7.1)	シリス亜科 3 (33.3) *Amphisorus hemprichii* 2 (22.2) 紐形動物門 1 (11.1) イソギンチャク目 1 (11.1) カネコマクラ 1 (11.1) *Lumbrinerides*属 1 (11.1)	*Amphisorus hemprichii* 12 (44.4) フキアゲアサリ 3 (11.1) *Linopherus*属 2 (7.4) マルソコエビ属 2 (7.4)	*Amphisorus hemprichii* 20 (46.5) *Linopherus*属 10 (23.3)	*Pisione*属 8 (19.5) *Linopherus*属 7 (17.1) シリス亜科 6 (14.6) Corophiinae 4 (9.8)

調査地点	E8				
調査年度	令和元年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	25	12	20	17	25
個体数(個体/0.1㎡)	38	22	34	40	86
湿重量(g/0.1㎡)	0.14	0.45	0.18	0.42	0.19
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　) 内は組成比%	マルソコエビ属 5 (13.2) ホソツメタナイス科 4 (10.5) Corophiinae 3 (7.9) スンナリヨコエビ属 3 (7.9) ヒゲナガヨコエビ属 2 (5.3) ソコエビ属 2 (5.3)	ウスヒザラガイ科 5 (22.7) *Lumbrineris*属 3 (13.6) スンナリヨコエビ属 3 (13.6) *Linopherus*属 2 (9.1) スナクモヒトデ科 2 (9.1)	*Amphisorus hemprichii* 6 (17.6) ハマチドリ 3 (8.8) *Heterostegina depressa* 2 (5.9) *Nummulites ammonoides* 2 (5.9) シリス亜科 2 (5.9) *Armandia*属 2 (5.9) *Thoracophelia*属 2 (5.9) ヒサシソコエビ科 2 (5.9) マルソコエビ属 2 (5.9)	シリス亜科 8 (17.4) Corophiinae 8 (17.4) ナンノクーマ科 5 (10.9) 紐形動物門 4 (8.7) *Armandia*属 4 (8.7) ウミホタル科 4 (8.7)	ナンノクーマ科 18 (20.9) ウスヒザラガイ科 7 (8.1) マルソコエビ属 7 (8.1) シリス亜科 6 (7.0) ヒサシソコエビ科 6 (7.0) クモヒトデ綱 6 (7.0)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(6)　結果概要（底生動物調査：E8：工事中）

調査地点	E8				
調査年度	令和2年度				
調査時期 / 項目	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	31	42	23	10	17
個体数(個体/0.1㎡)	62	99	72	11	41
湿重量(g/0.1㎡)	0.20	5.03	0.35	0.08	0.22
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	マルソコエビ属 9 (14.5) サンパクソコエビ属 5 (8.1) ヒサシソコエビ科 5 (8.1) シリス亜科 4 (6.5)	ウミホタル科 12 (12.1) ウスヒザラガイ科 8 (8.1) *Armandia*属 7 (7.1) *Linopherus*属 6 (6.1) ケハダヒザラガイ科 5 (5.1) ケンサキスピオ 5 (5.1)	ケハダヒザラガイ科 17 (23.6) シリス亜科 11 (15.3) 線形動物門 10 (13.9) ウミホタル目 7 (9.7)	ヒラムシ目 2 (18.2) 紐形動物門 1 (9.1) マルスダレガイ科 1 (9.1) リュウキュウクサビザラ 1 (9.1) シリス亜科 1 (9.1) ゴカイ科 1 (9.1) ナナテイソメ科 1 (9.1) *Lumbrineris*属 1 (9.1) ケンサキスピオ 1 (9.1) スガメソコエビ属 1 (9.1)	ハイハイドロクダムシ属 16 (39.0) マルソコエビ属 4 (9.8) メリタヨコエビ科 3 (7.3)

調査地点	E8			
調査年度	令和3年度			
調査時期 / 項目	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	16	29	38	19
個体数(個体/0.1㎡)	21	80	81	35
湿重量(g/0.1㎡)	0.22	1.60	0.60	0.52
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ナナテイソメ科 3 (14.3) シリス亜科 2 (9.5) *Linopherus*属 2 (9.5) ミノムシガイ科 2 (9.5)	ウミホタル科 14 (17.5) *Linopherus*属 12 (15.0) シリス亜科 6 (7.5) スンナリヨコエビ属 6 (7.5) *Lembos*属 5 (6.3)	ホソツメタナイス科 15 (18.5) シリス亜科 12 (14.8)	ウスヒザラガイ科 6 (17.1) アシヤガマ 4 (11.4) シリブトヒザラガイ 3 (8.6) *Armandia*属 3 (8.6) ヒメフタハベニツケガニ 3 (8.6)

調査地点	E8				
調査年度	令和4年度				
調査時期 / 項目	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	31	45	19	31	46
個体数(個体/0.1㎡)	54	105	40	74	162
湿重量(g/0.1㎡)	0.26	3.08	0.68	1.35	1.98
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ニッポンスガメ 5 (9.3) Corophiinae 4 (7.4) ウスヒザラガイ科 3 (5.6) *Linopherus*属 3 (5.6) *Notomastus*属 3 (5.6) マルソコエビ属 3 (5.6) ホンヤドカリ科 3 (5.6)	ウスヒザラガイ科 13 (12.4) シリス亜科 8 (7.6) *Linopherus*属 8 (7.6) 紐形動物門 7 (6.7) シリブトヒザラガイ 6 (5.7)	ウスヒザラガイ科 6 (15.0) ケハダヒザラガイ属 5 (12.5) シリス亜科 4 (10.0) *Amphisorus hemprichii* 3 (7.5) *Nematonereis*属 3 (7.5)	サンショウウニ科 13 (17.6) ウスヒザラガイ科 10 (13.5) コシオリエビ属 5 (6.8)	ウスヒザラガイ科 23 (14.2) クダオソコエビ属 21 (13.0) ホソツメタナイス科 15 (9.3) スソキレガイ 12 (7.4) ホソヨコエビ属 9 (5.6)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(7)　結果概要（底生動物調査：E8：工事中）

調査地点	E8					
調査年度	令和5年度					
項目＼調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
出現種類数	53	11	12	11	13	16
個体数(個体/0.1㎡)	152	17	15	26	22	28
湿重量(g/0.1㎡)	1.15	0.43	0.17	0.05	0.01	0.27
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ホソツメタナイス科 35 (23.0) クダオソコエビ属 12 (7.9) スソキレガイ 8 (5.3)	紐形動物門 3 (17.6) ウスヒザラガイ科 3 (17.6) *Linopherus*属 2 (11.8) *Eunice*属 2 (11.8) クレナイアシヤガマ 1 (5.9) スソキレガイ 1 (5.9) ハマヅト 1 (5.9) チリメンカノコアサリ 1 (5.9) シリス亜科 1 (5.9) *Micronephthys*属 1 (5.9)	イトゴカイ科 3 (20.0) シリス亜科 2 (13.3) ハマヅト 1 (6.7) コボレウメノハナ 1 (6.7) *Phyllodoce*属 1 (6.7) *Lysidice*属 1 (6.7) *Lumbrinerides*属 1 (6.7) *Lumbrineris*属 1 (6.7) カザリゴカイ科 1 (6.7) イトクズホシムシ属 1 (6.7) ナギサクーマ科 1 (6.7) ワタリガニ科 1 (6.7)	*Linopherus*属 8 (30.8) *Synelmis*属 5 (19.2) *Lysidice*属 3 (11.5) 線形動物門 2 (7.7) シリス亜科 2 (7.7)	ナナテイソメ科 5 (22.7) シリス亜科 4 (18.2) 紐形動物門 2 (9.1) *Linopherus*属 2 (9.1)	ハマチドリ 8 (28.6) マルスダレガイ科 4 (14.3) スイフガイ科 2 (7.1) コメツブウニ 2 (7.1)

調査地点	E8				
調査年度	令和6年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	27	29	20	11	20
個体数(個体/0.1㎡)	53	67	36	30	39
湿重量(g/0.1㎡)	0.33	0.06	23.81	0.24	0.20
主な出現種の個体数 (個体/㎡) (　)内は組成比%	ニッポンスガメ 6 (11.3) *Eunice*属 5 (9.4) ヒメアワビ 4 (7.5) ホソツメタナイス科 4 (7.5) アシヤガマ属 3 (5.7) スンナリヨコエビ属 3 (5.7) ヒヅメガニ属 3 (5.7)	シリス亜科 11 (16.4) キセワタガイ科 5 (7.5) ナナテイソメ科 4 (6.0) *Spio*属 4 (6.0) 星口動物門 4 (6.0)	シリス亜科 7 (19.4) ミナミシロガネゴカイ 5 (13.9) *Linopherus*属 3 (8.3) イソギンチャク目 2 (5.6) 紐形動物門 2 (5.6) *Eunice*属 2 (5.6) ホソツメタナイス科 2 (5.6)	シリス亜科 19 (63.3) *Armandia*属 2 (6.7)	*Eunice*属 7 (17.9) シリス亜科 5 (12.8) 紐形動物門 4 (10.3) ナナテイソメ科 4 (10.3) コンボウヒメエラゴカイ 2 (5.1) *Caulleriella*属 2 (5.1) *Armandia*属 2 (5.1)

調査地点	E8			
調査年度	令和7年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	21	37	17	51
個体数(個体/0.1㎡)	64	79	32	160
湿重量(g/0.1㎡)	0.08	1.32	0.16	28.39
主な出現種の個体数 (個体/㎡) (　)内は組成比%	Corophiinae 19 (29.7) 線形動物門 8 (12.5) シリス亜科 7 (10.9) マルソコエビ属 5 (7.8)	線形動物門 8 (10.1) シリブトヒザラガイ 7 (10.1) *Linopherus*属 7 (8.9) シリス亜科 6 (7.6) *Caulleriella*属 6 (7.6)	*Armandia*属 8 (25.0) シリス亜科 4 (12.5) マルソコエビ属 3 (9.4) ニシキウズ科 2 (6.3) ウミホタル目 2 (6.3) ヒサシソコエビ科 2 (6.3)	*Eunice*属 16 (10.0) ウスヒザラガイ科 12 (7.5) ヒゲナガヨコエビ属 12 (7.5) ヒヅメガニ属 11 (6.9) コウシスソキレ 10 (6.3)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(8)　結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点	E25		
調査年度	平成19年度		
項目＼調査時期	夏季	秋季	冬季
出現種類数	10	18	10
個体数(個体/0.1㎡)	11	30	12
湿重量(g/0.1㎡)	0.03	0.00	2.41
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	シリス亜科 2 (18.2) *Armandia*属 1 (9.1) *Laonice*属 1 (9.1) *Mediomastus*属 1 (9.1) *Poecilochaetus*属 1 (9.1) オウギガニ科 1 (9.1) テッポウエビ属 1 (9.1) テナガエビ科 1 (9.1) ヒメフタハベニツケガニ 1 (9.1) ユキミノ属 1 (9.1)	*Typosyllis*属 10 (33.3) *Notomastus*属 2 (6.7) *Scolelepis*属 2 (6.7) ゴカイ科 2 (6.7)	オボコスガメ属 3 (25.0) *Aonides*属 1 (8.3) *Pista*属 1 (8.3) イソギンチャク目 1 (8.3) ウミホタル科 1 (8.3) ソデカラッパ 1 (8.3) テナガヒメガザミ 1 (8.3) ヒラムシ目 1 (8.3) メリタヨコエビ科 1 (8.3) 紐形動物門 1 (8.3)

調査地点	E25			
調査年度	平成20年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	23	21	23	23
個体数(個体/0.1㎡)	38	62	36	37
湿重量(g/0.1㎡)	5.97	0.58	3.80	0.21
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Cypridina*属 4 (10.5) *Typosyllis*属 4 (10.5) ナミノコザラ 4 (10.5) *Micronephthys*属 2 (5.3) *Notomastus*属 2 (5.3) *Thalenessa*属 2 (5.3) ウミケムシ科 2 (5.3) スナクモヒトデ科 2 (5.3) マルソコエビ属 2 (5.3)	シリス亜科 17 (27.4) *Leptochelia*属 13 (21.0) ヒトモトイソメ 8 (12.9)	シリス亜科 11 (30.6) *Thalenessa*属 2 (5.6) ギボシイソメ科 2 (5.6) テナガヒメガザミ 2 (5.6)	*Typosyllis*属 8 (21.6) ヒトモトイソメ 5 (13.5) *Eunice*属 2 (5.4) オナガナメクジウオ 2 (5.4) キレコミゴカイ 2 (5.4)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(9)　結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点	E25			
調査年度	平成21年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	20	7	16	10
個体数(個体/0.1㎡)	44	8	31	19
湿重量(g/0.1㎡)	0.22	0.33	3.89	0.08
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Cypridina*属 9 (20.5) シリス亜科 5 (11.4) 紐形動物門 4 (9.1) *Notomastus*属 3 (6.8) *Pista*属 3 (6.8) ムシモドキギンチャク科 3 (6.8)	シリス亜科 2 (25.0) *Glycera*属 1 (12.5) *Leiochrides*属 1 (12.5) *Lumbrinerides*属 1 (12.5) *Pista*属 1 (12.5) テナガヒメガザミ 1 (12.5) ホンヤドカリ科 1 (12.5)	*Typosyllis*属 10 (32.3) 紐形動物門 4 (12.9) オナガナメクジウオ 2 (6.5) ヒトモトイソメ 2 (6.5) ムシモドキギンチャク科 2 (6.5)	*Typosyllis*属 8 (42.1) ヒゾメガニ属 2 (10.5) ヒトモトイソメ 2 (10.5) *Eunice*属 1 (5.3) *Pisione*属 1 (5.3) イカリナマコ科 1 (5.3) オボコスガメ属 1 (5.3) ヒラムシ目 1 (5.3) ホンヤドカリ科 1 (5.3) 異紐虫目 1 (5.3)

調査地点	E25			
調査年度	平成22年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	26	17	17	29
個体数(個体/0.1㎡)	49	37	30	49
湿重量(g/0.1㎡)	2.17	7.83	4.50	3.03
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Cypridina*属 7 (14.3) オボコスガメ属 7 (14.3) マルソコエビ属 5 (10.2) 紐形動物門 5 (10.2) シリス亜科 3 (6.1)	メリタヨコエビ科 10 (27.0) *Leptochelia*属 6 (16.2) ヤドカリ科 3 (8.1) シリス亜科 2 (5.4) ベニツケガニ属 2 (5.4) マキザサ 2 (5.4) マルソコエビ属 2 (5.4)	*Eunice*属 7 (23.3) シリス亜科 4 (13.3) トゲハマヅト 4 (13.3) アワムシロ 2 (6.7)	*Eunice*属 9 (18.4) *Typosyllis*属 4 (8.2) *Leptochelia*属 3 (6.1)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(10)　結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点	E25			
調査年度	平成23年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	22	22	17	24
個体数(個体/0.1㎡)	34	52	60	50
湿重量(g/0.1㎡)	0.74	1.44	2.47	1.88
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Typosyllis*属 6 (17.6) ウスヒザラガイ科 3 (8.8) 紐形動物門 3 (8.8) *Nephtys*属 2 (5.9) *Pelogenia*属 2 (5.9) ハイハイドロクダムシ属 2 (5.9)	ヒトモトイソメ 11 (21.2) ウスヒザラガイ科 9 (17.3) *Eunice*属 6 (11.5) シリス亜科 3 (5.8)	ヒトモトイソメ 17 (28.3) *Typosyllis*属 16 (26.7) *Eunice*属 8 (13.3) ウミケムシ科 3 (5.0)	ヒトモトイソメ 9 (18.0) *Typosyllis*属 7 (14.0) ヒラムシ目 4 (8.0) ハイハイドロクダムシ属 3 (6.0) 紐形動物門 3 (6.0)

調査地点	E25			
調査年度	平成24年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	30	11	8	19
個体数(個体/0.1㎡)	80	35	25	31
湿重量(g/0.1㎡)	4.16	0.16	0.03	0.14
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Eunice*属 18 (22.5) *Leptochelia*属 12 (15.0) メリタヨコエビ科 5 (6.3) ヤドカリ科 5 (6.3) 紐形動物門 5 (6.3)	*Eunice*属 18 (51.4) *Typosyllis*属 4 (11.4) 紐形動物門 3 (8.6) ヒトモトイソメ 2 (5.7) メリタヨコエビ科 2 (5.7)	*Typosyllis*属 16 (64.0) ウミケムシ科 2 (8.0) ヒトモトイソメ 2 (8.0)	マルソコエビ属 4 (12.9) *Axiothella*属 3 (9.7) ケヤリムシ科 3 (9.7) *Phyllodoce*属 2 (6.5) *Pista*属 2 (6.5) *Typosyllis*属 2 (6.5) ナギサクーマ属 2 (6.5) 紐形動物門 2 (6.5)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(11)　結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点	E25			
調査年度	平成25年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	37	22	8	10
個体数(個体/0.1㎡)	70	76	13	13
湿重量(g/0.1㎡)	9.54	2.90	3.08	3.22
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	コキノカサガイ科 7 (10.0) *Leptochelia*属 6 (8.6) メリタヨコエビ科 5 (7.1) *Armandia*属 4 (5.7) *Eunice*属 4 (5.7)	*Eunice*属 13 (17.1) オボコスガメ属 11 (14.5) ヒトモトイソメ 11 (14.5) *Typosyllis*属 8 (10.5) *Leptochelia*属 6 (7.9)	*Typosyllis*属 6 (46.2) ガザミ属 1 (7.7) カザリカニモリ 1 (7.7) シリス亜科 1 (7.7) タナイス目 1 (7.7) テッポウエビ属 1 (7.7) ムシロタケ 1 (7.7) ユンボソコエビ科 1 (7.7)	*Aricidea*属 2 (15.4) *Spio*属 2 (15.4) シリス亜科 2 (15.4) *Armandia*属 1 (7.7) イソギンチャク目 1 (7.7) キバタケ 1 (7.7) ナミノコザラ 1 (7.7) マルソコエビ属 1 (7.7) ムシボタル 1 (7.7) 紐形動物門 1 (7.7)

調査地点	E25
調査年度	平成26年度
項目＼調査時期	春季
出現種類数	19
個体数(個体/0.1㎡)	68
湿重量(g/0.1㎡)	0.20
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Nummulites ammonoides* 25 (36.8) ヒサシソコエビ科 11 (16.2) *Amphistegina madagascariensis* 8 (11.8)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(12)　結果概要（底生動物調査：E25：工事中）

調査地点	E25	
調査年度	平成29年度	
項目＼調査時期	秋季	冬季
出現種類数	27	32
個体数(個体/0.1㎡)	65	152
湿重量(g/0.1㎡)	5.34	4.91
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) （ ）内は組成比%	シリス亜科 19 (29.2) クシガタイソメ 9 (13.8) *Pareurythoe*属 4 (6.2)	ホソツメタナイス科 43 (28.3) シリス亜科 27 (17.8) *Eunice*属 15 (9.9) *Amphisorus hemprichii* 10 (6.6)

調査地点	E25					
調査年度	平成30年度					
項目＼調査時期	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
出現種類数	26	13	19	28	23	14
個体数(個体/0.1㎡)	48	34	67	149	49	28
湿重量(g/0.1㎡)	1.05	77.76	0.36	0.52	0.03	0.10
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) （ ）内は組成比%	シリス亜科 9 (18.8) イッカクカギゴカイ 6 (12.5) ホソツメタナイス科 4 (8.3)	シリス亜科 9 (26.5) *Linopherus*属 7 (20.6) *Eunice*属 6 (17.6) タケフシゴカイ科 3 (8.8)	シリス亜科 36 (53.7) 線形動物門 5 (7.5)	シリス亜科 36 (24.2) *Eunice*属 25 (16.8) *Linopherus*属 18 (12.1) 線形動物門 15 (10.1) イトゴカイ科 9 (6.0)	線形動物門 11 (22.4) シリス亜科 5 (10.2) ミミズ綱 5 (10.2) 紐形動物門 3 (6.1) マルソコエビ属 3 (6.1)	シリス亜科 9 (32.1) スンナリヨコエビ属 3 (10.7) *Notomastus*属 3 (10.7) Corophiinae 2 (7.1) キレコミゴカイ 2 (7.1)

調査地点	E25				
調査年度	令和元年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	10	25	18	12	44
個体数(個体/0.1㎡)	16	37	25	52	171
湿重量(g/0.1㎡)	0.16	1.37	1.48	0.03	0.23
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) （ ）内は組成比%	紐形動物門 4 (25.0) ノラリウロコムシ科 2 (12.5) ミナミシロガネゴカイ 2 (12.5) *Notomastus*属 2 (12.5) マルソコエビ属 1 (6.3) スンナリヨコエビ属 1 (6.3) ナナテイソメ科 1 (6.3) *Pista*属 1 (6.3) *Pseudophilyra*属 1 (6.3) ガザミ属 1 (6.3)	ウスヒザラガイ科 8 (21.6) *Pista*属 3 (8.1) ケヤリムシ科 2 (5.4) テッポウエビ属 2 (5.4) サンカクヒシガニ 2 (5.4)	シリス亜科 2 (8.0) *Linopherus*属 2 (8.0) ハマゾト 2 (8.0) ホタルガイ属 2 (8.0) *Eunice*属 2 (8.0) ナガオタケフシゴカイ 2 (8.0) *Pista*属 2 (8.0)	シリス亜科 15 (28.8) *Eunice*属 8 (15.4) *Linopherus*属 7 (13.5) オフェリアゴカイ科 6 (11.5) 線形動物門 6 (11.5)	シリス亜科 41 (24.0) *Eunice*属 25 (14.6) ニッポンスガメ 15 (8.8) *Linopherus*属 10 (5.8) Corophiinae 10 (5.8)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(13)　結果概要（底生動物調査：E25：工事中）

調査地点	E25				
調査年度	令和2年度				
調査時期 項目	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	19	19	15	20	11
個体数(個体/0.1㎡)	25	43	43	25	16
湿重量(g/0.1㎡)	0.98	0.20	0.73	3.66	0.73
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Praxillella*属 3 (12.0) マルハサミヨコエビ属 3 (12.0) ユキミノ属 2 (8.0) *Pista*属 2 (8.0)	シリス亜科 18 (41.9) Corophiinae 4 (9.3)	シリス亜科 23 (53.5) ハプタエアシガイ 3 (7.0)	シリス亜科 4 (16.0) *Ceratonereis*属 2 (8.0) *Armandia*属 2 (8.0)	シリス亜科 4 (25.0) *Micropodarke*属 2 (12.5) *Caulleriella*属 2 (12.5) ミクニシボリザクラ 1 (6.3) サシバゴカイ科 1 (6.3) ミナミシロガネゴカイ 1 (6.3) *Magelona*属 1 (6.3) *Notomastus*属 1 (6.3) *Pista*属 1 (6.3) ニッポンスガメ 1 (6.3)

調査地点	E25			
調査年度	令和3年度			
調査時期 項目	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	24	19	15	27
個体数(個体/0.1㎡)	62	35	25	63
湿重量(g/0.1㎡)	0.89	8.89	0.82	3.06
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	シリス亜科 11 (17.7) *Linopherus*属 7 (11.3) 紐形動物門 6 (9.7) タケフシゴカイ科 6 (9.7) ホソツメタナイス科 5 (8.1)	*Eunice*属 9 (25.7) タケフシゴカイ科 5 (14.3) *Amphisorus hemprichii* 2 (5.7) ハスメザクラ 2 (5.7) *Eteone*属 2 (5.7) ウミナナフシ科 2 (5.7)	フタマタゴカイ 5 (20.0) *Micropodarke*属 3 (12.0) シリス亜科 3 (12.0) 紐形動物門 2 (8.0) *Pista*属 2 (8.0)	ユキミノ属 17 (27.0) *Eunice*属 10 (15.9) タケフシゴカイ科 4 (6.3) ニッポンスガメ 4 (6.3)

調査地点	E25				
調査年度	令和4年度				
調査時期 項目	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	36	54	13	16	7
個体数(個体/0.1㎡)	106	240	28	20	15
湿重量(g/0.1㎡)	0.97	1.58	0.04	1.42	3.54
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ホソツメタナイス科 13 (12.3) シリス亜科 12 (11.3) ソコエビ属 8 (7.5) *Armandia*属 7 (6.6)	ホソツメタナイス科 70 (29.2) シリス亜科 23 (9.6) ソコエビ属 14 (5.8)	紐形動物門 6 (21.4) シリス亜科 5 (17.9) *Pista*属 5 (17.9) *Lysilla*属 2 (7.1) オトヒメゴカイ科 2 (7.1)	シリス亜科 3 (15.0) ウスヒザラガイ科 2 (10.0) *Notomastus*属 2 (10.0) ビロウドヒザラガイ 1 (5.0) ヒトスジツノクダマキ 1 (5.0) カノコアサリ 1 (5.0) キレコミゴカイ 1 (5.0) ミナミシロガネゴカイ 1 (5.0) *Nematonereis*属 1 (5.0) フタバベニツケガニ属 1 (5.0)	紐形動物門 4 (26.7) *Pista*属 3 (20.0) オオヒシガイ 2 (13.3) シリス亜科 2 (13.3) *Ceratonereis*属 2 (13.3)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(14)　結果概要（底生動物調査：E25：工事中）

調査地点	E25					
調査年度	令和5年度					
項目＼調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
出現種類数	22	29	12	29	16	27
個体数(個体/0.1㎡)	44	75	23	70	32	57
湿重量(g/0.1㎡)	0.09	2.26	1.32	0.24	2.14	15.29
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	シリス亜科 7 (15.9) タケフシゴカイ科 4 (9.1) *Pista*属 3 (6.8) ニッポンスガメ 3 (6.8) マルソコエビ属 3 (6.8) スンナリヨコエビ属 3 (6.8)	*Pista*属 14 (18.7) マルソコエビ属 8 (10.7) 紐形動物門 6 (8.0) ニッポンスガメ 6 (8.0) シリス亜科 4 (5.3) タケフシゴカイ科 4 (5.3)	シリス亜科 7 (30.4) タケフシゴカイ科 4 (17.4) 紐形動物門 3 (13.0)	*Nematonereis*属 16 (22.9) シリス亜科 11 (15.7) タケフシゴカイ科 5 (7.1) コクビワケヤリムシ属 5 (7.1)	*Ceratonereis*属 5 (15.6) サケツノガイ 4 (12.5) オナガナメクジウオ 4 (12.5) ミナミシロガネゴカイ 3 (9.4) ハマゾト 2 (6.3) キセワタガイ科 2 (6.3) ヒノデガイの一種 2 (6.3) ケヤリムシ科 2 (6.3)	シリス亜科 12 (21.1) 紐形動物門 5 (8.8) マルソコエビ属 4 (7.0) タケフシゴカイ科 4 (7.0) *Notomastus*属 3 (5.3) *Pista*属 3 (5.3) ニッポンスガメ 3 (5.3)

	E25				
調査年度	令和6年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	20	10	17	13	22
個体数(個体/0.1㎡)	59	26	49	37	51
湿重量(g/0.1㎡)	0.79	0.25	8.01	0.46	6.85
主な出現種の個体数 (個体/㎡) (　)内は組成比%	*Eunice*属 21 (35.6) シリス亜科 9 (15.3) ユキノカサガイ科 3 (5.1) ヒメアワビ 3 (5.1) オトヒメゴカイ科 3 (5.1) *Linopherus*属 3 (5.1)	シリス亜科 6 (23.1) タケフシゴカイ科 6 (23.1) *Eunice*属 4 (15.4) *Pista*属 4 (15.4)	シリス亜科 16 (32.7) *Eunice*属 4 (8.2) *Pista*属 4 (8.2) 紐形動物門 3 (6.1) *Armandia*属 3 (6.1) タケフシゴカイ科 3 (6.1) オナガナメクジウオ 3 (6.1)	シリス亜科 18 (48.6) *Eunice*属 3 (8.1) タケフシゴカイ科 3 (8.1) 紐形動物門 2 (5.4) オトヒメゴカイ科 2 (5.4) *Nematonereis*属 2 (5.4)	*Pista*属 11 (21.6) *Eunice*属 10 (19.6) シリス亜科 5 (9.8)

調査地点	E25			
調査年度	令和7年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	23	22	10	25
個体数(個体/0.1㎡)	86	43	12	54
湿重量(g/0.1㎡)	21.13	0.81	1.65	0.78
主な出現種の個体数 (個体/㎡) (　)内は組成比%	*Eunice*属 45 (52.3) *Pista*属 9 (10.5) *Nematonereis*属 6 (7.0)	*Pista*属 10 (23.3) *Eunice*属 7 (16.3) 紐形動物門 3 (7.0) シリス亜科 3 (7.0)	*Armandia*属 2 (16.7) コクビワケヤリムシ属 2 (16.7) ムシロタケ 1 (8.3) ミナミシロガネゴカイ 1 (8.3) ケンサキスピオ 1 (8.3) *Scolelepis*属 1 (8.3) ケヤリムシ科 1 (8.3) ヒサシソコエビ科 1 (8.3) ナギサクーマ科 1 (8.3) ツノメエビ 1 (8.3)	*Armandia*属 9 (16.7) 線形動物門 8 (14.8) ニッポンスガメ 5 (9.3) ミクニシボリザクラ 4 (7.4) ヒメゴカイ 3 (5.6)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(15)　結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点	E27		
調査年度	平成19年度		
項目＼調査時期	夏季	秋季	冬季
出現種類数	12	25	16
個体数(個体/0.1㎡)	15	85	27
湿重量(g/0.1㎡)	0.06	5.83	11.20
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ウミケムシ科 2 (13.3) ヒトモトイソメ 2 (13.3) ヒメフタハベニツケガニ 2 (13.3) *Eunice*属 1 (6.7) *Notomastus*属 1 (6.7) *Phoronis*属 1 (6.7) *Pista*属 1 (6.7) キレコミゴカイ 1 (6.7) シリス亜科 1 (6.7) テナガエビ科 1 (6.7) ミナミメナガオサガニ 1 (6.7) 紐形動物門 1 (6.7)	*Typosyllis*属 22 (25.9) *Eunice*属 14 (16.5) *Notomastus*属 8 (9.4) オトヒメゴカイ科 6 (7.1) シリス亜科 5 (5.9)	*Leptochelia*属 9 (33.3) ウスヒザラガイ科 2 (7.4) オウギガニ科 2 (7.4) スナクモヒトデ科 2 (7.4)

調査地点	E27			
調査年度	平成20年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	21	20	22	23
個体数(個体/0.1㎡)	32	34	51	30
湿重量(g/0.1㎡)	0.47	1.25	9.54	2.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ウミケムシ科 4 (12.5) オボコスガメ属 4 (12.5) *Eunice*属 3 (9.4) *Leptochelia*属 2 (6.3) ミクニシボリザクラ 2 (6.3) ヤドカリ科 2 (6.3)	*Typosyllis*属 5 (14.7) *Eunice*属 4 (11.8) *Leptochelia*属 4 (11.8) ヒヅメガニ属 3 (8.8) ハマヅト 2 (5.9) ヒメアワビ 2 (5.9)	シリス亜科 7 (13.7) ヒトモトイソメ 7 (13.7) *Marphysa*属 4 (7.8) ケヤリムシ科 4 (7.8) 紐形動物門 4 (7.8)	*Leptochelia*属 3 (10.0) オウギガニ科 3 (10.0) *Eunice*属 2 (6.7) *Typosyllis*属 2 (6.7) アワムシロ 2 (6.7)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(16)　結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点	E27			
調査年度	平成21年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	31	18	11	24
個体数(個体/0.1㎡)	70	47	19	37
湿重量(g/0.1㎡)	0.28	0.68	0.17	57.08
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Leptochelia*属 10 (14.3) *Amphisorus hemprichii* 8 (11.4) ヒゾメガニ属 8 (11.4) ユキノカサガイ科 5 (7.1) メリタヨコエビ科 4 (5.7)	コシオリエビ属 13 (27.7) オウギガニ科 6 (12.8) ヒゾメガニ属 5 (10.6) ホンヤドカリ科 5 (10.6)	オウギガニ科 5 (26.3) *Typosyllis*属 3 (15.8) *Prionospio*属 2 (10.5) ウミケムシ科 2 (10.5) *Processa*属 1 (5.3) カスリオフェリア 1 (5.3) シリス亜科 1 (5.3) ヒメアワビ 1 (5.3) ヒメフタハベニツケガニ 1 (5.3) ホシムシ目 1 (5.3) 紐形動物門 1 (5.3)	*Leptochelia*属 4 (10.8) *Pista*属 4 (10.8) *Notomastus*属 3 (8.1) *Eunice*属 2 (5.4) *Platynereis*属 2 (5.4) シリス亜科 2 (5.4) ヒゾメガニ属 2 (5.4) 紐形動物門 2 (5.4)

調査地点	E27			
調査年度	平成22年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	22	17	26	31
個体数(個体/0.1㎡)	32	28	38	64
湿重量(g/0.1㎡)	11.66	2.05	3.46	9.43
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ムシモドキギンチャク科 4 (12.5) *Typosyllis*属 3 (9.4) *Axiothella*属 2 (6.3) *Eunice*属 2 (6.3) *Notomastus*属 2 (6.3) *Pista*属 2 (6.3) ヒトモトイソメ 2 (6.3)	*Axiothella*属 4 (14.3) *Cypridina*属 4 (14.3) アワムシロ 2 (7.1) オボコスガメ属 2 (7.1) ハマヅト 2 (7.1) ヒトモトイソメ 2 (7.1) マルハサミヨコエビ属 2 (7.1)	ウスヒザラガイ科 7 (18.4) ヒゾメガニ属 4 (10.5) *Typosyllis*属 3 (7.9) オウギガニ科 2 (5.3)	*Leptochelia*属 9 (14.1) コシオリエビ属 9 (14.1) *Eunice*属 4 (6.3) ヒメアワビ 4 (6.3)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(17)　結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点	E27			
調査年度	平成23年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	42	21	30	26
個体数(個体/0.1㎡)	78	36	47	47
湿重量(g/0.1㎡)	3.07	0.22	1.35	1.49
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Pista*属 10 (12.8) *Pelogenia*属 7 (9.0) *Leptochelia*属 5 (6.4) ケヤリムシ科 4 (5.1) 紐形動物門 4 (5.1)	*Eunice*属 4 (11.1) ウスヒザラガイ科 4 (11.1) ヒメゴカイ 4 (11.1) *Lumbrinerides*属 2 (5.6) アサセクーマ属 2 (5.6) コシオリエビ属 2 (5.6) ヒヅメガニ属 2 (5.6) ヒトモトイソメ 2 (5.6) ムシモドキギンチャク科 2 (5.6)	*Armandia*属 6 (12.8) *Typosyllis*属 4 (8.5) *Axiothella*属 3 (6.4) *Pista*属 3 (6.4) ムシモドキギンチャク科 3 (6.4)	*Typosyllis*属 7 (14.9) *Eunice*属 5 (10.6) *Leptochelia*属 3 (6.4) ヒメフタハベニツケガニ 3 (6.4)

調査地点	E27			
調査年度	平成24年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	34	26	20	30
個体数(個体/0.1㎡)	77	56	27	51
湿重量(g/0.1㎡)	8.23	3.41	0.07	0.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ユキノカサガイ科 19 (24.7) ヒヅメガニ属 10 (13.0) シリス亜科 6 (7.8)	ヒヅメガニ属 7 (12.5) ヒトモトイソメ 5 (8.9) *Eunice*属 4 (7.1) 紐形動物門 4 (7.1) シリス亜科 3 (5.4) ブドウガイ科 3 (5.4) ムシモドキギンチャク科 3 (5.4)	*Amphisorus hemprichii* 3 (11.1) イッカクガニ 3 (11.1) *Pelogenia*属 2 (7.4) ヒトモトイソメ 2 (7.4) マルソコエビ属 2 (7.4)	*Eunice*属 5 (9.8) ウミケムシ科 5 (9.8) *Leptochelia*属 4 (7.8) *Pista*属 4 (7.8) *Typosyllis*属 3 (5.9) キレコミゴカイ 3 (5.9)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(18)　結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点	E27			
調査年度	平成25年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	18	23	14	54
個体数(個体/0.1㎡)	29	55	23	277
湿重量(g/0.1㎡)	0.66	0.45	5.94	4.31
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Eunice*属 5 (17.2) ウスヒザラガイ科 3 (10.3) *Typosyllis*属 2 (6.9) イソギンチャク目 2 (6.9) ウミナナフシ科 2 (6.9) ケヤリムシ科 2 (6.9) シリス亜科 2 (6.9)	*Leptochelia*属 8 (14.5) オボコスガメ属 7 (12.7) *Eunice*属 6 (10.9) *Pista*属 4 (7.3) スナクモヒトデ科 4 (7.3)	*Typosyllis*属 3 (13.0) *Pista*属 2 (8.7) *Prionospio*属 2 (8.7) イトゴカイ科 2 (8.7) キヌヒシガイ 2 (8.7) クモヒトデ綱 2 (8.7) ゴカイ科 2 (8.7) マルソコエビ属 2 (8.7)	*Sorites orbiculus* 107 (38.6) *Pista*属 28 (10.1) タケフシゴカイ科 25 (9.0) *Notomastus*属 19 (6.9)

調査地点	E27
調査年度	平成26年度
項目＼調査時期	春季
出現種類数	33
個体数(個体/0.1㎡)	93
湿重量(g/0.1㎡)	0.75
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Nummulites ammonoides* 20 (21.5) サクラガイ属 13 (14.0) マキガイホシムシ科 6 (6.5) ミガキヒメザラ 5 (5.4) ミナミヨツアナカシパン 5 (5.4)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(19)　結果概要（底生動物調査：E27：工事中）

調査地点	E27		
調査年度	平成29年度		
項目＼調査時期	夏季	秋季	冬季
出現種類数	17	40	46
個体数(個体/0.1㎡)	28	129	112
湿重量(g/0.1㎡)	1.08	2.91	17.64
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	イトゴカイ科 4 (14.3) *Maldanella*属 3 (10.7) テッポウエビ属 3 (10.7) *Megalomma*属 2 (7.1) *Pista*属 2 (7.1) アワムシロ 2 (7.1) ヒメフタハベニツケガニ 2 (7.1)	シリス亜科 25 (19.4) *Myriochele*属 23 (17.8) *Amphisorus hemprichii* 14 (10.9)	*Amphisorus hemprichii* 23 (20.5) *Pista*属 10 (8.9) ヒゾメガニ属 8 (7.1) *Myriochele*属 6 (5.4) シリス亜科 6 (5.4)

調査地点	E27					
調査年度	平成30年度					
項目＼調査時期	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
出現種類数	35	28	24	20	25	26
個体数(個体/0.1㎡)	128	90	84	33	62	65
湿重量(g/0.1㎡)	3.56	11.83	4.78	1.36	0.12	0.61
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Pista*属 39 (30.5) *Myriochele*属 11 (8.6) *Notomastus*属 10 (7.8) シリス亜科 9 (7.0) Corophiinae 7 (5.5)	*Pista*属 23 (25.6) シリス亜科 9 (10.0) *Amphisorus hemprichii* 9 (10.0) タケフシゴカイ科 7 (7.8) *Notomastus*属 6 (6.7)	*Pista*属 17 (20.2) シリス亜科 15 (17.9) *Notomastus*属 11 (13.1) *Amphisorus hemprichii* 7 (8.3) *Eunice*属 5 (6.0)	シリス亜科 6 (18.2) イソギンチャク目 4 (12.1) *Lumbrineris*属 3 (9.1) サシバゴカイ科 2 (6.1) *Amphisorus hemprichii* 2 (6.1) *Pista*属 2 (6.1)	シリス亜科 16 (25.8) 線形動物門 12 (19.4) 紐形動物門 6 (9.7)	シリス亜科 13 (20.0) スンナリヨコエビ属 6 (9.2) ツノヤドカリ属 6 (9.2) Corophiinae 5 (7.7) 線形動物門 5 (7.7)

調査地点	E27				
調査年度	令和元年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	21	28	23	39	48
個体数(個体/0.1㎡)	29	56	54	131	142
湿重量(g/0.1㎡)	0.70	6.75	0.38	0.17	6.46
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	フクロボヤ科 5 (17.2) シリス亜科 3 (10.3) ニッポンスガメ 2 (6.9) *Eunice*属 2 (6.9)	*Pista*属 13 (23.2) タケフシゴカイ科 5 (8.9) *Eunice*属 4 (7.1) 紐形動物門 3 (5.4)	*Pista*属 15 (27.8) ミナミシロガネゴカイ 4 (7.4) ナガオタケフシゴカイ 3 (5.6) ケヤリムシ科 3 (5.6) 紐形動物門 3 (5.6) 線形動物門 3 (5.6) *Myriochele*属 3 (5.6)	線形動物門 32 (24.4) シリス亜科 16 (12.2) *Eunice*属 16 (12.2)	シリス亜科 17 (12.0) *Eunice*属 12 (8.5) *Megalomma*属 11 (7.7) ホソツメタナイス科 9 (6.3) タケフシゴカイ科 8 (5.6)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(20)　結果概要（底生動物調査：E27：工事中）

調査地点	E27				
調査年度	令和2年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	35	27	16	20	47
個体数(個体/0.1㎡)	153	95	24	39	138
湿重量(g/0.1㎡)	3.29	5.16	2.37	3.46	12.93
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Eunice*属 42 (27.5) マルソコエビ属 28 (18.3) ユキミノ属 12 (7.8) ホソツメタナイス科 9 (5.9) *Pista*属 8 (5.2)	*Pista*属 30 (31.6) シリス亜科 9 (9.5) ニッポンスガメ 9 (9.5) *Eunice*属 6 (6.3) マルソコエビ属 5 (5.3)	*Eunice*属 4 (16.7) *Pista*属 4 (16.7) ケハダヒザラガイ科 2 (8.3) ハマヅト 2 (8.3)	*Pista*属 7 (17.9) シリス亜科 6 (15.4) ミナミシロガネゴカイ 6 (15.4) *Podarkeopsis*属 2 (5.1) *Ceratonereis*属 2 (5.1) ホンヤドカリ科 2 (5.1)	*Pista*属 28 (20.3) *Myriochele*属 15 (10.9) ユキミノ属 12 (8.7) ミナミシロガネゴカイ 7 (5.1)

調査地点	E27			
調査年度	令和3年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	34	12	22	32
個体数(個体/0.1㎡)	107	21	51	109
湿重量(g/0.1㎡)	1.34	18.94	0.79	2.93
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	シリス亜科 12 (11.2) *Eunice*属 10 (9.3) メリタヨコエビ属 9 (8.4) ホソツメタナイス科 7 (6.5) *Linopherus*属 6 (5.6) ウミホタル科 6 (5.6)	*Pista*属 5 (23.8) ナガオタケフシゴカイ 4 (19.0) *Eunice*属 3 (14.3)	*Pista*属 12 (23.5) *Myriochele*属 5 (9.8) 紐形動物門 3 (5.9) シリス亜科 3 (5.9) *Ceratonereis*属 3 (5.9) ケヤリムシ科 3 (5.9) ニッポンスガメ 3 (5.9)	ホソツメタナイス科 25 (22.9) シリス亜科 10 (9.2) *Pista*属 8 (7.3)

調査地点	E27				
調査年度	令和4年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	34	50	27	19	35
個体数(個体/0.1㎡)	132	155	69	66	93
湿重量(g/0.1㎡)	0.94	7.54	8.96	14.90	1.64
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	*Pista*属 28 (21.2) *Myriochele*属 26 (19.7) ホソツメタナイス科 13 (9.8) マルソコエビ属 9 (6.8) 紐形動物門 8 (6.1)	ホソツメタナイス科 19 (12.3) コクビワケヤリムシ属 10 (6.5) *Pista*属 10 (6.5) シリス亜科 8 (5.2) *Notomastus*属 8 (5.2) *Myriochele*属 8 (5.2) ケヤリムシ科 8 (5.2)	*Pista*属 9 (13.0) タケフシゴカイ科 8 (11.6) *Myriochele*属 6 (8.7) シリス亜科 5 (7.2) キレコミゴカイ 5 (7.2) ミナミシロガネゴカイ 5 (7.2)	キレコミゴカイ 21 (31.8) *Pista*属 12 (18.2) タケフシゴカイ科 6 (9.1) *Phoronis*属 6 (9.1) ケヤリムシ科 4 (6.1)	ニッポンスガメ 9 (9.7) *Pista*属 8 (8.6) ケヤリムシ科 6 (6.5) ホソツメタナイス科 6 (6.5) シリス亜科 5 (5.4)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(21)　結果概要（底生動物調査：E27：工事中）

調査地点	E27					
調査年度	令和5年度					
項目＼調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
出現種類数	26	48	19	20	28	30
個体数(個体/0.1㎡)	84	162	66	47	47	82
湿重量(g/0.1㎡)	0.33	3.50	0.12	2.31	0.96	0.76
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ホソツメタナイス科 38 (45.2) マルソコエビ属 7 (8.3) *Pista*属 6 (7.1) ニッポンスガメ 5 (6.0)	*Eunice*属 19 (11.7) シリス亜科 16 (9.9) *Pista*属 14 (8.6) ホソツメタナイス科 13 (8.0) マルソコエビ属 10 (6.2)	シリス亜科 15 (22.7) *Pista*属 10 (15.2) 線形動物門 8 (12.1) *Linopherus*属 6 (9.1) *Mediomastus*属 4 (6.1) *Notomastus*属 4 (6.1) タケフシゴカイ科 4 (6.1)	*Eunice*属 10 (21.3) シリス亜科 6 (12.8) *Pista*属 6 (12.8) *Nematonereis*属 4 (8.5)	*Eunice*属 7 (14.9) ソメワケグリ 3 (6.4) シリス亜科 3 (6.4) *Ceratonereis*属 3 (6.4) ミナミシロガネゴカイ 3 (6.4) *Pista*属 3 (6.4)	ミナミシロガネゴカイ 13 (15.9) *Armandia*属 13 (15.9) *Pista*属 11 (13.4) キレコミゴカイ 7 (8.5) ケヤリムシ科 5 (6.1)

	E27				
調査年度	令和6年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	36	24	36	26	28
個体数(個体/0.1㎡)	144	79	87	106	91
湿重量(g/0.1㎡)	5.25	0.82	22.74	2.15	6.13
主な出現種の個体数 (個体/㎡) (　)内は組成比%	*Pista*属 42 (29.2) Corophiinae 16 (11.1) マルソコエビ属 13 (9.0) *Eunice*属 12 (8.3) 紐形動物門 10 (6.9)	*Pista*属 27 (34.2) *Eunice*属 9 (11.4) シリス亜科 8 (10.1) イソギンチャク目 4 (5.1)	*Pista*属 21 (24.1) シリス亜科 11 (12.6) 星口動物門 6 (6.9) *Ceratonereis*属 5 (5.7)	シリス亜科 27 (25.5) *Eunice*属 19 (17.9) 線形動物門 12 (11.3) *Pista*属 6 (5.7)	*Pista*属 21 (23.1) *Myriochele*属 17 (18.7) *Armandia*属 8 (8.8) ケヤリムシ科 8 (8.8)

調査地点	E27			
調査年度	令和7年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	39	31	26	24
個体数(個体/0.1㎡)	134	61	87	58
湿重量(g/0.1㎡)	2.21	1.13	6.98	23.11
主な出現種の個体数 (個体/㎡) (　)内は組成比%	*Pista*属 43 (32.1) *Myriochele*属 13 (9.7) マルソコエビ属 7 (5.2)	ヒゾメガニ属 9 (14.8) *Eunice*属 8 (13.1) *Pista*属 6 (9.8) オオメケヤリムシ属 4 (6.6)	*Ceratonereis*属 25 (28.7) *Pista*属 13 (14.9) *Eunice*属 6 (6.9) イソギンチャク目 5 (5.7) シリス亜科 5 (5.7) *Leiochrides*属 5 (5.7)	ケヤリムシ科 13 (22.4) *Ceratonereis*属 7 (12.1) 線形動物門 6 (10.3) シリス亜科 6 (10.3) *Notomastus*属 4 (6.9)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(22)　結果概要（底生動物調査：E37：工事前）

調査地点	E37			
調査年度	平成20年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	15	11	10	13
個体数(個体/0.1㎡)	29	16	10	15
湿重量(g/0.1㎡)	0.10	0.46	0.14	0.14
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ニシキウズガイ科 5 (17.2) *Armandia*属 4 (13.8) ハイハイドロクダムシ属 4 (13.8) *Phyllodoce*属 2 (6.9) *Processa*属 2 (6.9) ホソヨコエビ属 2 (6.9) マルソコエビ属 2 (6.9)	オボコヌガメ属 4 (25.0) オウギガニ科 3 (18.8) *Schistomeringos*属 1 (6.3) *Sthenelais*属 1 (6.3) イシクヨコエビ科 1 (6.3) ウミケムシ科 1 (6.3) スナモグリ属 1 (6.3) ハマヅト 1 (6.3) ヒメアワビ 1 (6.3) メリタヨコエビ属 1 (6.3) 紐形動物門 1 (6.3)	*Clymenella*属 1 (10.0) *Laonice*属 1 (10.0) *Lumbrineris*属 1 (10.0) *Magelona*属 1 (10.0) *Sthenelais*属 1 (10.0) ウミクワガタ科 1 (10.0) コシオリエビ属 1 (10.0) テナガヒメガザミ 1 (10.0) ヒメフタハベニツケガニ 1 (10.0) ムシロガイ科 1 (10.0)	オウギガニ科 2 (13.3) ユンボソコエビ科 2 (13.3) *Glycera*属 1 (6.7) *Scolelepis*属 1 (6.7) イソヨコエビ属 1 (6.7) イッカクガニ 1 (6.7) キレコミゴカイ 1 (6.7) クーマ属 1 (6.7) スナクモヒトデ科 1 (6.7) ソデカラッパ 1 (6.7) テナガヒメガザミ 1 (6.7) マメコブシガニ属 1 (6.7) ミナミシロガネゴカイ 1 (6.7)

調査地点	E37			
調査年度	平成21年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	21	13	16	2
個体数(個体/0.1㎡)	36	15	26	2
湿重量(g/0.1㎡)	8.62	1.04	14.68	0.56
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ハイハイドロクダムシ属 12 (33.3) マルソコエビ属 3 (8.3) *Processa*属 2 (5.6) アコヤガイ属 2 (5.6)	ツノヤドカリ属 3 (20.0) *Armandia*属 1 (6.7) *Glycera*属 1 (6.7) *Leptochelia*属 1 (6.7) *Nephtys*属 1 (6.7) *Phyllodoce*属 1 (6.7) *Spio*属 1 (6.7) カノコキセワタガイ科 1 (6.7) ゴカイ科 1 (6.7) シリス亜科 1 (6.7) マガキガイ 1 (6.7) ヤドカリ科 1 (6.7) 紐形動物門 1 (6.7)	コツブムシ科 5 (19.2) *Glycera*属 3 (11.5) イッカクガニ 2 (7.7) コシオリエビ属 2 (7.7) ハマヅト 2 (7.7) マガキガイ 2 (7.7)	*Thalenessa*属 1 (50.0) アワムシロ 1 (50.0)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(23)　結果概要（底生動物調査：E37：工事前）

調査地点	E37			
調査年度	平成22年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	17	20	23	14
個体数(個体/0.1㎡)	78	29	36	22
湿重量(g/0.1㎡)	6.33	64.24	5.04	0.14
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ウスヒザラガイ科 28 (35.9) *Notomastus*属 15 (19.2) ウスヒメアワビ 5 (6.4) ユキノカサガイ科 5 (6.4) 異紐虫目 4 (5.1)	マガキガイ 5 (17.2) *Armandia*属 2 (6.9) *Processa*属 2 (6.9) ウスヒザラガイ科 2 (6.9) オウギガニ科 2 (6.9) マメコブシガニ属 2 (6.9)	ゴカイ科 3 (8.3) ツマジロサンゴヤドカリ 3 (8.3) ムシモドキギンチャク科 3 (8.3) *Armandia*属 2 (5.6) *Pseudopolydora*属 2 (5.6) オウギガニ科 2 (5.6) ダンゴクモヒトデ 2 (5.6) トゲハマヅト 2 (5.6) ヘソアキトミガイ 2 (5.6) ホソスジチョウジガイ 2 (5.6)	ヤドカリ科 7 (31.8) ウミグモ目 3 (13.6)

調査地点	E37			
調査年度	平成23年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	25	8	7	10
個体数(個体/0.1㎡)	45	9	20	43
湿重量(g/0.1㎡)	0.36	0.33	0.10	0.03
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ムシモドキギンチャク科 7 (15.6) スナクモヒトデ科 4 (8.9) *Armandia*属 3 (6.7) イカリナマコ科 3 (6.7) ヒゲナガヨコエビ属 3 (6.7) ヤドカリ科 3 (6.7)	ヤドカリ科 2 (22.2) *Glycera*属 1 (11.1) イトクズホシムシ属 1 (11.1) コブシガニ科 1 (11.1) ゴマフカニモリ 1 (11.1) ツクシガイ科 1 (11.1) ナナテイソメ科 1 (11.1) ホシムシ目 1 (11.1)	*Armandia*属 6 (30.0) カンフーソコエビ属 4 (20.0) ハイハイドロクダムシ属 4 (20.0) *Sthenelais*属 2 (10.0) ナギサスナホリムシ属 2 (10.0)	ハイハイドロクダムシ属 22 (51.2) マルソコエビ属 9 (20.9) カンフーソコエビ属 4 (9.3)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(24)　結果概要（底生動物調査：E37：工事前）

調査地点	E37			
調査年度	平成24年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	10	17	12	7
個体数(個体/0.1㎡)	17	24	28	22
湿重量(g/0.1㎡)	0.12	1.16	0.04	0.04
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	マルソコエビ属 5　(29.4) *Nephtys*属 4　(23.5) *Spio*属 1　(5.9) アサセクーマ属 1　(5.9) ウミケムシ科 1　(5.9) オボコスガメ属 1　(5.9) シリス亜科 1　(5.9) ナギサスナホリムシ属 1　(5.9) ニッコウガイ属 1　(5.9) ヒゾメガニ属 1　(5.9)	オウギガニ科 4　(16.7) *Ceratonereis*属 2　(8.3) マルソコエビ属 2　(8.3) ミナミシロガネゴカイ 2　(8.3) 紐形動物門 2　(8.3)	マルソコエビ属 13　(46.4) アサセクーマ属 3　(10.7) ハイハイドロクダムシ属 2　(7.1) 紐形動物門 2　(7.1)	マルソコエビ属 11　(50.0) ナギサスナホリムシ属 4　(18.2) ブドウガイ科 3　(13.6)

調査地点	E37			
調査年度	平成25年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	17	8	7	32
個体数(個体/0.1㎡)	29	11	7	110
湿重量(g/0.1㎡)	0.07	0.53	1.91	6.27
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	マルソコエビ属 4　(13.8) ニシキウズガイ科 3　(10.3) 紐形動物門 3　(10.3) *Prionospio*属 2　(6.9) サンパクソコエビ属 2　(6.9) フサゴカイ科 2　(6.9) ホンヤドカリ科 2　(6.9) ミナミシロガネゴカイ 2　(6.9)	オボコスガメ属 2　(18.2) スジホシムシ 2　(18.2) ニシキウズガイ科 2　(18.2) *Notomastus*属 1　(9.1) *Poecilochaetus*属 1　(9.1) *Scoloplos*属 1　(9.1) ケハダヒザラガイ属 1　(9.1) ミクニシボリザクラ 1　(9.1)	アサセクーマ属 1　(14.3) サツマビナ 1　(14.3) ナギサスナホリムシ属 1　(14.3) ヒゲナガヨコエビ属 1　(14.3) マルソコエビ属 1　(14.3) ミナミシロガネゴカイ 1　(14.3) ユンボソコエビ科 1　(14.3)	マルソコエビ属 36　(32.7) ハイハイドロクダムシ属 20　(18.2) ナギサスナホリムシ属 6　(5.5)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(25)　結果概要（底生動物調査：E37：工事前、工事中）

調査地点	E37
調査年度	平成26年度
項目＼調査時期	春季
出現種類数	67
個体数(個体/0.1㎡)	201
湿重量(g/0.1㎡)	12.98
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ウスヒザラガイ科 33　(16.4) スナクモヒトデ科 17　(8.5) リュウキュウシボリガイ 15　(7.5)

調査地点	E37	
調査年度	平成29年度	
項目＼調査時期	秋季	冬季
出現種類数	15	22
個体数(個体/0.1㎡)	29	42
湿重量(g/0.1㎡)	1.71	0.41
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	アワムシロ 5　(17.2) 線形動物門 5　(17.2) *Euthalenessa*属 3　(10.3) *Glycera*属 2　(6.9) *Pisione*属 2　(6.9) ヒメゴカイ 2　(6.9) ミクニシボリザクラ 2　(6.9)	線形動物門 8　(19.0) *Amphisorus hemprichii* 4　(9.5) *Glycera*属 3　(7.1) *Scolelepis*属 3　(7.1) 紐形動物門 3　(7.1)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(26)　結果概要（底生動物調査：E37：工事中）

調査地点	E37					
調査年度	平成30年度					
項目＼調査時期	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
出現種類数	29	24	20	34	31	35
個体数(個体/0.1㎡)	59	82	64	67	116	165
湿重量(g/0.1㎡)	0.40	0.01	<0.01	4.58	8.39	0.50
主な出現種の個体数（個体/0.1㎡）（　）内は組成比%	*Myriochele*属 6 (10.2) 線形動物門 5 (8.5) アワムシロ 5 (8.5) 紐形動物門 4 (6.8) ニッポンスガメ 4 (6.8) ホンヤドカリ科 4 (6.8) クモヒトデ綱 4 (6.8)	線形動物門 45 (54.9)	Corophiinae 16 (25.0) ツノヤドカリ属 14 (21.9) 線形動物門 12 (18.8) ニッポンスガメ 4 (6.3)	線形動物門 14 (20.9) *Euthalenessa*属 6 (9.0) ヒラムシ目 5 (7.5)	Corophiinae 36 (31.0) 線形動物門 20 (17.2) *Pisione*属 20 (17.2)	Corophiinae 46 (27.9) タナイス科 25 (15.2) 線形動物門 23 (13.9) ニッポンスガメ 9 (5.5)

調査地点	E37				
調査年度	令和元年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	31	25	24	16	34
個体数(個体/0.1㎡)	104	46	47	45	57
湿重量(g/0.1㎡)	0.09	0.19	0.37	<0.01	0.07
主な出現種の個体数（個体/0.1㎡）（　）内は組成比%	Corophiinae 31 (29.8) ニッポンスガメ 14 (13.5) 線形動物門 10 (9.6) Pagurapseudidae 9 (8.7)	ニッポンスガメ 9 (19.6) ホンヤドカリ科 4 (8.7) 紐形動物門 3 (6.5) *Linopherus*属 3 (6.5) シリブトヒザラガイ 3 (6.5)	線形動物門 12 (25.5) Corophiinae 5 (10.6) *Linopherus*属 3 (6.4) *Dispio*属 3 (6.4) *Pseudopolydora*属 3 (6.4)	線形動物門 18 (40.0) Corophiinae 10 (22.2) *Prionospio*属 3 (6.7)	ニッポンスガメ 8 (14.0) ホンヤドカリ科 6 (10.5) 線形動物門 3 (5.3) *Amphistegina madagascariensis* 3 (5.3) *Glycera*属 3 (5.3) ベニスピオ 3 (5.3)

調査地点	E37				
調査年度	令和2年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	8	34	23	20	21
個体数(個体/0.1㎡)	14	82	56	53	32
湿重量(g/0.1㎡)	0.04	7.16	5.56	5.73	0.90
主な出現種の個体数（個体/0.1㎡）（　）内は組成比%	Corophiinae 4 (28.6) マルソコエビ属 3 (21.4) キセワタガイ科 2 (14.3) ウスヒザラガイ科 1 (7.1) Linopherus属 1 (7.1) Scolelepis属 1 (7.1) サンパクソコエビ属 1 (7.1) オナガナメクジウオ 1 (7.1)	線形動物門 21 (25.6) 紐形動物門 5 (6.1) メリタヨコエビ科 5 (6.1) ヤドカリ科 5 (6.1)	Corophiinae 16 (28.6) 線形動物門 6 (10.7) ケンサキスピオ 4 (7.1) *Glycera*属 3 (5.4) ホソツメタナイス科 3 (5.4) クモヒトデ綱 3 (5.4)	線形動物門 17 (32.1) イソギンチャク目 7 (13.2) *Notomastus*属 5 (9.4) *Processa*属 3 (5.7) クモヒトデ綱 3 (5.7)	シリブトヒザラガイ 5 (15.6) ナギサクーマ科 5 (15.6) ホンヤドカリ科 3 (9.4) *Amphisorus hemprichii* 2 (6.3)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(27)　結果概要（底生動物調査：E37：工事中）

調査地点	E37			
調査年度	令和3年度			
項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	27	8	23	27
個体数(個体/0.1㎡)	128	11	39	54
湿重量(g/0.1㎡)	0.37	0.05	0.44	4.55
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	線形動物門 51 (39.8) ニッポンスガメ 32 (25.0) *Myriochele*属 10 (7.8)	紐形動物門 2 (18.2) ホンヤドカリ科 2 (18.2) 星口動物門 2 (18.2) ナガオタケフシゴカイ 1 (9.1) ミガキヒメザラ 1 (9.1) ワタリガニ科 1 (9.1) ミナミシロガネゴカイ 1 (9.1) *Armandia*属 1 (9.1)	線形動物門 8 (20.5) イソギンチャク目 3 (7.7) ミガキヒメザラ 3 (7.7) *Euthalenessa*属 3 (7.7) *Linopherus*属 2 (5.1) ソデナガスピオ 2 (5.1) *Myriochele*属 2 (5.1)	*Pista*属 9 (16.7) *Armandia*属 8 (14.8) 線形動物門 5 (9.3) イソギンチャク目 3 (5.6) *Glycera*属 3 (5.6)

調査地点	E37				
調査年度	令和4年度				
項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	8	27	11	32	17
個体数(個体/0.1㎡)	11	165	16	50	46
湿重量(g/0.1㎡)	0.13	15.22	2.84	0.36	0.17
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	線形動物門 3 (27.3) *Pisione*属 2 (18.2) 紐形動物門 1 (9.1) *Euthalenessa*属 1 (9.1) オトヒメゴカイ科 1 (9.1) *Sphaerosyllis*属 1 (9.1) ケンサキスピオ 1 (9.1) ナギサクーマ科 1 (9.1)	Corophiinae 115 (69.7) 紐形動物門 14 (8.5)	線形動物門 4 (25.0) 紐形動物門 2 (12.5) オトヒメゴカイ科 2 (12.5) ハナギンチャク科 1 (6.3) リュウキュウサルボウ 1 (6.3) *Glycera*属 1 (6.3) *Linopherus*属 1 (6.3) *Caulleriella*属 1 (6.3) アナエビ科 1 (6.3) ガザミ属 1 (6.3)	イトゴカイ科 4 (8.0) 紐形動物門 3 (6.0) オトヒメゴカイ科 3 (6.0) *Armandia*属 3 (6.0) ドロノミ属 3 (6.0) クモヒトデ綱 3 (6.0)	*Armandia*属 20 (43.5) *Prionospio*属 6 (13.0)

調査地点	E37					
調査年度	令和5年度					
項目＼調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
出現種類数	32	21	27	26	18	27
個体数(個体/0.1㎡)	56	34	45	87	27	53
湿重量(g/0.1㎡)	6.80	5.70	13.86	2.92	0.10	0.19
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) (　)内は組成比%	ホソツメタナイス科 16 (28.6) ホンヤドカリ科 6 (10.7)	ニッポンスガメ 8 (23.5) Corophiinae 3 (8.8) ホンヤドカリ科 3 (8.8) 線形動物門 2 (5.9) ホソツメタナイス科 2 (5.9)	紐形動物門 5 (11.1) シリス亜科 5 (11.1) ホンヤドカリ科 4 (8.9) ゴカイ科 3 (6.7) *Cirriformia*属 3 (6.7)	線形動物門 39 (44.8) *Polyophthalmus*属 7 (8.0) ツノヤドカリ属 6 (6.9)	線形動物門 5 (18.5) 紐形動物門 2 (7.4) ミクニシボリザクラ 2 (7.4) シリス亜科 2 (7.4) ケンサキスピオ 2 (7.4) ツノヤドカリ属 2 (7.4)	サクラガイ属 8 (15.1) クモヒトデ綱 5 (9.4) *Armandia*属 4 (7.5) チグサカニモリ 3 (5.7) *Eunice*属 3 (5.7) ダルマゴカイ 3 (5.7)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(28)　結果概要（底生動物調査：E37：工事中）

	E37				
調査年度	令和6年度				
調査時期 項目	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数	32	17	8	12	6
個体数(個体/0.1㎡)	70	21	9	17	7
湿重量(g/0.1㎡)	0.28	16.10	0.93	5.25	0.92
主な出現種の個体数 (個体/㎡) （ ）内は組成比%	Corophiinae 11 (15.7) *Armandia*属 7 (10.0) *Pista*属 6 (8.6) フタマタゴカイ 4 (5.7) ホソツメタナイス科 4 (5.7)	*Ceratonereis*属 3 (14.3) ハナギンチャク科 2 (9.5) ケハダヒザラガイ科 2 (9.5)	ケンサキスピオ 2 (22.2) ミダレシマタマ 1 (11.1) ミクニシボリザクラ 1 (11.1) *Cirriformia*属 1 (11.1) *Mediomastus*属 1 (11.1) イトクズホシムシ属 1 (11.1) テッポウエビ属 1 (11.1) *Ebalia woodmasoni* 1 (11.1)	線形動物門 3 (17.6) *Eunice*属 3 (17.6) ミクニシボリザクラ 2 (11.8) シリブトヒザラガイ 1 (5.9) ウスヒザラガイ科 1 (5.9) アワムシロ 1 (5.9) *Oliva*属 1 (5.9) ムシロタケ 1 (5.9) ウロコガイ科 1 (5.9) *Lumbrineris*属 1 (5.9) *Scolelepis*属 1 (5.9) シリケンウミセミ属 1 (5.9)	ミクニシボリザクラ 2 (28.6) *Glycera*属 1 (14.3) ゴカイ科 1 (14.3) *Armandia*属 1 (14.3) ハイハイドロクダムシ属 1 (14.3) ホンヤドカリ科 1 (14.3)

調査地点	E37			
調査年度	令和7年度			
調査時期 項目	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数	33	23	27	28
個体数(個体/0.1㎡)	54	27	33	49
湿重量(g/0.1㎡)	1.35	0.11	0.86	0.74
主な出現種の個体数 (個体/㎡) （ ）内は組成比%	ソコエビ属 8 (14.8) ホソツメタナイス科 4 (7.4) クモヒトデ綱 4 (7.4) *Pista*属 3 (5.6) ホンヤドカリ科 3 (5.6)	*Ceratonereis*属 2 (7.4) *Myriochele*属 2 (7.4) ホソツメタナイス科 2 (7.4) ホンヤドカリ科 2 (7.4)	ヒヅメガニ属 3 (9.1) オトヒメゴカイ科 2 (6.1) *Ceratonereis*属 2 (6.1) *Leiochrides*属 2 (6.1) クモヒトデ綱 2 (6.1)	*Myriochele*属 8 (16.3) 線形動物門 4 (8.2) イトゴカイ科 3 (6.1) ホンヤドカリ科 3 (6.1) ヒヅメガニ属 3 (6.1)

注）主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.5(1)　底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量（底生動物調査：E8）

調査地点	E8																											
工事	工事前																											
調査年度	H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数（種類）	5	9	7	16	14	14	14	14	7	2	7	4	23	10	13	24	9	12	15	14	10	5	12	18	10	8	16	19
出現種類数範囲	2～24																											
個体数（個体/0.1㎡）	133	24	12	35	32	28	19	19	11	3	12	4	41	20	22	66	10	14	22	42	15	11	18	52	17	18	35	63
個体数範囲	3～133																											
湿重量(g/0.1㎡)	0.60	0.07	0.01	1.27	0.91	0.54	0.12	0.12	0.01	0.07	0.05	0.02	0.31	1.82	0.26	0.47	0.58	0.06	0.10	0.11	0.46	0.45	0.01	2.65	1.41	0.89	3.42	2.31
湿重量範囲	0.01～3.42																											

調査地点	E8																										
工事	工事中																										
調査年度	H29		H30						R1					R2					R3				R4				
調査時期	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数（種類）	9	32	41	9	6	12	12	17	25	12	20	17	25	31	42	23	10	17	16	29	38	19	31	45	19	31	46
出現種類数範囲	6～53																										
個体数（個体/0.1㎡）	31	52	90	14	9	27	43	41	38	22	34	46	86	62	99	72	11	41	21	80	81	35	54	105	40	74	162
個体数範囲	9～162																										
湿重量(g/0.1㎡)	0.04	0.44	32.18	0.05	17.02	0.18	0.36	0.06	0.14	0.45	0.18	0.42	0.19	0.20	5.03	0.35	0.08	0.22	0.22	1.60	0.60	0.52	0.26	3.08	0.68	1.35	1.98
湿重量範囲	0.01～32.18																										

調査地点	E8														
工事	工事中														
調査年度	R5						R6					R7			
調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数（種類）	53	11	12	11	13	16	27	29	20	11	20	21	37	17	51
出現種類数範囲	6～53														
個体数（個体/0.1㎡）	152	17	15	26	22	28	53	67	36	30	39	64	79	32	160
個体数範囲	9～162														
湿重量(g/0.1㎡)	1.15	0.43	0.17	0.05	0.01	0.27	0.33	0.06	23.81	0.24	0.20	0.08	1.32	0.16	28.39
湿重量範囲	0.01～32.18														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.5(2)　底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量（底生動物調査：E25）

調査地点	E25																												
工事	工事前																												
調査年度	H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数（種類）	10	18	10	23	21	23	23	20	7	16	10	26	17	17	29	22	22	17	24	30	11	8	19	37	22	8	10	19
出現種類数範囲	7～37																												
個体数（個体/0.1㎡）	11	30	12	38	62	36	37	44	8	31	19	49	37	30	49	34	52	60	50	80	35	25	31	70	76	13	13	68
個体数範囲	8～80																												
湿重量(g/0.1㎡)	0.03	0.00	2.41	5.97	0.58	3.80	0.21	0.22	0.33	3.89	0.08	2.17	7.83	4.50	3.03	0.74	1.44	2.47	1.88	4.16	0.16	0.03	0.14	9.54	2.90	3.08	3.22	0.20
湿重量範囲	0.00～9.54																												

調査地点	E25																										
工事	工事中																										
調査年度	H29		H30						R1					R2					R3				R4				
調査時期	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数（種類）	27	32	26	13	19	28	23	14	10	25	18	12	44	19	19	15	20	11	24	19	15	27	36	54	13	16	7
出現種類数範囲	7～54																										
個体数（個体/0.1㎡）	65	152	48	34	67	149	49	28	16	37	25	52	171	25	43	43	25	16	62	35	25	63	106	240	28	20	15
個体数範囲	12～240																										
湿重量(g/0.1㎡)	5.34	4.91	1.05	77.76	0.36	0.52	0.03	0.1	0.16	1.37	1.48	0.03	0.23	0.98	0.20	0.73	3.66	0.73	0.89	8.89	0.82	3.06	0.97	1.58	0.04	1.42	3.54
湿重量範囲	0.03～77.76																										

調査地点	E25														
工事	工事中														
調査年度	R5						R6					R7			
調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数（種類）	22	29	12	29	16	27	20	10	17	13	22	23	22	10	25
出現種類数範囲	7～54														
個体数（個体/0.1㎡）	44	75	23	70	32	57	59	26	49	37	51	86	43	12	54
個体数範囲	12～240														
湿重量(g/0.1㎡)	0.09	2.26	1.32	0.24	2.14	15.29	0.79	0.25	8.01	0.46	6.85	21.13	0.81	1.65	0.78
湿重量範囲	0.03～77.76														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.5(3)　底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量（底生動物調査：E27）

調査地点	E27																												
工事	工事前																												
調査年度	H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数（種類）	12	25	16	21	20	22	23	31	18	11	24	22	17	26	31	42	21	30	26	34	26	20	30	18	23	14	54	33
出現種類数範囲	11～54																												
個体数（個体/0.1㎡）	15	85	27	32	34	51	30	70	47	19	37	32	28	38	64	78	36	47	47	77	56	27	51	29	55	23	277	93
個体数範囲	15～277																												
湿重量(g/0.1㎡)	0.06	5.83	11.20	0.47	1.25	9.54	2.26	0.28	0.68	0.17	57.08	11.66	2.05	3.46	9.43	3.07	0.22	1.35	1.49	8.23	3.41	0.07	0.26	0.66	0.45	5.94	4.31	0.75
湿重量範囲	0.06～57.08																												

調査地点	E27																											
工事	工事中																											
調査年度	H29			H30						R1					R2					R3				R4				
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数（種類）	17	40	46	35	28	24	20	25	26	21	28	23	39	48	35	27	16	20	47	34	12	22	32	34	50	27	19	35
出現種類数範囲	12～50																											
個体数（個体/0.1㎡）	28	129	112	128	90	84	33	62	65	29	56	54	131	142	153	95	24	39	138	107	21	51	109	132	155	69	66	93
個体数範囲	21～165																											
湿重量(g/0.1㎡)	1.08	2.91	17.64	3.56	11.83	4.78	1.36	0.12	0.61	0.70	6.75	0.38	0.17	6.46	3.29	5.16	2.37	3.46	12.93	1.34	18.94	0.79	2.39	0.94	7.54	8.96	14.90	1.64
湿重量範囲	0.12～23.11																											

調査地点	E27														
工事	工事中														
調査年度	R5						R6					R7			
調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数（種類）	26	48	19	20	28	30	36	24	36	26	28	39	31	26	24
出現種類数範囲	12～50														
個体数（個体/0.1㎡）	84	162	66	47	47	82	144	79	87	106	91	134	61	87	58
個体数範囲	21～165														
湿重量(g/0.1㎡)	0.33	3.50	0.12	2.31	0.96	0.76	5.25	0.82	22.74	2.15	6.13	2.21	1.13	6.98	23.11
湿重量範囲	0.12～23.11														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.5(4)　底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量（底生動物調査：E37）

調査地点	E37																								
工事	工事前																								
調査年度	H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数（種類）	15	11	10	13	21	13	16	2	17	20	23	14	25	8	7	10	10	17	12	7	17	8	7	32	67
出現種類数範囲	2～67																								
個体数（個体/0.1㎡）	29	16	10	15	36	15	26	2	78	29	36	22	45	9	20	43	17	24	28	22	29	11	7	110	201
個体数範囲	2～201																								
湿重量(g/0.1㎡)	0.10	0.46	0.14	0.14	8.62	1.04	14.68	0.56	6.33	64.24	5.04	0.14	0.36	0.33	0.10	0.03	0.12	1.16	0.04	0.04	0.07	0.53	1.91	6.27	12.98
湿重量範囲	0.03～64.24																								

調査地点	E37																										
工事	工事中																										
調査年度	H29		H30						R1					R2					R3				R4				
調査時期	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数（種類）	15	22	29	24	20	34	31	35	31	25	24	16	34	8	34	23	20	21	27	8	23	27	8	27	11	32	17
出現種類数範囲	6～35																										
個体数（個体/0.1㎡）	29	42	59	82	64	67	116	165	104	46	47	45	57	14	82	56	53	32	128	11	39	54	11	165	16	50	46
個体数範囲	7～165																										
湿重量(g/0.1㎡)	1.71	0.41	0.40	0.01	<0.01	4.58	8.39	0.50	0.09	0.19	0.37	<0.01	0.07	0.04	7.16	5.56	5.73	0.90	0.37	0.05	0.44	4.55	0.13	15.22	2.84	0.36	0.17
湿重量範囲	<0.01～16.10																										

調査地点	E37														
工事	工事中														
調査年度	R5						R6					R7			
調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数（種類）	32	21	27	26	18	27	32	17	8	12	6	33	23	27	28
出現種類数範囲	6～35														
個体数（個体/0.1㎡）	56	34	45	87	27	53	70	21	9	17	7	54	27	33	49
個体数範囲	7～165														
湿重量(g/0.1㎡)	6.80	5.70	13.86	2.92	0.10	0.19	0.28	16.10	0.93	5.25	0.92	1.35	0.11	0.86	0.74
湿重量範囲	<0.01～16.10														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

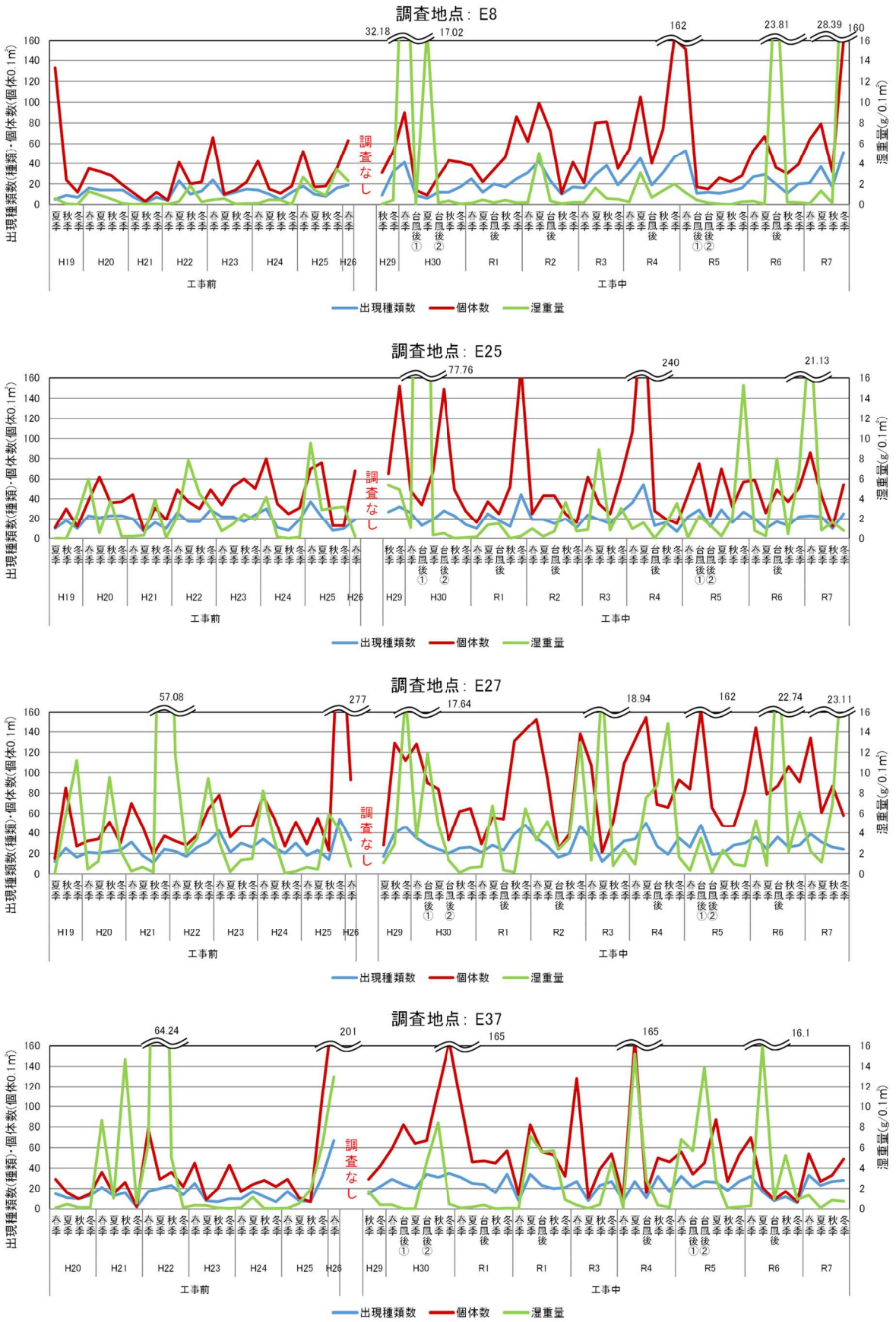


図-3.5.2.4　底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量（底生動物調査）

表-3.5.2.6(1)　底生動物の主な出現種の経年比較(E8)

	E8																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.6(2)　底生動物の主な出現種の経年比較(E8)

	E8																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.6(3)　底生動物の主な出現種の経年比較(E25)

	E25																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.6(4)　底生動物の主な出現種の経年比較(E25)

	E25																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.6(5)　底生動物の主な出現種の経年比較(E27)

	E27																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.6(6)　底生動物の主な出現種の経年比較(E27)

	E27																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.6(7)　底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

	E37																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.6(8)　底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

	E37																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.6(9)　底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

	E37																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.4に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位５種）に対応します。

(3) 潮間帯生物調査（定量的調査）

目視観察における主な出現種（植物及び動物毎の出現頻度の高い上位 3 種）の経年出現状況を表-3.5.2.7 に示します。植物では、主な出現種である藍藻綱、サビ亜科（無節サンゴモ類）及びハイテングサは、春季調査のみを実施した平成 26 年度を除くと、工事前から工事中を通して、全ての年度でいずれかの季節で確認されています。動物では、主な出現種であるリュウキュウアオガイ、オキナワイシダタミ及びアマオブネガイは、工事前から工事中を通して、全ての年度でいずれかの季節で確認されています。

刈り取り、堆積物採取における、経年の結果概要を表-3.5.2.8 に、動植物の経年の平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量を表-3.5.2.9、図-3.5.2.6 及び図-3.5.2.7 に示します。調査を実施した地点（L-潮 4）において、動植物の経年の平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量は、植物の平均湿重量において、一時的に工事前の変動範囲を下回る時期もみられましたが、それ以外の項目では、概ね工事前における変動範囲内でした。また、主な出現種についても工事前と比較して大きな変化はみられませんでした。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-3.5.2.5　潮間帯生物調査の調査地点

表-3.5.2.7　目視観察　主な出現種の出現状況（潮間帯生物調査）

調査地点		L 潮4																										
工事		工事前																										
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物	藍藻綱	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
動物	リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

工事		工事中																										
調査年度		H29		H30						R1					R2					R3				R4				
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	藍藻綱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動物	リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

工事		工事中														
調査年度		R5						R6					R7			
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物	藍藻綱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動物	リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.8(1)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事前）

調査地点		L-潮4		
調査年度		平成19年度		
項目＼調査時期		夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	5	6	14
	平均出現種類数	3 (1 ～ 4)	5 (3 ～ 6)	8 (5 ～ 11)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.35 (0.20 ～ 0.50)	0.20 (0.00 ～ 0.40)	1.60 (0.20 ～ 3.00)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヒメハモク 0.25 (71.4) ハイテングサ 0.10 (28.6)	ハイテングサ 0.20 (100.0)	ヒメテングサ 1.50 (93.8) ヒトエグサ 0.10 (6.3)
動物	出現種類数	23	27	21
	平均出現種類数	16 (12 ～ 19)	17 (14 ～ 20)	14 (10 ～ 18)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	65 (34 ～ 96)	60 (55 ～ 64)	50 (36 ～ 64)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	35.05 (33.95 ～ 36.15)	37.84 (29.74 ～ 45.94)	23.77 (18.94 ～ 28.59)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヤッコカンザシゴカイ 16 (23.8) アマオブネガイ 7 (10.8) クマドリゴカイ 6 (8.5) モクズヨコエビ属 5 (7.7) マダラヨコバサミ 4 (6.2)	アマオブネガイ 10 (16.8) ヤッコカンザシゴカイ 8 (13.4) マダラヨコバサミ 7 (10.9) イソカニダマシ属 6 (10.1) サメハダホシムシ属 5 (7.6)	アマオブネガイ 8 (15.0) イソカニダマシ属 7 (14.0) オキナワイシダタミ 7 (13.0) *Nipponacmea*属 6 (12.0) ヤッコカンザシゴカイ 5 (9.0)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(2)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮４：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成20年度			
項目＼調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	9	7	12	14
	平均出現種類数	5 (2 ～ 7)	5 (4 ～ 5)	9 (8 ～ 10)	8 (1 ～ 14)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.15 (0.00 ～ 0.30)	0.20 (0.00 ～ 0.40)	12.55 (6.00 ～ 19.10)	1.10 (0.00 ～ 2.20)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ハイテングサ 0.15 (100.0)	ヒメテングサ 0.10 (50.0) ハイテングサ 0.10 (50.0)	ハイテングサ 9.25 (73.7) ヒトエグサ 2.75 (21.9)	ハイテングサ 0.45 (40.9) マクリ 0.45 (40.9) ヒメテングサ 0.10 (9.1)
動物	出現種類数	37	30	21	28
	平均出現種類数	22 (11 ～ 32)	18 (16 ～ 20)	13 (10 ～ 16)	17 (9 ～ 25)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	146 (45 ～ 247)	67 (53 ～ 80)	44 (41 ～ 47)	67 (48 ～ 86)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	52.13 (32.11 ～ 72.14)	47.49 (39.32 ～ 55.66)	24.79 (24.20 ～ 25.37)	43.09 (42.09 ～ 44.08)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヤッコカンザシゴカイ 68 (46.2) ミナミカニダマシ 12 (8.2) アマオブネガイ 10 (6.8)	イソカニダマシ属 15 (22.6) *Nipponacmea*属 9 (13.5) アマオブネガイ 9 (13.5) シマベッコウバイ 6 (9.0) サメハダホシムシ属 4 (5.3)	イソカニダマシ属 11 (25.0) アマオブネガイ 11 (23.9) *Nipponacmea*属 8 (17.0)	アマオブネガイ 12 (17.9) *Nipponacmea*属 10 (14.2) オキナワイシダタミ 7 (10.4) イソカニダマシ属 6 (9.0) シマベッコウバイ 4 (6.0)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(3)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事前）

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成21年度			
項目＼調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	7	12	12	12
	平均出現種類数	4 (2 ～ 6)	6 (2 ～ 10)	10 (9 ～ 10)	9 (6 ～ 11)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.30 (0.00 ～ 0.60)	0.40 (0.00 ～ 0.80)	4.80 (4.60 ～ 5.00)	1.45 (0.50 ～ 2.40)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ハイテングサ 0.30 (100.0)	ハイテングサ 0.40 (100.0)	ヒトエグサ 2.40 (50.0) イソダンツウ 1.60 (33.3) ハイテングサ 0.80 (16.7)	ヒトエグサ 0.90 (62.1) ヒメテングサ 0.40 (27.6) ハイテングサ 0.15 (10.3)
動物	出現種類数	23	20	27	24
	平均出現種類数	15 (13 ～ 17)	11 (5 ～ 17)	17 (13 ～ 21)	16 (15 ～ 17)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	78 (59 ～ 97)	61 (47 ～ 74)	62 (57 ～ 66)	55 (45 ～ 65)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	73.54 (72.79 ～ 74.29)	51.15 (39.98 ～ 62.32)	35.56 (29.78 ～ 41.34)	41.34 (31.25 ～ 51.43)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	アマオブネガイ 32 (41.0) イソカニダマシ属 11 (14.1) *Nipponacmea* 属 7 (8.3) オキナワイシダタミ 7 (8.3) オオシマカニモリ 4 (5.1) ムラサキクルマナマコ 4 (5.1)	アマオブネガイ 21 (34.7) オキナワイシダタミ 13 (21.5) *Nipponacmea* 属 7 (11.6) サメハダホシムシ属 3 (5.0)	イソカニダマシ属 14 (22.0) アマオブネガイ 10 (16.3) シマベッコウバイ 5 (7.3) *Nipponacmea* 属 4 (5.7) オキナワイシダタミ 4 (5.7) ヒゾメガニ 4 (5.7)	アマオブネガイ 17 (30.9) イソカニダマシ属 6 (10.0) オキナワイシダタミ 4 (7.3) シマベッコウバイ 4 (7.3) *Nipponacmea* 属 3 (5.5)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(4)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事前）

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成22年度			
項目＼調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	3	2	12	19
	平均出現種類数	2 (1 ～ 2)	1 (0 ～ 2)	7 (5 ～ 9)	10 (3 ～ 16)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.50 (0.00 ～ 1.00)	0.15 (0.00 ～ 0.30)	8.45 (5.70 ～ 11.20)	3.55 (0.80 ～ 6.30)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	テングサ科 0.50 (100.0)	ハイテングサ 0.15 (100.0)	ヒトエグサ 2.85 (33.7) ハイテングサ 2.35 (27.8) シマテングサ 2.30 (27.2) イソダンツウ 0.50 (5.9)	ハイテングサ 3.05 (85.9) クダモ属 0.30 (8.5)
動物	出現種類数	42	32	31	37
	平均出現種類数	24 (14 ～ 34)	19 (15 ～ 22)	17 (11 ～ 23)	22 (16 ～ 27)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	145 (47 ～ 243)	90 (50 ～ 129)	74 (42 ～ 106)	299 (49 ～ 549)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	55.11 (42.58 ～ 67.63)	27.19 (15.70 ～ 38.68)	23.88 (14.96 ～ 32.79)	20.74 (13.48 ～ 28.00)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	タテホシムシ属 60 (41.4) イソカニダマシ属 9 (6.2) アマオブネガイ 9 (5.9)	ヤッコカンザシゴカイ 24 (26.8) イソカニダマシ属 20 (22.3) アマオブネガイ 13 (14.0) シマベッコウバイ 5 (5.6)	イソカニダマシ属 16 (20.9) ヤッコカンザシゴカイ 16 (20.9) シロスジフジツボ 7 (8.8) アマオブネガイ 6 (8.1)	ヤッコカンザシゴカイ 238 (79.6)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(5)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事前）

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成23年度			
項目＼調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	4	15	16	14
	平均出現種類数	2 (1 ～ 3)	8 (4 ～ 12)	9 (4 ～ 14)	8 (5 ～ 11)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.55 (0.00 ～ 1.10)	2.90 (0.30 ～ 5.50)	19.65 (10.80 ～ 28.50)	11.45 (0.80 ～ 22.10)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ハイテングサ 0.55 (100.0)	ハイテングサ 2.75 (94.8) クダモ属 0.15 (5.2)	ヒトエグサ 14.25 (72.5) ハイテングサ 4.50 (22.9)	ハイテングサ 7.60 (66.4) テングサ科 3.25 (28.4)
動物	出現種類数	42	25	58	56
	平均出現種類数	22 (11 ～ 33)	15 (12 ～ 18)	36 (25 ～ 46)	33 (24 ～ 42)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	176 (21 ～ 331)	40 (35 ～ 44)	387 (301 ～ 473)	225 (82 ～ 368)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	16.07 (8.45 ～ 23.68)	18.05 (13.06 ～ 23.04)	75.64 (70.02 ～ 81.25)	50.34 (47.01 ～ 53.67)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヤッコカンザシゴカイ 121 (68.5)	ヤッコカンザシゴカイ 9 (22.8) オキナワイシダタミ 4 (8.9) *Nipponacmea*属 3 (7.6) ゴマフニナ 3 (7.6) アマオブネガイ 3 (6.3)	ヤッコカンザシゴカイ 225 (58.1) イソカニダマシ属 25 (6.5)	ヤッコカンザシゴカイ 134 (59.6)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(6)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事前）

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成24年度			
項目＼調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	12	4	12	9
	平均出現種類数	7 (2 ～ 12)	2 (0 ～ 4)	6 (2 ～ 10)	5 (1 ～ 9)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	5.70 (3.80 ～ 7.60)	0.25 (0.00 ～ 0.50)	8.50 (3.40 ～ 13.60)	2.75 (0.20 ～ 5.30)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) （　）内は組成比%	ハイテングサ 4.55 (79.8) ヒメテングサ 0.75 (13.2)	テングサ科 0.20 (80.0) フジマツモ科 0.05 (20.0)	ハイテングサ 6.70 (78.8) ヒトエグサ 1.40 (16.5)	ヒメテングサ 1.20 (43.6) ヒトエグサ 0.50 (18.2) ユレモ科 0.45 (16.4) アオノリ属 0.30 (10.9) ハイテングサ 0.25 (9.1)
動物	出現種類数	35	71	24	26
	平均出現種類数	23 (19 ～ 27)	45 (33 ～ 56)	15 (12 ～ 17)	15 (7 ～ 23)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	70 (46 ～ 94)	433 (291 ～ 575)	38 (26 ～ 49)	53 (18 ～ 88)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	26.24 (17.08 ～ 35.40)	44.20 (30.32 ～ 58.08)	32.30 (32.07 ～ 32.52)	11.94 (10.84 ～ 13.03)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) （　）内は組成比%	アマオブネガイ 10 (13.6) ヤッコカンザシゴカイ 9 (12.1) ツマキヨコバサミ 6 (7.9) *Nipponacmea*属 5 (7.1) イソカニダマシ属 5 (7.1)	ヤッコカンザシゴカイ 151 (34.9) タテホシムシ属 106 (24.4) ヒバリガイモドキ 38 (8.8)	アマオブネガイ 6 (16.0) オキナワイシダタミ 6 (14.7) イソカニダマシ属 5 (13.3) ニシキアマオブネ 3 (8.0) ツマキヨコバサミ 2 (5.3)	ヤッコカンザシゴカイ 13 (23.6) *Perinereis*属 6 (11.3) *Nereis*属 5 (8.5) *Nipponacmea*属 4 (7.5) アマオブネガイ 3 (5.7) オキナワイシダタミ 3 (5.7)

注）1.本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2.平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3.主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(7)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮４：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成25年度			
項目＼調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	8	13	15	8
	平均出現種類数	5 (3 ～ 7)	7 (1 ～ 12)	8 (4 ～ 11)	6 (4 ～ 7)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.69 (0.00 ～ 1.38)	2.15 (0.00 ～ 4.30)	5.40 (4.70 ～ 6.10)	1.78 (0.29 ～ 3.27)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ハイテングサ 0.69 (100.0)	ハイテングサ 1.76 (81.6) ソゾ属 0.39 (17.9)	ヒトエグサ 2.34 (43.3) ハイテングサ 2.24 (41.4) トゲイギス 0.29 (5.3)	ヒメテングサ 0.79 (44.1) ハイテングサ 0.73 (40.7) クダモ属 0.26 (14.6)
動物	出現種類数	40	21	27	30
	平均出現種類数	21 (10 ～ 32)	13 (7 ～ 18)	16 (10 ～ 21)	19 (15 ～ 23)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	66 (27 ～ 105)	46 (18 ～ 73)	85 (36 ～ 134)	163 (43 ～ 282)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	25.89 (14.81 ～ 36.97)	23.85 (23.07 ～ 24.62)	33.72 (12.47 ～ 54.96)	32.96 (31.53 ～ 34.39)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヤッコカンザシゴカイ 15 (22.7) ウスヒザラガイ科 11 (15.9) アマオブネガイ 7 (9.8) オキナワイシダタミ 4 (6.1)	ヤッコカンザシゴカイ 9 (19.8) *Nipponacmea*属 7 (14.3) イソカニダマシ属 6 (13.2) オキナワイシダタミ 5 (9.9) アマオブネガイ 4 (7.7)	ヤッコカンザシゴカイ 37 (43.5) タテホシムシ属 12 (14.1) イソカニダマシ属 7 (8.2) オキナワイシダタミ 7 (8.2)	ヤッコカンザシゴカイ 112 (68.6) アマオブネガイ 9 (5.5)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(8)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事前）

調査地点		L-潮4
調査年度		平成26年度
項目＼調査時期		春季
植物	出現種類数	7
	平均出現種類数	4 (1　～　7)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	1.75 (1.27　～　2.22)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ハイテングサ 1.06　(60.5) ヒトエグサ 0.64　(36.7)
動物	出現種類数	27
	平均出現種類数	17 (13　～　20)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	57 (35　～　78)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	19.93 (17.22　～　22.64)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヤッコカンザシゴカイ 9　(15.0) オキナワイシダタミ 8　(14.2) タテホシムシ属 8　(14.2) イソカニダマシ属 5　(8.8) イソヨコエビ属 5　(8.8)

注）1.本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
　　2.平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
　　3.主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(9)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事中）

調査地点		L-潮4	
調査年度		平成29年度	
項目＼調査時期		秋季	冬季
植物	出現種類数	6	14
	平均出現種類数	3 (0 ～ 6)	9 (6 ～ 12)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	1.31 (0.00 ～ 2.61)	6.80 (0.67 ～ 12.92)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	テングサ科 1.30　(99.6)	テングサ科 5.35　(78.7) スギノリ属 0.70　(10.2)
動物	出現種類数	31	42
	平均出現種類数	17 (13 ～ 20)	27 (19 ～ 34)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	87 (37 ～ 136)	220 (146 ～ 293)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	18.04 (9.58 ～ 26.50)	45.88 (18.35 ～ 73.41)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヤッコカンザシゴカイ 67　(38.7) コウダカカラマツ属 25　(14.5) オキナワイシダタミ 16　(9.2) タテホシムシ属 11　(6.4)	ヤッコカンザシゴカイ 182　(41.5) ミナミタテホシムシ 67　(15.3) *Perinereis*属 25　(5.7) イソギンチャク目 22　(5.0)

注）1.本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
　　2.平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
　　3.主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(10)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮４：工事中)

調査地点		L-潮4					
調査年度		平成30年度					
項目＼調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
植物	出現種類数	18	4	5	4	10	9
	平均出現種類数	10 (9 ～ 11)	2 (0 ～ 4)	3 (2 ～ 4)	2 (1 ～ 3)	6 (3 ～ 8)	6 (3 ～ 8)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	3.00 (2.51 ～ 3.49)	2.45 (0.00 ～ 4.89)	0.09 (0.00 ～ 0.18)	0.05 (0.00 ～ 0.09)	0.06 (0.03 ～ 0.09)	0.97 (0.11 ～ 1.83)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ハイテングサ 1.41 (46.8) ホンダワラ属 0.48 (15.8) スギノリ属 0.33 (10.8) トゲイギス 0.32 (10.5) ヒメテングサ 0.27 (9.0)	ヒメテングサ 2.40 (98.0)	ヒメテングサ 0.09 (94.4) サビ亜科(無節サンゴモ類) 0.01 (5.6)	テングサ科 0.03 (55.6) ハイテングサ 0.02 (44.4)	カイノリ 0.02 (33.3) ユレモ科 0.02 (25.0) テングサ科 0.01 (16.7) ウミウブワ属 0.01 (16.7) トゲイギス 0.01 (8.3)	テングサ科 0.52 (53.1) フクロノリ 0.35 (36.1) ヒトエグサ 0.05 (5.2)
動物	出現種類数	68	21	25	30	28	16
	平均出現種類数	41 (30 ～ 51)	11 (4 ～ 18)	14 (13 ～ 15)	19 (14 ～ 23)	16 (9 ～ 22)	10 (10 ～ 10)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	313 (264 ～ 361)	77 (16 ～ 137)	70 (70 ～ 70)	170 (36 ～ 304)	87 (27 ～ 146)	47 (34 ～ 60)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	36.11 (26.77 ～ 45.45)	19.70 (18.40 ～ 20.99)	34.21 (17.27 ～ 51.14)	21.41 (20.26 ～ 22.56)	12.92 (7.86 ～ 17.97)	23.69 (17.40 ～ 29.98)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヤッコカンザシゴカイ 206 (65.8)	ヤッコカンザシゴカイ 29 (37.9) アマオブネガイ 13 (17.0) コウダカカラマツ属 8 (9.8) *Petrolisthes inermis* 4 (5.2) クマドリゴカイ 4 (5.2)	ヤッコカンザシゴカイ 22 (31.4) アマオブネガイ 16 (22.9) オキナワイシダタミ 5 (7.1) コウダカカラマツ属 5 (6.4)	ヤッコカンザシゴカイ 98 (57.6) サメハダホシムシ属 22 (12.6)	ヤッコカンザシゴカイ 33 (37.6) タテホシムシ属 19 (21.4) アマオブネガイ 5 (5.8) サメハダホシムシ属 5 (5.8) リュウキュウアオガイ 5 (5.2)	ヤッコカンザシゴカイ 13 (26.6) アマオブネガイ 11 (23.4) オキナワイシダタミ 5 (9.6) リュウキュウアオガイ 4 (8.5) ミナミタテホシムシ 3 (6.4)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
　　2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
　　3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(11)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮４：工事中)

調査地点		L-潮4				
調査年度		令和元年度				
項目＼調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	出現種類数	10	9	2	15	17
	平均出現種類数	6 (3 ～ 8)	5 (1 ～ 8)	1 (0 ～ 2)	8 (2 ～ 14)	9 (0 ～ 17)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.70 (0.25 ～ 1.14)	0.12 (0.00 ～ 0.23)	0.49 (0.00 ～ 0.98)	0.38 (0.01 ～ 0.74)	1.12 (0.00 ～ 2.23)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	カイノリ 0.29 (41.0) クダモ属 0.13 (18.0) ヒメテングサ 0.11 (15.1) ハイテングサ 0.09 (12.9) アオノリ属 0.08 (11.5)	タマバロニア 0.08 (69.6) シオグサ科 0.02 (13.0) ハイテングサ 0.01 (8.7)	ハイテングサ 0.49 (100.4)	ハイテングサ 0.25 (65.3) ｺﾚﾓ科 0.06 (14.7) トゲイギス 0.05 (12.0)	フクロノリ 0.35 (30.9) ハイテングサ 0.28 (24.7) トゲイギス 0.22 (19.3) ウミゾウメン科 0.14 (12.6) アイミドリ 0.08 (6.7)
動物	出現種類数	34	40	26	19	41
	平均出現種類数	20 (12 ～ 27)	23 (10 ～ 35)	14 (5 ～ 22)	10 (6 ～ 14)	22 (14 ～ 29)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	115 (25 ～ 205)	195 (33 ～ 357)	155 (15 ～ 294)	67 (18 ～ 115)	83 (56 ～ 109)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	42.38 (30.61 ～ 54.15)	39.87 (34.17 ～ 45.56)	19.73 (13.43 ～ 26.03)	13.66 (6.33 ～ 20.99)	29.12 (25.98 ～ 32.26)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	ヤッコカンザシゴカイ 45 (39.1) コウダカカラマツ属 11 (9.1) アマオブネガイ 10 (8.7) イソヨコエビ属 9 (7.8) ミナミタテホシムシ 7 (6.1)	ミナミタテホシムシ 64 (32.8) ヤッコカンザシゴカイ 41 (20.8) アマオブネガイ 13 (6.4)	ヤッコカンザシゴカイ 43 (27.5) イソカニダマシ属 43 (27.5) ツマキヨコバサミ 12 (7.4) クマドリゴカイ 9 (5.5)	リトウイワフジツボ 33 (48.9) ヤッコカンザシゴカイ 7 (10.5) オキナワイシダタミ 6 (8.3) アマオブネガイ 4 (6.0) コウダカカラマツ属 4 (5.3)	アマオブネガイ 12 (14.5) ヤッコカンザシゴカイ 7 (8.5) ミナミタテホシムシ 7 (7.9) イソカニダマシ 6 (6.7) ツマキヨコバサミ 5 (6.1)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(12)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事中）

調査地点		L-潮4				
調査年度		令和2年度				
項目＼調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	出現種類数	15	9	9	7	16
	平均出現種類数	8 (2 ～ 13)	5 (1 ～ 9)	5 (1 ～ 8)	4 (1 ～ 6)	9 (3 ～ 15)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	2.92 (0.27 ～ 5.57)	1.68 (0.11 ～ 3.25)	1.42 (0.06 ～ 2.77)	0.11 (0.09 ～ 0.12)	0.32 (0.03 ～ 0.60)
	主な出現種の平均湿重量 (g/0.09㎡) （ ）内は組成比%	ハイテングサ 1.47 (50.3) アイミドリ 0.90 (30.8)	ハイテングサ 1.23 (73.2) コレモ科 0.19 (11.3) アイミドリ 0.17 (10.1)	ハイテングサ 1.15 (80.9) テングサ科 0.21 (14.8)	スギノリ属 0.05 (47.6) クダモ属 0.05 (42.9)	ハイテングサ 0.25 (77.8) フジマツモ科 0.03 (9.5)
動物	出現種類数	45	28	46	29	33
	平均出現種類数	24 (10 ～ 38)	15 (5 ～ 25)	28 (20 ～ 36)	16 (7 ～ 24)	18 (8 ～ 28)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	103 (28 ～ 178)	95 (26 ～ 163)	246 (76 ～ 415)	71 (39 ～ 103)	80 (32 ～ 127)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	20.96 (25.66 ～ 16.25)	28.97 (31.38 ～ 26.55)	32.88 (46.74 ～ 19.02)	18.37 (9.89 ～ 26.84)	19.27 (17.12 ～ 21.41)
	主な出現種の平均個体数 (個体/0.09㎡) （ ）内は組成比%	ミナミタテホシムシ 12 (11.2) ケハダヒザラガイ属 10 (9.7) *Perinereis*属 10 (9.7) アマオブネガイ 7 (6.8) コウダカカラマツ属 7 (6.8)	コウダカカラマツ属 49 (51.9) アマオブネガイ 12 (12.2) リュウキュウアオガイ 5 (5.3) ミナミカニダマシ 5 (5.3)	コウダカカラマツ属 81 (33.0) リトウイワフジツボ 73 (29.7) アマオブネガイ 14 (5.5)	コウダカカラマツ属 10 (14.1) ミナミタテホシムシ 10 (14.1) アマオブネガイ 8 (11.3) オキナワイシダタミ 7 (9.9) ウスヒメアワビ 6 (7.7)	コウダカカラマツガイ 19 (23.3) スナイソゴカイ 11 (13.2) アマオブネガイ 6 (6.9) オニノツノガイ科 6 (6.9) リュウキュウアオガイ 4 (5.0) ミナミカニダマシ 4 (5.0)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(13)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮４：工事中)

調査地点		L-潮4			
調査年度		令和3年度			
項目＼調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	24	10	14	14
	平均出現種類数	14 (4 ～ 24)	5 (0 ～ 10)	8 (1 ～ 14)	7 (2 ～ 12)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.91 (0.24 ～ 1.57)	0.90 (0.00 ～ 1.79)	0.43 (0.08 ～ 0.78)	0.98 (0.71 ～ 1.24)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) (　)内は組成比%	アイミドリ 0.24 (26.5) 藍藻綱 0.24 (26.0) ハイテングサ 0.16 (17.7) イソダンツウ 0.12 (12.7) ユレモ目 0.05 (5.5)	ハイテングサ 0.89 (99.4)	ハイテングサ 0.31 (72.1) 藍藻綱 0.05 (11.6) ユレモ科 0.04 (9.3)	コナハダ属 0.41 (41.5) ユレモ目 0.35 (35.4) ハイテングサ 0.12 (11.8) セイヨウハバノリ 0.06 (6.2)
動物	出現種類数	39	37	26	46
	平均出現種類数	23 (14 ～ 31)	22 (14 ～ 30)	16 (9 ～ 22)	25 (13 ～ 36)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	159 (94 ～ 223)	88 (45 ～ 130)	54 (38 ～ 70)	124 (44 ～ 204)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	28.72 (17.07 ～ 40.37)	23.32 (22.63 ～ 24.00)	27.63 (18.64 ～ 36.62)	26.43 (24.94 ～ 27.91)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) (　)内は組成比%	シリケンウミセミ属 24 (14.8) コウダカカラマツ属 18 (11.0) アマオブネガイ 12 (7.3) シリス亜科 11 (6.9) ムカデガイ科 10 (6.0)	コウダカカラマツ属 18 (20.0) リュウキュウアオガイ 14 (16.0) アマオブネガイ 9 (10.3)	アマオブネガイ 13 (24.1) オキナワイシダタミ 6 (11.1) コウダカカラマツ属 6 (11.1) リュウキュウアオガイ 4 (7.4) ヤッコカンザシゴカイ 4 (7.4)	ミナミタテホシムシ 20 (15.7) コウダカカラマツ属 16 (12.5) タテジワミドリガイ 10 (8.1) アマオブネガイ 8 (6.5) コツブムシ科 7 (5.2)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(14)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事中）

調査地点		L-潮4				
調査年度		令和4年度				
項目＼調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	出現種類数	18	14	10	12	17
	平均出現種類数	11 (6 ～ 16)	8 (1 ～ 14)	6 (1 ～ 10)	8 (3 ～ 12)	9 (2 ～ 15)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	1.42 (0.27 ～ 2.57)	1.36 (0.06 ～ 2.66)	0.64 (0.00 ～ 1.28)	0.88 (0.54 ～ 1.22)	2.55 (1.45 ～ 3.64)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) （ ）内は組成比%	アイミドリ 0.67 (47.2) ハイテングサ 0.22 (15.1) カイノリ 0.22 (15.1) イソダンツウ 0.11 (7.4) ユレモ科 0.08 (5.6)	ハイテングサ 1.25 (91.9)	ハイテングサ 0.58 (90.6) ソゾ属 0.05 (7.0)	藍藻綱 0.40 (45.5) ユレモ目 0.40 (44.9) ハイテングサ 0.07 (7.4)	セイヨウハバノリ 0.99 (38.7) ユレモ科 0.72 (28.3) フクロノリ属 0.29 (11.4) カイノリ 0.22 (8.6) ウミウチワ属の1種 0.15 (5.7)
動物	出現種類数	40	29	30	37	39
	平均出現種類数	21 (11 ～ 31)	15 (5 ～ 25)	16 (7 ～ 24)	23 (18 ～ 27)	24 (8 ～ 39)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	106 (46 ～ 165)	95 (20 ～ 169)	65 (29 ～ 100)	77 (61 ～ 93)	118 (31 ～ 205)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	32.01 (24.54 ～ 39.47)	25.22 (16.20 ～ 34.24)	14.73 (11.30 ～ 18.15)	35.73 (31.88 ～ 39.57)	22.33 (20.64 ～ 24.02)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) （ ）内は組成比%	コウダカカラマツ属 18 (16.6) アマオブネガイ 12 (11.4) ウスヒザラガイ科 11 (10.0) リュウキュウアオガイ 7 (6.6) ヒメケハダヒザラガイ 7 (6.2)	コウダカカラマツ属 22 (23.3) アマオブネガイ 9 (9.5) *Perinereis*属 9 (9.5) ミナミタテホシムシ 7 (7.4) ウスヒザラガイ科 7 (6.9) *Petrolisthes inermis* 7 (6.9)	*Petrolisthes inermis* 13 (19.4) ミナミカニダマシ 8 (12.4) ミナミタテホシムシ 8 (11.6) アマオブネガイ 5 (7.0) クマドリゴカイ 5 (7.0)	ミナミカニダマシ 14 (17.5) アマオブネガイ 11 (14.3) イソギンチャク目 8 (10.4) リュウキュウアオガイ 5 (6.5) ミナミタテホシムシ 5 (6.5)	ミナミタテホシムシ 20 (16.9) ゴカイ科 12 (10.2) イソヨコエビ属 9 (7.6) オニノツノガイ科 9 (7.2) ムカデガイ科 6 (5.1) コウダカカラマツ属 6 (5.1)

注）1.本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2.平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3.主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(15)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮４：工事中)

調査地点		L-潮4					
調査年度		令和5年度					
項目＼調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	15	17	14	9	15	10
	平均出現種類数	8 (3 ～ 13)	10 (3 ～ 17)	7 (0 ～ 14)	6 (3 ～ 8)	10 (5 ～ 14)	5 (1 ～ 9)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.18 (0.06 ～ 0.29)	1.12 (0.03 ～ 2.21)	0.14 (0.00 ～ 0.27)	0.01 (0.00 ～ 0.01)	0.10 (0.07 ～ 0.13)	0.89 (0.00 ～ 1.77)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) (　) 内は組成比%	カイノリ 0.06 (34.3) アイミドリ 0.02 (11.4) ハイテングサ 0.02 (11.4) イソダンツウ 0.02 (11.4) ユレモ目 0.02 (8.6)	ハイテングサ 0.55 (48.7) アイミドリ 0.47 (42.5)	フシクレノリ 0.12 (85.2) ハイテングサ 0.01 (7.4)	ハイテングサ 0.01 (100.0)	ユレモ科 0.07 (65.0) ハイテングサ 0.02 (15.0) キッコウグサ 0.01 (10.0) アイミドリ 0.01 (5.0) クロガシラ属 0.01 (5.0)	セイヨウハバノリ 0.45 (50.8) アオノリ属 0.18 (20.3) ハイテングサ 0.18 (19.8) フクロノリ 0.06 (6.8)
動物	出現種類数	36	34	22	26	39	13
	平均出現種類数	20 (9 ～ 31)	18 (7 ～ 29)	12 (6 ～ 18)	15 (5 ～ 24)	23 (11 ～ 35)	8 (5 ～ 10)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	77 (25 ～ 129)	85 (27 ～ 143)	72 (40 ～ 103)	69 (31 ～ 106)	82 (32 ～ 132)	34 (32 ～ 36)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	16.70 (14.67 ～ 18.73)	28.04 (19.60 ～ 36.48)	28.86 (27.92 ～ 29.80)	29.28 (15.58 ～ 42.97)	30.22 (24.20 ～ 36.27)	33.87 (28.52 ～ 39.21)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) (　) 内は組成比%	アマオブネガイ 7 (8.4) コウダカカラマツ属 7 (8.4) ミナミタテホシムシ 7 (8.4) イソヨコエビ属 7 (8.4) *Petrolisthes inermis* 7 (8.4)	コウダカカラマツ属 31 (35.9) アマオブネガイ 10 (11.2) *Petrolisthes inermis* 8 (9.4)	コウダカカラマツ属 22 (30.8) アマオブネガイ 12 (16.8) リュウキュウアオガイ 6 (7.7) ミナミタテホシムシ 4 (5.6)	アマオブネガイ 13 (19.0) *Petrolisthes inermis* 12 (16.8) リュウキュウアオガイ 5 (7.3) ミナミカニダマシ 5 (6.6) ウスヒザラガイ科 4 (5.8) オキナワイシダタミ 4 (5.8) ミナミタテホシムシ 4 (5.8)	ミナミカニダマシ 10 (11.6) ミナミタテホシムシ 8 (9.8) アマオブネガイ 7 (7.9) ネッタイサメハダホシムシ 6 (7.3) イソギンチャク目 5 (6.1) ヒメイワガニ 5 (6.1)	アマオブネガイ 19 (54.4) ウスヒメアワビ 4 (11.8) リュウキュウアオガイ 3 (7.4) ミナミカニダマシ 2 (5.9) *Petrolisthes inermis* 2 (5.9)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(16)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮４：工事中)

調査地点		L-潮4				
調査年度		令和6年度				
項目＼調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	出現種類数	11	10	16	16	17
	平均出現種類数	6 (1 ～ 10)	6 (1 ～ 10)	10 (3 ～ 14)	8 (0 ～ 16)	9 (3 ～ 14)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.76 (0.22 ～ 1.30)	0.07 (0.00 ～ 0.13)	0.10 (0.03 ～ 0.17)	0.03 (0.00 ～ 0.05)	0.65 (0.31 ～ 0.99)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) ( ) 内は組成比%	アイミドリ 0.46 (60.5) ハイコナハダ 0.13 (16.4) ユレモ科 0.11 (14.5) ソゾ属 0.04 (5.3)	ハイテングサ 0.05 (76.9) ヒゲモ属 0.01 (7.7) 藍藻綱 0.01 (7.7) イソダンツウ 0.01 (7.7)	ヒゲモ属 0.04 (40.0) ユレモ目 0.02 (15.0) ハイテングサ 0.02 (15.0) イバラノリ属 0.02 (15.0) ヤナギノリ属 0.01 (5.0) ヒメゴケ属 0.01 (5.0) アオモグサ 0.01 (5.0)	ハイテングサ 0.03 (100.0)	ヒトエグサ 0.50 (76.2) ソゾ属 0.06 (9.2) ハイテングサ 0.05 (7.7)
動物	出現種類数	31	22	42	28	37
	平均出現種類数	17 (9 ～ 24)	12 (7 ～ 17)	22 (10 ～ 34)	16 (12 ～ 19)	21 (13 ～ 28)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	69 (30 ～ 107)	60 (19 ～ 101)	150 (41 ～ 258)	65 (37 ～ 92)	58 (36 ～ 79)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	28.80 (16.01 ～ 41.58)	21.15 (19.04 ～ 23.26)	39.29 (36.21 ～ 42.36)	25.69 (11.20 ～ 40.17)	37.90 (9.90 ～ 65.90)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) ( ) 内は組成比%	ミナミタテホシムシ 11 (16.1) イソヨコエビ属 12 (10.9) アマオブネガイ 7 (10.2) ヒメケハダヒザラガイ 6 (8.8) ネッタイサメハダホシムシ 5 (6.6)	コウダカカラマツ属 17 (27.5) アマオブネガイ 11 (18.3) シマベッコウバイ 6 (9.2) リュウキュウアオガイ 4 (6.7) リトウイワフジツボ 3 (5.0)	コウダカカラマツ属 26 (17.4) ミナミタテホシムシ 23 (15.4) ゴカイ科 12 (7.7) アマオブネガイ 11 (7.4) シリス亜科 11 (7.4)	コウダカカラマツ属 17 (26.4) アマオブネガイ 8 (11.6) ドロソコエビ属 6 (8.5) ゴカイ科 5 (7.0) ミナミタテホシムシ 5 (7.0)	アマオブネガイ 11 (18.3) コウダカカラマツ属 6 (9.6) メリタヨコエビ属 5 (7.8) スナイソゴカイ 4 (7.0) *Nereis*属 4 (6.1)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.8(17)　坪刈り、堆積物採取　結果概要
（潮間帯生物調査：L-潮４：工事中）

調査地点		L-潮4			
調査年度		令和7年度			
項目＼調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数	18	12	4	19
	平均出現種類数	10 (6 ～ 14)	7 (2 ～ 11)	3 (2 ～ 3)	10 (2 ～ 18)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	4.30 (1.68 ～ 6.91)	0.14 (0.13 ～ 0.15)	0.02 (0.00 ～ 0.04)	0.98 (0.42 ～ 1.53)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) （ ）内は組成比%	ヒトエグサ 3.44 (80.0) ソゾ属 0.68 (15.8)	ユレモ目 0.07 (46.4) ハイテングサ 0.03 (21.4) ソゾ属 0.02 (14.3) ヒゲモ属 0.02 (10.7) イソダンツウ 0.01 (7.1)	ハイテングサ 0.03 (75.0) ユレモ目 0.01 (25.0)	ヒトエグサ 0.77 (78.5) セイヨウハバノリ 0.20 (20.5)
動物	出現種類数	33	40	19	16
	平均出現種類数	19 (12 ～ 25)	24 (13 ～ 35)	11 (9 ～ 13)	9 (6 ～ 11)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	159 (42 ～ 275)	124 (57 ～ 191)	29 (23 ～ 35)	53 (21 ～ 84)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	28.07 (23.75 ～ 32.38)	72.79 (48.29 ～ 97.28)	16.88 (14.70 ～ 19.05)	14.60 (8.25 ～ 20.95)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) （ ）内は組成比%	ミナミタテホシムシ 50 (31.5) *Nereis*属 39 (24.3) コウダカカラマツ属 11 (6.9) イソギンチャク目 10 (6.3) アマオブネガイ 8 (5.0)	リトウイワフジツボ 23 (18.1) アマオブネガイ 16 (12.5) リュウキュウアオガイ 12 (9.3) ミナミカニダマシ 11 (8.5) ミナミタテホシムシ 7 (5.2)	ミナミカニダマシ 6 (20.7) アマオブネガイ 4 (13.8) リュウキュウアオガイ 4 (12.1) オキナワイシダタミ 2 (6.9) ウスヒザラガイ科 2 (5.2) リトウイワフジツボ 2 (5.2) ヒメイワガニ 2 (5.2)	コウダカカラマツ属 22 (41.0) リュウキュウアオガイ 11 (20.0) オニノツノガイ科 4 (6.7) ヒメアサリ 3 (5.7)

注）1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。

表-3.5.2.9　坪刈り、堆積物採取　平均種出現種類数、平均個体数及び平均湿重量（潮間帯生物調査）

調査地点		L-潮4																												
工事		工事前																												
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物	平均出現種類数（種類）	3	5	8	5	5	9	8	4	6	10	9	2	1	7	10	2	8	9	8	7	2	6	5	5	7	8	6	4
	平均出現種類数範囲	1～10																											
	平均湿重量(g/0.09㎡)	0.35	0.20	1.60	0.15	0.20	12.55	1.10	0.30	0.40	4.80	1.45	0.50	0.15	8.45	3.55	0.55	2.90	19.65	11.45	5.70	0.25	8.50	2.75	0.69	2.15	5.40	1.78	1.75
	平均湿重量範囲	0.15～19.65																											
動物	平均出現種類数（種類）	16	17	14	22	18	13	17	15	11	17	16	24	19	17	22	22	15	36	33	23	45	15	15	21	13	16	19	17
	平均出現種類数範囲	11～45																											
	平均個体数(個体/0.09㎡)	65	60	50	146	67	44	67	78	61	62	55	145	90	74	299	176	40	387	225	70	433	38	53	66	46	85	163	57
	平均個体数範囲	38～433																											
	平均湿重量(g/0.09㎡)	35.05	37.84	23.77	52.13	47.49	24.79	43.09	73.54	51.15	35.56	41.34	55.11	27.19	23.88	20.74	16.07	18.05	75.64	50.34	26.24	44.20	32.30	11.94	25.89	23.85	33.72	32.95	19.93
	平均湿重量範囲	11.94～75.64																											

調査地点		L-潮4																										
工事		工事中																										
調査年度		H29		H30						R1				R2					R3				R4				
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	平均出現種類数（種類）	3	9	10	2	3	2	6	6	6	5	1	8	9	8	5	5	4	9	14	5	8	7	11	8	6	8	9
	平均出現種類数範囲	1～14																										
	平均湿重量(g/0.09㎡)	1.31	6.80	3.00	2.45	0.09	0.05	0.06	0.97	0.70	0.12	0.49	0.38	1.12	2.92	1.68	1.42	0.11	0.32	0.91	0.90	0.43	0.98	1.42	1.36	0.64	0.88	2.55
	平均湿重量範囲	0.01～6.80																										
動物	平均出現種類数（種類）	17	27	41	11	14	19	16	10	20	23	14	10	22	24	15	28	16	18	23	22	16	25	21	15	16	23	24
	平均出現種類数範囲	8～41																										
	平均個体数(個体/0.09㎡)	87	220	313	77	70	170	87	47	115	195	155	67	83	103	95	246	71	80	159	88	54	124	106	95	65	77	118
	平均個体数範囲	29～313																										
	平均湿重量(g/0.09㎡)	18.04	45.88	36.11	19.70	34.21	21.41	12.92	23.69	42.38	39.87	19.73	13.66	29.12	20.96	28.97	32.88	18.37	19.27	28.72	23.32	27.63	26.43	32.01	25.22	14.73	35.73	22.33
	平均湿重量範囲	12.92～72.79																										

調査地点		L-潮4														
工事		工事中														
調査年度		R5						R6					R7			
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物	平均出現種類数（種類）	8	10	7	6	10	5	6	6	10	8	9	10	7	3	10
	平均出現種類数範囲	1～14														
	平均湿重量(g/0.09㎡)	0.18	1.12	0.14	0.01	0.10	0.89	0.76	0.07	0.10	0.03	0.65	4.30	0.14	0.02	0.98
	平均湿重量範囲	0.01～6.80														
動物	平均出現種類数（種類）	20	18	12	15	23	8	17	12	22	16	21	19	24	11	9
	平均出現種類数範囲	8～41														
	平均個体数(個体/0.09㎡)	77	85	72	69	82	34	69	60	150	65	58	159	124	29	53
	平均個体数範囲	29～313														
	平均湿重量(g/0.09㎡)	16.70	28.04	28.86	29.28	30.22	33.87	28.80	21.15	39.29	25.69	37.90	28.07	72.79	16.88	14.60
	平均湿重量範囲	12.92～72.79														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は黄色の網掛けで示しています。

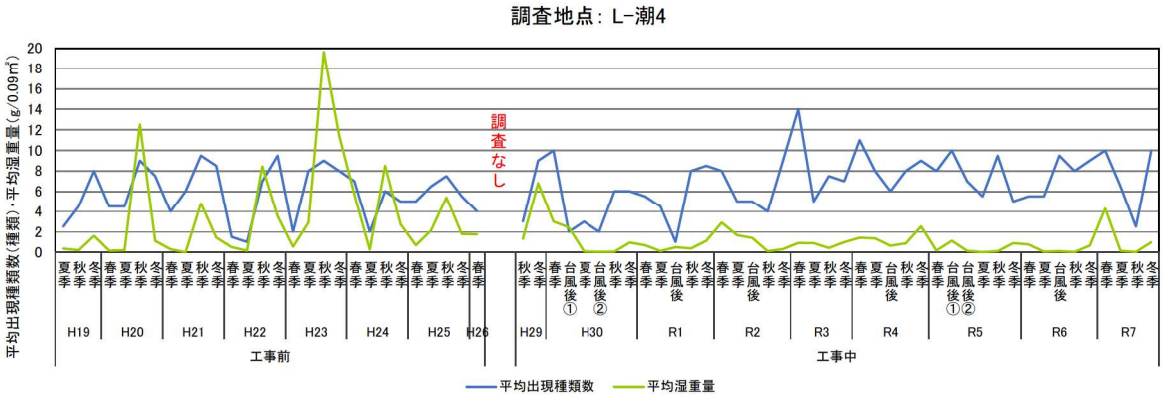


図-3.5.2.6　坪刈り、堆積物採取　植物の平均出現種類数及び平均湿重量
（潮間帯生物調査）

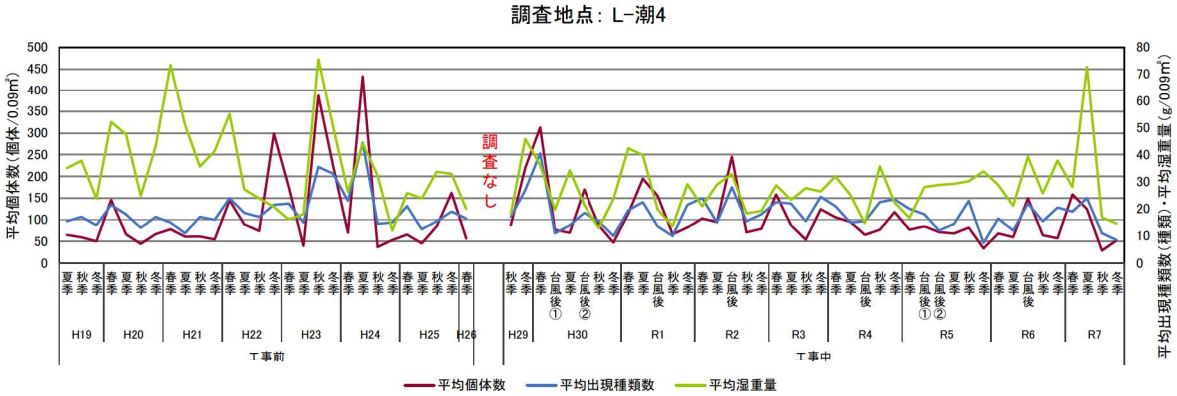


図-3.5.2.7　坪刈り、堆積物採取　動物の平均個体数、平均出現種類数及び
平均湿重量（潮間帯生物調査）

(4) 浮遊生物調査（定量的調査）

浮遊生物調査で対象としている植物プランクトン、動物プランクトンについて、各地点を調査季別に整理した経年の結果概要を表-3.5.2.10 に、全地点を調査季別に整理した経年の出現種類数・細胞数及び個体数を表-3.5.2.11、図-3.5.2.9 及び図-3.5.2.10 に、各地点の調査季別の結果概要に示された主な出現種（組成比率 5%以上）の出現状況を年度ごとに比較した結果を表-3.5.2.12 に示します。

植物プランクトンの結果は、地点によっては一時的に工事前における変動範囲を下回る時期もみられましたが、調査期間を通じて概ね工事前における変動範囲内でした。主な出現種（組成比率 5%以上）については、工事前と比較して顕著な減少はみられず、また、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられないことからも、環境の大きな変化は確認されませんでした。

動物プランクトンの結果は、地点によっては一時的に工事前における変動範囲を下回る時期もみられましたが、調査期間を通じて概ね工事前における変動範囲内でした。主な出現種については、工事前と比較して顕著な減少はみられず、また、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられないことからも、環境の大きな変化は確認されませんでした。

浮遊生物調査は水質変化の指標として取り扱っており、今後も継続して調査を行うとともに比較していきます。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-3.5.2.8　浮遊生物調査の調査地点図

表-3.5.2.10(1)　結果概要（浮遊生物調査：E8：工事前）

調査地点		E8		
調査年度		平成19年度		
項目 ＼ 調査時期		夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	13	34	25
	細胞数（細胞/L）	16,580	5,250	3,290
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	*Chaetoceros* sp. (large chain type) 6,800 (41.0) Prasinophyceae 2,880 (17.4) Gymnodiniales 2,560 (15.4) Haptophyceae 1,440 (8.7) unidentified flagellates 1,280 (7.7)	unidentified flagellates 800 (15.2) *Chaetoceros* sp. (small chain type) 480 (9.1) Peridiniales 480 (9.1) *Cylindrotheca closterium* 400 (7.6) *Bleakeleya notata* 280 (5.3) Cryptophyceae 280 (5.3)	Peridiniales 560 (17.0) *Pseudo-nitzschia* spp. 480 (14.6) *Cylindrotheca closterium* 360 (10.9) *Bacteriastrum minus* 200 (6.1) Cryptophyceae 200 (6.1) Euglenophyceae 200 (6.1)
動物プランクトン	出現種類数	27	28	34
	個体数（個体/㎥）	87,658	9,884	4,969
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Paracalanus* spp. (copepodite) 18,574 (21.2) Bivalvia (umbo larva) 12,318 (14.1) Gastropoda (larva) 10,167 (11.6) *Oithona* spp. (copepodite) 10,167 (11.6) *Oithona aruensis* 8,798 (10.0)	*Paracalanus* spp. (copepodite) 2,052 (20.8) Copepoda (nauplius) 1,865 (18.9) *Oithona simplex* 839 (8.5) *Oithona* spp. (copepodite) 793 (8.0) Gastropoda (larva) 653 (6.6)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,277 (25.7) Copepoda (nauplius) 1,108 (22.3) *Oithona simplex* 423 (8.5) *Oikopleura* spp. 254 (5.1) *Bestiolina similis* 246 (5.0)

調査地点		E8			
調査年度		平成20年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	53	27	23	34
	細胞数（細胞/L）	14,330	11,520	11,300	14,730
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	Prasinophyceae 4,750 (33.1) Cryptophyceae 2,500 (17.4) unidentified flagellates 2,500 (17.4)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 6,800 (59.0) Haptophyceae 1,080 (9.4) Gymnodiniales 800 (6.9)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 2,240 (19.8) Peridiniales 1,680 (14.9) unidentified flagellates 1,680 (14.9) *Pseudo-nitzschia* spp. 1,520 (13.5) Cryptophyceae 1,200 (10.6)	unidentified flagellates 3,760 (25.5) Haptophyceae 2,320 (15.8) Prasinophyceae 2,120 (14.4) *Cylindrotheca closterium* 1,800 (12.2)
動物プランクトン	出現種類数	19	29	27	20
	個体数（個体/㎥）	10,696	14,511	6,110	704
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 5,474 (51.2) Copepoda (nauplius) 2,421 (22.6) *Oithona dissimilis* 1,684 (15.7)	*Oithona simplex* 6,627 (45.7) *Oithona* spp. (copepodite) 2,651 (18.3) Copepoda (nauplius) 1,704 (11.7) *Oithona nana* 757 (5.2)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,438 (23.5) Copepoda (nauplius) 846 (13.8) *Oithona aruensis* 507 (8.3) *Oithona simplex* 507 (8.3) Bivalvia (D-shaped larva) 423 (6.9) *Oithona dissimilis* 423 (6.9)	Copepoda (nauplius) 229 (32.5) *Oithona* spp. (copepodite) 91 (12.9) *Oithona simplex* 74 (10.5) Bivalvia (D-shaped larva) 46 (6.5)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(2)　結果概要（浮遊生物調査：E8：工事前）

調査地点		E8			
調査年度		平成21年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	23	26	52	43
	細胞数（細胞/L）	24,300	4,060	5,800	4,640
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 9,600 (39.5) Haptophyceae 3,600 (14.8) Prasinophyceae 2,720 (11.2) *Pseudo-nitzschia* spp. 2,480 (10.2)	unidentified flagellates 1,550 (38.2) Cryptophyceae 1,000 (24.6) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 320 (7.9) Haptophyceae 300 (7.4)	*Cylindrotheca closterium* 1,010 (17.4) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 630 (10.9) Peridiniales 480 (8.3) *Paralia sulcata* 460 (7.9) *Pseudo-nitzschia* spp. 420 (7.2)	*Pseudo-nitzschia* spp. 1,400 (30.2) *Cylindrotheca closterium* 410 (8.8) *Rhizosolenia phuketensis* 280 (6.0) *Neodelphineis pelagica* 230 (5.0)
動物プランクトン	出現種類数	26	26	27	33
	個体数（個体/㎥）	15,602	14,654	1,117	1,782
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 5,014 (32.1) Copepoda (nauplius) 4,011 (25.7) *Acartia* spp. (copepodite) 3,295 (21.1) *Acartia erythraea* 1,003 (6.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 5,377 (36.7) *Oithona simplex* 3,526 (24.1) *Paracalanus crassirostris* 1,763 (12.0) *Oithona attenuata* 882 (6.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 882 (6.0)	Copepoda (nauplius) 402 (36.0) *Oithona* spp. (copepodite) 164 (14.7) Bivalvia (umbo larva) 68 (6.1)	*Oithona* spp. (copepodite) 577 (32.4) Copepoda (nauplius) 375 (21.0) Paracalanidae (copepodite) 144 (8.1) *Oncaea* spp. (copepodite) 115 (6.5)

調査地点		E8			
調査年度		平成22年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	41	50	28	51
	細胞数（細胞/L）	54,110	844,160	51,190	7,580
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 22,600 (41.8) *Thalassiosira* spp. 14,000 (25.9) Peridiniales 7,180 (13.3)	*Bacteriastrum* spp. 668,800 (79.2) *Chaetoceros constrictum* 64,000 (7.6)	unidentified flagellates 35,520 (69.4) Cryptophyceae 4,800 (9.4) *Heterocapsa* spp. 4,800 (9.4)	unidentified flagellates 1,800 (23.7) Haptophyceae 1,280 (16.9) Prasinophyceae 1,040 (13.7) Cryptophyceae 520 (6.9) Gymnodiniales 400 (5.3)
動物プランクトン	出現種類数	18	20	24	28
	個体数（個体/㎥）	6,983	13,934	36,693	10,633
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 1,176 (16.8) *Acartia* spp. (copepodite) 941 (13.5) Copepoda (nauplius) 784 (11.2) *Paracalanus crassirostris* 784 (11.2) Paracalanidae (copepodite) 706 (10.1)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,107 (22.3) *Oithona aruensis* 2,260 (16.2) Copepoda (nauplius) 1,695 (12.2) *Paracalanus crassirostris* 1,695 (12.2) Paracalanidae (copepodite) 1,412 (10.1)	*Oithona aruensis* 10,101 (27.5) *Oithona* spp. (copepodite) 9,596 (26.2) *Oithona simplex* 5,051 (13.8)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,152 (29.6) *Oithona simplex* 1,212 (11.4) Copepoda (nauplius) 848 (8.0) Paracalanidae (copepodite) 848 (8.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 727 (6.8)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(3)　結果概要（浮遊生物調査：E8：工事前）

調査地点		E8			
調査年度		平成23年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	36	42	36	53
	細胞数（細胞/L）	4,170	7,550	6,890	7,430
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 1,280 (30.7) Haptophyceae 880 (21.1) Prasinophyceae 640 (15.3)	*Peridinium quinquecorne* 1,140 (15.1) Gymnodiniales 1,120 (14.8) unidentified flagellates 960 (12.7) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 510 (6.8) *Heterocapsa* spp. 470 (6.2)	unidentified flagellates 3,200 (46.4) *Heterocapsa* spp. 1,920 (27.9) Haptophyceae 400 (5.8)	Haptophyceae 2,880 (38.8) *Pseudo-nitzschia* spp. 490 (6.6) *Leptocylindrus danicus* 450 (6.1) Cryptophyceae 400 (5.4)
動物プランクトン	出現種類数	15	45	36	54
	個体数（個体/㎥）	1,910	38,131	34,024	3,344
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 658 (34.5) *Oithona* spp. (copepodite) 547 (28.6) Gastropoda (larva) 184 (9.6) *Acartia* spp. (copepodite) 105 (5.5)	*Oithona dissimilis* 19,954 (52.3) *Oithona aruensis* 10,080 (26.4) *Paracalanus crassirostris* 3,440 (9.0)	*Oithona aruensis* 12,364 (36.3) *Oithona simplex* 4,073 (12.0) *Paracalanus crassirostris* 3,564 (10.5) *Oithona dissimilis* 3,418 (10.0) Paracalanidae (copepodite) 2,255 (6.6)	Copepoda (nauplius) 1,227 (36.7) *Oithona* spp. (copepodite) 382 (11.4) Paracalanidae (copepodite) 314 (9.4) *Oikopleura* spp. 218 (6.5) Cirripedia (nauplius) 177 (5.3)

調査地点		E8			
調査年度		平成24年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	37	53	64	62
	細胞数（細胞/L）	6,080	134,250	64,390	39,570
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	Haptophyceae 1,520 (25.0) unidentified flagellates 1,200 (19.7) *Heterocapsa* spp. 800 (13.2) Prasinophyceae 480 (7.9)	*Chaetoceros* spp. (large chain type) 83,520 (62.2) *Nitzschia* spp. 14,400 (10.7) *Pseudo-nitzschia* spp. 13,440 (10.0) *Chaetoceros lorenzianum* 11,520 (8.6)	*Pseudo-nitzschia* spp. 10,800 (16.8) unidentified flagellates 8,880 (13.8) *Nitzschia* spp. 8,640 (13.4) Haptophyceae 8,000 (12.4) *Pseudo-nitzschia pungens* 6,720 (10.4)	Prasinophyceae 5,520 (13.9) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 5,480 (13.8) *Pseudo-nitzschia* spp. 4,060 (10.3) *Pseudo-nitzschia pungens* 3,810 (9.6) Euglenophyceae 2,670 (6.7)
動物プランクトン	出現種類数	45	24	51	32
	個体数（個体/㎥）	15,332	26,295	9,300	11,907
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona simplex* 7,822 (51.0) Paracalanidae (copepodite) 1,521 (9.9) *Oithona dissimilis* 1,146 (7.5) *Acartia* spp. (copepodite) 1,037 (6.8) Copepoda (nauplius) 968 (6.3)	Copepoda (nauplius) 5,059 (19.2) *Oithona aruensis* 4,118 (15.7) *Oithona* spp. (copepodite) 4,059 (15.4) *Oithona dissimilis* 2,882 (11.0) *Fritillaria* spp. 2,588 (9.8)	*Oithona* spp. (copepodite) 2,462 (26.5) *Oithona simplex* 1,593 (17.1) *Oithona aruensis* 938 (10.1) Copepoda (nauplius) 869 (9.3) *Paracalanus crassirostris* 828 (8.9)	Copepoda (nauplius) 5,462 (45.9) *Oithona* spp. (copepodite) 2,585 (21.7) *Oithona dissimilis* 1,077 (9.0) Paracalanidae (copepodite) 785 (6.6)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(4)　結果概要（浮遊生物調査：E8：工事前）

調査地点		E8			
調査年度		平成25年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	51	34	51	33
	細胞数（細胞/L）	10,550	49,220	47,350	27,990
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 2,240 (21.2) *Pseudo-nitzschia* spp. 1,620 (15.4) Cryptophyceae 880 (8.3) Haptophyceae 720 (6.8) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 710 (6.7)	*Heterocapsa* spp. 29,280 (59.5) unidentified flagellates 14,400 (29.3) Cryptophyceae 2,480 (5.0)	unidentified flagellates 27,600 (58.3) *Heterocapsa* spp. 8,880 (18.8) Cryptophyceae 3,280 (6.9)	Euglenophyceae 6,880 (24.6) Cryptophyceae 5,360 (19.1) unidentified flagellates 5,200 (18.6) *Heterocapsa* spp. 4,920 (17.6) Prasinophyceae 2,400 (8.6)
動物プランクトン	出現種類数	28	40	34	19
	個体数（個体/㎥）	13,505	16,974	7,619	1,516
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 9,669 (71.6) *Oithona* spp. (copepodite) 1,246 (9.2) *Oithona dissimilis* 1,177 (8.7)	Copepoda (nauplius) 5,179 (30.5) *Oithona* spp. (copepodite) 3,411 (20.1) *Oithona aruensis* 2,021 (11.9) Paracalanidae (copepodite) 1,389 (8.2) *Oithona dissimilis* 1,137 (6.7)	Copepoda (nauplius) 1,745 (22.9) *Oithona* spp. (copepodite) 1,673 (22.0) Paracalanidae (copepodite) 945 (12.4) *Oithona simplex* 764 (10.0) *Oithona aruensis* 509 (6.7)	Copepoda (nauplius) 827 (54.6) *Oithona* spp. (copepodite) 291 (19.2)

調査地点		E8
調査年度		平成26年度
項目 ＼ 調査時期		春季
植物プランクトン	出現種類数	36
	細胞数（細胞/L）	22,480
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 10,240 (45.6) *Heterocapsa* spp. 7,120 (31.7) *Prorocentrum triestinum* 2,240 (10.0)
動物プランクトン	出現種類数	28
	個体数（個体/㎥）	5,362
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona dissimilis* 1,257 (23.4) *Oithona* spp. (copepodite) 971 (18.1) Copepoda (nauplius) 762 (14.2) *Acartia* spp. (copepodite) 552 (10.3) *Acartia bispinosa* 343 (6.4)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(5)　結果概要（浮遊生物調査：E8：工事中）

調査地点		E8	
調査年度		平成29年度	
項目 ＼ 調査時期		秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	57	33
	細胞数（細胞/L）	8,850	2,220
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Cylindrotheca closterium* 2,480 (28.0) *Heterocapsa* sp. 820 (9.3) unidentified flagellates 760 (8.6) Gymnodiniales 540 (6.1) Peridiniales 450 (5.1)	*Skeletonema costatum* sensu lato 490 (22.1) *Cylindrotheca closterium* 470 (21.2) *Navicula* sp. 160 (7.2)
動物プランクトン	出現種類数	22	22
	個体数（個体/㎥）	4,650	1,128
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 2,339 (50.3) *Oithona simplex* 548 (11.8) *Oithona* spp. (copepodite) 419 (9.0) Paracalanidae (copepodite) 274 (5.9)	Copepoda (nauplius) 440 (39.0) *Oncaea* spp. (copepodite) 176 (15.6) *Oithona* spp. (copepodite) 96 (8.5) *Acartia* spp. (copepodite) 56 (5.0) Paracalanidae (copepodite) 56 (5.0)

調査地点		E8					
調査年度		平成30年度					
項目 ＼ 調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	47	33	45	38	41	40
	細胞数（細胞/L）	3,570	1,350	2,990	5,830	2,330	3,480
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Gymnodiniales 490 (13.7) Peridiniales 430 (12.0) *Heterocapsa* spp. 290 (8.1) *Prorocentrum triestinum* 240 (6.7) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 220 (6.2)	Gymnodiniales 220 (16.3) Peridiniales 180 (13.3) *Gymnodinium* spp. 110 (8.1) *Cylindrotheca closterium* 90 (6.7) *Gyrodinium* spp. 80 (5.9)	Peridiniales 480 (16.1) *Cylindrotheca closterium* 290 (9.7) *Protoperidinium* spp. 280 (9.4) *Gyrodinium* spp. 190 (6.4) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 180 (6.0)	Prasinophyceae 2,280 (39.1) *Heterocapsa* spp. 700 (12.0) *Cylindrotheca closterium* 460 (7.9) Gymnodiniales 440 (7.5) unidentified flagellates 340 (5.8)	Gymnodiniales 380 (16.3) *Cylindrotheca closterium* 210 (9.0) Peridiniales 170 (7.3) unidentified flagellates 170 (7.3) *Prorocentrum triestinum* 160 (6.9)	Cryptophyceae 830 (23.9) Peridiniales 340 (9.8) *Skeletonema costatum* sensu lato 250 (7.2) unidentified flagellates 240 (6.9) *Prorocentrum triestinum* 210 (6.0)
動物プランクトン	出現種類数	15	20	19	26	22	7
	個体数（個体/㎥）	12,977	8,977	45,339	14,050	5,354	634
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 7,059 (54.4) *Oithona dissimilis* 4,706 (36.3) Copepoda (nauplius) 869 (6.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,765 (41.9) Copepoda (nauplius) 1,971 (22.0) *Oikopleura* spp. 647 (7.2) *Acartia* spp. (copepodite) 618 (6.9)	*Oithona aruensis* 19,088 (42.1) *Oithona* spp. (copepodite) 15,719 (34.7) *Paracalanus* spp. (copepodite) 3,930 (8.7)	*Paracalanus* spp. (copepodite) 3,357 (23.9) *Oithona* spp. (copepodite) 1,888 (13.4) *Paracalanus crassirostris* 1,538 (10.9) Copepoda (nauplius) 1,210 (8.6) *Oithona simplex* 1,168 (8.3)	Gastropoda (larva) 1,549 (28.9) *Oithona* spp. (copepodite) 1,212 (22.6) Copepoda (nauplius) 532 (9.9) *Acartia* spp. (copepodite) 303 (5.7) *Paracalanus* spp. (copepodite) 303 (5.7)	Copepoda (nauplius) 463 (73.0) *Oithona* spp. (copepodite) 73 (11.5) *Calocalanus* spp. (copepodite) 41 (6.5) Polychaeta (larva) 33 (5.2)

調査地点		E8				
調査年度		令和元年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	37	50	31	40	28
	細胞数（細胞/L）	6,290	8,270	1,460	1,510	2,790
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Euglenophyceae 3,570 (56.8) Gymnodiniales 590 (9.4) Peridiniales 460 (7.3) *Prorocentrum triestinum* 350 (5.6)	*Chaetoceros* sp. (small chain type) 1,320 (16.0) *Protoperidinium* sp. 920 (11.1) Diatomaceae 820 (9.9) Peridiniales 720 (8.7) *Prorocentrum triestinum* 580 (7.0)	Peridiniales 290 (19.9) *Heterocapsa* spp. 210 (14.4) Gymnodiniales 170 (11.6) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 140 (9.6) *Cylindrotheca closterium* 110 (7.5) Euglenophyceae 110 (7.5)	*Cylindrotheca closterium* 160 (10.6) Peridiniales 150 (9.9) Gymnodiniales 120 (7.9) *Nitzschia* spp. 120 (7.9) *Leptocylindrus danicus* 80 (5.3)	Euglenophyceae 1,470 (52.7) *Cylindrotheca closterium* 200 (7.2) *Navicula* sp. 150 (5.4) *Nitzschia* sp. 150 (5.4)
動物プランクトン	出現種類数	21	20	13	26	15
	個体数（個体/㎥）	963	11,525	10,657	3,189	958
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 315 (32.7) *Oithona* spp. (copepodite) 151 (15.7) Gastropoda (larva) 123 (12.8) *Oikopleura* spp. 55 (5.7) *Acartia* spp. (copepodite) 48 (5.0)	*Oithona* spp. (copepodite) 4,038 (35.0) Copepoda (nauplius) 1,731 (15.0) *Oithona dissimilis* 1,346 (11.7) *Oikopleura* spp. 962 (8.3) Calanoida (copepodite) 795 (6.9)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,786 (35.5) *Oithona aruensis* 2,714 (25.5) *Oithona dissimilis* 2,000 (18.8) Copepoda (nauplius) 671 (6.3)	Copepoda (nauplius) 1,429 (44.8) *Oithona* spp. (copepodite) 503 (15.8) Gastropoda (larva) 218 (6.8) *Paracalanus* spp. (copepodite) 184 (5.8) *Oithona attenuata* 184 (5.8)	Copepoda (nauplius) 443 (46.2) *Oithona* spp. (copepodite) 131 (13.7) Gastropoda (larva) 82 (8.6) *Acartia* spp. (copepodite) 82 (8.6)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(6)　結果概要（浮遊生物調査：E8：工事中）

調査地点		E8				
調査年度		令和2年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	39	28	38	35	32
	細胞数（細胞/L）	10,520	887,300	145,900	2,460	4,160
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Euglenophyceae 2,480 (23.6) *Prorocentrum triestinum* 2,430 (23.1) Peridiniales 2,280 (21.7) Gymnodiniales 700 (6.7)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 741,000 (83.5) *Peridinium quinquecorne* 110,000 (12.4)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 71,600 (49.1) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 9,600 (6.6) unidentified flagellates 9,200 (6.3) *Chaetoceros constrictum* 8,600 (5.9) *Cylindrotheca closterium* 8,600 (5.9)	Pennales 390 (15.9) *Nitzschia* spp. 350 (14.2) *Skeletonema costatum* sensu lato 280 (11.4) *Cylindrotheca closterium* 160 (6.5) *Cyclophora tenuis* 150 (6.1) unidentified flagellates 150 (6.1)	Euglenophyceae 1,280 (30.8) *Cylindrotheca closterium* 640 (15.4) *Pseudo-nitzschia* spp. 300 (7.2) Haptophyceae 240 (5.8) Prasinophyceae 240 (5.8)
動物プランクトン	出現種類数	13	18	26	11	14
	個体数（個体/㎥）	958	5,768	3,442	705	1,286
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 494 (51.6) *Oithona* spp. (copepodite) 235 (24.5)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,960 (34.0) *Oithona aruensis* 1,457 (25.3) *Oithona dissimilis* 543 (9.4) Paracalanidae (copepodite) 430 (7.5) Copepoda (nauplius) 417 (7.2)	*Oithona* spp. (copepodite) 966 (28.1) Copepoda (nauplius) 875 (25.4) *Oithona aruensis* 234 (6.8) Paracalanidae (copepodite) 211 (6.1) *Acrocalanus* spp. (copepodite) 181 (5.3)	*Oithona* spp. (copepodite) 172 (24.4) Copepoda (nauplius) 163 (23.1) *Acartia* spp. (copepodite) 109 (15.5) Cirripedia (nauplius) 90 (12.8) *Oithona oculata* 45 (6.4)	Copepoda (nauplius) 629 (48.9) *Acartia* spp. (copepodite) 245 (19.1) *Oithona* spp. (copepodite) 79 (6.1) *Oithona dissimilis* 70 (5.4)

調査地点		E8			
調査年度		令和3年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	46	31	37	49
	細胞数（細胞/L）	8,080	12,470	4,510	5,100
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 1,580 (19.6) Gymnodiniales 1,150 (14.2) Peridiniales 770 (9.5) Cryptophyceae 630 (7.8) *Heterocapsa* spp. 420 (5.2)	unidentified flagellates 3,920 (31.4) *Heterocapsa* spp. 3,360 (26.9) Gymnodiniales 3,110 (24.9) Peridiniales 650 (5.2)	*Heterocapsa* spp. 1,450 (32.2) unidentified flagellates 1,250 (27.7) Prasinophyceae 450 (10.0)	unidentified flagellates 850 (16.7) Cryptophyceae 550 (10.8) Euglenophyceae 400 (7.8) Gymnodiniales 300 (5.9) Prasinophyceae 300 (5.9)
動物プランクトン	出現種類数	18	15	22	24
	個体数（個体/㎥）	2,343	10,656	381	1,464
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 700 (29.9) Copepoda (nauplius) 536 (22.9) *Bestiolina similis* 193 (8.2) Gastropoda (larva) 171 (7.3)	*Oithona* spp. (copepodite) 4,131 (38.8) *Oithona dissimilis* 2,361 (22.2) *Oithona simplex* 918 (8.6) Gastropoda (larva) 721 (6.8)	Copepoda (nauplius) 196 (51.4) *Oithona* spp. (copepodite) 29 (7.6) *Acartia* spp. (copepodite) 25 (6.6)	Copepoda (nauplius) 616 (42.1) *Oncaea* spp. (copepodite) 128 (8.7) *Microsetella rosea* 112 (7.7) *Oithona* spp. (copepodite) 104 (7.1) *Calocalanus* spp. (copepodite) 88 (6.0)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(7)　結果概要（浮遊生物調査：E8：工事中）

調査地点		E8				
調査年度		令和4年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	34	67	32	32	40
	細胞数（細胞/L）	9,920	1,522,890	4,910	1,690	7,220
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Heterocapsa* spp. 3,900 (39.3) unidentified flagellates 1,490 (15.0) Prasinophyceae 1,030 (10.4) *Prorocentrum triestinum* 880 (8.9) Peridiniales 660 (6.7)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,373,550 (90.2) *Skeletonema costatum* sensu lato 81,600 (5.4)	*Heterocapsa* spp. 930 (18.9) Gymnodiniales 810 (16.5) Peridiniales 790 (16.1) unidentified flagellates 370 (7.5) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 260 (5.3)	*Heterocapsa* spp. 250 (14.8) *Gymnodinium* spp. 240 (14.2) Gymnodiniales 210 (12.4) unidentified flagellates 200 (11.8) *Oxytoxum* spp. 120 (7.1) Peridiniales 120 (7.1)	*Heterocapsa* spp. 2,400 (33.2) unidentified flagellates 1,200 (16.6) Euglenophyceae 560 (7.8) Prasinophyceae 500 (6.9) Cryptophyceae 400 (5.5)
動物プランクトン	出現種類数	11	14	18	20	19
	個体数（個体/㎥）	3,940	1,238	3,800	4,197	1,512
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona dissimilis* 1,480 (37.6) *Oithona* spp. (copepodite) 1,220 (31.0) Copepoda (nauplius) 680 (17.3)	Copepoda (nauplius) 520 (42.0) *Oithona* spp. (copepodite) 413 (33.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,450 (38.2) Copepoda (nauplius) 830 (21.8) *Oithona aruensis* 260 (6.8) *Oithona simplex* 230 (6.1)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,581 (38.0) Copepoda (nauplius) 800 (19.2) *Oithona aruensis* 670 (16.1) *Oithona simplex* 316 (7.6)	*Calocalanus* spp. (copepodite) 424 (28.0) Copepoda (nauplius) 328 (21.7) *Oithona* spp. (copepodite) 208 (13.8) Paracalanidae (copepodite) 136 (9.0)

調査地点		E8					
調査年度		令和5年度					
項目 ＼ 調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	41	41	53	40	40	41
	細胞数（細胞/L）	3,830	4,610	48,680	17,750	4,990	3,680
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Peridiniales 550 (14.4) unidentified flagellates 450 (11.7) *Skeletonema costatum* sensu lato 360 (9.4) *Heterocapsa* spp. 280 (7.3) *Bleakeleya notata* 240 (6.3)	Peridiniales 1,400 (30.4) *Protoperidinium* spp. 480 (10.4) *Cylindrotheca closterium* 480 (10.4) *Pseudo-nitzschia* spp. 430 (9.3) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 280 (6.1)	*Pseudo-nitzschia* spp. 11,130 (22.9) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 10,600 (21.8) Diatomaceae 8,650 (17.8) Peridiniales 5,000 (10.3) *Cylindrotheca closterium* 2,430 (5.0)	Gymnodiniales 4,720 (26.6) Peridiniales 4,450 (25.1) *Heterocapsa* spp. 2,600 (14.6) *Pseudo-nitzschia* spp. 1,260 (7.1) unidentified flagellates 1,050 (5.9)	*Heterocapsa* spp. 1,450 (29.1) Peridiniales 1,050 (21.0) Gymnodiniales 320 (6.4)	*Heterocapsa* spp. 650 (17.7) *Bleakeleya notata* 440 (12.0) *Cylindrotheca closterium* 280 (7.6) Peridiniales 270 (7.3) Diatomaceae 250 (6.8)
動物プランクトン	出現種類数	9	15	22	20	20	23
	個体数（個体/㎥）	9,880	240	20,056	9,848	1,639	851
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 7,360 (74.5) Copepoda (nauplius) 1,260 (12.8) *Oithona dissimilis* 880 (8.9)	Copepoda (nauplius) 64 (26.7) Polychaeta (larva) 24 (10.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 24 (10.0) Paracalanidae (copepodite) 24 (10.0) *Acartia* spp. (copepodite) 16 (6.7) *Oithona* spp. (copepodite) 16 (6.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 7,920 (39.5) Copepoda (nauplius) 3,840 (19.1) *Oithona aruensis* 2,240 (11.2) *Oithona simplex* 1,840 (9.2) *Paracalanus crassirostris* 1,680 (8.4)	*Oithona dissimilis* 3,920 (39.8) *Oithona* spp. (copepodite) 3,040 (30.9) *Oithona aruensis* 664 (6.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 553 (33.7) Copepoda (nauplius) 360 (22.0) *Acartia* spp. (copepodite) 213 (13.0) *Oikopleura* spp. 107 (6.5)	*Oithona* spp. (copepodite) 284 (33.4) Copepoda (nauplius) 196 (23.0) *Oithona simplex* 80 (9.4)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の１層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(8)　結果概要（浮遊生物調査：E8：工事中）

調査地点		E8				
調査年度		令和6年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	40	26	42	38	49
	細胞数（細胞/L）	8,290	1,560	9,830	3,800	5,430
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Heterocapsa* spp. 1,250 (15.1) Peridiniales 1,170 (14.1) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,110 (13.4) Gymnodiniales 980 (11.8) *Protoperidinium* spp. 700 (8.4)	Peridiniales 260 (16.7) unidentified flagellates 200 (12.8) Diatomaceae 180 (11.5) Pennales 130 (8.3) Cryptophyceae 100 (6.4)	Peridiniales 1,730 (17.6) Gymnodiniales 1,500 (15.3) Haptophyceae 1,030 (10.5) *Cylindrotheca closterium* 860 (8.7) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 820 (8.3)	Gymnodiniales 730 (19.2) *Heterocapsa* spp. 570 (15.0) Peridiniales 530 (13.9) Cryptophyceae 270 (7.1) *Gymnodinium* spp. 270 (7.1)	*Pseudo-nitzschia* spp. 490 (9.0) Euglenophyceae 480 (8.8) Haptophyceae 400 (7.4) *Cyclophora tenuis* 390 (7.2) *Cylindrotheca closterium* 380 (7.0)
動物プランクトン	出現種類数	16	20	25	21	14
	個体数（個体/㎥）	3,224	1,700	39,261	10,170	640
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona dissimilis* 1,125 (34.9) *Oithona* spp. (copepodite) 1,000 (31.0) Copepoda (nauplius) 458 (14.2)	Copepoda (nauplius) 633 (37.2) *Oithona* spp. (copepodite) 450 (26.5) *Oithona simplex* 100 (5.9) *Oithona dissimilis* 92 (5.4)	Bivalvia (umbo larva) 18,585 (47.3) *Paracalanus* spp. (copepodite) 5,908 (15.0) *Oithona* spp. (copepodite) 4,677 (11.9) *Oithona dissimilis* 4,185 (10.7)	*Oithona simplex* 2,300 (22.6) *Oithona* spp. (copepodite) 1,600 (15.7) *Oithona aruensis* 1,300 (12.8) *Acartia* spp. (copepodite) 1,200 (11.8) *Paracalanus* spp. (copepodite) 950 (9.3)	Copepoda (nauplius) 481 (75.2) *Oithona* spp. (copepodite) 41 (6.4)

調査地点		E8			
調査年度		令和7年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	54	37	33	40
	細胞数（細胞/L）	17,690	4,270	13,420	7,980
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Thalassiosira* spp. 5,650 (31.9) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 2,250 (12.7) *Skeletonema costatum* sensu lato 2,250 (12.7) *Heterocapsa* spp. 1,320 (7.5) Gymnodiniales 1,100 (6.2)	Gymnodiniales 1,320 (30.9) Peridiniales 970 (22.7) *Heterocapsa* spp. 380 (8.9) Haptophyceae 250 (5.9)	*Heterocapsa* spp. 2,850 (21.2) Peridiniales 2,030 (15.1) Gymnodiniales 1,840 (13.7) *Skeletonema costatum* sensu lato 1,140 (8.5) *Protoperidinium* spp. 1,010 (7.5)	*Heterocapsa* spp. 2,250 (28.2) Gymnodiniales 1,100 (13.8) Peridiniales 830 (10.4) unidentified flagellates 640 (8.0) Prasinophyceae 630 (7.9)
動物プランクトン	出現種類数	16	24	23	20
	個体数（個体/㎥）	5,940	14,862	7,586	979
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona dissimilis* 2,840 (47.8) *Oithona* spp. (copepodite) 1,420 (23.9) *Acartia* spp. (copepodite) 475 (8.0) Gastropoda (larva) 383 (6.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 6,067 (40.8) *Oithona dissimilis* 2,135 (14.4) *Oithona aruensis* 1,820 (12.2) Copepoda (nauplius) 1,573 (10.6)	*Oithona aruensis* 1,938 (25.5) *Oithona* spp. (copepodite) 1,063 (14.0) *Oithona simplex* 875 (11.5) *Paracalanus crassirostris* 813 (10.7) Gastropoda (larva) 563 (7.4) Bivalvia (umbo larva) 563 (7.4)	Copepoda (nauplius) 495 (50.6) *Oithona* spp. (copepodite) 112 (11.4) *Acartia* spp. (copepodite) 65 (6.6) Bivalvia (umbo larva) 56 (5.7)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(9)　結果概要（浮遊生物調査：E12：工事前）

調査地点		E12		
調査年度		平成19年度		
項目 ＼ 調査時期		夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	17	25	28
	細胞数（細胞/L）	5,770	5,470	5,890
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 1,120 (19.4) Gymnodiniales 1,040 (18.0) *Chaetoceros* sp. (large chain type) 800 (13.9) Prasinophyceae 800 (13.9) Haptophyceae 640 (11.1)	*Cylindrotheca closterium* 1,200 (21.9) *Nitzschia* spp. 720 (13.2) unidentified flagellates 720 (13.2) *Bleakeleya notata* 560 (10.2) *Chaetoceros* sp. (large chain type) 320 (5.9) Diatomaceae 320 (5.9) *Navicula* spp. 320 (5.9)	*Cylindrotheca closterium* 1,200 (20.4) Prasinophyceae 1,080 (18.3) Peridiniales 800 (13.6) *Pseudo-nitzschia* spp. 520 (8.8) unidentified flagellates 360 (6.1)
動物プランクトン	出現種類数	29	31	27
	個体数（個体/㎥）	95,633	30,696	15,279
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Paracalanus crassirostris* 27,873 (29.1) *Paracalanus* spp. (copepodite) 20,511 (21.4) *Oithona* spp. (copepodite) 14,726 (15.4) *Oithona aruensis* 9,729 (10.2) *Oithona simplex* 6,574 (6.9)	Copepoda (nauplius) 6,748 (22.0) *Oithona* spp. (copepodite) 6,639 (21.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 5,878 (19.1) *Oikopleura* spp. 2,286 (7.4) *Oithona simplex* 2,068 (6.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,840 (25.1) Copepoda (nauplius) 3,456 (22.6) *Oithona simplex* 3,072 (20.1) *Paracalanus* spp. (copepodite) 1,280 (8.4) *Oikopleura* spp. 896 (5.9)

調査地点		E12			
調査年度		平成20年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	40	25	24	19
	細胞数（細胞/L）	23,925	10,010	109,370	940
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	Prasinophyceae 5,500 (23.0) *Pseudo-nitzschia* spp. 3,600 (15.0) *Cylindrotheca closterium* 3,500 (14.6) Euglenophyceae 1,400 (5.9)	Haptophyceae 2,000 (20.0) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,920 (19.2) Gymnodiniales 1,440 (14.4) Peridiniales 1,200 (12.0) Prasinophyceae 1,040 (10.4)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 80,400 (73.5) *Pseudo-nitzschia* spp. 9,600 (8.8) *Cylindrotheca closterium* 8,320 (7.6)	unidentified flagellates 160 (17.0) *Cylindrotheca closterium* 120 (12.8) Prasinophyceae 120 (12.8) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 80 (8.5) Gymnodiniales 80 (8.5) *Rhizosolenia fragilissima* 80 (8.5)
動物プランクトン	出現種類数	23	27	33	31
	個体数（個体/㎥）	13,594	30,382	19,950	6,626
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 7,846 (57.7) *Oithona dissimilis* 2,308 (17.0) *Acartia* spp. (copepodite) 769 (5.7) *Oithona simplex* 769 (5.7)	*Oithona simplex* 9,191 (30.3) *Oithona* spp. (copepodite) 3,356 (11.0) *Bestiolina similis* 2,188 (7.2) Copepoda (nauplius) 2,043 (6.7) *Paracalanus crassirostris* 2,043 (6.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 4,306 (21.6) Copepoda (nauplius) 3,333 (16.7) *Paracalanus* spp. (copepodite) 2,500 (12.5) Gastropoda (larva) 2,361 (11.8) *Oithona simplex* 1,806 (9.1)	Copepoda (nauplius) 1,772 (26.7) *Paracalanus* spp. (copepodite) 886 (13.4) *Paracalanus crassirostris* 591 (8.9) *Oithona aruensis* 472 (7.1) Gastropoda (larva) 413 (6.2) *Oithona* spp. (copepodite) 413 (6.2)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(10)　結果概要（浮遊生物調査：E12：工事前）

調査地点		E12			
調査年度		平成21年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	22	32	35	57
	細胞数（細胞/L）	32,380	9,640	5,130	4,640
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 19,040 (58.8) Haptophyceae 4,240 (13.1) *Pseudo-nitzschia* spp. 2,480 (7.7) Gymnodiniales 2,320 (7.2) *Cylindrotheca closterium* 1,680 (5.2)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 5,950 (61.7) unidentified flagellates 1,100 (11.4) *Cylindrotheca closterium* 520 (5.4)	unidentified flagellates 1,300 (25.3) Haptophyceae 570 (11.1) Prasinophyceae 550 (10.7) Peridiniales 540 (10.5) Cryptophyceae 350 (6.8)	*Pseudo-nitzschia* spp. 840 (18.1) *Cyclophora tenuis* 360 (7.8) *Bacteriastrum* spp. 250 (5.4) Pennales 250 (5.4) *Cylindrotheca closterium* 240 (5.2)
動物プランクトン	出現種類数	24	30	42	32
	個体数（個体/㎥）	24,135	55,390	15,751	4,565
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 7,164 (29.7) *Acartia* spp. (copepodite) 6,269 (26.0) *Oithona simplex* 3,134 (13.0) *Oikopleura longicauda* 1,940 (8.0) *Oithona* spp. (copepodite) 1,791 (7.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 11,872 (21.4) *Paracalanus* spp. (copepodite) 10,046 (18.1) Copepoda (nauplius) 5,023 (9.1) *Paracalanus crassirostris* 5,023 (9.1) *Oithona simplex* 4,338 (7.8)	*Paracalanus crassirostris* 3,059 (19.4) Copepoda (nauplius) 2,600 (16.5) *Paracalanus* spp. (copepodite) 2,294 (14.6) Paracalanidae (copepodite) 1,530 (9.7) *Oithona aruensis* 1,071 (6.8)	Copepoda (nauplius) 1,157 (25.3) *Oithona* spp. (copepodite) 801 (17.5) *Oithona simplex* 534 (11.7) *Oikopleura longicauda* 267 (5.8)

調査地点		E12			
調査年度		平成22年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	36	44	42	47
	細胞数（細胞/L）	227,630	627,210	37,440	10,970
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 116,000 (51.0) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 44,800 (19.7) *Thalassiosira* spp. 36,800 (16.2) Peridiniales 12,260 (5.4)	*Bacteriastrum* spp. 554,400 (88.4)	unidentified flagellates 18,880 (50.4) *Heterocapsa* spp. 6,720 (17.9) Haptophyceae 2,960 (7.9) *Nitzschia* spp. 2,320 (6.2)	unidentified flagellates 3,920 (35.7) Prasinophyceae 1,360 (12.4) Cryptophyceae 1,320 (12.0) Gymnodiniales 1,240 (11.3) *Heterocapsa* spp. 840 (7.7)
動物プランクトン	出現種類数	20	19	28	30
	個体数（個体/㎥）	13,094	72,643	15,707	21,346
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 5,039 (38.5) *Oithona simplex* 2,730 (20.8) Paracalanidae (copepodite) 1,470 (11.2) *Oithona dissimilis* 840 (6.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 28,246 (38.9) *Paracalanus* spp. (copepodite) 15,490 (21.3) *Oithona aruensis* 10,023 (13.8) *Acartia* spp. (copepodite) 6,378 (8.8)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,768 (24.0) *Oithona aruensis* 3,478 (22.1) *Paracalanus crassirostris* 2,899 (18.5) Paracalanidae (copepodite) 870 (5.5)	*Oithona* spp. (copepodite) 8,589 (40.2) *Oithona simplex* 2,442 (11.4) Paracalanidae (copepodite) 1,600 (7.5) *Oithona dissimilis* 1,263 (5.9) Copepoda (nauplius) 1,179 (5.5)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(11)　結果概要（浮遊生物調査：E12：工事前）

調査地点		E12			
調査年度		平成23年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	42	44	29	60
	細胞数（細胞/L）	10,790	16,760	8,380	19,210
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 3,920 (36.3) Haptophyceae 2,160 (20.0) Gymnodiniales 1,280 (11.9) Cryptophyceae 1,040 (9.6)	unidentified flagellates 8,000 (47.7) Gymnodiniales 1,840 (11.0) *Heterocapsa* spp. 1,680 (10.0) Prasinophyceae 1,280 (7.6)	unidentified flagellates 2,800 (33.4) Haptophyceae 2,400 (28.6) Prasinophyceae 720 (8.6) *Heterocapsa* spp. 560 (6.7)	Haptophyceae 13,280 (69.1) unidentified flagellates 1,680 (8.7)
動物プランクトン	出現種類数	26	38	42	60
	個体数（個体/㎥）	41,464	28,334	33,660	31,020
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Acartia* spp. (copepodite) 14,851 (35.8) *Oithona* spp. (copepodite) 6,931 (16.7) Copepoda (nauplius) 4,158 (10.0) *Oikopleura* spp. 2,970 (7.2)	*Paracalanus crassirostris* 7,595 (26.8) *Oithona aruensis* 5,571 (19.7) *Oithona simplex* 4,810 (17.0) *Oithona dissimilis* 4,333 (15.3) Copepoda (nauplius) 1,452 (5.1)	*Oithona simplex* 8,475 (25.2) *Oithona aruensis* 7,050 (20.9) *Bestiolina similis* 5,025 (14.9) *Paracalanus crassirostris* 4,050 (12.0) *Oithona* spp. (copepodite) 2,025 (6.0)	*Oithona simplex* 8,777 (28.3) Paracalanidae (copepodite) 6,034 (19.5) *Oithona* spp. (copepodite) 5,623 (18.1) Copepoda (nauplius) 3,223 (10.4) *Paracalanus crassirostris* 1,714 (5.5)

調査地点		E12			
調査年度		平成24年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	32	50	56	69
	細胞数（細胞/L）	13,970	17,100	22,570	47,270
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Heterocapsa* spp. 5,440 (38.9) Cryptophyceae 4,000 (28.6) Prasinophyceae 1,280 (9.2) unidentified flagellates 720 (5.2)	*Chaetoceros* spp. (large chain type) 3,520 (20.6) unidentified flagellates 3,520 (20.6) *Pseudo-nitzschia* spp. 1,900 (11.1) Cryptophyceae 1,600 (9.4) *Nitzschia* spp. 1,190 (7.0)	*Pseudo-nitzschia* spp. 6,800 (30.1) *Nitzschia* spp. 2,960 (13.1) *Cylindrotheca closterium* 2,420 (10.7) *Pseudo-nitzschia pungens* 2,420 (10.7)	*Pseudo-nitzschia* spp. 8,000 (16.9) *Pseudo-nitzschia pungens* 7,520 (15.9) *Skeletonema* spp. 5,820 (12.3) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 4,360 (9.2) *Chaetoceros curvisetum* 2,690 (5.7)
動物プランクトン	出現種類数	35	27	49	33
	個体数（個体/㎥）	3,558	19,125	5,844	8,981
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,037 (29.1) *Acartia* spp. (copepodite) 665 (18.7) *Oithona dissimilis* 597 (16.8) *Oithona* spp. (copepodite) 349 (9.8) *Oithona simplex* 208 (5.8)	*Fritillaria* spp. 4,900 (25.6) Paracalanidae (copepodite) 3,550 (18.6) *Oithona simplex* 3,500 (18.3) *Oithona* spp. (copepodite) 1,850 (9.7) *Paracalanus crassirostris* 1,725 (9.0)	Copepoda (nauplius) 1,067 (18.3) *Oithona simplex* 982 (16.8) *Oithona* spp. (copepodite) 970 (16.6) Paracalanidae (copepodite) 764 (13.1) *Oithona aruensis* 479 (8.2)	Copepoda (nauplius) 2,028 (22.6) *Oithona simplex* 2,028 (22.6) *Oithona* spp. (copepodite) 1,614 (18.0) Paracalanidae (copepodite) 1,117 (12.4) *Oikopleura* spp. 538 (6.0)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(12)　結果概要（浮遊生物調査：E12：工事前）

調査地点		E12			
調査年度		平成25年度			
項目	調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	72	35	44	36
	細胞数（細胞/L）	24,340	19,460	22,000	19,770
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	*Pseudo-nitzschia* spp. 3,680 (15.1) Cryptophyceae 1,920 (7.9) unidentified flagellates 1,840 (7.6) *Nitzschia* spp. 1,520 (6.2) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 1,360 (5.6)	unidentified flagellates 12,240 (62.9) Cryptophyceae 3,600 (18.5)	unidentified flagellates 6,080 (27.6) *Heterocapsa* spp. 5,520 (25.1) Cryptophyceae 2,240 (10.2) Haptophyceae 1,680 (7.6) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,350 (6.1)	unidentified flagellates 6,080 (30.8) Cryptophyceae 3,520 (17.8) Prasinophyceae 2,720 (13.8) Euglenophyceae 2,160 (10.9) *Heterocapsa* spp. 1,560 (7.9)
動物プランクトン	出現種類数	38	53	41	36
	個体数（個体/㎥）	21,063	39,319	6,394	9,544
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 6,188 (29.4) *Acartia* spp. (copepodite) 4,238 (20.1) *Oithona* spp. (copepodite) 3,038 (14.4) *Oithona simplex* 2,288 (10.9)	*Oithona* spp. (copepodite) 6,556 (16.7) *Paracalanus crassirostris* 6,556 (16.7) Paracalanidae (copepodite) 4,683 (11.9) *Oithona simplex* 3,746 (9.5) Copepoda (nauplius) 3,434 (8.7)	Copepoda (nauplius) 1,047 (16.4) *Oithona* spp. (copepodite) 844 (13.2) *Oithona simplex* 756 (11.8) Paracalanidae (copepodite) 698 (10.9) *Oithona aruensis* 640 (10.0)	Copepoda (nauplius) 4,770 (50.0) *Oithona* spp. (copepodite) 2,074 (21.7) Gastropoda (larva) 681 (7.1)

調査地点		E12
調査年度		平成26年度
項目	調査時期	春季
植物プランクトン	出現種類数	31
	細胞数（細胞/L）	23,220
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 16,080 (69.3) Prasinophyceae 2,720 (11.7) Cryptophyceae 1,520 (6.5)
動物プランクトン	出現種類数	28
	個体数（個体/㎥）	64,892
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona simplex* 42,741 (65.9) *Oithona* spp. (copepodite) 8,593 (13.2) *Paracalanus crassirostris* 5,037 (7.8)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(13)　結果概要（浮遊生物調査：E12：工事中）

調査地点		E12	
調査年度		平成29年度	
項目 ＼ 調査時期		秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	53	46
	細胞数（細胞/L）	4,230	2,380
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Cylindrotheca closterium* 650 (15.4) unidentified flagellates 620 (14.7) Gymnodiniales 480 (11.3) Peridiniales 240 (5.7)	Euglenophyceae 320 (13.4) *Cylindrotheca closterium* 310 (13.0) Gymnodiniales 130 (5.5) *Pseudo-nitzschia* sp. 130 (5.5) *Heterocapsa* sp. 120 (5.0)
動物プランクトン	出現種類数	23	23
	個体数（個体/㎥）	8,836	1,723
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona simplex* 4,848 (54.9) *Oithona* spp. (copepodite) 1,591 (18.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 508 (5.7) Copepoda (nauplius) 455 (5.1)	Copepoda (nauplius) 800 (46.4) *Oithona* spp. (copepodite) 189 (11.0) *Oithona dissimilis* 156 (9.1) *Oncaea* spp. (copepodite) 142 (8.2) *Acrocalanus* spp. (copepodite) 95 (5.5)

調査地点		E12					
調査年度		平成30年度					
項目 ＼ 調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	39	25	53	39	38	34
	細胞数（細胞/L）	2,360	910	6,940	3,430	5,520	1,250
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Gymnodiniales 380 (10.1) Peridiniales 280 (11.9) Euglenophyceae 270 (11.4) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 140 (5.9) *Nitzschia* spp. 140 (5.9)	Gymnodiniales 150 (16.5) *Gyrodinium* spp. 80 (8.8) *Amphidinium* spp. 70 (7.7) Peridiniales 60 (6.6) *Gymnodinium* spp. 60 (6.6) *Oxytoxum* spp. 60 (6.6) unidentified flagellates 60 (6.6)	*Chaetoceros* spp. (sma.l chain type) 3,660 (52.7)	Gymnodiniales 660 (19.2) *Pseudo-nitzschia* spp. 450 (13.1) unidentified flagellates 370 (10.8) *Cylindrotheca closterium* 250 (7.3) *Heterocapsa* spp. 240 (7.0)	Peridiniales 940 (17.0) *Heterocapsa* spp. 860 (15.6) Gymnodiniales 500 (9.1) Euglenophyceae 490 (8.9) unidentified flagellates 370 (6.7)	*Bacteriastrum* spp. 230 (18.4) *Leptocylindrus danicus* 100 (8.0) *Pseudo-nitzschia* spp. 100 (8.0) *Navicula* spp. 70 (5.6)
動物プランクトン	出現種類数	20	27	30	24	21	19
	個体数（個体/㎥）	5,486	13,025	14,434	6,222	5,855	1,832
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona dissimilis* 2,358 (43.0) *Oithona* spp. (copepodite) 1,397 (25.5) *Acartia* spp. (copepodite) 961 (17.5) Copepoda (nauplius) 367 (6.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,467 (26.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 2,467 (18.9) *Oithona aruensis* 1,267 (9.7) Copepoda (nauplius) 1,200 (9.2) *Acartia* spp. (copepodite) 867 (6.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 2,971 (20.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 2,343 (16.2) Copepoda (nauplius) 1,943 (13.5) *Oithona simplex* 1,371 (9.5) *Oithona aruensis* 1,286 (8.9)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,932 (31.1) *Oithona simplex* 785 (12.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 684 (11.0) *Oikopleura* spp. 604 (9.7) Paracalanidae (copepodite) 394 (6.3)	*Oithona* spp. (copepodite) 2,266 (38.7) *Paracalanus* spp. (copepodite) 1,068 (18.2) Copepoda (nauplius) 588 (10.0) *Oithona simplex* 479 (8.2) Paracalanidae (copepodite) 344 (5.9)	Copepoda (nauplius) 884 (48.3) *Oithona* spp. (copepodite) 252 (13.8) *Oithona simplex* 225 (12.3)

調査地点		E12				
調査年度		令和元年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	42	35	30	36	44
	細胞数（細胞/L）	10,590	70,850	2,380	2,310	2,940
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Euglenophyceae 6,850 (64.7) Peridiniales 900 (8.5) *Prorocentrum triestinum* 710 (6.7) Gymnodiniales 610 (5.8)	*Chaetoceros* sp. (small chain type) 56,500 (79.7)	Peridiniales 330 (13.9) Gymnodiniales 330 (13.9) Euglenophyceae 320 (13.4) *Cylindrotheca closterium* 250 (10.5) *Protoperidinium* spp. 170 (7.1)	Gymnodiniales 460 (19.9) Peridiniales 300 (13.0) unidentified flagellates 220 (9.5) *Diatoma* sp. 200 (8.7) *Prorocentrum triestinum* 140 (6.1)	Euglenophyceae 590 (20.1) Gymnodiniales 400 (13.6) Peridiniales 330 (11.2)
動物プランクトン	出現種類数	15	23	25	25	19
	個体数（個体/㎥）	428	19,823	7,903	5,208	7,008
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 130 (43.0) Gastropoda (larva) 86 (20.1) Copepoda (nauplius) 68 (15.9) *Acartia* spp. (copepodite) 38 (8.9) *Oithona simplex* 27 (6.3)	*Oithona* spp. (copepodite) 7,573 (38.2) *Oithona aruensis* 4,111 (20.7) *Oithona dissimilis* 1,824 (9.2) Copepoda (nauplius) 1,731 (8.7) Bivalvia (umbo larva) 1,298 (6.5)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,469 (43.9) *Paracalanus* spp. (copepodite) 1,088 (13.8) *Oithona simplex* 850 (10.8) Copepoda (nauplius) 544 (6.9)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,464 (28.1) *Oithona aruensis* 967 (18.6) *Oithona simplex* 758 (14.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 549 (10.5) Copepoda (nauplius) 314 (6.0)	Copepoda (nauplius) 2,331 (33.3) *Oithona simplex* 1,759 (25.1) *Oithona* spp. (copepodite) 1,677 (23.9)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(14)　結果概要（浮遊生物調査：E12：工事中）

調査地点		E12				
調査年度		令和2年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	39	27	33	45	47
	細胞数（細胞/L）	5,710	576,500	38,600	3,600	16,130
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Euglenophyceae 820 (14.4) Peridiniales 770 (13.5) Gymnodiniales 730 (12.8) *Heterocapsa* sp. 730 (12.8) Cryptophyceae 370 (6.5)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 536,000 (93.0)	unidentified flagellates 8,300 (21.5) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 5,500 (14.2) *Chaetoceros constrictum* 5,000 (13.0) *Cylindrotheca closterium* 3,400 (8.8) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 2,600 (6.7)	*Aulacoseira* spp. 390 (10.8) Gymnodiniales 320 (8.9) Peridiniales 300 (8.3) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 260 (7.2) unidentified flagellates 240 (6.7)	*Peridinium quinquecorne* 10,480 (65.0) *Cylindrotheca closterium* 990 (6.1)
動物プランクトン	出現種類数	22	22	24	15	22
	個体数（個体/㎥）	20,265	9,666	10,658	4,189	476
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 7,544 (37.2) *Oithona aruensis* 6,916 (34.1) Copepoda (nauplius) 2,515 (12.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 4,109 (42.5) *Oithona aruensis* 3,046 (31.5) *Oithona simplex* 534 (5.5)	*Paracalanus* spp. (copepodite) 1,777 (16.7) Copepoda (nauplius) 1,700 (16.0) *Oithona simplex* 1,623 (15.2) *Oithona* spp. (copepodite) 1,391 (13.1) *Acrocalanus* spp. (copepodite) 1,198 (11.2)	*Oithona simplex* 1,003 (23.9) *Acartia* spp. (copepodite) 498 (11.9) Copepoda (nauplius) 482 (11.5) *Oikopleura* spp. 377 (9.0) Paracalanidae (copepodite) 361 (8.6)	*Oithona* spp. (copepodite) 124 (26.1) Gastropoda (larva) 109 (22.9) Copepoda (nauplius) 39 (8.2) *Acartia* spp. (copepodite) 36 (7.6) *Oncaea media* 30 (6.3)

調査地点		E12			
調査年度		令和3年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	16	37	30	54
	細胞数（細胞/L）	7,980	14,010	15,670	7,500
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 7,300 (91.5)	*Heterocapsa* spp. 3,200 (22.8) Prasinophyceae 2,960 (21.1) unidentified flagellates 2,800 (20.0) Cryptophyceae 1,240 (8.9) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 950 (6.8)	*Heterocapsa* spp. 4,400 (28.1) unidentified flagellates 3,200 (20.4) Gymnodiniales 2,800 (17.9) Prasinophyceae 1,850 (11.8) Cryptophyceae 1,350 (8.6)	unidentified flagellates 1,150 (15.3) Gymnodiniales 900 (12.0) Prasinophyceae 800 (10.7) *Heterocapsa* spp. 650 (8.7) *Pseudo-nitzschia* spp. 490 (6.5) Euglenophyceae 490 (6.5)
動物プランクトン	出現種類数	22	28	31	22
	個体数（個体/㎥）	6,730	33,308	4,536	473
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 1,833 (27.2) Copepoda (nauplius) 1,350 (20.1) *Acartia* spp. (copepodite) 804 (11.9) *Oithona simplex* 621 (9.2) *Bestiolina similis* 601 (8.9)	*Oithona simplex* 9,376 (28.1) *Oithona* spp. (copepodite) 8,637 (25.9) *Paracalanus* spp. (copepodite) 3,741 (11.2) Copepoda (nauplius) 2,679 (8.0) *Acartia* spp. (copepodite) 2,587 (7.8)	Copepoda (nauplius) 1,204 (26.5) *Bestiolina similis* 602 (13.3) *Oithona* spp. (copepodite) 497 (11.0) *Oithona simplex* 455 (10.0) *Acartia* spp. (copepodite) 429 (9.5)	Copepoda (nauplius) 101 (21.4) *Acartia* spp. (copepodite) 77 (16.3) *Oncaea* spp. (copepodite) 56 (11.8) *Oncaea media* 35 (7.4)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(15)　結果概要（浮遊生物調査：E12：工事中）

調査地点		E12				
調査年度		令和4年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	47	65	37	28	35
	細胞数（細胞/L）	11,650	867,630	16,930	2,330	7,830
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Prasinophyceae 3,090 (26.5) *Heterocapsa* spp. 2,400 (20.6) unidentified flagellates 1,860 (16.0) Cryptophyceae 1,490 (12.8)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 772,550 (89.0)	Haptophyceae 8,800 (52.0) Peridiniales 2,730 (16.1) Gymnodiniales 1,300 (7.7) unidentified flagellates 1,070 (6.3) *Heterocapsa* spp. 970 (5.7)	Gymnodiniales 510 (21.9) *Skeletonema costatum* sensu lato 360 (15.5) *Heterocapsa* spp. 200 (8.6) Peridiniales 190 (8.2) *Gymnodinium* spp. 150 (6.4) unidentified flagellates 150 (6.4)	Euglenophyceae 2,200 (28.1) *Heterocapsa* spp. 1,550 (19.8) unidentified flagellates 1,100 (14.0) Peridiniales 600 (7.7)
動物プランクトン	出現種類数	15	24	26	17	28
	個体数（個体/㎥）	4,008	38,600	10,312	6,471	1,787
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,080 (26.9) *Oithona* spp. (copepodite) 896 (22.4) *Oithona dissimilis* 576 (14.4) *Oithona simplex* 528 (13.2) *Oikopleura* spp. 288 (7.2)	*Oithona* spp. (copepodite) 9,467 (24.5) Copepoda (nauplius) 8,133 (21.1) *Oithona simplex* 4,933 (12.8) *Acrocalanus* spp. (copepodite) 3,200 (8.3)	*Oithona* spp. (copepodite) 5,113 (49.6) *Oithona simplex* 1,600 (15.5) *Paracalanus crassirostris* 1,461 (14.2) *Paracalanus* spp. (copepodite) 765 (7.4) Paracalanidae (copepodite) 661 (6.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 2,831 (43.7) *Oithona simplex* 2,338 (36.1) Copepoda (nauplius) 418 (6.5)	Copepoda (nauplius) 452 (25.3) *Oithona* spp. (copepodite) 421 (23.6) *Clausocalanus* spp. (copepodite) 122 (6.8)

調査地点		E12					
調査年度		令和5年度					
項目 ＼ 調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	42	48	49	32	27	40
	細胞数（細胞/L）	7,600	90,460	73,260	10,210	3,890	6,150
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Heterocapsa* spp. 1,750 (23.0) Peridiniales 870 (11.4) Prasinophyceae 800 (10.5) *Pseudo-nitzschia* spp. 690 (9.1) unidentified flagellates 650 (8.6)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 50,000 (55.3) *Pseudo-nitzschia* spp. 22,400 (24.8) *Skeletonema* sp. 7,900 (8.7)	*Pseudo-nitzschia* spp. 34,200 (46.7) Diatomaceae 11,300 (15.4) Gymnodiniales 8,900 (12.1) Peridiniales 6,600 (9.0)	Cryptophyceae 3,350 (32.8) Gymnodiniales 1,780 (17.4) Peridiniales 1,150 (11.3) Prasinophyceae 900 (8.8) unidentified flagellates 850 (8.3)	*Pseudo-nitzschia* spp. 1,010 (26.0) Peridiniales 590 (15.2) Gymnodiniales 550 (14.1) *Gymnodinium* spp. 350 (9.0) Cryptophyceae 300 (7.7)	Peridiniales 950 (15.4) Haptophyceae 900 (14.6) Gymnodiniales 750 (12.2) *Heterocapsa* spp. 550 (8.9) *Pseudo-nitzschia* spp. 480 (7.8)
動物プランクトン	出現種類数	15	16	20	26	30	21
	個体数（個体/㎥）	2,060	13,342	6,871	24,313	9,778	1,188
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 617 (30.0) *Oithona* spp. (copepodite) 600 (29.1) *Acartia* spp. (copepodite) 317 (15.4) Paracalanidae (copepodite) 113 (5.5) Bivalvia (umbo larva) 107 (5.2)	*Oithona dissimilis* 3,022 (22.7) Paracalanidae (copepodite) 2,356 (17.7) *Oithona* spp. (copepodite) 2,311 (17.3) *Paracalanus* spp. (copepodite) 1,511 (11.3) *Acartia* spp. (copepodite) 1,022 (7.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 2,533 (36.9) *Oithona aruensis* 658 (9.6) *Oithona simplex* 613 (8.9) *Acartia* spp. (copepodite) 578 (8.4) *Paracalanus crassirostris* 409 (6.0)	*Oithona* spp. (copepodite) 9,448 (38.9) *Acartia* spp. (copepodite) 3,962 (16.3) *Paracalanus crassirostris* 2,438 (10.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 2,133 (8.8) Copepoda (nauplius) 1,752 (7.2)	*Oithona aruensis* 2,836 (29.0) *Oithona simplex* 2,218 (22.7) Copepoda (nauplius) 1,164 (11.9) *Oithona* spp. (copepodite) 1,018 (10.4) Paracalanidae (copepodite) 655 (6.7)	*Oithona simplex* 382 (32.2) Copepoda (nauplius) 369 (31.1) *Oithona* spp. (copepodite) 160 (13.5)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の１層（海面下 10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(16)　結果概要（浮遊生物調査：E12：工事中）

調査地点		E12				
調査年度		令和6年度				
	項目＼調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	44	29	48	35	46
	細胞数（細胞/L）	35,210	6,600	14,300	8,420	16,880
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 25,000 (71.0)	Gymnodiniales 1,500 (22.7) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,170 (17.7) Peridiniales 1,030 (15.6) *Heterocapsa* spp. 830 (12.6) *Gymnodinium* spp. 530 (8.0)	Gymnodiniales 3,230 (22.6) Peridiniales 2,330 (16.3) *Cylindrotheca closterium* 1,620 (11.3) *Heterocapsa* spp. 1,270 (8.9)	Peridiniales 2,270 (27.0) Prasinophyceae 1,170 (13.9) *Heterocapsa* spp. 1,130 (13.4) *Gymnodinium* spp. 930 (11.0) unidentified flagellates 670 (8.0)	Haptophyceae 2,800 (16.6) *Heterocapsa* spp. 2,550 (15.1) Euglenophyceae 2,470 (14.6) Prasinophyceae 2,300 (13.6) Gymnodiniales 1,110 (6.6)
動物プランクトン	出現種類数	12	24	34	27	32
	個体数（個体/㎥）	2,262	8,122	15,448	1,664	2,072
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 873 (38.6) *Oithona dissimilis* 673 (29.8) Copepoda (nauplius) 364 (16.1)	*Oithona* spp. (copepodite) 2,974 (36.6) *Oithona simplex* 1,744 (21.5) *Oithona aruensis* 821 (10.1) *Acartia* spp. (copepodite) 513 (6.3) Copepoda (nauplius) 513 (6.3)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,200 (20.7) *Oithona simplex* 2,836 (18.4) *Paracalanus* spp. (copepodite) 1,891 (12.2) Copepoda (nauplius) 1,418 (9.2) Bivalvia (umbo larva) 1,273 (8.2)	*Oithona* spp. (copepodite) 473 (28.4) Copepoda (nauplius) 276 (16.6) *Oithona simplex* 240 (14.4) *Oikopleura* spp. 105 (6.3) *Acartia* spp. (copepodite) 102 (6.1)	Copepoda (nauplius) 440 (21.2) *Oithona* spp. (copepodite) 368 (17.8) *Oithona simplex* 216 (10.4) *Acartia* spp. (copepodite) 204 (9.8) *Paracalanus* spp. (copepodite) 152 (7.3)

調査地点		E12			
調査年度		令和7年度			
	項目＼調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	57	43	37	45
	細胞数（細胞/L）	461,060	14,210	16,610	7,480
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Thalassiosira* spp. 310,400 (67.3) Cryptophyceae 49,200 (10.7)	Gymnodiniales 4,750 (33.4) Peridiniales 3,500 (24.6) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,600 (11.3) *Heterocapsa* spp. 1,080 (7.6)	Peridiniales 8,200 (49.4) Gymnodiniales 3,290 (19.8) *Heterocapsa* spp. 920 (5.5)	Gymnodiniales 1,350 (18.0) unidentified flagellates 920 (12.3) Cryptophyceae 890 (11.9) Peridiniales 770 (10.3) *Heterocapsa* spp. 540 (7.2)
動物プランクトン	出現種類数	17	22	28	23
	個体数（個体/㎥）	1,089	21,777	11,997	1,436
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 484 (44.4) *Oithona dissimilis* 279 (25.6) Bivalvia (umbo larva) 125 (11.5) *Acartia* spp. (copepodite) 68 (6.2)	*Oithona aruensis* 8,953 (41.1) *Oithona* spp. (copepodite) 7,264 (33.4) *Acartia* spp. (copepodite) 1,182 (5.4)	*Oithona* spp. (copepodite) 4,095 (34.1) *Oithona aruensis* 1,909 (15.9) *Oithona simplex* 1,431 (11.9) *Acartia* spp. (copepodite) 875 (7.3) *Paracalanus* spp. (copepodite) 716 (6.0)	Copepoda (nauplius) 331 (23.1) *Oithona* spp. (copepodite) 214 (14.9) Gastropoda (larva) 117 (8.1) *Oithona simplex* 117 (8.1) Paracalanidae (copepodite) 97 (6.8)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(17)　結果概要（浮遊生物調査：E25：工事前）

調査地点		E25		
調査年度		平成19年度		
項目 ＼ 調査時期		夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	18	22	19
	細胞数（細胞/L）	6,030	2,120	2,220
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Chaetoceros* sp. (large chain type) 3,200 (53.1) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 800 (13.3) *Cylindrotheca closterium* 360 (6.0) *Pseudo-nitzschia* spp. 360 (6.0) Haptophyceae 320 (5.3)	*Chaetoceros* sp. (small chain type) 520 (24.5) Diatomaceae 400 (18.9) *Navicula* spp. 320 (15.1) *Licmophora* spp. 160 (7.5) *Cylindrotheca closterium* 120 (5.7)	Haptophyceae 480 (21.6) *Navicula* spp. 400 (18.0) *Cylindrotheca closterium* 320 (14.4) Diatomaceae 160 (7.2) Prasinophyceae 160 (7.2)
動物プランクトン	出現種類数	27	33	21
	個体数（個体/m³）	17,668	5,544	324
	主な出現種の個体数（個体/m³）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 4,551 (25.8) Copepoda (nauplius) 3,626 (20.5) *Oithona aruensis* 1,697 (9.6) *Oithona simplex* 1,697 (9.6) *Paracalanus crassirostris* 1,620 (9.2)	Copepoda (nauplius) 1,299 (23.4) Gastropoda (larva) 853 (15.4) *Paracalanus* spp. (copepodite) 853 (15.4) *Oithona simplex* 812 (14.6) *Oithona* spp. (copepodite) 609 (11.0)	*Oncaea* spp. (copepodite) 45 (13.9) Copepoda (nauplius) 27 (8.3) *Delius nudus* 27 (8.3) Harpacticoida (copepodite) 27 (8.3) *Oikopleura* spp. 27 (8.3)

調査地点		E25			
調査年度		平成20年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	26	24	22	24
	細胞数（細胞/L）	7,000	10,560	8,080	4,410
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Navicula* spp. 1,750 (25.0) Gymnodiniales 1,000 (14.3) Euglenophyceae 850 (12.1) Prasinophyceae 700 (10.0) unidentified flagellates 550 (7.9)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 7,200 (68.2)	Cryptophyceae 2,320 (28.7) *Cylindrotheca closterium* 960 (11.9) unidentified flagellates 880 (10.9) *Amphora* spp. 720 (8.9) Peridiniales 560 (6.9)	*Cylindrotheca closterium* 680 (15.4) unidentified flagellates 680 (15.4) Prasinophyceae 480 (10.9) *Amphora* spp. 360 (8.2) *Cocconeis* spp. 320 (7.3)
動物プランクトン	出現種類数	25	24	26	25
	個体数（個体/m³）	3,218	2,600	3,229	2,422
	主な出現種の個体数（個体/m³）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,382 (42.9) Gastropoda (larva) 654 (20.3) *Oithona* spp. (copepodite) 429 (13.3)	Copepoda (nauplius) 563 (21.7) *Oithona* spp. (copepodite) 282 (10.8) *Centropages* spp. (copepodite) 235 (9.0) Gastropoda (larva) 235 (9.0) *Oithona simplex* 235 (9.0)	Copepoda (nauplius) 1,738 (53.8) Gastropoda (larva) 395 (12.2)	Copepoda (nauplius) 534 (22.0) *Oithona* spp. (copepodite) 305 (12.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 305 (12.6) Cirripedia (nauplius) 229 (9.5) *Delius nudus* 153 (6.3) *Oncaea* spp. (copepodite) 153 (6.3)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(18)　結果概要（浮遊生物調査：E25：工事前）

調査地点		E25			
調査年度		平成21年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	20	42	41	34
	細胞数（細胞/L）	9,360	8,150	3,590	1,970
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 2,480 (26.5) *Achnanthes* spp. 2,160 (23.1) Haptophyceae 1,440 (15.4) Prasinophyceae 720 (7.7) Peridiniales 640 (6.8)	Peridiniales 890 (10.9) *Cylindrotheca closterium* 770 (9.4) *Nitzschia* spp. 750 (9.2) Gymnodiniales 730 (9.0) unidentified flagellates 700 (8.6)	Pennales 540 (15.0) unidentified flagellates 520 (14.5) Peridiniales 340 (9.5) *Cylindrotheca closterium* 270 (7.5) Gymnodiniales 230 (6.4)	*Pseudo-nitzschia* spp. 360 (18.3) *Cylindrotheca closterium* 340 (17.3) *Leptocylindrus danicus* 280 (14.2) *Chaetoceros compressum* 130 (6.6)
動物プランクトン	出現種類数	29	23	16	19
	個体数（個体/㎥）	4,150	5,066	1,909	859
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,854 (44.7) *Oithona* spp. (copepodite) 390 (9.4)	Copepoda (nauplius) 1,515 (29.9) Paracalanidae (copepodite) 707 (14.0) *Oithona* spp. (copepodite) 606 (12.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 505 (10.0) *Oithona simplex* 404 (8.0)	*Oithona* spp. (copepodite) 387 (20.3) *Oithona simplex* 363 (19.0) Cirripedia (nauplius) 242 (12.7) Paracalanidae (copepodite) 242 (12.7) Copepoda (nauplius) 145 (7.6) *Oithona attenuata* 145 (7.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 145 (7.6)	*Oithona* spp. (copepodite) 255 (29.7) Copepoda (nauplius) 240 (27.9) *Oncaea* spp. (copepodite) 96 (11.2) Paracalanidae (copepodite) 64 (7.5)

調査地点		E25			
調査年度		平成22年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	42	43	36	45
	細胞数（細胞/L）	34,380	169,500	19,870	6,480
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	*Thalassiosira* spp. 11,800 (34.3) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 9,840 (28.6) unidentified flagellates 7,200 (20.9) Gymnodiniales 2,280 (6.6)	unidentified flagellates 60,800 (35.9) *Bacteriastrum* spp. 52,800 (31.2) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 11,200 (6.6) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 11,200 (6.6)	*Heterocapsa* spp. 4,960 (25.0) unidentified flagellates 4,800 (24.2) Prasinophyceae 4,000 (20.1) Haptophyceae 2,000 (10.1) Cryptophyceae 1,840 (9.3)	Prasinophyceae 1,320 (20.4) unidentified flagellates 1,280 (19.8) Haptophyceae 1,120 (17.3)
動物プランクトン	出現種類数	34	22	25	25
	個体数（個体/㎥）	2,818	2,843	3,899	8,036
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 432 (15.3) Gastropoda (larva) 432 (15.3) *Oithona* spp. (copepodite) 432 (15.3) *Paracalanus* spp. (copepodite) 247 (8.8) *Calocalanus* spp. (copepodite) 185 (6.6)	*Oithona* spp. (copepodite) 658 (23.1) *Oithona aruensis* 548 (19.3) Copepoda (nauplius) 438 (15.4) *Oithona simplex* 274 (9.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 274 (9.6)	*Oithona* spp. (copepodite) 812 (20.8) Gastropoda (larva) 696 (17.9) *Acartia* spp. (copepodite) 464 (11.9) Copepoda (nauplius) 464 (11.9) *Oithona simplex* 348 (8.9)	*Oithona* spp. (copepodite) 2,709 (33.7) *Paracalanus* spp. (copepodite) 903 (11.2) Copepoda (nauplius) 813 (10.1) *Oithona simplex* 542 (6.7) Paracalanidae (copepodite) 542 (6.7)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(19)　結果概要（浮遊生物調査：E25：工事前）

調査地点		E25			
調査年度		平成23年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	28	33	40	54
	細胞数（細胞/L）	4,340	10,260	4,540	15,950
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	unidentified flagellates 1,920 (44.2) Cryptophyceae 560 (12.9) *Navicula* spp. 530 (12.2) Prasinophyceae 480 (11.1)	unidentified flagellates 3,840 (37.4) Prasinophyceae 1,600 (15.6) *Heterocapsa* spp. 1,270 (12.4) *Scrippsiella* spp. 670 (6.5) Cryptophyceae 560 (5.5)	unidentified flagellates 1,760 (38.8) *Cylindrotheca closterium* 400 (8.8) *Nitzschia* spp. 350 (7.7) *Bleakeleya notata* 260 (5.7)	Haptophyceae 9,790 (61.4) unidentified flagellates 1,360 (8.5) Prasinophyceae 880 (5.5)
動物プランクトン	出現種類数	19	30	39	45
	個体数（個体/㎥）	4,872	18,392	9,265	22,504
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 1,492 (30.6) Gastropoda (larva) 932 (19.1) *Oncaea* spp. (copepodite) 932 (19.1) *Paracalanus* spp. (copepodite) 373 (7.7)	*Acrocalanus longicornis* 6,300 (34.3) *Oithona dissimilis* 3,431 (18.7) *Oithona* spp. (copepodite) 2,513 (13.7) *Oithona simplex* 1,463 (8.0) Brachyura (zoea) 1,031 (5.6)	*Bestiolina similis* 2,520 (27.2) *Oithona simplex* 1,560 (16.8) Copepoda (nauplius) 1,000 (10.8) *Oithona aruensis* 880 (9.5) *Oithona* spp. (copepodite) 840 (9.1)	*Delius nudus* 3,833 (17.0) Copepoda (nauplius) 3,750 (16.7) *Oithona* spp. (copepodite) 3,167 (14.1) Calanoida (copepodite) 2,000 (8.9) *Calocalanus* spp. (copepodite) 1,583 (7.0) *Clausocalanus* spp. (copepodite) 1,583 (7.0) *Oncaea* spp. (copepodite) 1,583 (7.0)

調査地点		E25			
調査年度		平成24年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	30	44	46	45
	細胞数（細胞/L）	4,520	12,690	12,410	17,010
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（　）内は組成比%	Peridiniales 1,020 (22.6) Cryptophyceae 800 (17.7) *Scrippsiella* spp. 510 (11.3) *Heterocapsa* spp. 450 (10.0) *Prorocentrum minimum* 300 (6.6)	unidentified flagellates 6,320 (49.8) *Heterocapsa* spp. 1,600 (12.6) *Nitzschia* spp. 630 (5.0)	unidentified flagellates 3,280 (26.4) Prasinophyceae 2,560 (20.6) Cryptophyceae 1,520 (12.2) Haptophyceae 1,120 (9.0) *Heterocapsa* spp. 650 (5.2)	unidentified flagellates 8,080 (47.5) Prasinophyceae 2,800 (16.5) Cryptophyceae 2,320 (13.6)
動物プランクトン	出現種類数	19	21	51	33
	個体数（個体/㎥）	1,900	1,030	3,532	3,654
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（　）内は組成比%	*Undinula vulgaris* 831 (43.7) Gastropoda (larva) 306 (16.1) *Nannocalanus minor* 275 (14.5)	Copepoda (nauplius) 221 (21.5) Bivalvia (D-shaped larva) 186 (18.1) Cirripedia (nauplius) 179 (17.4) Gastropoda (larva) 90 (8.7) *Oikopleura* spp. 83 (8.1)	Copepoda (nauplius) 700 (19.8) *Oithona simplex* 508 (14.4) *Oithona* spp. (copepodite) 333 (9.4) *Clausocalanus* spp. (copepodite) 250 (7.1) Cirripedia (nauplius) 183 (5.2) Paracalanidae (copepodite) 183 (5.2)	Copepoda (nauplius) 1,509 (41.3) *Oithona* spp. (copepodite) 355 (9.7) Gastropoda (larva) 291 (8.0) *Oncaea* spp. (copepodite) 245 (6.7)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(20)　結果概要（浮遊生物調査：E25：工事前）

調査地点		E25			
調査年度		平成25年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	36	47	44	26
	細胞数（細胞/L）	4,380	38,410	15,880	6,990
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 1,520 (34.7) *Pseudo-nitzschia* spp. 400 (9.1) *Nitzschia* spp. 330 (7.5) Prasinophyceae 240 (5.5)	unidentified flagellates 21,360 (55.6) Cryptophyceae 4,720 (12.3) *Heterocapsa* spp. 2,440 (6.4) Prasinophyceae 2,160 (5.6) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 2,070 (5.4)	unidentified flagellates 5,760 (36.3) Cryptophyceae 2,560 (16.1) *Heterocapsa* spp. 2,400 (15.1) Prasinophyceae 1,360 (8.6)	Prasinophyceae 2,320 (33.2) unidentified flagellates 1,840 (26.3) Cryptophyceae 1,360 (19.5)
動物プランクトン	出現種類数	41	34	28	13
	個体数（個体/㎥）	5,576	14,619	3,385	140
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,478 (26.5) *Oithona* spp. (copepodite) 1,222 (21.9) *Oithona simplex* 778 (14.0) *Oithona attenuata* 300 (5.4) Paracalanidae (copepodite) 289 (5.2)	Copepoda (nauplius) 4,490 (30.7) *Oithona* spp. (copepodite) 3,974 (27.2) *Oithona aruensis* 1,445 (9.9) Paracalanidae (copepodite) 929 (6.4)	Gastropoda (larva) 631 (18.6) Copepoda (nauplius) 385 (11.4) *Oithona simplex* 385 (11.4) *Oikopleura* spp. 323 (9.5) Bivalvia (D-shaped larva) 277 (8.2)	Calanoida (copepodite) 21 (15.0) Copepoda (nauplius) 21 (15.0) Isopoda 14 (10.0) *Oncaea mediterranea* 14 (10.0) *Oncaea* spp. (copepodite) 14 (10.0)

調査地点		E25
調査年度		平成26年度
項目 ＼ 調査時期		春季
植物プランクトン	出現種類数	24
	細胞数（細胞/L）	26,630
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 18,240 (68.5) Prasinophyceae 2,160 (8.1) Cryptophyceae 2,080 (7.8)
動物プランクトン	出現種類数	28
	個体数（個体/㎥）	5,023
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Gastropoda (larva) 1,710 (34.0) Copepoda (nauplius) 1,683 (33.5)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(21)　結果概要（浮遊生物調査：E25：工事中）

調査地点		E25	
調査年度		平成29年度	
項目 ＼ 調査時期		秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	52	48
	細胞数（細胞/L）	3,270	2,810
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Cylindrotheca closterium* 560 (17.1) *Navicula* spp. 560 (17.1) *Bacteriastrum* spp. 290 (8.9) Pennales 240 (7.3)	*Cylindrotheca closterium* 360 (12.8) *Diatoma* sp. 340 (12.1) Gymnodiniales 320 (11.4) Pennales 180 (6.4) unidentified flagellates 180 (6.4)
動物プランクトン	出現種類数	17	13
	個体数（個体/㎥）	1,360	560
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 430 (31.6) Gastropoda (larva) 320 (23.5) *Oithona* spp. (copepodite) 240 (17.6) Paracalanidae (copepodite) 100 (7.4)	Copepoda (nauplius) 250 (44.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 90 (16.1) *Oncaea venusta* 40 (7.1) Gastropoda (larva) 30 (5.4)

調査地点		E25					
調査年度		平成30年度					
項目 ＼ 調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	54	40	52	35	35	32
	細胞数（細胞/L）	28,760	2,000	25,970	5,040	1,710	2,050
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 14,500 (50.4) *Skeletonema costatum* sensu lato 4,200 (14.6) *Heterocapsa* spp. 2,530 (8.8) *Chaetoceros* sp. (cf. *salsugineum*) 2,270 (7.9)	*Heterocapsa* spp. 320 (16.0) Peridiniales 240 (12.0) Gymnodiniales 170 (8.5) unidentified flagellates 130 (6.5) Pennales 120 (6.0)	*Pseudo-nitzschia* spp. 20,000 (77.0) *Cylindrotheca closterium* 1,310 (5.0)	*Bacillaria paxillifer* 1,200 (23.8) *Cylindrotheca closterium* 520 (10.3) Gymnodiniales 410 (8.1) *Heterocapsa* spp. 360 (7.1) Peridiniales 280 (5.6)	*Heterocapsa* spp. 200 (11.7) *Cylindrotheca closterium* 140 (8.2) Pennales 130 (7.6) Cryptophyceae 110 (6.4) Prasinophyceae 110 (6.4)	Euglenophyceae 460 (22.4) Peridiniales 270 (13.2) *Protoperidinium* spp. 190 (9.3) unidentified flagellates 110 (5.4)
動物プランクトン	出現種類数	14	20	27	13	16	18
	個体数（個体/㎥）	17,522	2,293	34,222	3,060	6,479	1,310
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona dissimilis* 4,735 (27.0) *Acartia fossae* 4,103 (23.4) *Acartia* spp. (copepodite) 3,197 (18.2) Copepoda (nauplius) 2,410 (13.8) *Oithona* spp. (copepodite) 1,436 (8.2)	Copepoda (nauplius) 569 (24.8) *Oithona* spp. (copepodite) 551 (24.0) Gastropoda (larva) 222 (9.7) Cirripedia (nauplius) 151 (6.6) *Acartia* spp. (copepodite) 116 (5.1)	*Oithona* spp. (copepodite) 8,686 (25.4) *Acrocalanus* spp. (copepodite) 3,886 (11.4) *Oithona simplex* 3,200 (9.4) *Oithona attenuata* 2,743 (8.0) Copepoda (nauplius) 2,400 (7.0)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,180 (38.6) Copepoda (nauplius) 840 (27.5) *Oithona oculata* 250 (8.2)	Copepoda (nauplius) 4,527 (69.9) *Oithona* spp. (copepodite) 593 (9.2) *Paracalanus* spp. (copepodite) 428 (6.6)	Copepoda (nauplius) 715 (54.6) *Oithona* spp. (copepodite) 154 (11.8) Paracalanidae (copepodite) 81 (6.2) *Acartia* spp. (copepodite) 72 (5.5)

調査地点		E25				
調査年度		令和元年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	36	28	30	37	37
	細胞数（細胞/L）	1,470	2,560	4,200	2,590	1,250
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Peridiniales 250 (17.0) Gymnodiniales 160 (10.9) *Navicula* spp. 140 (9.5) Euglenophyceae 100 (6.8) unidentified flagellates 80 (5.4)	*Chaetoceros* sp. (small chain type) 850 (33.2) *Protoperidinium* sp. 440 (17.2) *Prorocentrum triestinum* 260 (10.2) Peridiniales 190 (7.4) *Pseudo-nitzschia* sp. 140 (5.5)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 800 (19.0) Gymnodiniales 710 (16.9) *Chaetoceros lauderi* 470 (11.2) Peridiniales 430 (10.2) *Protoperidinium* spp. 310 (7.4)	Gymnodiniales 270 (10.4) Prasinophyceae 210 (8.1) unidentified flagellates 190 (7.3) *Heterocapsa* spp. 190 (7.3) Pennales 190 (7.3) *Navicula* spp. 190 (7.3)	Gymnodiniales 160 (12.8) Euglenophyceae 120 (9.6) Pennales 110 (8.8) *Amphora* sp. 90 (7.2) Peridiniales 80 (6.4)
動物プランクトン	出現種類数	15	15	18	22	7
	個体数（個体/㎥）	561	2,265	13,014	3,126	109
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 129 (23.0) *Acartia* spp. (copepodite) 99 (17.6) Gastropoda (larva) 76 (13.5) *Oithona* spp. (copepodite) 61 (10.9) Isopoda 30 (5.3) Foraminifera 30 (5.3)	Copepoda (nauplius) 919 (40.6) Gastropoda (larva) 281 (12.4) *Oithona* spp. (copepodite) 196 (8.7) Isopoda 187 (8.3) Paracalanidae (copepodite) 179 (7.9)	Copepoda (nauplius) 4,524 (34.8) *Oikopleura* spp. 1,714 (13.2) *Oithona* spp. (copepodite) 1,667 (12.8) *Oikopleura dioica* 1,274 (9.8) *Paracalanus* spp. (copepodite) 1,012 (7.8)	*Oithona* spp. (copepodite) 728 (23.3) Copepoda (nauplius) 524 (16.8) *Oithona simplex* 243 (7.8) *Oithona attenuata* 233 (7.5) Gastropoda (larva) 223 (7.1)	Copepoda (nauplius) 29 (26.6) *Oithona* spp. (copepodite) 20 (18.3) *Oncaea media* 20 (18.3) *Acartia* spp. (copepodite) 10 (9.2) Cirripedia (nauplius) 10 (9.2) *Clausocalanus* spp. (copepodite) 10 (9.2) Harpacticoida 10 (9.2)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(22)　結果概要（浮遊生物調査：E25：工事中）

調査地点		E25				
調査年度		令和2年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	36	20	36	29	22
	細胞数（細胞/L）	4,570	22,300	812,600	1,660	1,270
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Heterocapsa* sp. 1,400 (30.6) Peridiniales 570 (12.5) Gymnodiniales 400 (8.8) unidentified flagellates 400 (8.8) *Cylindrotheca closterium* 300 (6.6)	*Nitzschia* spp. 10,700 (48.0) *Pseudo-nitzschia* spp. 3,900 (17.5)	*Chaetoceros constrictum* 536,000 (66.0) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 117,300 (14.4) *Pseudo-nitzschia* spp. 79,300 (9.8)	*Licmophora* spp. 450 (27.1) Pennales 270 (16.3) unidentified flagellates 200 (12.0) *Nitzschia* spp. 140 (8.4)	Pennales 350 (27.6) Peridiniales 180 (14.2) Prasinophyceae 120 (9.4) *Cylindrotheca closterium* 70 (5.5) *Nitzschia* spp. 70 (5.5)
動物プランクトン	出現種類数	10	16	23	8	20
	個体数（個体/㎥）	1,195	1,225	16,394	226	1,011
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 623 (52.1) Gastropoda (larva) 181 (15.1) *Oithona* spp. (copepodite) 101 (8.5) Bivalvia (umbo larva) 80 (6.7) Cirripedia (nauplius) 70 (5.9)	*Oithona* spp. (copepodite) 409 (33.4) Copepoda (nauplius) 343 (28.0) Gastropoda (larva) 110 (9.0) *Oithona aruensis* 66 (5.4)	Copepoda (nauplius) 4,286 (26.1) *Acartia* spp. (copepodite) 2,321 (14.2) *Paracalanus* spp. (copepodite) 2,143 (13.1) *Oithona* spp. (copepodite) 2,054 (12.5) Paracalanidae (copepodite) 1,161 (7.1)	Copepoda (nauplius) 85 (37.6) *Oithona nana* 38 (16.8) Paracalanidae (copepodite) 28 (12.4) Polychaeta (larva) 19 (8.4) *Oithona simplex* 19 (8.4) *Oncaea* spp. (copepodite) 19 (8.4)	Gastropoda (larva) 314 (31.1) Copepoda (nauplius) 157 (15.5) Polychaeta (larva) 88 (8.7) Calanoida (copepodite) 78 (7.7) *Paracalanus* spp. (copepodite) 69 (6.8)

調査地点		E25			
調査年度		令和3年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	42	53	41	37
	細胞数（細胞/L）	13,860	9,720	5,350	1,690
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 2,980 (21.5) Gymnodiniales 2,430 (17.5) *Heterocapsa* spp. 2,430 (17.5) Peridiniales 1,900 (13.7) Cryptophyceae 1,130 (8.2)	Prasinophyceae 1,080 (11.1) unidentified flagellates 1,000 (10.3) Gymnodiniales 790 (8.1) Diatomaceae 590 (6.1) Peridiniales 570 (5.9)	unidentified flagellates 950 (17.8) Gymnodiniales 810 (15.1) *Skeletonema costatum* sensu lato 670 (12.5) Cryptophyceae 450 (8.4) *Heterocapsa* spp. 400 (7.5) Prasinophyceae 400 (7.5)	Gymnodiniales 250 (14.8) Peridiniales 150 (8.9) unidentified flagellates 120 (7.1) *Oxytoxum* spp. 100 (5.9) Cryptophyceae 90 (5.3)
動物プランクトン	出現種類数	16	16	20	13
	個体数（個体/㎥）	4,667	379	709	412
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 912 (19.5) *Acartia* spp. (copepodite) 843 (18.1) *Bestiolina similis* 725 (15.5) *Oithona* spp. (copepodite) 725 (15.5) Paracalanidae (copepodite) 559 (12.0)	Gastropoda (larva) 79 (20.8) Bivalvia (umbo larva) 56 (14.8) *Creseis* spp. 45 (11.9) *Oncaea* spp. (copepodite) 34 (9.0) Paracalanidae (copepodite) 22 (5.8) Isopoda 22 (5.8) *Oikopleura* spp. 22 (5.8)	*Oithona* spp. (copepodite) 137 (19.3) Gastropoda (larva) 118 (16.6) Polychaeta (larva) 59 (8.3) *Acartia* spp. (copepodite) 59 (8.3) *Oithona simplex* 39 (5.5) *Oikopleura* spp. 39 (5.5)	Copepoda (nauplius) 107 (26.0) *Oithona* spp. (copepodite) 80 (19.4) Gastropoda (larva) 40 (9.7) *Oncaea* spp. (copepodite) 40 (9.7) Polychaeta (larva) 27 (6.6) Cirripedia (nauplius) 27 (6.6)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(23)　結果概要（浮遊生物調査：E25：工事中）

調査地点		E25				
調査年度		令和4年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	31	54	42	41	24
	細胞数（細胞/L）	18,170	90,720	10,840	2,360	1,320
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 4,250 (23.4) Cryptophyceae 4,010 (22.1) *Heterocapsa* spp. 4,000 (22.0) Prasinophyceae 3,450 (19.0)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 53,200 (58.6) *Skeletonema costatum* sensu lato 22,400 (24.7)	Gymnodiniales 1,870 (17.3) Peridiniales 1,700 (15.7) Haptophyceae 1,600 (14.8) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,210 (11.2) *Heterocapsa* spp. 1,170 (10.8)	Pennales 320 (13.6) Naviculaceae 190 (8.1) unidentified flagellates 150 (6.4) *Licmophora* spp. 140 (5.9) Diatomaceae 120 (5.1) *Climacosphenia moniligera* 120 (5.1) *Navicula* spp. 120 (5.1)	unidentified flagellates 400 (30.3) *Cylindrotheca closterium* 170 (12.9) Cryptophyceae 150 (11.4) Pennales 110 (8.3) *Navicula* spp. 90 (6.8)
動物プランクトン	出現種類数	10	10	14	21	20
	個体数（個体/㎥）	920	6,600	919	2,180	1,240
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 340 (37.0) *Oithona* spp. (copepodite) 180 (19.6) Gastropoda (larva) 120 (13.0) Polychaeta (larva) 80 (8.7) *Acartia* spp. (copepodite) 60 (6.5)	Copepoda (nauplius) 4,320 (65.5) *Oithona* spp. (copepodite) 1,320 (20.0) Bivalvia (umbo larva) 360 (5.5)	Bivalvia (umbo larva) 240 (26.1) *Oithona* spp. (copepodite) 213 (23.2) Gastropoda (larva) 80 (8.7) *Paracalanus* spp. (copepodite) 67 (7.3) *Oithona simplex* 53 (5.8) *Corycaeus* spp. (copepodite) 53 (5.8)	*Oithona* spp. (copepodite) 620 (28.4) *Oithona simplex* 580 (26.6) *Acartia* spp. (copepodite) 260 (11.9) *Paracalanus* spp. (copepodite) 140 (6.4)	Copepoda (nauplius) 293 (23.6) *Oithona* spp. (copepodite) 160 (12.9) Paracalanidae (copepodite) 107 (8.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 80 (6.5) *Oncaea* spp. (copepodite) 80 (6.5)

調査地点		E25					
調査年度		令和5年度					
項目 ＼ 調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	33	32	53	41	40	36
	細胞数（細胞/L）	2,300	2,350	101,050	12,220	10,300	4,060
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 350 (15.2) Peridiniales 230 (10.0) *Heterocapsa* spp. 200 (8.7) Gymnodiniales 190 (8.3)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 650 (27.7) *Cylindrotheca closterium* 250 (10.6) Cryptophyceae 250 (10.6) Peridiniales 230 (9.8)	*Pseudo-nitzschia* spp. 33,400 (33.1) Diatomaceae 19,070 (18.9) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 16,270 (16.1) Peridiniales 10,000 (9.9) Gymnodiniales 7,200 (7.1)	Gymnodiniales 4,750 (38.9) Peridiniales 2,550 (20.9) *Heterocapsa* spp. 800 (6.5)	Peridiniales 1,900 (18.4) Gymnodiniales 1,700 (16.5) *Heterocapsa* spp. 1,700 (16.5) Prasinophyceae 1,300 (12.6) Cryptophyceae 1,200 (11.7)	Gymnodiniales 850 (20.9) Cryptophyceae 800 (19.7) *Heterocapsa* spp. 450 (11.1) Peridiniales 300 (7.4) unidentified flagellates 250 (6.2)
動物プランクトン	出現種類数	5	9	15	15	16	21
	個体数（個体/㎥）	340	1,130	4,020	9,230	867	6,764
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 230 (67.6) *Oithona* spp. (copepodite) 50 (14.7) Gastropoda (larva) 30 (8.8) Cyclopoida (copepodite) 20 (5.9)	Paracalanidae (copepodite) 320 (28.3) Copepoda (nauplius) 170 (15.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 160 (14.2) *Acartia* spp. (copepodite) 160 (14.2) *Oithona* spp. (copepodite) 120 (10.6)	Copepoda (nauplius) 1,160 (28.9) *Oithona* spp. (copepodite) 970 (24.1) Bivalvia (umbo larva) 640 (15.9) Polychaeta (larva) 280 (7.0) Gastropoda (larva) 200 (5.0)	Copepoda (nauplius) 2,700 (29.3) *Oithona* spp. (copepodite) 2,100 (22.8) Gastropoda (larva) 1,360 (14.7) Bivalvia (umbo larva) 1,050 (11.4) Paracalanidae (copepodite) 470 (5.1)	*Oithona* spp. (copepodite) 219 (25.3) Copepoda (nauplius) 142 (16.4) Gastropoda (larva) 77 (8.9) *Oikopleura* spp. 65 (7.5) *Oithona simplex* 52 (6.0) Bivalvia (umbo larva) 52 (6.0)	Copepoda (nauplius) 2,171 (32.1) *Oithona* spp. (copepodite) 1,440 (21.3) *Calocalanus* spp. (copepodite) 1,086 (16.1) *Microsetella norvegica* 503 (7.4) *Paracalanus* spp. (copepodite) 400 (5.9)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の１層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(24)　結果概要（浮遊生物調査：E25：工事中）

調査地点		E25				
調査年度		令和6年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	41	44	50	35	39
	細胞数（細胞/L）	7,820	18,790	16,990	5,380	5,850
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Gymnodiniales 1,530 (19.6) Peridiniales 1,420 (18.2) Cryptophyceae 1,200 (15.3) *Heterocapsa* spp. 1,200 (15.3)	Peridiniales 4,570 (24.3) *Heterocapsa* spp. 3,570 (19.0) Gymnodiniales 3,130 (16.7) *Gymnodinium* spp. 2,600 (13.8)	Gymnodiniales 3,230 (19.0) Peridiniales 2,800 (16.5) *Heterocapsa* spp. 1,630 (9.6) Cryptophyceae 1,330 (7.8) *Pseudo-nitzschia* spp. 1,260 (7.4)	Gymnodiniales 1,100 (20.4) *Heterocapsa* spp. 830 (15.4) Peridiniales 800 (14.9) Prasinophyceae 370 (6.9) unidentified flagellates 270 (5.0)	Haptophyceae 2,200 (37.6) Prasinophyceae 500 (8.5) Cryptophyceae 400 (6.8)
動物プランクトン	出現種類数	12	24	20	7	19
	個体数（個体/㎥）	731	3,062	11,680	338	464
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 217 (29.7) *Oithona* spp. (copepodite) 137 (18.7) *Acartia* spp. (copepodite) 91 (12.4) Gastropoda (larva) 80 (10.9) Bivalvia (umbo larva) 46 (6.3)	Copepoda (nauplius) 827 (27.0) *Oithona* spp. (copepodite) 640 (20.9) Gastropoda (larva) 338 (11.0) *Oikopleura* spp. 302 (9.9)	Copepoda (nauplius) 4,100 (35.1) *Oithona* spp. (copepodite) 1,540 (13.2) *Paracalanus* spp. (copepodite) 1,100 (9.4) *Acartia* spp. (copepodite) 940 (8.0) *Oithona simplex* 830 (7.1)	Copepoda (nauplius) 204 (60.4) *Oithona* spp. (copepodite) 62 (18.3) Polychaeta (larva) 27 (8.0) *Corycaeus concinnus* 18 (5.3)	Copepoda (nauplius) 169 (36.4) *Oithona* spp. (copepodite) 62 (13.4) Gastropoda (larva) 44 (9.5) *Acartia* spp. (copepodite) 27 (5.8)

調査地点		E25			
調査年度		令和7年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	38	46	41	42
	細胞数（細胞/L）	3,720	8,200	8,390	7,800
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Gymnodiniales 1,120 (30.1) Prasinophyceae 310 (8.3) unidentified flagellates 310 (8.3) *Heterocapsa* spp. 230 (6.2) *Amphidinium* spp. 220 (5.9)	Gymnodiniales 1,480 (18.0) *Heterocapsa* spp. 1,350 (16.5) Peridiniales 1,320 (16.1) Cryptophyceae 520 (6.3)	Gymnodiniales 1,330 (15.9) unidentified flagellates 920 (11.0) Pennales 710 (8.5) Peridiniales 650 (7.7) *Heterocapsa* spp. 580 (6.9)	Prasinophyceae 1,700 (21.8) Gymnodiniales 1,500 (19.2) Cryptophyceae 1,350 (17.3) unidentified flagellates 840 (10.8) *Heterocapsa* spp. 420 (5.4)
動物プランクトン	出現種類数	21	16	15	21
	個体数（個体/㎥）	416	4,221	644	1,366
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 99 (23.8) Gastropoda (larva) 41 (9.9) Copepoda (nauplius) 41 (9.9) Bivalvia (umbo larva) 33 (7.9) *Oithona attenuata* 33 (7.9)	Copepoda (nauplius) 1,390 (32.9) *Oithona* spp. (copepodite) 1,085 (25.7) Bivalvia (umbo larva) 542 (12.8) *Oithona aruensis* 220 (5.2)	*Oithona simplex* 190 (29.5) *Oithona* spp. (copepodite) 143 (22.2) Bivalvia (D-shaped larva) 63 (9.8) Copepoda (nauplius) 48 (7.5)	*Oithona* spp. (copepodite) 257 (18.8) Copepoda (nauplius) 257 (18.8) *Calocalanus* spp. (copepodite) 117 (8.6) Gastropoda (larva) 94 (6.9) Paracalanidae (copepodite) 94 (6.9)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(25)　結果概要（浮遊生物調査：E27：工事前）

調査地点		E27		
調査年度		平成19年度		
項目 ＼ 調査時期		夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	17	27	24
	細胞数（細胞/L）	24,160	18,940	1,800
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Chaetoceros* sp. (large chain type) 20,400 (84.4) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,280 (5.3)	Chlorococcales 15,600 (82.4)	Haptophyceae 320 (17.8) *Cocconeis* spp. 200 (11.1) *Navicula* spp. 200 (11.1) unidentified flagellates 200 (11.1) *Cylindrotheca closterium* 120 (6.7)
動物プランクトン	出現種類数	32	21	28
	個体数（個体/㎥）	30,430	4,749	1,086
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 9,083 (29.8) *Oithona* spp. (copepodite) 5,095 (16.7) Bivalvia (D-shaped larva) 3,545 (11.6) *Oithona simplex* 2,437 (8.0) Gastropoda (larva) 2,215 (7.3)	Copepoda (nauplius) 2,114 (44.5) Gastropoda (larva) 545 (11.5) *Oithona* spp. (copepodite) 477 (10.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 409 (8.6)	*Oncaea* spp. (copepodite) 320 (29.5) Copepoda (nauplius) 152 (14.0) *Oithona* spp. (copepodite) 91 (8.4) *Oncaea media* 81 (7.5) *Paracalanus* spp. (copepodite) 76 (7.0)

調査地点		E27			
調査年度		平成20年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	20	27	19	25
	細胞数（細胞/L）	5,250	4,770	6,670	3,260
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Navicula* spp. 1,750 (33.3) Prasinophyceae 950 (18.1) Gymnodiniales 600 (11.4) Euglenophyceae 550 (10.5)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,600 (33.5) Peridiniales 1,080 (22.6) unidentified flagellates 320 (6.7) Gymnodiniales 280 (5.9)	unidentified flagellates 3,440 (51.6) Haptophyceae 800 (12.0) Cryptophyceae 720 (10.8) *Amphora* spp. 400 (6.0)	Prasinophyceae 760 (23.3) *Cylindrotheca closterium* 520 (16.0) unidentified flagellates 400 (12.3) Haptophyceae 360 (11.0) *Calciosolenia murrayi* 240 (7.4)
動物プランクトン	出現種類数	30	26	14	19
	個体数（個体/㎥）	7,966	14,690	15,277	1,001
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 2,963 (37.2) Gastropoda (larva) 1,625 (20.4) *Oithona* spp. (copepodite) 828 (10.4) Bivalvia (umbo larva) 510 (6.4) *Oithona simplex* 446 (5.6)	Gastropoda (larva) 3,030 (20.6) Copepoda (nauplius) 2,914 (19.8) *Oithona* spp. (copepodite) 2,681 (18.3) *Oithona simplex* 1,865 (12.7)	Copepoda (nauplius) 11,066 (72.4) Gastropoda (larva) 1,393 (9.1) Bivalvia (umbo larva) 1,311 (8.6) Harpacticoida (copepodite) 1,148 (7.5)	Copepoda (nauplius) 128 (12.8) Foraminifera 128 (12.8) *Oncaea* spp. (copepodite) 128 (12.8) *Paracalanus* spp. (copepodite) 128 (12.8) *Clausocalanus* spp. (copepodite) 64 (6.4) Gastropoda (larva) 64 (6.4) *Oithona simplex* 64 (6.4) *Oithona* spp. (copepodite) 64 (6.4)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(26)　結果概要（浮遊生物調査：E27：工事前）

調査地点		E27			
調査年度		平成21年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	23	43	34	22
	細胞数（細胞/L）	7,820	10,350	2,610	560
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 2,480 (31.7) Haptophyceae 1,280 (16.4) Peridiniales 1,120 (14.3) *Scrippsiella trochoidea* 640 (8.2)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 4,550 (44.0) unidentified flagellates 1,700 (16.4) Peridiniales 930 (9.0) Gymnodiniales 620 (6.0)	Gymnodiniales 330 (12.6) Pennales 270 (10.3) Peridiniales 260 (10.0) *Nitzschia* spp. 240 (9.2) *Cylindrotheca closterium* 230 (8.8)	unidentified flagellates 80 (14.3) *Bleakeleya notata* 70 (12.5) *Coscinodiscus* spp. 50 (8.9) *Leptocylindrus danicus* 50 (8.9) *Lauderia annulata* 30 (5.4) *Nitzschia longissima* 30 (5.4) Oscillatoriaceae 30 (5.4)
動物プランクトン	出現種類数	32	20	26	19
	個体数（個体/㎥）	4,359	86,500	1,287	433
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,041 (23.9) *Oithona* spp. (copepodite) 694 (15.9) *Paracalanus parvus* 304 (7.0) Bivalvia (umbo larva) 260 (6.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 260 (6.0)	*Oithona* spp. (copepodite) 25,000 (28.9) *Oithona aruensis* 22,000 (25.4) Copepoda (nauplius) 8,000 (9.2) *Oithona simplex* 6,000 (6.9) *Oikopleura* spp. 5,000 (5.8)	*Oithona* spp. (copepodite) 183 (14.2) Paracalanidae (copepodite) 115 (8.9) Polychaeta (larva) 115 (8.9) Bivalvia (D-shaped larva) 92 (7.1) Cirripedia (nauplius) 92 (7.1) *Oithona aruensis* 92 (7.1)	*Oithona* spp. (copepodite) 107 (24.7) Copepoda (nauplius) 61 (14.1) *Oncaea* spp. (copepodite) 46 (10.6) *Oikopleura longicauda* 38 (8.8) *Oncaea venusta* 34 (7.9)

調査地点		E27			
調査年度		平成22年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	41	47	42	47
	細胞数（細胞/L）	17,880	145,700	112,490	19,600
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Peridinium quinquecorne* 3,840 (21.5) unidentified flagellates 3,600 (20.1) *Thalassiosira* spp. 2,880 (16.1) Peridiniales 2,000 (11.2) *Heterocapsa* spp. 1,040 (5.8)	unidentified flagellates 104,000 (71.4) *Heterocapsa* spp. 11,840 (8.1) *Bacteriastrum* spp. 9,120 (6.3)	unidentified flagellates 67,680 (60.2) *Heterocapsa* spp. 18,240 (16.2) Cryptophyceae 17,760 (15.8)	unidentified flagellates 5,920 (30.2) Cryptophyceae 5,040 (25.7) Prasinophyceae 3,760 (19.2) Haptophyceae 1,240 (6.3) *Heterocapsa* spp. 1,200 (6.1)
動物プランクトン	出現種類数	28	20	26	23
	個体数（個体/㎥）	5,034	4,082	22,591	5,905
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,116 (22.2) *Acartia* spp. (copepodite) 717 (14.2) *Oithona* spp. (copepodite) 717 (14.2) *Oithona simplex* 478 (9.5) Gastropoda (larva) 398 (7.9)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,125 (27.6) *Oithona simplex* 772 (18.9) Copepoda (nauplius) 547 (13.4) *Oithona aruensis* 322 (7.9) *Paracalanus crassirostris* 225 (5.5)	*Oithona* spp. (copepodite) 6,134 (27.2) *Oithona oculata* 3,578 (15.8) *Oithona simplex* 1,789 (7.9) *Oikopleura* spp. 1,534 (6.8) *Oithona aruensis* 1,534 (6.8)	Copepoda (nauplius) 1,934 (32.8) *Calocalanus* spp. (copepodite) 611 (10.3) *Oithona* spp. (copepodite) 509 (8.6) Calanoida (copepodite) 407 (6.9) *Oithona simplex* 407 (6.9)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(27)　結果概要（浮遊生物調査：E27：工事前）

調査地点		E27			
調査年度		平成23年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	31	29	43	21
	細胞数（細胞/L）	3,920	4,030	8,680	4,330
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Navicula* spp. 1,060 (27.0) unidentified flagellates 960 (24.5) *Amphora* spp. 400 (10.2) Prasinophyceae 240 (6.1)	unidentified flagellates 1,760 (43.7) *Gymnodinium* spp. 250 (6.2) Peridiniales 240 (6.0) *Heterocapsa* spp. 230 (5.7) *Protoperidinium* spp. 220 (5.5)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 2,210 (25.5) unidentified flagellates 1,360 (15.7) *Bleakeleya notata* 890 (10.3) Cryptophyceae 720 (8.3) Gymnodiniales 510 (5.9)	Haptophyceae 1,760 (40.6) Prasinophyceae 1,600 (37.0) unidentified flagellates 400 (9.2)
動物プランクトン	出現種類数	18	25	30	37
	個体数（個体/㎥）	5,712	21,050	15,363	1,709
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 3,450 (60.4) *Oncaea* spp. (copepodite) 323 (5.7)	*Acrocalanus longicornis* 8,012 (38.1) *Oithona dissimilis* 2,118 (10.1) Brachyura (zoea) 1,824 (8.7) *Oithona* spp. (copepodite) 1,718 (8.2) *Oithona longispina* 1,624 (7.7)	Copepoda (nauplius) 5,467 (35.6) *Oikopleura longicauda* 2,489 (16.2) *Oikopleura* spp. 2,000 (13.0) *Oithona aruensis* 1,067 (6.9) *Oithona* spp. (copepodite) 933 (6.1)	Copepoda (nauplius) 355 (20.8) Paracalanidae (copepodite) 239 (14.0) *Oithona* spp. (copepodite) 148 (8.7) Calanoida (copepodite) 129 (7.5) *Oncaea* spp. (copepodite) 90 (5.3)

調査地点		E27			
調査年度		平成24年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	35	44	42	45
	細胞数（細胞/L）	13,440	11,940	12,570	10,030
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Cryptophyceae 4,400 (32.7) Prasinophyceae 3,440 (25.6) Haptophyceae 1,360 (10.1) unidentified flagellates 1,280 (9.5)	*Heterocapsa* spp. 3,200 (26.8) unidentified flagellates 2,800 (23.5) *Navicula* spp. 720 (6.0)	unidentified flagellates 4,560 (36.3) Prasinophyceae 2,560 (20.4) Cryptophyceae 1,440 (11.5) Haptophyceae 960 (7.6) *Heterocapsa* spp. 720 (5.7)	Prasinophyceae 3,200 (31.9) *Cylindrotheca closterium* 1,010 (10.1) Cryptophyceae 640 (6.4) unidentified flagellates 560 (5.6)
動物プランクトン	出現種類数	27	37	39	23
	個体数（個体/㎥）	10,182	7,457	6,464	1,566
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Undinula vulgaris* 6,052 (59.4) *Calocalanus styliremis* 1,409 (13.8) Bivalvia (D-shaped larva) 835 (8.2)	Copepoda (nauplius) 4,140 (55.5) *Oithona* spp. (copepodite) 813 (10.9) *Acartia* spp. (copepodite) 487 (6.5) Paracalanidae (copepodite) 487 (6.5)	Copepoda (nauplius) 1,824 (28.2) *Oithona simplex* 1,632 (25.2) *Oithona* spp. (copepodite) 992 (15.3) Paracalanidae (copepodite) 328 (5.1)	Copepoda (nauplius) 429 (27.4) Gastropoda (larva) 190 (12.1) Harpacticoida (copepodite) 162 (10.3) *Oithona* spp. (copepodite) 133 (8.5) Cirripedia (nauplius) 86 (5.5) *Microsetella norvegica* 86 (5.5)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(28)　結果概要（浮遊生物調査：E27：工事前）

調査地点		E27			
調査年度		平成25年度			
項目	調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	41	36	59	24
	細胞数（細胞/L）	8,600	38,380	44,910	6,710
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 4,720 (54.9) Cryptophyceae 800 (9.3) Prasinophyceae 800 (9.3)	unidentified flagellates 24,240 (63.2) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 4,160 (10.8) Cryptophyceae 2,880 (7.5) *Heterocapsa* spp. 2,720 (7.1)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 16,640 (37.1) unidentified flagellates 9,840 (21.9) Cryptophyceae 4,000 (8.9) *Heterocapsa* spp. 3,120 (6.9)	unidentified flagellates 2,400 (35.8) Cryptophyceae 1,520 (22.7) Prasinophyceae 1,440 (21.5)
動物プランクトン	出現種類数	39	28	28	40
	個体数（個体/㎥）	10,216	16,547	15,966	2,536
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Gastropoda (larva) 2,084 (20.4) Copepoda (nauplius) 1,705 (16.7) *Oithona* spp. (copepodite) 1,705 (16.7) Paracalanidae (copepodite) 758 (7.4) *Oithona attenuata* 726 (7.1)	Copepoda (nauplius) 8,114 (49.0) *Oithona* spp. (copepodite) 3,029 (18.3) *Oikopleura* spp. 1,371 (8.3) *Oithona aruensis* 1,143 (6.9)	Copepoda (nauplius) 9,082 (56.9) Gastropoda (larva) 1,929 (12.1)	Copepoda (nauplius) 547 (21.6) *Oithona* spp. (copepodite) 360 (14.2) *Oncaea* spp. (copepodite) 333 (13.1) Isopoda 293 (11.6) Gastropoda (larva) 280 (11.0)

調査地点		E27
調査年度		平成26年度
項目	調査時期	春季
植物プランクトン	出現種類数	33
	細胞数（細胞/L）	14,420
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 4,880 (33.8) *Heterocapsa* spp. 3,840 (26.6) Peridiniales 1,140 (7.9) Euglenophyceae 1,060 (7.4)
動物プランクトン	出現種類数	26
	個体数（個体/㎥）	5,450
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 2,156 (39.6) Gastropoda (larva) 1,467 (26.9) *Oithona* spp. (copepodite) 489 (9.0)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(29)　結果概要（浮遊生物調査：E27：工事中）

調査地点		E27		
調査年度		平成29年度		
項目 ＼ 調査時期		夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	53	51	35
	細胞数（細胞/L）	16,520	5,560	1,510
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Peridiniales 3,400 (20.6) *Heterocapsa* sp. 3,360 (20.3) Gymnodiniales 2,960 (17.9) unidentified flagellates 2,240 (13.6)	*Cylindrotheca closterium* 890 (16.0) *Bacillaria paxillifer* 510 (9.2) unidentified flagellates 510 (9.2) *Navicula* spp. 420 (7.6) Pennales 400 (7.2)	*Diatoma* sp. 350 (23.2) Pennales 170 (11.3) *Cylindrotheca closterium* 120 (7.9) *Bleakeleya notata* 90 (6.0) *Skeletonema costatum* sensu lato 80 (5.3)
動物プランクトン	出現種類数	23	18	8
	個体数（個体/㎥）	9,740	1,478	251
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 2,100 (21.6) Copepoda (nauplius) 1,600 (16.4) *Oithona aruensis* 1,400 (14.4) Bivalvia (umbo larva) 1,050 (10.8) *Paracalanus crassirostris* 660 (6.8)	*Oithona* spp. (copepodite) 400 (27.1) Copepoda (nauplius) 325 (22.0) *Oithona simplex* 150 (10.1) *Paracalanus* spp. (copepodite) 125 (8.5)	Copepoda (nauplius) 57 (22.7) *Oithona* spp. (copepodite) 57 (22.7) Gastropoda (larva) 46 (18.3) Harpacticoida 23 (9.2) *Oncaea* spp. (copepodite) 23 (9.2) *Paracalanus* spp. (copepodite) 23 (9.2)

調査地点		E27					
調査年度		平成30年度					
項目 ＼ 調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	46	43	48	37	34	44
	細胞数（細胞/L）	8,030	4,670	6,760	3,140	2870	3,620
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 3,270 (40.7) *Heterocapsa* spp. 560 (7.0) Gymnodiniales 450 (5.6) *Cylindrotheca closterium* 410 (5.1)	Nostocaceae 2,320 (49.7) Peridiniales 300 (6.4) *Cylindrotheca closterium* 280 (6.0)	*Pseudo-nitzschia* spp. 2,030 (30.0) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,920 (28.4) *Cylindrotheca closterium* 650 (9.6)	Gymnodiniales 490 (15.6) *Heterocapsa* spp. 380 (12.1) *Gyrodinium* spp. 280 (8.9) Peridiniales 220 (7.0) *Protoperidinium* spp. 200 (6.4)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,030 (35.9) *Heterocapsa* spp. 190 (6.6) Gymnodiniales 190 (6.6) Peridiniales 180 (6.3)	*Pseudo-nitzschia* spp. 460 (12.7) *Chaetoceros compressum* 380 (10.5) *Bacteriastrum* spp. 300 (8.3) *Leptocylindrus danicus* 280 (7.7) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 260 (7.2)
動物プランクトン	出現種類数	15	18	19	13	11	15
	個体数（個体/㎥）	13,212	890	20,952	3,788	5,308	5,764
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 5,868 (44.4) Copepoda (nauplius) 3,952 (29.9) *Oithona dissimilis* 1,713 (13.0)	Copepoda (nauplius) 302 (33.9) *Oithona* spp. (copepodite) 80 (9.0) Facetotecta (nauplius) 71 (8.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 71 (8.0) Gastropoda (larva) 62 (7.0)	*Oithona* spp. (copepodite) 6,578 (31.4) *Oithona simplex* 5,867 (28.0) *Paracalanus* spp. (copepodite) 2,844 (13.6) *Acartia* spp. (copepodite) 1,422 (6.8) *Oithona attenuata* 1,156 (5.5)	Copepoda (nauplius) 2,587 (68.3) *Oithona* spp. (copepodite) 391 (10.3) Bivalvia (umbo larva) 357 (9.4)	Copepoda (nauplius) 4,020 (75.7) *Oithona* spp. (copepodite) 546 (10.3) Gastropoda (larva) 312 (5.9)	Copepoda (nauplius) 2,136 (37.1) *Oithona* spp. (copepodite) 1,647 (28.6) *Paracalanus crassirostris* 489 (8.5) *Oithona simplex* 380 (6.6) Gastropoda (larva) 371 (6.4)

調査地点		E27				
調査年度		令和元年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	33	30	39	36	28
	細胞数（細胞/L）	1,060	29,000	3,470	1,910	1,030
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Peridiniales 150 (40.7) Gymnodiniales 120 (7.0) Euglenophyceae 110 (5.6) *Nitzschia* spp. 80 (5.1)	*Chaetoceros* sp. (small chain type) 25,600 (88.3)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 920 (26.5) *Heterocapsa* spp. 400 (11.5) Gymnodiniales 380 (11.0) Peridiniales 330 (9.5) *Protoperidinium* spp. 210 (6.1)	Gymnodiniales 280 (14.7) unidentified flagellates 220 (11.5) *Heterocapsa* spp. 130 (6.8) Peridiniales 130 (6.8) Cryptophyceae 130 (6.8)	Euglenophyceae 190 (18.4) Pennales 80 (7.8) *Amphora* sp. 70 (6.8) *Navicula* sp. 70 (6.8) Gymnodiniales 60 (5.8)
動物プランクトン	出現種類数	11	11	13	18	9
	個体数（個体/㎥）	1,618	582	18,727	986	144
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 549 (44.4) *Oithona* spp. (copepodite) 471 (29.9) *Acartia* spp. (copepodite) 157 (13.0) Gastropoda (larva) 127 (7.8) *Acartia fossae* 118 (7.3)	Copepoda (nauplius) 286 (49.1) *Oithona* spp. (copepodite) 80 (13.7) Bivalvia (umbo larva) 45 (7.7) *Oithona aruensis* 36 (6.2)	*Oithona* spp. (copepodite) 6,250 (33.4) *Oikopleura* spp. 3,512 (18.8) Copepoda (nauplius) 3,333 (17.8) *Oithona simplex* 2,262 (12.1) *Oikopleura dioica* 952 (5.1)	*Oithona* spp. (copepodite) 286 (29.0) Copepoda (nauplius) 177 (18.0) *Oithona simplex* 82 (8.3) Bivalvia (umbo larva) 75 (7.6) Paracalanidae (copepodite) 54 (5.5) Polychaeta (larva) 54 (5.5)	*Acartia* spp. (copepodite) 34 (23.6) Gastropoda (larva) 22 (15.3) Isopoda 22 (15.3) *Oithona* spp. (copepodite) 11 (7.6) *Oncaea media* 11 (7.6) Cirripedia (nauplius) 11 (7.6) Harpacticoida 11 (7.6) *Oikopleura* spp. 11 (7.6) Brachyura (zoea) 11 (7.6)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(30)　結果概要（浮遊生物調査：E27：工事中）

調査地点		E27				
調査年度		令和2年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	30	19	31	36	40
	細胞数（細胞/L）	4,740	48,200	96,800	2,750	2,630
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Heterocapsa* sp. 1,300 (27.4) Peridiniales 660 (13.9) Gymnodiniales 650 (13.7) Euglenophyceae 440 (9.3)	*Nitzschia* spp. 17,600 (36.5) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 13,900 (28.8) *Pseudo-nitzschia* spp. 11,400 (23.7)	*Chaetoceros constrictum* 47,800 (49.4) *Pseudo-nitzschia* spp. 12,000 (12.4) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 11,000 (11.4) *Chaetoceros* spp. (large chain type) 5,500 (5.7)	*Cylindrotheca closterium* 560 (20.4) Pennales 550 (20.0) *Nitzschia* spp. 330 (12.0) *Cyclophora tenuis* 210 (7.6)	Pennales 430 (16.3) *Cylindrotheca closterium* 240 (9.1) *Bacteriastrum* spp. 180 (6.8) *Rhizosolenia phuketensis* 140 (5.3) *Pseudo-nitzschia pungens* 140 (5.3)
動物プランクトン	出現種類数	8	21	21	6	5
	個体数（個体/㎥）	639	2,726	6,451	131	119
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 373 (58.4) Gastropoda (larva) 118 (18.5) *Oithona* spp. (copepodite) 49 (7.7)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,193 (43.8) Copepoda (nauplius) 751 (27.5) *Oithona simplex* 144 (5.3)	Copepoda (nauplius) 1,792 (27.8) *Oithona simplex* 887 (13.7) *Oikopleura* spp. 632 (9.8) *Acrocalanus* spp. (copepodite) 566 (8.8) *Acartia* spp. (copepodite) 519 (8.0)	*Euterpina acutifrons* (copepodite) 47 (35.9) *Oithona* spp. (copepodite) 38 (29.0) Copepoda (nauplius) 19 (14.5) Polychaeta (larva) 9 (6.9) Paracalanidae (copepodite) 9 (6.9) *Oithona atlantica* 9 (6.9)	Copepoda (nauplius) 69 (58.0) Cirripedia (nauplius) 20 (16.8) Gastropoda (larva) 10 (8.4) *Paracalanus* spp. (copepodite) 10 (8.4) Cyclopoida (copepodite) 10 (8.4)

調査地点		E27			
調査年度		令和3年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	36	46	28	37
	細胞数（細胞/L）	8,670	11,430	12,910	3,300
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Gymnodiniales 1,920 (22.1) *Heterocapsa* spp. 1,480 (17.1) unidentified flagellates 1,280 (14.8) Cryptophyceae 950 (11.0) Peridiniales 880 (10.1)	Gymnodiniales 1,920 (16.8) *Heterocapsa* spp. 1,800 (15.7) unidentified flagellates 1,200 (10.5) Prasinophyceae 1,080 (9.4) Diatomaceae 1,000 (8.7)	Diatomaceae 3,730 (28.9) unidentified flagellates 2,500 (19.4) *Skeletonema costatum* sensu lato 2,120 (16.4) Gymnodiniales 1,410 (10.9) *Heterocapsa* spp. 800 (6.2)	Haptophyceae 650 (19.7) unidentified flagellates 500 (15.2) Gymnodiniales 350 (10.6) Prasinophyceae 350 (10.6) Cryptophyceae 250 (7.6) *Heterocapsa* spp. 250 (7.6)
動物プランクトン	出現種類数	22	14	21	9
	個体数（個体/㎥）	6,679	1,333	1,118	384
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 1,528 (22.9) *Oithona simplex* 1,328 (19.9) *Acartia* spp. (copepodite) 585 (8.8) *Bestiolina similis* 480 (7.2) Gastropoda (larva) 376 (5.6)	Copepoda (nauplius) 314 (23.6) *Oithona* spp. (copepodite) 284 (21.3) *Bestiolina similis* 225 (16.9) *Oithona simplex* 176 (13.2)	Copepoda (nauplius) 375 (33.5) *Acartia* spp. (copepodite) 194 (17.4) *Acartia fossae* 120 (10.7) *Oithona* spp. (copepodite) 80 (7.2) *Oithona simplex* 74 (6.6)	Gastropoda (larva) 96 (25.0) Polychaeta (larva) 80 (20.8) Copepoda (nauplius) 64 (16.7) *Oithona* spp. (copepodite) 48 (12.5) Paracalanidae (copepodite) 32 (8.3)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(31)　結果概要（浮遊生物調査：E27：工事中）

調査地点		E27				
調査年度		令和4年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	36	56	38	39	30
	細胞数（細胞/L）	7,420	229,470	5,960	4,090	5,190
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	*Heterocapsa* spp. 2,400 (32.3) Cryptophyceae 1,490 (20.1) unidentified flagellates 1,260 (17.0) Prasinophyceae 460 (6.2)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 201,600 (87.9)	Peridiniales 1,600 (26.8) Gymnodiniales 820 (13.8) *Heterocapsa* spp. 700 (11.7) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 520 (8.7) Haptophyceae 300 (5.0)	unidentified flagellates 1,200 (29.3) *Heterocapsa* spp. 500 (12.2) *Skeletonema costatum* sensu lato 260 (6.4)	unidentified flagellates 1,100 (21.2) Euglenophyceae 970 (18.7) Cryptophyceae 850 (16.4) Peridiniales 600 (11.6) *Heterocapsa* spp. 600 (11.6)
動物プランクトン	出現種類数	8	11	15	17	9
	個体数（個体/㎥）	1,761	13,908	1,097	400	1,328
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 827 (47.0) *Oithona* spp. (copepodite) 413 (23.5) *Acartia* spp. (copepodite) 160 (9.1) *Oikopleura* spp. 147 (8.3)	Copepoda (nauplius) 7,656 (56.3) *Oithona* spp. (copepodite) 2,976 (21.9) Bivalvia (umbo larva) 1,152 (8.5) Gastropoda (larva) 864 (6.3)	*Oithona* spp. (copepodite) 217 (19.8) Bivalvia (umbo larva) 160 (14.6) Copepoda (nauplius) 160 (14.6) *Paracalanus* spp. (copepodite) 149 (13.6) Paracalanidae (copepodite) 80 (7.3)	Copepoda (nauplius) 110 (27.5) *Oithona* spp. (copepodite) 80 (20.0) Bivalvia (umbo larva) 30 (7.5) Paracalanidae (copepodite) 30 (7.5) Polychaeta (larva) 20 (5.0) Harpacticoida 20 (5.0)	Copepoda (nauplius) 928 (69.9) *Oithona* spp. (copepodite) 160 (12.0)

調査地点		E27					
調査年度		令和5年度					
項目 ＼ 調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	27	40	44	36	44	38
	細胞数（細胞/L）	2,590	6,350	96,410	13,500	10,050	3,790
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	unidentified flagellates 550 (21.2) Gymnodiniales 350 (13.5) *Heterocapsa* spp. 250 (9.7) *Prorocentrum triestinum* 230 (8.9) Cryptophyceae 200 (7.7)	*Chaetoceros* spp. (small chain type) 1,900 (30.9) *Cylindrotheca closterium* 830 (13.1) unidentified flagellates 650 (10.2) Peridiniales 500 (7.9) Prasinophyceae 450 (7.1)	*Pseudo-nitzschia* spp. 30,600 (31.7) Diatomaceae 22,200 (23.0) *Chaetoceros* spp. (small chain type) 18,270 (19.0) Peridiniales 8,240 (8.5)	Gymnodiniales 7,050 (52.2) Peridiniales 2,150 (15.9) *Heterocapsa* spp. 1,250 (9.3) *Amphidinium* spp. 870 (6.4)	Gymnodiniales 1,900 (18.9) *Heterocapsa* spp. 1,800 (17.9) Cryptophyceae 1,500 (14.9) Peridiniales 1,300 (12.9) Prasinophyceae 1,050 (10.4)	Haptophyceae 1,400 (36.9) Gymnodiniales 400 (10.6) Cryptophyceae 250 (6.6) Prasinophyceae 250 (6.6) *Heterocapsa* spp. 200 (5.3)
動物プランクトン	出現種類数	8	16	14	16	13	15
	個体数（個体/㎥）	1,440	530	1,460	11,600	1,460	592
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius) 870 (60.4) Gastropoda (larva) 210 (14.6) *Oithona* spp. (copepodite) 190 (13.2)	*Acartia* spp. (copepodite) 60 (11.3) *Paracalanus* spp. (copepodite) 60 (11.3) *Oithona* spp. (copepodite) 60 (11.3) Gastropoda (larva) 40 (7.5) Paracalanidae (copepodite) 40 (7.5) *Oithona attenuata* 40 (7.5) *Oithona simplex* 40 (7.5) Copepoda (nauplius) 40 (7.5)	Copepoda (nauplius) 480 (32.9) *Oithona* spp. (copepodite) 370 (25.3) Bivalvia (umbo larva) 210 (14.4) *Acartia* spp. (copepodite) 130 (8.9)	*Oithona* spp. (copepodite) 3,450 (29.7) Gastropoda (larva) 2,400 (20.7) Copepoda (nauplius) 1,220 (10.5) *Acartia* spp. (copepodite) 1,100 (9.5) Bivalvia (umbo larva) 750 (6.5)	*Oithona* spp. (copepodite) 480 (32.9) Copepoda (nauplius) 330 (22.6) Gastropoda (larva) 180 (12.3) Bivalvia (umbo larva) 150 (10.3)	Copepoda (nauplius) 184 (31.1) *Oithona* spp. (copepodite) 96 (16.2) Polychaeta (larva) 56 (9.5) *Calocalanus* spp. (copepodite) 40 (6.8) Gastropoda (larva) 32 (5.4) Paracalanidae (copepodite) 32 (5.4) *Oithona simplex* 32 (5.4)

注）1.主な出現種には、組成比で5%以上の上位５種を示しています。
　　2.動物プランクトンについては、各調査地点の１層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(32)　結果概要（浮遊生物調査：E27：工事中）

調査地点		E27				
調査年度		令和6年度				
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	39	40	41	46	44
	細胞数（細胞/L）	12,670	6,200	10,280	4,150	3,410
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Gymnodiniales 2,400 (18.9) Peridiniales 2,100 (16.6) *Heterocapsa* spp. 1,900 (15.0) unidentified flagellates 1,000 (7.9) Euglenophyceae 990 (7.8)	Peridiniales 1,430 (23.1) Gymnodiniales 1,370 (22.1) *Gymnodinium* spp. 630 (10.2) *Heterocapsa* spp. 570 (9.2) Diatomaceae 330 (5.3)	Gymnodiniales 3,000 (29.2) Peridiniales 1,700 (16.5) *Heterocapsa* spp. 1,670 (16.2) *Gymnodinium* spp. 970 (9.4)	Gymnodiniales 700 (16.9) Peridiniales 650 (15.7) Pennales 340 (8.2) *Heterocapsa* spp. 330 (8.0) Prasinophyceae 230 (5.5)	Haptophyceae 500 (14.7) Peridiniales 340 (10.0) *Cylindrotheca closterium* 260 (7.6) *Heterocapsa* spp. 250 (7.3) Euglenophyceae 220 (6.5)
動物プランクトン	出現種類数	14	16	18	12	13
	個体数（個体/㎥）	2,460	14,472	6,696	294	304
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	*Oithona* spp. (copepodite) 933 (37.9) Copepoda (nauplius) 733 (29.8) Bivalvia (umbo larva) 347 (14.1) *Oithona dissimilis* 160 (6.5)	*Oithona* spp. (copepodite) 5,520 (38.1) *Oithona dissimilis* 3,280 (22.7) *Oithona simplex* 1,360 (9.4) Copepoda (nauplius) 1,280 (8.8) Gastropoda (larva) 768 (5.3)	*Paracalanus* spp. (copepodite) 1,760 (26.3) Copepoda (nauplius) 1,280 (19.1) *Acrocalanus* spp. (copepodite) 960 (14.3) *Oithona* spp. (copepodite) 920 (13.7) *Bestiolina similis* 608 (9.1)	Copepoda (nauplius) 80 (27.2) *Oithona* spp. (copepodite) 57 (19.4) Harpacticoida 34 (11.6) *Acartia* spp. (copepodite) 23 (7.8) *Oikopleura* spp. 23 (7.8)	Copepoda (nauplius) 128 (42.1) *Oncaea* spp. (copepodite) 40 (13.2) *Oithona* spp. (copepodite) 32 (10.5) Gastropoda (larva) 16 (5.3) *Clausocalanus* spp. (copepodite) 16 (5.3) Facetotecta (nauplius) 16 (5.3)

調査地点		E27			
調査年度		令和7年度			
項目 ＼ 調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	50	52	36	37
	細胞数（細胞/L）	6,460	15,110	5,200	4,920
	主な出現種の細胞数（細胞/L）（ ）内は組成比%	Gymnodiniales 1,050 (16.3) *Heterocapsa* spp. 1,050 (16.3) Peridiniales 770 (11.9) unidentified flagellates 630 (9.8) *Thalassiosira* spp. 550 (8.5)	Gymnodiniales 3,750 (24.8) Peridiniales 3,200 (21.2) *Heterocapsa* spp. 2,050 (13.6) Cryptophyceae 800 (5.3)	Naviculaceae 690 (13.3) Peridiniales 680 (13.1) *Heterocapsa* spp. 670 (12.9) Gymnodiniales 590 (11.3) Haptophyceae 350 (6.7)	Prasinophyceae 1,240 (25.2) Cryptophyceae 690 (14.0) unidentified flagellates 580 (11.8) Peridiniales 360 (7.3) Gymnodiniales 340 (6.9)
動物プランクトン	出現種類数	6	18	16	15
	個体数（個体/㎥）	229	4,709	1,009	879
	主な出現種の個体数（個体/㎥）（ ）内は組成比%	Gastropoda (larva) 126 (55.0) Bivalvia (umbo larva) 52 (22.7) *Oikopleura* spp. 22 (9.6) Isopoda 15 (6.6)	*Oithona* spp. (copepodite) 1,410 (29.9) Copepoda (nauplius) 867 (18.4) *Oithona aruensis* 651 (13.8) *Oithona dissimilis* 614 (13.0) Gastropoda (larva) 398 (8.5)	*Oithona simplex* 332 (32.9) *Oithona* spp. (copepodite) 262 (26.0) *Acartia* spp. (copepodite) 96 (9.5) *Bestiolina similis* 52 (5.2) Copepoda (nauplius) 52 (5.2)	Copepoda (nauplius) 508 (57.8) *Oithona* spp. (copepodite) 104 (11.8) Gastropoda (larva) 73 (8.3)

注）1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
　　2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.11(1)　動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数（浮遊生物調査：E8）

調査地点		E8																											
工事		工事前																											
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	13	34	25	53	27	23	34	23	26	52	43	41	50	28	51	36	42	36	53	37	53	64	62	51	34	51	33	36
	出現種類数範囲	13～64																											
	細胞数(細胞/L)	16,580	5,250	3,290	14,330	11,520	11,300	14,730	24,300	4,060	5,800	4,640	54,110	844,160	51,190	7,580	4,170	7,550	6,890	7,430	6,080	134,250	64,390	39,570	10,550	49,220	47,350	27,990	22,480
	細胞数範囲	3,290～844,160																											
動物プランクトン	出現種類数（種類）	27	28	34	19	29	27	20	26	26	27	33	18	20	24	28	15	45	36	54	45	24	51	32	28	40	34	19	28
	出現種類数範囲	15～54																											
	個体数（個体/㎥）	87,658	9,884	4,969	10,696	14,511	6,110	704	15,602	14,654	1,117	1,782	6,983	13,934	36,693	10,633	1,910	38,131	34,024	3,344	15,332	26,295	9,300	11,907	13,505	16,974	7,619	1,516	5,362
	個体数範囲	704～87,658																											

調査地点		E8																										
工事		工事中																										
調査年度		H29		H30						R1					R2					R3					R4			
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	57	33	47	33	45	38	41	40	37	50	31	40	28	39	28	38	35	32	46	31	37	49	34	67	32	32	40
	出現種類数範囲	26～67																										
	細胞数(細胞/L)	8,850	2,220	3,570	1,350	2,990	5,830	2,330	3,480	6,290	8,270	1,460	1,510	2,790	10,520	887,300	145,900	2,460	4,160	8,080	12,470	4,510	5,100	9,920	1,522,890	4,910	1,690	7,220
	細胞数範囲	1,350～1,522,890																										
動物プランクトン	出現種類数（種類）	22	22	15	20	19	26	22	7	21	20	13	26	15	13	18	26	11	14	18	15	22	24	11	14	18	20	19
	出現種類数範囲	7～26																										
	個体数（個体/㎥）	4,650	1,128	12,977	8,977	45,339	14,050	5,354	634	963	11,525	10,657	3,189	958	958	5,768	3,442	705	1,286	2,343	10,656	381	1,464	3,940	1,238	3,800	4,157	1,512
	個体数範囲	240～45,339																										

調査地点		E8														
工事		工事中														
調査年度		R5						R6					R7			
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	41	41	53	40	40	41	40	26	42	38	49	54	37	33	40
	出現種類数範囲	26～67														
	細胞数(細胞/L)	3,830	4,610	48,680	17,750	4,990	3,680	8,290	1,560	9,830	3,800	5,430	17,690	4,270	13,420	7,980
	細胞数範囲	1,350～1,522,890														
動物プランクトン	出現種類数（種類）	9	15	22	20	20	23	16	20	25	21	14	16	24	23	20
	出現種類数範囲	7～26														
	個体数（個体/㎥）	9,880	240	20,056	9,848	1,639	851	3,224	1,700	39,261	10,170	640	5,940	14,862	7,586	979
	個体数範囲	240～45,339														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.11(2)　動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数（浮遊生物調査：E12）

調査地点		E12																											
工事		工事前																											
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	17	25	28	40	25	24	19	22	32	35	57	36	44	42	47	42	44	29	60	32	50	56	69	72	35	44	36	31
	出現種類数範囲	17～72																											
	細胞数(細胞/L)	5,770	5,470	5,890	23,925	10,010	109,370	940	32,380	9,640	5,130	4,640	227,630	627,210	37,440	10,970	10,790	16,760	8,380	19,210	13,970	17,100	22,570	47,270	24,340	19,460	22,000	19,770	23,220
	細胞数範囲	940～627,210																											
動物プランクトン	出現種類数（種類）	29	31	27	23	27	33	31	24	30	42	32	20	19	28	30	26	38	42	60	35	27	49	33	38	53	41	36	28
	出現種類数範囲	19～60																											
	個体数（個体/㎥）	95,633	30,696	15,279	13,594	30,382	19,950	6,626	24,135	55,390	15,751	4,565	13,094	72,643	15,707	21,346	41,464	28,334	33,660	31,020	3,558	19,125	5,844	8,981	21,063	39,319	6,394	9,544	64,892
	個体数範囲	3,558～95,633																											

調査地点		E12																										
工事		工事中																										
調査年度		H29		H30						R1					R2					R3					R4			
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	53	46	39	25	53	39	38	34	42	35	30	36	44	39	27	33	45	47	16	37	30	54	47	65	37	28	35
	出現種類数範囲	16～65																										
	細胞数(細胞/L)	4,230	2,380	2,360	910	6,940	3,430	5,520	1,250	10,590	70,850	2,380	2,310	2,940	5,710	576,500	38,600	3,600	16,130	7,980	14,010	15,670	7,500	11,650	867,630	16,930	2,330	7,830
	細胞数範囲	910～867,630																										
動物プランクトン	出現種類数（種類）	23	23	20	27	30	24	21	19	15	23	25	25	19	22	22	24	15	22	22	28	31	22	15	24	26	17	28
	出現種類数範囲	12～34																										
	個体数（個体/㎥）	8,836	1,723	5,486	13,025	14,434	6,222	5,855	1,832	428	19,823	7,903	5,208	7,008	20,265	9,666	10,658	4,189	476	6,730	33,308	4,536	473	4,008	38,600	10,312	6,471	1,787
	個体数範囲	428～38,600																										

調査地点		E12														
工事		工事中														
調査年度		R5						R6					R7			
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	42	48	49	32	27	40	44	29	48	35	46	57	43	37	45
	出現種類数範囲	16～65														
	細胞数(細胞/L)	7,600	90,460	73,260	10,210	3,890	6,150	35,210	6,600	14,300	8,420	16,880	461,060	14,210	16,610	7,480
	細胞数範囲	910～867,630														
動物プランクトン	出現種類数（種類）	15	16	20	26	30	21	12	24	34	27	32	17	22	28	23
	出現種類数範囲	12～34														
	個体数（個体/㎥）	2,060	13,342	6,871	24,313	9,778	1,188	2,262	8,122	15,448	1,664	2,072	1,089	21,777	11,997	1,436
	個体数範囲	428～38,600														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.11(3)　動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数（浮遊生物調査：E25）

調査地点		E25																											
工事		工事前																											
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	18	22	19	26	24	22	24	20	42	41	34	42	43	36	45	28	33	40	54	30	44	46	45	36	47	44	26	24
	出現種類数範囲	18～54																											
	細胞数(細胞/L)	6,030	2,120	2,220	7,000	10,560	8,080	4,410	9,360	8,150	3,590	1,970	34,380	169,500	19,870	6,480	4,340	10,260	4,540	15,950	4,520	12,690	12,410	17,010	4,380	38,410	15,880	6,990	26,630
	細胞数範囲	1,970～169,500																											
動物プランクトン	出現種類数（種類）	27	33	21	25	24	26	25	29	23	16	19	34	22	25	25	19	30	39	45	19	21	51	33	41	34	28	13	28
	出現種類数範囲	13～51																											
	個体数（個体/㎥）	17,668	5,544	324	3,218	2,600	3,229	2,422	4,150	5,066	1,909	859	2,818	2,843	3,899	8,036	4,872	18,392	9,265	22,504	1,900	1,030	3,532	3,654	5,576	14,619	3,385	140	5,023
	個体数範囲	140～22,504																											

調査地点		E25																									
工事		工事中																									
調査年度		H29		H30						R1					R2					R3					R4			
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	52	48	54	40	52	35	35	32	36	28	30	37	37	36	20	36	29	22	42	53	41	37	31	54	42	41	24
	出現種類数範囲	20～54																										
	細胞数(細胞/L)	3,270	2,810	28,760	2,000	25,970	5,040	1,710	2,050	1,470	2,560	4,200	2,590	1,250	4,570	22,300	812,600	1,660	1,270	13,860	9,720	5,350	1,690	18,170	90,720	10,840	2,360	1,320
	細胞数範囲	1,250～812,600																										
動物プランクトン	出現種類数（種類）	17	13	14	20	27	13	16	18	15	15	18	22	7	10	16	23	8	20	16	16	20	13	10	10	14	21	20
	出現種類数範囲	5～27																										
	個体数（個体/㎥）	1,360	560	17,522	2,293	34,222	3,060	6,479	1,310	561	2,265	13,014	3,126	109	1,195	1,225	16,394	226	1,011	4,667	379	709	412	920	6,600	919	2,180	1,240
	個体数範囲	109～34,222																										

調査地点		E25														
工事		工事中														
調査年度		R5						R6					R7			
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	33	32	53	41	40	36	41	44	50	35	39	38	46	41	42
	出現種類数範囲	20～54														
	細胞数(細胞/L)	2,300	2,350	101,050	12,220	10,300	4,060	7,820	18,790	16,990	5,380	5,850	3,720	8,200	8,390	7,800
	細胞数範囲	1,250～812,600														
動物プランクトン	出現種類数（種類）	5	9	15	15	16	21	12	24	20	7	19	21	16	15	21
	出現種類数範囲	5～27														
	個体数（個体/㎥）	340	1,130	4,020	9,230	867	6,764	731	3,062	11,680	338	464	416	4,221	644	1,366
	個体数範囲	109～34,222														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.11(4)　動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数（浮遊生物調査：E27）

調査地点		E27																											
工事		工事前																											
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	17	27	24	20	27	19	25	23	43	34	22	41	47	42	47	31	29	43	21	35	44	42	45	41	36	59	24	33
	出現種類数範囲	17～59																											
	細胞数(細胞/L)	24,160	18,940	1,800	5,250	4,770	6,670	3,260	7,820	10,350	2,610	560	17,880	145,700	112,490	19,600	3,920	4,030	8,680	4,330	13,440	11,940	12,570	10,030	8,600	38,380	44,910	6,710	14,420
	細胞数範囲	560～145,700																											
動物プランクトン	出現種類数（種類）	32	21	28	30	26	14	19	32	20	26	19	28	20	26	23	18	25	30	37	27	37	39	23	39	28	28	40	26
	出現種類数範囲	14～40																											
	個体数（個体/㎥）	30,430	4,749	1,086	7,966	14,690	15,277	1,001	4,359	86,500	1,287	433	5,034	4,082	22,591	5,905	5,712	21,050	15,363	1,709	10,182	7,457	6,464	1,566	10,216	16,547	15,966	2,533	5,450
	個体数範囲	433～86,500																											

調査地点		E27																										
工事		工事中																										
調査年度		H29			H30						R1					R2					R3				R4				
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	53	51	35	46	43	48	37	34	44	33	30	39	36	28	30	19	31	36	40	36	46	28	37	36	56	38	39	30
	出現種類数範囲	19～56																											
	細胞数(細胞/L)	16,520	5,560	1,510	8,030	4,670	6,760	3,140	2,870	3,620	1,060	29,000	3,470	1,910	1,030	4,740	48,200	96,800	2,750	2,630	8,670	11,430	12,910	3,300	7,420	229,470	5,960	4,090	5,190
	細胞数範囲	1,030～229,470																											
動物プランクトン	出現種類数（種類）	23	18	8	15	18	19	13	11	15	11	11	13	18	9	8	21	21	6	5	22	14	21	9	8	11	15	17	9
	出現種類数範囲	5～23																											
	個体数（個体/㎥）	9,740	1,478	251	13,212	890	20,952	3,788	5,308	5,764	1,618	582	18,727	986	144	639	2,726	6,451	131	119	6,679	1,333	1,118	384	1,761	13,608	1,097	400	1,328
	個体数範囲	119～20,952																											

調査地点		E27														
工事		工事中														
調査年度		R5						R6					R7			
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数（種類）	27	40	44	36	44	38	39	40	41	46	44	50	52	36	37
	出現種類数範囲	19～56														
	細胞数(細胞/L)	2,590	6,350	96,410	13,500	10,050	3,790	12,670	6,200	10,280	4,150	3,410	6,460	15,110	5,200	4,920
	細胞数範囲	1,030～229,470														
動物プランクトン	出現種類数（種類）	8	16	14	16	13	15	14	16	18	12	13	6	18	16	15
	出現種類数範囲	5～23														
	個体数（個体/㎥）	1,440	530	1,460	11,600	1,460	592	2,460	14,472	6,696	294	304	229	4,709	1,009	879
	個体数範囲	119～20,952														

注）本環境監視調査結果（令和７年度）は黄色の網掛けで示しています。

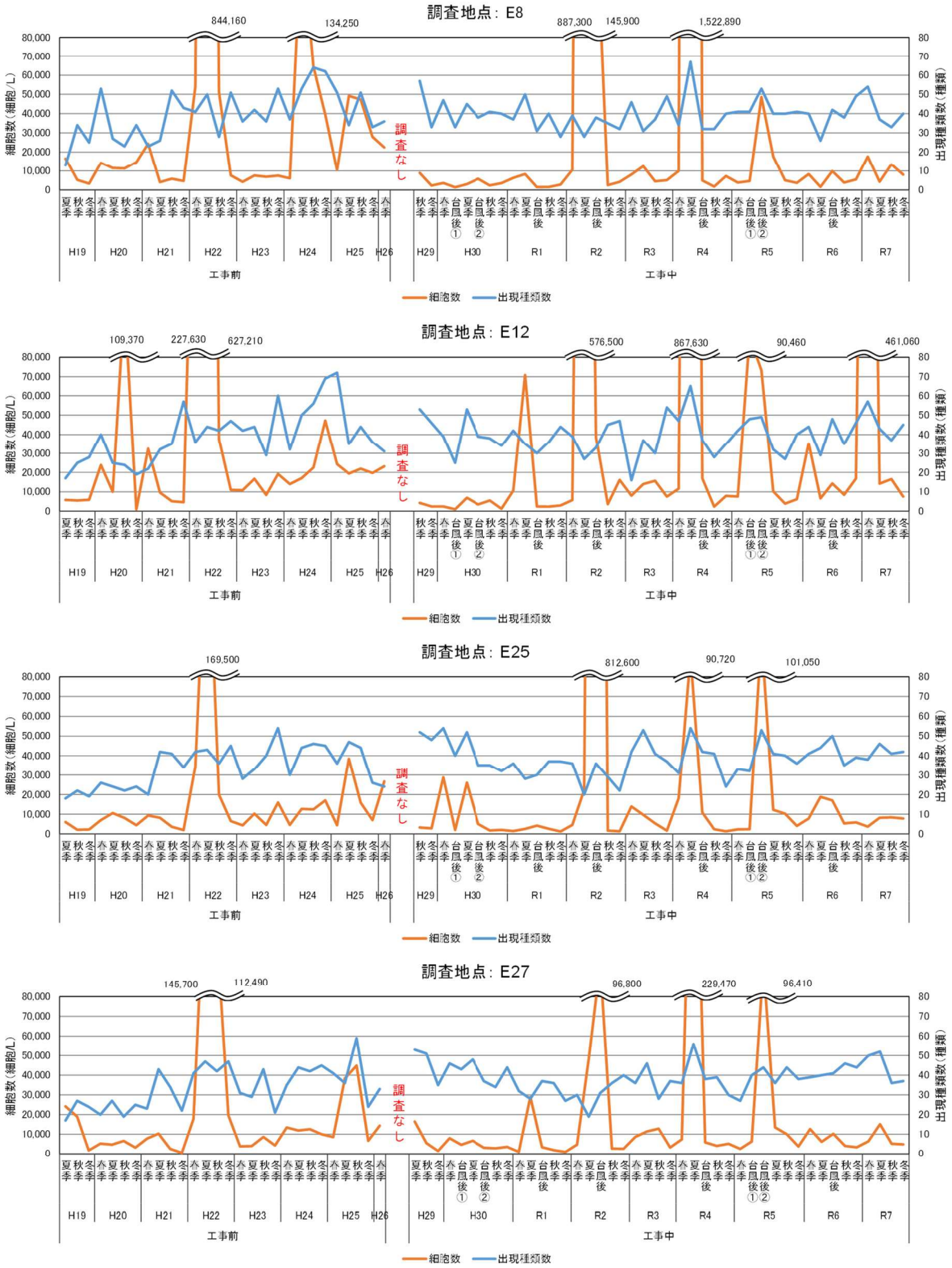


図-3.5.2.9　植物プランクトンの出現種類数及び細胞数（浮遊生物調査）

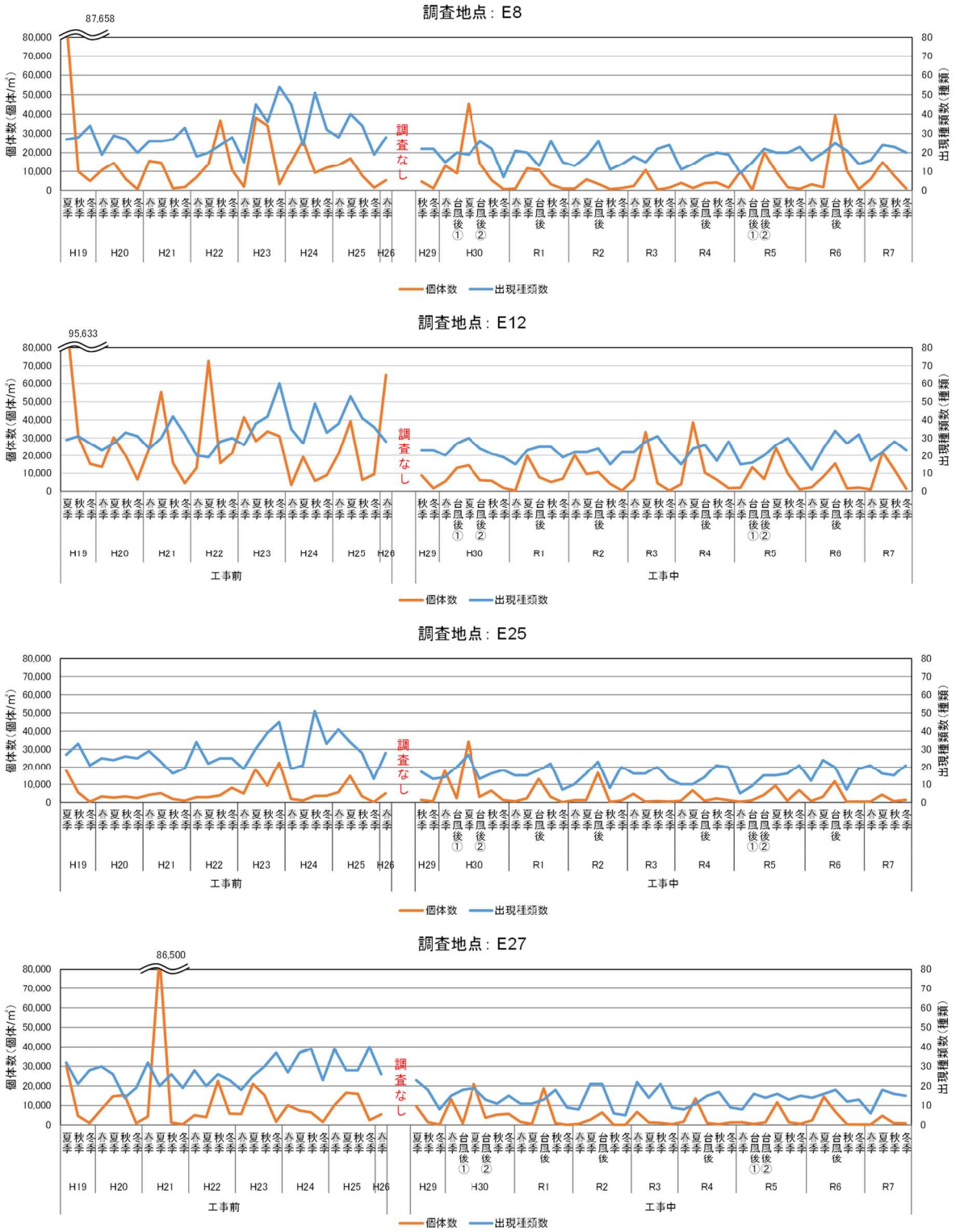


図-3.5.2.10　動物プランクトンの出現種類数及び個体数（浮遊生物調査）

表-3.5.2.12(1)　植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E8)

	E8																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
Cryptophyceae	○	○	○	○	○		○			○			○	○		○	
Prorocentrum triestinum								○		○	○	○		○			
Gymnodinium spp.										○				○		○	
Gyrodinium spp.										○							
Gymnodiniales	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
Oxytoxum spp.														○			
Heterocapsa spp.				○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
Peridinium quinquecorne					○							○					
Protoperidinium spp.										○	○				○	○	
Peridiniales	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
Skeletonema costatum sensu lato									○	○		○		○	○		
Thalassiosira spp.				○													
Leptocylindrus danicus					○						○						
Paralia sulcata			○														
Rhizosolenia phuketensis			○														
Bacteriastrum minus	○																
Bacteriastrum spp.				○													
Chaetoceros constrictum				○								○					
Chaetoceros lorenzianum						○											
Chaetoceros spp. (large chain type)	○				○	○	○					○					
Chaetoceros spp. (small chain type)	○	○	○	○						○	○	○		○	○	○	
Bleakeleya notata	○														○		
Cyclophora tenuis												○				○	
Neodelphineis pelagica			○														
Diatomaceae											○				○	○	
Navicula spp.									○		○						
Cylindrotheca closterium	○	○	○						○	○	○	○			○	○	
Nitzschia spp.						○					○	○					
Pseudo-nitzschia pungens						○											
Pseudo-nitzschia spp.	○	○	○		○	○	○					○			○	○	
Pennales												○				○	
Haptophyceae	○	○	○	○	○	○	○					○				○	
Euglenophyceae	○					○	○				○	○	○	○		○	
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○			○
unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で 5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.12(2)　植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E12)

	E12																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
Cryptophyceae			○	○	○	○	○	○				○	○	○	○		○
Prorocentrum triestinum											○						
Amphidinium spp.										○							
Gymnodinium spp.										○				○	○	○	
Gyrodinium spp.										○							
Gymnodiniales	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
Oxytoxum spp.										○							
Heterocapsa spp.				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Peridinium quinquecorne												○					
Protoperidinium spp.											○						
Peridiniales	○	○	○	○					○	○	○	○		○	○	○	○
Skeletonema costatum sensu lato														○			
Skeletonema sp.															○		
Skeletonema spp.						○											
Thalassiosira spp.				○													
Aulacoseira spp.												○					
Leptocylindrus danicus										○							
Rhizosolenia fragilissima		○															
Bacteriastrum spp.			○	○						○							
Chaetoceros constrictum												○					
Chaetoceros curvisetum						○											
Chaetoceros spp. (large chain type)	○			○		○	○					○					
Chaetoceros spp. (small chain type)		○	○	○			○			○	○	○	○	○	○	○	
Bleakeleya notata	○																
Cyclophora tenuis			○														
Diatoma sp.											○						
Diatomaceae	○														○		
Navicula spp.	○									○							
Cylindrotheca closterium	○	○	○			○			○	○	○	○				○	
Nitzschia spp.	○			○		○	○			○							
Pseudo-nitzschia pungens						○											
Pseudo-nitzschia spp.	○	○	○			○	○		○	○			○		○		
Pennales			○														
Haptophyceae	○	○	○	○	○		○							○	○	○	
Euglenophyceae		○					○		○	○	○	○	○	○		○	
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	
unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で 5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.12(3)　植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E25)

	E25																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
Cryptophyceae		○		○	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○
Prorocentrum minimum						○											
Prorocentrum triestinum											○						
Gymnodinium spp.																○	
Gyrodinium spp.											○						
Gymnodiniales		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
Oxytoxum spp.													○				
Scrippsiella spp.					○	○											
Heterocapsa spp.				○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
Protoperidinium spp.										○	○						
Peridiniales		○	○			○				○	○	○	○	○	○	○	
Skeletonema costatum sensu lato										○			○	○			
Thalassiosira spp.				○													
Leptocylindrus danicus			○														
Bacteriastrum spp.				○					○								
Chaetoceros compressum			○														
Chaetoceros constrictum												○					
Chaetoceros lauderi											○						
Chaetoceros sp. (cf. *salsugineum*)										○							
Chaetoceros spp. (large chain type)	○			○			○					○					
Chaetoceros spp. (small chain type)	○	○		○						○	○			○	○		
Bleakeleya notata					○												
Climacosphenia moniligera														○			
Diatoma sp.									○								
Licmophora spp.	○											○		○			
Diatomaceae	○												○	○	○		
Achnanthes spp.			○														
Cocconeis spp.		○															
Amphora spp.		○									○						
Navicula spp.	○	○			○				○		○			○			
Naviculaceae														○			
Bacillaria paxillifer										○							
Cylindrotheca closterium	○	○	○		○				○	○	○	○		○	○		
Nitzschia spp.			○		○	○	○				○	○					
Pseudo-nitzschia spp.	○		○				○			○	○	○			○	○	
Pennales			○						○	○	○	○		○			
Haptophyceae	○		○	○	○	○							○	○		○	
Euglenophyceae		○								○	○						
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
unidentified flagellates		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で 5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.12(4)　植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E27)

	E27																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	6	5	4
Oscillatoriaceae			○														
Nostocaceae										○							
Cryptophyceae		○		○	○	○	○				○		○	○	○		○
Prorocentrum triestinum															○		
Amphidinium spp.															○		
Gymnodinium spp.					○											○	
Gyrodinium spp.										○							
Gymnodiniales		○	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
Scrippsiella trochoidea			○														
Heterocapsa spp.				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Peridinium quinquecorne				○													
Protoperidinium spp.					○					○	○						
Peridiniales		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Lauderia annulata			○														
Skeletonema costatum sensu lato									○				○	○			
Thalassiosira spp.				○													
Leptocylindrus danicus			○							○							
Coscinodiscus spp.			○														
Rhizosolenia phuketensis												○					
Bacteriastrum spp.				○						○		○					
Chaetoceros compressum										○							
Chaetoceros constrictum												○					
Chaetoceros spp. (large chain type)	○						○					○					
Chaetoceros spp. (small chain type)	○	○	○		○		○			○	○	○		○	○		
Bleakeleya notata			○		○				○								
Cyclophora tenuis												○					
Diatoma sp.									○								
Diatomaceae													○		○	○	
Cocconeis spp.	○																
Amphora spp.		○			○						○						
Navicula spp.	○	○			○	○			○		○						
Bacillaria paxillifer									○								
Cylindrotheca closterium	○	○	○			○			○	○		○			○	○	
Nitzschia longissima			○														
Nitzschia spp.			○								○	○					
Pseudo-nitzschia pungens												○					
Pseudo-nitzschia spp.										○		○			○		
Pennales			○						○		○	○				○	
Calciosolenia murrayi		○															
Haptophyceae	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	
Euglenophyceae		○						○			○	○			○		
Prasinophyceae		○		○	○	○	○				○		○	○	○	○	○
Chlorococcales	○																
unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で 5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.12(5)　動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E8)

	E8																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
Gastropoda (larva)	○				○					○	○		○				
Bivalvia (D-shaped larva)		○															
Bivalvia (umbo larva)	○		○								○					○	○
Polychaeta (larva)										○					○		
Acartia bispinosa								○									
Acartia erythraea			○														
Acartia spp. (copepodite)			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○
Calocalanus spp. (copepodite)										○			○	○			
Acrocalanus spp. (copepodite)												○					
Bestiolina similis	○												○				
Paracalanus crassirostris			○	○	○	○				○					○		
Paracalanus spp. (copepodite)	○		○	○						○	○				○	○	
Paracalanidae (copepodite)			○	○	○	○	○		○			○		○	○		
Calanoida (copepodite)											○						
Oithona aruensis	○	○		○	○	○	○			○	○	○		○	○	○	
Oithona attenuata			○								○						
Oithona dissimilis		○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
Oithona nana		○															
Oithona oculata												○					
Oithona simplex	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	
Oithona spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Microsetella rosea													○				
Oncaea spp. (copepodite)			○						○				○				
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)					○							○					
Oikopleura spp.	○				○					○	○				○		
Fritillaria spp.						○											

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で 5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.12(6)　動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E12)

	E12																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
Gastropoda (larva)		○					○				○	○					○
Bivalvia (umbo larva)											○				○	○	
Acartia spp. (copepodite)		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○	○	
Clausocalanus spp. (copepodite)														○			
Acrocalanus spp. (copepodite)									○			○		○			
Bestiolina similis		○			○								○				
Paracalanus crassirostris	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○		
Paracalanus spp. (copepodite)	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	
Paracalanidae (copepodite)			○	○	○	○	○			○		○		○	○		○
Oithona aruensis	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○			○	○	
Oithona dissimilis		○		○	○	○			○	○	○			○	○	○	
Oithona simplex	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Oithona spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Oncaea media												○	○				
Oncaea spp. (copepodite)									○				○				
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Oikopleura longicauda			○														
Oikopleura spp.	○				○	○				○		○		○		○	
Fritillaria spp.						○											

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で 5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.12(7)　動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E25)

	E25																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
Foraminifera											○						
Creseis spp.													○				
Gastropoda (larva)	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bivalvia (D-shaped larva)						○	○										
Bivalvia (umbo larva)												○	○	○	○	○	
Polychaeta (larva)												○	○	○	○	○	
Acartia fossae										○							
Acartia spp. (copepodite)				○						○	○	○	○	○	○	○	
Nannocalanus minor						○											
Undinula vulgaris						○											
Calocalanus spp. (copepodite)				○	○										○		○
Centropages spp. (copepodite)		○															
Clausocalanus spp. (copepodite)					○	○					○						
Acrocalanus longicornis					○												
Acrocalanus spp. (copepodite)										○							
Bestiolina similis					○								○				
Delius nudus	○	○			○												
Delius nudus (copepodite)											○						
Paracalanus crassirostris	○																
Paracalanus spp. (copepodite)	○	○	○	○	○				○	○	○	○		○	○	○	
Paracalanidae (copepodite)			○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○
Calanoida (copepodite)					○		○				○	○					
Oithona aruensis	○			○	○		○					○					
Oithona attenuata			○				○			○	○						
Oithona dissimilis					○					○							
Oithona nana												○					
Oithona oculata										○							
Oithona simplex	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
Oithona spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cyclopoida (copepodite)															○		
Microsetella norvegica															○		
Harpacticoida											○						
Harpacticoida (copepodite)	○																
Corycaeus concinnus																○	
Corycaeus spp. (copepodite)														○			
Oncaea media											○						
Oncaea mediterranea							○										
Oncaea venusta									○								
Oncaea spp. (copepodite)	○	○	○		○	○	○					○	○	○			
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)		○	○			○				○	○	○	○				
Isopoda							○				○		○				
Brachyura (zoea)					○												
Oikopleura dioica											○						
Oikopleura spp.	○					○	○				○		○		○	○	

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で 5%以上の上位５種）に対応します。

表-3.5.2.12(8)　動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E27)

	E27																
	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	4
Foraminifera		○															
Gastropoda (larva)	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bivalvia (D-shaped larva)	○		○			○											
Bivalvia (umbo larva)		○	○						○	○	○			○	○	○	
Polychaeta (larva)			○								○	○	○	○	○		
Acartia fossae											○		○				
Acartia spp. (copepodite)				○		○				○	○	○	○	○	○	○	
Undinula vulgaris						○											
Calocalanus styliremis						○											
Calocalanus spp. (copepodite)				○											○		
Clausocalanus spp. (copepodite)		○														○	
Acrocalanus longicornis					○												
Acrocalanus spp. (copepodite)												○				○	
Bestiolina similis													○			○	
Paracalanus crassirostris				○					○	○							
Paracalanus parvus			○														
Paracalanus spp. (copepodite)	○	○	○						○	○		○		○	○	○	
Paracalanidae (copepodite)			○		○	○	○				○	○	○	○	○		
Calanoida (copepodite)				○	○												
Oithona aruensis			○	○	○		○		○		○						
Oithona atlantica												○					
Oithona attenuata							○			○					○		
Oithona dissimilis					○					○						○	
Oithona longispina					○												
Oithona oculata				○													
Oithona simplex	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○		○	○	
Oithona spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cyclopoida (copepodite)												○					
Microsetella norvegica						○											
Euterpina acutifrons (copepodite)												○					
Harpacticoida									○		○			○		○	
Harpacticoida (copepodite)		○				○											
Oncaea media	○										○						
Oncaea venusta			○														
Oncaea spp. (copepodite)	○	○	○		○		○		○							○	
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)			○			○					○	○					
Facetotecta (nauplius)										○						○	
Isopoda							○				○						
Brachyura (zoea)					○						○						
Oikopleura dioica											○						
Oikopleura longicauda			○		○												
Oikopleura spp.			○	○	○		○				○	○			○		

注）1. 本環境監視調査結果（令和７年度）は、黄色の網掛けで示しています。
　　2. 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で 5%以上の上位５種）に対応します。

巻 末 資 料

― 目　　次 ―

付図-2.5.1.1　ウミボッス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）・・・・・・・・・・・・・ 資 1
付図-2.7.2.1　過年度の久志地区におけるクビレミドロ分布状況・・・・・・・・・・・・・ 資 2
付図-3.5.1　底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資 3

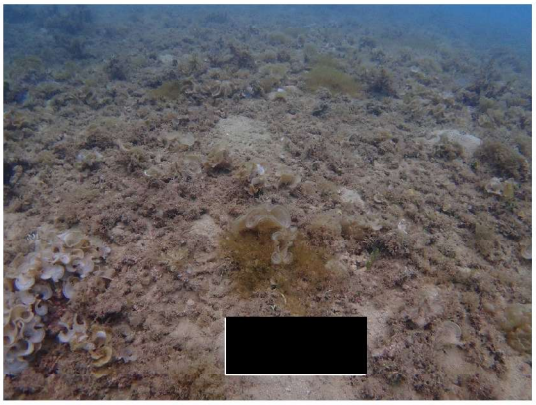
【ウミボッス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）】

○事前踏査実施日：令和２年３月 18 日

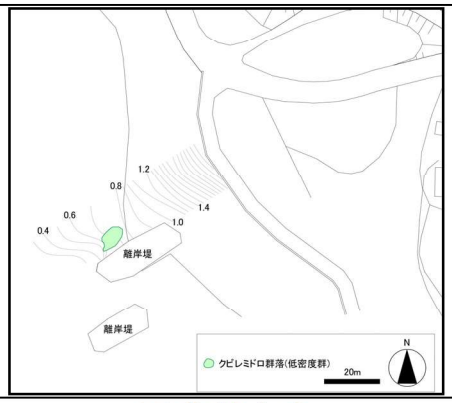
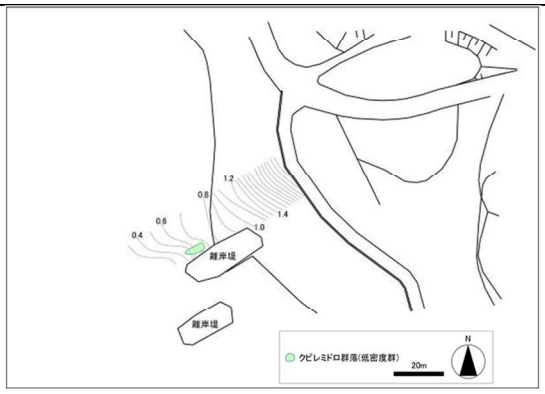
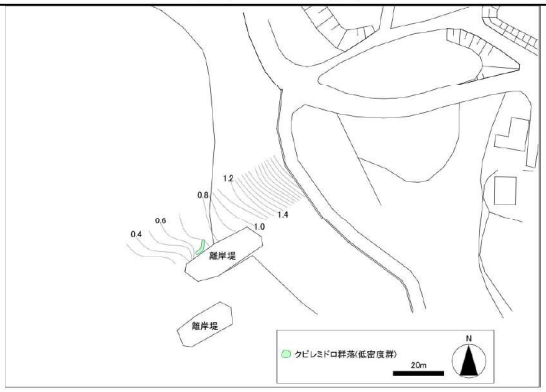
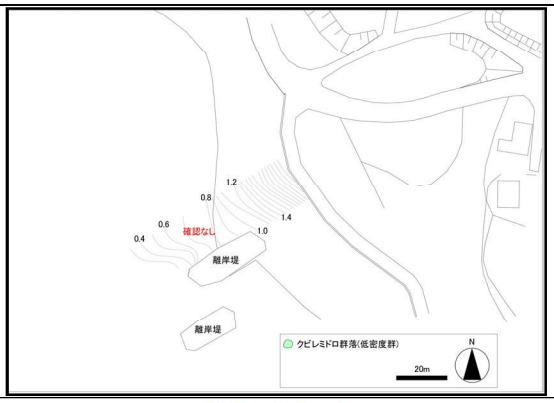
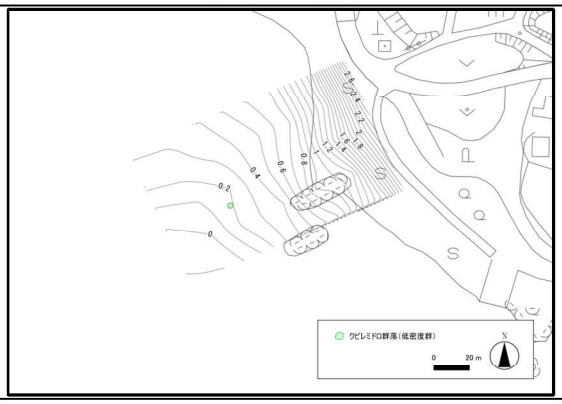
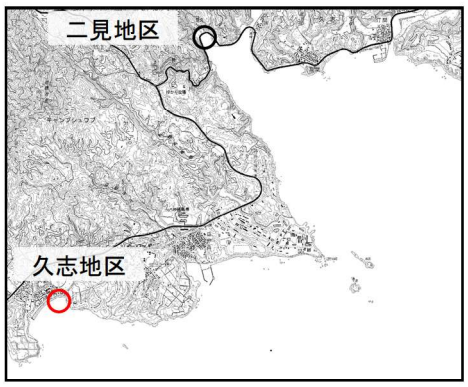
○事前踏査場所：過年度にウミボッスが特に多く確認されたインベントリー調査地点

[redacted]及びその近傍の[redacted]、[redacted]

○事前踏査結果

踏査地点	事前踏査時の状況	
[redacted]		 ・ウミボッスの生育が確認された。
[redacted]		 ・ウミボッスの生育は確認されなかった。
[redacted]		 ・ウミボッスの生育は確認されなかった。

付図-2.5.1.1　ウミボッス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）

平成 20 年度	平成 21 年度
	
平成 22 年度	**平成 23 年度**
	
平成 24 年度～令和 5 年度	
	平成 24 年度～令和 5 年度確認無し (図は平成 24 年度調査結果) ※令和 7 年度調査における出現状況は p2-143 参照
令和 6 年度	
	

付図-2.7.2.1　過年度の久志地区におけるクビレミドロ分布状況

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

付図-3.5.1(1) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点（久志）

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

付図-3.5.1(2) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点（大浦湾）

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

付図-3.5.1(3) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点（ギミ崎）